PAT MINING

ぱっとマイニング ビューア

標準取扱説明書（標準マニュアル）

V7.23.9 対応版　2023年10月23日

WIDE's
www.wides.com

【基本操作編】

はじめての【ぱっとマイニング・ビューア】ガイド

ぱっとマイニングJP　誕生の秘密

【 ぱっとマイニングJP 】っていったい何？

■ 【ぱっとマイニングシリーズ】は、テキストデータから有益な情報を発掘するためのテキストマイニングツールです。数値化がむずかしい文章や言葉を細分化して分析し、「あっ、そうだったんだ」と新しい発見をすることができる魅力的なソフトです。

■ 【ぱっとマイニングシリーズ】は特許調査の現場から生まれました。大量特許文書の仕分けや査読、パテントマップ作成のためのツールとして、実際の作業に当たるスタッフの要望によって生み出され、鍛えられてまいりました。このツールを使用すると、査読業務に要する時間が、それまでの三分の一となりました。

■ 【ぱっとマイニングJP】は、そうして誕生し、好評をいただいておりました【ぱっとマイニング】のバージョンアップ進化版です。特許の専門家だけでなく、あまり特許にお詳しくない方でも気軽にご利用いただけるように、実用的且つわかりやすい操作を主眼に、改良を重ねてまいりました。

■ 何から何まですべて自動で分析してくれる、高機能なテキストマイニングソフトが各社から発売されています。しかし、そうしたソフトは一様に高価であり、なおかつ操作が非常に複雑であるという難点を持っています。

■ 【ぱっとマイニングJP】は、本当に必要な機能に絞り、直感的な操作で、実際の作業に役立つ実用的なツールとして、低価格高機能を実現いたしました。

■ マウス操作だけでカンタンにグラフが描ける便利さを持ち、しかも使い方次第で高度な分析もこなすことができる実力派のテキストマイニングソフトとして、初心者からプロフェッショナルまでご満足いただける内容になっております。

■ 【ぱっとマイニングJP】は、ユーザーの皆様の声を反映し、今後も常に進化を続けて生きます。ぜひご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

販売元　日本パテントデータサービス株式会社
URL http://www.jpds.co.jp
□ 〒105-0003　東京都港区西新橋2丁目8番6号　住友不動産日比谷ビル
TEL 03-3580-8021　FAX 03-5512-7810
□ 〒460-0008　名古屋市中区栄２－１０－１９　名古屋商工会議所ビル
TEL 052-219-4561　FAX 052-219-4581
□ 〒550-0004　大阪市西区靭本町１－７－１８　ビーイングビル
TEL 06-6448-7401　FAX 06-6459-4588
□ 〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前2-17-1　博多プレステージ本館1F
TEL 092-687-7687

開発元　ワイズ特許サービス株式会社
URL https://www.wides.com/　E-mail info@wides.com
□ 〒604-0847　京都府京都市中京区烏丸通押小路上ル秋野々町535
日土地京都ビル
TEL 075-741-8586　FAX 075-741-8587

テキストマイニングとは

【 ぱっとマイニングJP 】っていったい何？ —— 形態素解析によるデータの定量化

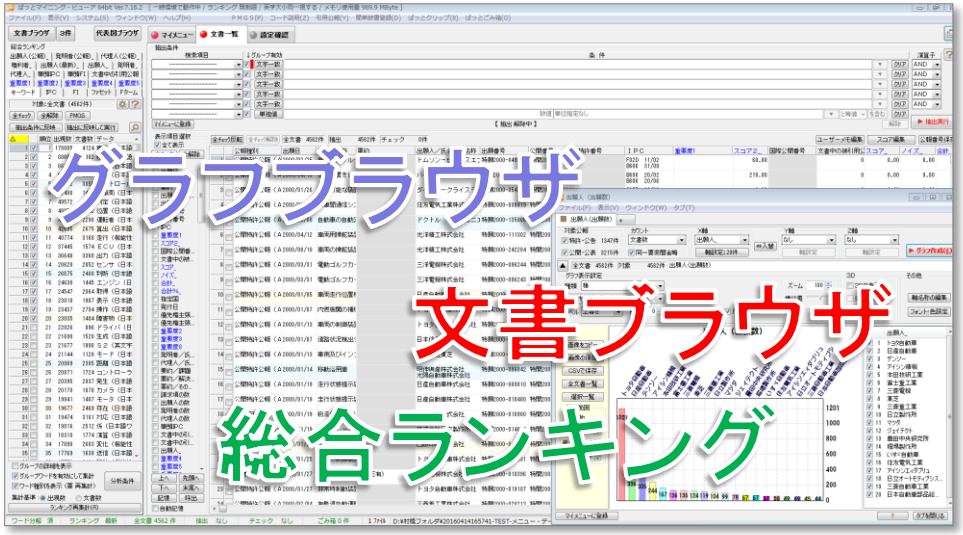
- テキストマイニングとは、さまざまな文書（テキストデータ）の中から有益な知識や情報を取り出そうとする技術です。
- インターネットで集めたアンケートの結果や、お客様センターにかかってきた問合せの内容、営業マンの報告書、専門分野での論文の束など、デジタル化された文書が大量にあるとき、それを効率よく選別し、いくつかの言葉をキーにして検索したり、全体の傾向を読み取ったり、ほしい情報を抜き出したり、抜き出した情報を分析して理解したり、分かりやすいようにグラフや図に置き換えたりすることがテキストマイニングです。
- かつては手書きされていた文書類が、今ではデジタルデータで保存される場合が多くなってきました。そのため、この【ぱっとマイニングJP】のようなコンピュータ・ソフトを使ってテキストマイニングする機会が増え、マイニング技術の必要性がどんどん高まってきています。
- ○×の数や数字の羅列といったようなデータなら、コンピュータで解析するのはカンタンです。たとえば野球選手の成績のように、あらかじめ蓄積されたデータがあれば、年間の平均打率だったり、左投手に強い・弱いなどという分析がすぐにできてしまいます。ところが、文章のように数字ではない文字列を解析し、数字に置き換えたりするのはカンタンなことではありません。
- しかし、情報科学・学問が発達して文章を定量化（数に置き換えたりすること）することができるようになり、コンピュータ・ソフトによる解析が可能となりました。
- テキストデータの定量化の手法のひとつとして『形態素解析』があります。形態素とは「意味を持つ最小の言語単位」という意味です。「われわれはロボットだ」という文章があるとき、「われわれ・は・ロボット・だ」と、まるでロボットがしゃべるように区切るそのひとつひとつの単語が形態素になります。
- 文章を形態素単位に分解し、形態素の出現頻度を見たり、どの形態素のとなりにどの形態素がよく出てくるかなどを見れば、ひとつひとつの文章を詳細に読むことなく、文章の全体像や傾向などがわかります。
- さらに、結果を見やすい形に変えてみると、文書全体の傾向や特徴が一目でわかるようになり、その上、単に文書を読んでいるだけでは気づかなかったような新しい事実を発見することができる場合もあります。

ぱっとマイニング･ビューアとは

では、【 ぱっとマイニング･ビューア 】っていったい何？

■ 【ぱっとマイニング･ビューア】は、【ぱっとマイニングJP】用分析結果閲覧システムとして誕生致しました。【ぱっとマイニングJP】からエクスポートしたデータを、【ぱっとマイニング･ビューア】で簡単に再現することができます。

■ データを読込み、設定やマイメニューの移行を行なうことによって、【ぱっとマイニングJP】で描いたグラフをプレゼンや検索のために再現いただけます。また、文書の検索や、データから見たキーワード等のランキングの表示にもご活用いただくことができます。



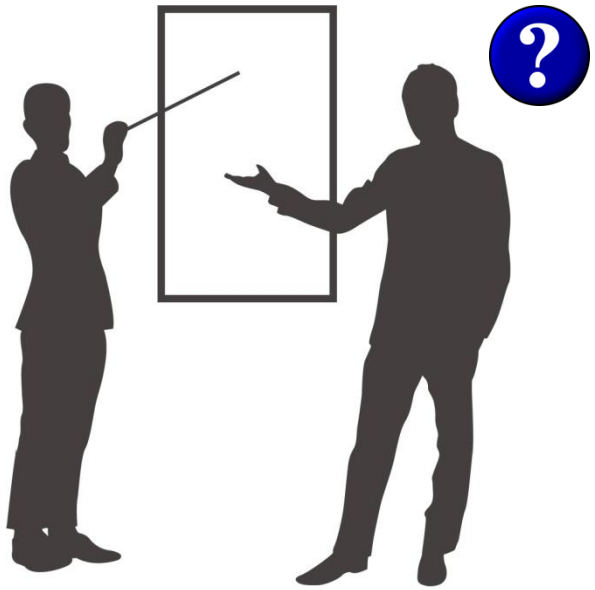
設定やマイメニューの移行

例えばこんな使い方があります　1

出張先でのプレゼンでの利用

■ 【ぱっとマイニング･ビューア】の利用方法をよりわかりやすく提示させていただくために、いくつかの【ぱっとマイニング･ビューア】をご利用されるシチュエーションをご紹介させていただきます。

■ 【ぱっとマイニングJP】をご利用のお客様からいただいたご要望をもとに実現した、【ぱっとマイニング･ビューア】の魅力をお伝えできればと考えております。



データの移動だけで、プレゼンが可能！

■ たとえば、出張先でプレゼン時にぱっとマイニングJPを使用したい。そういったシチュエーションのとき、これまでの【ぱっとマイニングJP】であれば、【ぱっとマイニングJP】の入ったパソコンを持ち運び、発表するか、パワーポイント等にグラフを貼り付け、そのグラフの内容を発表することが可能でした。

■ しかし、【ぱっとマイニングJP】のパソコンを持ち運ぶことのできない場合や、出張先では指定のパソコンを用いなければいけない場合は、パワーポイントなどで発表することを余儀なくされます。

■ パワーポイントでの発表も、もちろん効果的ではありますが、発表の最中で発生した議論や質問に対し、【ぱっとマイニングJP】がその場にあれば、すぐに御返答し、より一層、効果的なプレゼンを行なうことができるはずです。 けれども費用の問題で、実現することはできなかった場合、【ぱっとマイニング･ビューア】の導入をお勧めします。

■ 【ぱっとマイニング･ビューア】があればこれが簡単に実現できます。マイメニューで、発表に使用したグラフの軸を変化させ、プレゼンでの質問などの急な路線変更にも柔軟に対応できます。

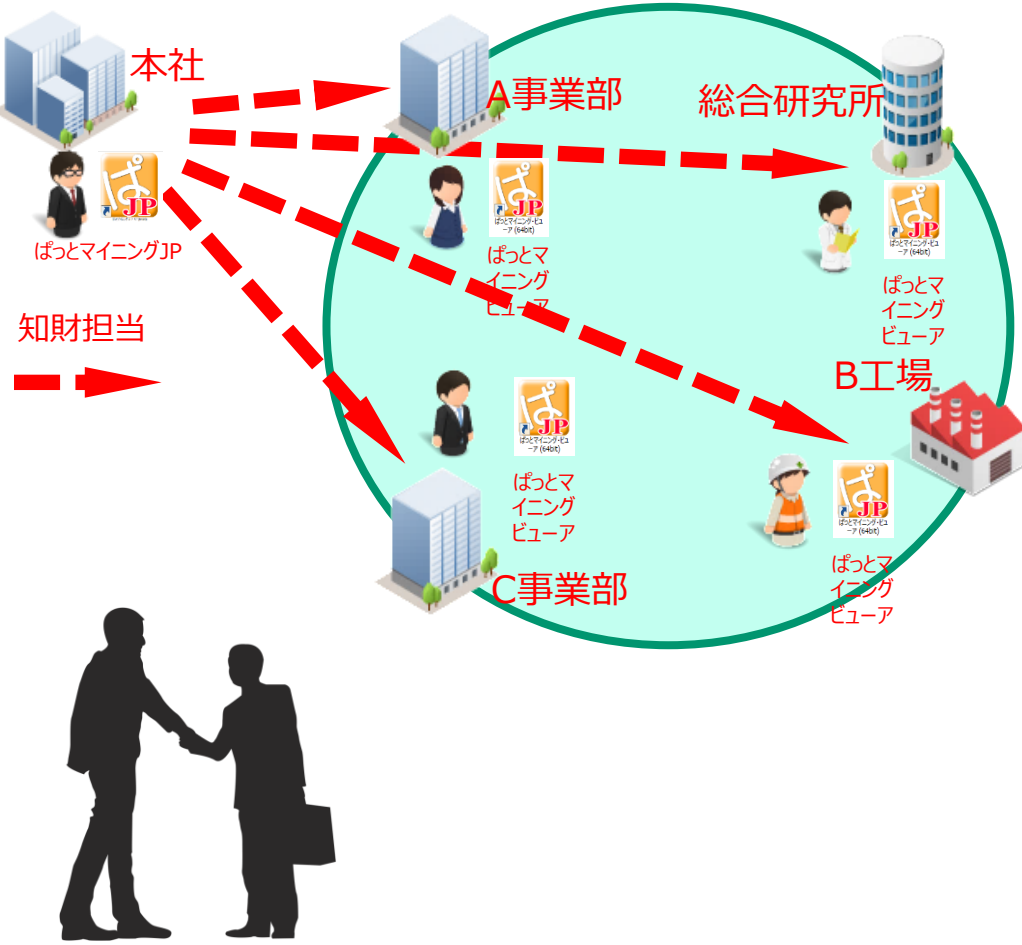
■ 【ぱっとマイニングJP】からの設定の移行も簡単に行なうことができます。【ぱっとマイニング･ビューア】は、【ぱっとマイニングJP】のプレイヤーのような存在としてご利用いただくことができます。

例えばこんな使い方があります　2

技術者の方が確認

- また、知的財産員と技術者サイド間の伝達にも【ぱっとマイニング・ビューア】をご利用いただくことができます。
- 【ぱっとマイニングJP】をご利用の知的財産員の方が、情報の共有のために技術者に【ぱっとマイニング・ビューア】を利用するよう求めるといったパターンです。
- 辞書の設定を行ない、分析を行なう【ぱっとマイニングJP】は、技術者にとって扱いにくく、難しいソフトであるという印象を持たれがちでございます。
- 【ぱっとマイニング・ビューア】があれば、知的財産員の分析で作成したグラフを技術サイドの方々が簡単な操作で確認することができ、離れた場所からでも分析の内容を確認し、連絡を取り合い、調査や分析に一層役立てていただけます。
- 知的財産員の方が【ぱっとマイニングJP】の環境を、【ぱっとマイニング・ビューア】に移行する前に辞書を整えておき、キーワードランキングで気になる用語をチェックしてもらうということも、容易に行なうことができます。
- 技術者のすべてのパソコンに【ぱっとマイニング・ビューア】を導入すれば、このような技術者からのフィードバックを受け、より緻密な分析を行なうこともできるようになります。

技術者との情報の共有を行なう



例えばこんな使い方があります　3

査読・閲覧に利用

- 【ぱっとマイニングJP】では、分析で抽出した公報を文書ブラウザ内でワードをマークすることで簡単に査読することができます。
- 査読業務を行なうに際、グラフを書く必要はないけれども査読は行ないたいというニーズにも対応させていただいております。
- 分析担当者の分析した内容の中身を部下に査読して欲しいようなシチュエーションに於いて、【ぱっとマイニング・ビューア】は、マイメニューの再現はもちろんその公報を文書ブラウザで閲覧する機能も備えております。
- 複数の方に分析結果の配布を行なう。そのような、資料配布のような使用方法にも最適です。
- 査読業務のスピードも【ぱっとマイニング・ビューア】があれば向上することは間違いありません。それでいて、【ぱっとマイニングJP】からの環境移行も簡単に行なうことも可能です。

複数の人員に分析結果を配布する

JPとビューアの違いとは

・グラフの作成やそれに付随する、より詳細な分析

・テキストマイニングを利用した多彩な分析

・ぱっとマイニングJPで作成したマイメニューの再現

・グラフを閲覧、プレゼンによる使用、査読業務

ぱっとJP	機能の比較	ビューア
できる	1. ランキング表示	できる
できる	2. 文書ブラウザからの査読	できる
できる	3. 文書の抽出	できる
できる	4. 重要度の付与	できる
できる	5. 重要度を付与したデータの保存	できる
できる	6. グラフ・分析・特許評価	再現ができる
できる	7. 作成したグラフをマイメニューで保存	できない
できる	8. グラフ結果をCSV形式で保存	できない
整備する必要がある	9. 辞書機能	整備する必要がない

基本作業フロー

たとえば･･･ こんな活用方法は！？ 【 ぱっとマイニング･ビューア 基本作業フロー例 】

1 データのインポート

ぱっとマイニングJPからファイルをエクスポートし、ぱっとマイニング･ビューアにインポートする

2 総合ランキングの再現

総合ランキングの再現

3 マイメニューの再現

マイメニューから**グラフや分析マップの再現**

4 文書の抽出

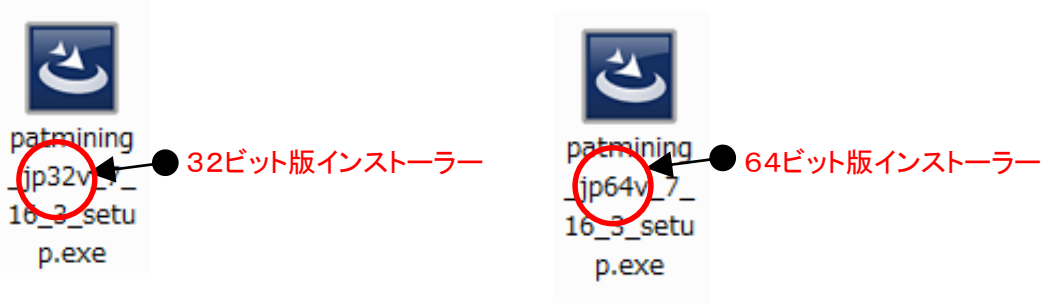
文書一覧やグラフから文書を抽出し、**査読**する

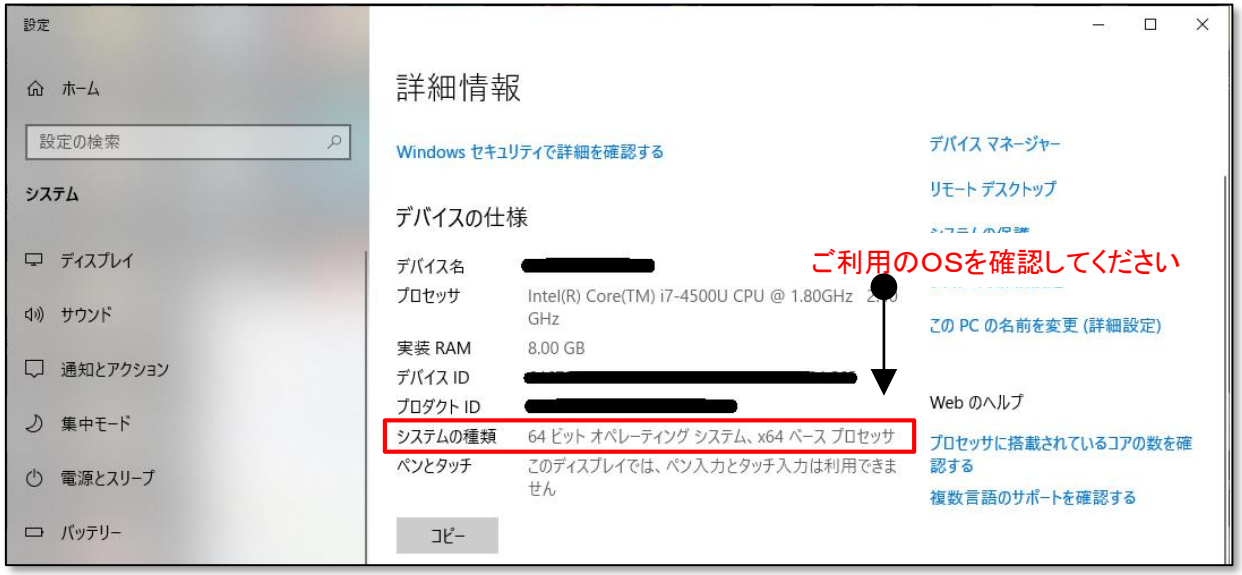
【 インストールしましょう。 】

☑ ぱっとマイニング ・ビューアの導入

インストールの前に

32ビット版と64ビット版のちがい ― インストーラの選択





ここでの注意ポイント！

■ OSのバージョンの確認

ぱっとマイニング・ビューアには、32ビット版と64ビット版があります。ご利用のOSの種類をよく確認して、対応したプログラムをインストールしてください。

32ビット版　ファイル名：
patm_jp32v_*_**_****_setup.exe

64ビット版　ファイル名：
patm_jp64v_*_**_****_setup.exe

■ 推奨環境

ぱっとマイニング・ビューアの高速性を実感していただくためには、以下の推奨環境でご利用ください。

Windows64ビット版

CPUは、core　i7，i5ファミリーを強く推奨。

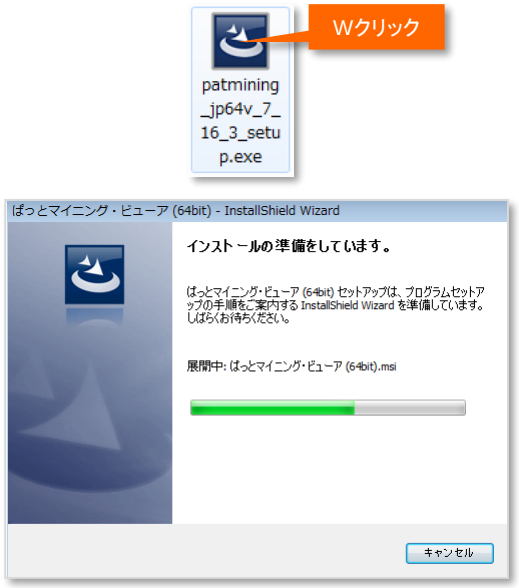
core　i3、セレロンでは、過負荷となるため大きな効果が期待できません。

メモリは、8GB以上を必須とし、16GB以上を推奨します。

画面解像度は、横幅1280ピクセル以上が必要。

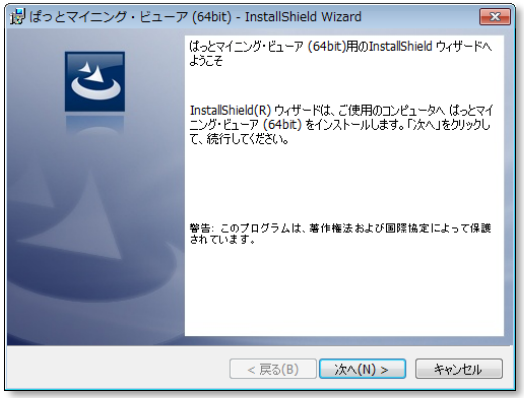
インストールの方法とシリアル入力1

Setupアイコンをダブルクリック！



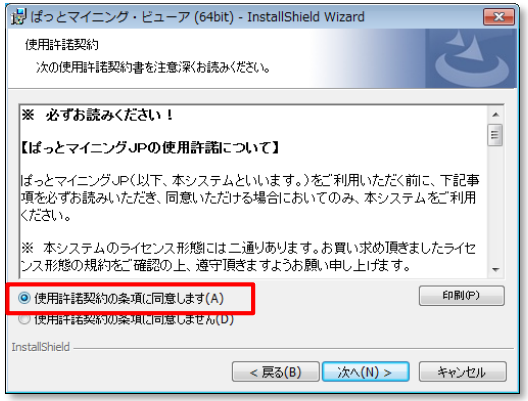
インストールファイル（setup.exe）をマウスで指定し、ダブルクリックして実行します。

あとは指示に従うだけ！



インストーラーが起動します。一般的なソフトのインストールと変わったことはありません。指示に従って進めてください。

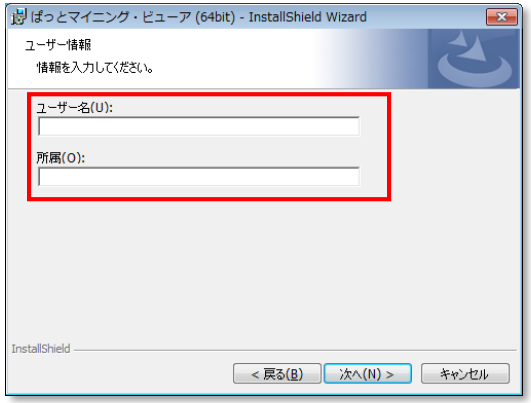
使用許諾について



使用許諾契約書をお読みいただき、「使用許諾契約の条項に同意します（A)」を選択します。

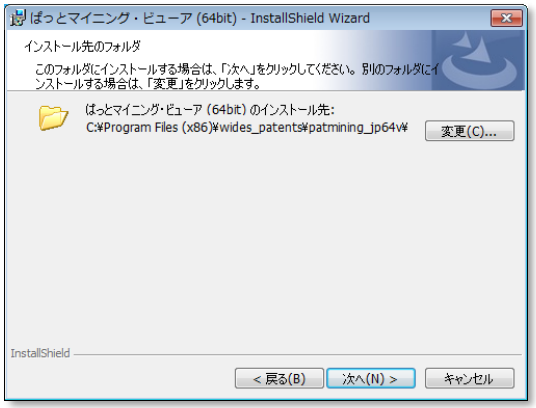
インストールの方法とシリアル入力2

ユーザー名を入力



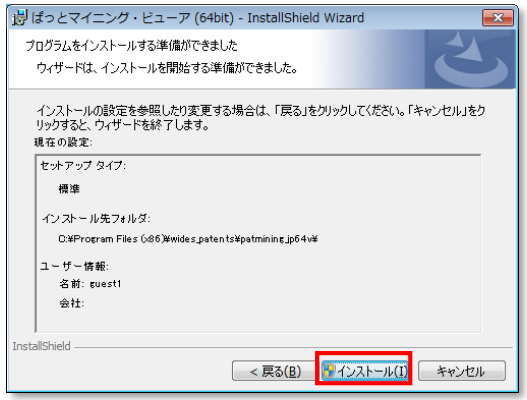
ユーザー名と所属を入力し、「次へ」をクリックます。

インストール先を選ぶ



インストール先のフォルダを選びます。表示してあるフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「変更」をクリックします。

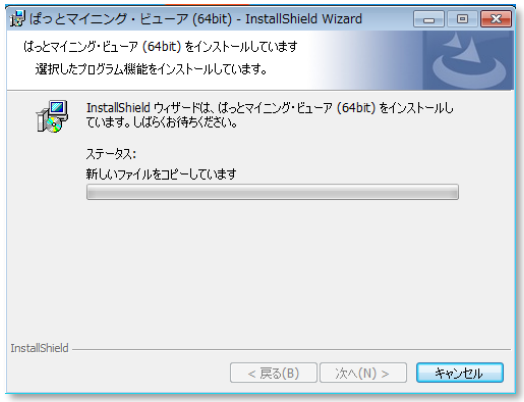
確認画面



確認画面が出たら、『インストール』をクリックします。

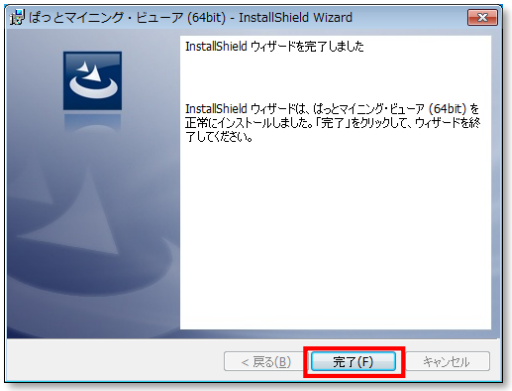
インストールの方法とシリアル入力3

インストール開始



インストールが開始されます。

インストール完了！



ぱっとマイニング・ビューアのインストールが完了しました。『完了』をクリックして、インストーラを終了させてください。

インストール完了！

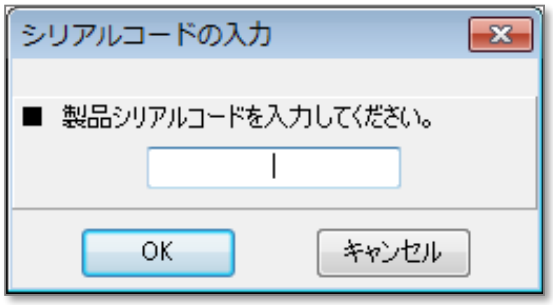
インストール後は、デスクトップに「ぱっとマイニング・ビューア」のアイコンが生成されます。

インストールの方法とシリアル入力4

使用するにはシリアルが必要！

デスクトップのアイコン をマウスでダブルクリックして実行します。

シリアルコードの入力



製品シリアルコードを入力します。

製品シリアルコードは、CD-Rのレーベル面に記載されています。

シリアルコードの登録完了！

ぱっとマイニング・ビューアの製品シリアルコードの登録が完了しました。

ダウンロード後に警告が出る場合

Windowsのセキュリティ機能により、インストーラのダウンロードがブロックされることがあります。
以下の画像のような表示になり、ダウンロードが進まない場合は、下記の対処方法をお試しください。

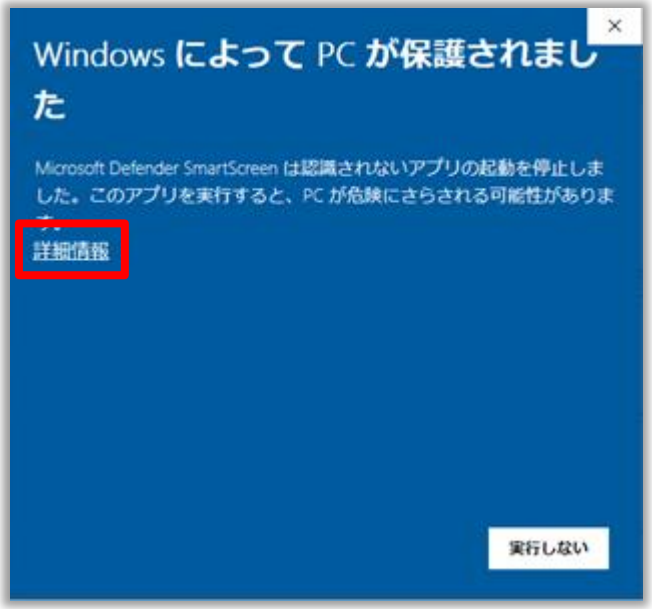
ダウンロード後にWebブラウザの警告が出た場合は、
「その他のアクション」から「保存」を選択して下さい

「詳細表示」をクリックして下さい

「保持する」をクリックすると、ダウンロード
フォルダにインストーラが保存されます

インストール開始時に警告が出る場合

Windowsのセキュリティ機能により、インストーラの起動がブロックされることがあります。
以下の画像のような表示になり、インストールが進まない場合は、下記の対処方法をお試しください。



「詳細表示」をクリックしてください

「実行」をクリックすると、インストーラが起動します

【データの読込み】

☑ データを読込む

データの読込の方法

ぱっとマイニングの読み込みは、こちらの二つの使用方法から選択することができます。

データの読込の方法

Aコース ここをクリック

データ・環境移行 （マイメニューを使用・再現される方）

★メリット

1. **マイメニュー**（グラフや分析結果）**を再現**
2. **簡単**に設定やデータを取り込むことが可能
3. 辞書などの**詳細な設定が不要**

☆デメリット

1. 「ぱっとマイニングJP」**エクスポートが必要**

Bコース ここをクリック

データ 読込 （査読業務をされる方）

★メリット

1. 各種データベースから**ダウンロードしたデータ読込**が可能
2. データからの**文書抽出、査読業務**が可能
3. ぱっとマイニングJPで**エクスポートが不要**

☆デメリット

1. 「ぱっとマイニングJP」から環境移行を行なわない場合、**初期設定**であるため、それぞれの設定を行なう必要がある

※ マイメニュー

マイメニューは、グラフや分析を記憶したメニューの一覧で構成されております。「ぱっとマイニングJP」では、このマイメニューの作成を行なうことができますが、「ぱっとマイニング ・ビューア」では「ぱっとマイニングJP」で作成したものを再現することができます。

マイメニュー再現コース

データの移行作業

一時環境での操作で、マイメニューの再現や、
マイメニューからのリンク抽出等を行なうことができます

Aコース. データ・環境移行（マイメニューを再現される方）

Step1　ファイルを手に入れる

ぱっとマイニングJPからファイルをエクスポートします。

→ ぱっとマイニングJPからのエクスポートへ

Step2　ファイルを取り込む

ぱっとマイニング・ビューアで、一時環境の取込みとファイル読込をします。

→ 一時環境の取込みとファイル読込へ

Step3　実際に使用する

データ・環境移行完了後は、実際に使用できます。

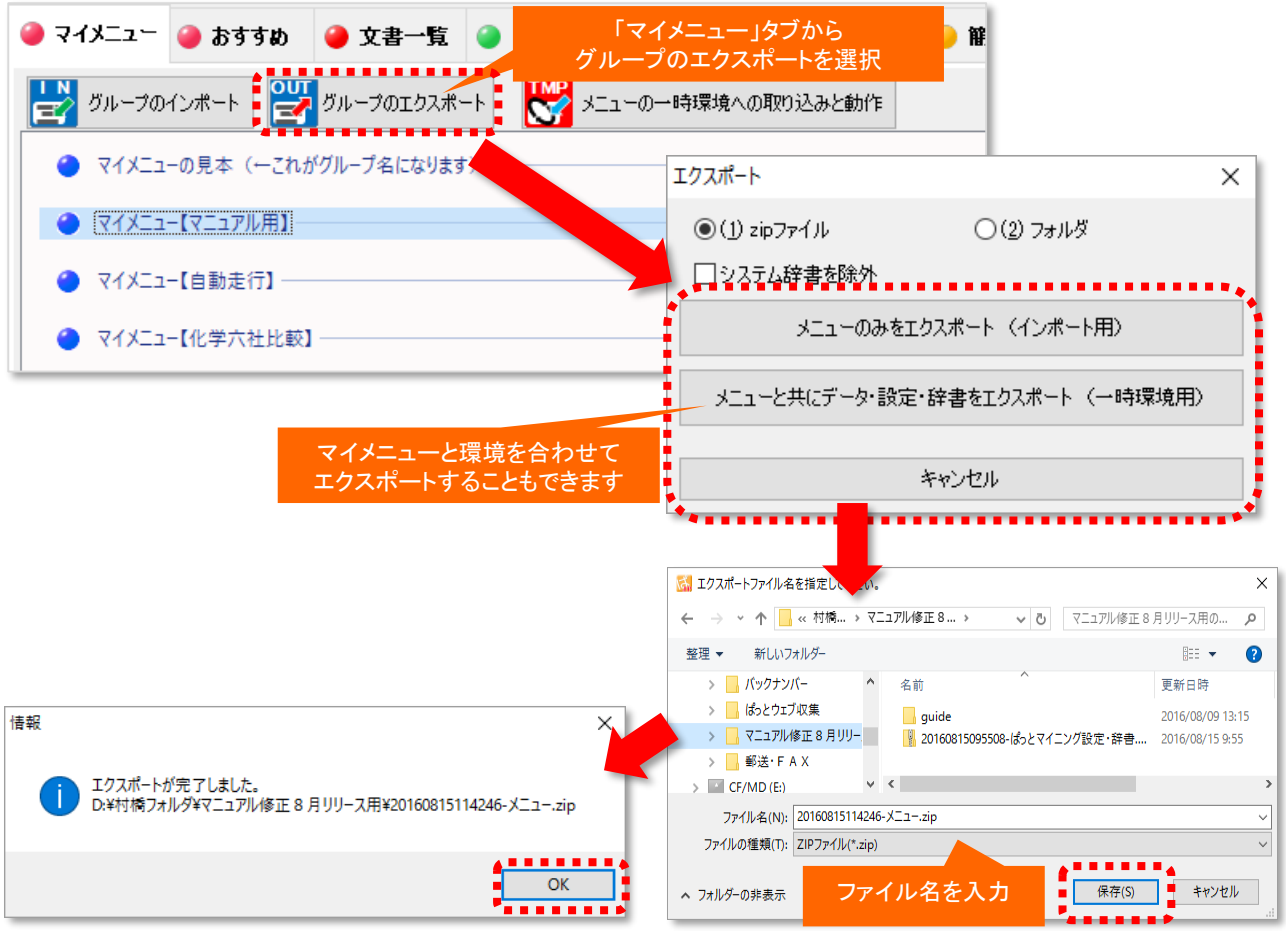
→ メインウィンドウへ

※　データの移行のファイルは、**ぱっとマイニングJPからのエクスポートで入手できます。**

ぱっとマイニングJPをお持ちの方から、エクスポートしたファイルを受け取ってデータ・環境移行作業を行なう必要があります。

ぱっとマイニングJPからのエクスポート

ぱっとマイニングJPからのエクスポート　※ぱっとマイニングJP画面



ここでの注意ポイント！

■ エクスポートとは？

エクスポートとはデータを出して保存することです。「ぱっとマイニング・ビューア」では、「ぱっとマイニングJP」からデータをエクスポートする必要があります。「ぱっとマイニングJP」からマイメニューと環境を合わせてエクスポートしていただくためには、マイメニュータブから「グループのエクスポート」を選択します。

■ 「グループのエクスポート」を選択する

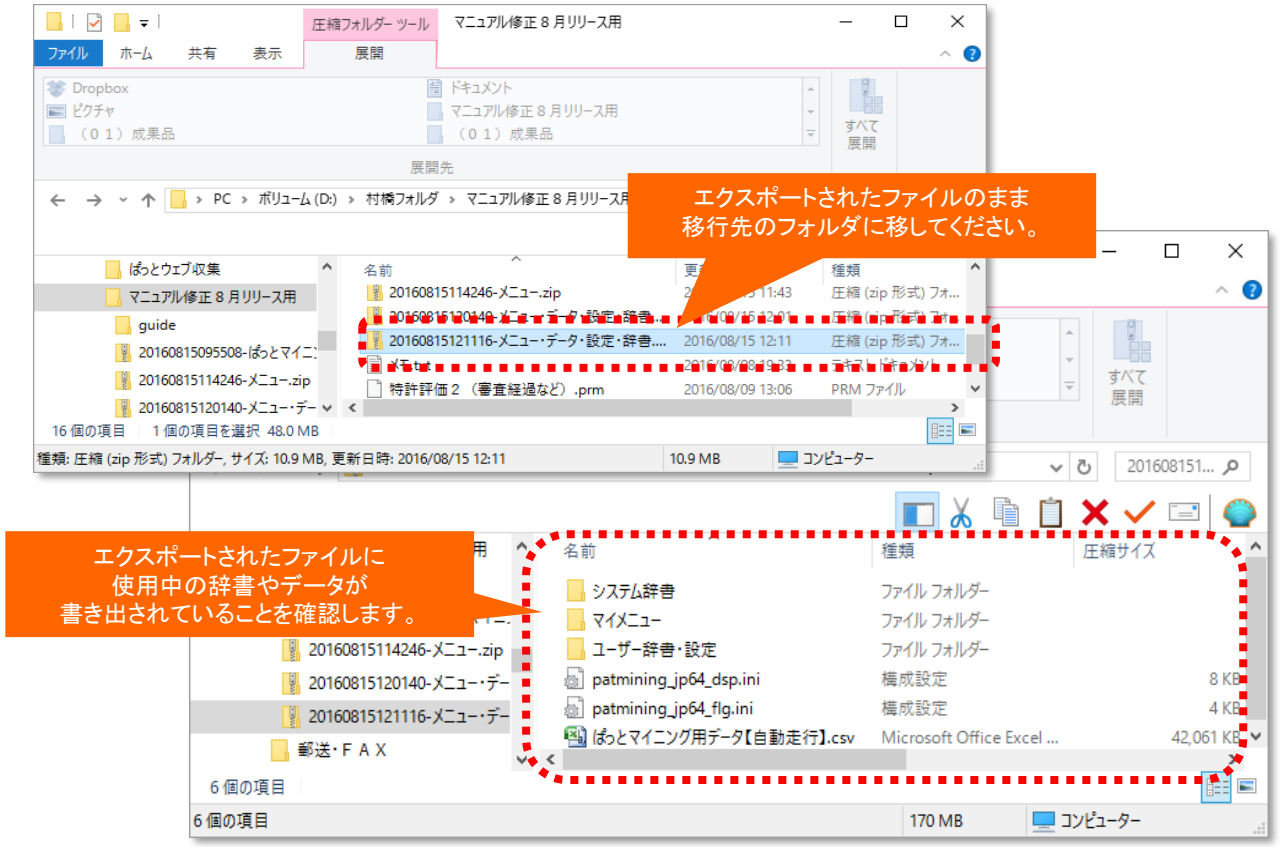
目的に合わせたエクスポート方法を選択してください。データ送受信の時間を短縮可能なzipファイルでの保存も可能です。また、データの軽量化を目的に、システム辞書を除外してエクスポートすることも可能です。

マイメニューに登録されているグループのエクスポートを行なうことができます。他のパソコンとやり取りを行なう場合、エクスポート先のフォルダを選択し、「メニューと共にデータ・設定・辞書をエクスポート」を選択します。

エクスポート方法の選択後、エクスポート画面からグループのエクスポート先を選択し、「OK」をクリックします。

環境移行に必要なファイルを確認

環境移行に必要なファイルを確認（一時的な移行）



※　システム辞書を除外した場合、システム辞書はファイル内に含まれません。
取込みを行なう環境にあるシステム辞書が利用されます。

ここでの注意ポイント！

■　環境移行に必要なファイル

「ぱっとマイニング ・ビューア」に取り込むファイルはエクスポートされたファイルのまま 「ぱっとマイニング ・ビューア」をインストールしたパソコンに移してください。取り込み方法は次のページで説明します。

■　ファイル内の確認

「ぱっとマイニングJP」からエクスポートされたファイルに、使用中の辞書やデータが書き出されていることを確認してください。

■　エクスポートされる内容

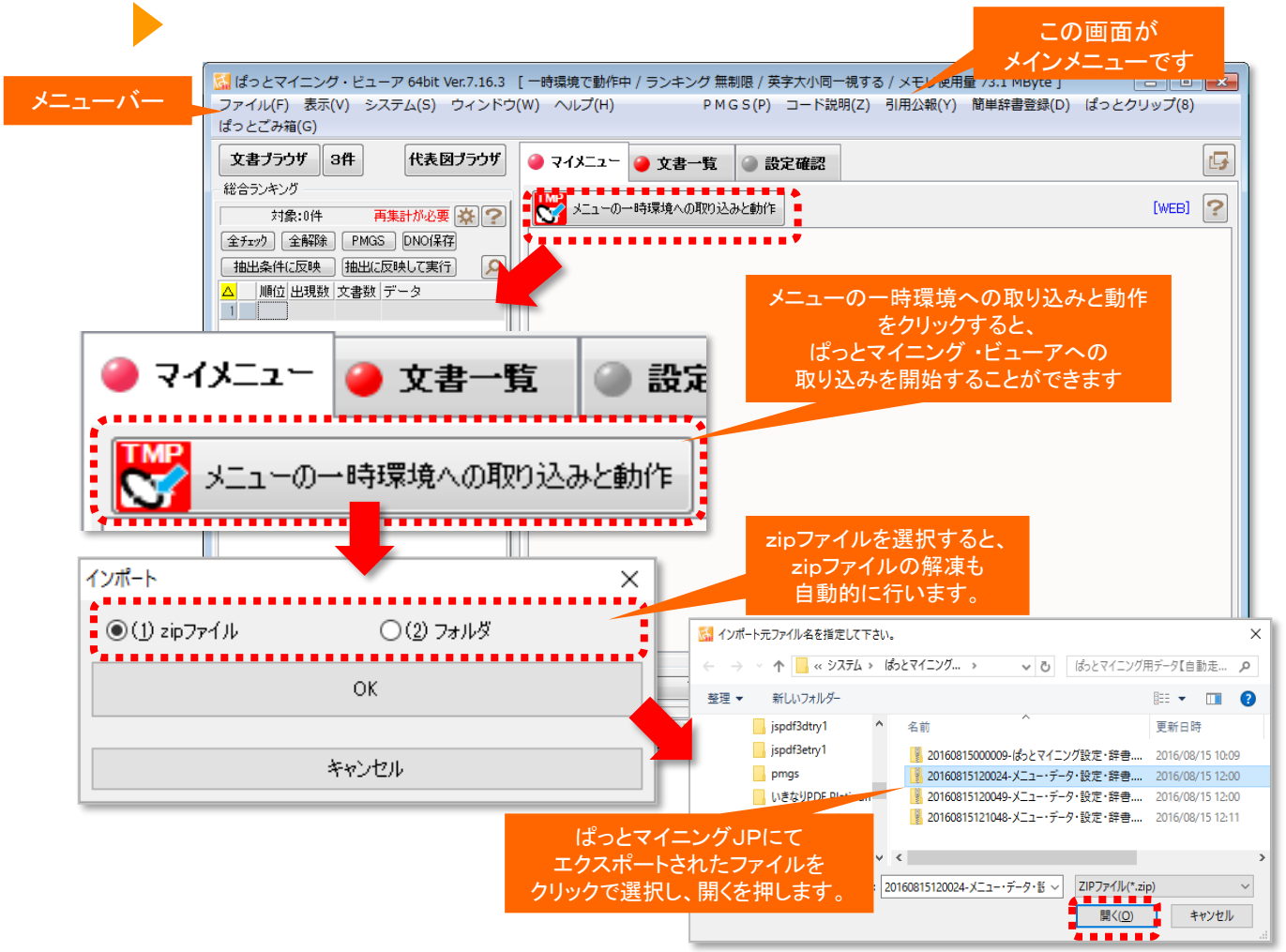
「ぱっとマイニングJP」からエクスポートされたファイルには辞書、環境設定、マイメニュー時の内容が記録されております。

※　ぱっとマイニングJPで保存し、同じ環境でもマイメニューで再現ができない箇所は環境を移行後も、再現されないためご注意ください。
（例）関連図のノード固定、縦軸・横軸の範囲設定、右袖のチェックボックスで変更可能な軸設定の一時的な並び順やチェック状態等の表示設定、グラフ上の右クリックメニューから表示変更した名称

※　グラフブラウザ以外の分析は条件設定が反映された状態で保存されておりますので、「分析実行」をクリックする動作などが必要となります。

ぱっとマイニング ・ビューアへの取り込み

※ここからは、ぱっとマイニング・ビューア画面



ここでの注意ポイント！

■ メインメニュー

『文書一覧』『文書ブラウザ』などにおける表示項目の順番を入れ替える際、複数の表示項目を選択して、一度に移動させることができます。

■ メニューの一時環境への取り込みと動作

マイメニュータブの下にある「メニューの一時環境への取り込みと動作」をクリックすると、ぱっとマイニング ・ビューアへの一時環境への取り込みを開始することができます。

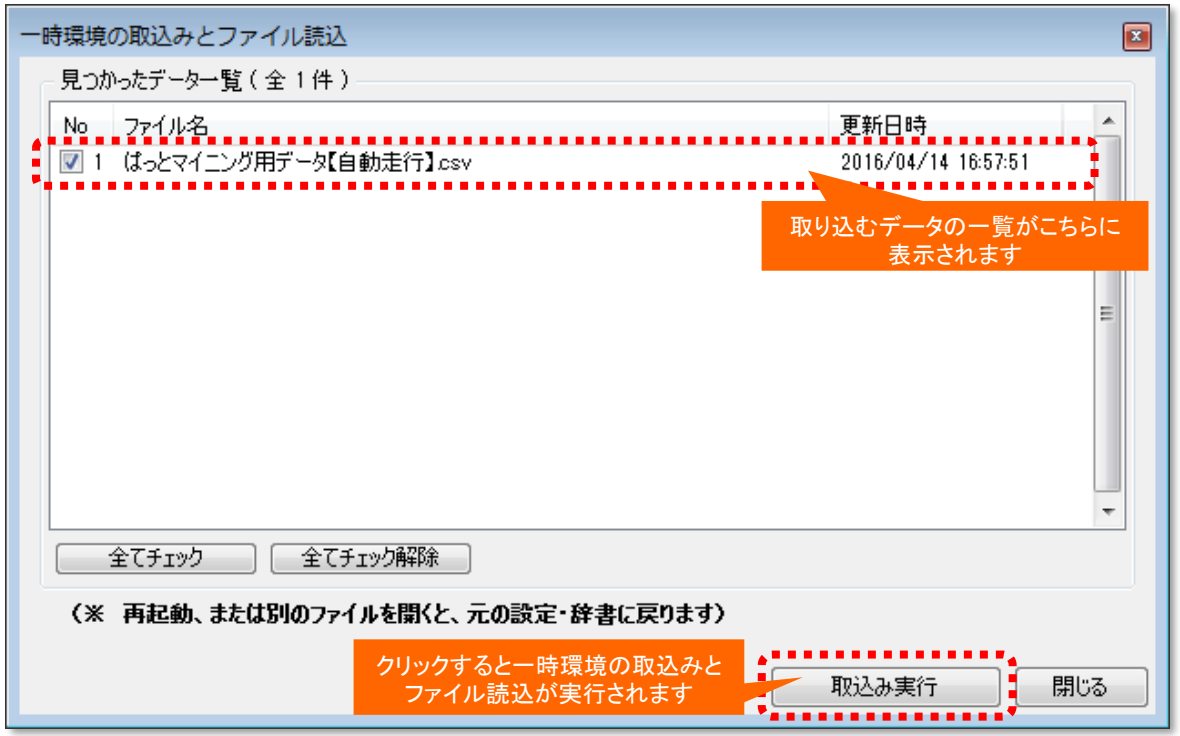
■ インポートするデータの保存形式の選択

インポート時の保存形式は(1)zipファイルか(2)フォルダかを選択できます。いずれかを選択し、「OK」を押します。インポート時の保存形式でzipファイルを選択すると、自動解凍して読み込みます。

一時環境への取り込みをするフォルダーをクリックで選択し、「OK」を押します。この際、フォルダー内のデータやマイメニュー各種を選択しているとうまく取り込みができません。ご注意ください。

一時環境の取込みとファイル読込

一時環境の取込みとファイル読込



※ 「ぱっとマイニング・ビューア」で一時設定として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

ここでの注意ポイント！

■ 一時環境の取込みとファイル読込

一時環境の取込みを行なうファイルを確認し、一時環境の取込みを行ないます。これにより、ぱっとマイニングで編集したデータの保存を行ない、新しくメモやフラグの追加を行なっていた場合、そのデータを選択することができます。データの保存を行なう場合は、『データの保存形式の選択』をご覧ください。

※ 一時設定で取り込まれたデータはすべて、ぱっとマイニングを終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

■ 一時環境の適用

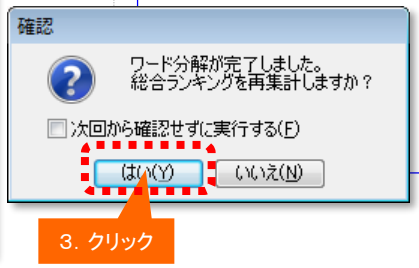
一時環境は、すべての設定が自動的に、ぱっとマイニングJPでエクスポートしたときの内容で適用されます。再起動、または別のファイルを開くと、一時環境時のデータは削除されますのでご注意ください。

■ 見つかったデーター覧

見つかったデーター覧では、選択したフォルダ内のメニューが一覧で表示されます。チェックしたデータが取り込み対象となります。

ワード分解

『 ワード分解を使用する 』にチェックを入れる



ここでの注意ポイント！

■ 選択ファイルの確認

ファイル形式選択後、ファイルの読込みが完了すると、文書データの確認ウィンドウが表示されます。
選択したファイルが間違っていないかどうか、ファイル名やファイル形式などを確認してください。

■ ワード分解モードの選択

［ワード分解を使用する(E)］に、チェックが入っているかどうかを確認します。
［ワード分解を使用しない(D)］を選択すると、パソコンへの負荷は少なくなりますが、ワード関連の機能が利用できませんのでご注意ください。
キーワードの総合ランキングもワード分解を行なうと表示されます。

データの読込作業

通常環境での操作で、データベースからのデータを
ダウンロードし、文書の条件抽出や査読が可能

Bコース.データ 読込 （マイメニューを不使用）

Step1　データを手に入れる

JPネット等各種データベースからファイルをダウンロードします。

→ JP－NETからデータをGET！へ

Step2　ダウンロード時の注意点

ファイルをダウンロードされる際の注意点。

→ ファイル形式判別のために必須な項目へ

Step3　データの読み込み

データダウンロード完了後は、実際にソフトに取り込みます。

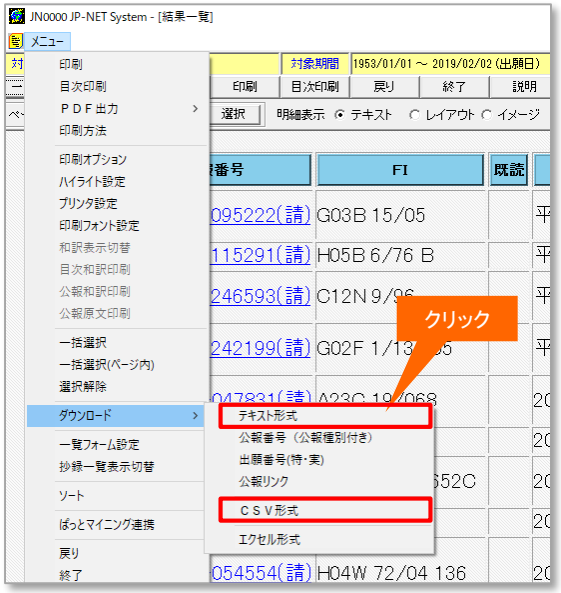
→ ファイルを開き、データの読み込みを行なう

※ 読み込むためのデータファイルは**ぱっとマイニングJPと同様のものを使用できます。**

査読業務コース

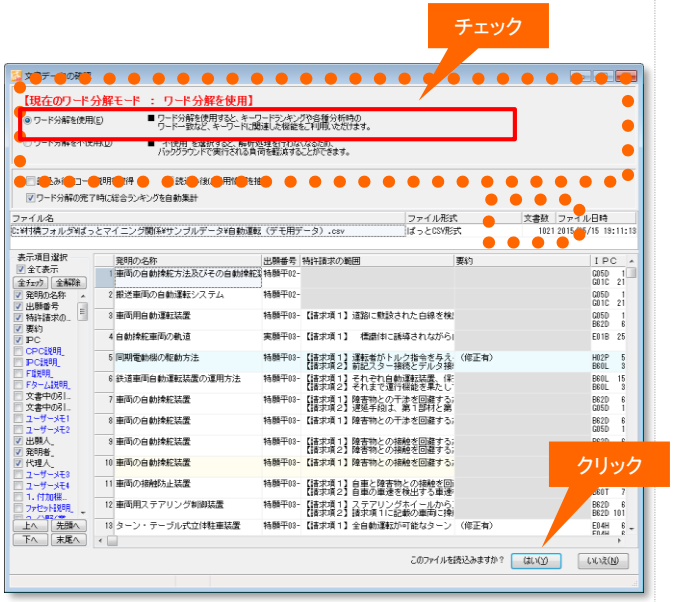
JP－NETからデータをGET！

JP－NET全文テキストに対応！



JP－NETの「結果一覧」画面から、必要な公報にチェックをつけ、**テキスト形式、またはCSV形式でダウンロード**します。

データを読み込もう！



ぱっとマイニングJPを起動し、JP－NETでダウンロードしたファイルを指定すると、データの読み込みを開始します。

読み込みが終わると『文書データの確認』ウィンドウが表示されますので、ファイル名、文書数を確認し、**ワード分解機能を使用する／しない**のラジオボタンを選択して『はい』をクリックします。

ここでの注意ポイント！

■ **JP－NETの全文ダウンロードに対応**

ぱっとマイニングJPはJP－NETの全文ダウンロードに対応しています。請求項や要約、発明の詳細、実施例など、特許特有の項目を認識して分解しますので、JP－NETでのダウンロード時に必要な選択項目をチェックしてダウンロードします。

■ **JP－NETテキストを読み込む**

ダウンロードしたJP－NETデータ、または保存しておいたぱっとマイニング形式テキストデータ(.pmx)またはぱっとマイニング形式CSVデータ(.csv)を指定すると、ぱっとマイニングJPでデータの読み込みが行われます。

■ **データの追加読み込み**

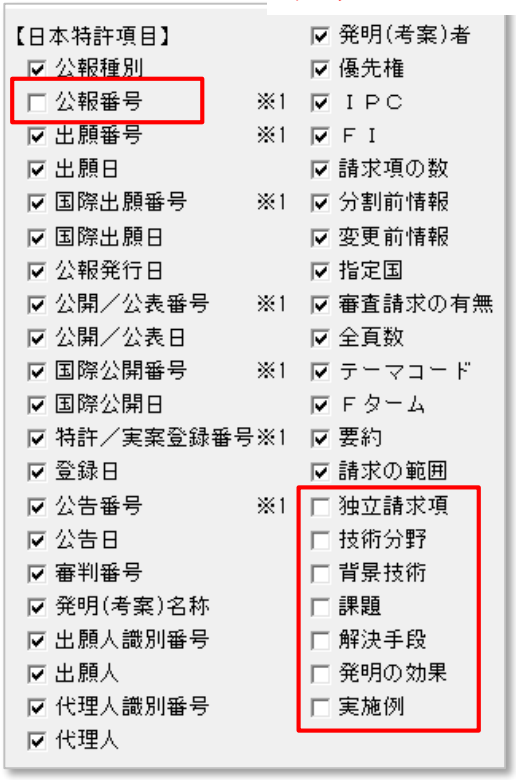
読み込むファイルの選択時に、複数のファイルを選択することができます。また、すでにファイルが読み込まれている状態でも、メニューバーの［ファイル(F)］→［ファイルの追加(P)］をクリックしてファイルを追加読み込みすることができます。その際、重複している文書について除くかどうか選択することができます。

※　JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。
ぱっとマイニングで読み込み可能な形式は、「テキスト形式」と「CSV形式」です。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

JP－NETからデータをGET！

CSVデータダウンロードでの注意点

JP－NET/NewCSSのCSVの、ダウンロードに新しく追加された項目



【日本特許項目】		☑	発明(考案)者
☑	公報種別	☑	優先権
☐	公報番号 ※1	☑	ＩＰＣ
☑	出願番号 ※1	☑	ＦＩ
☑	出願日	☑	請求項の数
☑	国際出願番号 ※1	☑	分割前情報
☑	国際出願日	☑	変更前情報
☑	公報発行日	☑	指定国
☑	公開／公表番号 ※1	☑	審査請求の有無
☑	公開／公表日	☑	全頁数
☑	国際公開番号 ※1	☑	テーマコード
☑	国際公開日	☑	Ｆターム
☑	特許／実案登録番号 ※1	☑	要約
☑	登録日	☑	請求の範囲
☑	公告番号 ※1	☐	独立請求項
☑	公告日	☐	技術分野
☑	審判番号	☐	背景技術
☑	発明(考案)名称	☐	課題
☑	出願人識別番号	☐	解決手段
☑	出願人	☐	発明の効果
☑	代理人識別番号	☐	実施例
☑	代理人		

JP－NET/NewCSSのダウンロード項目追加に関する注意点

■ JP－NET/NewCSSのCSVでダウンロードができる項目が追加、変更されました。
以下の項目をCSVでダウンロードできます。

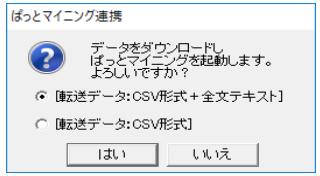
公報番号
独立請求項
技術分野
背景技術
課題
解決手段
発明の効果
実施例

CSVデータのみを使用する場合、CSVダウンロード新規追加項目を含めたすべての項目をチェックし、ダウンロードしていただくことができます。
※ただし、“公報番号”の項目はぱっとマイニングJPでは、読み込むことができません。
※ 独立請求項も分析対象項目として使用できます。

■ テキストデータとCSVデータを結合し、分析する際は、CSVダウンロードの項目から左図のように、「公報番号」「独立請求項」「技術分野」「背景技術」「課題」「解決手段」「発明の効果」「実施例」のチェックを外してご利用ください。

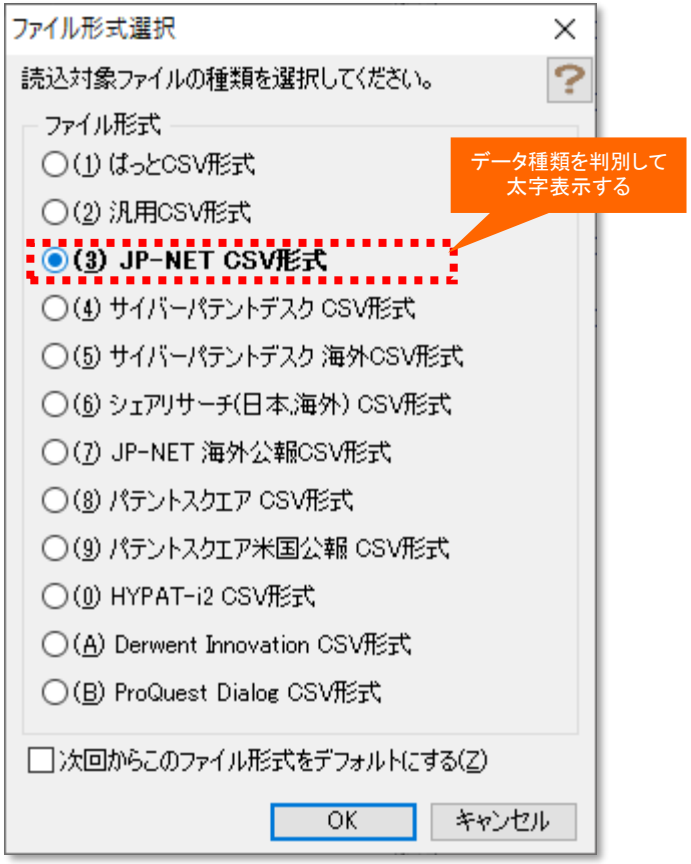
■ JP－NET/NewCSSのぱっとマイニング連携（※オプション）で、“CSV形式”を選択すると、CSVダウンロード新規追加項目「公報番号」「独立請求項」「技術分野」「背景技術」「課題」「解決手段」「発明の効果」「実施例」のないデータをダウンロードできます。“CSV形式＋全文テキスト”を選択すると、「公報番号」「独立請求項」「技術分野」「背景技術」「課題」「解決手段」「発明の効果」「実施例」の本文は、テキスト全文からデータを取り込みます。

※ JP－NETのご契約に、
連携オプションの追加が必要です。



各種データベースからデータをGET！

CSV形式データの読み込み



CSV形式データを開く

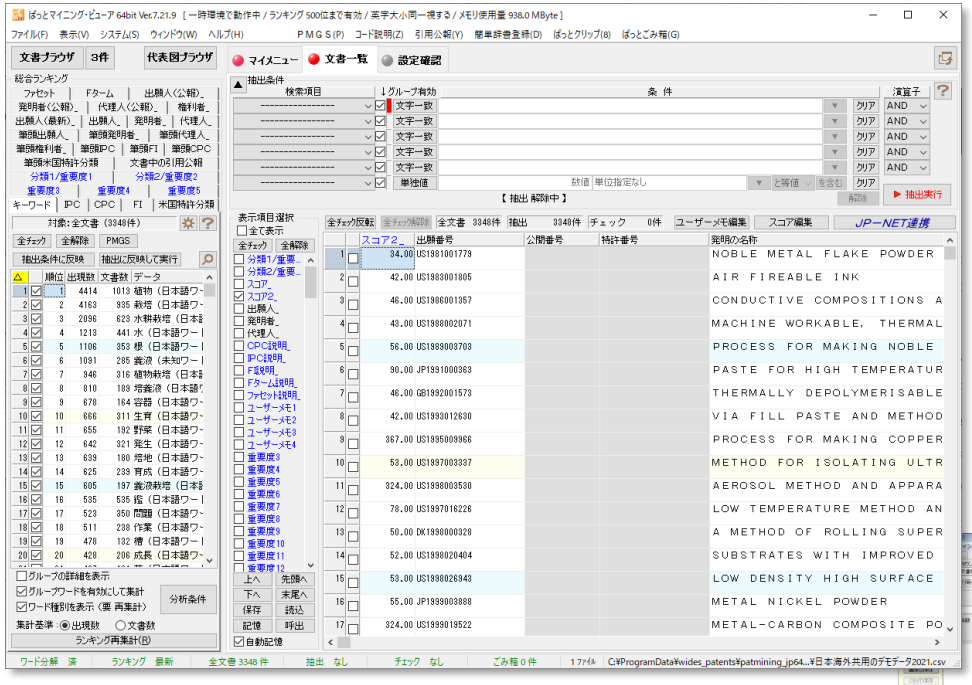
- ぱっとマイニングJPでは、左図のデータベースのCSV形式のデータを読み込んで分析に利用することができます。
- テキストデータのみで読み込んだ場合、左図のポップアップは表示されることなく、自動認識で読み込みを開始します。
- データベースの記載のないデータの場合は、「(2)汎用CSV形式」を選択すると、読み込むことができます。ただし、項目名等によっては、正しく読み込めない場合があります。
- 自社内で蓄積したデータであっても、公報種別や公報番号の名称が、【】で囲まれた状態になっているCSV形式のデータであれば読み込める可能性があります。一行目がタイトル行となっており、公報種別、公開番号、特許番号、出願番号が入っていなければなりません。
- ProQuest Dialogは、(株)ジー・サーチのデータベースサービスです。

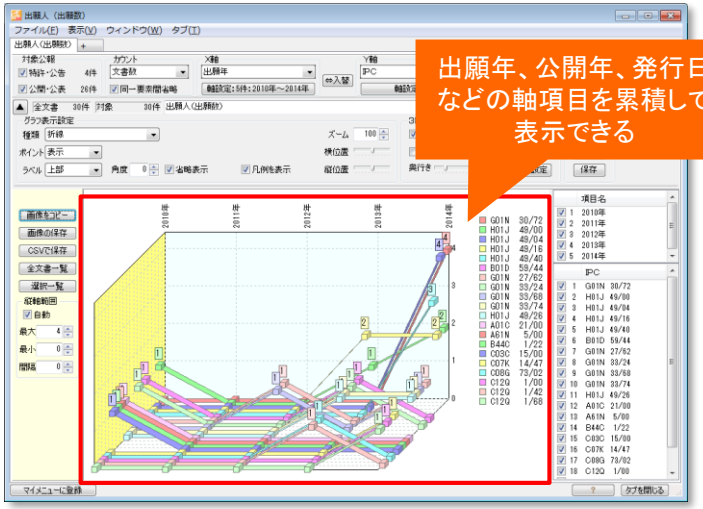
査読業務コース

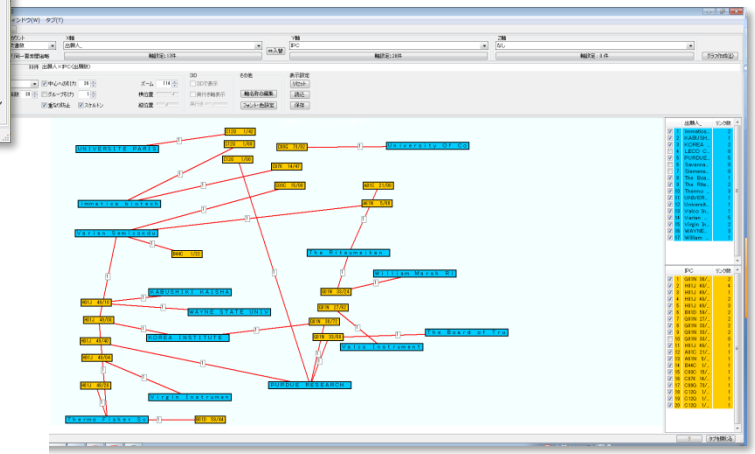
JP－NETからデータをGET！

中国特許、ドイツ特許の英文公報に対応！！

英文公報でも、日本特許と同様の分析、マップ作成が可能に！！







JP－NETの海外特許、US、EP、WOに加えて、

中国・ドイツの英文公報に対応しました。

日本特許と同じ手順で分析・査読・マップ作成ができます。

※　海外公報には、データの形式上、経過情報が存在しないため、
　　経過情報を使った分析を行なうことができません。

各種データベースからデータをGET！

読み込み可能なデータの種類

これらのファイル形式が読み込み可能！

1	ぱっとマイニング形式（pmx：旧形式）
2	ぱっとCSV形式
3	汎用CSV形式
4	JP－NET　テキスト形式
5	JP－NET　CSV形式
6	サイバーパテントデスク　CSV形式
7	サイバーパテントデスク　海外CSV形式
8	シェアリサーチ（日本、海外）　CSV形式
9	JP－NET　海外公報CSV形式
10	パテントスクエア　CSV形式
11	パテントスクエア米国公報　CSV形式
12	HYPAT-i2　CSV形式
13	Derwent　Innovation　CSV形式
14	ProQuest　Dialog　CSV形式
15	JDreamⅢ形式　タブ区切りテキスト形式

様々なデータベースのデータに対応

- ぱっとマイニングJPでは、左の表のデータベースのデータを読み込んで分析に利用することができます。
- 左の表に記載のないデータ種類の場合は、「汎用CSV形式」を選択すると、読み込むことができるかもしれません。ただし、項目名等によっては、正しく読み込めない場合があります。
- JP－NET以外のデータベースのデータについては、一部読み込めない項目がある場合があります。
- 海外の対象公報については下記の表をご参照ください。（※オプション追加にて対応）
- 海外は英語データのみ読込み・分析の対象となります。

海外の対象公報

	US	EP	WO	CN	DE	IN	KR	TW	GB	FR	JP
JP－NET	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Derwent　Innovation	○	○	○	○							
シェアリサーチ	○	○	○								
パテントスクエア	○										
サイバーパテント	○										

- データ読み込み時に、書誌事項を除く本文（ワード分解の対象となる各項目）は全角に変換します。また、出願人、発明者、代理人、権利者の名称も全角に変換します。出願日等の年月日や分類コード、項目名に%を付与した独自項目は変換しません。

ぱっとマイニングでは日本語も英語も全角に変換！
だから日英混合のデータでも分析が可能になる

各種データベースからデータをGET！

ファイル形式判別のために必須な項目

データ形式	必要な項目
ぱっとマイニングCSV形式	【スコア】または【ノイズ】
	【公報種別】
	【出願番号】
	【公開番号】
	【登録番号】
	【公告番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】
JP－NET　CSV形式	【公報種別】
	【出願番号】
	【公開／公表番号】
	【特許／実案登録番号】
	【公告番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】
サイバーパテントデスク CSV形式	【No.】
	【公報番号】
	【出願番号】
	【公開・公表番号】
	【登録・特許番号】
	【公告番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】
サイバーパテントデスク 海外　CSV形式	【No.】
	【USC（公報）】
	【公報番号】
	【出願番号】
	【公開番号】
	【特許・登録番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】

データダウンロード時に要注意

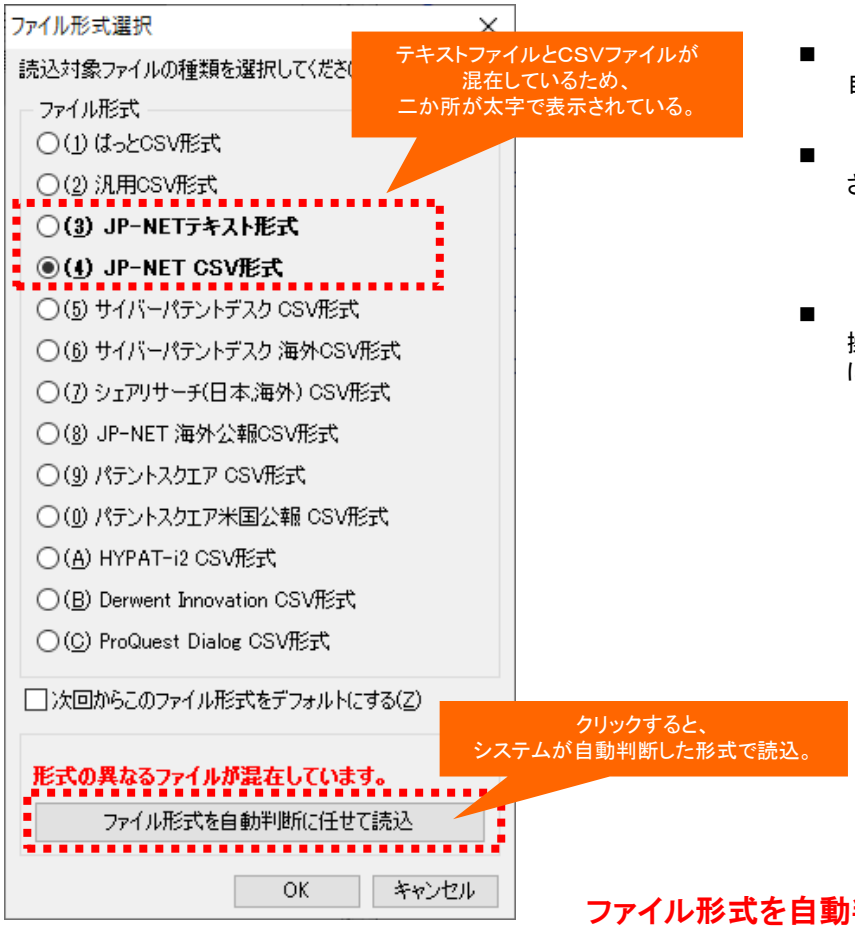
データ形式	必要な項目
シェアリサーチ（日本、海外） CSV形式	【四法】
	【公報種別】
	【出願番号】
	【公開・公表番号】
	【公告・登録番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】
JP－NET 海外公報CSV形式	【公報種別】
	【出願番号】
	【公開番号】
	【特許番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】
パテントスクエア　CSV形式	【No】
	【四法】
	【出願番号】
	【公開・公表番号】（または【公開番号】と【公表番号】）
	【登録・公告番号】（または【登録番号】）
	【国際公開番号】
	【出願人・権利者名】
HYPAT－i2　CSV形式	【出願番号】
	【公開（公表）番号】
	【公告・登録番号】（または【登録番号】
	【国際出願番号】
	【国際公開番号】

- ぱっとマイニングJPでは、読込み対象ファイルのファイル形式を、上記の項目によって自動選択しています。
- 読込み対象ファイルをご準備される際には、上記の項目が必ず含まれるようにしてください。
- パテントスクエア米国公報と、Derwent InnovationCSVの公報データもデータ読み込みが可能です。必要な項目については標準マニュアルの個別のページをご覧下さい。

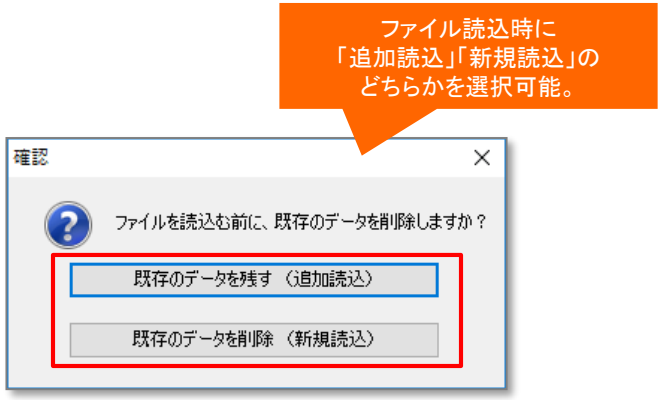
各種データベースからデータをGET！

複数の形式のファイル読み込み

CSVとテキストなど、形式の異なるファイルをまとめて開く



- ファイルを開く際に、形式の異なるファイルが混在している場合、「ファイル形式を自動判断に任せて読込」ボタンが表示されます。
- 「ファイル形式を自動判断に任せて読込」ボタンをクリックすることで、自動判断された形式で読込が行われます。
- 追加ファイルを開く場合も「ファイルを開く」から実行可能です。「ファイルを開く」を操作後に、「追加読込」「新規読込」のどちらの動作を行なうか選択画面が開くように変更しました。



ファイル形式を自動判断に任せて読込

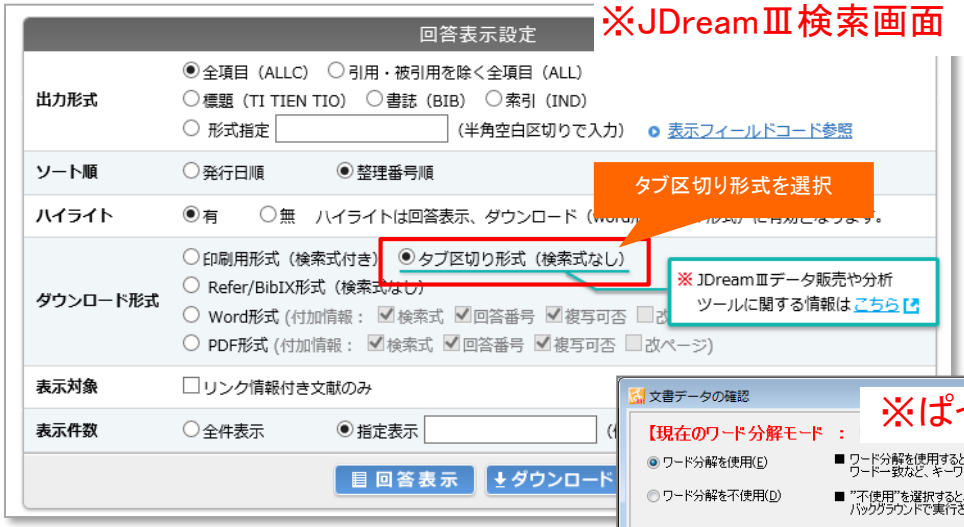
JDreamIIIからデータをGET！

JDreamⅢのデータに対応（1）

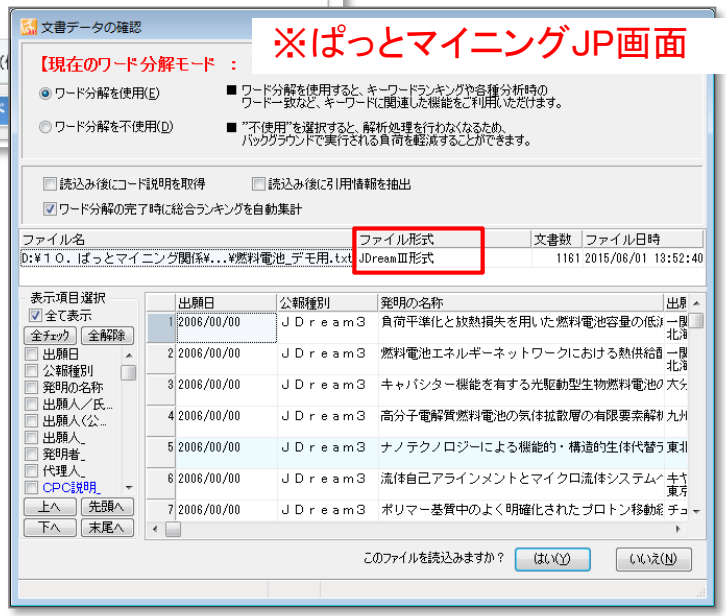
文献データベースJDreamIIIのデータで、日本特許と同様の分析、マップ作成が可能に！！

▶ ここでの注意ポイント！

※JDreamⅢ検索画面



※ぱっとマイニングJP画面



- JDreamⅢのデータの読み込み、分析に対応しました。
- JDreamⅢのデータを選択すると、「ファイル形式選択」ウィンドウが開きます。
（9） JDreamⅢ形式が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
- 「文書データの確認」ウィンドウが表示されるので、ファイル名、文書数に問題がないか確認します。
- 「ワード分解を使用」「ワード分解を不使用」のどちらかにチェックを入れます。
- 「ワード分解を不使用」を選択すると、読み込み速度が早くなり、メモリの使用量が少なくて済みますが、ワード分解を利用している機能は使えなくなります。たとえばワードのランキング機能や、ワードを利用したグラフ表示などができなくなります。
- 「OK」をクリックすると、ファイルを読み込みます。

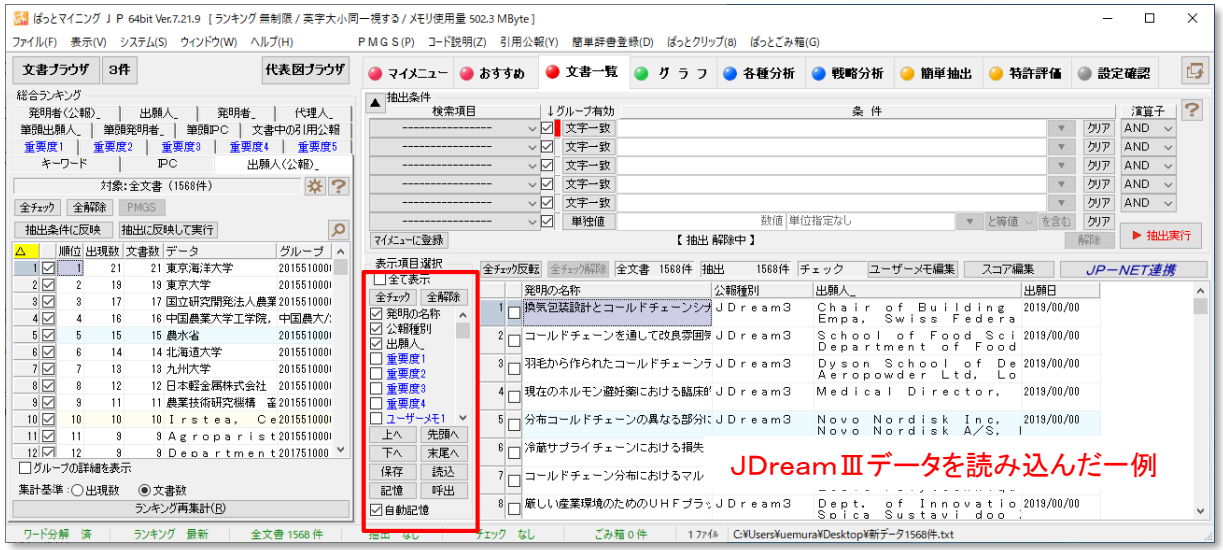
査読業務コース

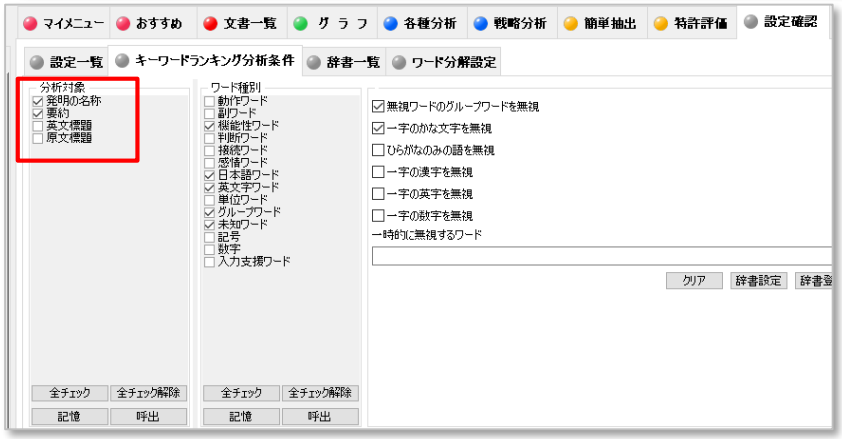
JDreamIIIからデータをGET！

JDreamⅢのデータに対応（2）

JDreamIIIの項目名を、ぱっとマイニングJPの項目に読み替えて分析

ここでの注意ポイント！





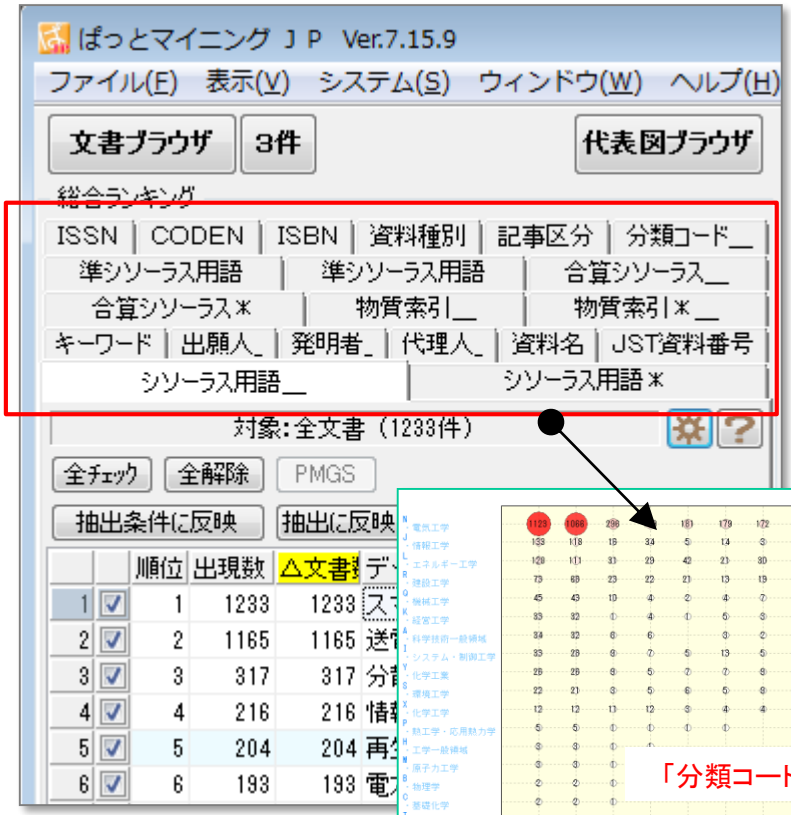
※上図はぱっとマイニングJPの画面です

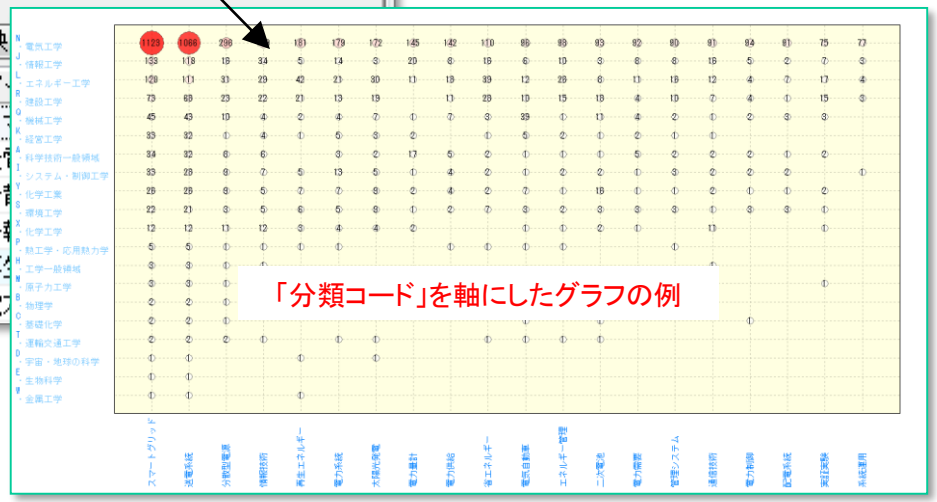
- ぱっとマイニングJPは、本来、特許公報専用に設計しておりますので、JDreamⅢのデータ読込み時に、項目名の変換（読み替え）が行われます。
- JDreamⅢ項目名
  →ぱっとマイニングJPでの項目名
- 和文標題 → 発明の名称
- 抄録/本文一部表示 → 要約
- 発行年 → 出願日
- 著者名（著者ID） → 発明者／氏名
- 所属機関名のみ → 出願人／氏名又は名称
- IPC（機械付与）→ IPC
- 2019年9月4日の改訂により、JDreamⅢのダウンロードデータの項目名が 「抄録」から「抄録/本文一部表示」に変更になり、その読み込みにも対応。過去のデータの 項目名「抄録」も、新しいデータの項目名「抄録/本文一部表示」も、ぱっとマイニングでは「要約」と読み替えます。

JDreamIIIからデータをGET！

JDreamⅢのデータに対応（3）

独自項目「合算シソーラス」による分析





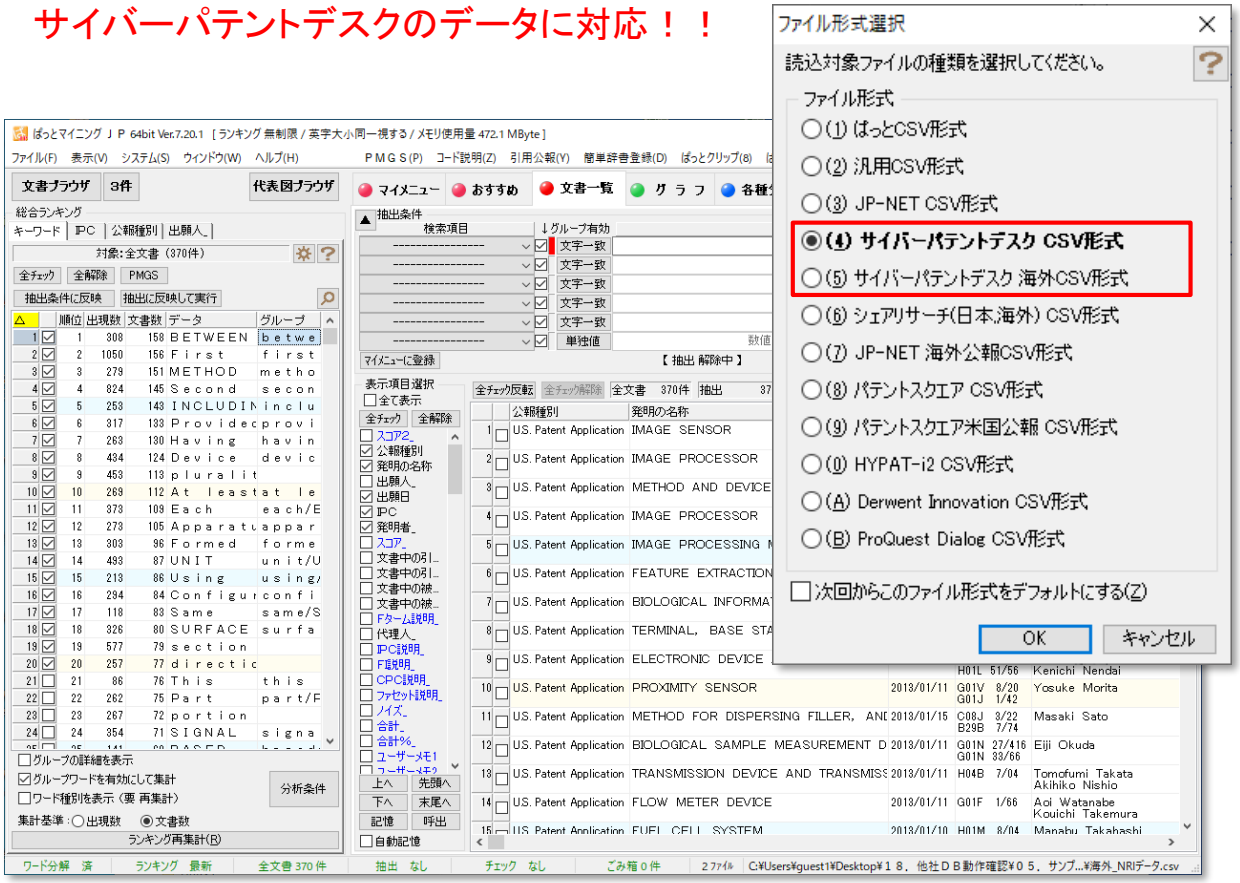
※JDreamⅢの海外のデータ読込には海外オプションなしにご利用いただけます。

ここでの注意ポイント！

- JDreamⅢのデータ読み込み時に、「合算シソーラス_」「合算シソーラス＊」「シソーラス用語＊」「準シソーラス用語＊」を独自項目として生成し、グラフや分析に活用できます。
- 「シソーラス用語」「準シソーラス用語」「分類コード」「物質索引」が、総合ランキングで集計され、グラフの軸として選択することもできます。
- 「合算シソーラス_」は、「シソーラス用語」と「準シソーラス用語」を合算して集計します。
- 「シソーラス用語＊」は「シソーラス用語」の中で＊が付けられた用語（文献のテーマに関して特に重要な用語に付けられる）だけを集計しています。
- 「準シソーラス用語＊」も同様です。
- JDreamⅢデータで新たに追加された項目，【IPC（機械付与）】に対応。

サイバーパテントデスクからデータをGET！

サイバーパテントデスクのデータに対応！！



※上図はぱっとマイニングJPの画面です

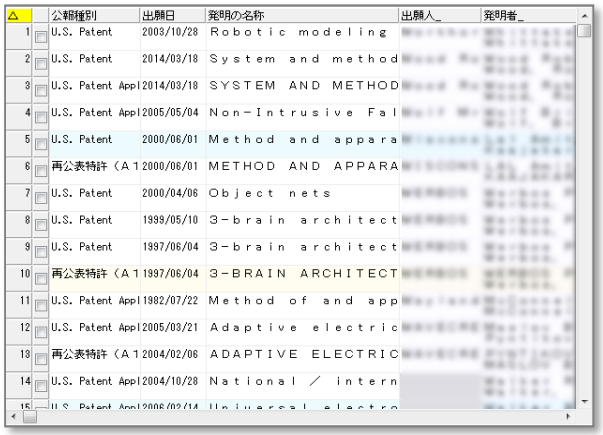
ここでの注意ポイント！

- サイバーパテントデスクの日本公報、海外公報（US）に対応しています。
- ぱっとマイニングJPでサイバーパテントデスクのUS公報を読み込むためのダウンロード条件は以下のとおりです。
- 一覧DL形式：「csv形式（項目内パイプ区切）」を選択してください。
- DL項目設定：「公開番号」「USC（公報）」に必ずチェックを入れてください。

※　「公報番号」は必須ですが、DL時に自動的に選択されるため、チェックの必要はありません。

Derwent InnovationからデータをGET！

Derwent Innovationのデータに対応！！



Derwent Innovation上での表記	ぱっとマイニング上での表記
タイトル	発明の名称
公報発行日	発行日
譲受人／出願人	出願人／氏名又は名称
譲受人 － 最新-米国	出願人／氏名又は名称(最新)
発明者および住所	発明者／氏名
FI コード	FI
F ターム	Fターム
IPC － 最新	IPC
IPC － 最新 － DWPI	IPC
CPC － 最新	CPC
CPC － 最新 － DWPI	CPC
US クラス	米国特許分類
ECLA	欧州特許分類

ここでの注意ポイント！

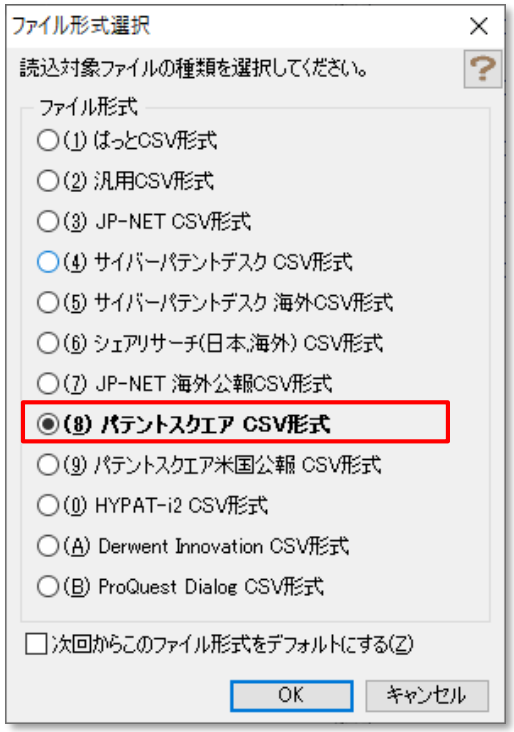
- Derwent Innovationのデータの対応国はUS、EP、WO、CNです。
- ぱっとマイニングでDerwent Innovationのデータを読み込むための必須項目は以下のとおりです。

  公報番号
  タイトル
  公報種別コード

- Derwent Innovation の公報データの読み込みの際にぱっとマイニング上では、左の表のように一部の項目名が変更されます。

パテントスクエアからデータをGET！

パテントスクエアのデータに対応！！



	公報種別	出願日	発明の名称	出願人_	発明者_
1	登録実用新案公報（U）	2013/12/27	傘用照明具		
2	登録実用新案公報（U）	2013/07/11	発光傘		
3	登録実用新案公報（U）	2011/12/12	誘導装置及び融雪装置		
4	登録実用新案公報（U）	2011/10/03	傘の柄		
5	登録実用新案公報（U）	2011/04/15	照明付、歩行者交通対策用雨傘		
6	登録実用新案公報（U）	2010/04/18	発光傘		
7	登録実用新案公報（U）	2009/07/31	発光傘		
8	登録実用新案公報（U）	2009/05/15	ランプ・反射材付き傘		
9	登録実用新案公報（U）	2008/09/08	光り傘		
10	登録実用新案公報（U）	2008/07/31	発光傘		

パテントスクエア日本公報での表記	ぱっとマイニング上での表記
四法	公報種別
ステイタス	パテントスクエアステイタス
出訴上告	出訴の有無

ここでの注意ポイント！

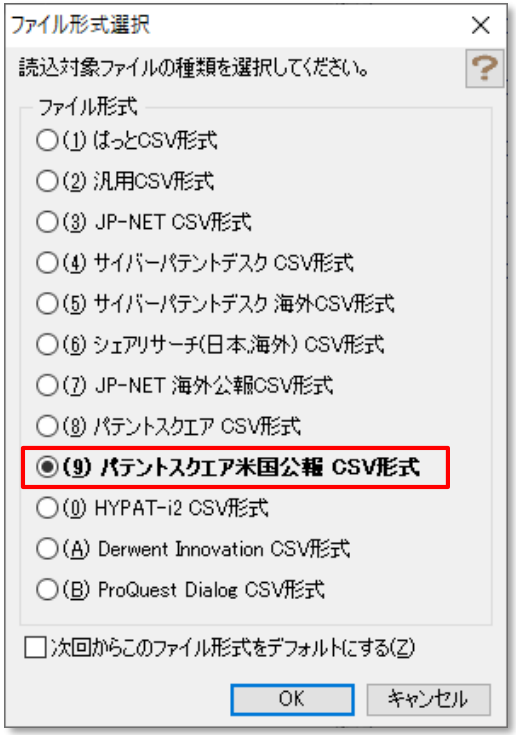
- パテントスクエアに対応しています。
- ぱっとマイニングJPでパテントスクエアの公報データを読み込むための必須項目は以下のとおりです。

  No
  出願番号
  公開・公表番号 または 公開番号と公表番号
  登録・公告番号 または 登録番号
  出願人／権利者

- 「パテントスクエア」の公報データの読み込みの際にぱっとマイニング上では、左の表のように一部の項目名が変更されます。

パテントスクエア米国公報からデータをGET！

パテントスクエア米国公報のデータに対応！！



	公報種別	出願日	発明の名称	出願人_	発明者_
1	U.S. Patent	2006/06/30	Liquid crystal displ		
2	U.S. Patent	2007/03/23	Laser cutting method,		
3	U.S. Patent	2007/10/22	Display device displ		
4	U.S. Patent	2008/09/18	Device with flexible		
5	U.S. Patent	2009/06/26	In-plane switching m		
6	U.S. Patent	2010/07/16	Image display device		
7	U.S. Patent	2011/05/03	Circular polarizer,		
8	U.S. Patent	2012/10/31	Liquid-crystal displ		
9	U.S. Patent Appl	2013/10/08	IN-PLANE SWITCHING MO		
10	U.S. Patent Appl	2015/01/13	DISPLAY DEVICE AND TF		

パテントスクエア米国公報での表記	ぱっとマイニング上での表記
新USC	米国特許分類
旧USC	米国特許分類
ステイタス	パテントスクエアステイタス
米国引用文献数	引用文献数
米国被引用文献数	被引用文献数
米国引用情報	引用文献
米国被引用情報	引用文献(被)

ここでの注意ポイント！

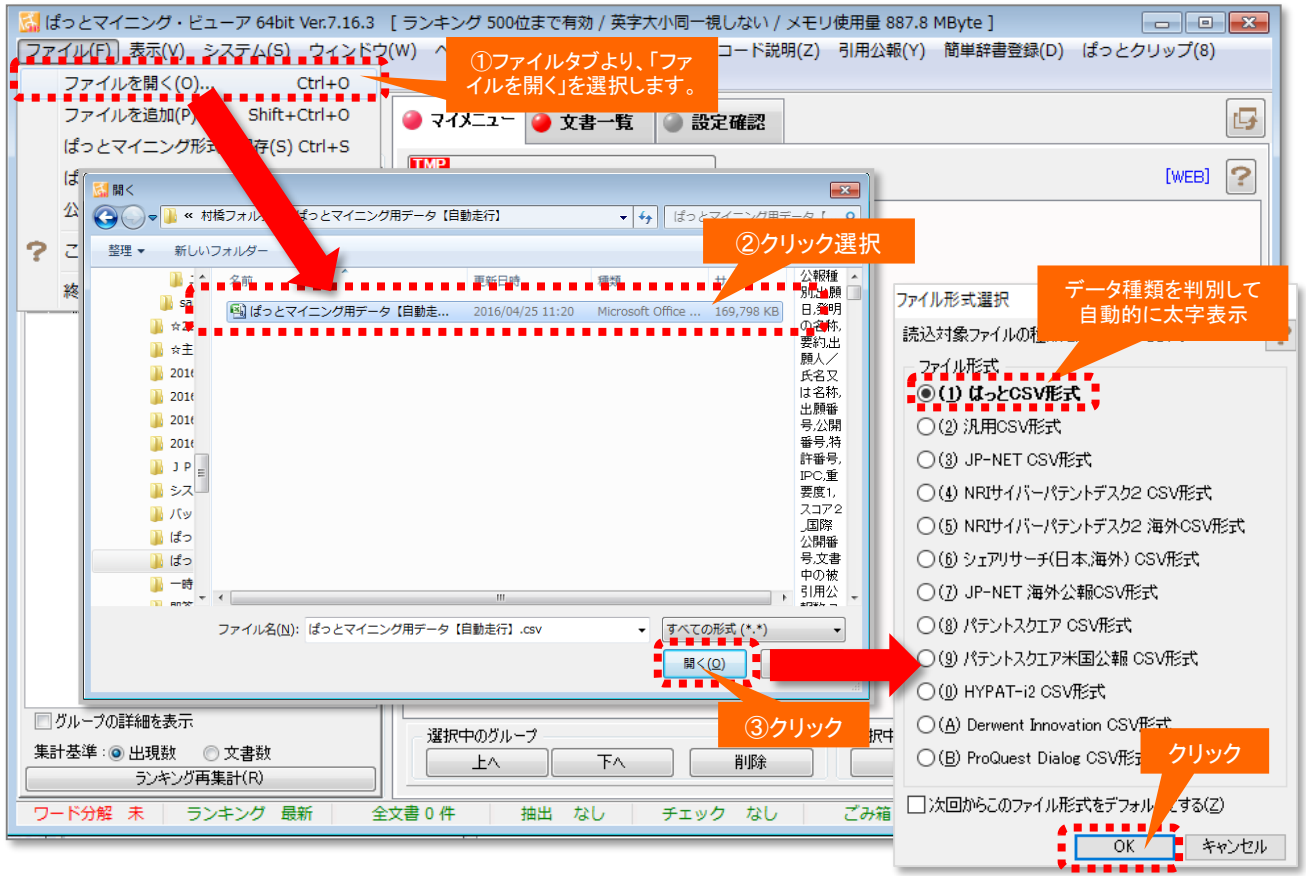
- パテントスクエア米国公報に対応しています。
- ぱっとマイニングJPでパテントスクエア米国公報を読み込むための必須項目は以下のとおりです。

  No
  出願番号
  出願人／権利者
  公報種別
  新USC （または旧USC）

- 「パテントスクエア米国公報」の読み込みの際にぱっとマイニング上では、左の表のように一部の項目名が変更されます。

ファイル形式選択

ファイルを開き、データの読み込みを行なう（通常環境での動作）



ここでの注意ポイント！

■ ファイルを開く

ファイルタブより、「ファイルを開く」を選択します。
「ぱっとマイニング ・ビューア」で、各種データベースからダウンロードしたファイルを選択します。データ形式はデータ種類を判別して自動的に太字表示されます。確認の上、「OK」を選択してください。

■ ファイルの保存

「ぱっとマイニング ・ビューア」でフラグやメモを編集したデータは、保存しない限り、「ぱっとマイニング ・ビューア」を終了すると消失します。

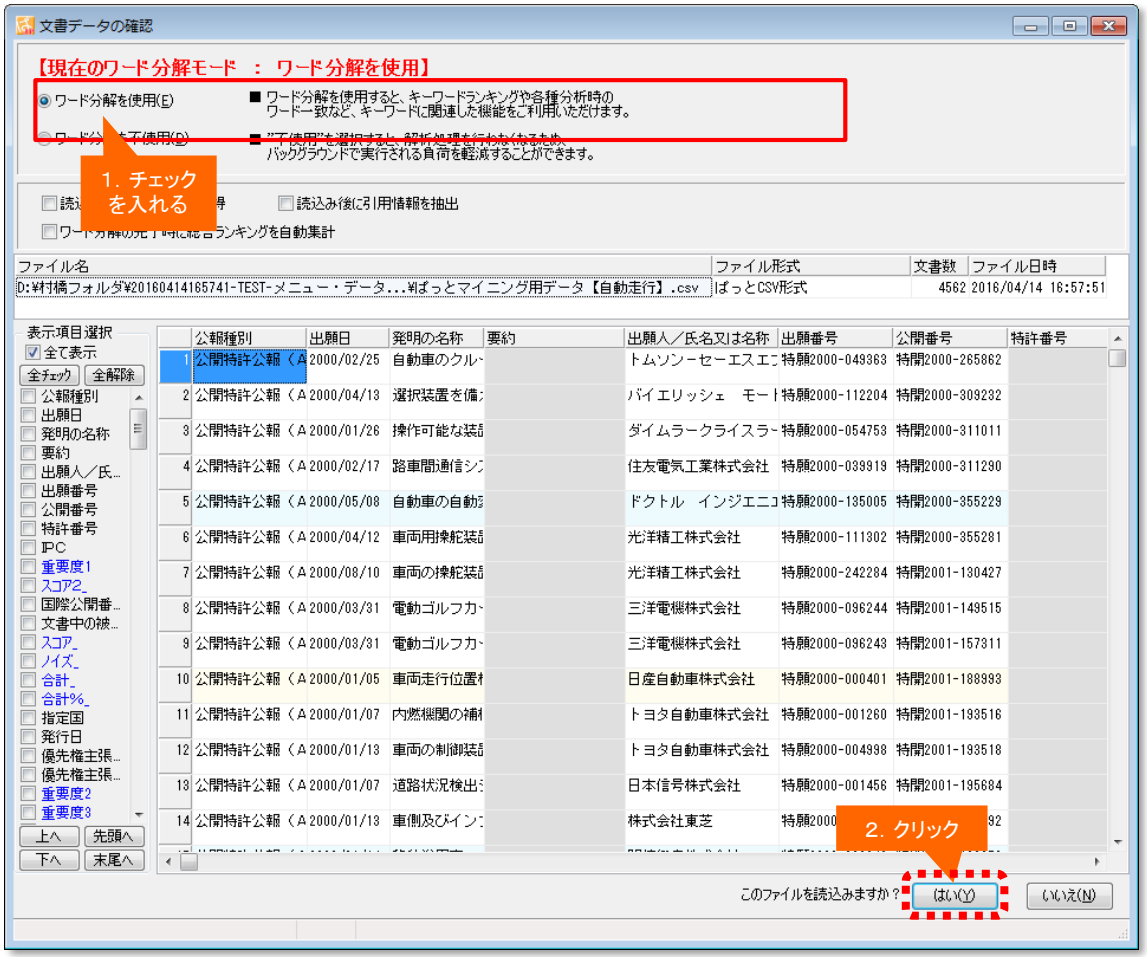
※ データの保存を行なう場合は、『データの保存形式の選択』をご覧ください。

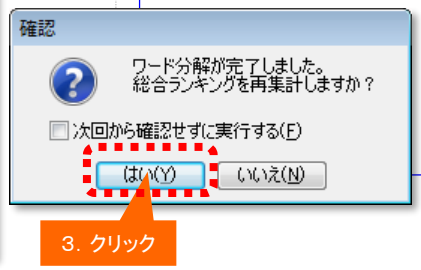
■ データの追加読み込み

読み込むファイルの選択時に、複数のファイルを選択することができます。
また、すでにファイルが読み込まれている状態でも、メニューバーの［ファイル(F)］→［ファイルを開く(O)］をクリックすると、「追加読込」か「新規読込」のどちらの操作を行なうかの選択画面が開きます。「追加読込」を選択すると、ファイルを追加で読み込むことができます。

ワード分解

『 ワード分解を使用する 』にチェックを入れる





ここでの注意ポイント！

■ 選択ファイルの確認

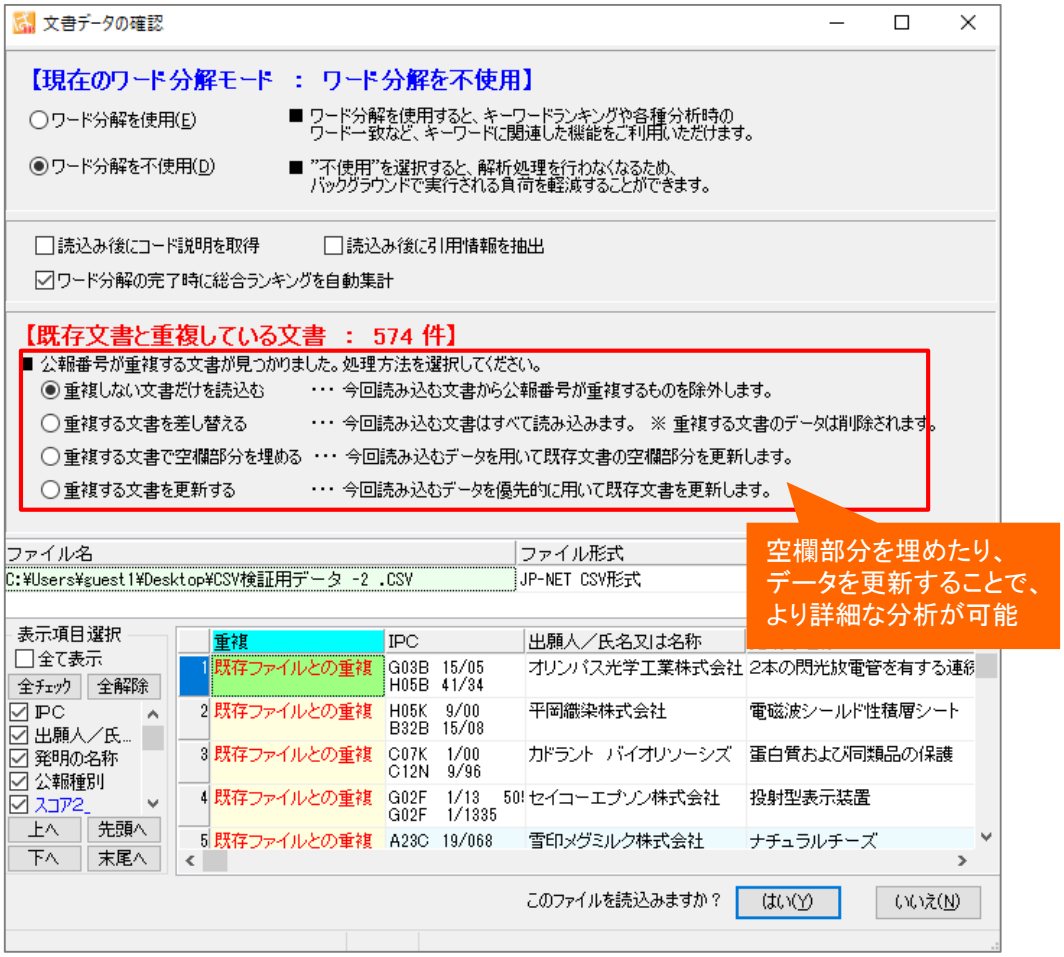
ファイル形式選択後、ファイルの読込みが完了すると、文書データの確認ウィンドウが表示されます。
選択したファイルが間違っていないかどうか、ファイル名やファイル形式などを確認してください。

■ ワード分解モードの選択

［ワード分解を使用する(E)］に、チェックが入っているかどうかを確認します。
［ワード分解を使用しない(D)］を選択すると、パソコンへの負荷は少なくなりますが、ワード関連の機能が利用できませんのでご注意ください。
キーワードの総合ランキングもワード分解を行なうと表示されます。

重複文書のチェック

複数ファイルの同時読み込み時に、文書の重複をチェックします！



空欄部分を埋めたり、データを更新することで、より詳細な分析が可能

空欄補充で追記が可能！

■ **ファイルの読込時に、複数のデータを読み込むことが可能。**

複数のデータの読込の際に、データに重複があった場合、“先に読み込まれた文書”と“後から読み込まれた文書のデータ”のどちらのデータを優先して読み込むかの設定ができます。

■ **ファイルの読込時に、公報番号が同じ複数のデータを結合する機能を2パターン追加**

複数のデータの読込の際に、データに重複があった場合、“重複する文書で空欄部分を埋める”を選択すると、“先に読み込まれた文書”の空欄となっている項目について、“後から読み込まれた文書のデータ”が補充され、ひとつの文書データとしてまとめられます。

“重複する文書を更新する”を選択すると、“先に読み込まれた文書”の項目について、“後から読込まれた文書のデータ”が更新され、ひとつの文書データとしてまとめられます。

『文書重複表示の種類』

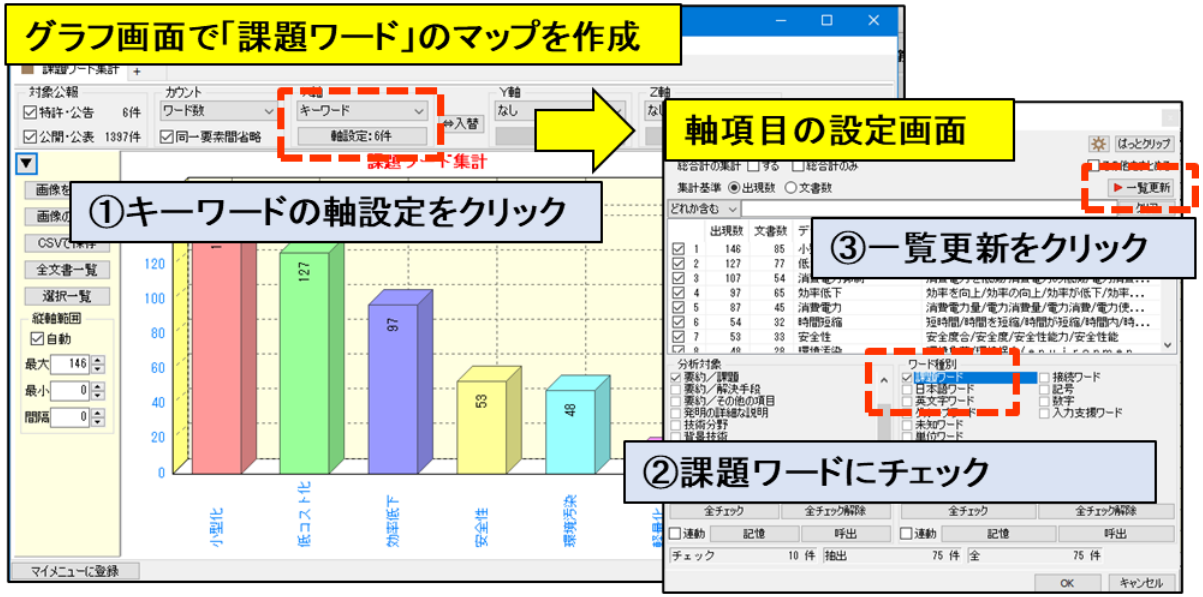
1. 既存ファイルとの重複
   …追加読込で先に読込まれている文書との重複
2. ファイル内で重複
   …今回読み込もうとしているファイル内での重複
3. 公報番号不明
   …公報番号が特定できないイレギュラーな文書

【新機能紹介】

☑ 今回新しく改訂された機能の紹介

新機能紹介

「課題ワード辞書」を新設【日本特許対応版】



課題ワードの分析強化

- 辞書設定（ワード辞書・グループ辞書）に課題ワード辞書を新設。公報中の「課題ワード」の集計、分析をより適切に実行できるようになりました。
- グラフ ＞ キーワード別 ＞ 軸設定 ＞ ワード種別に「課題ワード」を選択して一覧更新をクリックする事で「課題ワード」を軸にしたグラフを作成いただけます。
- グラフ以外の機能でも「課題ワード」による集計が可能です。
  例：ランキング分析で公報ごとのランキングを表示　etc.
- 上記事例の他、下記の操作で総合ランキングでも「課題ワード」を集計可能です。
  メインウインドウ ＞ 分析条件 ＞ ワード種別 ＞ 課題ワードにチェック ＞ ランキング再集計をクリック
- その他、キーワードを集計する各機能で、「課題ワード」辞書を選択していただけます。

※　ぱっとマイニングの新規インストール時は、設定不要で課題ワード辞書がご使用いただけます。

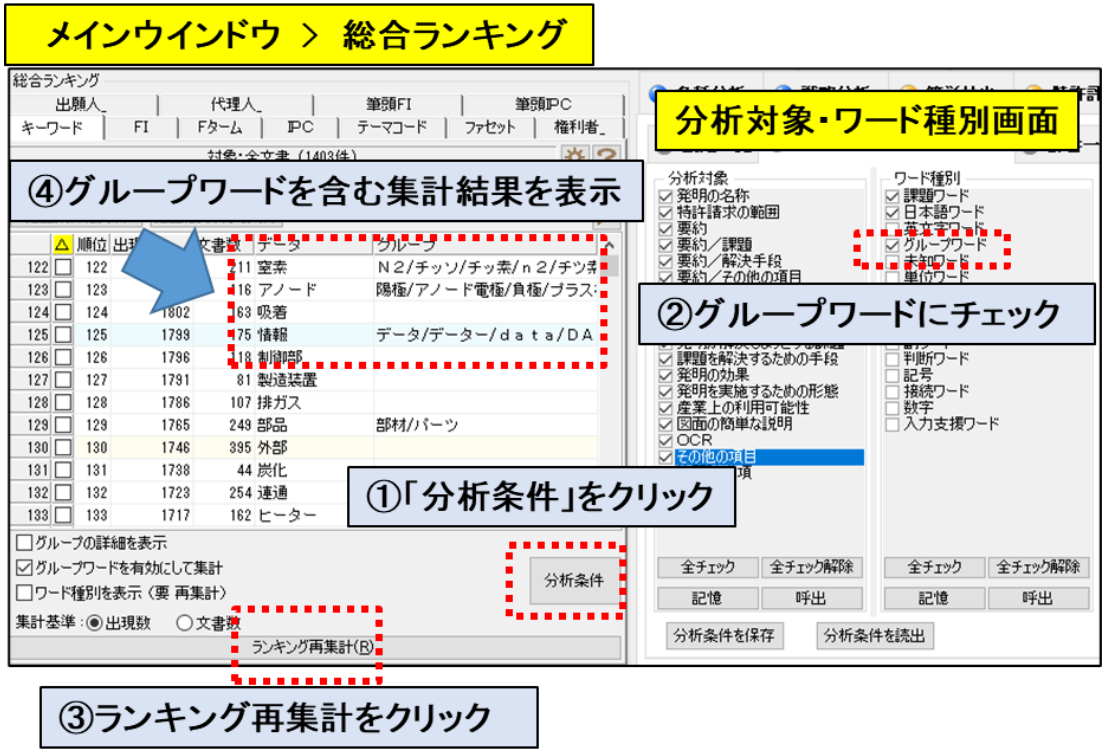
運用例　：　各種分析 ＞ ランキング分析で公報ごとの「課題ワード」を表示

1位	2位	3位	マーク総計	マーク数	出願番号	発明の名称
1 (33.3%) 経済性	1 (33.3%) 効率低下	1 (33.3%) 低コスト化	2 (66.7%)	2	特願2019-172149	触媒を使用した廃水処理システム及び方法
1 (100.0%) 消費電力	--	--	-	0	特願2018-210087	回転式水質浄化装置
2 (40.0%) 真空度	1 (20.0%) コスト増加	1 (20.0%) 吸収性	-	0	特願2018-198592	蒸留装置の省エネルギーシステム
3 (100.0%) 小型化	--	--	3 (100.0%)	1	特願2018-192272	水処理装置および水処理方法
--	--	--	-	0	特願2018-173521	汚泥処理システム及び汚泥処理方法

※【重要】バージョンアップされた際は、「ワード辞書」の並び替えが必要です。
本説明書の「P48　ワード辞書の設定」ページをご覧いただき、設定を変更してください。

新機能紹介

「グループワード辞書」のワードを追加



グループワードの分析強化

- グループワード辞書にワードを追加・拡充し、「課題ワードグループ辞書」を新設。
  キーワード分析時に、より適切な集計ができるようになりました。
- 総合ランキング、キーワードのグラフ作成時など、キーワードを使用した分析が対象となります。
- 各分析画面（キーワード分析時）の「分析対象・ワード種別」欄の「グループワード」にチェックをつけて
  分析実行をクリックする事で、グループワードを含めた分析を実行します。
- 各画面によって、操作手順が異なります。キーワードでグラフを作成する際の手順は以下の
  とおりです。

  【グループワードを含むキーワードのグラフ作成手順】
  メインウインドウ ＞ グラフタブ ＞ 軸にキーワードを選択 ＞ 軸設定 ＞ ワード種別の
  グループワードにチェックしてOKボタン ＞ グラフ作成

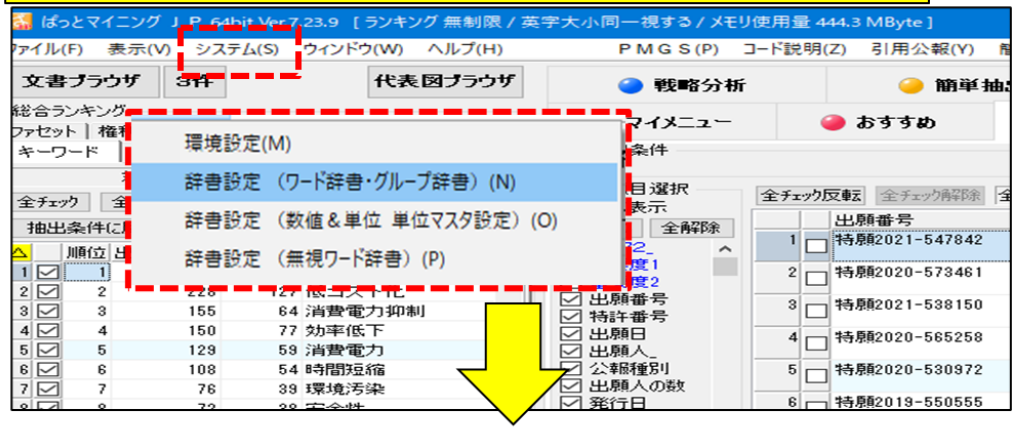
※新規インストール時は、設定変更なしでグループワード辞書がご使用いただけます。

**※【重要】バージョンアップされた際は、「ワード辞書」ファイルの並び替えが必要です。
本説明書の「P48　ワード辞書の設定」ページをご覧いただき、設定を変更してください。**

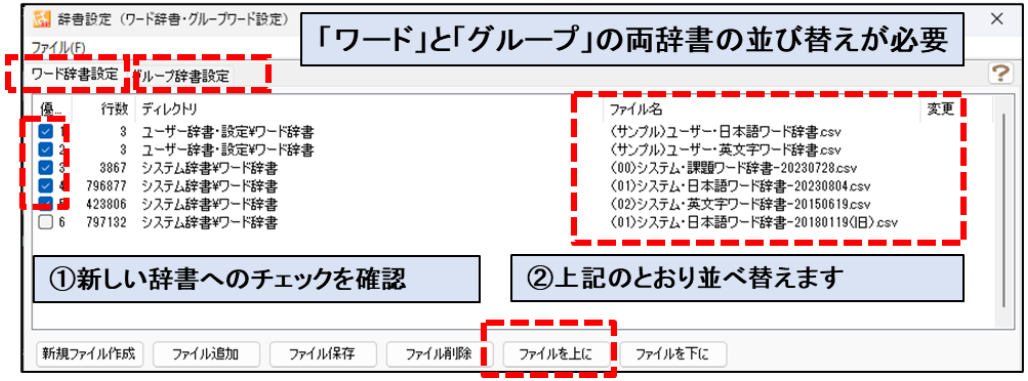
新機能紹介

ワード辞書の設定

メインウインドウ ＞ システム ＞ 辞書設定（ワード辞書・グループ辞書）を開きます



辞書設定画面を下図の通りに並び替えてください→「ファイルを上に」ボタンで並び替え



辞書の並び替え

【重要】

新規にご提供いたしました「課題ワード辞書」、および追記・拡張した「グループワード辞書」をご利用いただくために、左図の手順で「辞書設定」の変更作業をお願いいたします。

- ワード辞書設定のタブを選択します。
  ユーザー辞書、システム課題ワード辞書、システム日本語ワード辞書（日付が新しい物）、システム英文字ワード辞書の順に並べて、不要な辞書（ワード辞書の日付の古い物）はチェックを外します。
- グループ辞書設定のタブを選択します。ユーザー辞書、システム課題ワードグループ辞書、システム類語グループ辞書、システム接続語グループ辞書の順に並べて不要な物はチェックを外します。

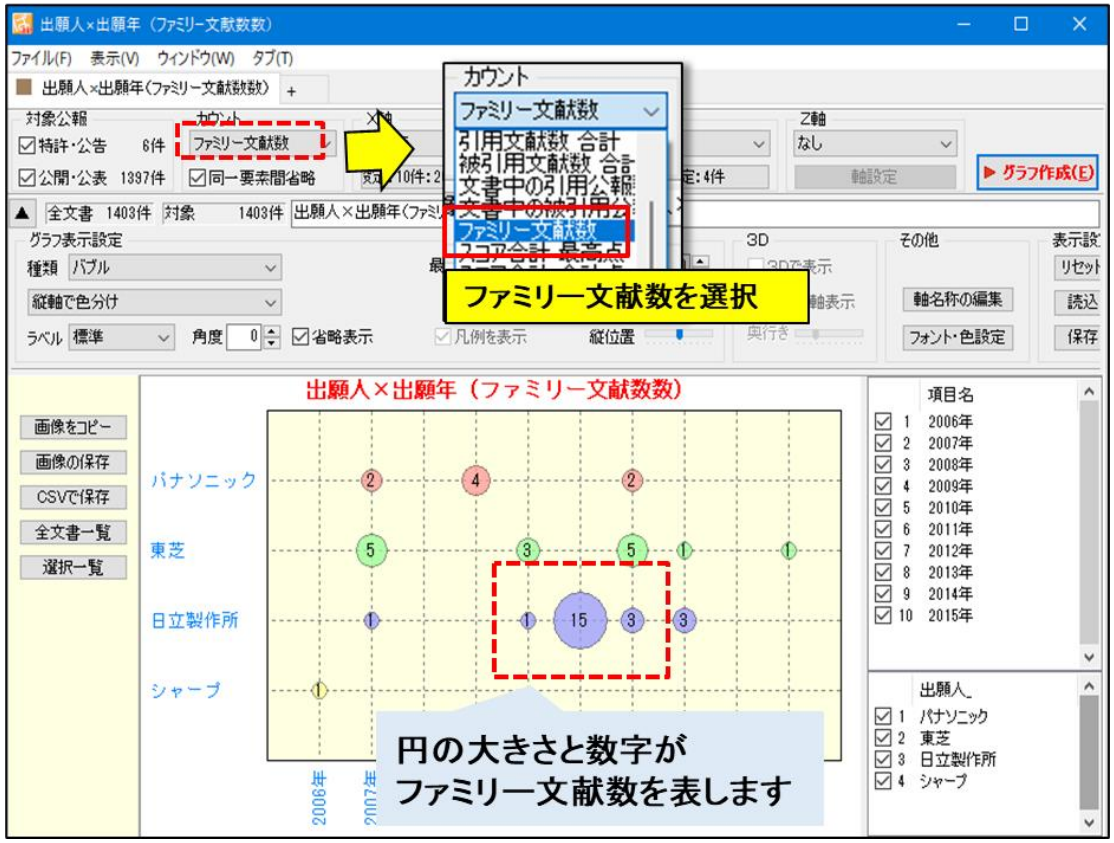
※「ワード辞書設定」タブと「グループ辞書設定」タブの両方で並び替え作業をお願いします。

※新規インストール時は、設定変更なしで課題ワード辞書、及びグループワード辞書がご使用いただけます。

※辞書設定で並び替えた順序でキーワード集計が実行されます。

ファミリー文献数でグラフを作成する機能を追加【日本特許対応版】

グラフブラウザ



ファミリー文献数を可視化

- グラフブラウザ内のカウント項目に「ファミリー文献数」を追加しました。
- 使用例：ファミリー文献数をグラフ内に表現して、出願人ごとの海外戦略を可視化します。
- グラフ ＞ カウント欄で「ファミリー文献数」を選択してグラフ作成ボタンをクリックしてください。
- グラフ作成時のカウントを「出願数」「発明者数」「被引用件数」「ファミリー文献数」と切り替える事
で様々な視点からの分析が可能になります。

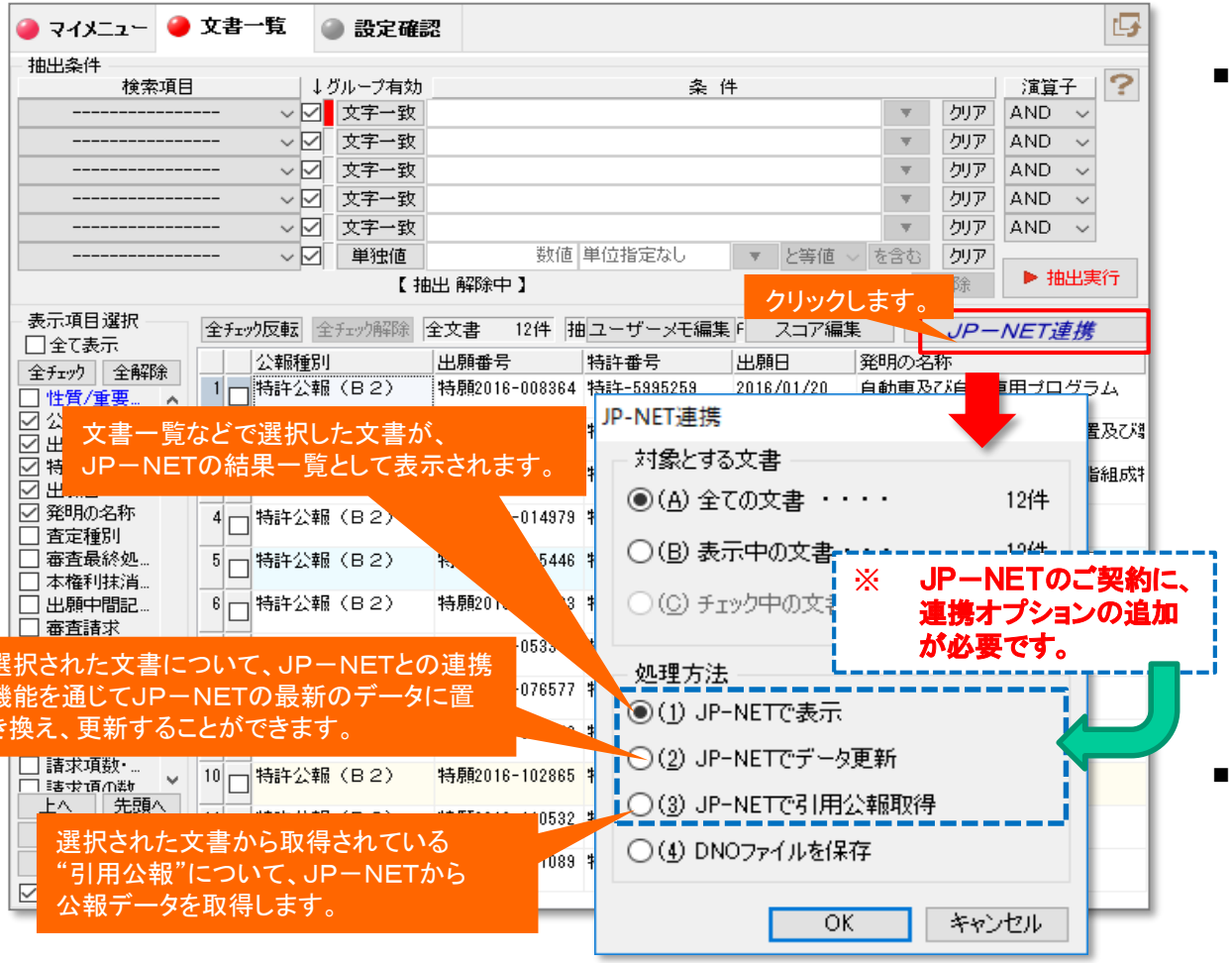
【JP－NET／NewCSS連携】

☑ 待望の機能でもっと便利に！

JP－NET／NewCSS連携（1）

※　JP－NETのご契約に、連携オプションの追加が必要です。

「JP－NET／NewCSS連携」機能を新規追加！



※「JP－NETで引用公報取得」では、総合ランキングの“文書中の引用公報”の欄の分析対象が適応されます。

待望の連携機能が登場！

■　**「JP－NET／NewCSS連携」機能を新規追加**

JP－NETとの連携機能として、ぱっとマイニングJPから、JP－NETのデータを取得したり、表示する機能を追加しました。
従来、メインウインドウにあった「公報番号保存」ボタンが、「JP－NET連携」ボタンに変更になり、公報番号の保存の他、下記の機能を使用できます。

- **JP－NETで表示**
  文書一覧などで選択した文書が、JP－NETの結果一覧として表示されます。
- **JP－NETでデータ更新**
  選択された文書について、JP－NETとの連携機能を通じてJP－NETの最新のデータに置き換え、更新することができます。
- **JP－NETで引用公報取得**
  選択された文書から取得されている“引用公報”について、JP－NETから公報データを取得します。
  ※　総合ランキングの“文書中の引用公報”の欄の分析対象が適応されます。

■　DNO形式の保存は「データの保存形式の選択（2）」を参照ください。

※連携使用時に日本公報と海外公報が混在していた場合、海外公報DBを利用して連携動作を行います

※海外公報のご利用には、海外特許対応版（オプション）の導入が必要です

JP－NET／NewCSS連携（2）

JP－NET／NewCSS連携のリンク一覧

メインメニュー	ファイルタブ	タブ内に設置
文書一覧		抽出条件下部の右下に配置
文書ブラウザ		指定条件下部に配置
グラフ	グラフ内文書一覧	画面右上に配置
各種分析	ランキング	指定条件下部に配置
	項目別ランク（全文書）	指定条件下部に配置
	含数分析（全文書）	指定条件下部に配置
	関連分析（全文書）	指定条件下部に配置
	近傍検索	指定条件下部に配置
	意味ベクトル分析	指定条件下部に配置
	参考・引用公報	指定条件下部に配置
	重要度・かんたん一括入力	指定条件下部に配置
簡単抽出	簡単抽出１（抽出）	指定条件下部に配置
	簡単抽出2(キーワード＆数値単位)	指定条件下部に配置
特許評価	特許評価1(項目ごと)	指定条件下部に配置
	特許評価2(審査経過など)	指定条件下部に配置
	簡単スコア（コード＆タイトル・クレーム）	指定条件下部に配置
	簡単ノイズスコア（テーマ＆解決）	指定条件下部に配置
	マルチノイズスコア（手動詳細設定）	指定条件下部に配置
	スコア定義自作・検証用	指定条件下部に配置

それぞれのグラフから文書を抽出し、グラフ内文書一覧から呼び出すことができます。

文書ブラウザから呼び出すことができます。

引用公報を確認し、「JP－NETで引用公報取得」の機能を用いて、必要な引用公報のデータだけを取得することができます。

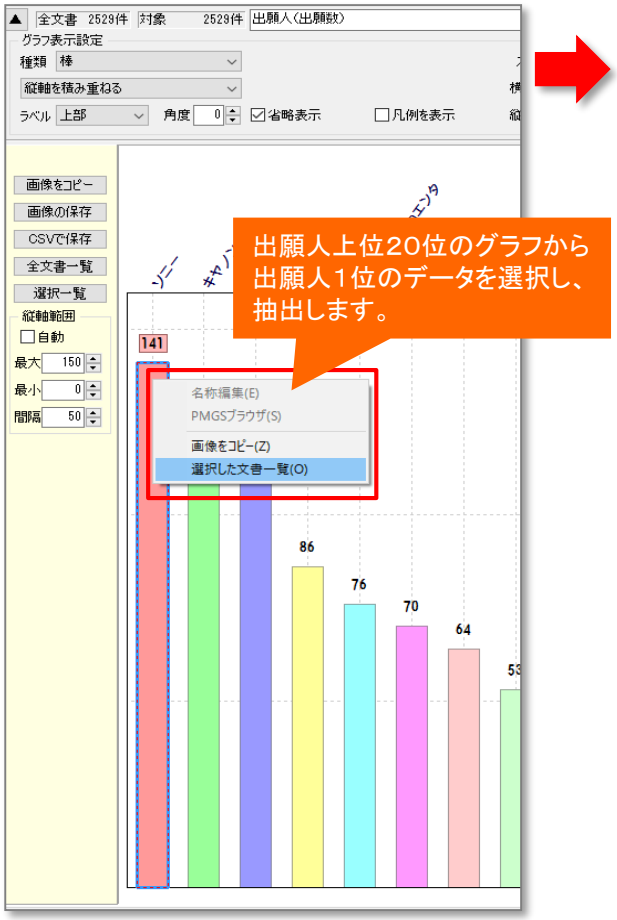
クリックします。

※「ぱっとマイニングJP」のマイメニューからのリンクも含んでおります。

JP－NET／NewCSS連携（3）

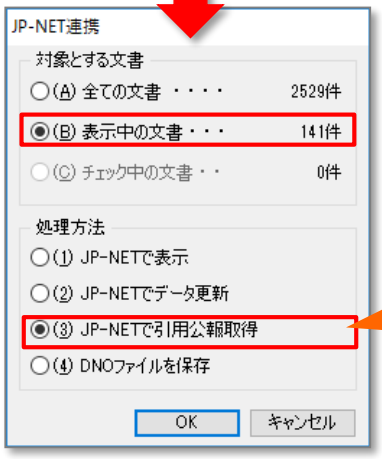
グラフ内の抽出から引用公報を取得

出願人１位の引用公報だけを取得したい！



出願人上位20位のグラフから出願人１位のデータを選択し、抽出します。

クリックします。

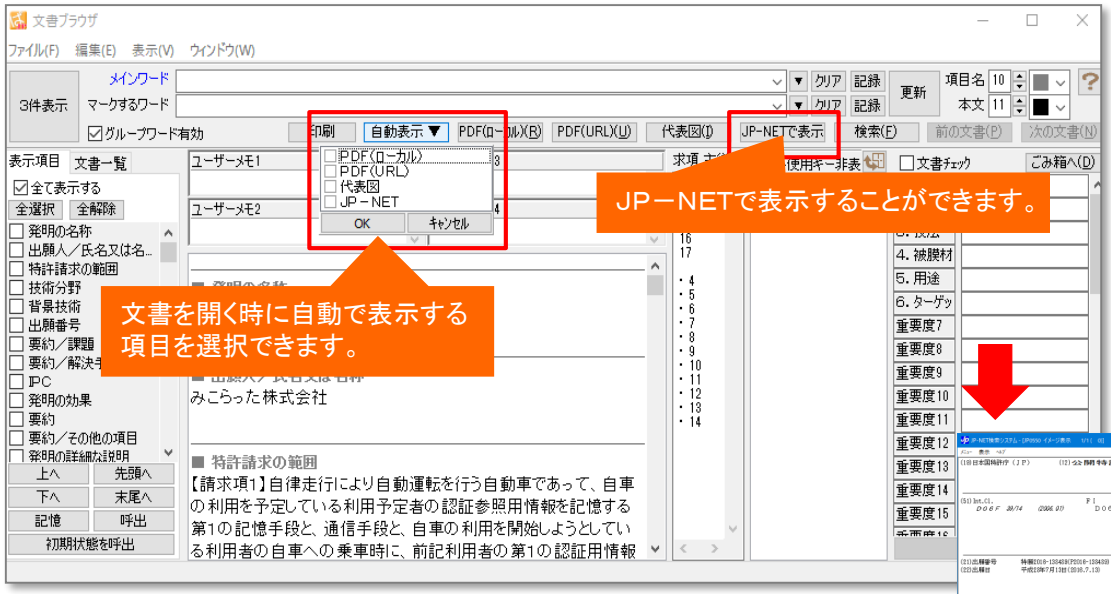


選択された文書から取得されている“引用公報”について、JP－NETから公報データを取得します。

※「JP－NETで引用公報取得」では、総合ランキングの“文書中の引用公報”の欄の分析対象が適応されます。

JP－NET／NewCSS連携（4）

「JP－NET／NewCSS連携」機能を新規追加！



JP－NETでの表示も簡単に！

- **「JP－NET／NewCSSで表示」できます。**

  文書一覧や文書ブラウザからも「JP－NET／NewCSS連携」が利用できます。**「JP－NET／NewCSSで表示」**が利用可能です。

- 「JP－NETで表示」をクリックすると、文書ブラウザで開いている公報をJP－NETでも表示することができます。

- NewCSSをご利用のお客様には、「NewCSSで表示」と表示されます。

※「JP－NET／NewCSS連携で引用公報取得」では、総合ランキングの“文書中の引用公報”の欄の分析対象が適応されます。

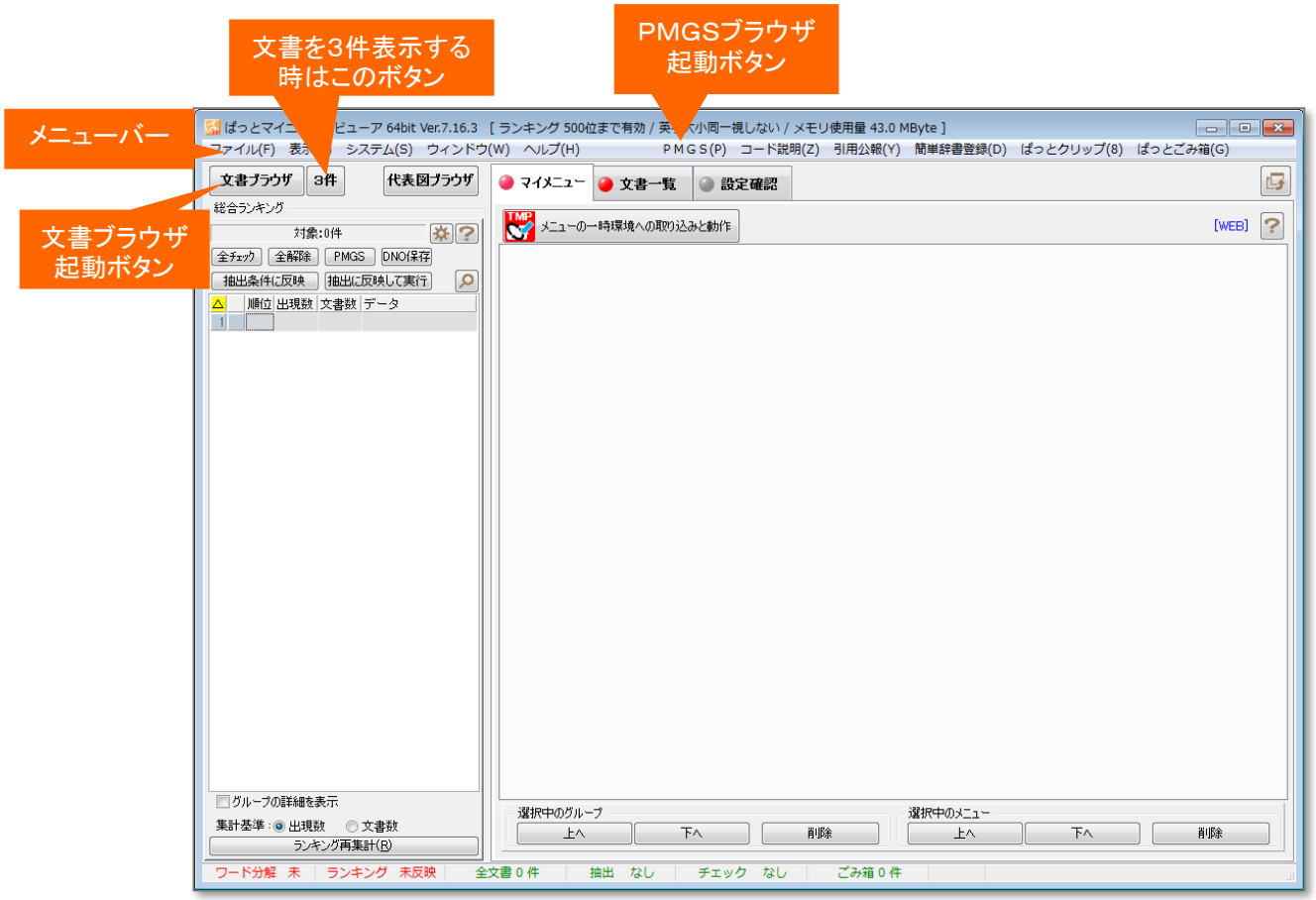
※ **JP－NETのご契約に、連携オプションの追加が必要です。**

【メインウインドウ】

☑ これだけは攻略！

メインウインドウのこれだけは攻略！

これがメインウインドウだ！



ここでの注意ポイント！

- **起動時は文書一覧表示**

  データを読み込んだ直後に開かれるのは、この『メインウインドウ』です。『メインウインドウ』では、まずマイメニュー画面が表示されます。

- **ランキング表示**

  データを読み込んだ段階で、ランキングが表示されます（「ワード分解を使用しない」という設定の場合はワードランキングは表示されません）。

- **ランキング集計ボタン**

  「ランキング再集計(R)」をクリックすると、読み込んだ文書すべてに関してのランキングを再集計します。　いくつかの文書を選択してランキングを行いたいときにも「ランキング再集計(R)」をクリックします。

- **各種タブ**

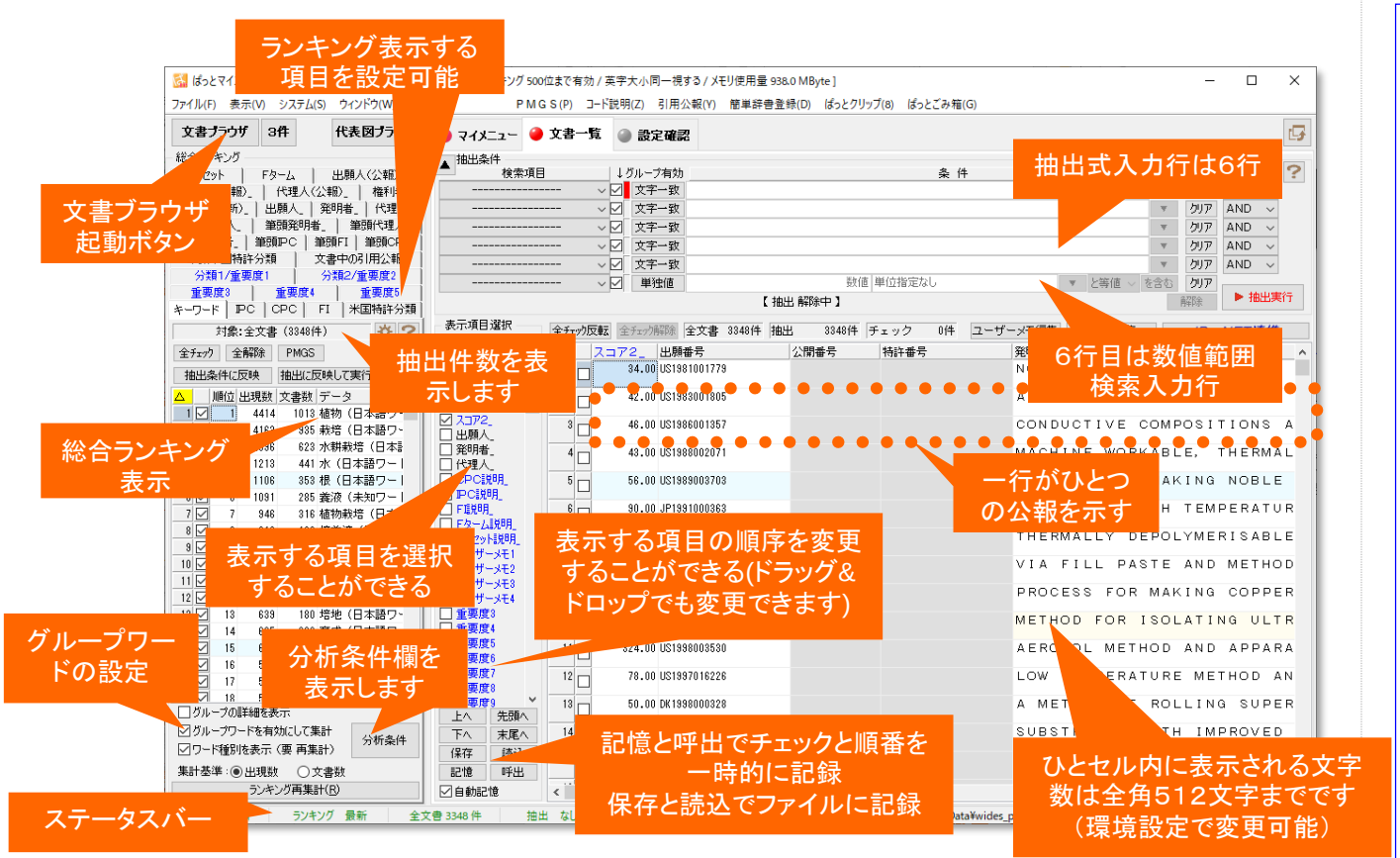
  『文書一覧』タブや『設定確認』タブをクリックすると、それぞれの画面に変わります。「ぱっとマイニング・ビューア」では、3つのタブが表示されます。

- **PMGSブラウザ起動ボタン**

  PMGSブラウザが開き、関連するコードとその説明を表示します。

メインウインドウのこれだけは攻略！

データを読込んだあとの文書一覧　がこれだ！



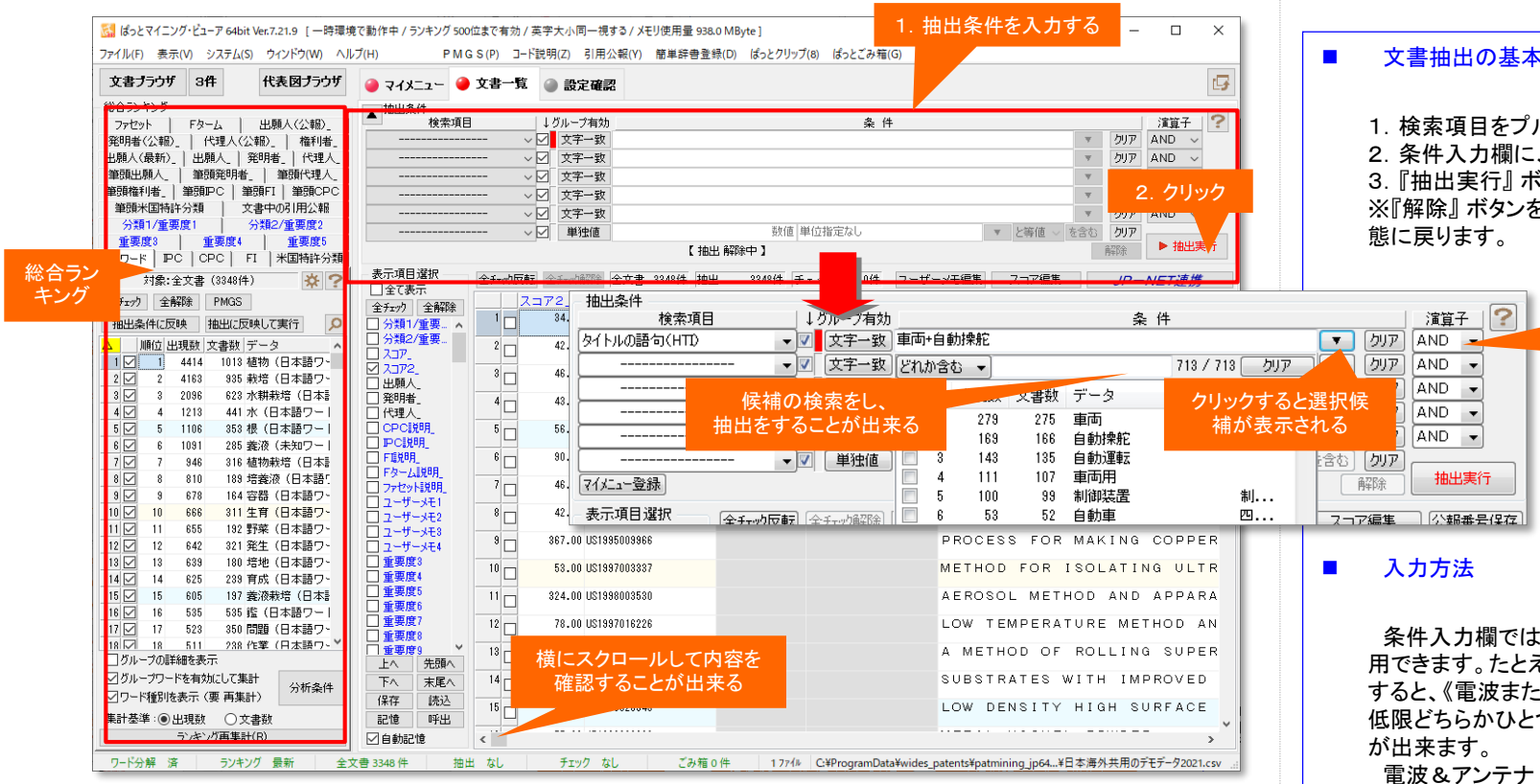
※　抽出条件の入力枠には最大43，000バイト、日本語にすると2万1千文字程度の入力が可能

ここでの注意ポイント！

- **セルの横一行が一文書**
  データを読み込んだ直後はメインウィンドウの文書一覧が表示されます。文書一覧では、横一行にひとつの文書が表示されます。
- **項目の並べ替え**
  『表示項目選択』でチェックボックスにチェックを入れると、その項目が文書一覧に表示されます。また、表示項目をドラッグ&ドロップすることで表示順番を変更することができます。
- **辞書機能（一時環境では編集不可）**
  グループワードや無視キー辞書が設定されています。
  - グループワードを有効にして集計する
    ・・・ランキング集計に、グループワードの設定を反映させます。
  - グループの詳細を表示
    ・・・キーワードランキングの分析対象グループを表示します。
  - ワード種別を表示
    ・・・キーワードランキングの分析対象のワード種別を表示します。
- **ステータスバー**
  『メインウィンドウ』下端のステータスバーには、現在開いている分析ウィンドウの数、ワード分解状態、現在読み込んでいるファイル名が表示されます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

文書一覧の抽出条件入力欄にワードを入力する



※ 抽出条件の入力枠には最大43，000バイト、日本語にすると2万1千文字程度の入力が可能

ここでの注意ポイント！

■ 文書抽出の基本手順

1. 検索項目をプルダウンで選択します。
2. 条件入力欄に、ワードを入力します。
3. 『抽出実行』ボタンをクリックします。
※『解除』ボタンをクリックすると、抽出前の状態に戻ります。

■ 入力方法

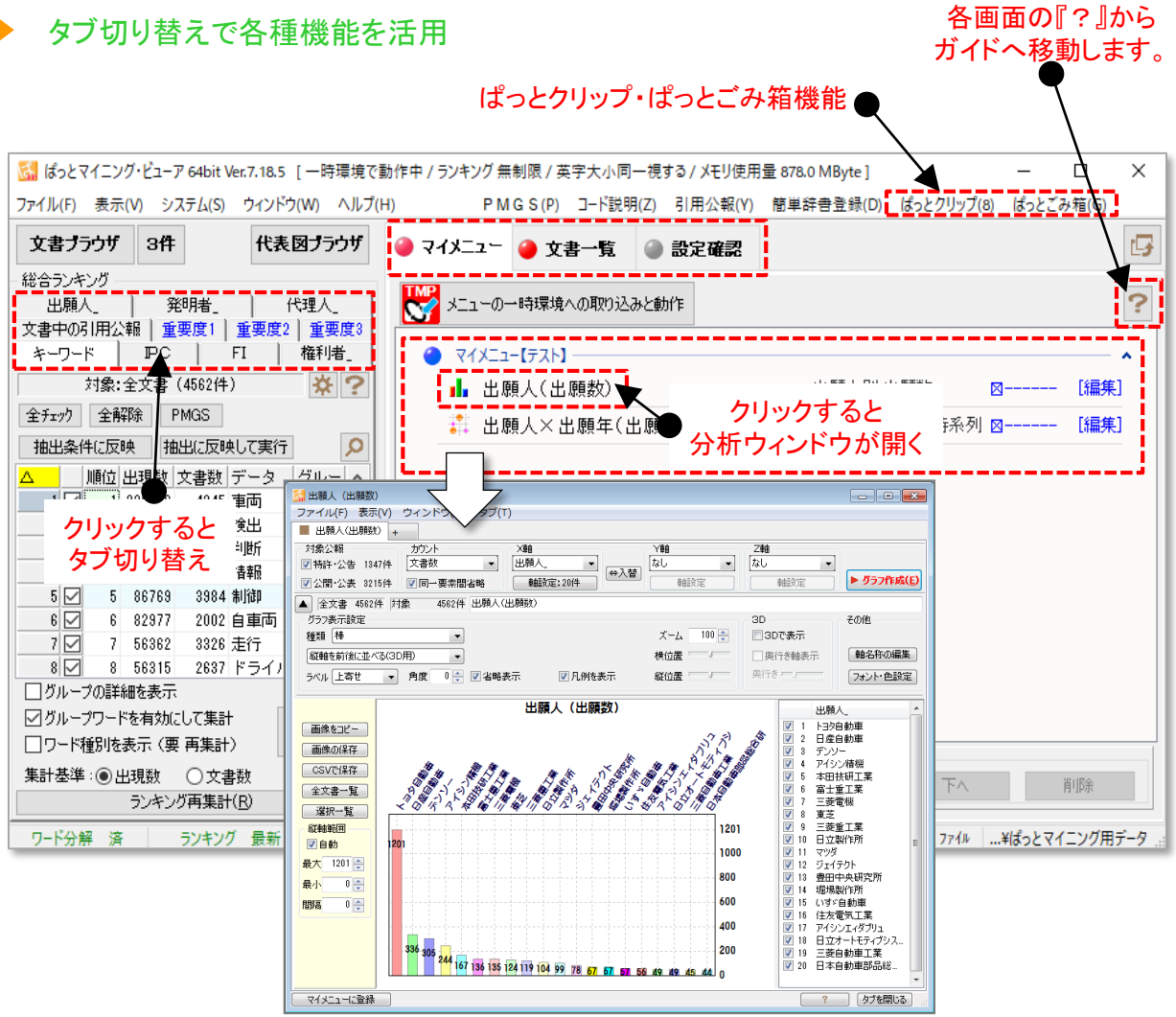
条件入力欄では論理演算子(＋＆（))が利用できます。たとえば 電波+アンテナ と入力すると、《電波またはアンテナというワードの最低限どちらかひとつを含む文書》を抽出することが出来ます。

電波＆アンテナ と入力すると、《電波とアンテナの両方のワードをどちらも含む文書》を抽出することができます。

検索は、『文字一致』(部分一致)と『ワード一致』(全部一致)が選択できます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

タブ切り替えで各種機能を活用



ここでの注意ポイント！

- 各種の機能をまとめた”タブ”内に、それぞれの機能がございます。
- マイメニューより、複数のグラフを呼び出せます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

読込みファイルの形式をデフォルトにする

このチェックをはずしておくと、該当すると思われるファイル形式を自動的に選択する

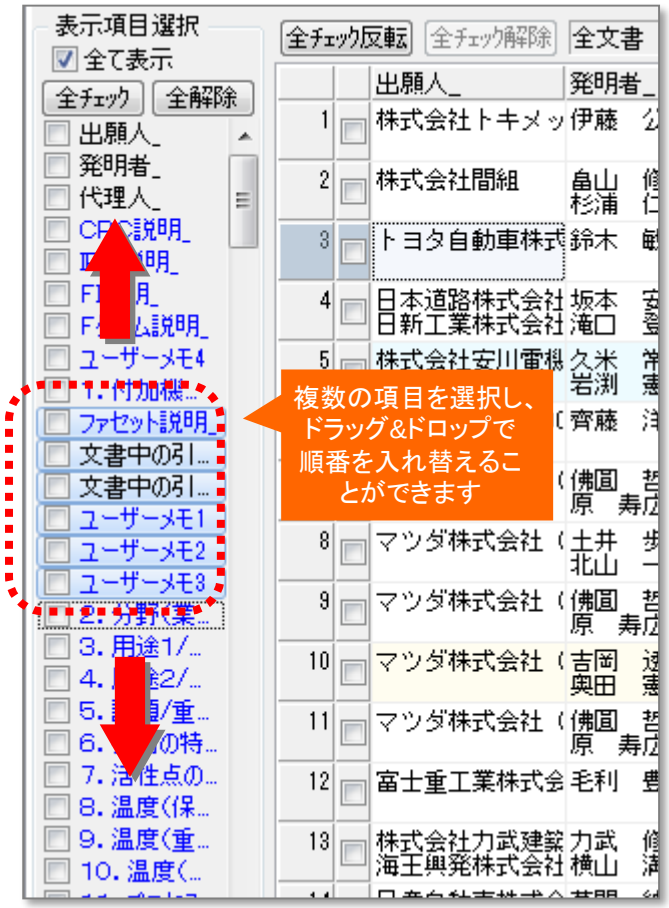
適した形式の太字表示と、アラート表示！

ここでの注意ポイント！

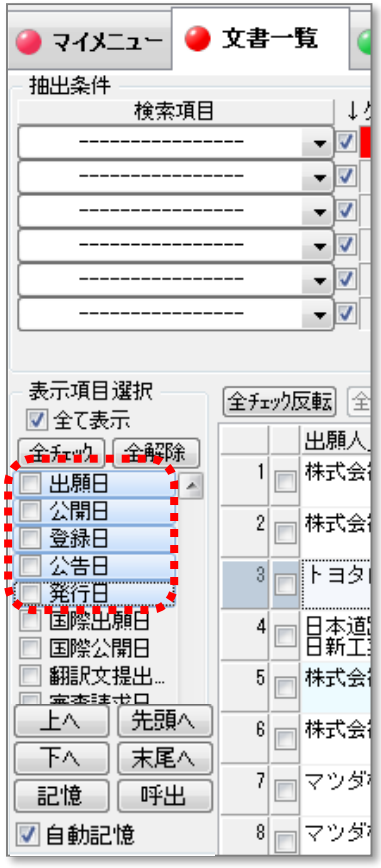
- CSVファイルの読み込み時に、形式選択ウィンドウ上で、該当すると思われるCSVファイル形式をソフトウエアで簡易に判断し、太字で表示するようになりました。
- CSVファイル読み込み時に、多くのファイル形式名称から、適合するファイル形式を探すことが容易になりました。
- 読み込んだファイルに、種別や公報番号等の公報を分別する上で必要な情報がない公報データが含まれていた場合、該当する件数を通知し、注意を促すようにしました。
- これによって、JP－NET等のデータベースから、データを取得した場合などに、必要な情報が揃っていないことでの「ぱっとマイニングJP」上での、想定外の動作を回避することができるようになりました。

メインウインドウのこれだけは攻略！

表示項目順番の変更



Shift ＋ クリックで、
複数の表示項目を選択。
ドラッグ＆ドロップで
表示順番を入れ替え



ここでの注意ポイント！

- **複数項目の並べ替え**

  『文書一覧』『文書ブラウザ』などにおける表示項目の順番を入れ替える際、複数の表示項目を選択して、一度に移動させることができます。

- **複数項目の選択**

  Shiftキーを押しながら、マウスカーソルで範囲を選択すると、複数の項目を選択することができます。Ctrlキーを押しながら、マウスカーソルで項目を選択すると、複数の項目を選択することができます。

- **選択した項目の移動**

  選択された項目名は反転表示されます。
  反転表示された項目を、マウスカーソルでドラッグ&ドロップすると、選択された項目が全て一緒に移動します。

- **複数項目にチェックを入れる**

  反転表示された項目のチェックボックスにチェックを入れると、選択された項目すべてのチェックボックスに、同時にチェックが入ります。

- **『上へ』『下へ』『先頭へ』『末尾へ』ボタン**

  『上へ』『下へ』ボタンをクリックすると、選択した項目が上か下に移動し、『先頭へ』『末尾へ』ボタンをクリックすると、先頭か末尾に移動します。

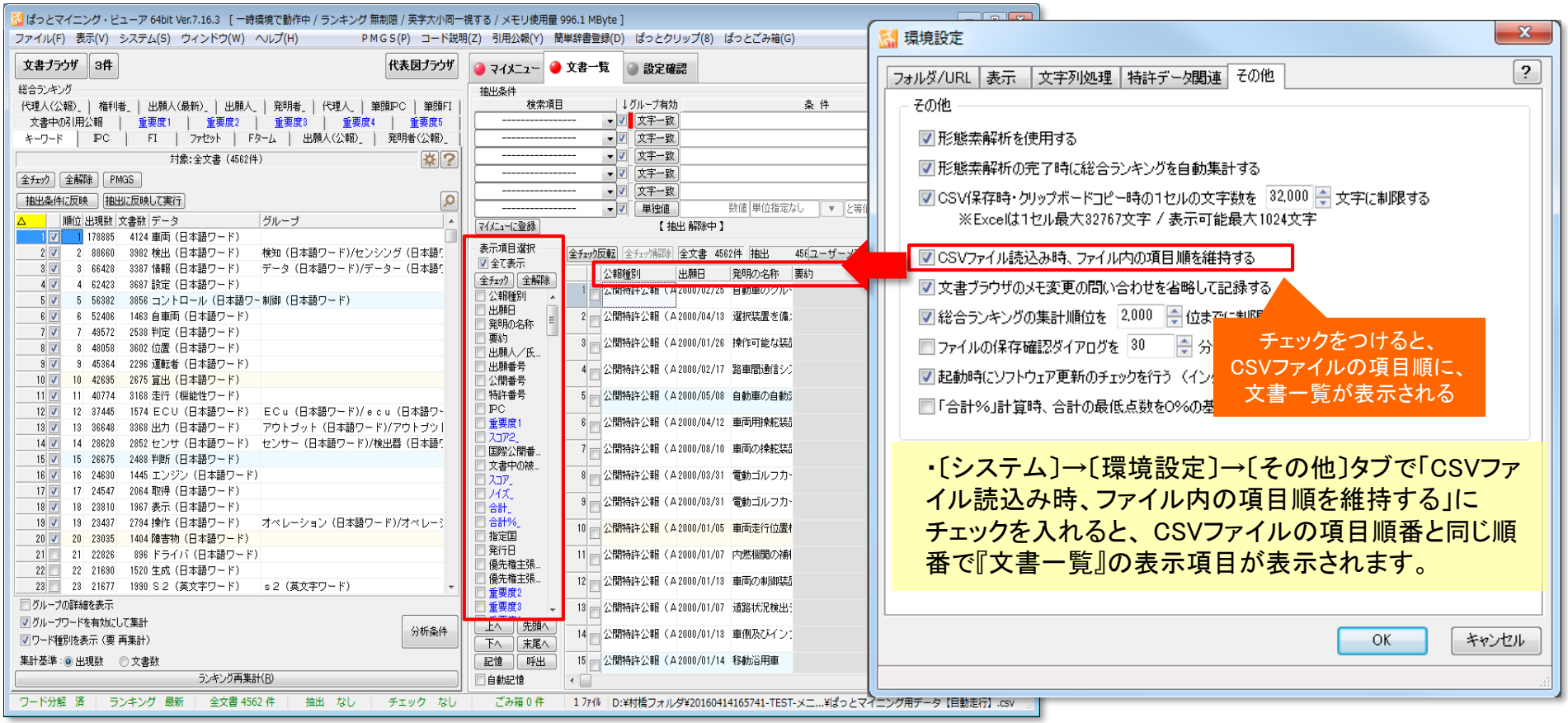
- **『記録』『呼出』ボタン**

  『記録』『呼出』ボタンをクリックすると、チェック中の項目の記録、呼出を行なうことが出来ます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ファイル読込み時の項目名表示順番の選択

CSVファイル読込み時の表示項目順が維持できます。

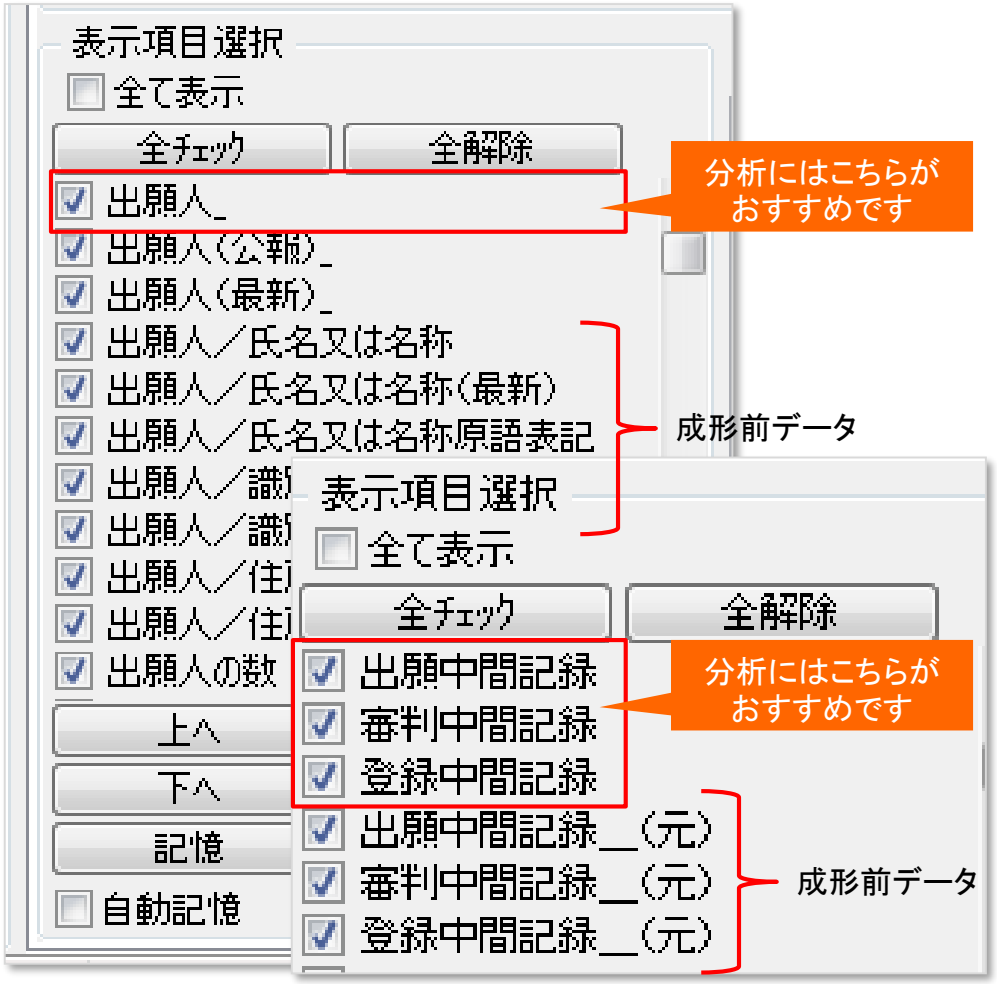


※　「CSVファイル読込み時、ファイル内の項目順を維持する」のチェックを外している場合は、前回終了時の項目順に表示します。
前回終了時にはなかった新しい項目が増えた場合は、項目順の末尾に表示されます。

※　【出願人】という項目は、【出願人／氏名又は名称】をもとにぱっとマイニングJPが生成する独自項目です。グラフ作成時は【出願人】が集計の対象となります。

メインウインドウのこれだけは攻略！

間違えやすい項目名



同じような項目名でもそれぞれ違っています。

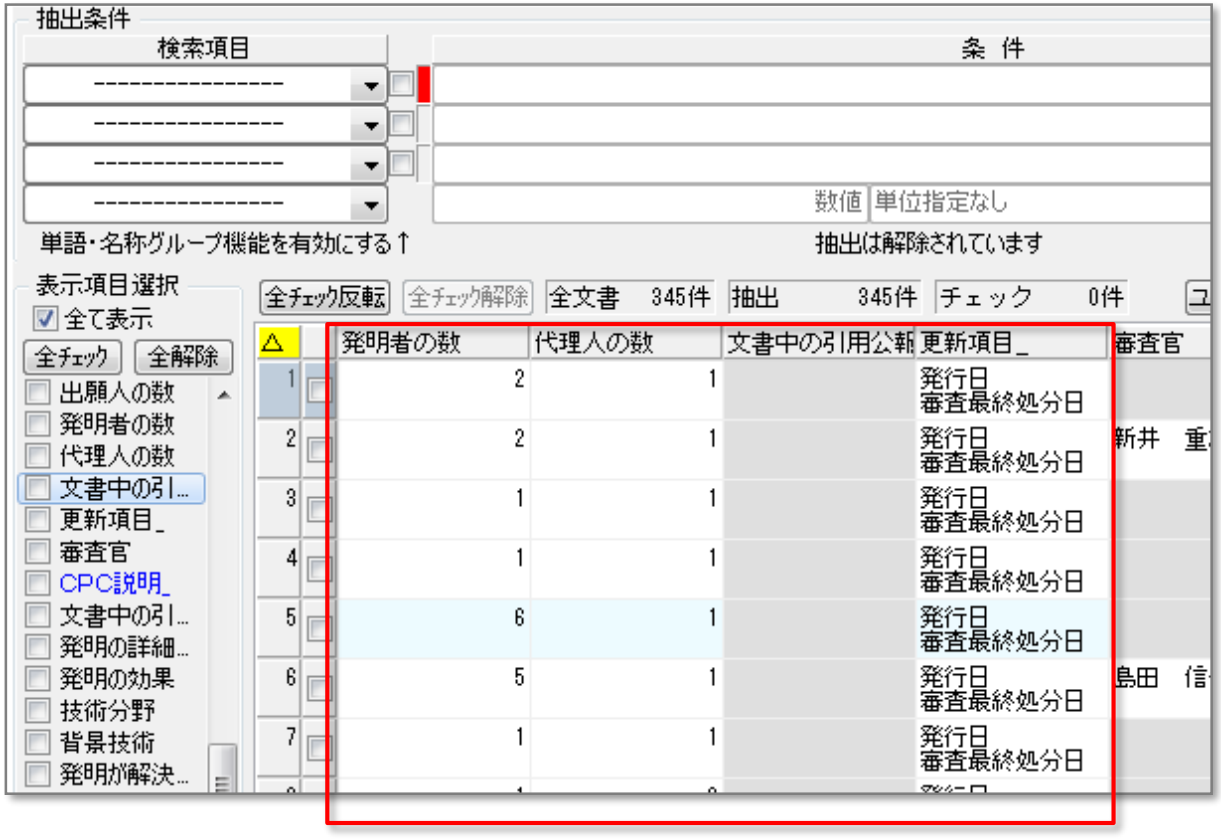
- 項目は詳細に分析するため、細かく分類されます。
- 【出願人_】は、【出願人（最新）_】【出願人（公報）_】のいずれかと同じ内容となります。（最新が空欄の場合に公報の内容を使用します）
- 【出願人（公報）_】【出願人（最新）_】は、【出願人／･･･】の氏名や識別番号に基づき、名称グループ設定に従って ぱっとマイニングJPが生成する独自項目です。 なお（最新）の項目は、元データによっては空欄となる可能性があります。
- 【登録中間記録】【出願中間記録】【審判中間記録】は、ぱっとマイニングJPが内容の整形を行った項目になります。

※ 中間記録の整形前の内容は【登録中間記録__（元）】【出願中間記録__（元）】【審判中間記録__（元）】の各項目にあります。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ファイルにぱっとマイニングの独自項目を追加

更新項目が抽出可能！！



文書の項目に、以下の項目を追加しました。
抽出、ソートや、特許評価2の採点条件に利用できます。

【出願人の数】・・・【出願人】の数

【発明者の数】・・・【発明者】の数

【代理人の数】・・・【代理人】の数

【文書中の引用公報数】
・・・【文書中の引用公報】に含まれる、
重複のない公報番号数

【文書中の被引用公報数】
・・・【文書中の被引用公報】に含まれる、
重複のない公報番号数

【更新項目_】
・・・ぱっとファイル結合ツールで
更新された項目

【更新項目_】は、総合ランキングに表示することができます。

※ ぱっとファイル結合ツールによる結合で
新たに増えた公報は、【更新項目_】に
「新規公報」と記載されます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ランキング・集計関連機能1

ここでの注意ポイント！

■ ランキング表示切替タブの項目一覧
発明者、代理人、キーワード、筆頭IPC、筆頭FI、引用公報、IPC、FI、ファセット、Fターム、出願人

■ ランキング表示
ランキングを最大何位まで表示するかは、環境設定で設定することができます。設定をはずせば無制限となります。

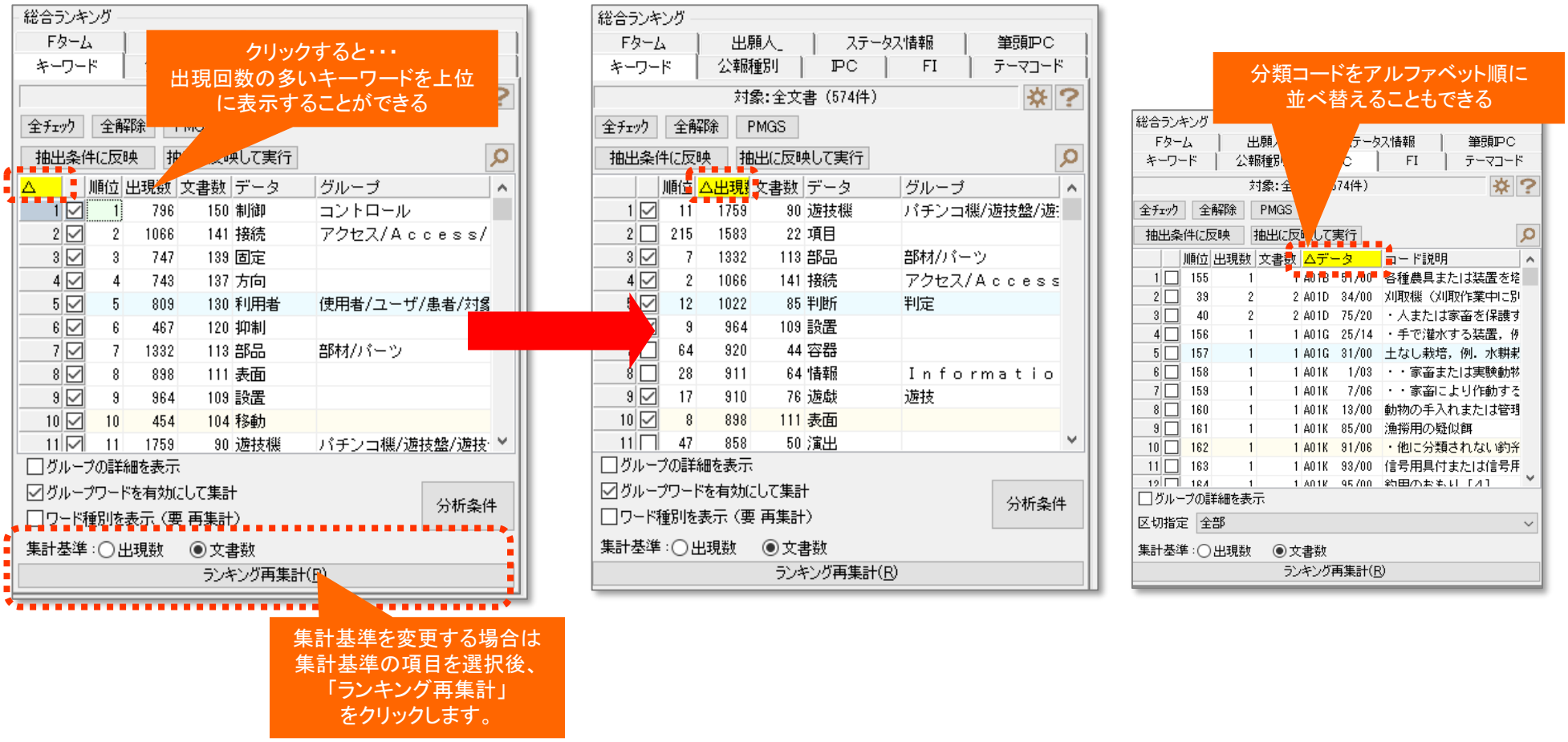
■ ランキングセル
ランキングセルを複数選択し、右クリックメニューをつかって、エクセルやテキストファイルなどにコピーすることができます。抽出条件の入力窓に貼り付けることもできます。

■ コードのランキング化
IPCやFI、Fタームコードのランキング集計時、集計する階層が指定できます。

■ 右クリックメニュー
ランキング表示の上で、マウスの右ボタンをクリックすると、メニューが出ます。キーボードのショートカットキーもご利用いただけます。

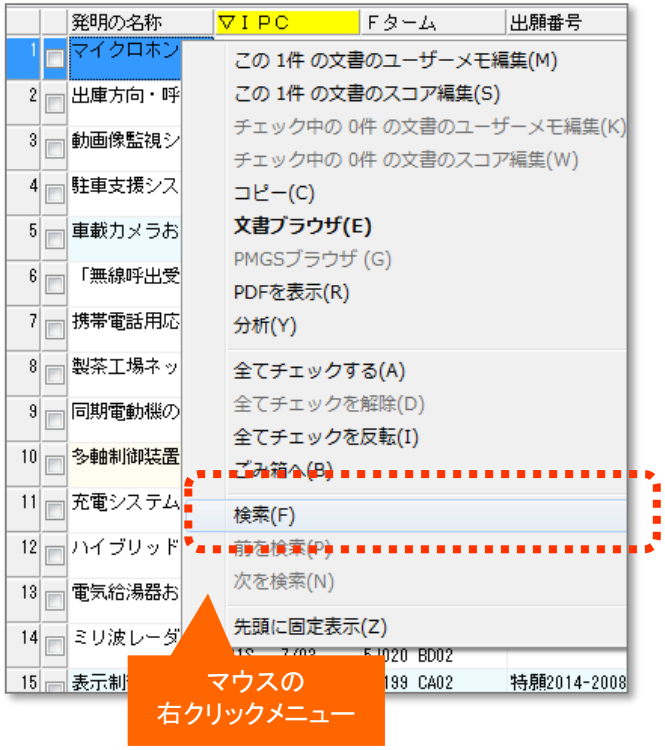
メインウインドウのこれだけは攻略！

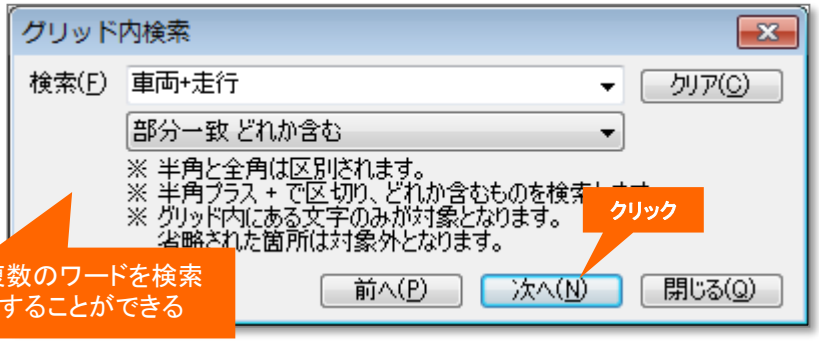
ランキング・集計関連機能2



メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能　　便利な検索機能を搭載！！





総合ランキング、文書一覧、各分析画面のグリッド上で、右クリックメニューから検索をクリックし、ワードを入力すると、そのワードを含むグリッドが反転表示されます。

気になるワードの順位や位置を確認する際に、
とても便利な検索機能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能

総合ランキングの抽出機能

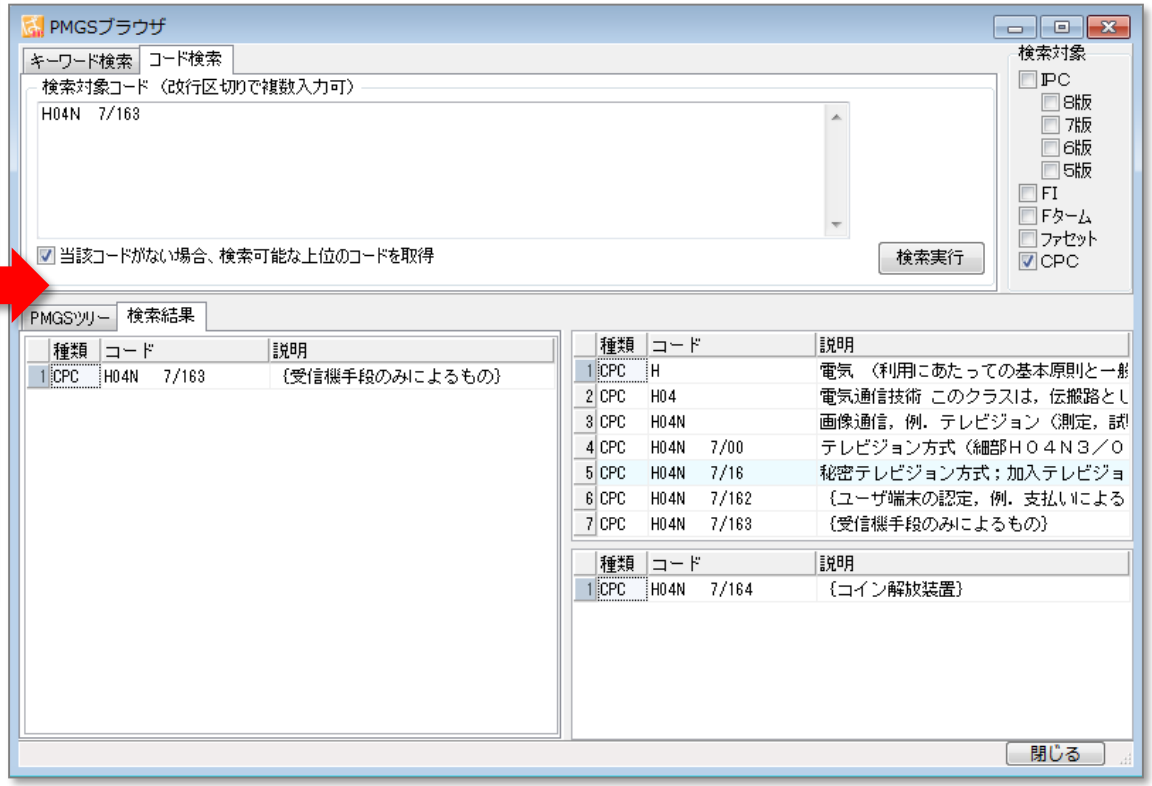
- 総合ランキングの虫眼鏡ボタンをクリックすると、『チェック状態変更ウィンドウ』が開き、キーワードや分類コードなどを抽出することができるようになりました。
- 入力欄に抽出条件を入力すると、抽出が実行されます。「クリア」ボタンをクリックすると、抽出が解除されます。
- 「どれか含む（部分一致）」「すべて含む（全部一致）」「前方一致」「後方一致」の他、「演算子」が選択できます。演算子では、＋ ＆ （ ） が利用できます。
- 最初に「全解除」をクリックして、すべてのチェックを外しておいてから、抽出作業を行なうと、気になるワードにだけ、チェックを付けることができます。
- 文書一覧で検索などを行った場合は、「ランキング再集計」を行ってから、抽出を行います。

メインウインドウのこれだけは攻略！

CPCコードに対応！

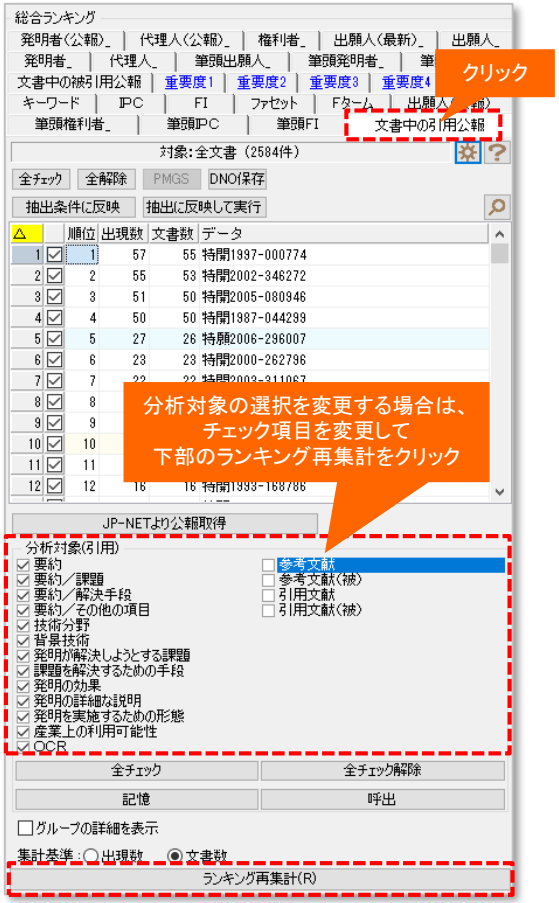
CPCコードの説明を表示

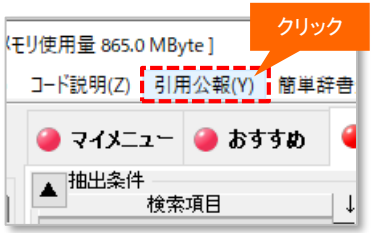
- 総合ランキングにCPCコードを表示することができるようになりました。
- コードの説明も表示されます。
- コード名、または説明欄をダブルクリックすると、PMGSブラウザが開き、CPCコードの説明が表示されます。



メインウインドウのこれだけは攻略！

【文書中の引用公報】

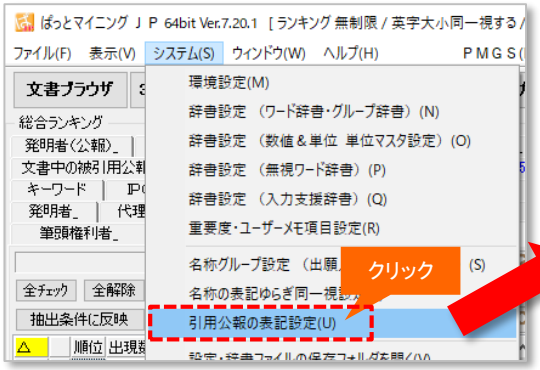




【文書中の引用公報】【文書中の被引用公報】は、総合ランキングでタブを選択して表示するか、

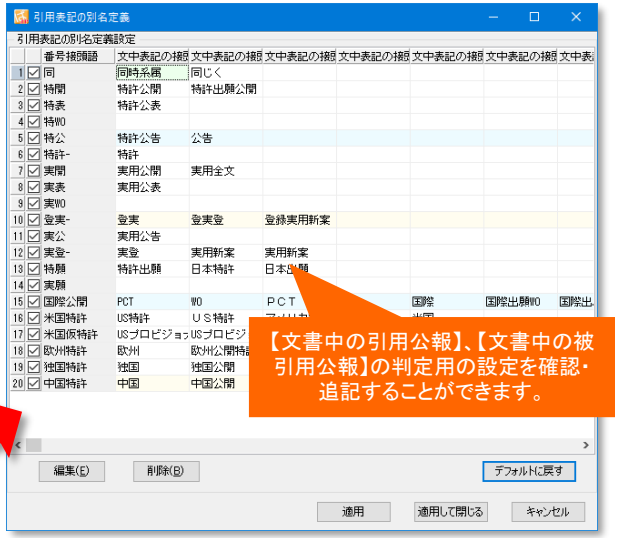
メニューバーの「引用公報(Y)」をクリックして、

引用公報番号を取得した後に、公報番号が表示される



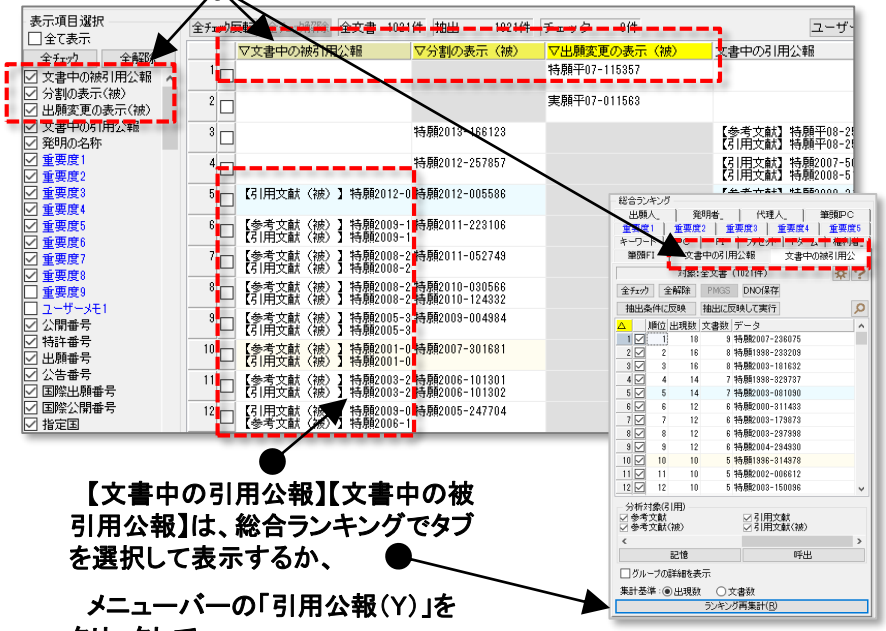
文書中で引用されている公報を確認

- 【文書中の引用公報】：読み込んだデータの中で、当該公報が引用している公報の番号を表示します。
- 【文書中の引用公報】は、ぱっとマイニングの独自項目で、総合ランキング、グラフの軸、各種の分析に利用することができます。
- メニューバーの「システム」⇒「引用公報の表記設定」で【文書中の引用公報】、【文書中の被引用公報】の判定用の設定を確認・追記することもできます。



メインウインドウのこれだけは攻略！

【文書中の被引用公報】【分割の表示（被）】【出願変更の表示（被）】



【文書中の引用公報】【文書中の被引用公報】は、総合ランキングでタブを選択して表示するか、

メニューバーの「引用公報（Y）」をクリックして、

引用公報番号を取得した後に、

公報番号が表示される

3つの独自項目が追加されました

- ぱっとマイニングの独自項目として、【文書中の被引用公報】【分割の表示（被）】【出願変更の表示（被）】を新しく追加しました。総合ランキング、グラフの軸、各種の分析に利用することができます。
- 【文書中の被引用公報】：読み込んだデータの中で、当該公報を引用している公報の番号を表示します。
- 【分割の表示（被）】：読み込んだデータの中で、当該公報の分割後の公報（分割の子公報）の番号を表示します。
- 【出願変更の表示（被）】：読み込んだデータの中で、当該公報の関連公報（関連出願の子公報）の番号を表示します。
- 【文書中の被引用公報】は、【文書中の引用公報】と補完関係にあり、どちらかの項目のデータが欠落している場合でも、一方のデータを元に、他方のデータを補います。
- 【引用文献（被）】や【参考文献（被）】など、公報番号が記載された項目名が同時に表示されます。【他公報】と表示される場合は、上記の補完によって補われたことを示します。

メインウインドウのこれだけは攻略！

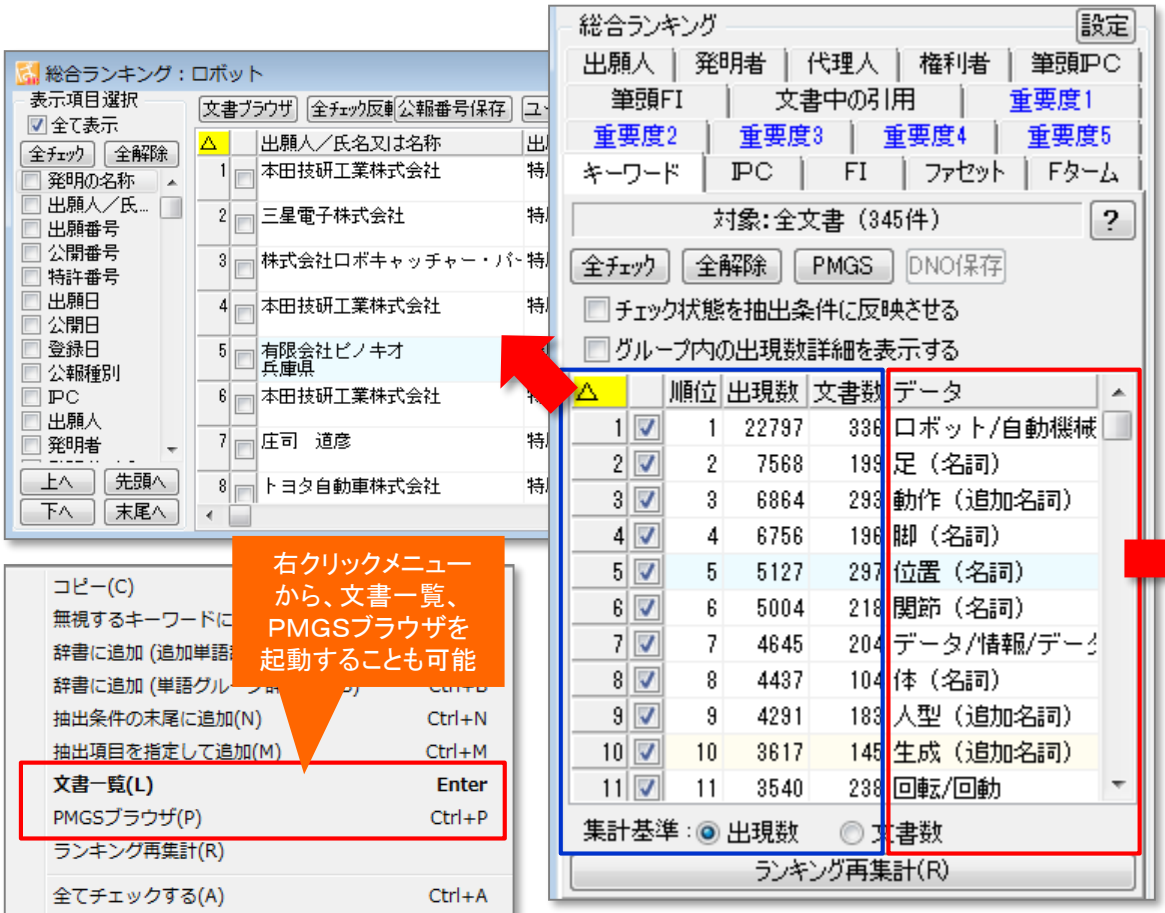
総合ランキングから文書一覧が起動可能！

ワードからPMGSの起動も！！

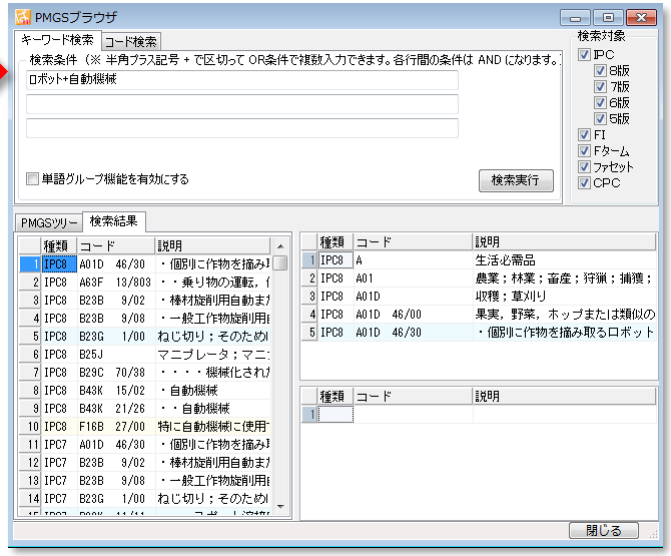
■ 総合ランキングの順位・出現数・文書数のいずれかの欄をダブルクリックすると、該当する公報の一覧表が表示されます。

■ データ欄(分類コードの場合は、説明欄も含む)をダブルクリックすると、PMGSブラウザが開き、関連するコードとその説明を表示します。

■ 分類コード(FI、IPC、Fターム、CPC)をクリックすると、コードを説明するPMGSブラウザが開きます。ワードの場合は、そのキーワードを説明文中に含むコードの説明が表示されます。

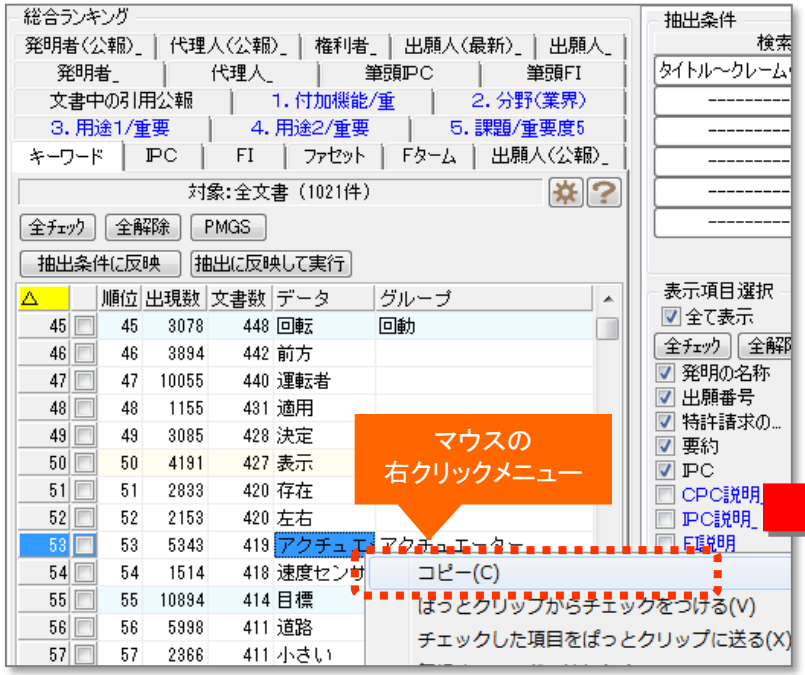


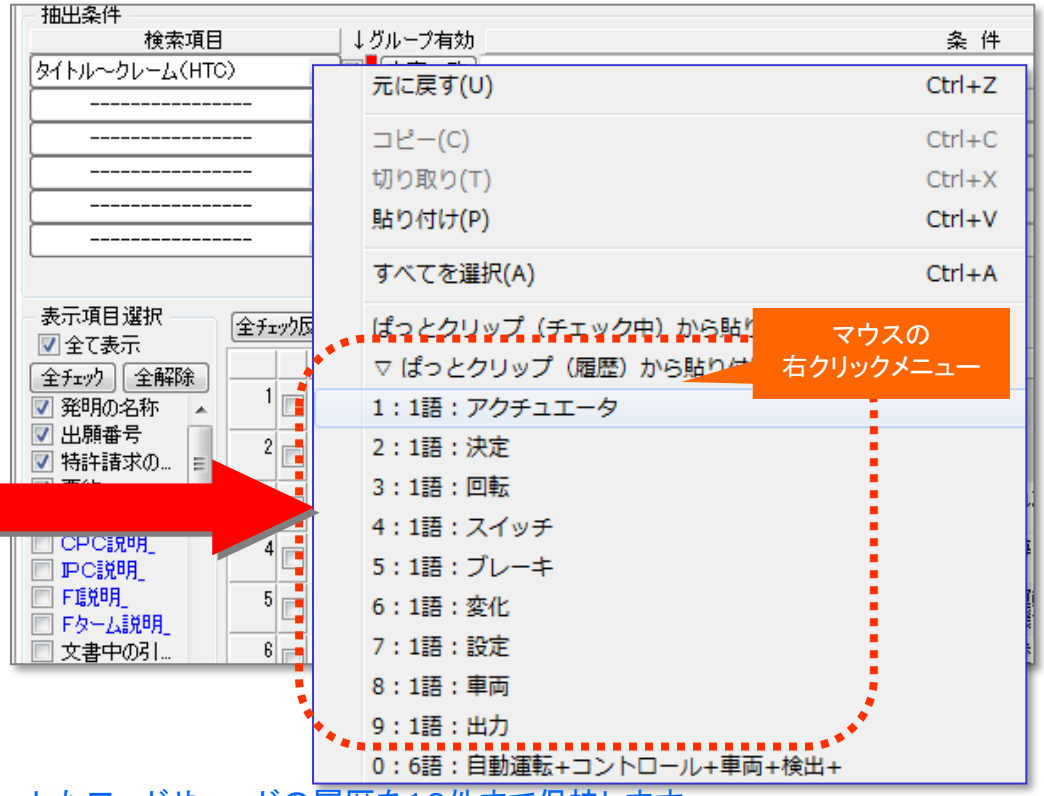
出願人、発明者、代理人では、PMGSブラウザを選択できません。



メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能　　コピーの履歴が呼び出せる！！ぱっとクリップ機能





入力窓上で右クリックすると、その時点までにコピーしたワードなどの履歴を表示することができます。選択するとそのまま入力することができます。

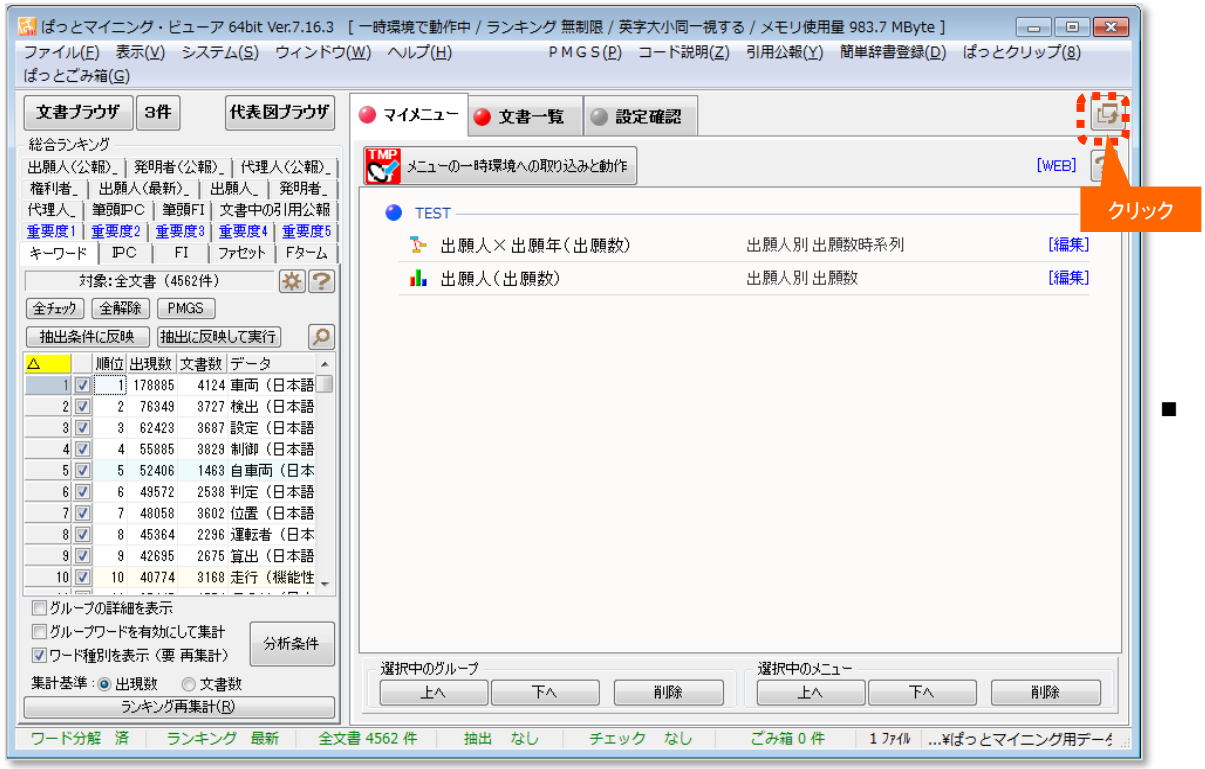
コピーしたワードやコードの履歴を10件まで保持します。
総合ランキングでいくつものワードをコピーしておき、
検索条件や分析画面で選択して入力することができます。

※コピーからのぱっとクリップ（履歴）への保存は、総合ランキングの、“データ”の項目のみで利用することができます。
チェックした項目をぱっとクリップに送ることも可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能

「メインウインドウを最背面」ボタン。
うしろに隠れていた分析画面等を1クリックで前面に出すことができる！



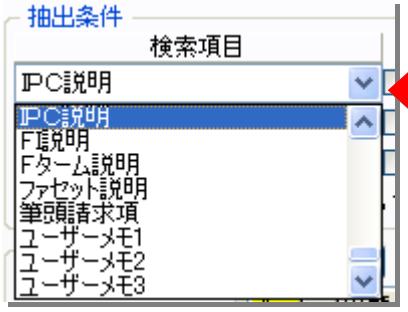
このボタンをクリックすると、メインウィンドウが最背面になり、メインウィンドウのうしろに隠れていた画面を表示することができる

■ 〔メインウインドウを最背面〕ボタンをクリックすると、メインウインドウの後ろに隠れてしまった、分析画面やグラフ画面を全面に出して表示することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能

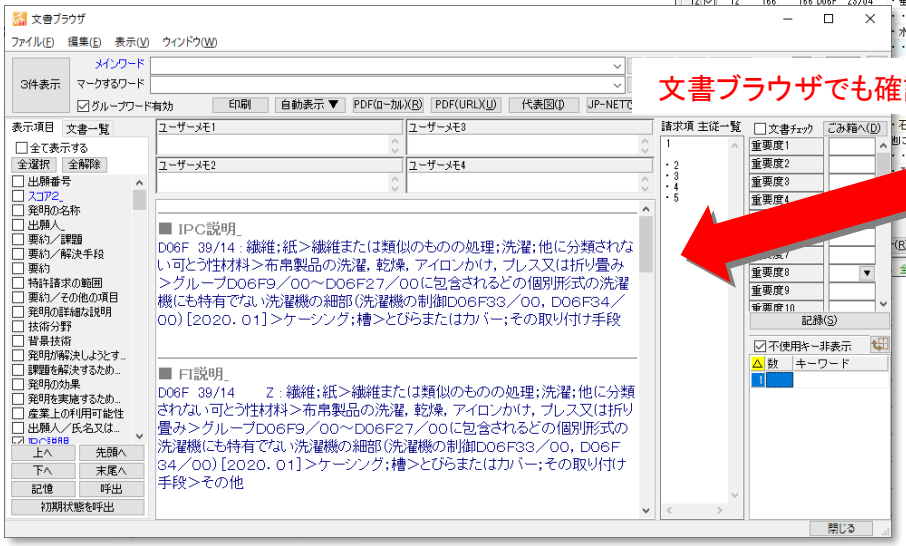
分類コードの意味をその場で確認できる！！



「コード説明」をクリックすると、各分析コードの説明を取得することができます

分類コードの説明を検索対象にできる

文書ブラウザでも確認できる



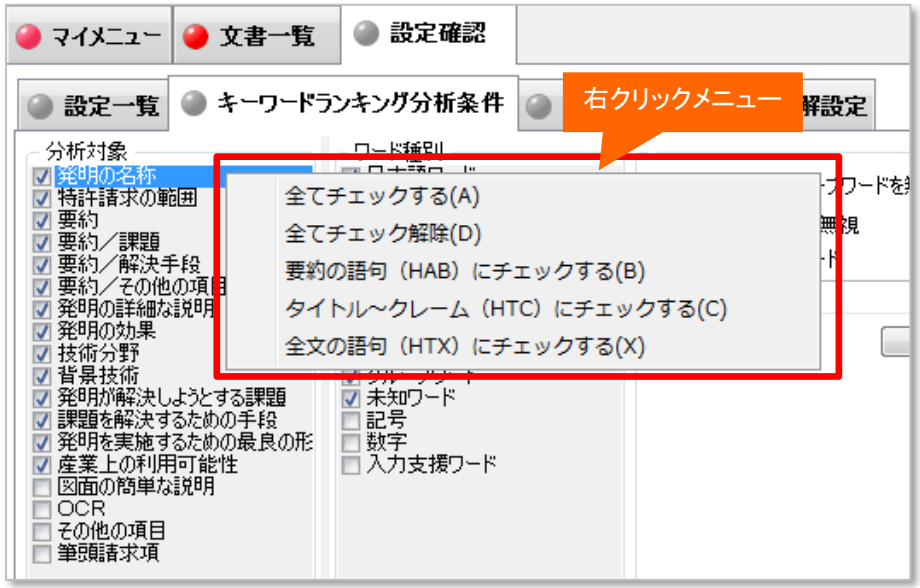
「コード説明」をクリックすると、各分類コードの意味を、公報文書内に追加表示します。

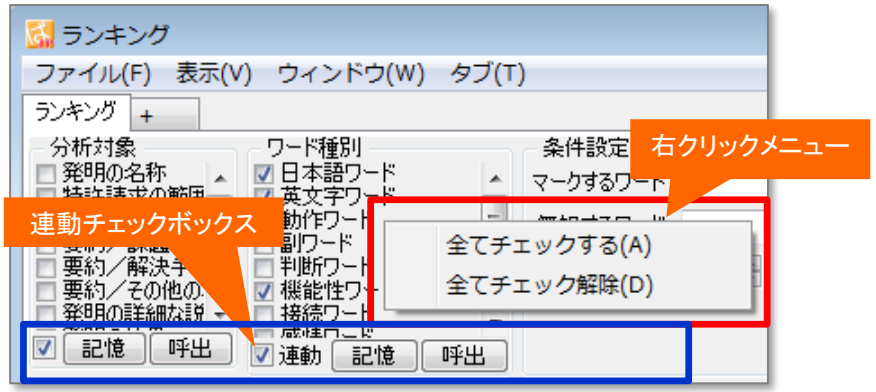
文書一覧、文書ブラウザなどで、その公報に使用されているコードの意味を確認することができます。

分類コードの説明文による検索も可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

操作関連機能





「分析対象」「ワード種別」の選択画面上で右クリックすると、『全てチェック』『全て解除』ができる！！

「分析対象」「ワード種別」の選択画面上で右クリックすると、『全てチェックする』『全てチェック解除』 のメニューが出ます。

『全てチェックする』 をクリックすると、すべてのチェックボックスにチェックが入ります。

『全てチェック解除』 をクリックすると、すべてのチェックボックスにチェックが入っていない状態となります。

「分析対象」では、さらに、『タイトル～クレーム（HTC）にチェックする』『全文の語句（HTX）にチェックする』『要約の語句（HAB）にチェックする』 を選択することができます。

『タイトル～クレーム（HTC）にチェックする』 をクリックすると、【発明の名称】【要約】【要約／課題】【要約／解決手段】【要約／その他の項目】【特許請求の範囲】にチェックが入ります。

『全文の語句（HTX）にチェックする』 をクリックすると、【その他の項目】【筆頭請求項】を除いた項目にチェックが、『要約の語句（HAB）にチェックする』 をクリックすると、【要約】【要約／課題】【要約／解決手段】【要約／その他の項目】の項目にチェックが入ります。

他画面とのチェックの連動、チェック状態の記憶・呼び出し

Ver.7.15.9.から、分析画面において、分析対象、ワード種別のチェック状態を、設定確認のキーワードランキング分析条件の分析対象、ワード種別　のチェック状態と同じにするチェックボックスと、「記憶」「呼出」ボタンを設置しました。

連動チェックボックスにチェックを入れると、 分析対象、ワード種別　のチェック状態を設定確認のキーワードランキング分析条件の分析対象、ワード種別　のチェック状態と同じ状態にします。

「記憶」「呼出」 ボタンをクリックすると、分析対象、ワード種別の、それぞれのチェック状態を、記憶・呼び出しができます。

記憶できるのは、分析対象、ワード種別のそれぞれに、1種類のみです。分析対象の「記憶」ボタンをクリックすると、記憶内容が上書きされ、前に記憶しておいた分析対象の状態は消えます。（分析対象の「記憶」ボタンによって、ワード種別の記憶が上書きされることはありません。）

メインウインドウのこれだけは攻略！

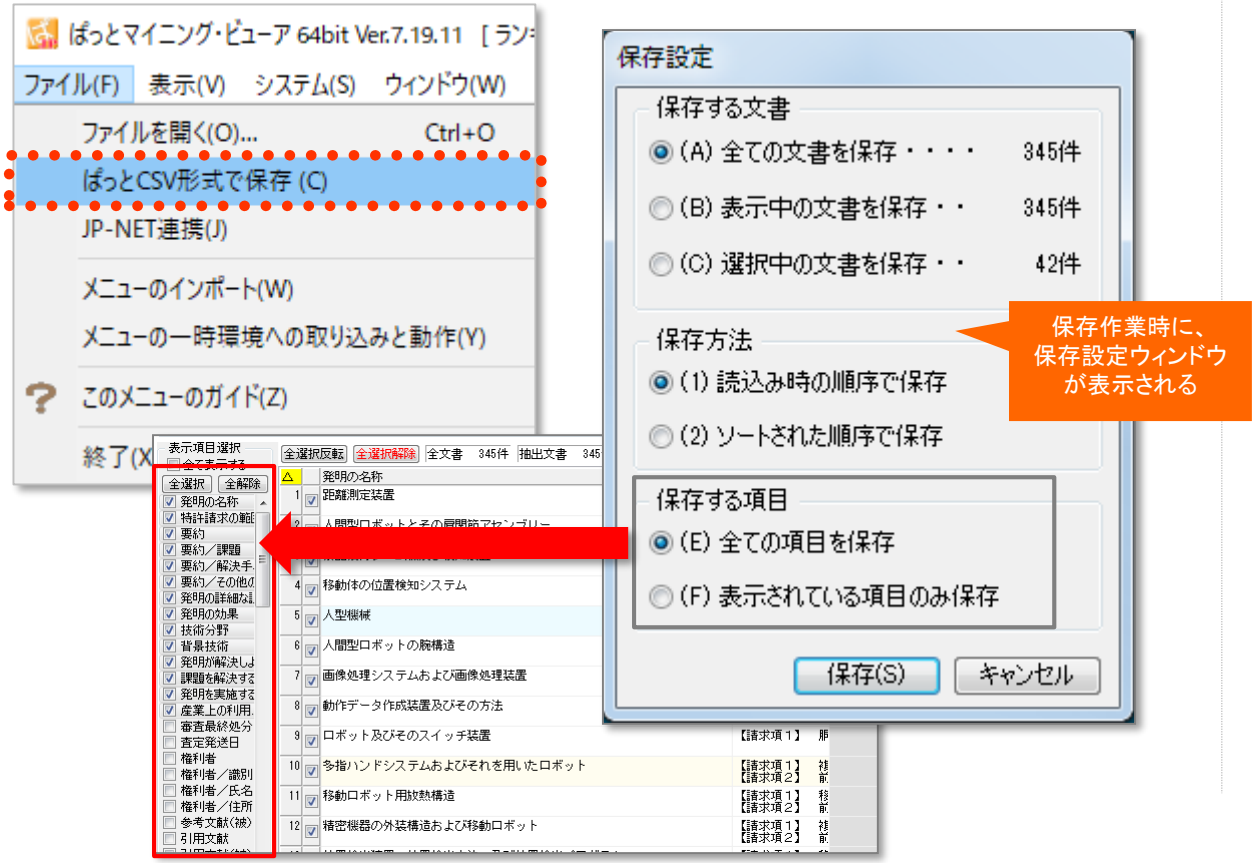
データの保存形式の選択（1）

「ぱっとマイニング・ビューア」推奨保存方法

■ ぱっとCSV形式で保存

[ぱっとCSV形式で保存(C)]を選びます。表計算ソフトに対応しています。

※　CSV形式で保存したものを、もう一度ぱっとマイニング・ビューアで読み込むことができます。



ここでの注意ポイント！

■ こんなに便利！ぱっとCSV形式での保存方法

入力した重要度やメモを含めて保存します。選択した公報だけを保存することもできます。

CSV形式で保存する場合、従来は文書一覧で表示されている項目だけを保存する仕様でしたが、保存時に保存設定ウィンドウが表示され、保存する項目を選択することができるようになりました。

「すべての項目を保存」を選択すると、文書一覧での表示項目にかかわらず、すべての項目を保存します。

「表示されている項目のみ保存」を選択すると、文書一覧で表示されている項目だけを保存します。

重要度やユーザーメモの内容も保存することができます。%独自項目などの独自項目の保存にも対応しています。

CSV形式で保存したデータを、もう一度ぱっとマイニングで読み込み、分析作業を行なうことができます。

※　「ぱっとマイニング・ビューア」で編集したデータは保存しない限り、本体を終了すると消失します。ご注意ください

※【出願人】という項目は、【出願人／氏名又は名称】をもとにぱっとマイニングJPが生成する独自項目です。グラフ作成時は【出願人】が集計の対象となります。

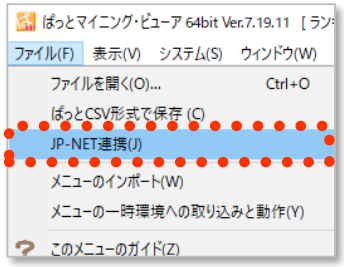
メインウインドウのこれだけは攻略！

データの保存形式の選択（2）

■ DNO(公報番号)形式で保存

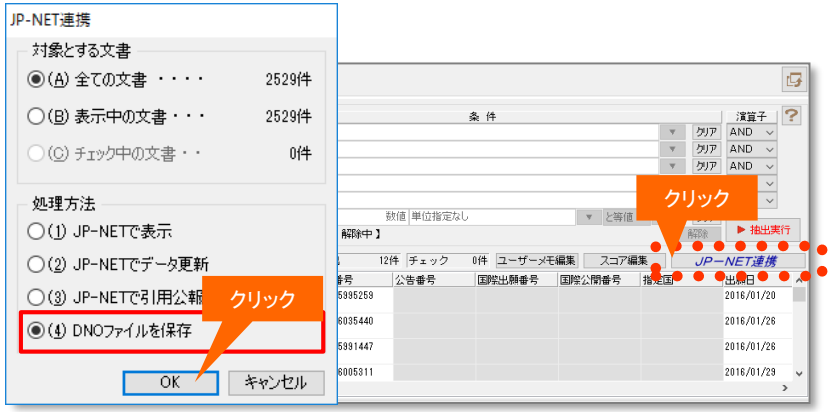
公報番号保存を選ぶと、JP－NETのDNOコマンドに対応した形式で保存することができます。出力されたDNO形式のデータをJP－NETで読み込めば、手軽にファイルをダウンロードすることができます。

（1）



［ファイル(F)］→［JP－NET連携(J) ］を選びます。

（2）



『メインウィンドウ』の右上部にある『JP－NET連携』をクリックします。保存設定をチェックし、『保存』をクリックします。

保存された
ファイルデータ

```
A   1991-000001
A   1991-000002
A   2001-000001
B9  0000001
B9  0000002
S   W02008/000010
S   W02008/000100
SP  W02008/000010
SP  W02008/000010
T   1992-000001
U9  0000009
```

ここでの注意ポイント！

■ 公報番号を保存して、JP－NETと連携

保存時に、設定ウィンドウで、対象とする文書を「全ての文書」「表示中の文書」「チェック中の文書」を選択することができます。

■ 保存したDNOファイルをJP－NETのコマンド検索画面で呼び出すことができるように、クリップボードに検索式をコピーすることができます。

■ クリップボードの検索式をJP－NETの検索画面に貼りつけるだけで、保存した公報番号に該当する公報をすぐに検索することができます。

※上記の公報番号による検索の利用は、JP－NETのコマンド検索オプションが必要です。

■ 公報PDFや代表図のダウンロードなどにご活用いただけます。

■ 公報番号の保存順序

保存される公報番号は、文字の昇順に並べられます。数字は0-9の番号の若い順、アルファベットはA-Zの文字の若い順に保存されます。

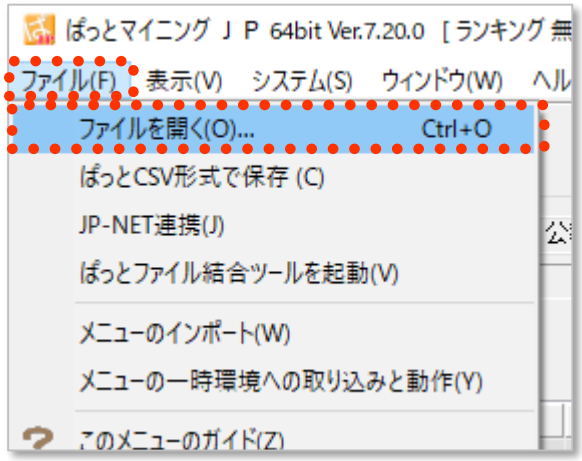
（例）

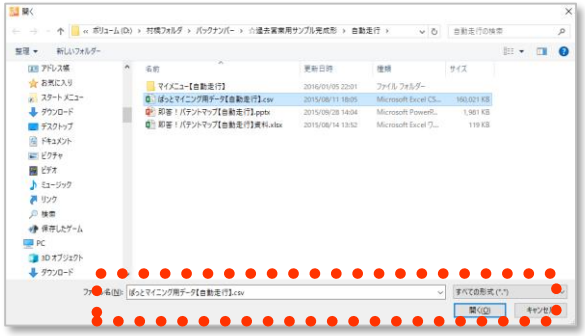
```
A   1991-000001
A   1991-000002
A   2001-000001
B9  0000001
B9  0000002
S   W02008/000010
SP  W02008/000010
T   1992-000001
```

メインウインドウのこれだけは攻略！

保存したデータの読込方法

■ それぞれのデータの読込方法





保存したデータの読み込みは『メインウィンドウ』から行います。[ファイル(F)] → [ファイルを開く(O)] をクリックし、[.csv] 、[.pmx]形式のデータを選択します。

ここでの注意ポイント！

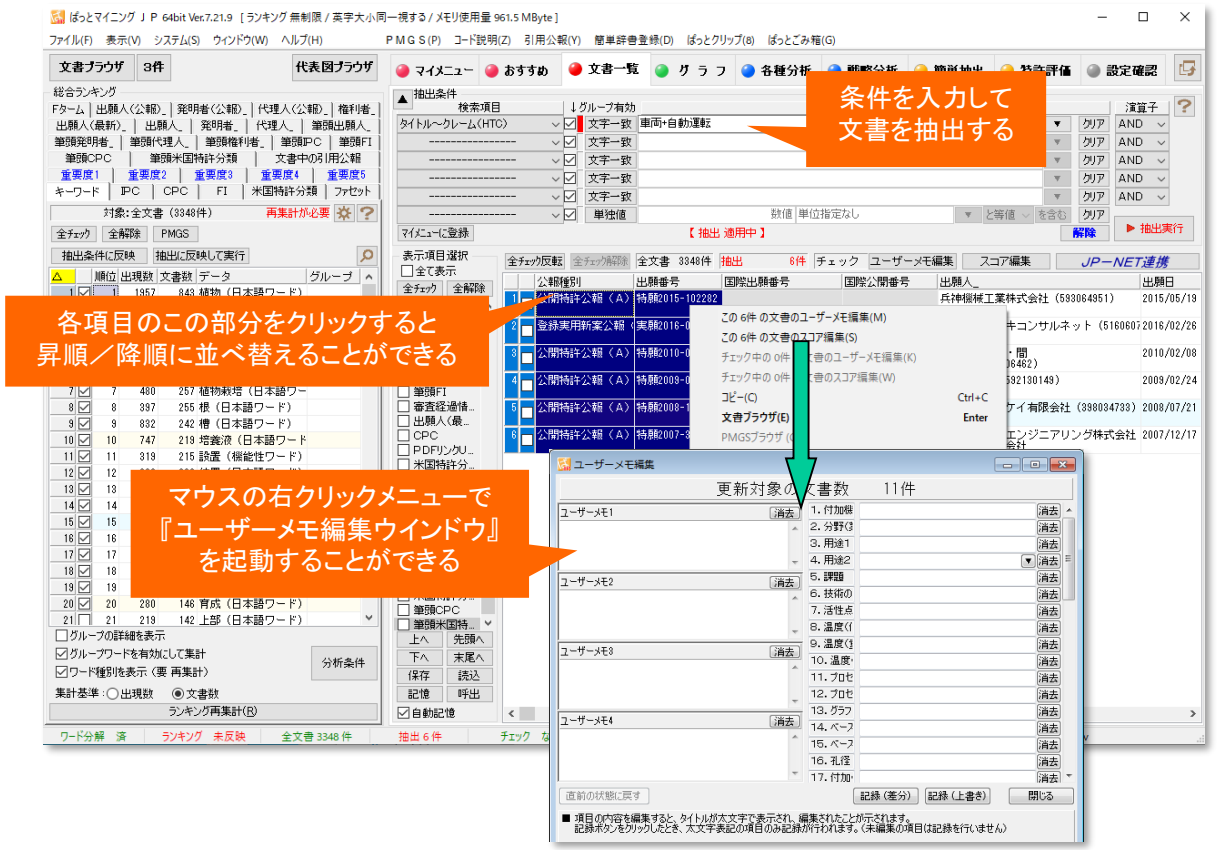
■ ファイルの読込

ぱっとCSV形式やぱっとマイニング形式で保存したデータは、メインメニュータブの「ファイル」のタブから「ファイルを開く」をクリックすることで読込むことができます。

※ ファイルの読込前に、CSVデータを編集する際は、CSV編集用のソフトをご利用ください。エクセルで編集を行なうと、データが破壊され、保存した状態のデータを読込むことができません。

メインウインドウのこれだけは攻略！

必要な文書をソート＆抽出



ここでの注意ポイント！

■ ソート

各列の一番上をクリックすると、昇順・降順に並べ替えることができます。

■ 抽出

抽出条件を選択し、『抽出を適用』にチェックを入れると、条件に適合したデータだけが抽出されて表示されます。抽出されたデータだけを保存することができます。チェックをはずすと、読み込み時の全データが表示されます。

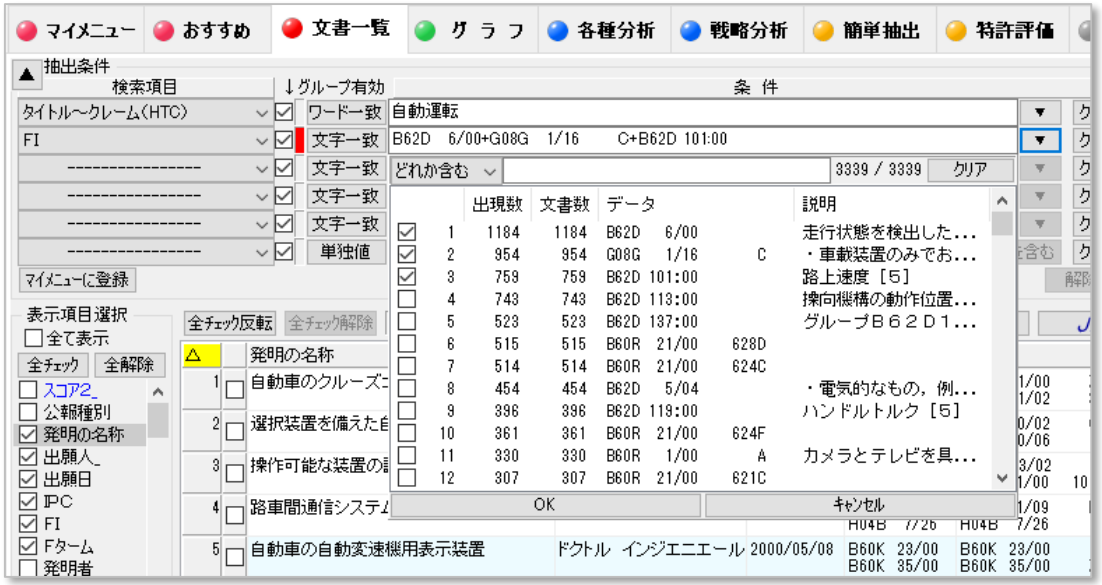
- 抽出式の入力行は5行です。
- FI、IPCコードに正式対応。使用されているコードをポップアップ表示する選択ボタンを実装しています。
- 条件式各行内は「＋」「＆」「((カッコ)」演算子に対応しています。

■ ユーザーメモ編集

文書を選択し、右クリックメニューの［ユーザーメモ編集(Z)］をクリックすると、ユーザーメモ編集ウインドウを起動することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

抽出条件の詳細



ここでの注意ポイント！

■ 抽出条件

検索項目を選択し、抽出条件を入力し、「抽出実行」ボタンをクリックすると、条件に適合したデータだけが抽出されて一覧に表示されます。

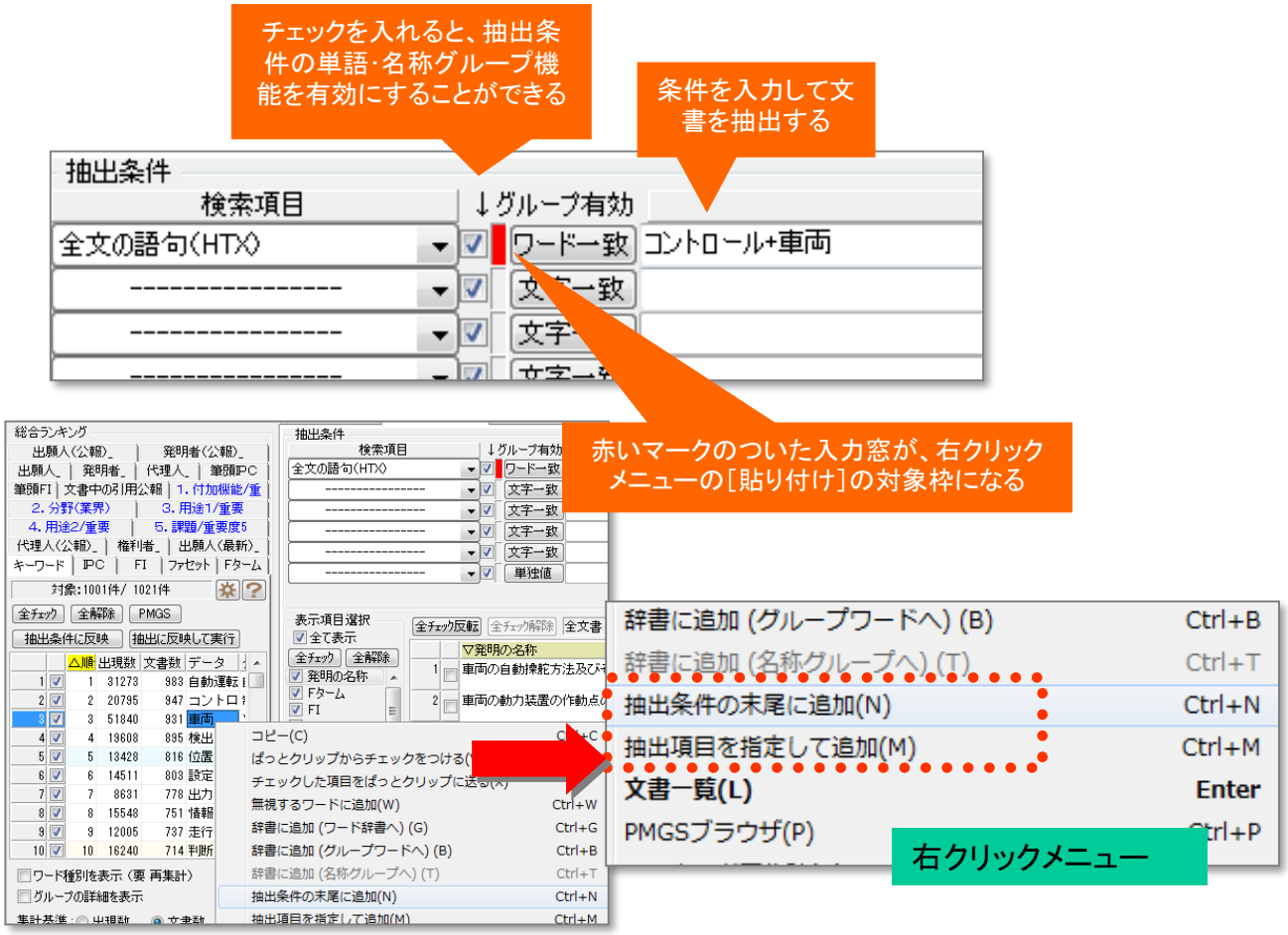
- 検索項目は、プルダウンで選択します。
- 検索項目を選択しない(----------と表示されている)状態では、条件欄に入力があっても抽出条件の対象となりません。
- 条件欄には、リストボックスからの選択、または手入力ができます。
- ワードは全て全角で入力します。半角文字のワードは全角に変換されます。
- 複数のワード等を入力する際には、「＋」か「＆」で連結してください。「＋」「＆」「(カッコ)」の演算子に対応しています。
- 「＋」「＆」「(カッコ)」を全角で入力すると、抽出実行時に自動的に半角に変換します。

全角スペースは、そのまま変換されずに抽出条件となります。半角スペースは全角スペースに変換されます。 ただし、「＋」「＆」「(カッコ)」の前後に入れられたスペースは、抽出実行時に自動的に削除されます。

- 「＋」「＆」「(カッコ)」や、半角スペースを含むワード、半角文字を抽出対象にしたい場合は、ダブルクォート(” “)で囲んでください。
- ワードや名称において、英単語の大文字と小文字は同一視するように設定することができます。
  [システム]→「環境設定]→「文字列処理タブ」の「英字の大文字と小文字を同一視する」にチェックを入れて下さい。
- 条件欄にリストボックスから複数の対象を選択した場合は、自動的に「＋」で連結されます。「＆」や「()」を使用する場合は、手入力で変更してください。
- 抽出条件入力欄どうしの間は、「AND」 「OR」のどちらかの演算子で接続できます。
  「AND」の場合は、「A かつ B であるもの」、「OR」の場合は、「A または B であるもの」、という条件となります。

メインウインドウのこれだけは攻略！

右クリックで抽出条件をコピー＆ペースト



ここでの注意ポイント！

■ 右クリックメニュー

ランキングの上で、マウスの右ボタンをクリックすると、メニューが出ます。キーボードのショートカットキーもご利用いただけます。

■ 抽出条件の末尾に貼り付け

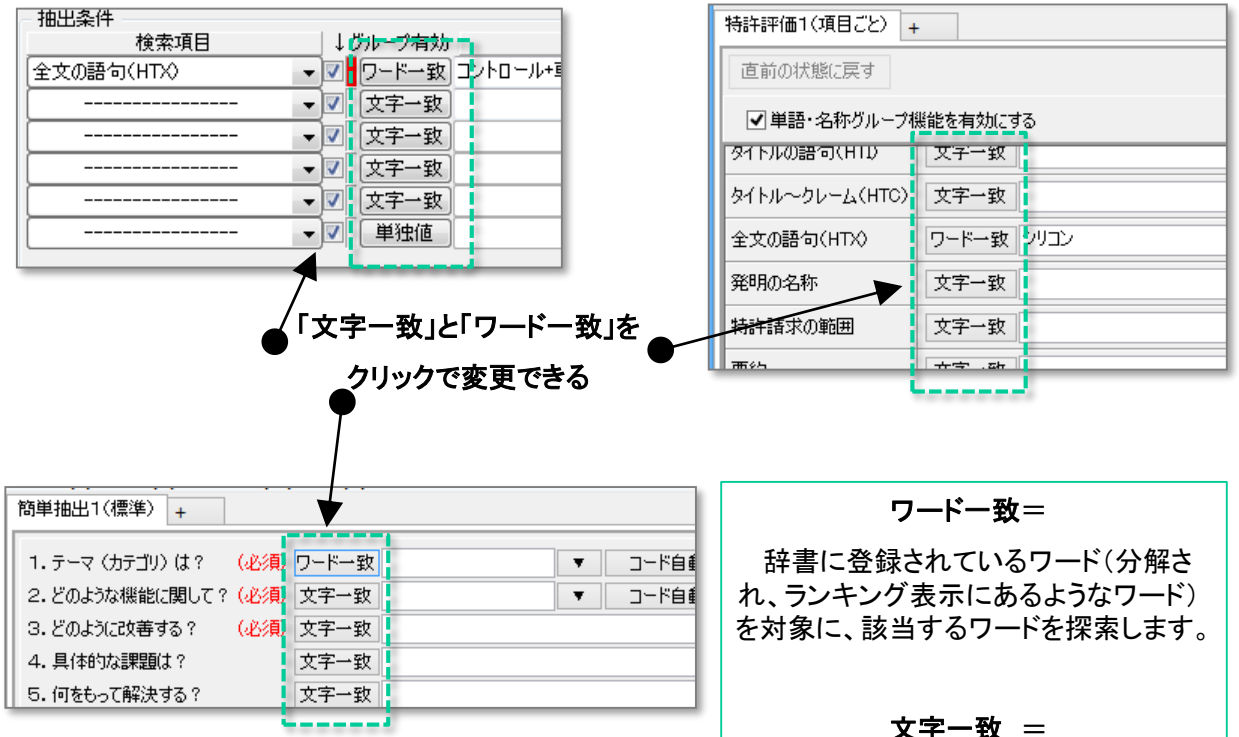
右クリックメニューで『抽出条件の末尾に貼り付け』をクリックすると、選択したワードやコード等が抽出条件入力枠の末尾にコピー＆ペーストされます。

■ 抽出項目を指定して貼り付け

右クリックメニューで『抽出項目を指定して貼り付け』をクリックすると、選択したワードやコード等が抽出条件入力枠にコピー＆ペーストされます。分類コードや出願人、発明者、代理人を選択した場合は、検索項目に自動的に分類コード、出願人、発明者、代理人が指定されます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ワードー致と文字一致



ワードー致＝

辞書に登録されているワード（分解され、ランキング表示にあるようなワード）を対象に、該当するワードを探索します。

文字一致　＝

辞書やワード分解の影響を受けずに、

”入力した文字列”と同じ文字の並びがあるか探索します。

ここでの注意ポイント！

■ ワードー致と文字一致の選択

文書を抽出する各機能に、ワードー致と文字一致の選択機能を追加しました。
ワードをカウントすることで意味のある分析、文字一致で幅広く検索することで効果が高まる調査作業など、各種のニーズに対応するため、各種の分析画面の抽出部分に、両方の機能を選択して利用できるようにしました。

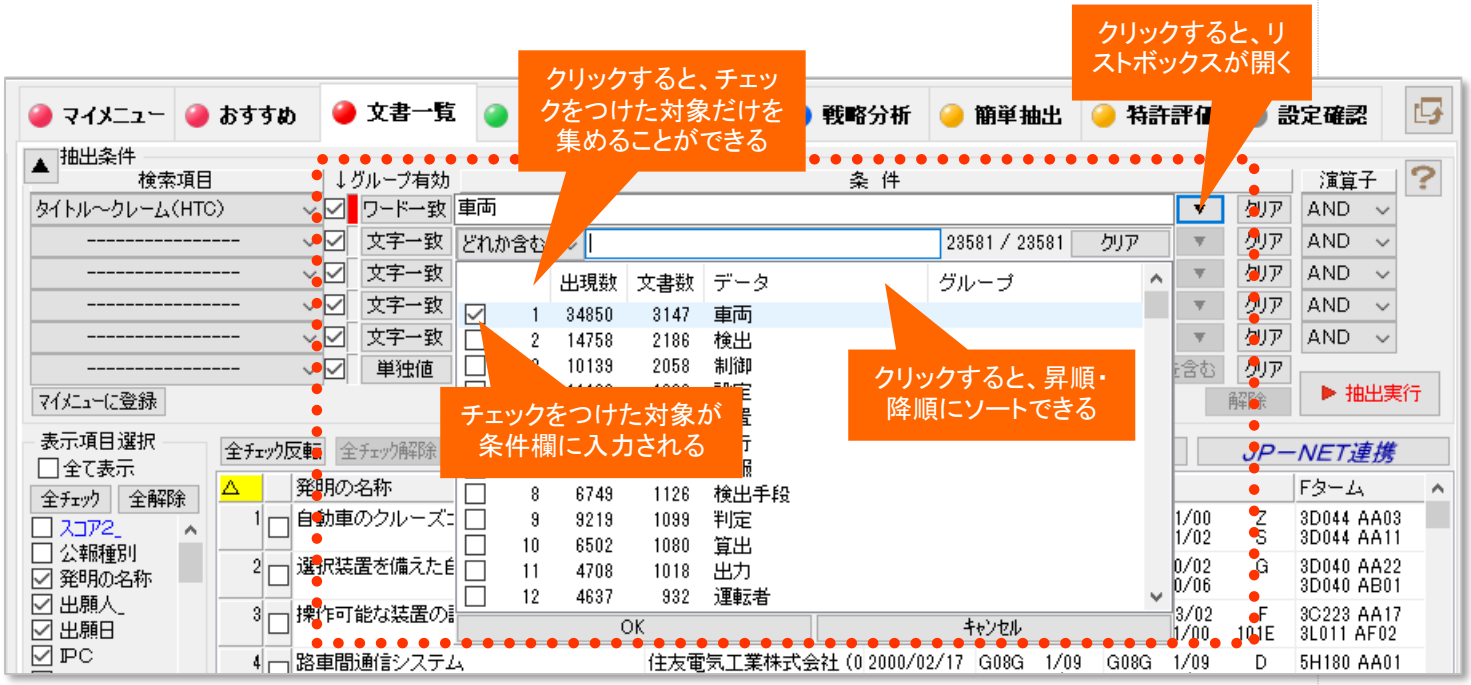
■ ワードー致と文字一致のちがい

（例）”電池自動車”と入力して抽出／検索する場合
ワードー致：辞書に”燃料電池自動車”や”水素電池自動車”はあるが、”電池自動車”がなかった場合、「該当なし」とされる。
文字一致：辞書に”電池自動車”がなかったとしても、文書内を一文字ずつ検索していき、”電池自動車”と同じ文字の並びのある部分を見つけ、カウントします。

ここで、”電池自動車”が辞書にあった場合には、ワードー致において、”燃料電池自動車””水素電池自動車””電池自動車”が、それぞれ適切にカウントされます。
しかし、文字一致では、そのすべてに含まれる”電池自動車”部分を見つけますので、ランキング表示などの件数と一致しなくなることがあります。

メインウインドウのこれだけは攻略！

抽出条件の入力支援



ここでの注意ポイント！

■ リストボックス

検索項目を選択すると、『▼』ボタンが有効になります。『▼』ボタンをクリックすると、リストボックスが開きます。

チェックをつけた対象が、抽出条件欄に入力されます。

複数の対象を選択した場合は、「＋」で連結されます。「＆」や「()」を使用する場合は、手入力してください。

■ 総合ランキングとの連動

分類コードの区切り指定を変更すると、リストボックスの内容も変化します。

■ リストボックス内の並び替え

リストボックスの上部セルをクリックすると、昇順・降順に並び替えることができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

文書一覧の抽出条件をマイメニューから呼び出し

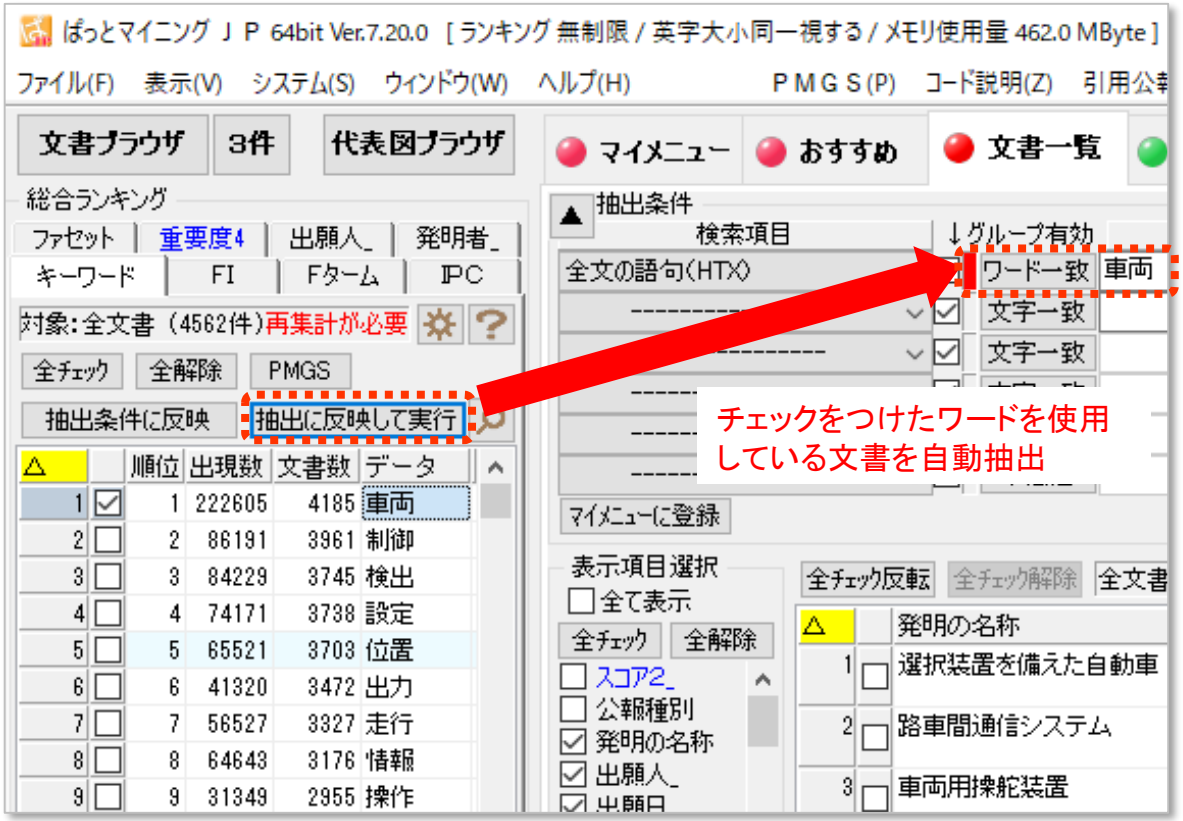
同じ条件で簡単に抽出作業が行える

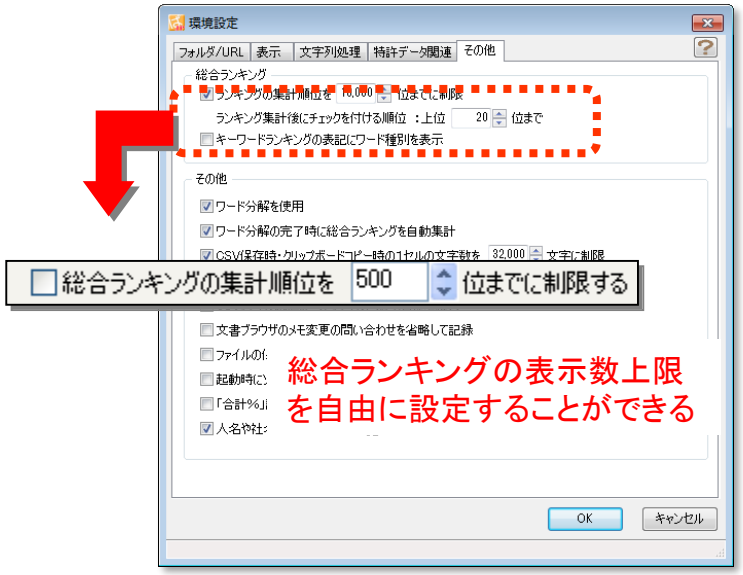
- 「ぱっとマイニングJP」にて、文書一覧の抽出条件をマイメニューに登録することができるようになりました。
- 「ぱっとマイニング・ビューア」では、マイメニューから文書一覧の抽出条件を呼び出すことができます。
- 登録した「マイメニュー」の項目をクリックすると、抽出条件が再現されます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

総合ランキングからワンタッチで抽出

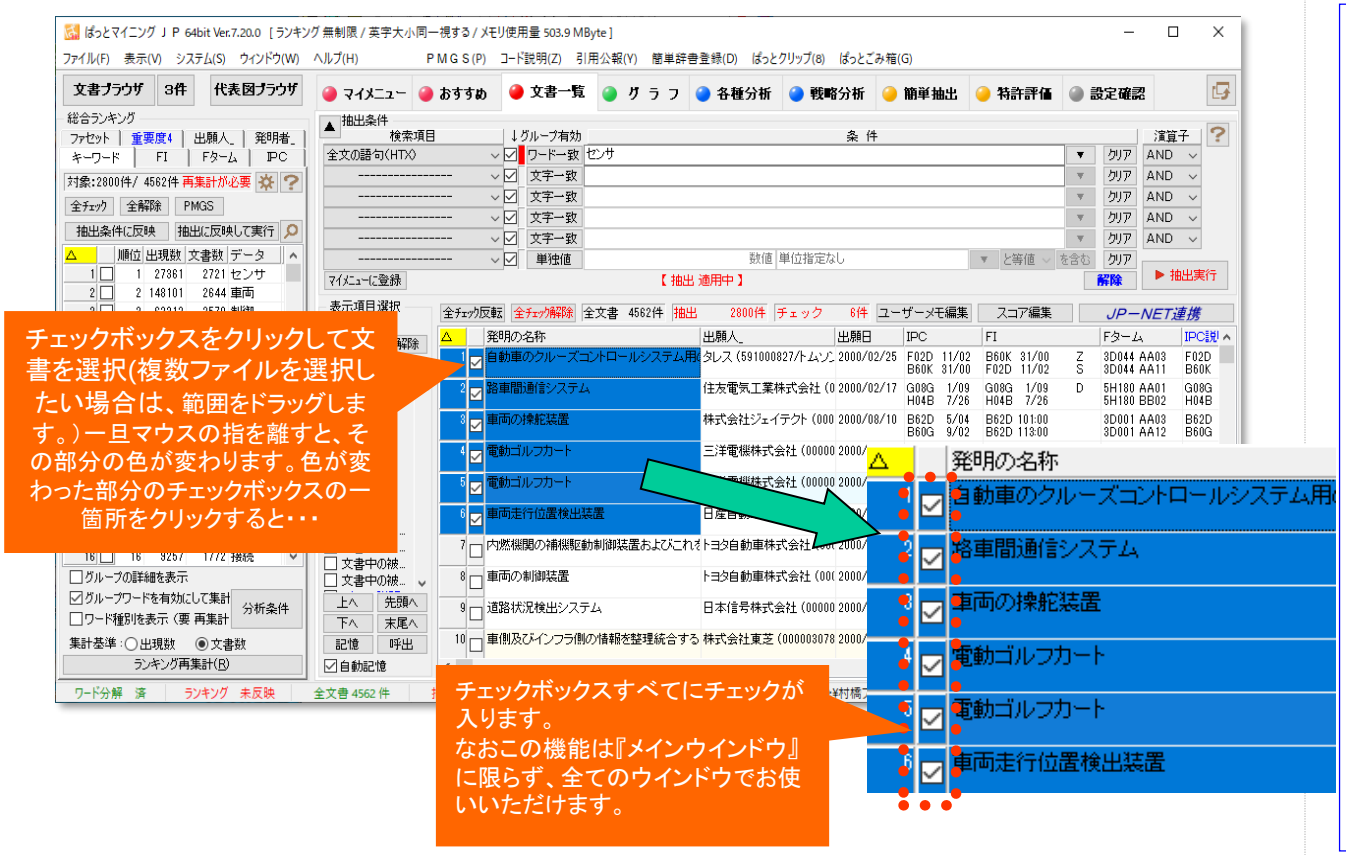
〔チェック状態を抽出条件に反映させる〕にチェックを入れると、『総合ランキング』内のチェックをつけた項目が抽出条件となり、自動的に公報を抽出します。





メインウインドウのこれだけは攻略！

範囲選択機能



ここでの注意ポイント！

- **選択**

  文書一覧左端のチェックボックス☑にチェックを入れると、その行の文書が選択されます。

- **選択反転**

  『選択反転』ボタンをクリックすると、チェックボックスにチェックが入っていなかった文書がすべて選択されます。

- **全解除**

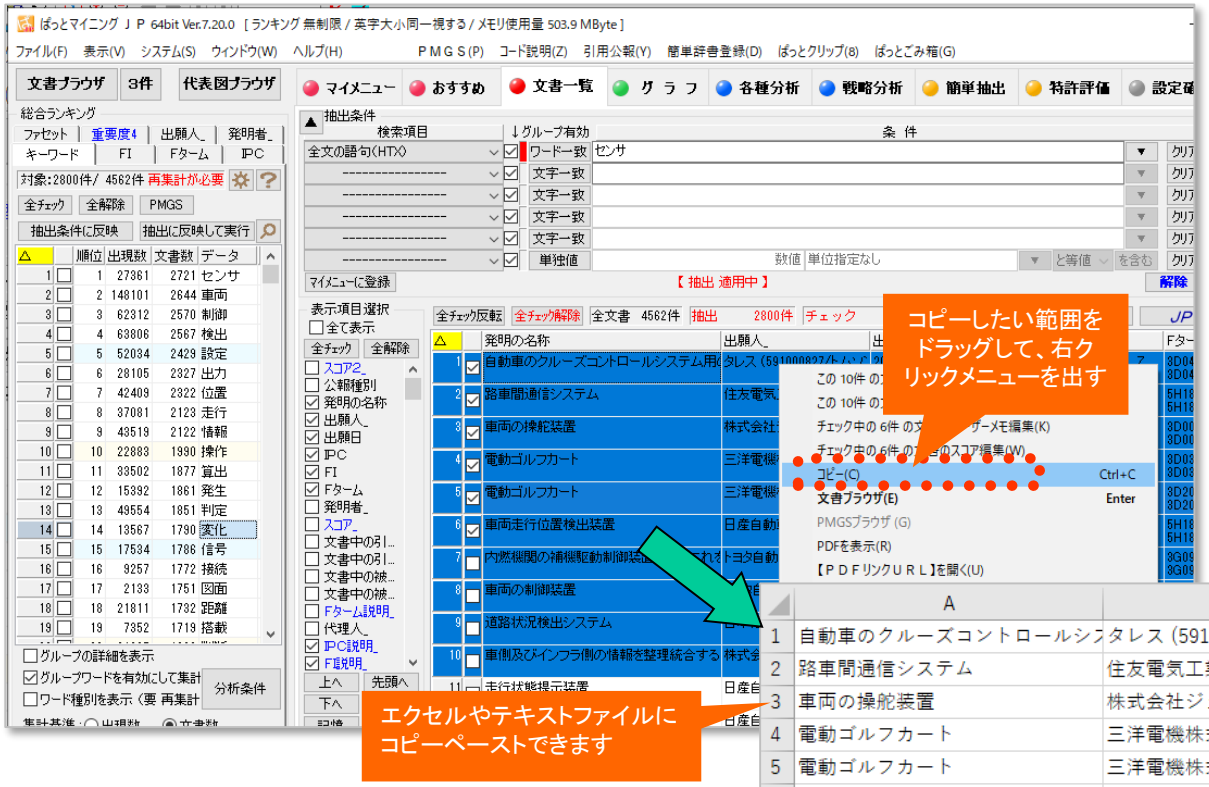
  チェックボックスのチェックをすべてはずします。

- **削除**

  右クリックメニューの［削除］で、選択された文書を一括削除することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

複数セルの選択・コピー



	A	B	C
1	自動車のクルーズコントロールシ	タレス (591000827/トムソ	2000/2/25
2	路車間通信システム	住友電気工業株式会社 (00	2000/2/17
3	車両の操舵装置	株式会社ジェイテクト (00	2000/8/10
4	電動ゴルフカート	三洋電機株式会社 (00000	2000/3/31
5	電動ゴルフカート	三洋電機株式会社 (00000	2000/3/31
6	車両走行位置検出装置	日産自動車株式会社 (000(	2000/1/5
7	内燃機関の補機駆動制御装置およ	トヨタ自動車株式会社 (00	2000/1/7
8	車両の制御装置	トヨタ自動車株式会社 (00	2000/1/13
9	道路状況検出システム	日本信号株式会社 (00000	2000/1/7
10	車側及びインフラ側の情報を整理	株式会社東芝 (000003078	2000/1/13

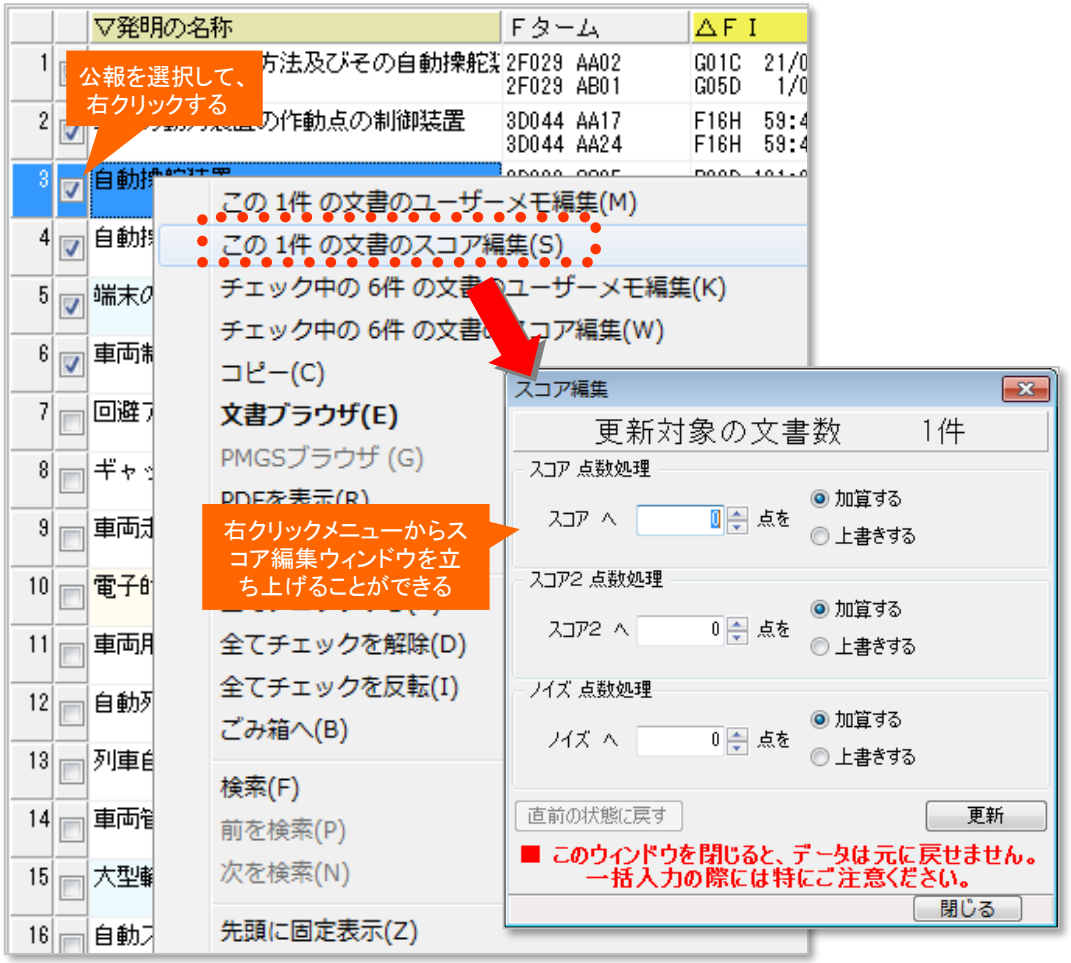
ここでの注意ポイント！

■ 複数セルの選択

コピーしたい範囲をドラッグアンドドロップし、右クリックします。コピーの項目をクリックします。エクセルやテキストファイルにコピーペーストすることができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

公報ごとにスコアを加算・減算



ここでの注意ポイント！

■ 右クリックメニューでスコア編集

公報を選択し、右クリックメニューからスコア編集をクリックすると、スコア編集ウィンドウを立ち上げることができます。

スコアまたはノイズに、任意の点数を加算または上書きすることができます。

文書一覧だけでなく、「特許評価」や各種分析画面など、文書が選択できる画面で、スコア編集ウィンドウを立ち上げることができます。

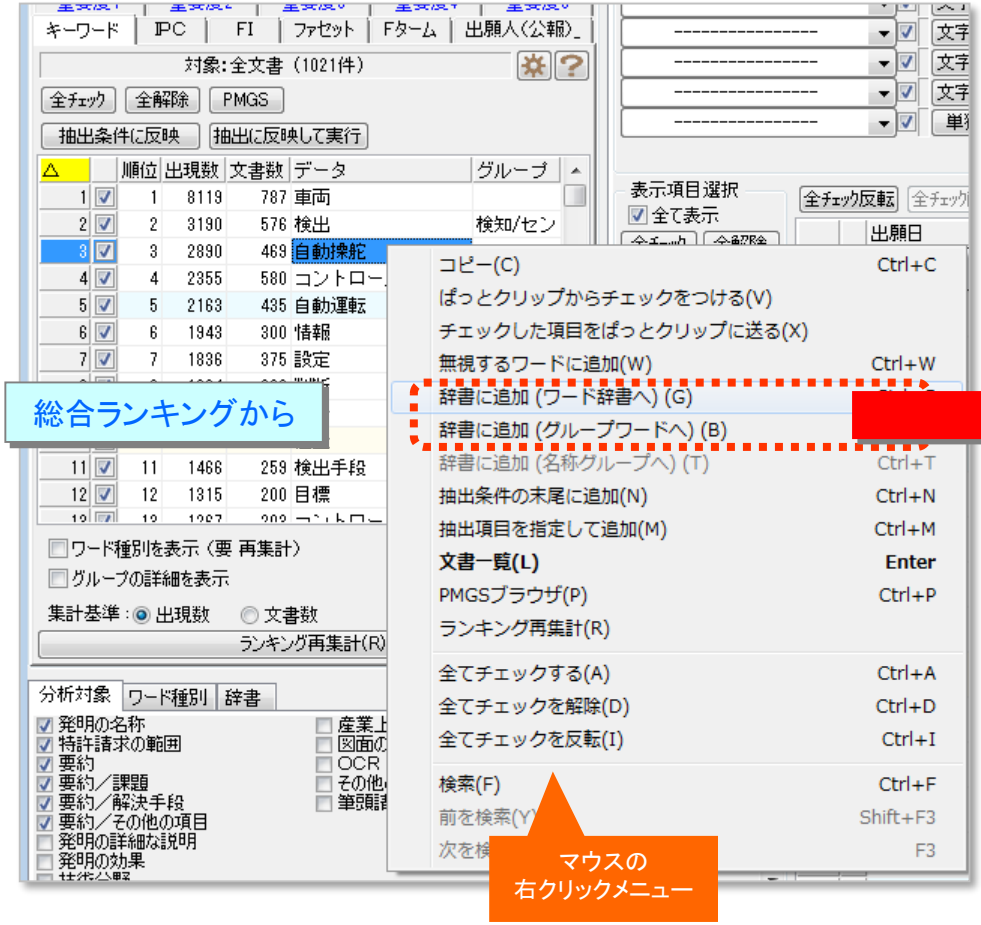
※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

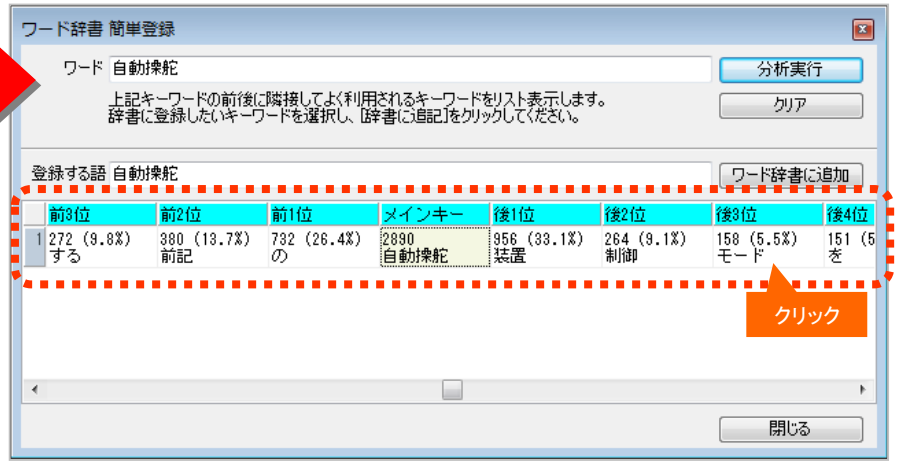
※　一時環境としては、エクスポートの時点で付与されたスコアがご利用いただけます。スコアを一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

右クリックで“ワード辞書　簡単登録”起動！

辞書機能：簡単登録ツール





気になるワードを用いた複合語を手軽に検索し、辞書登録することができる！

■　総合ランキングのキーワードタブ、ランキング分析、関連分析において、ワードのセルを選択し、右クリックメニューから「辞書に追加」をクリックすると、「簡単登録」ウィンドウを起動することができます。

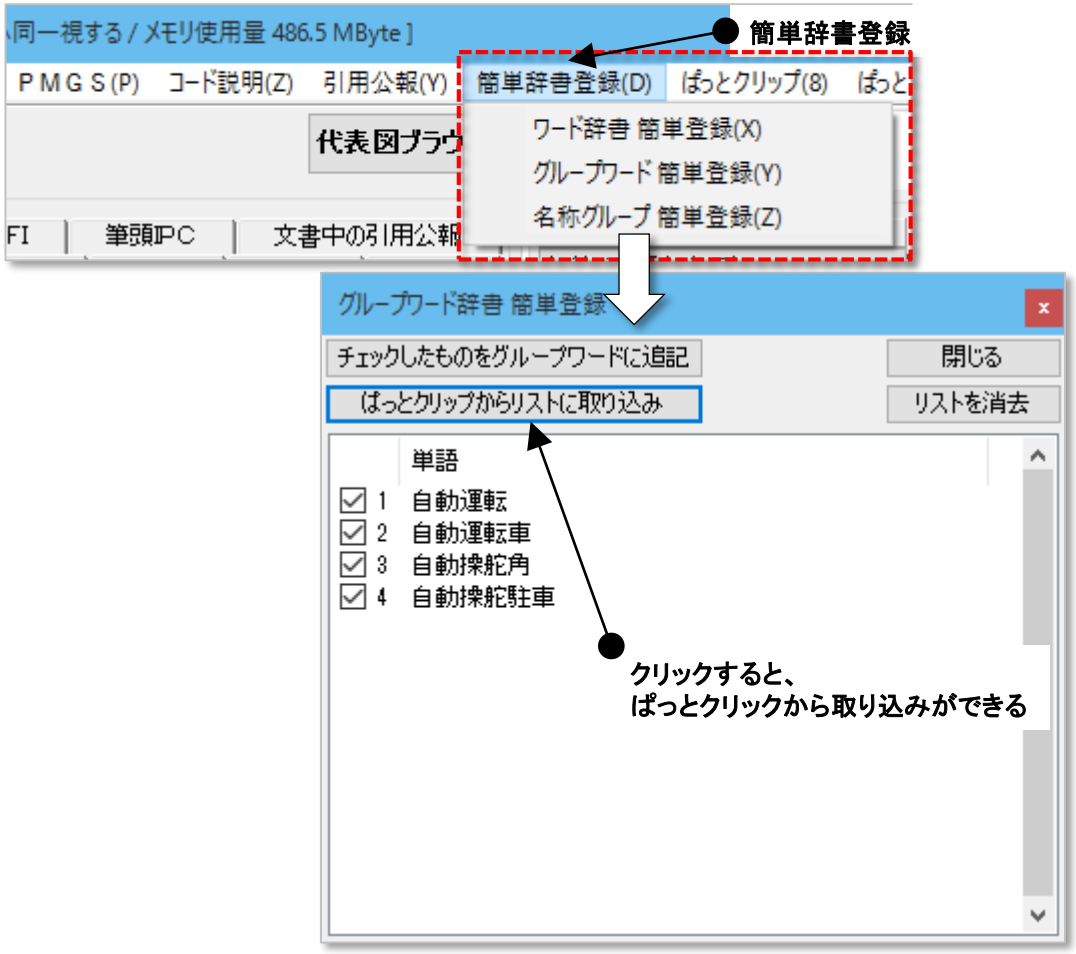
■　「ワード辞書　簡単登録」では、ワードの前後によく利用されるキーワードをリスト表示しているので、ワード+ワードによる複合語をこの画面から辞書登録することができます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書操作：ぱっとクリップからリストに取り込み



グループワードの辞書登録が簡単に！

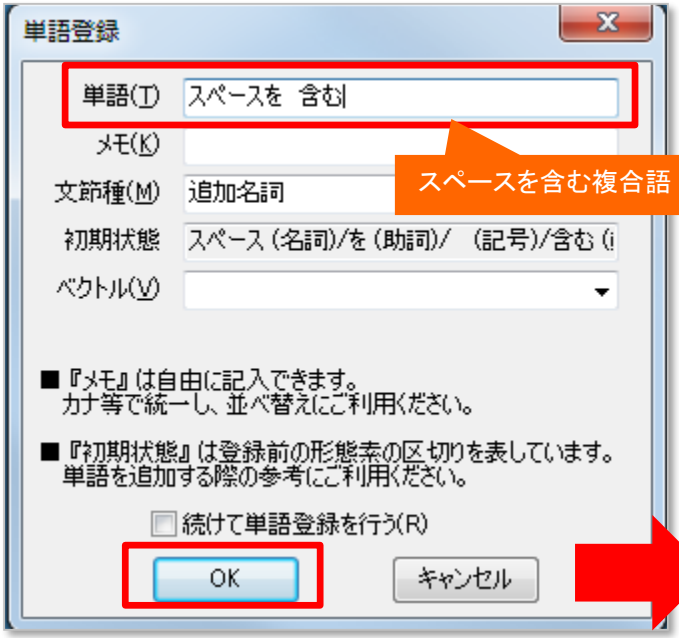
- 『簡単辞書登録』に「ぱっとクリップからリストに取り込み」ボタンを設置しました。
- 『簡単辞書登録』から『グループワード　簡単登録』を起動し、「ぱっとクリップからリストに取り込み」をクリックすると、ぱっとクリップにコピーしておいたワードを取り込んで、グループワードとして登録することができます。
- 総合ランキングでグループ化したいワードを抽出し、ぱっとクリップに送っておくと、グループワードに簡単に登録することができます。

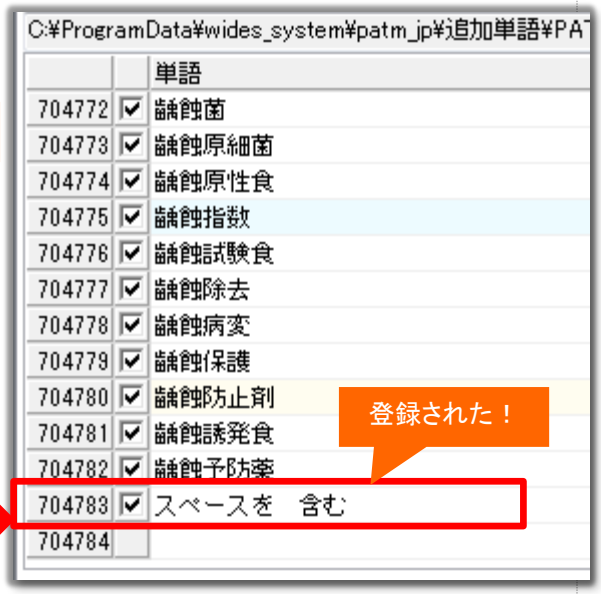
※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

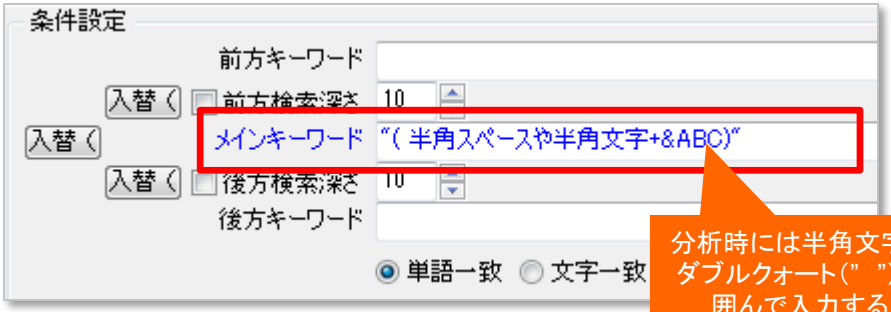
※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書機能：スペースを含む複合語の登録







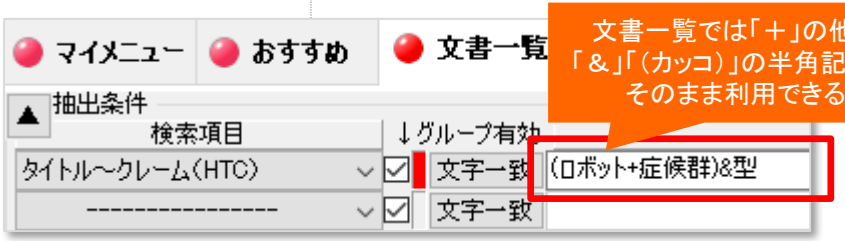
ここでの注意ポイント！

■ 右クリックメニューでスコア編集

スペースを含む複合語を辞書登録できるようになりました。
分析ウィンドウに半角スペースを含む複合語や半角文字を入力する場合は、ダブルクォート(" ")で囲みます。(ダブルクォートで囲まない半角文字・半角スペースは、自動的に全角に変換されます。)
英単語の大文字と小文字を同一視するように設定することができます。[システム]→「環境設定]→「文字列処理タブ」の「英字の大文字と小文字を同一視する」にチェックを入れて下さい。

※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

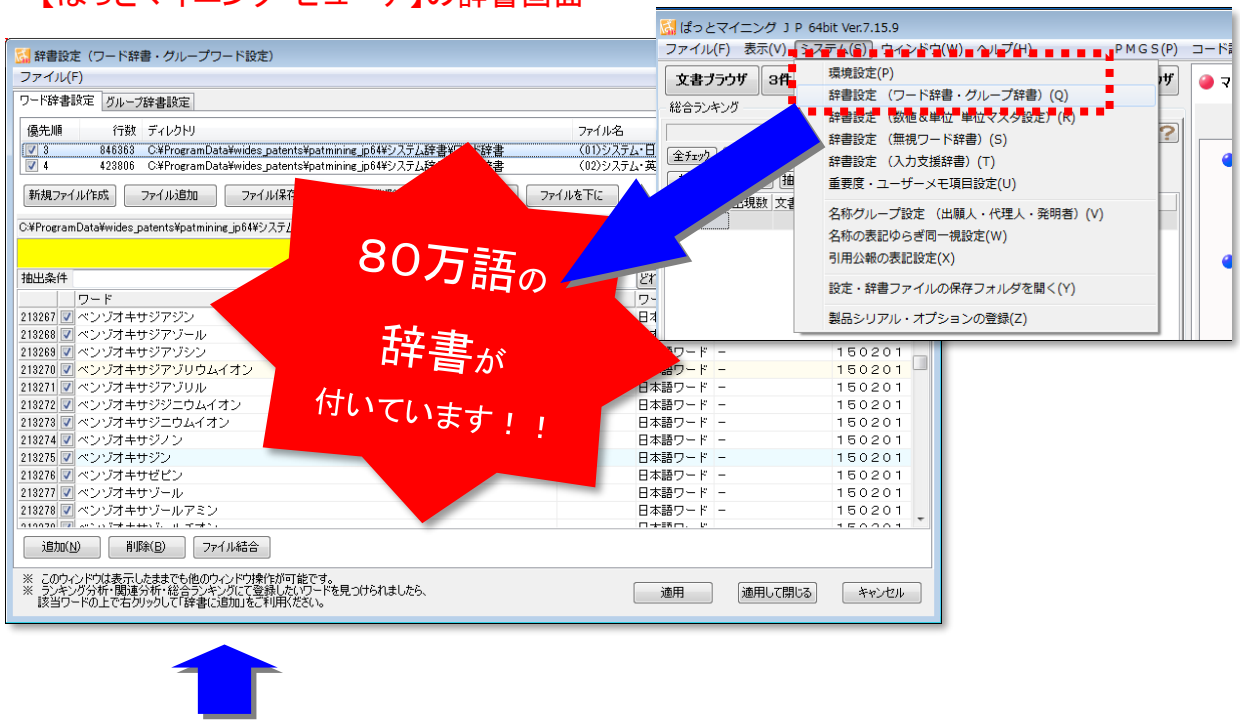
※ 一時環境としては、エクスポートの時点で付与されたスコアがご利用いただけます。スコアを一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。



メインウインドウのこれだけは攻略！

ユーザー辞書

【ぱっとマイニング・ビューア】の辞書画面



ワード辞書には専門用語　約80万語が登録されています。

ユーザが辞書に単語を追加するたびに、分析精度がアップします。

ここでの注意ポイント！

■　辞書設定について

一時環境では簡単に取り込んだ辞書で分析が可能ですが、査読業務でもし、辞書をご利用になられる際は、設定・辞書ファイルを「ぱっとマイニングJP」で書き出し、そのデータを読み込む必要があります。

また、新しく辞書ファイルを作成していただくことも可能です。

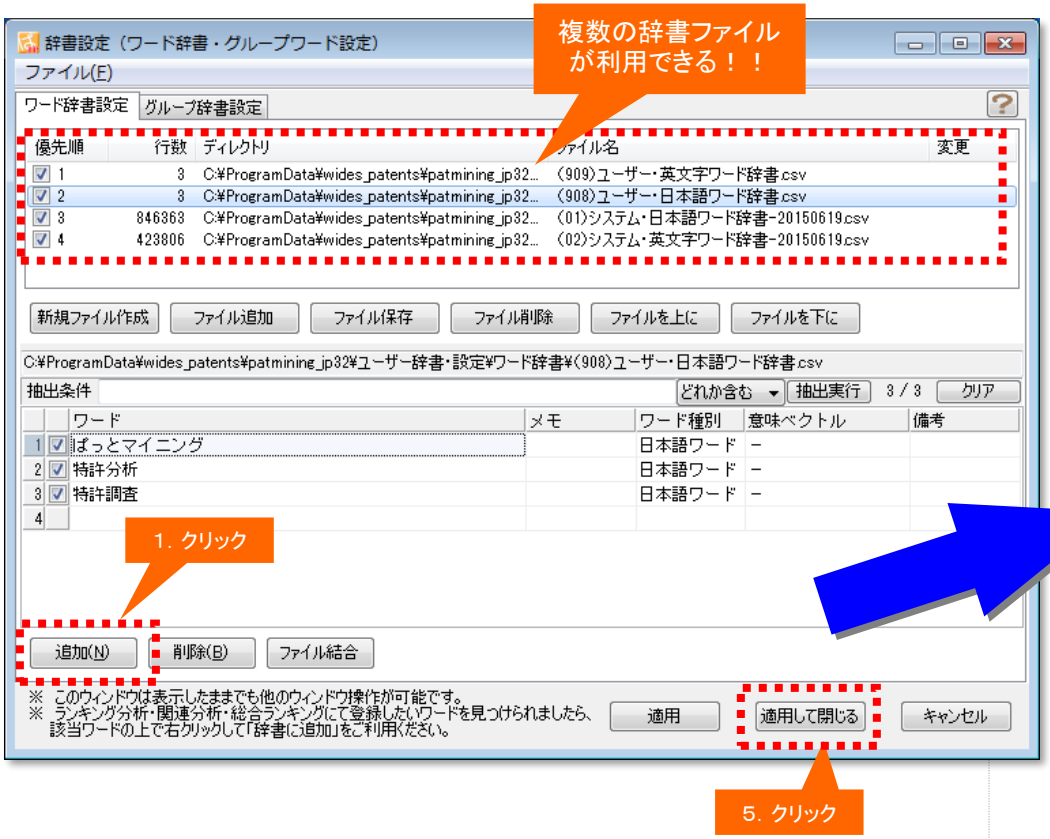
メニューの〔システム〕→〔辞書設定〕で、ユーザーご自身で単語を登録していただくことができます。

たとえば「2次元コード」という単語は、ワード分解では「2次元」「コード」という二つの単語に分割してカウントされます。しかし、辞書設定画面で、「2次元コード」という単語を登録しておくと、「2次元コード」をひとつの単語として取り扱い、分析やグラフ作成に利用することができます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

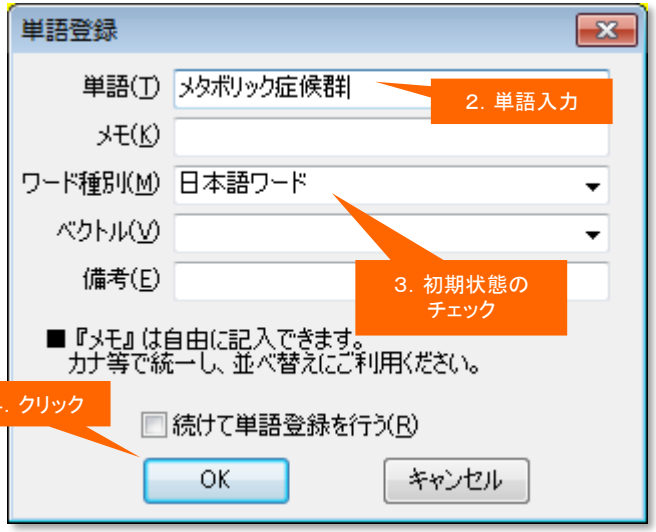
メインウインドウのこれだけは攻略！



※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ユーザー・ワード辞書の登録 （1単語ずつの登録方法）

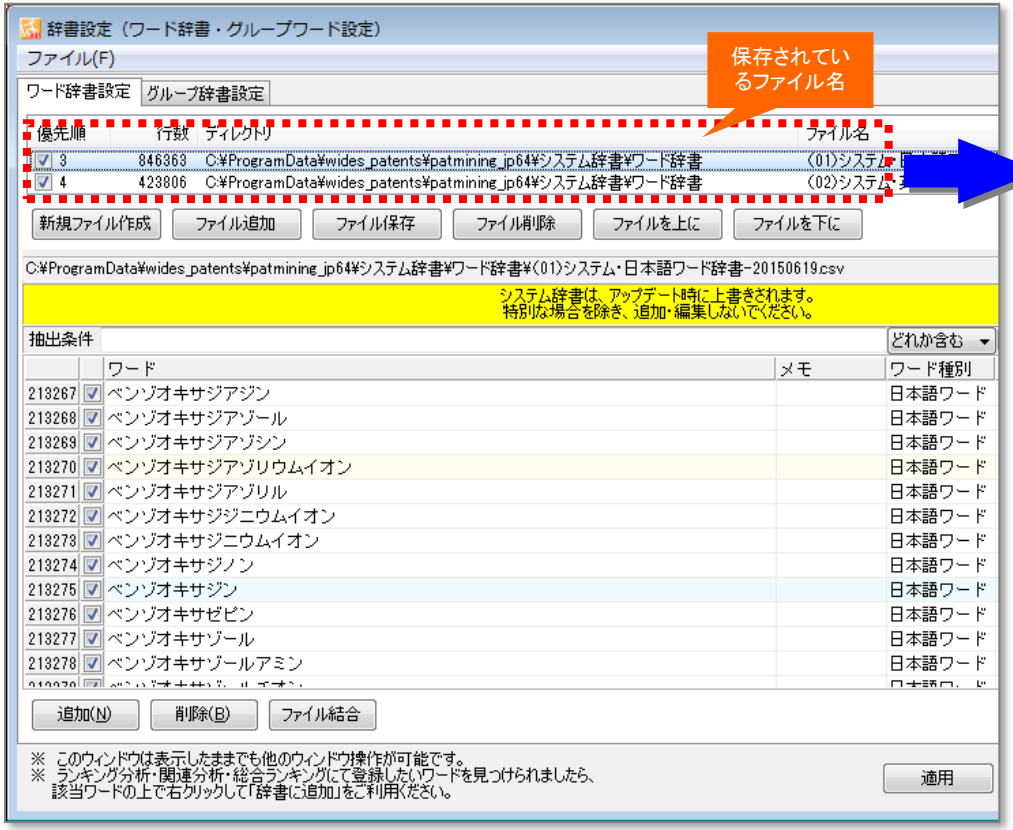


- 上の図は「メタボリック症候群」という単語を登録する際の例です。初期状態を確認すると、「メタボリック」「症候群」という2つの単語に分割されていることがわかります。ここで追加単語として登録しておくと、「メタボリック症候群」というひとつの単語として取り扱うことができます。
- 単語登録後は、必ず保存ボタンをクリックして、追加単語を保存してください。
- 追加された単語は〔ランキング再集計〕ボタン、〔分析実行〕ボタンをクリックすると、結果に反映されます。
- ワード辞書では、項目のセル上でクリックするとソートすることができます。また右クリックメニューから、文字列の末尾を文字順ソートをすることもできます。

※ デフォルトでは、(908)ユーザー・日本語ワード辞書 というファイル名の辞書が設定されています。ワードの追加にはこちらの辞書をご利用いただくか、新規に辞書ファイルを作成してご利用ください。

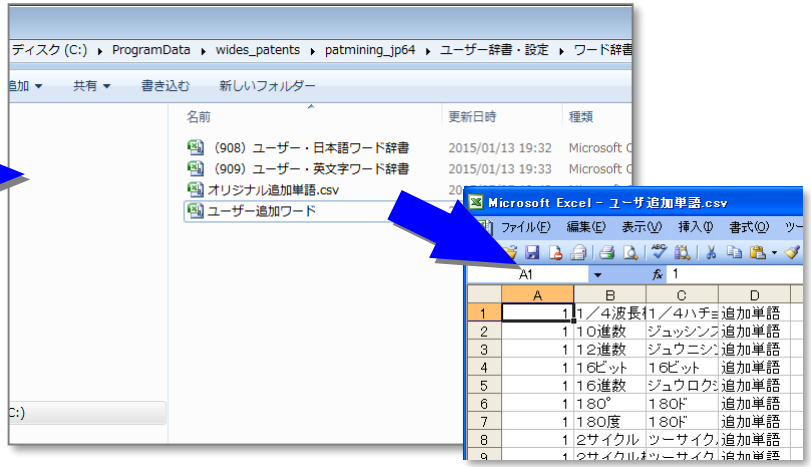
メインウインドウのこれだけは攻略！

ユーザー・ワード辞書の登録 （CSVファイルで一括登録）



※スペースを含む複合語もそのまま登録できます。スペースは全角で入力してください。

CSVファイルで専門用語を一括登録！



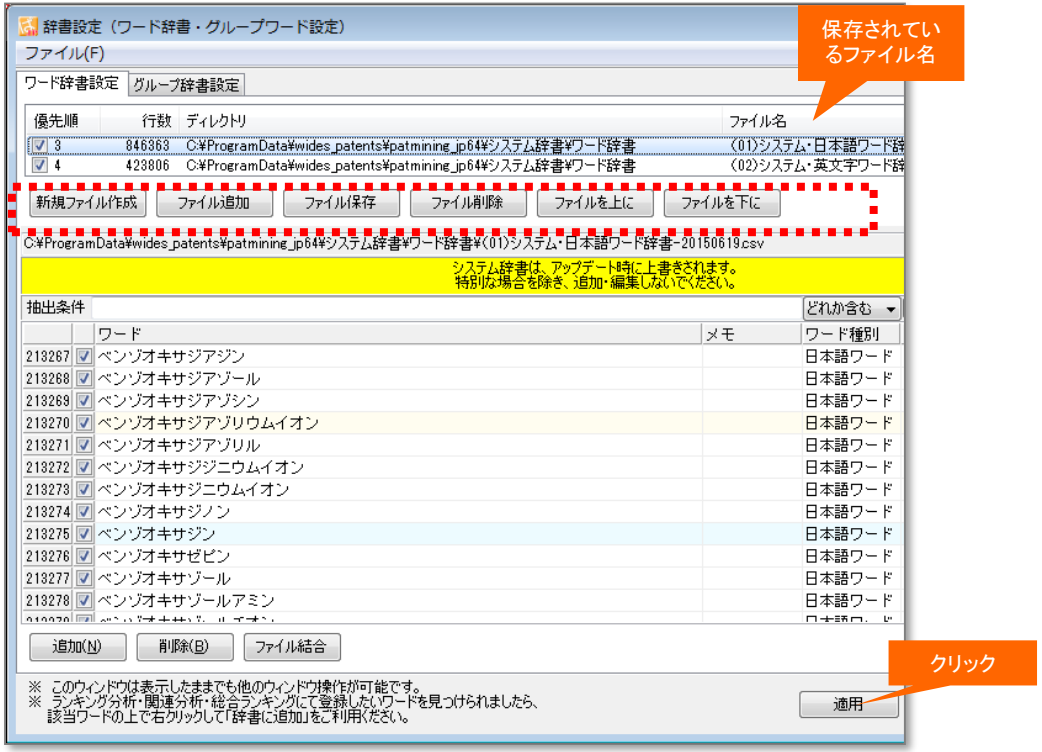
- ワード辞書はCSV形式で保存されています。このCSVファイルを直接編集することもできます。
- ネットで検索した用語集や、市販されている専門用語集をCSVファイルに流し込み、一括して【ぱっとマイニングJP】に読み込ませることもできます。
- 自社内で保有していた用語集も、CSVファイルにして読み込むことができます。
- 分析する対象の分野に合わせて、ワード辞書ファイルを分けておくこともできます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書操作・・・・・複数辞書を選択して利用



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

分析目的に合わせて辞書を選択

■ 『ワード辞書設定』や『グループ辞書設定』では複数の辞書ファイルを読み込んでおき、チェックボックスにチェックを入れる、入れないによって、どの辞書ファイルを使用するか選択することができます。

■ 〔新規ファイル作成〕ボタンをクリックすると、新たに辞書ファイルを作成することができます。分析目的に合わせて辞書ファイルを選択できるため、分析精度がアップします。

■ 複数の辞書ファイルを利用する時には、辞書の優先順位を指定することができます。〔ファイルを上に〕〔ファイルを下に〕ボタンによって、辞書ファイルの優先順位を変更することができます。

■ 〔ファイル結合〕ボタンをクリックすると、複数の辞書ファイルを結合してひとつにすることができます。

■　辞書データは、「ユーザー辞書・設定」フォルダと連動します。

※　辞書データとは、「設定確認」タブの「辞書一覧」に表示されているファイルです。

■　「ユーザー辞書・設定フォルダ」以外の場所にある辞書データを「ファイル追加」する場合、「ユーザー辞書・設定」フォルダに辞書データがコピーされます。「辞書設定」画面で辞書内容の編集を行なうと、「ユーザー辞書・設定」フォルダ内の辞書が変更されます。

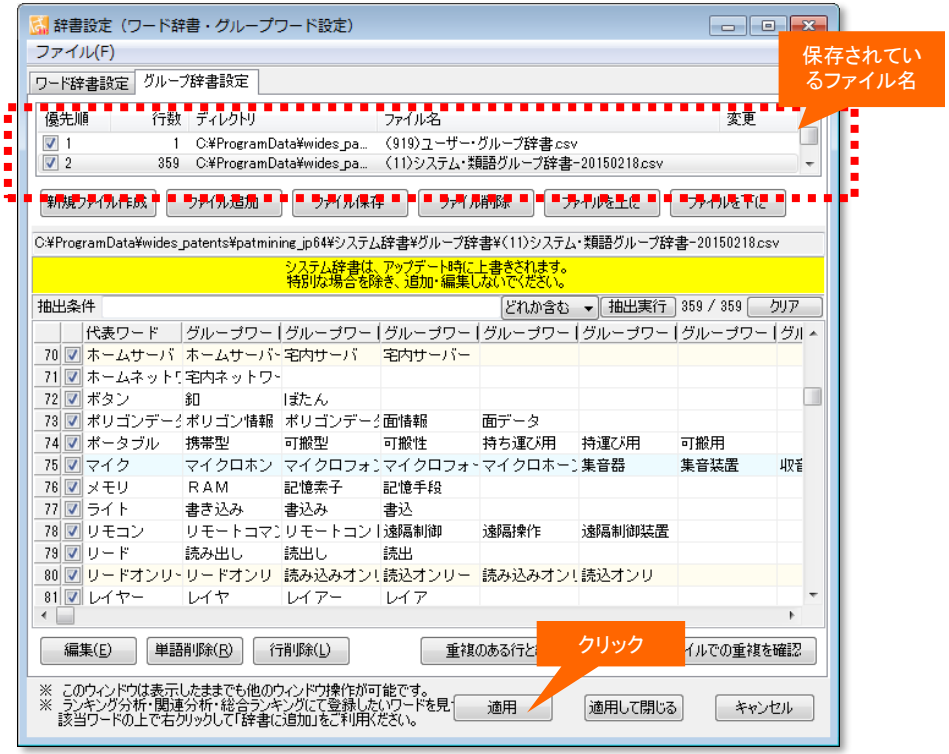
■　「ファイルを削除」すると、辞書一覧から削除されるだけでなく、辞書データ自体が削除され、ゴミ箱に移動されます。

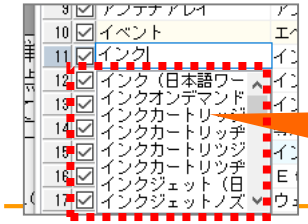
■　ファイルの名称を変更して保存すると、「ユーザー辞書・設定」フォルダ内に新しい名称で辞書データが追加されます。

■　チェックをつけ、分析に用いた辞書を、エクスプローラーによって「ユーザー辞書・設定」フォルダから移動または削除すると、辞書設定画面などの辞書一覧では辞書データは行数が空白（--）の状態で表示されます。これによって、辞書データの削除や移動を行なったことがわかります。この表示のあるもので本当に必要のない辞書データは、ファイル削除のボタンでデータの消去を行なってください。必要な辞書データは参照元から、「ユーザー辞書・設定」フォルダにコピーし、管理するようにお願い致します。

メインウインドウのこれだけは攻略！

グループ辞書設定・・・・・設定自在な類語辞書





グループワード辞書に登録時、入力補助の候補が表示されます。
候補は、読み込まれた公報データと、使用している（チェックをつけている）
ワード辞書、グループ辞書から前方一致で抽出されます。

同義語、類語を自在に登録可能！

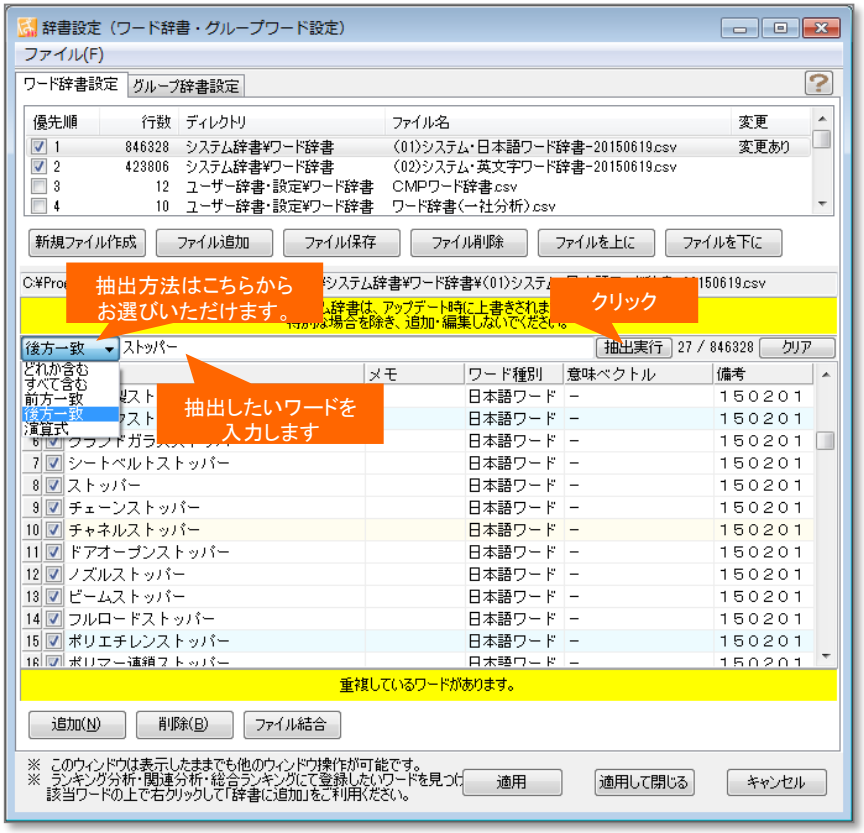
- 『グループ辞書設定』は、たとえば「テレビ」「TV」「受像機」というような同じ意味合いの単語を、グループ化する設定です。同じグループの単語は、使用回数のカウントや抽出・検索時に、同じ単語として取り扱うことができるようになります。
- 〔編集〕ボタンをクリックするか、セルをダブルクリックすると入力・編集状態になります。
- 同じグループに設定された単語は、総合ランキングやランキング分析では代表語で表示されます。
- 検索・抽出入力枠では、代表語を入力するだけで、同じグループに登録された単語がすべて検索・抽出対象となります。
- 同じ分野の商品名や材料名を、同じグループとして登録するなど、分析方法や目的に合わせて、いろいろな登録方法が考えられます。

※ 分析する対象の分野に合わせて、追加単語ファイルを分けておくこともできます。
※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。
※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

「携帯電話」と入力するだけで、
「ケータイ」「携帯型情報端末」
「携帯型通話装置」「携帯型電話機」が
全部一度に抽出できる！

メインウインドウのこれだけは攻略！

ワード抽出設定・・・・・任意のワードを抽出



登録されているワードの中から検索し、抽出することができる！

- 『ワード抽出設定』は、最適なワードをより便利に検索し、抽出することのできる機能です。

- 「すべて含む」・・・・＋記号で複数の語を列挙してすべて含むものを抽出することができます。
- 「どれか含む」・・・・＋記号で複数の語を列挙してどれか含むものを抽出することができます。
- 「前方一致」・・・・入力された語が先頭にあるものを抽出する。＋記号で複数指定することができます。
- 「後方一致」・・・・入力された語が末尾にあるものを抽出する。＋記号で複数指定することができます。
- 「演算式」・・・・＋＆（）等の記号を用いてORやAND等の条件を指定して抽出することができます。（メインウィンドウの抽出条件と同じ記述方式）

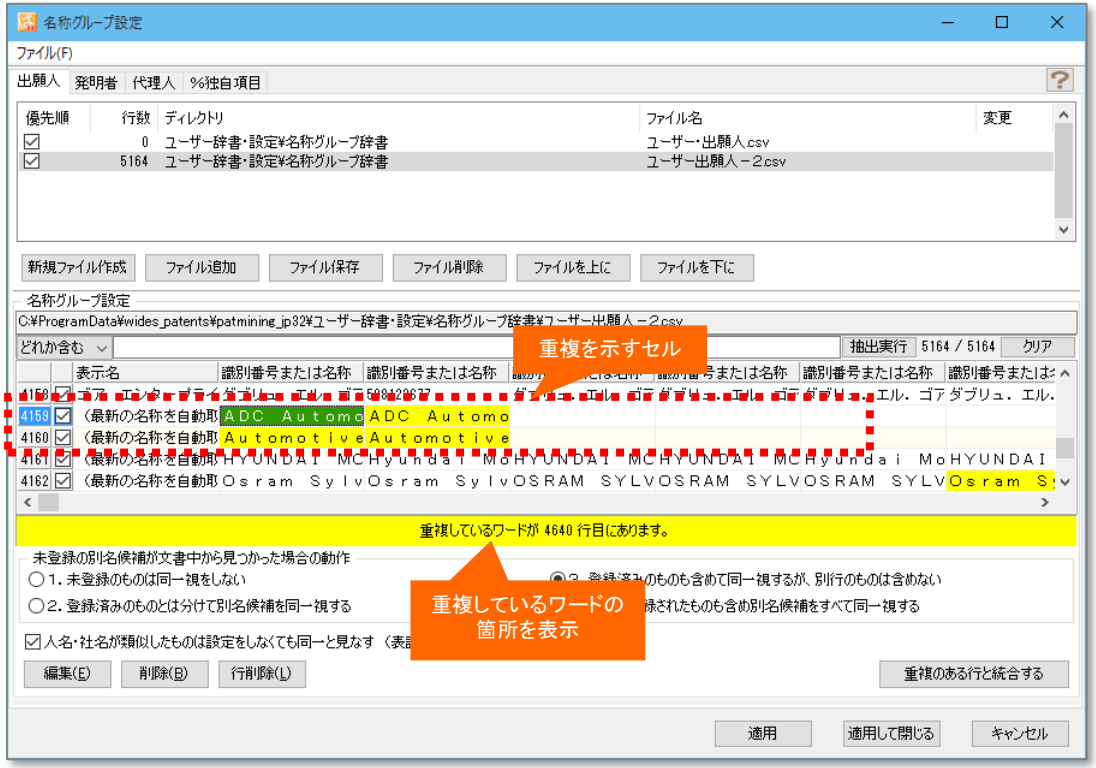
- この機能は、グラフ軸の選択、入力支援などでも、ご利用いただけます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書操作・・・・・重複行の統合が簡単に



重複しているワードにジャンプして確認できる

- 辞書設定、グループ設定の画面で、「重複しているワードがあります。」と表示された場合、「重複しているワードがあります。」と表示されている部分をクリックすると、重複しているセルにジャンプするとともに、そのセルと重複しているワードが、どの行にあるかが表示されます。
- 重複が発生したまま辞書を使用すると、不具合が発生する可能性があります。
- ワードの重複がある場合、上部の列から順に優先されます。登録されているワードが下部に再度出現した場合、そのワードは下部の列には存在しないものとして扱われます。

- 重複を示す黄色いセルの上で右クリックし、「重複のある行と統合する」をクリックすると、重複を解消することができます。

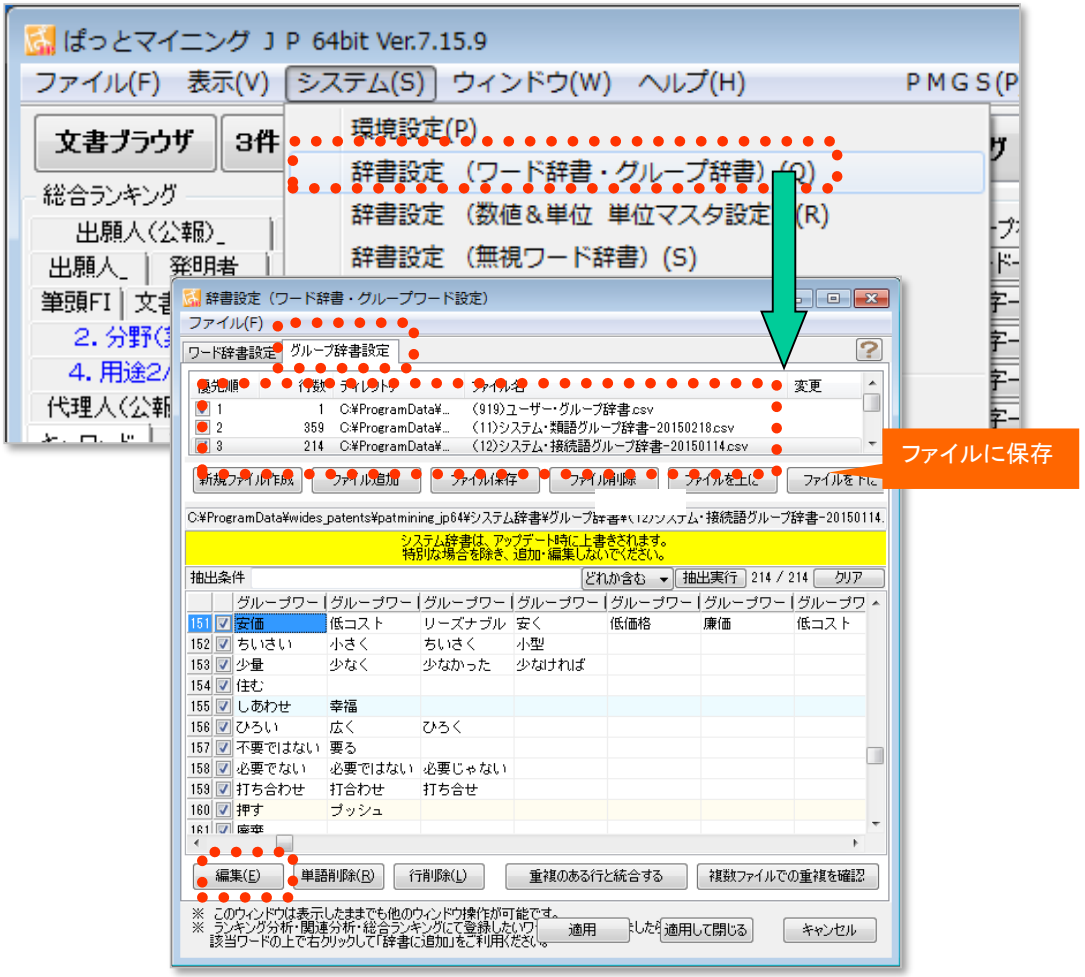
※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

グループワード設定で、グループワード等を登録！

辞書機能 :グループワードの設定（1）



ここでの注意ポイント！

■ グループワードの設定

『メインウィンドウ』の[システム（S）]をクリックし、[辞書設定（U）]をクリックします。グループワード設定タブを開き、『編集』ボタンをクリックし、グループワード語を増やしていきます。

グループワードとして扱いたい単語や、同じ製品として扱いたい製品名など、分析目的に合わせて設定ファイルを使い分けると、スムーズで正確な分析が行えます。

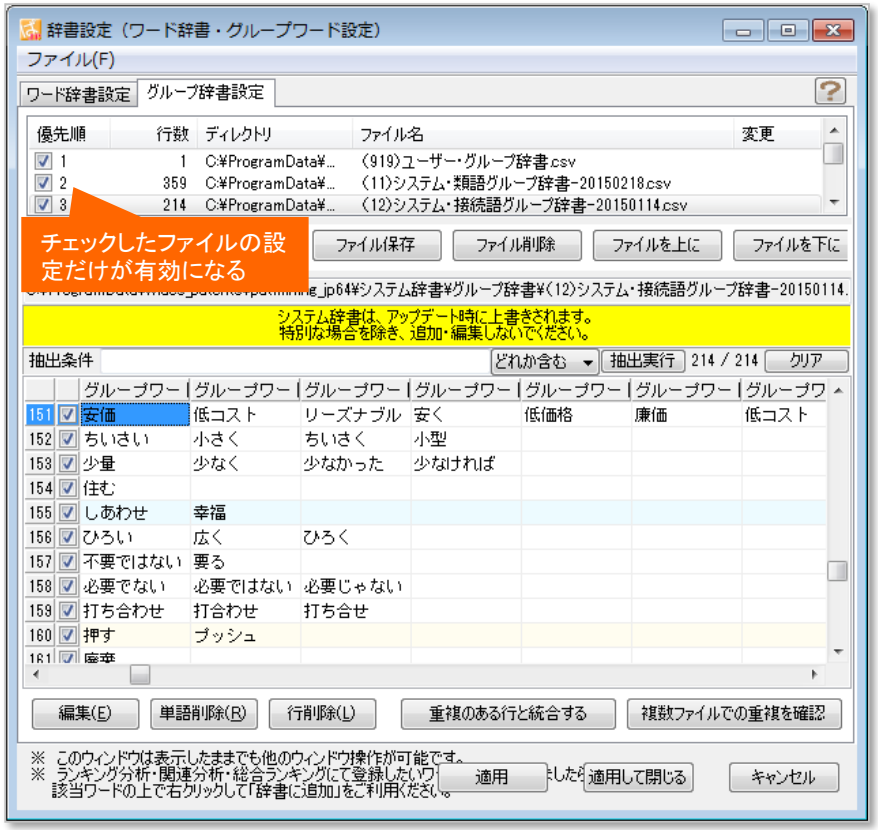
※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

設定ファイル選択 → 〔編集〕をクリック → グループワード入力

辞書機能：グループワードの設定（2）



※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ グループワード設定ファイルを選択する

グループワード設定はCSV形式で保存されます。
複数のファイルを使用する場合は、チェックボックスで使用するファイルを選択することができます。
各設定ファイルに含まれている設定語数(代表語数)が表示されます。

■ グループワード設定ファイルの操作

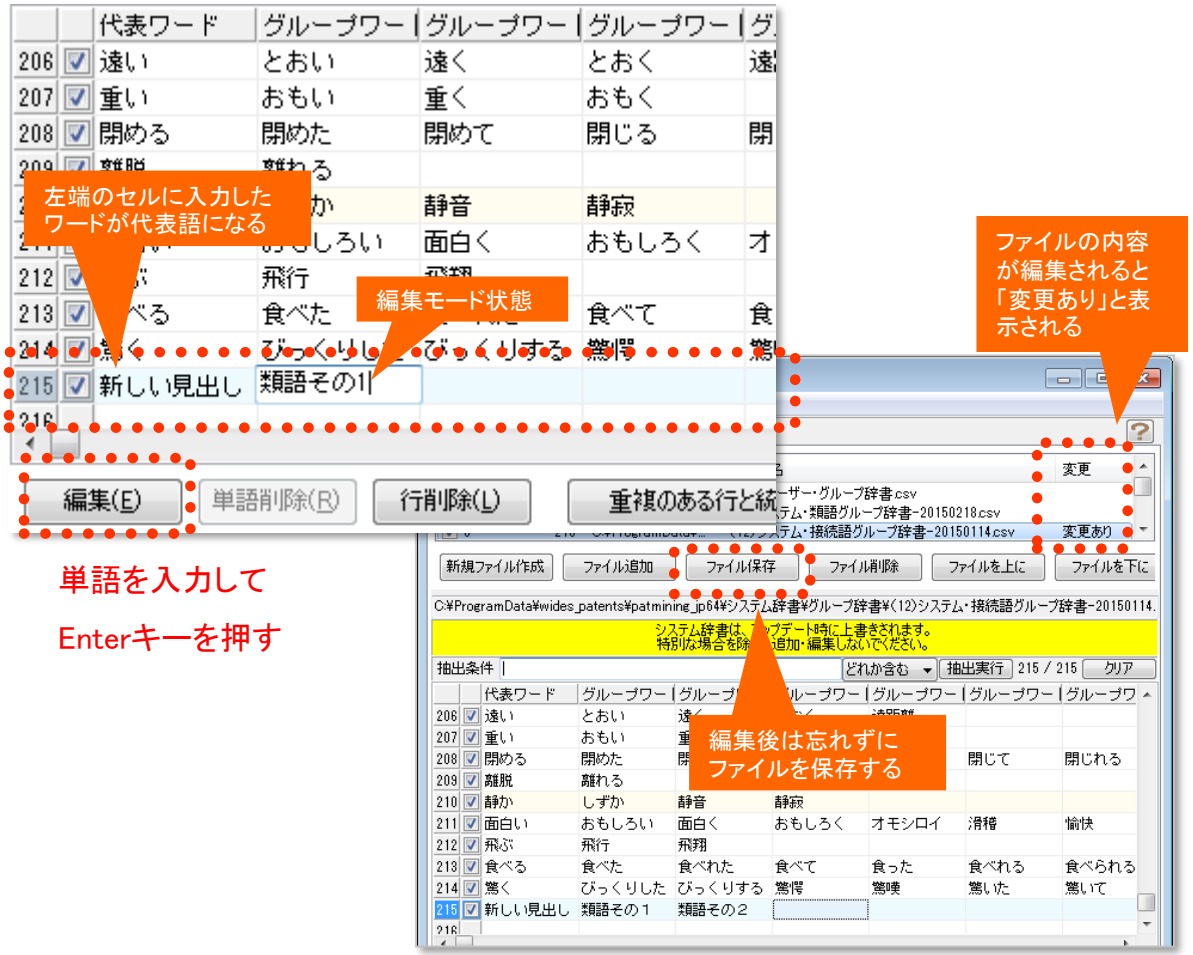
新規ファイルの作成、ファイルの追加読み込み、作成／変更したファイルに名前を付けて保存する、ファイルを削除(除外)する、ことができます。

■ グループワード設定ファイルの優先順

複数の設定ファイルを使用する場合は、上位に表示されるファイルの優先度が高くなります。同じ単語が異なるファイルに登録されている場合、優先度の高いファイルの設定が有効になります。
ファイルの優先順は、〔ファイルを上に〕〔ファイルを下に〕ボタンをクリックすると、変更することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書機能：グループワードの設定（3）



ここでの注意ポイント！

■ グループワードを追加する

〔編集〕ボタンをクリックするか、セルをダブルクリック、またはセルにフォーカスを移してEnterキーを押すと、編集モードとなります。
左端のセルに入力された単語が、そのグループの代表語となり、『総合ランキング』などに表示されます。
単語を入力し、Enterキーを押すと、セル内に単語が入力されます。
同じグループとして扱う単語を、順に右隣のセルに入力します。

■ 変更内容の保存

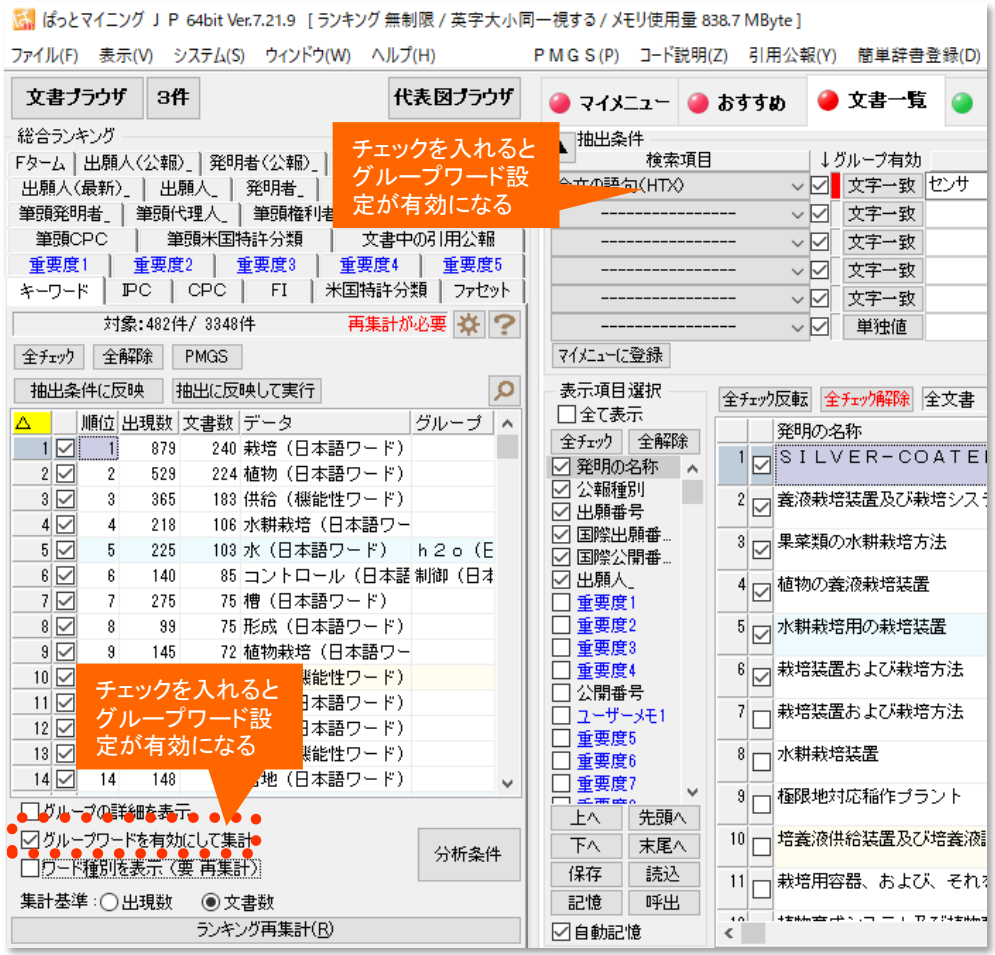
単語を追加・削除したファイルは、「変更あり」と表示されます。
編集後は〔ファイル保存〕ボタンをクリックし、必ずファイルを保存しておきます。

※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書機能：グループワードの設定（4）　グループワード設定を有効にする



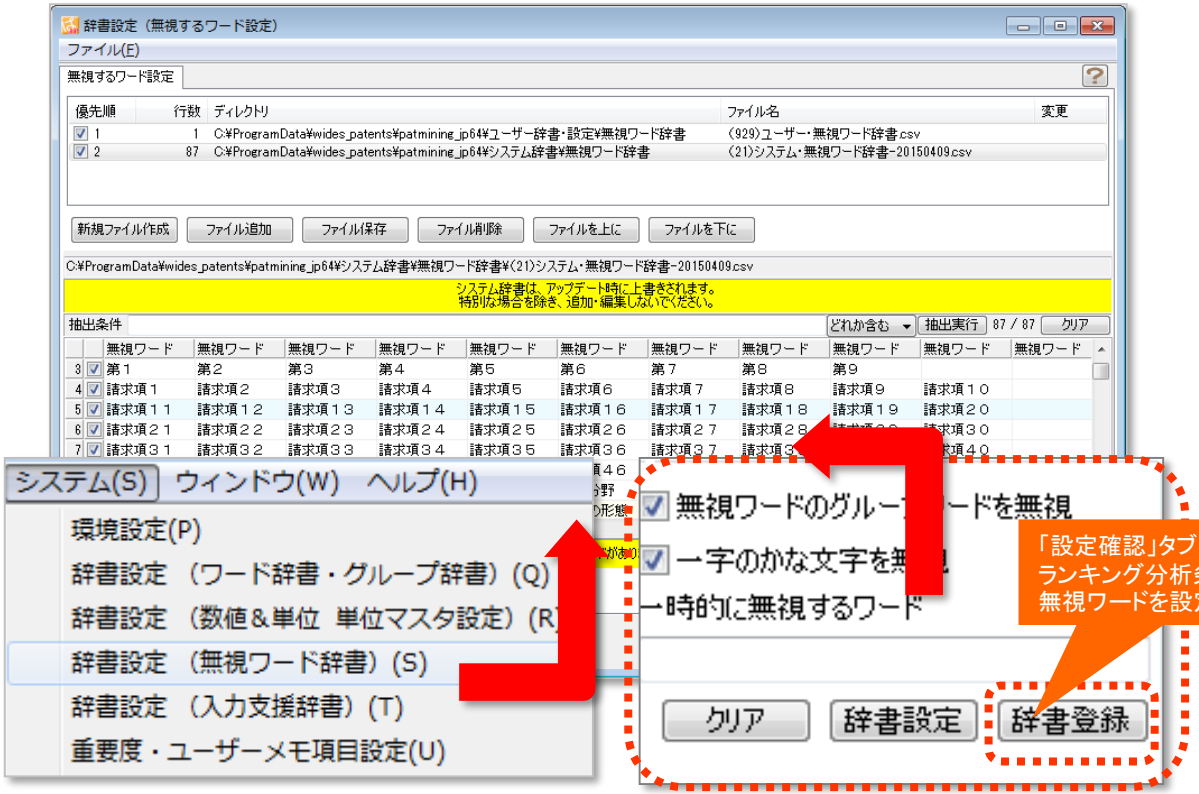
ここでの注意ポイント！

■ グループワード設定を有効にする

文書を抽出する際に、グループワードを有効にするかどうか選択することができます。『グループワードを有効にする』にチェックを入れておくと、グループワードもマーキングされます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書機能：無視するワードの設定（1）



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 無視するワードとは

ランキング分析をするにあたって、ピックアップする必要のないワードのことです。

■ 無視するワード設定ファイルを選択する

無視するワード設定はCSV形式で保存されます。
複数のファイルを使用する場合は、チェックボックスで使用するファイルを選択することができます。

■ 無視するワード設定ファイルの操作

新規ファイルの作成、ファイルの追加読み込み、作成／変更したファイルに名前を付けて保存する、ファイルを削除(除外)することができます。

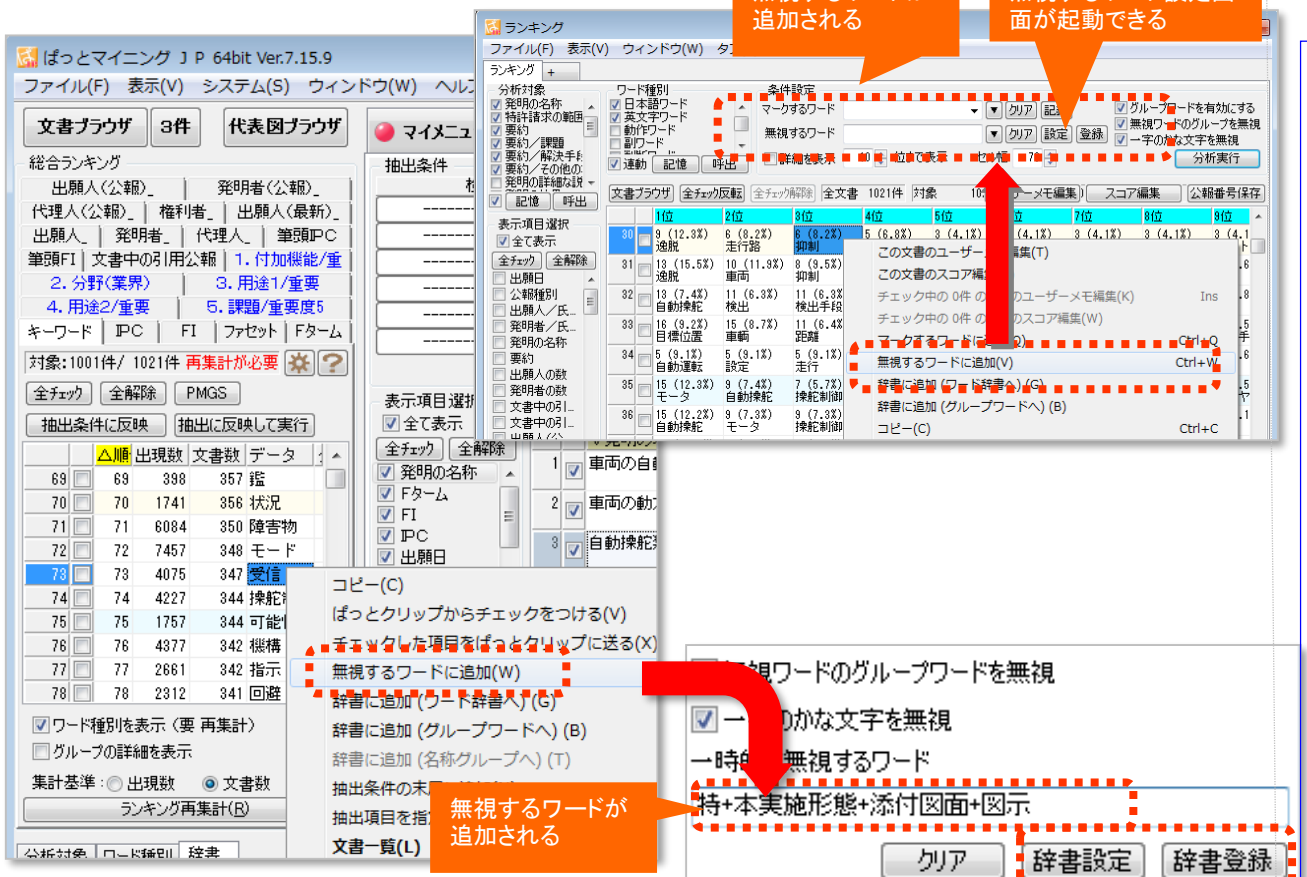
無視するワード設定ファイルの優先順

複数の設定ファイルを使用する場合は、上位に表示されるファイルの優先度が高くなります。同じ単語が異なるファイルに登録されている場合、優先度の高いファイルの設定が有効になります。
ファイルの優先順は、〔ファイルを上に〕〔ファイルを下に〕ボタンをクリックすると、変更することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

無視するワードを保存

辞書機能：無視するワードの設定（2）



ここでの注意ポイント！

■ 右クリックメニューからのワード追加

『総合ランキング』や各分析画面で、ワード上で右クリックし、〔無視するワードに追加〕をクリックすると、無視するワード欄にワードが追加されます。

■ 追加したワードを辞書登録する

〔登録〕ボタンをクリックすると、追加した無視するワードをどの設定ファイルに追加するかを選択する、記録先選択画面が立ち上がります。ファイルを設定し、保存してください。
〔辞書設定〕ボタンをクリックすると、無視するワード設定画面が立ち上がります。

■ 重複ワードの自動チェック

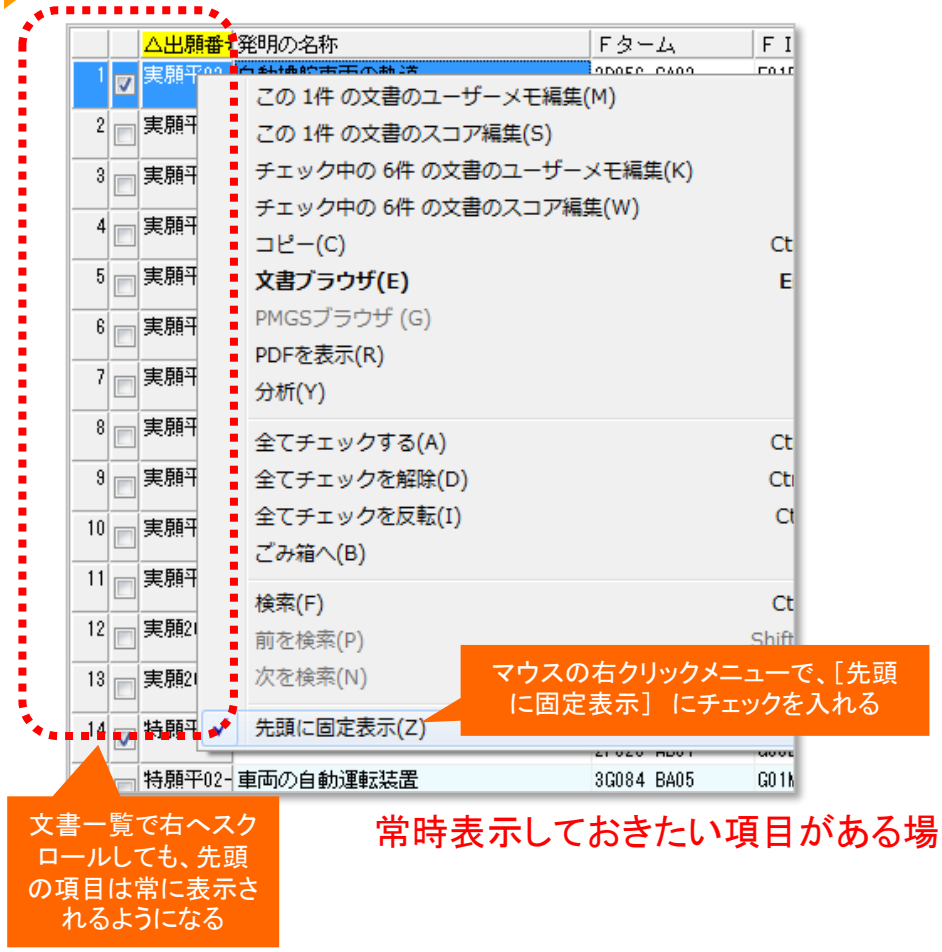
重複するワードがあると、『重複している単語があります』と表示します。

※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

表示項目を先頭に固定



マウスの右クリックメニューで、[先頭に固定表示] にチェックを入れる

文書一覧で右へスクロールしても、先頭の項目は常に表示されるようになる

常時表示しておきたい項目がある場合に効果的！！

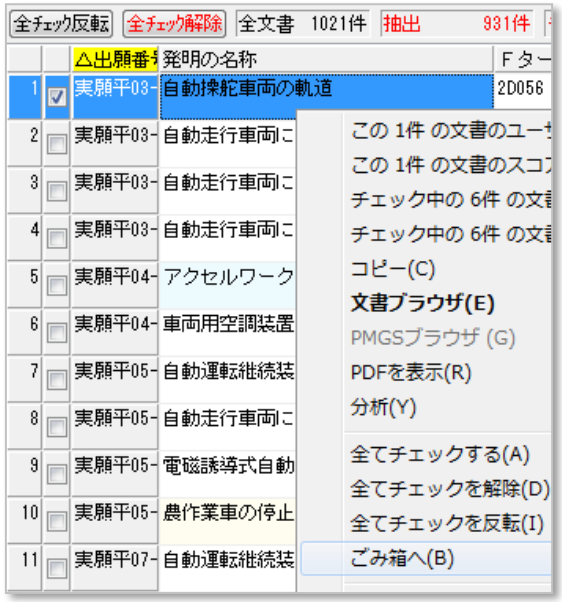
ここでの注意ポイント！

■ 常時表示項目

『文書一覧』において、右クリックメニューの『先頭に固定表示』にチェックを入れると、文書一覧で右へスクロールしても、指定した項目を左端に常時表示しておくことができます。

※ 選択した項目列のコピーを、文書一覧の左端に表示します。

メインウインドウのこれだけは攻略！



ぱっとごみ箱機能

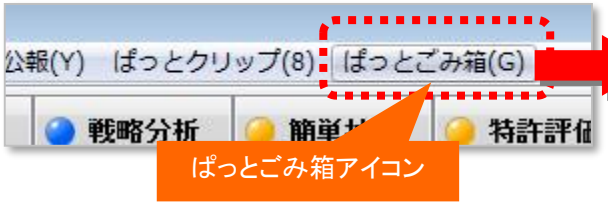
削除した文書を復元することが可能！！

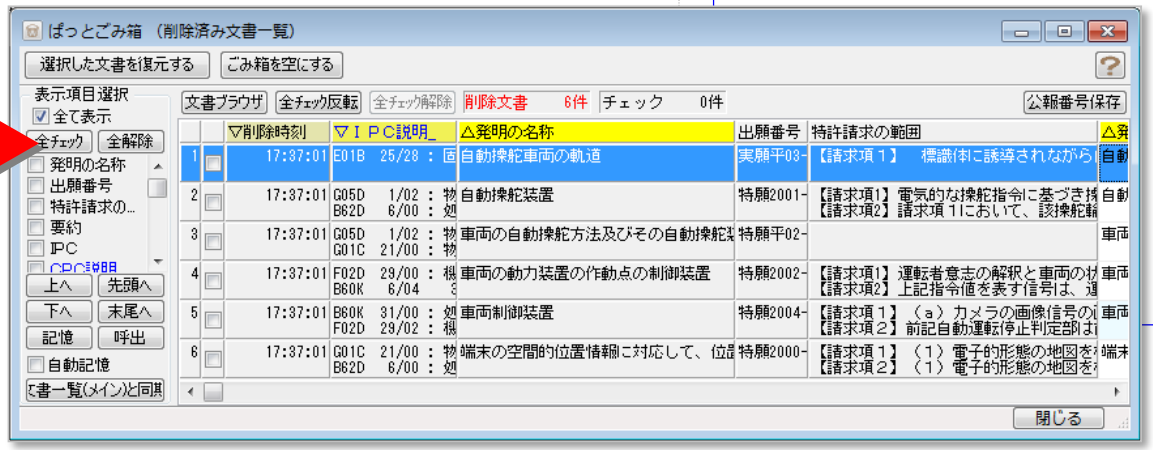
ここでの注意ポイント！

■ 削除文書をぱっとごみ箱に蓄積

削除した公報は、一旦ぱっとごみ箱に蓄積されます。
ぱっとごみ箱アイコンをクリックして『削除済み文書一覧』を開け、チェックをつけた文書をもとに戻すことができます。
『ぱっとごみ箱を空にする』ボタンをクリックすると、ぱっとごみ箱に入っていた公報を完全に削除され、もとに戻すことができなくなります。
ぱっとごみ箱に蓄積された公報は、ぱっとマイニングを終了すると、もとに戻すことはできなくなります。

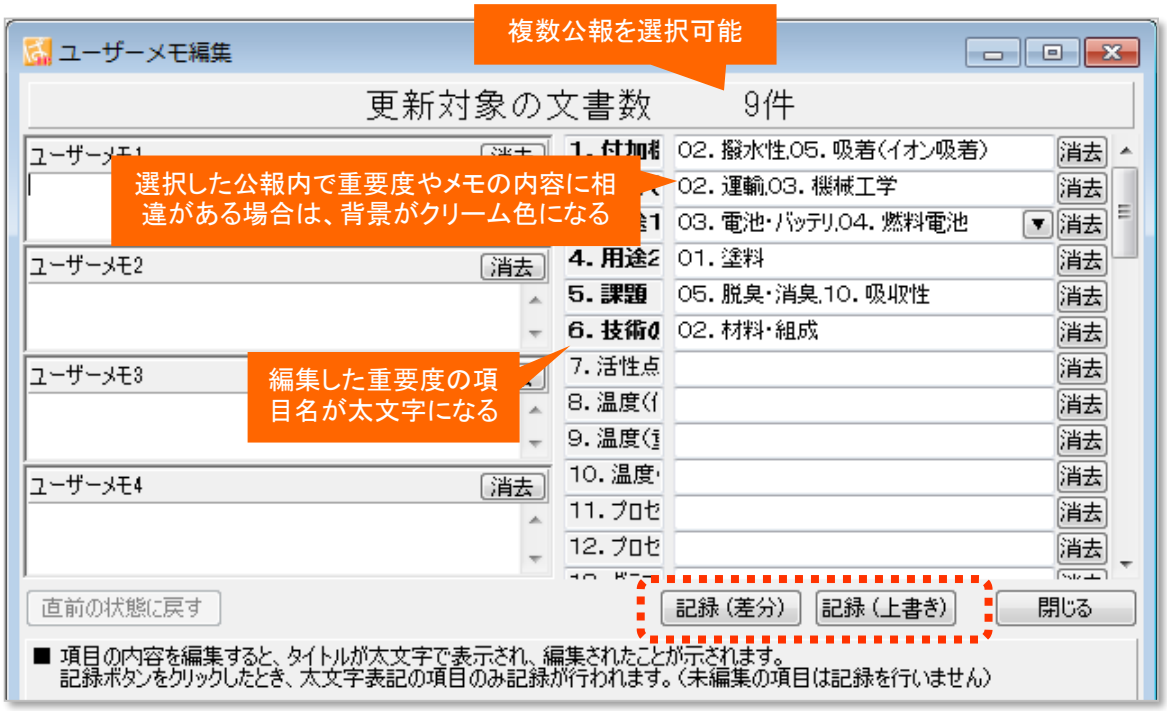
※ データを保存していない場合は無効です。





メインウインドウのこれだけは攻略！

重要度・メモの一括入力



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 背景色や文字の太さに注目！

複数公報を選択して、右クリックで『ユーザーメモ編集』画面を起動したとき、文書ごとに内容の相違がある項目は、背景がクリーム色で表示されます。

編集・変更された重要度項目は、項目名が太文字で表示されます。

〔記録(差分)〕ボタンか〔記録(上書き)〕ボタンをクリックすると太文字表示の項目のみ記録が行われます。

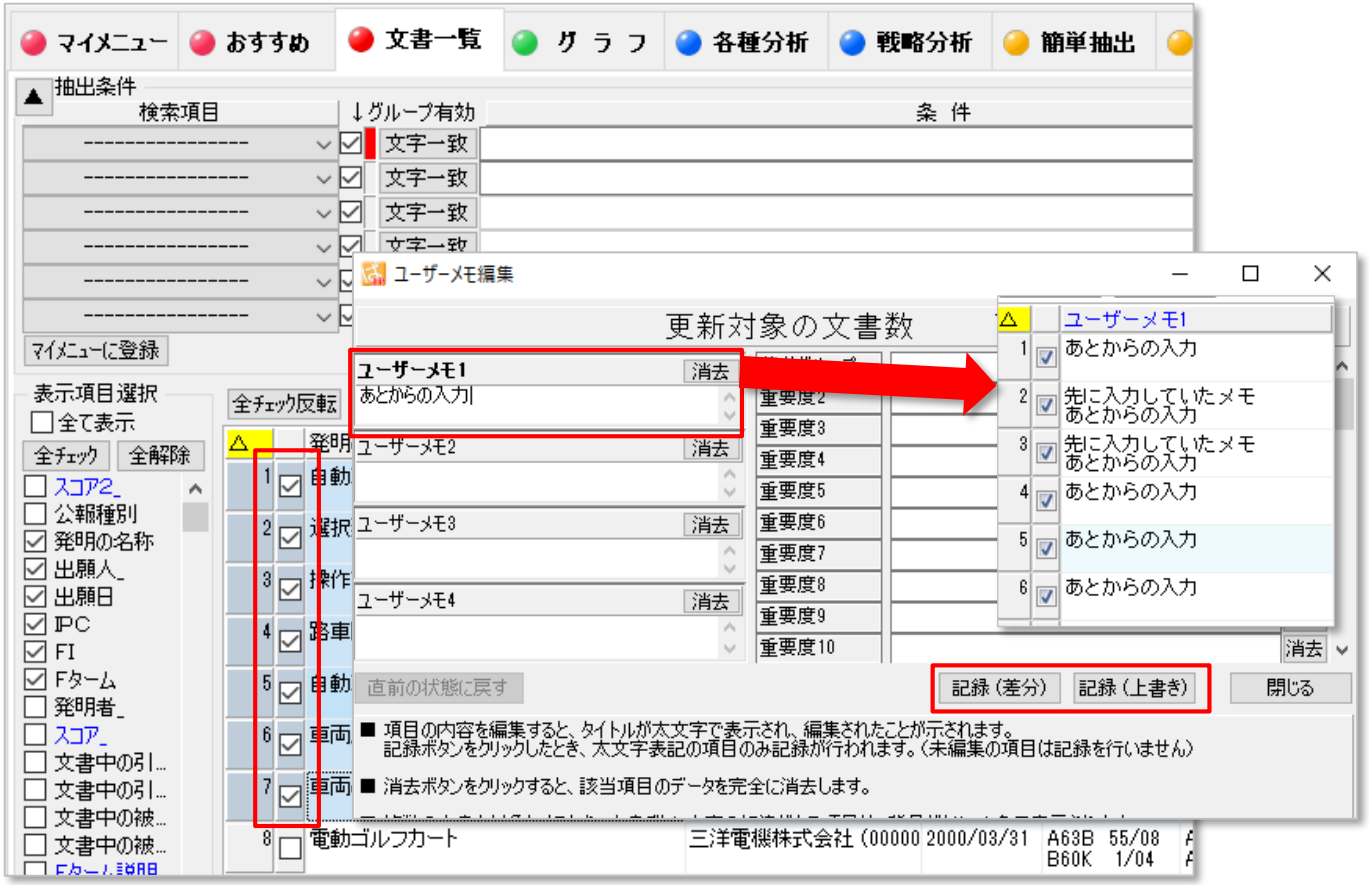
〔記録(差分)〕ボタンをクリックすると、背景がクリーム色で表示された重要度項目は、元の状態を維持しながら追加・削除が適用されます。

〔記録(上書き)〕ボタンをクリックすると、上書きで記録します。元の状態は残りません。

〔消去〕ボタンをクリックすると、該当項目のデータを消去します。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ユーザーメモの差分入力



ここでの注意ポイント！

■ 複数の文書のメモに一斉追記が可能！

複数の文書を指定してユーザメモ編集を起動した際、ユーザーメモに入力して「記録（差分）」をクリックすると、先に入力されていた文面は残されたまま、新たに追記した文面が加えられます。

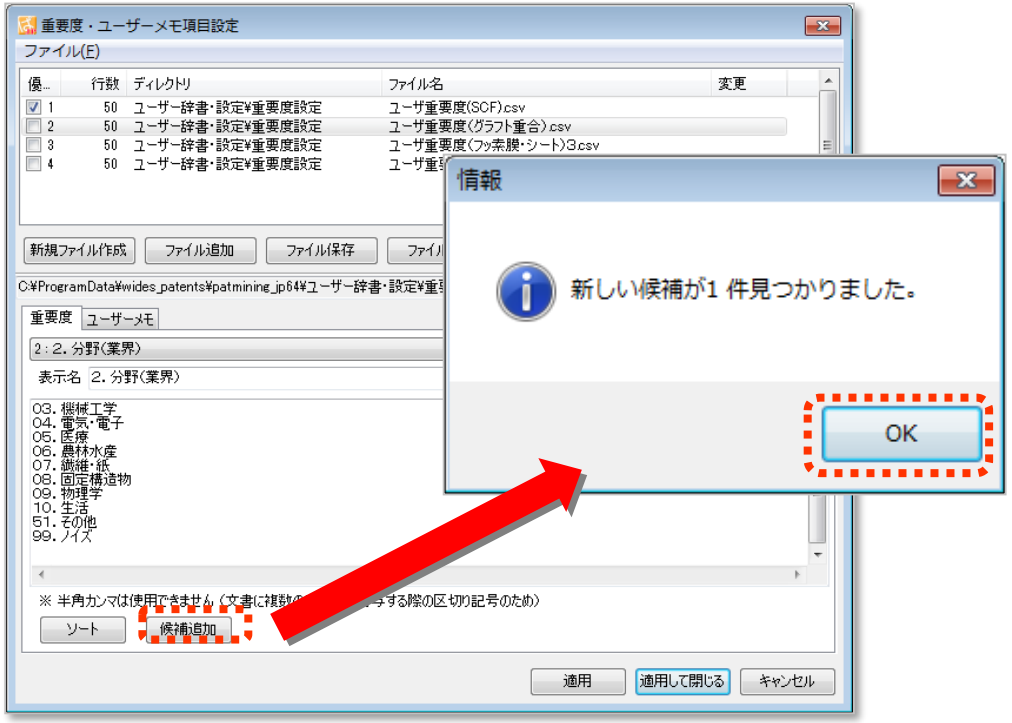
「記録（上書き）」をクリックすると、先に入力されていた文面は消去され、新たに入力した文面だけが記録されます。

※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※ 一時環境としては、エクスポートの時点でのユーザーメモの編集結果がご利用いただけます。ユーザーメモを一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

重要度の候補追加



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での重要度の編集結果がご利用いただけます。重要度を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 重要度の候補追加ボタン

〔ソート〕ボタンをクリックすると、重要度の並び順（昇順／降順）を切り替えることができます。
重要度の並び順は、『文書ブラウザ』、『ユーザーメモ編集』にも反映されます。

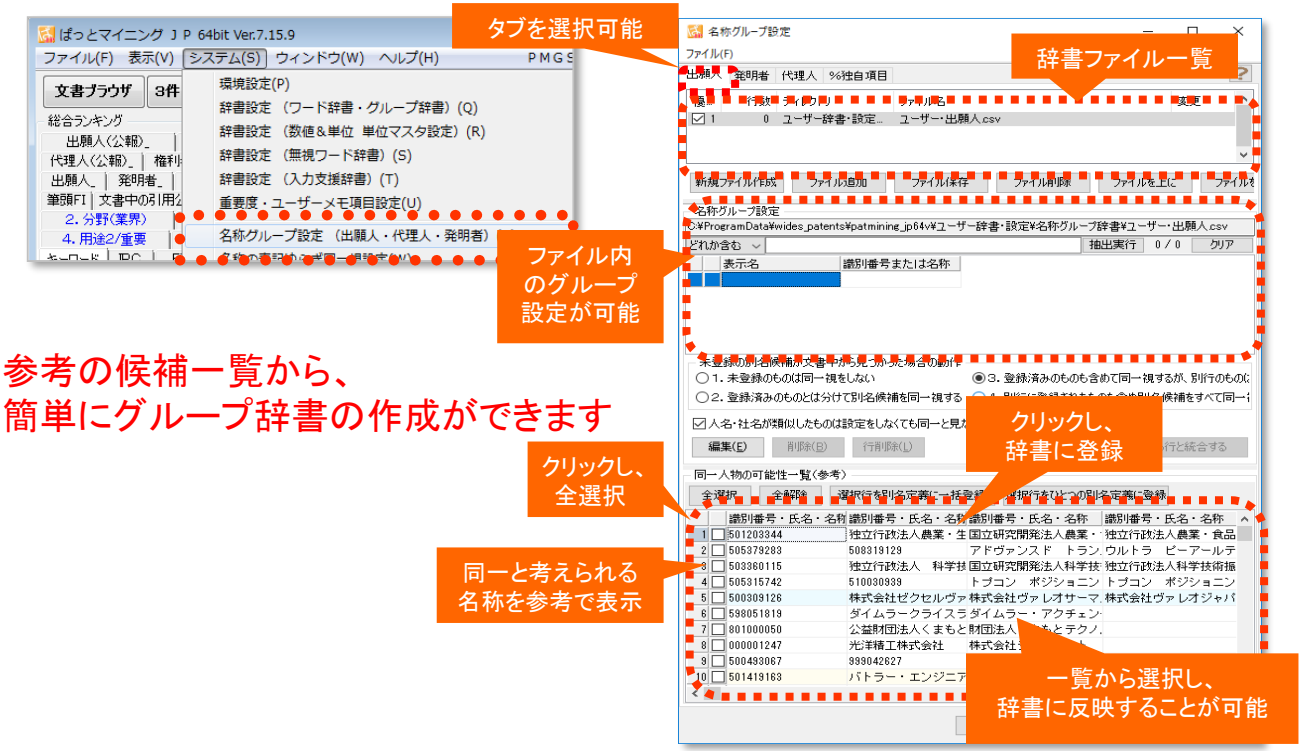
〔候補追加〕ボタンをクリックすると、公報データに手入力されていて、重要度ファイルにはまだ反映されていなかった重要度項目が抽出され、その件数が表示されます。〔OK〕をクリックすると、抽出された重要度項目が追加されます。

■ 重要度ファイルの選択

重要度ファイルは一つだけ選択することが出来ます。
よく使うファイルを登録しておき、案件に応じて切り替えてご利用いただけます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　社名が変化していても同一視できる



参考の候補一覧から、
簡単にグループ辞書の作成ができます

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 名称グループ設定とは

出願人・代理人・発明者において、名称の表記が違うが同じ会社や人物である、などの場合に、ランキング分析するにあたって、同一出願人・代理人・発明者と定義するための設定のことです。
例）JSR株式会社とジェイエスアール株式会社
→ JSR株式会社　と定義される。

■ 名称グループの設定方法

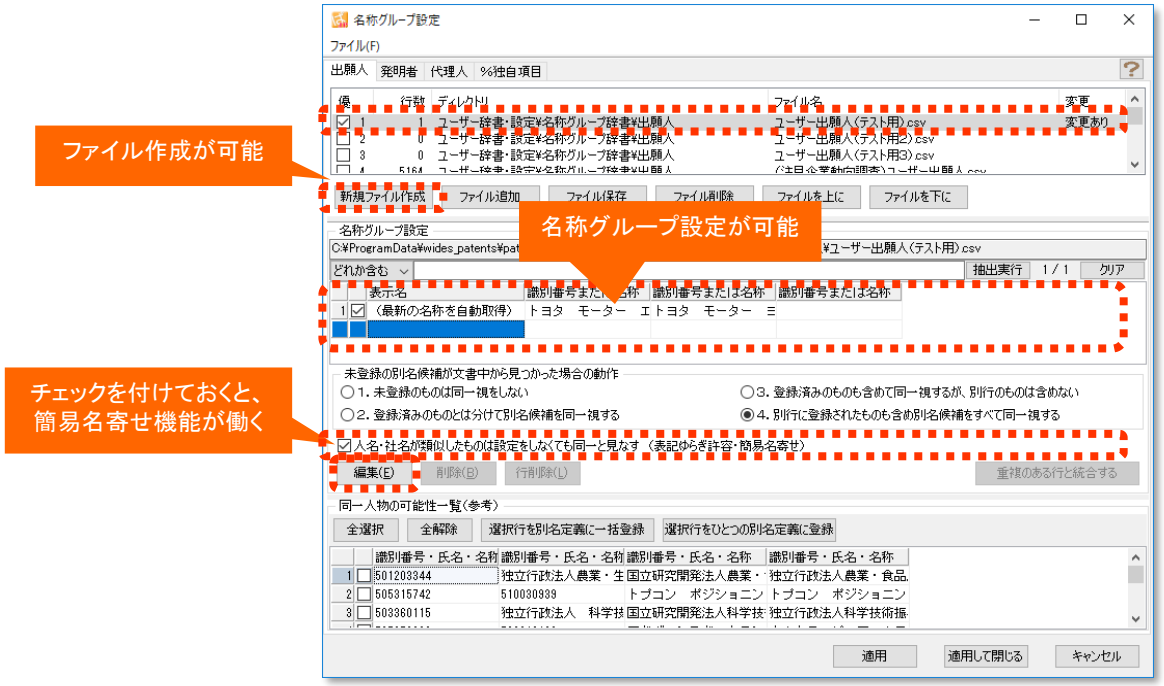
『メインウィンドウ』の「システム」をクリックし、「名称グループ設定（出願人・代理人・発明者）」をクリックします。
次に『同一人物の可能性一覧（参考）』の 該当行のチェックボックスにチェックを入れ、『選択行を別名定義に一括登録』のボタンをクリックします。一括で入力を行なう場合は、『全選択』ボタンですべての行にチェックを入れ、一括登録を行なうことができます。

■ 名称グループ設定の保存

『保存』ボタンをクリックし、名前をつけて保存します。次回分析時には、『読み込み』ボタンをクリックし、保存しておいた設定を読み込みます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　オリジナルの辞書を作成！



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ それぞれの項目を一つずつ設定したい場合

新規ファイルを作成し、グループ化したい名称を「識別番号または名称」の欄に入力します。同一グループにしたいものを右側に入力します。入力は、入力欄を選択し、ダブルクリックか、下部の編集ボタンで行なうことができます。

また、グループの表示名は、最新のデータのものを自動で表示名とします。指定のグループ名を設定したい場合は、表示名の列に入力します。

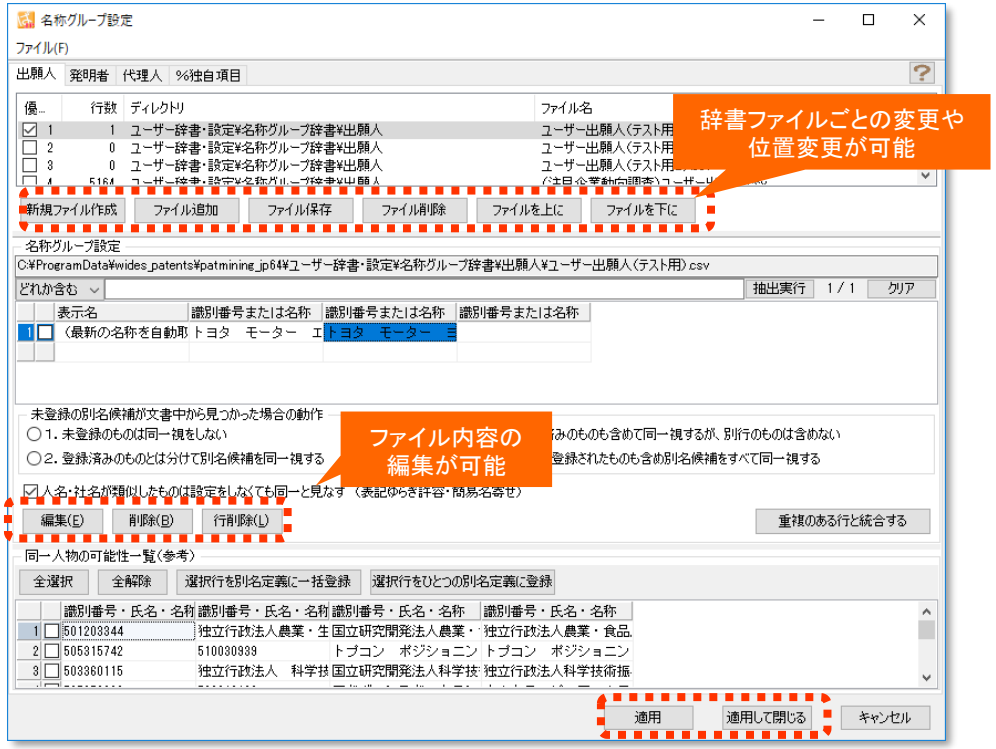
■ 簡易名寄せ（自動）

画面中央下の、「人名・社名が類似したものは設定をしなくても同一とみなす」のチェック欄にチェックが入っている場合、簡易名寄せが自動で行われます。簡易名寄せが適用されている場合名称の揺らぎ設定によって同一名称と考えられるものは、自動的に同じものとします。

簡易名寄せ機能は、「システム」＞「名称の表記ゆらぎ同一視設定」をクリックすると、設定の内容を確認・変更することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　詳細設定



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 名称グループ辞書の管理

辞書は、上部の一覧で設定することができます。使用辞書は、優先するものから上位に置き、使用する辞書の左側にチェックがついていることを確認する必要があります。

ファイルを追加したい場合は「ファイル追加」のボタンを、設定したファイルを保存したい場合は「ファイル保存」のボタンを押します。辞書を削除したい場合は「ファイル削除」のボタンを押すと、ファイルごと削除することができます。

■ 辞書内容の編集

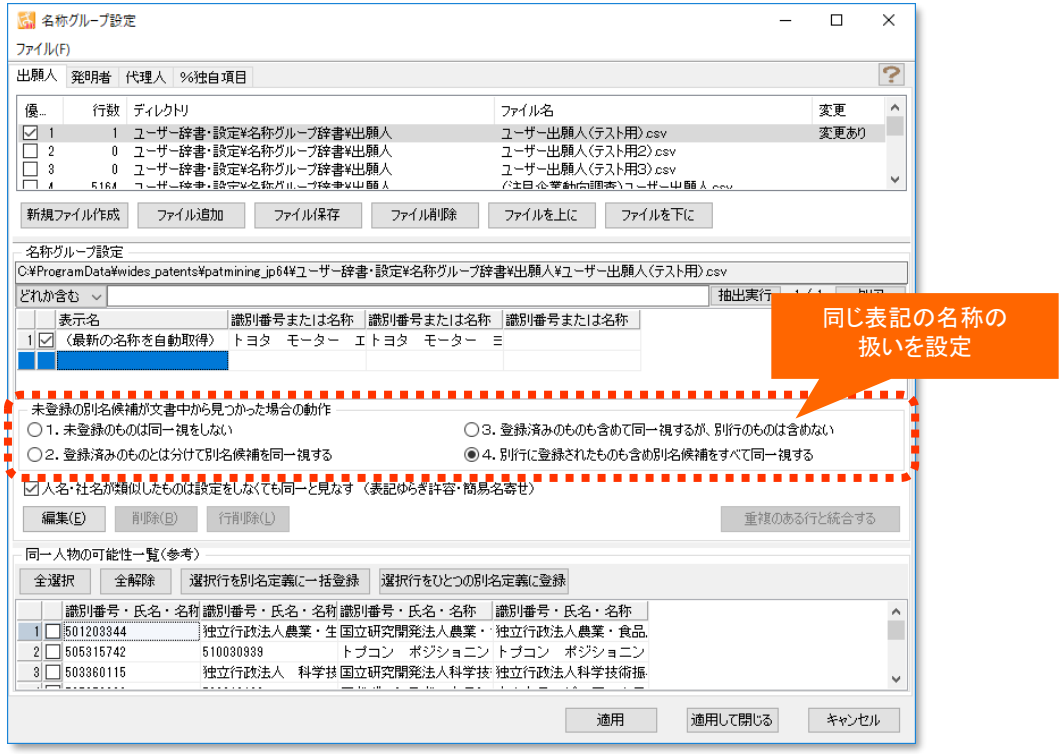
グループ辞書の入力は、入力欄を選択し、ダブルクリックか、下部の「編集」ボタンで行なうことができます。また、「削除」ボタンで、選択しているセルの内容の削除、「行削除」ボタンは、入力行全体の削除が可能です。

■ 適用し、辞書設定を反映する

「適用」または「適用して閉じる」を押すと、設定を適用し、データや総合ランキングに反映できます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　未登録の別名候補に対する処理設定



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 処理の設定方法

名称グループ設定（「出願人」「発明者」「代理人」「%独自項目」ともに共通）において、識別番号の異る同じ名称や、識別番号のない名称などの取り扱いを、次の4つの動作から選択できます。

1. 「未登録のものは同一視をしない」
   ・・・同じ名称（識別番号が異る）であっても、名称グループ設定に登録されていなければ、同一の名称として扱わない。

2. 「登録済みのものとは分けて別名候補を同一視する」
   ・・・登録されている名称と同じ名称であっても、 識別番号が異なれば、同一の名称として扱わない。

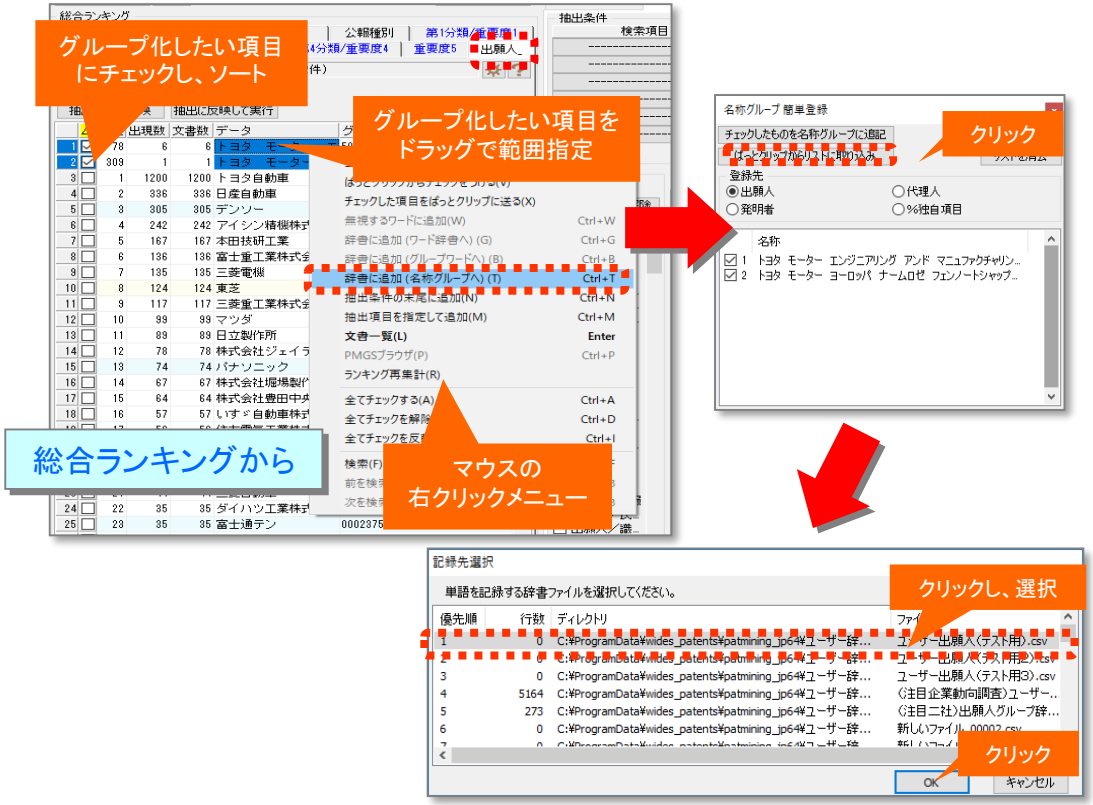
3. 「登録済みのものも含めて同一視するが、別行のものは含めない」（推奨）
   ・・・登録済みのものも含めて、同じ名称であれば、すべて同一視する。ただし、同じ名称であっても識別番号ごとに行を分けて登録している名称の場合は、同一の名称として扱わない。

4. 「別行に登録されたものも含め別名候補をすべて同一視する」
   ・・・登録済みのものも含めて、同じ名称であればすべて同一視する。

メインウインドウのこれだけは攻略！

右クリックで“まとめてグループ化”も可能！

辞書設定：名称グループ設定



総合ランキングの出願人・発明者・代理人タブにおいて、各項目毎のセルを選択し、右クリックメニューから「辞書に追加」をクリックすると、「名称グループ　簡単登録」のウィンドウを起動することができます。

「名称グループ　簡単登録」では、選択した名称を確認し、リストに取り込み、指定の辞書に登録することができます。

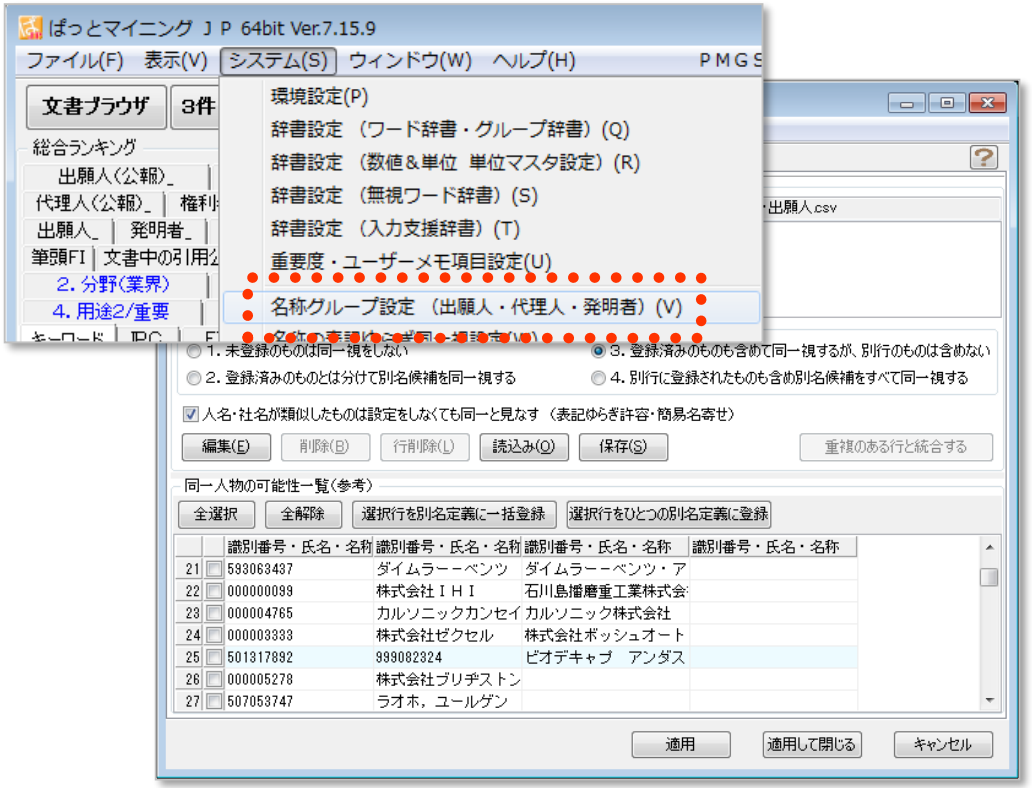
総合ランキングの、グループ化したい項目にチェックし、総合ランキング上でソートします。グループ化を設定したい項目をドラッグし、青く選択されたものの上で右クリックします。次に、登録先と、項目を確認したうえで、「ぱっとクリップからリストに取り込み」をクリックします。「記録先の選択」の画面が表示されますので、追加したい辞書をクリックで選択し、OKを押すと、名称グループ辞書に反映されます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　社名が変化していても同一視できる



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 名称グループ設定とは

出願人・代理人・発明者において、名称の表記が違うが同じ会社や人物である、などの場合に、ランキング分析するにあたって、同一出願人・代理人・発明者と定義するための設定のことです。
例）JSR株式会社とジェイエスアール株式会社
→ JSR株式会社　と定義される。

■ 名称グループの設定方法

『メインウィンドウ』の[システム(S)]をクリックし、[名称グループ設定(X)]をクリックします。
次に『同一人物の可能性一覧（参考）』の 該当行のチェックボックスにチェックを入れ、『選択行を別名定義に一括登録』のボタンをクリックします。『表示名』に定義する名前を入力します。『OK』をクリックします。

■ 名称グループの削除

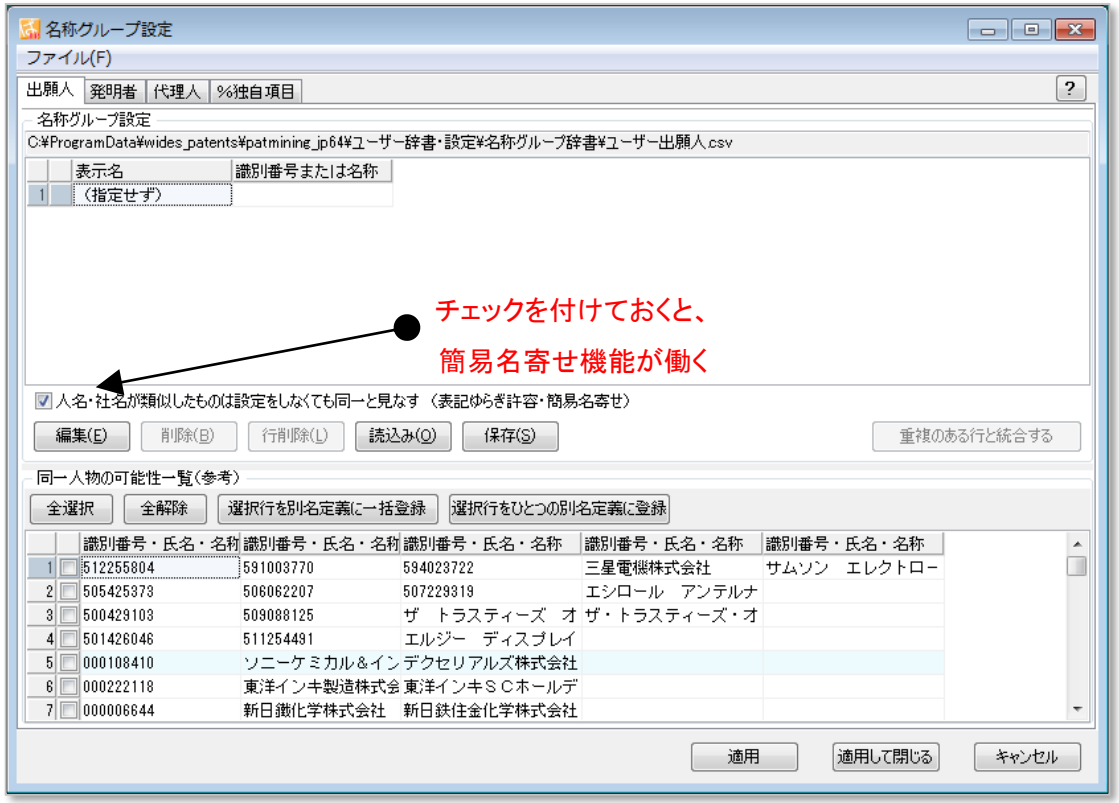
『メインウィンドウ』の[システム(S)]をクリックし、[名称グループ設定(X)]をクリックします。次に『名称グループ設定』の削除したい行のチェックボックスにチェックを入れ、『削除』ボタンをクリックします。

■ 名称グループ設定の保存

『保存』ボタンをクリックし、名前をつけて保存します。次回分析時には、『読み込み』ボタンをクリックし、保存しておいた設定を読み込みます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　簡易名寄せ機能



※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■　簡易名寄せ機能

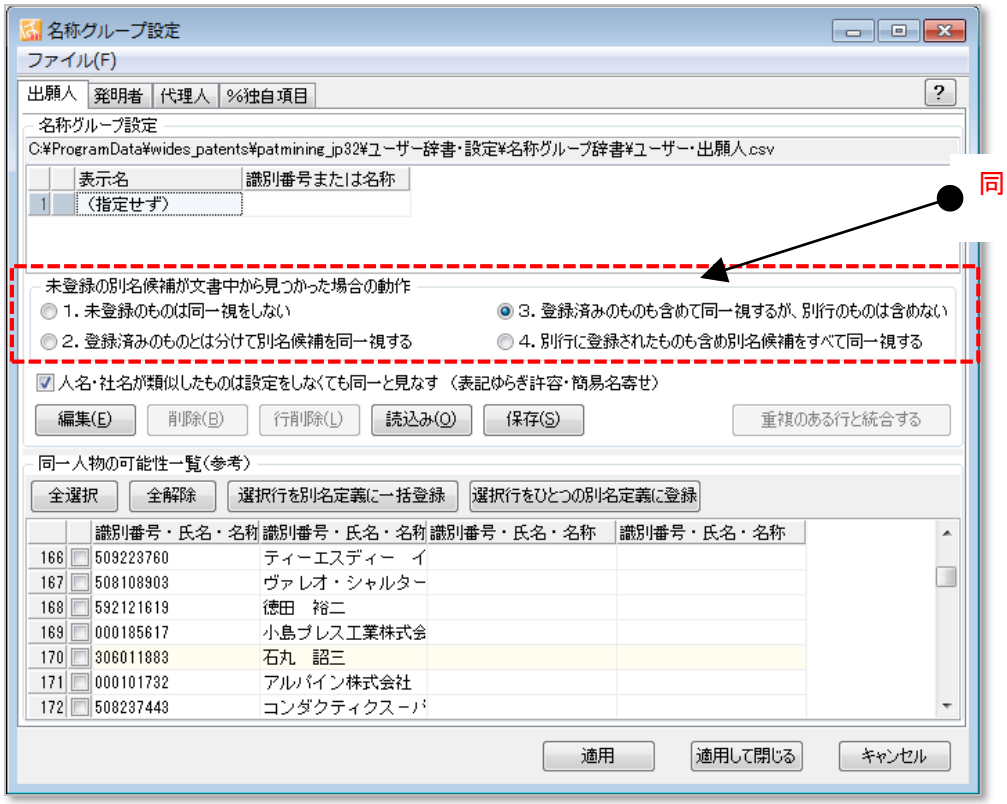
「名称グループ設定」において、簡易名寄せ機能を搭載しました。
「名称グループ設定」ウインドウの、「人名・社名が類似したものは設定をしなくても同一とみなす」にチェックを入れると機能します。

■　名称グループの設定方法

簡易名寄せ機能は、「システム」>「名称の表記ゆらぎ同一視設定」をクリックすると、設定の内容を確認・変更することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称グループ設定　　未登録の別名候補に対する処理設定



同じ表記の名称の扱いを設定

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 処理の設定方法

名称グループ設定（「出願人」「発明者」「代理人」「%独自項目」ともに共通）において、識別番号の異る同じ名称や、識別番号のない名称などの取り扱いを、次の4つの動作から選択できます。

1. 「未登録のものは同一視をしない」
・・・同じ名称（識別番号が異る）であっても、名称グループ設定に登録されていなければ、同一の名称として扱わない。

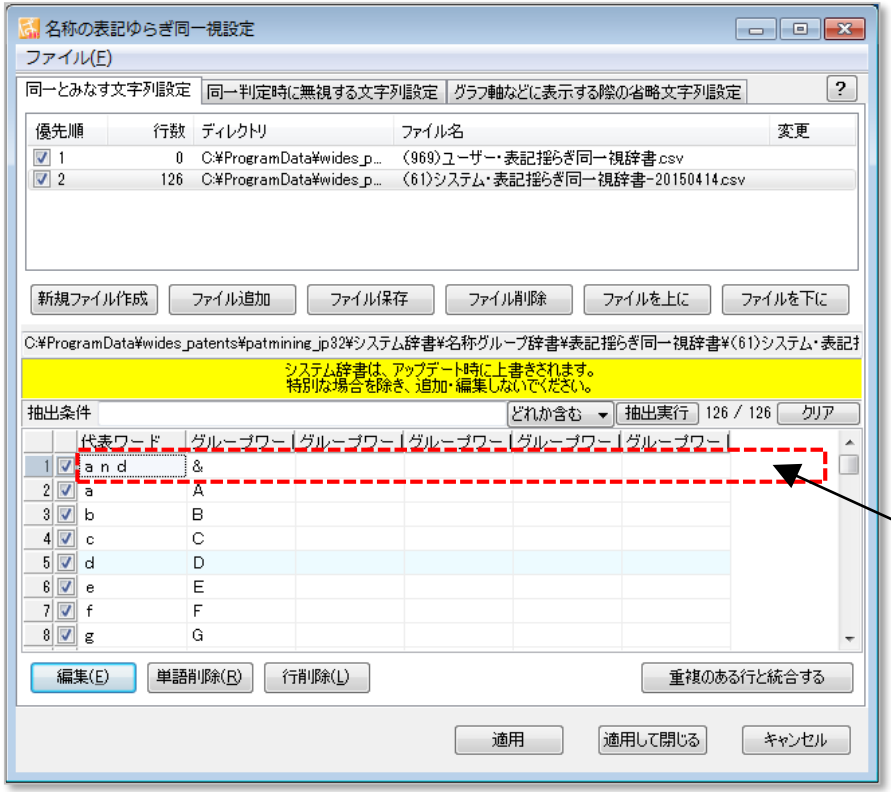
2. 「登録済みのものとは分けて別名候補を同一視する」
・・・登録されている名称と同じ名称であっても、　識別番号が異なれば、同一の名称として扱わない。

3. 「登録済みのものも含めて同一視するが、別行のものは含めない」
・・・登録済みのものも含めて、同じ名称であれば、すべて同一視する。ただし、同じ名称であっても識別番号ごとに行を分けて登録している名称の場合は、同一の名称として扱わない。

4. 「別行に登録されたものも含め別名候補をすべて同一視する」
・・・登録済みのものも含めて、同じ名称であればすべて同一視する。

メインウインドウのこれだけは攻略！

辞書設定：名称の表記ゆらぎ同一視設定　　簡易名寄せ機能の設定



同一視する文字列を、
同じ行に列記する

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

※　一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。辞書を一時的に修正される際にご利用いただくことは可能です。

ここでの注意ポイント！

■ 類似した名称を同一視するための辞書の編集

システム]＞[名称の表記ゆらぎ同一視設定]をクリックすると、設定画面が開きます。

- 「同一とみなす文字列設定」
  ・・・「and」と「＆」のように、社名などで同一視する文字列を登録します。
- 「同一判定時に無視する文字列設定」
  ・・・「インコーポレーテッド」と「インコーポレーテツド」のように、同一視の判定を行なう際に、無視する文字列を登録します。
- 「グラフ軸などに表示する際の省略文字列設定」
  ・・・グラフ軸に名称を表記する場合に、省略する文字列を登録します。

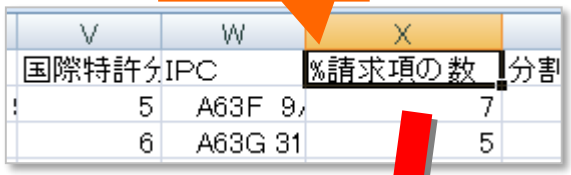
■ 注意点

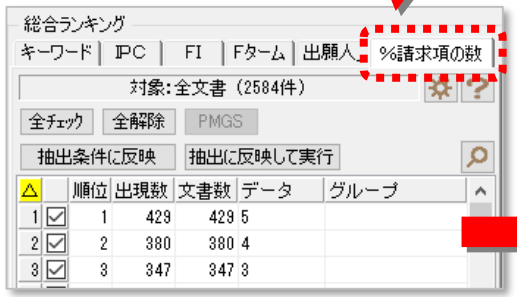
上記のいずれの設定も、CSV形式のファイルとして保存されます。複数のファイルを同時に使用することが可能です。
システム辞書はアップデート時に上書きされるため、文字列を追加する場合はユーザ辞書を編集するようにしてください。

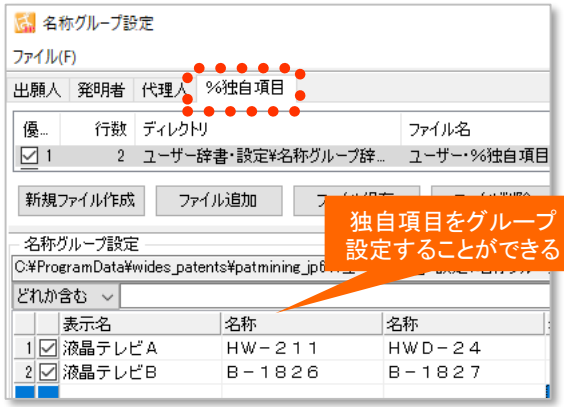
メインウインドウのこれだけは攻略！

独自項目設定（1）　CSVファイルの項目名に、『%』の記号をつけると、総合ランキングやグラフの軸にすることができます！！

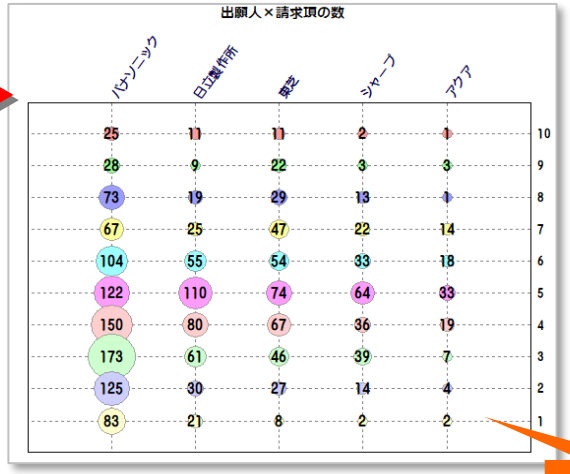
CSVファイル







独自項目をグループ設定することができる



独自項目を軸にして作成したグラフ

※　%の記号を付けた項目は、ワード分解、ランキング分析の対象外となります。

ここでの注意ポイント！

■　独自項目の設定

CSVファイルの項目名の頭に「 % 」を付けておくと、独自項目として読み込むことができます。

独自項目は『総合ランキング』に反映され、グラフの軸に選択することができます。
『名称グループ設定』画面でグループ設定を行なうことができます。

■　半角の採用

独自項目は使用用途によって、お客様の融通のきく作りをしているため、%独自項目以外の独自項目は原則そのままの扱いとなっております。よって%独自項目では半角と全角の扱いは変換せず、そのままとなっております。全角でご利用になりたい場合は、元データで全角のデータの作成をお願い致します。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

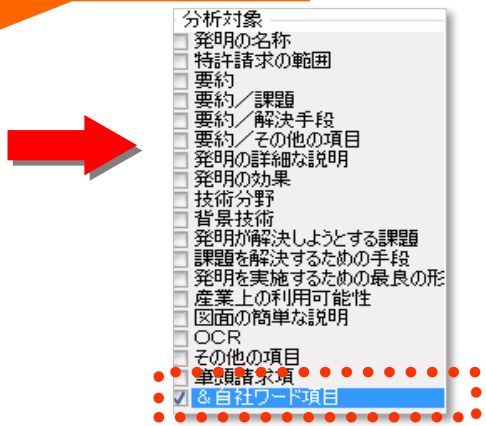
メインウインドウのこれだけは攻略！

独自項目設定（2）　CSVファイルの項目名に、『＆』の記号をつけると、ワード分解することができます！！

CSVファイル

項目名の先頭に「＆」をつけると、ワード分解の分析対象にすることができます。

F	G	H
出願番号	公開番号	&自社ワード項目
特願2000-018396	特開2001-207475	3次元設計データを最大限活用するためのポイントや課題，対応策を解説
特願2000-030042	特開2001-220723	クラウドネットワークやモバイル機器（M2M）の普及に伴い，情報化施工，
特願2000-178304	特開2001-357485	近年のCIM普及により，設計段階から施工段階



CSV独自項目一覧

項目名の先頭につく文字	データの取扱
&	名称として扱い、総合ランキングの集計対象とする。ワード分解の対象とする。
%	名称として扱い、総合ランキングの集計対象とする。名称グループ設定の対象とする。
$	金額として扱い、総合ランキングの集計対象から除外する。小数点以下は切捨てる。
*	日付として扱い、総合ランキングの集計対象から除外する。
:	日付時刻として取り扱い、戦略分析『時系列項目分析』の対象項目とする。総合ランキングの集計対象から除外する。書式は　YYYY/MM/DD HH:MM:SS

独自項目はCSVファイルを編集し、追加登録することができます。

※　＆の記号を付けた項目は、ワード分解、キーワードランキング分析の対象となります。

ここでの注意ポイント！

■　独自項目の設定

CSVファイルの項目名の頭に「＆」を付けておくと、独自項目として読み込むことができます。

＆独自項目はワード分解の分析対象にすることができます。ワード分解を行ない、キーワードランキングを表示することができます。

メモやコメント、そのほか分析対象としてワード分解を行ない、分析したい項目をCSVファイルに追加します。

抽出条件として、検索項目にお選びいただくことも可能です。

■　%独自項目との相違

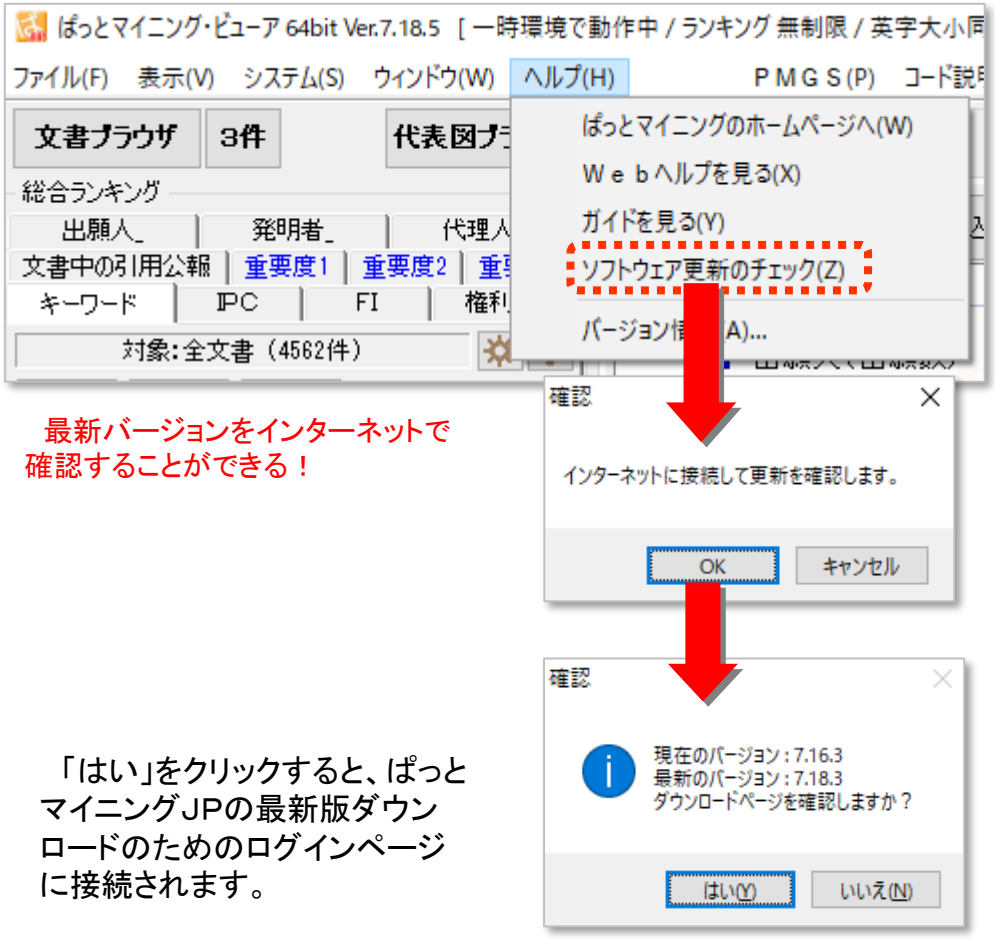
%独自項目も＆独自項目と同じ名称設定の独自項目ですが、こちらは、ワード分解を使用せずにランキング集計を行ないます。 そのため、かたまりで集計したい場合は、%独自項目を、ワード分解で集計したい場合は＆独自項目をご利用いただけます。

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング･ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。

メインウインドウのこれだけは攻略！

ヘルプ機能

ヘルプメニューから、
ガイドやマニュアルを開くことができる！



最新バージョンをインターネットで
確認することができる！

「はい」をクリックすると、ぱっとマイニングJPの最新版ダウンロードのためのログインページに接続されます。

ここでの注意ポイント！

■ ヘルプを見る

ヘルプメニューから、
・ぱっとマイニングのホームページ
・Webヘルプ
・ガイド
・ソフトウエア更新のチェック
・バージョン情報
を見ることができます。

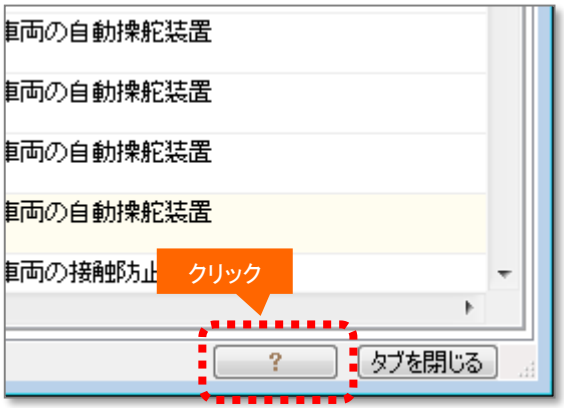
■ ソフトウェア更新のチェック

〔ソフトウェア更新のチェック〕をクリックすると、お使いいただいているぱっとマイニングが最新版であるかどうか、確認していただくことができます。

※ インターネットに接続しますので、ネット接続環境にないときはご利用いただけません。
ご利用中のソフトウェアよりも新しいバージョンが公開されている場合は、ダウンロードページへとご案内します。

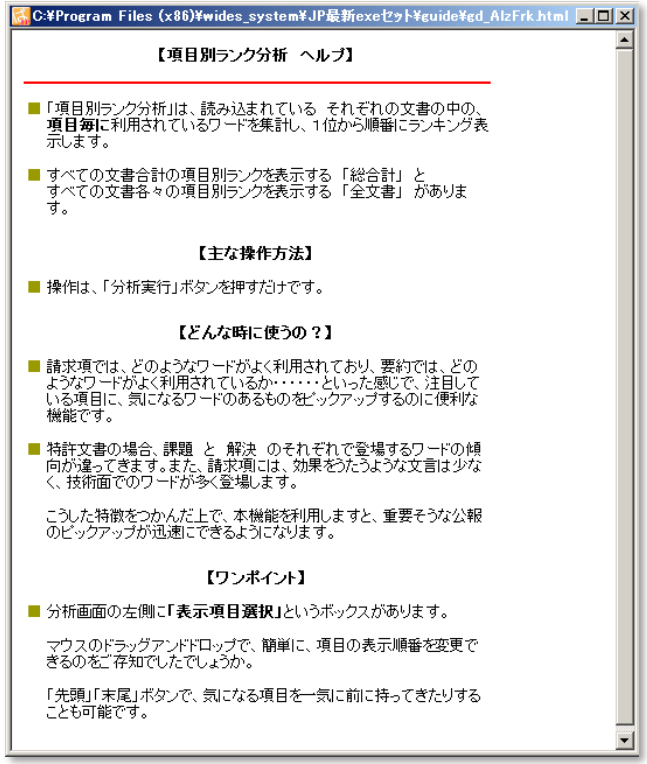
メインウインドウのこれだけは攻略！

ガイドボタン



操作に困ったときは、

ガイドボタンを押してみましょう！

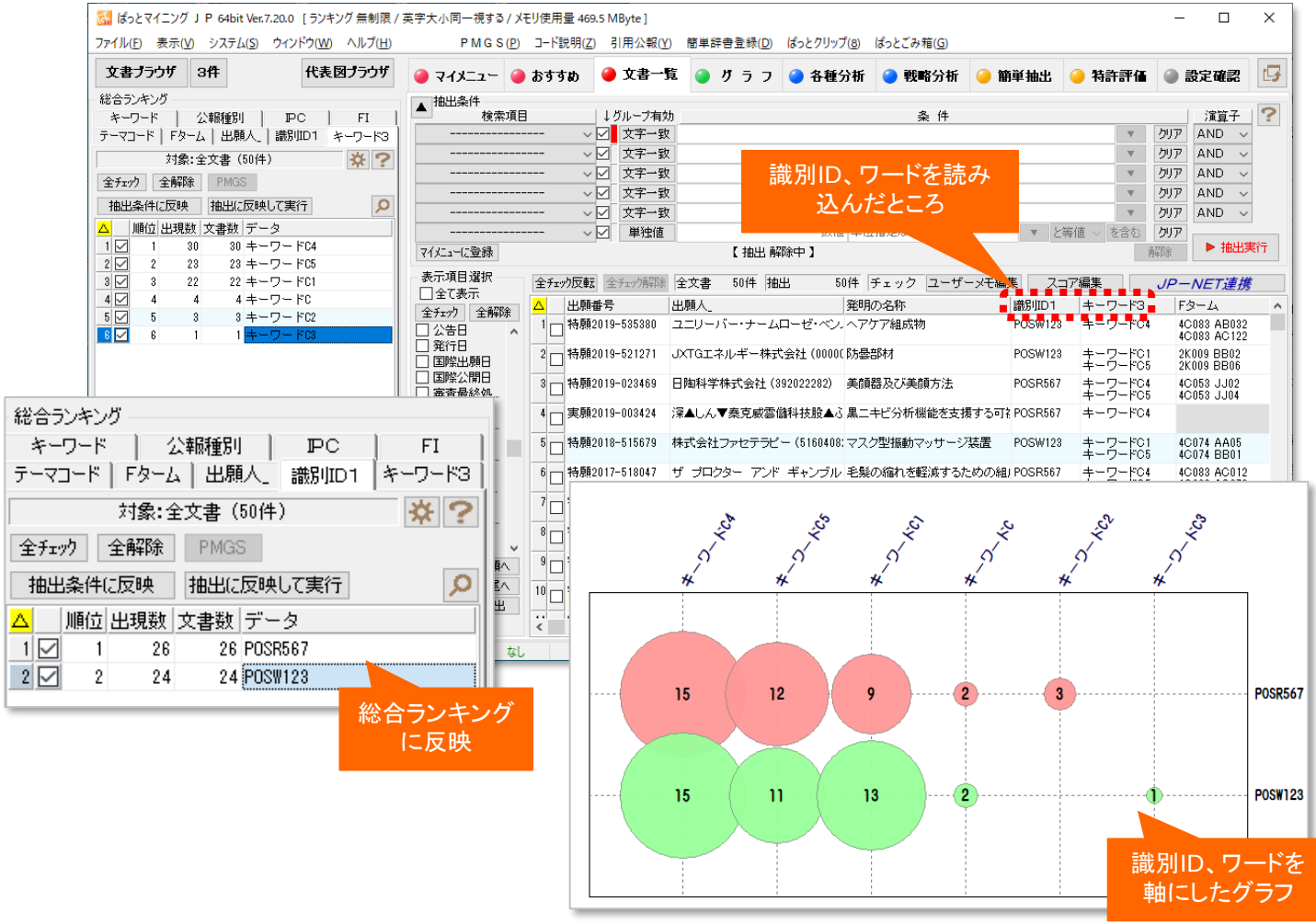


ここでの注意ポイント！

■ ガイドボタン

画面の各所にガイドボタンを配置しています。クリックすると、操作方法や活用方法が別ウィンドウで表示されます。

メインウインドウのこれだけは攻略！



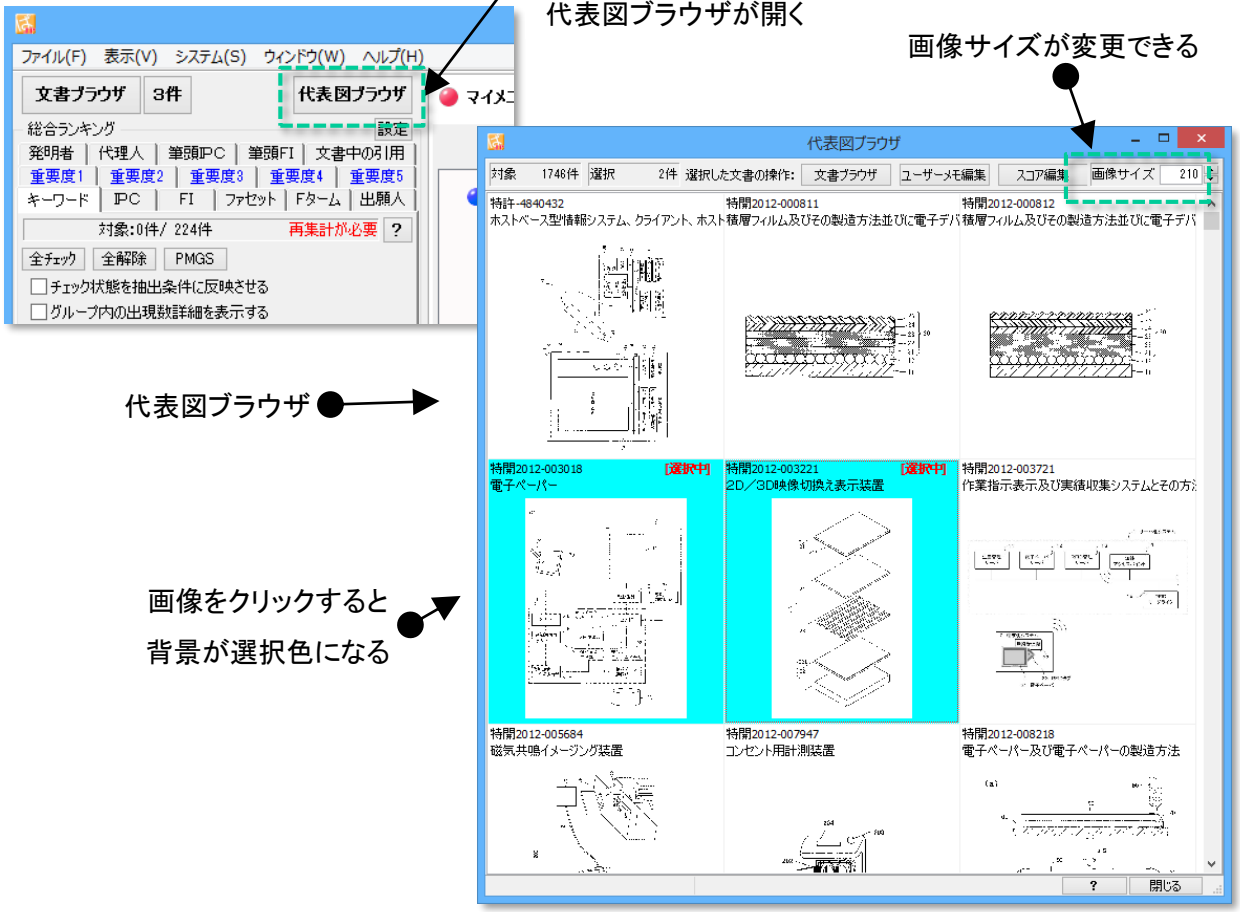
ここでの注意ポイント！

■ 自社で付番したIDやワードを軸にグラフが作成できます！

New CSS に特有の『識別ID』『ワード』項目に対応しました。
『総合ランキング』に反映され、グラフの軸に選択することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

代表図ブラウザ



ここでの注意ポイント！

■ 代表図ブラウザを開く

「代表図ブラウザ」をクリックすると、代表図ブラウザが開きます。
代表図を一覧表示（複数タイル表示）し、必要そうなものをチェックすることができます。

■ 画像選択

画像をクリックすると、画像の背景色が変わり、選択状態となります。
選択した画像を対象に、「文書ブラウザ」を起動、「ユーザメモ編集」「スコア編集」ができます。
プルダウンで画像サイズを変更できます。

「システム」＞「環境設定」から、代表図面ファイル格納フォルダの場所を指定することができます。

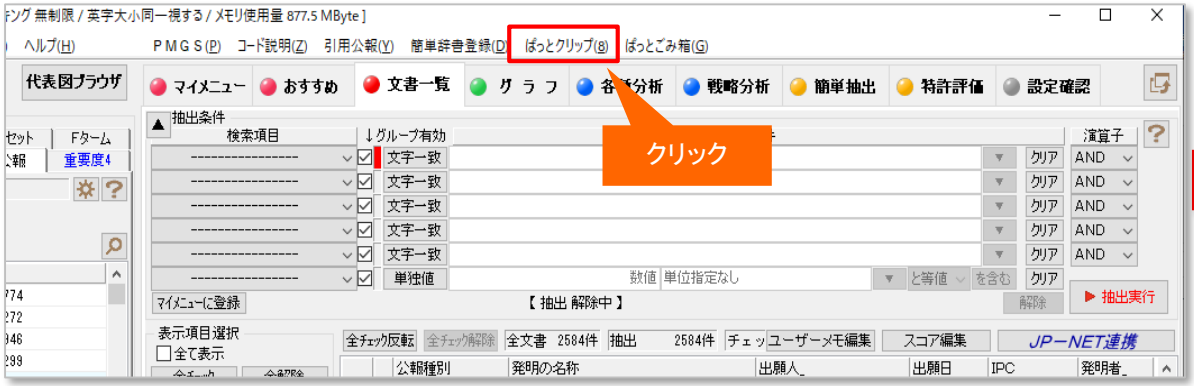
※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。
ご注意ください。

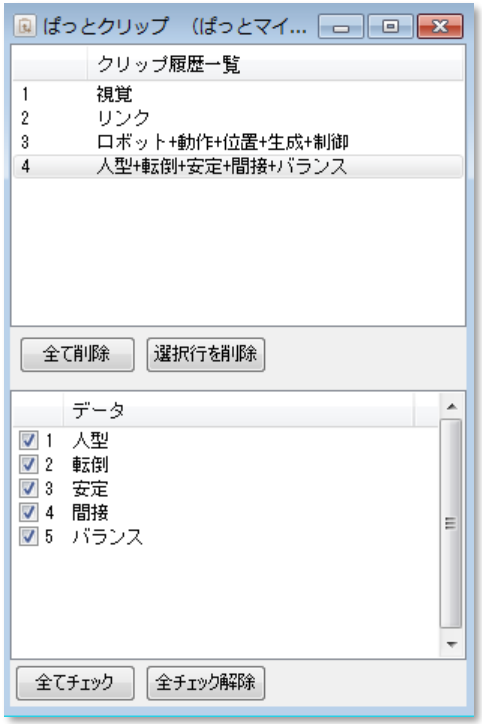
※ 一時環境としては、エクスポートの時点での代表図のデータがご利用いただけます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

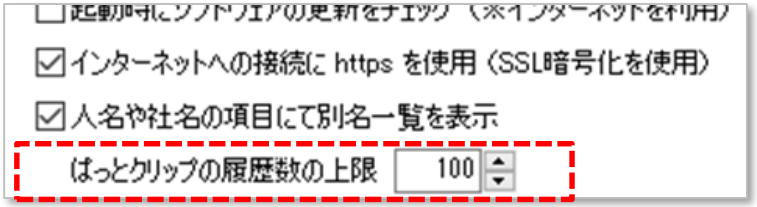
【ぱっとクリップ】－１

ぱっとマイニングの中で利用できるクリップボード！





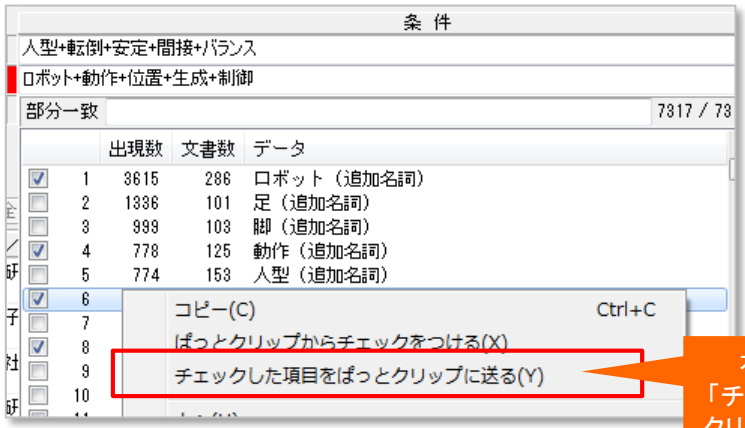
- 各種のワード入力枠や選択チェックで一度利用した ”ワード群”を、
  別の分析でも、そのまま利用したい、といったニーズにお応えする、
  ぱっとマイニングの中で利用できるクリップボード「ぱっとクリップ」を搭載。
- 記憶したワードは終了しても維持（一時環境でも以前に使用されたものが維持されます）
  ワードの履歴を、初期設定ですと10パターン、設定を変更すれば、最大100パターンまで記憶できます。
  ぱっとマイニングを終了しても記憶しており、次回の分析にご利用いただけます。
- 「システム」⇒「環境設定」⇒「その他」タブでぱっとクリップの履歴上限を
  設定することができます。



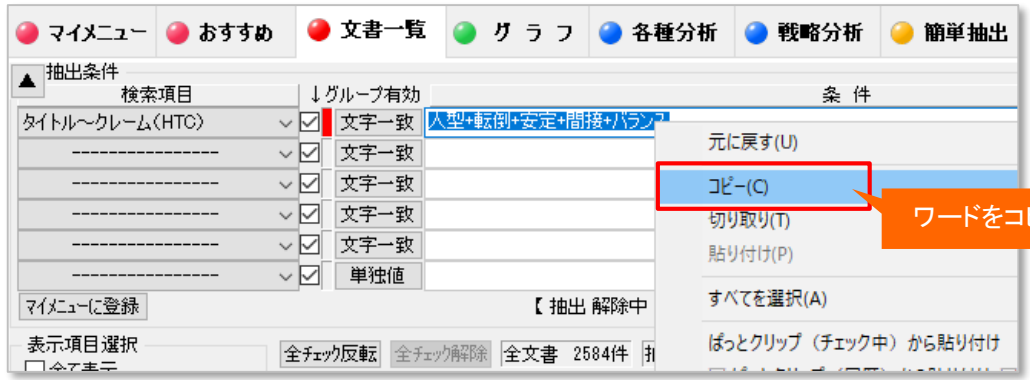
メインウインドウのこれだけは攻略！

【ぱっとクリップ】－２

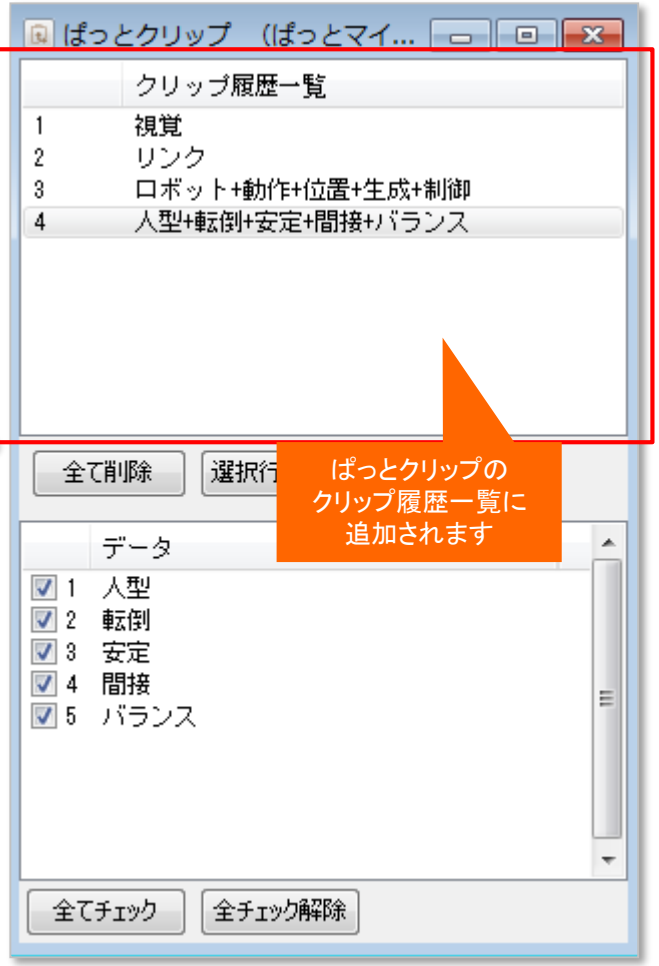
入力枠のワードをクリップに保存！



右クリックメニューで
「チェックした項目をぱっとクリップに送る」 をクリック



ワードをコピーする



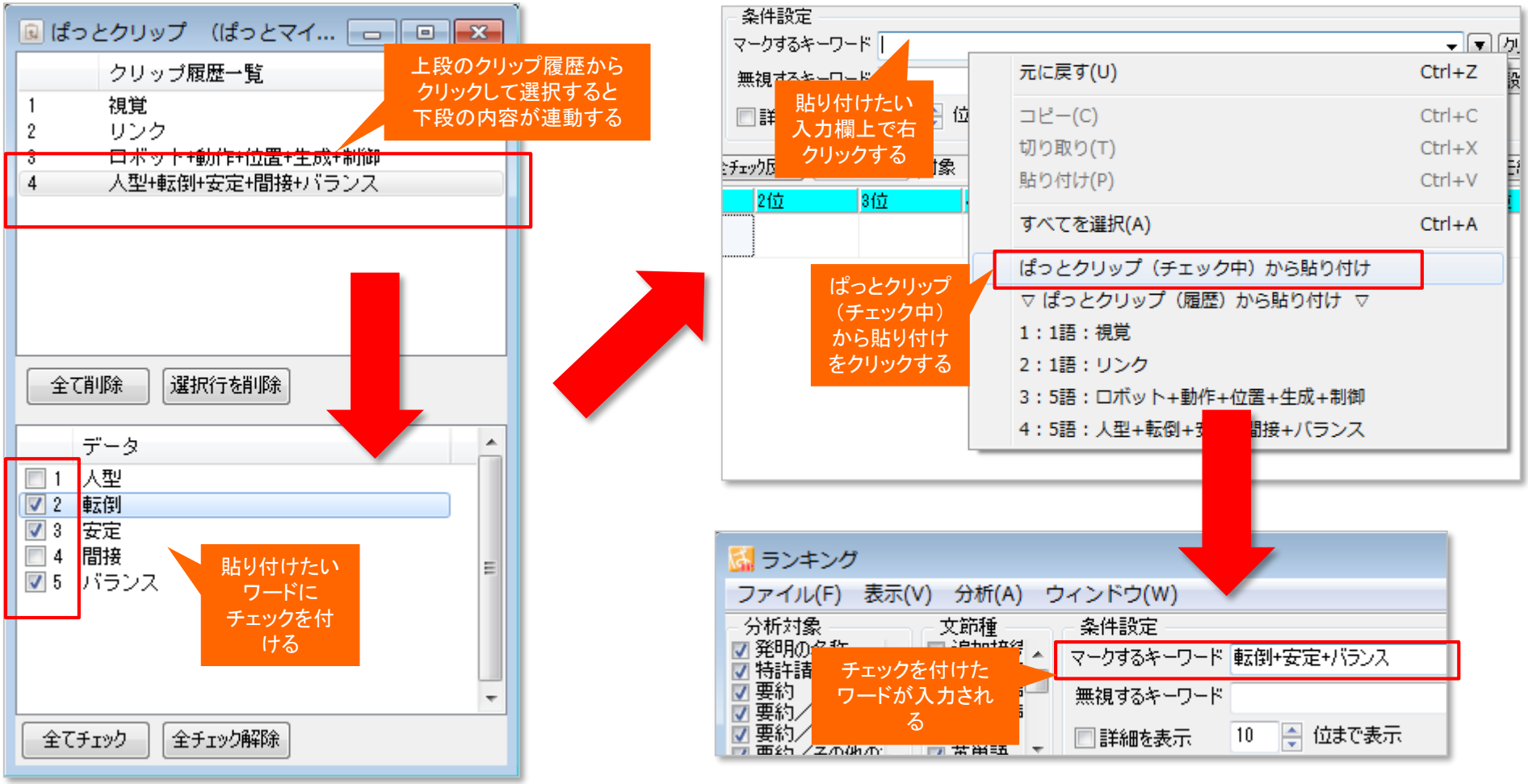
ぱっとクリップの
クリップ履歴一覧に
追加されます

- 選択したワードをぱっとクリップに送る
- ワード入力枠でコピーするか、選択したワード上で右クリックし、
『チェックした項目をぱっとクリップに送る』をクリックすると、「ぱっとクリップ」に、
選択したワードが送られます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

【ぱっとクリップ】－３

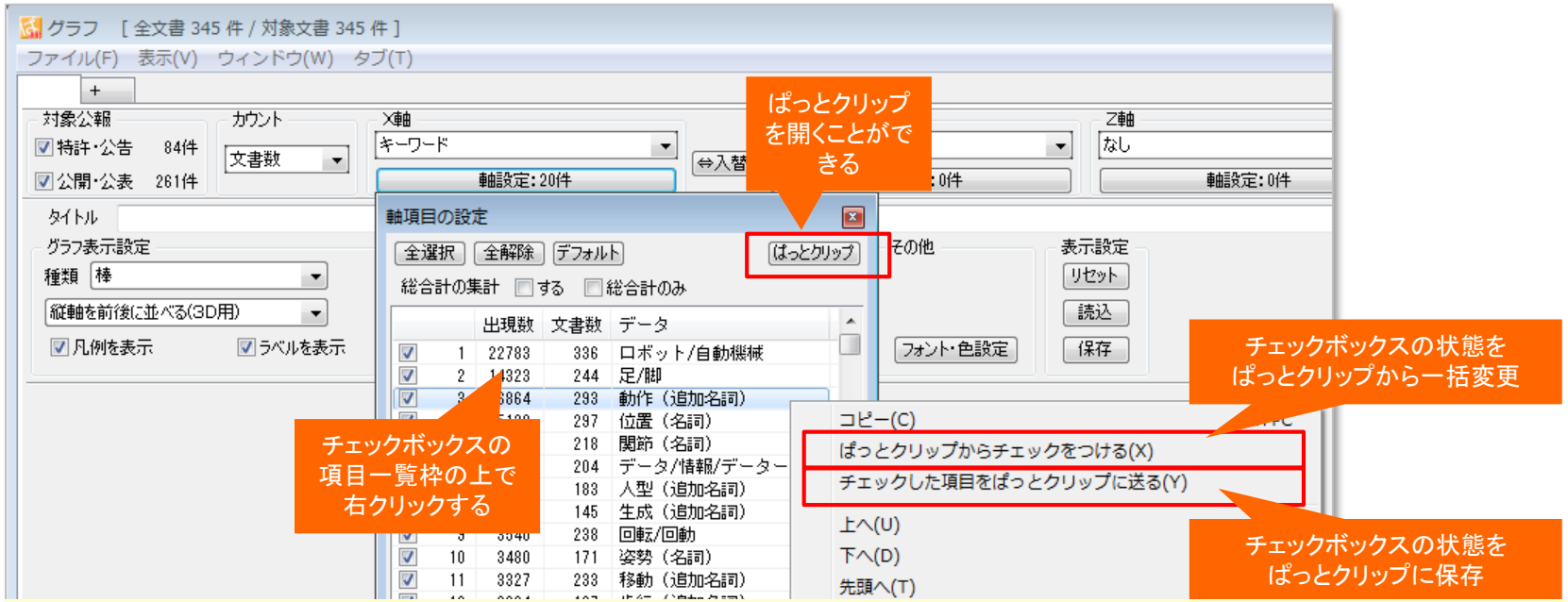
ぱっとクリップのワードを入力枠に送る！



メインウインドウのこれだけは攻略！

【ぱっとクリップ】－4

グラフ作成時にも、ぱっとクリップが大活躍！！

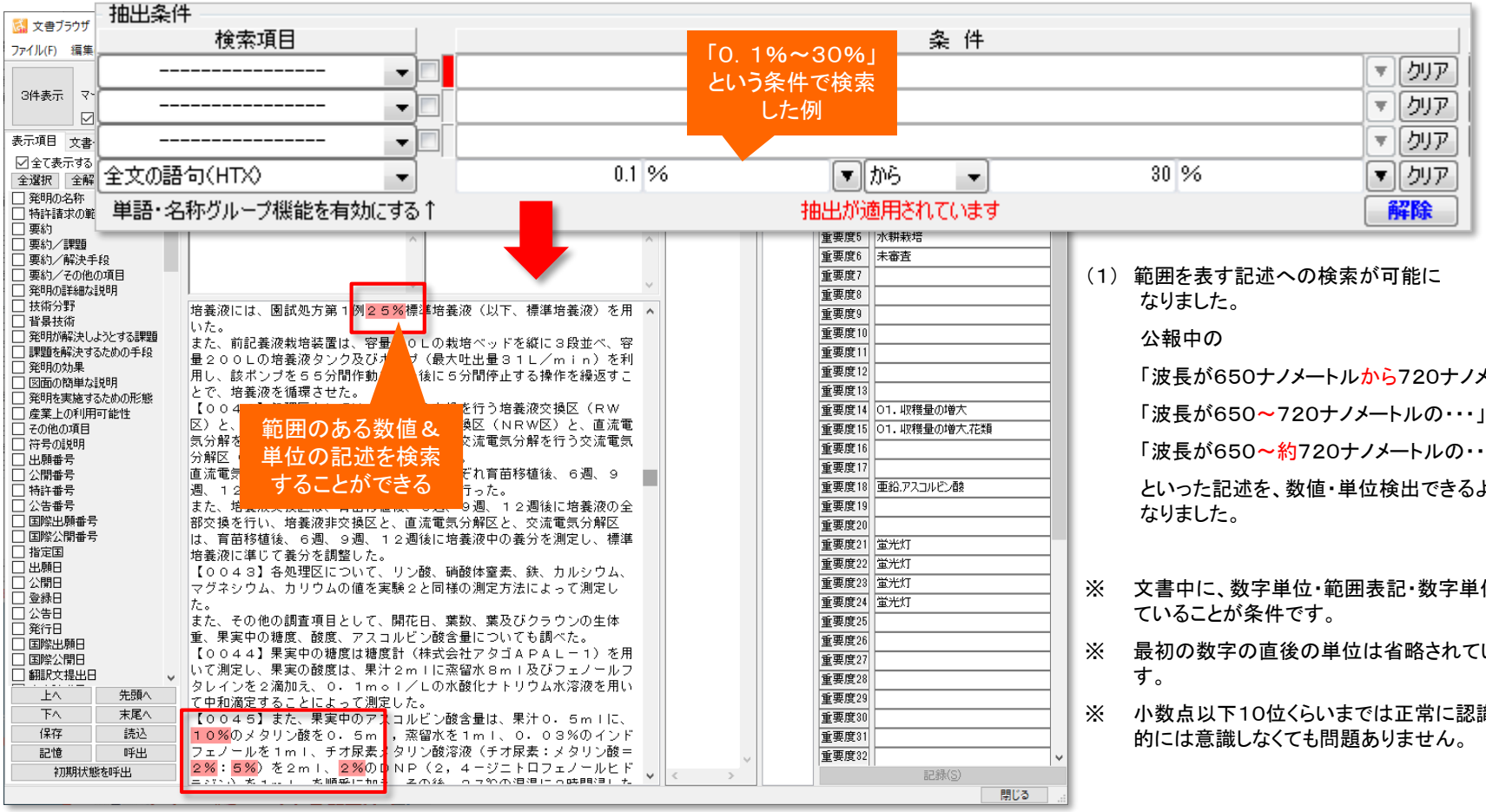


- グラフブラウザ等のチェックボックス式の項目選択においても「ぱっとクリップ」を活用することができます。
- ぱっとクリップからチェックを付ける
  軸項目の設定画面など、チェックボックスからワードを選ぶタイプの一覧枠で右クリックして、『ぱっとクリップからチェックを付ける』を選択すると、「ぱっとクリップ」で選択しておいたワードのチェックボックスの状態と同じものだけにチェックをつけた状態にすることができます。
- チェックした項目をぱっとクリップに送る
  右クリックメニューの『チェックした項目をぱっとクリップに送る』を選択すると、『軸項目の設定』ウィンドウ上で選択したワードを、ぱっとクリップに保存することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

数値＆単位検索の強化　－1

「〇〇～□□ナノメートル」という範囲の記述を検索可能に！



（1） 範囲を表す記述への検索が可能になりました。

公報中の

「波長が650ナノメートルから720ナノメートル」

「波長が650～720ナノメートルの・・・」

「波長が650～約720ナノメートルの・・・」

といった記述を、数値・単位検出できるようになりました。

※ 文書中に、数字単位・範囲表記・数字単位の順で記載されていることが条件です。

※ 最初の数字の直後の単位は省略されていても検索できます。

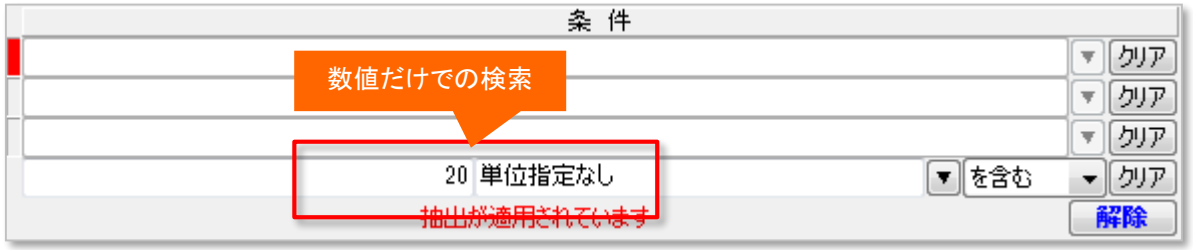
※ 小数点以下10位くらいまでは正常に認識するので、実用的には意識しなくても問題ありません。

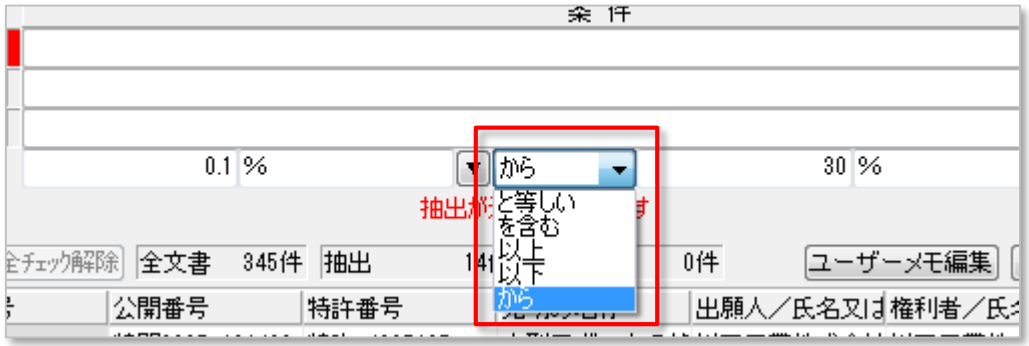
※ 単位の設定は、[システム]⇒[辞書設定(数値＆単位　単位マスタ設定)]で設定することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

数値＆単位検索の強化　－2

単位の指定のない数値範囲の検索が可能に！





「を含む」 と 「と等しい」の動作のちがい

〈例1〉 「10」「ミリメートル」「を含む」

5～30ミリメートル	ヒットする
1cm	ヒットする

〈例2〉 「10」「ミリメートル」「と等しい」

10mm　ヒットする	
5～30ミリメートル	ヒットしない
1cm	ヒットする

（2） 漢数字表記に対応しました。

「波長が約七百二十ナノメートル」
といった表記を検出できます。

（3） マイナス値に対応しました。

（4） 「単位指定なし」での検索が可能に
なりました。

「重量%が4～10・・・」という記述が
検索できます。

（5） 範囲条件に、「を含む」が選択できるように
なりました。

※　数値入力時には漢数字を使用できません。
文書中の漢数字については、直後に単位がある
ものだけを数字として認識します。

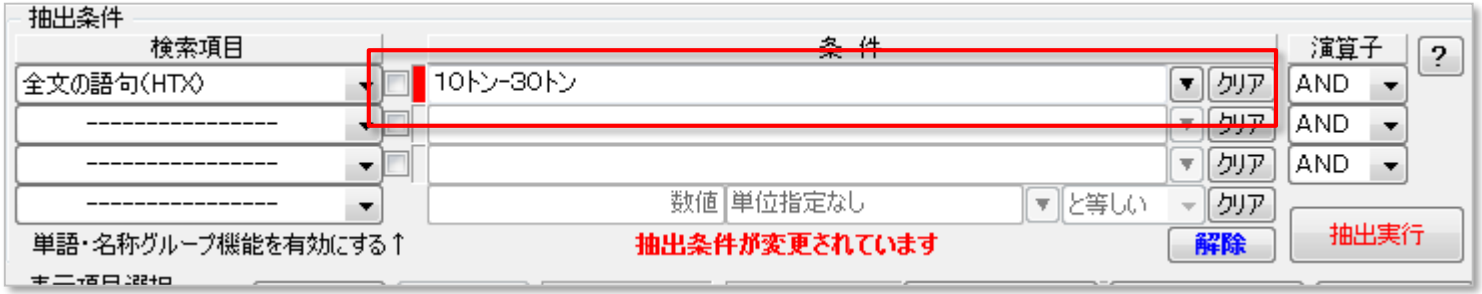
※　「と等しい」を選択した場合は、
範囲を示す値（5～30ミリメートルなど）は
検索にヒットしません。

※　単位の設定は、[システム]⇒[辞書設定（数値＆単位　単位マスタ設定）]で設定することができます。

メインウインドウのこれだけは攻略！

数値＆単位検索の強化　－3

ワード入力欄での数値＆単位の入力ルール



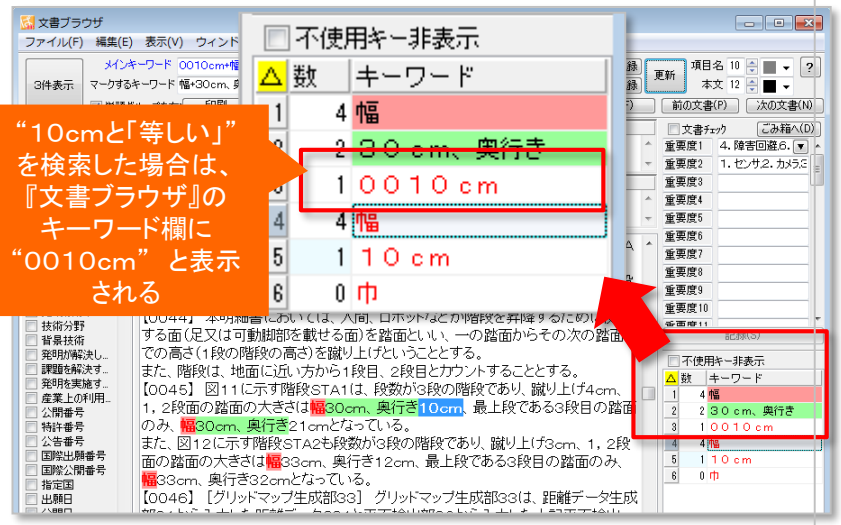
数値＆単位検索欄以外の検索条件入力欄に、
数値と単位を入力する場合は、以下の入力規則となります。

例：10トン　を検索する場合

- 「と等しい」　0010トン
  ※　数値の前に「00」を付けてください。
- 「を含む」　10トン
- 「以上」　10トン-＊
- 「以下」　＊-10トン
- 「から」　10トン-30トン　（10～30トンを検索する場合）
  ※　両方の数値に単位を付けてください。
  ※　ハイフンの左側に小さい方の値を入れてください。

※　漢数字は文字として認識するため、数値設定としての入力には
ご利用いただけません。

※　近傍検索でもう数値単位検索が利用できます。



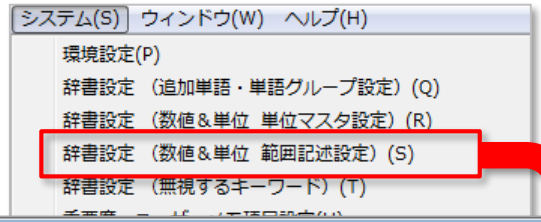
※　単位の設定は、[システム]⇒[辞書設定（数値＆単位　単位マスタ設定）]で設定することができます。

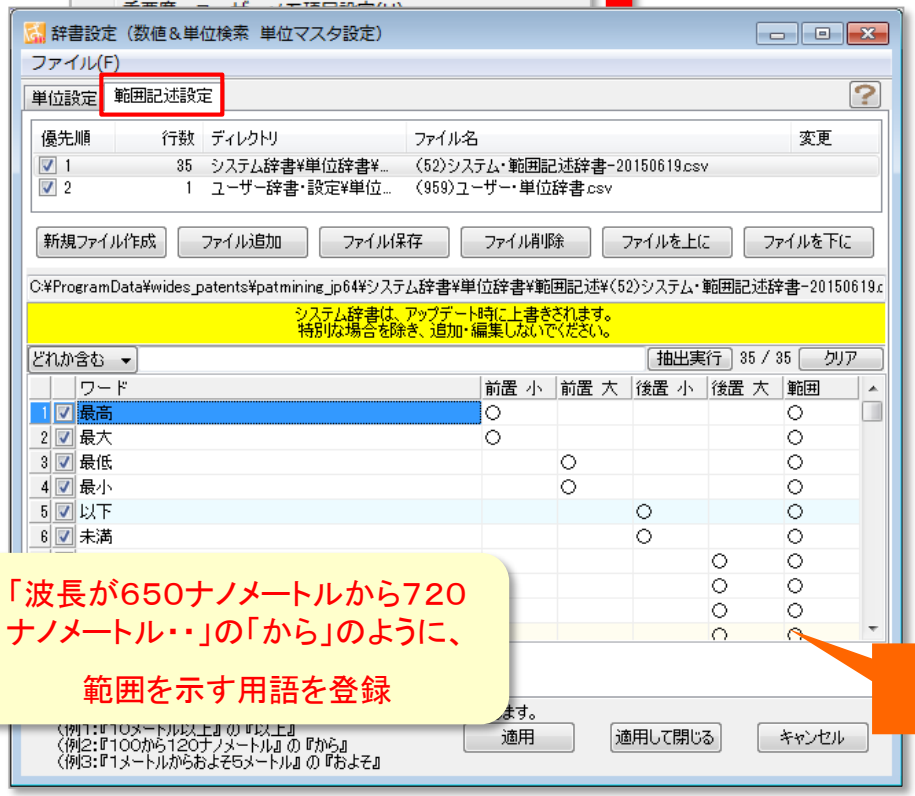
メインウインドウのこれだけは攻略！

数値＆単位検索の強化　－4

数値＆単位　範囲記述設定辞書を追加

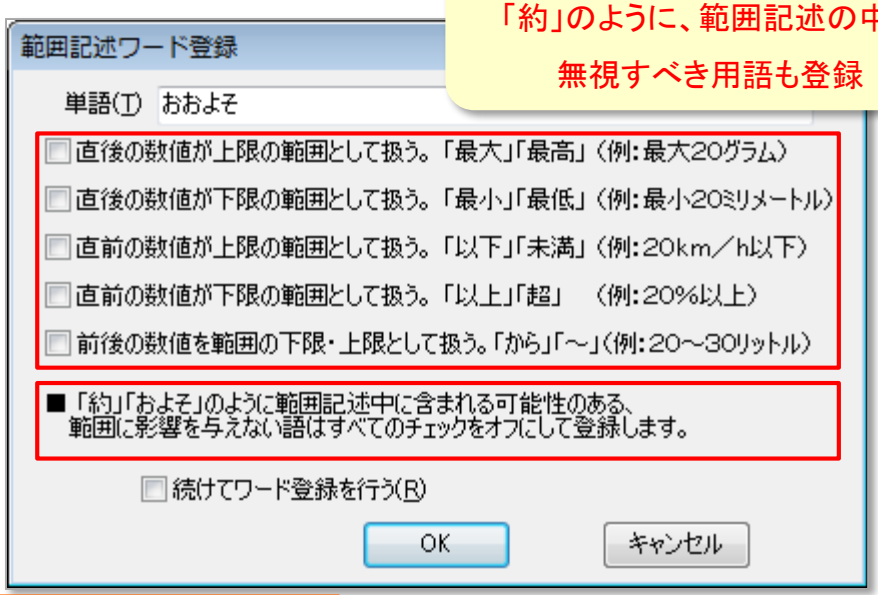
- 数値の範囲を示す記述の用語、範囲記述の中で無視すべき用語を設定できる、範囲記述設定の辞書を新たに搭載しました。
- [システム]⇒[辞書設定（数値＆単位　単位マスタ設定）]で設定することができます。





「波長が650ナノメートルから720ナノメートル・・」の「から」のように、

範囲を示す用語を登録



「範囲記述ワード登録」時に
チェックを付けた項目に「○」が付く

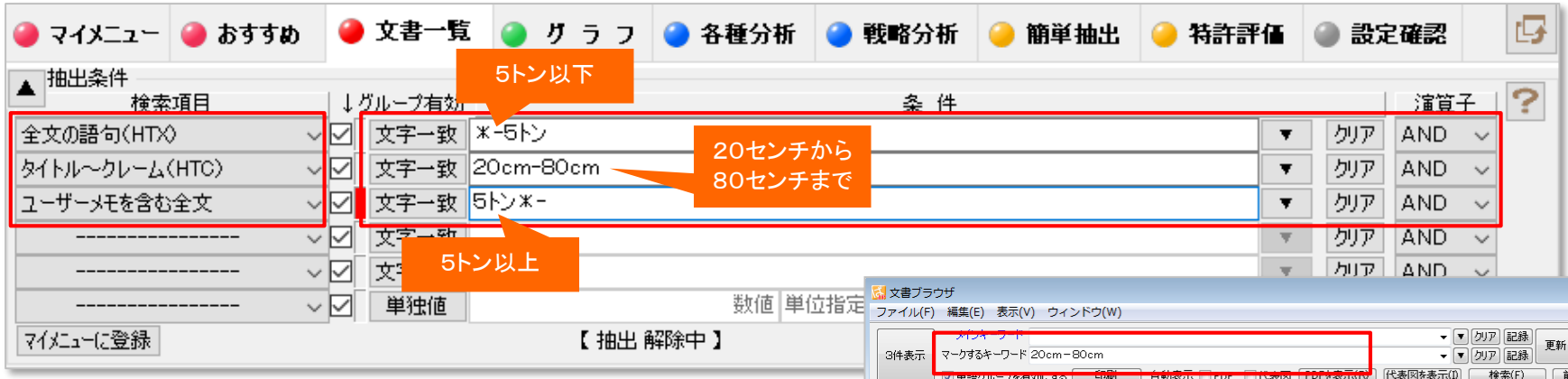
「650～約720ナノメートル」の「約」のように、範囲記述の中で

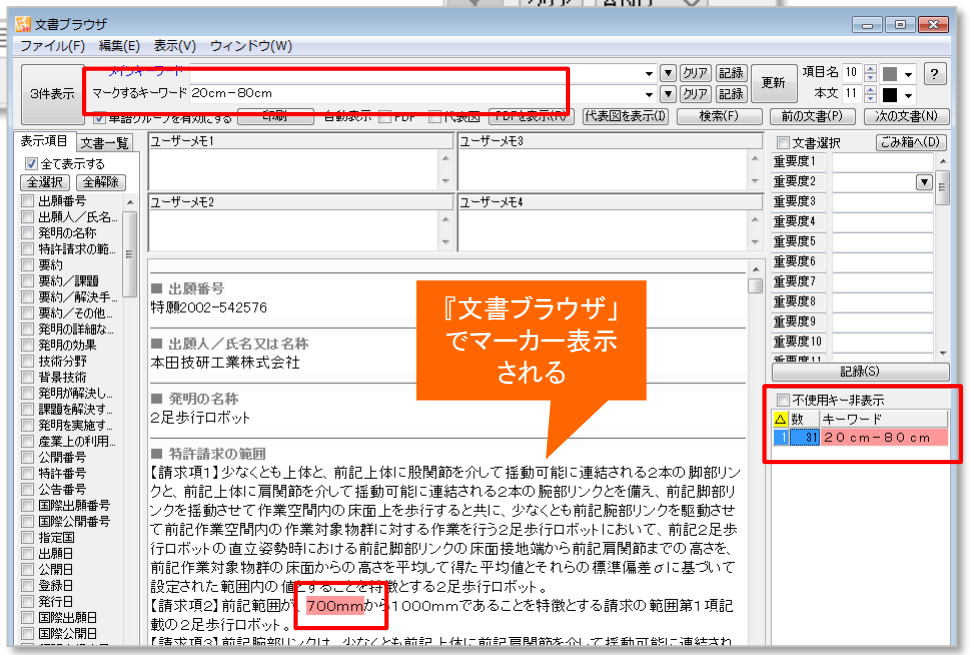
無視すべき用語も登録

メインウインドウのこれだけは攻略！

従来の入力枠でも「数値＆単位」での公報抽出が可能に！！

数値と単位のかけあわせで公報を抽出！





1～3段目の条件入力欄でも、数値と単位を入力することができます。

「数値と単位」を入力する（例：5トン）と、入力した内容と等しい数値と単位を記載した公報を抽出することができます。

「数値と単位」の前にアスタリスク（＊）とハイフンをつける（例：＊－5トン）と、「以下」となり、後ろにハイフンとアスタリスク（＊）をつける（例：5トン－＊）と、「以上」となります。

「数値と単位」－「数値と単位」と入力する（例：5トン－30トン）と、「から」と同様に範囲を設定することができます。ハイフンの左側に最小値、右側に最大値を入れてください。

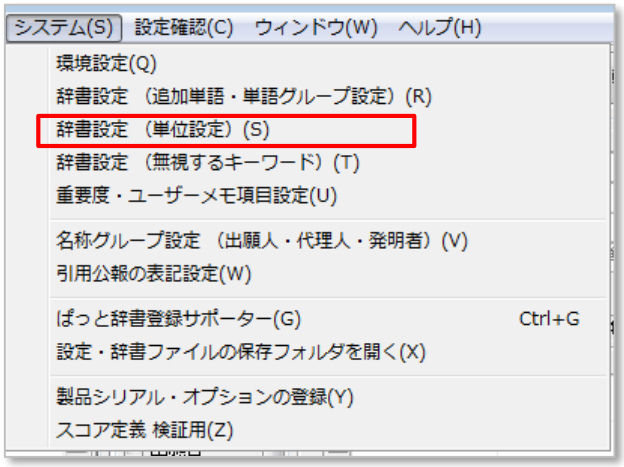
※　ハイフンは半角で入力してください。

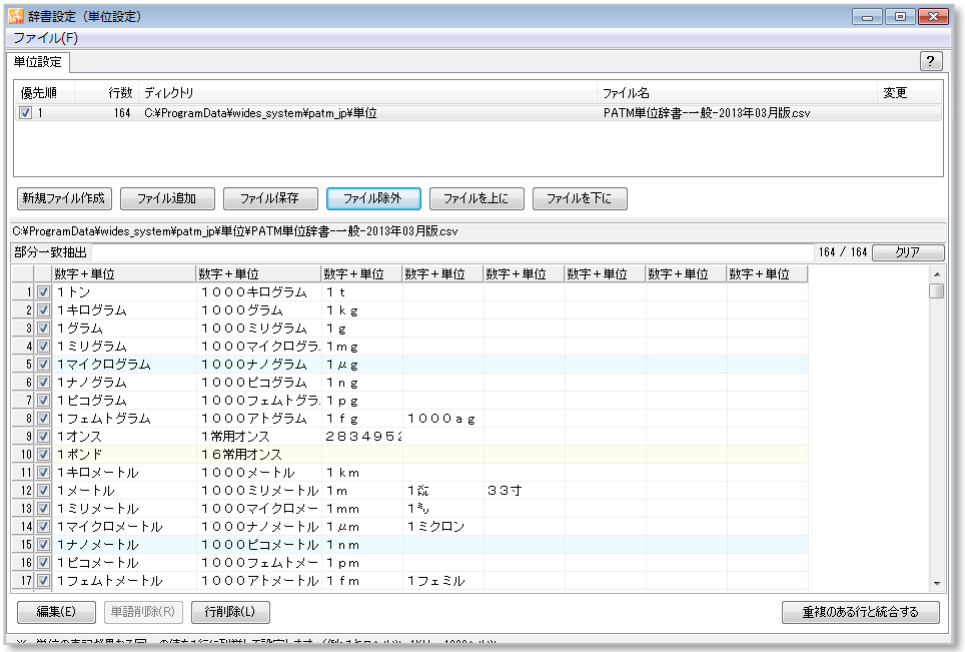
※　単位の設定は、「システム」→「辞書設定（単位設定）」でご確認ください。

メインウインドウのこれだけは攻略！

「数値辞書」で単位の読み換えができます！！

100ミリ＝10センチ　といった変換機能を搭載！





この画面で登録した単位が、【文書一覧】の抽出条件のプルダウンに候補として表示されます。

「1トン」と「1000キログラム」のように、単位の表記が異なる同一の値を1行に列記することで、同じ値の同じ単位として取り扱うことができます。

単位だけでなく、必ず数値と単位の組み合わせにして登録してください。

摂氏と華氏のように、0基準が異なる単位は同じ単位として扱うことができません。

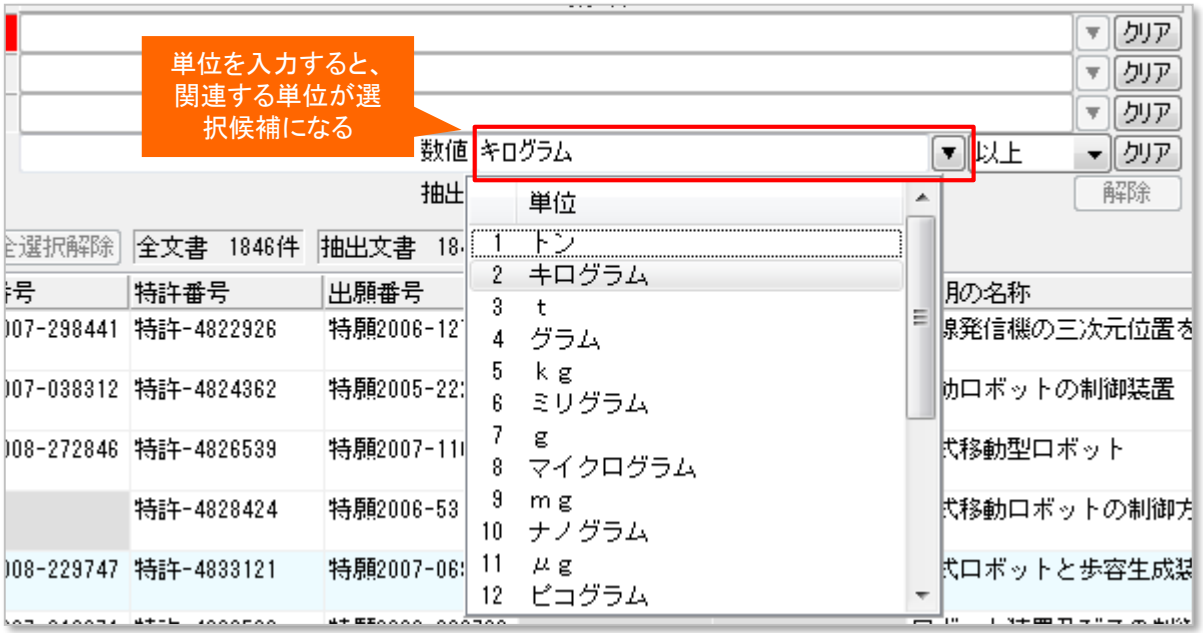
ハイフン(－)、アスタリスク(＊)、カンマ(,)、ピリオド(.)は、単位として使用できません。漢数字は数値として使用できませんが、単位としては使用できます。

この設定は、CSV形式のファイルで保存されていますので、CSVファイルを表計算ソフトで編集することも可能です。

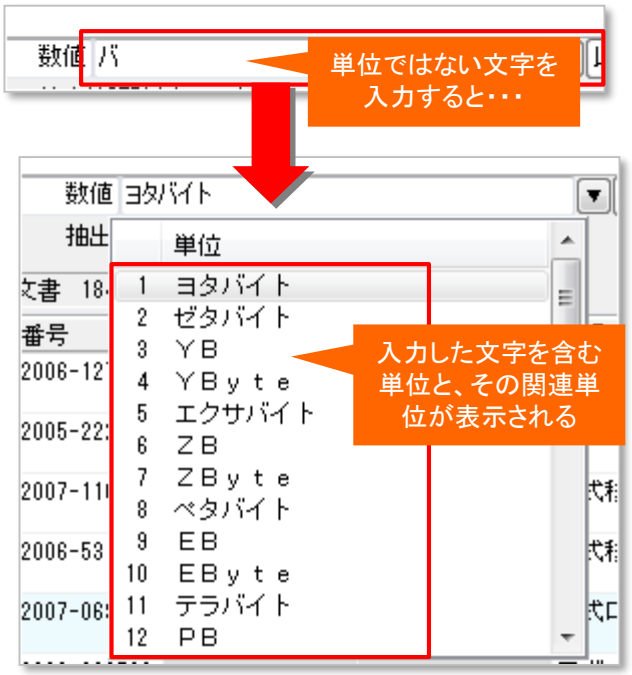
※　単位の設定は、「システム」→「辞書設定（単位設定）」でご確認ください。

メインウインドウのこれだけは攻略！

「数値＆単位」での単位検索機能！！



希望の単位を素早く選択できる！



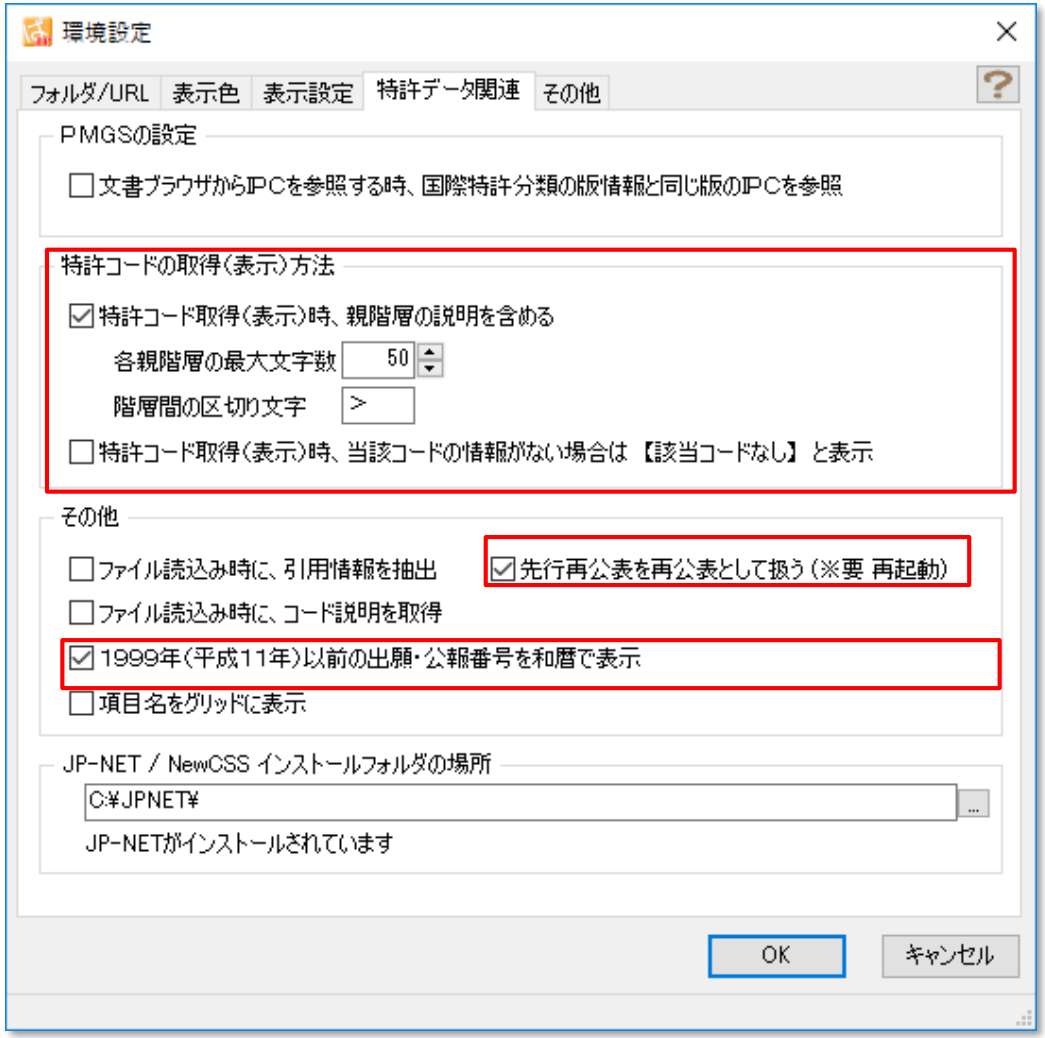
単位の入力欄には、候補となる単位を絞り込んでくれる、単位検索機能が搭載されています。
単位検索機能は、次のような3種類の動作をします。

1. 単位入力欄を空白にしたまま、プルダウンをクリックすると、「辞書設定（単位設定）」に記載されている単位が全て表示されます。
候補の中から選択してクリックすると、選択した単位が入力されます。
2. 単位入力欄に「キログラム」などの単位を入力してからプルダウンをクリックすると、「トン」や「グラム」など、「キログラム」に関連する単位だけが表示されます。
3. 単位入力欄に、たとえば「バ」など、単位ではない文字を入力すると、「バ」という文字を含む単位（部分一致で抽出）と、その単位に関連する単位だけが表示されます。

※ 関連する単位とは、「辞書設定（単位設定）」によって単位変換ができる関係にある単位のことです。

メインウインドウのこれだけは攻略！

特許コードの取得（表示）方法の選択



各階層の文字数、区切り文字を設定

■ [システム]→[環境設定]→「特許データ関連」タブを開くと、「特許コード取得(表示)方法」の設定ができます。

■ 『特許コード取得（表示）時、親階層の説明を含める』
・・・チェックを入れると、特許分類コードの説明表示に、親階層の説明を含めることができます。
説明表示をシンプルにしたい場合はチェックを外します。

■ 各親階層の最大文字数、階層間の区切り文字を指定することができます。
※ 区切り文字は全角文字、半角文字のどちらも使用可能です。
複数文字（>>>など）を使用することができます。

■ 『特許コード取得（表示）時、当該コードがない場合は【当該コードなし】と表示』
・・・当該コードの説明がない場合に、空白表示にするか、【当該コードなし】と表示するかを選択することができます。

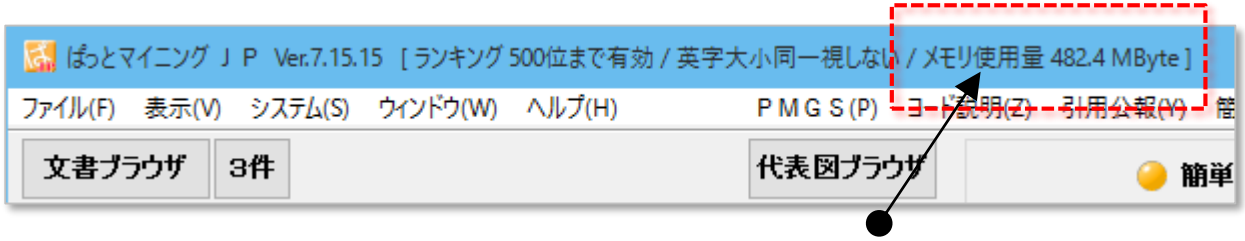
■ “先行再公表”（再公表特許発行前のPCT出願：JP－NETの独自種別）の公報を、後に発行される“再公表”と同様に扱う設定とするチェックボックスです。
“再公表”公報が発行されると、同じ出願内容にもかかわらず“先行再公表”公報とは別の公報としてぱっとマイニングJPで認識されるという事例があったため、“先行再公表”の公報も“再公表”公報とみなし、別々のものとして扱わないように設定できる機能を追加しました。

■ ぱっとマイニングJPでは、データ読み込み時に、出願番号、公報番号をすべて西暦表示に統一します。
JP－NETデータのままの出願番号、公報番号にしたい場合は、ここにチェックを入れることで、平成11年以前の出願番号、公報番号を和暦表示に変更します。

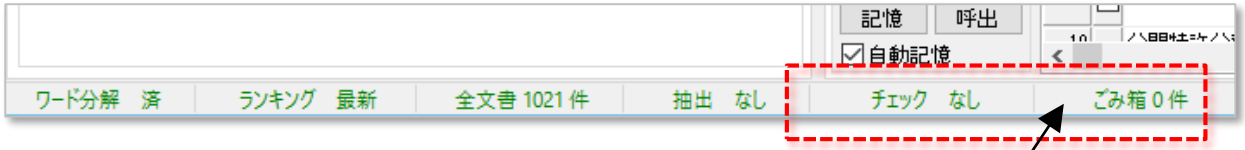
メインウインドウのこれだけは攻略！

タイトルバー：メモリの使用量の常時表示

分析目的に合わせて辞書を選択



メモリ使用量を常時表示



ごみ箱件数を常時表示

- タイトルバーに、メモリ使用量を常時表示するようになりました。
- ご利用のPCのメモリ量と、ステータスバーに表示されるメモリ使用量を確認して、作業の負荷を把握することができます。メモリ使用量が、ご利用のPC環境の制限を超えると、動作が極端に遅くなります。
- 32ビット版の場合、1つのアプリケーションが利用できるメモリ量は最大2GBに制限されるため、メモリ使用量が1GBを超えたら要注意。1．5GBあたりで動作に支障が出る可能性があります。
- ステータスバーに、ごみ箱に入れている公報の件数を常時表示するようになりました。

メインウインドウのこれだけは攻略！

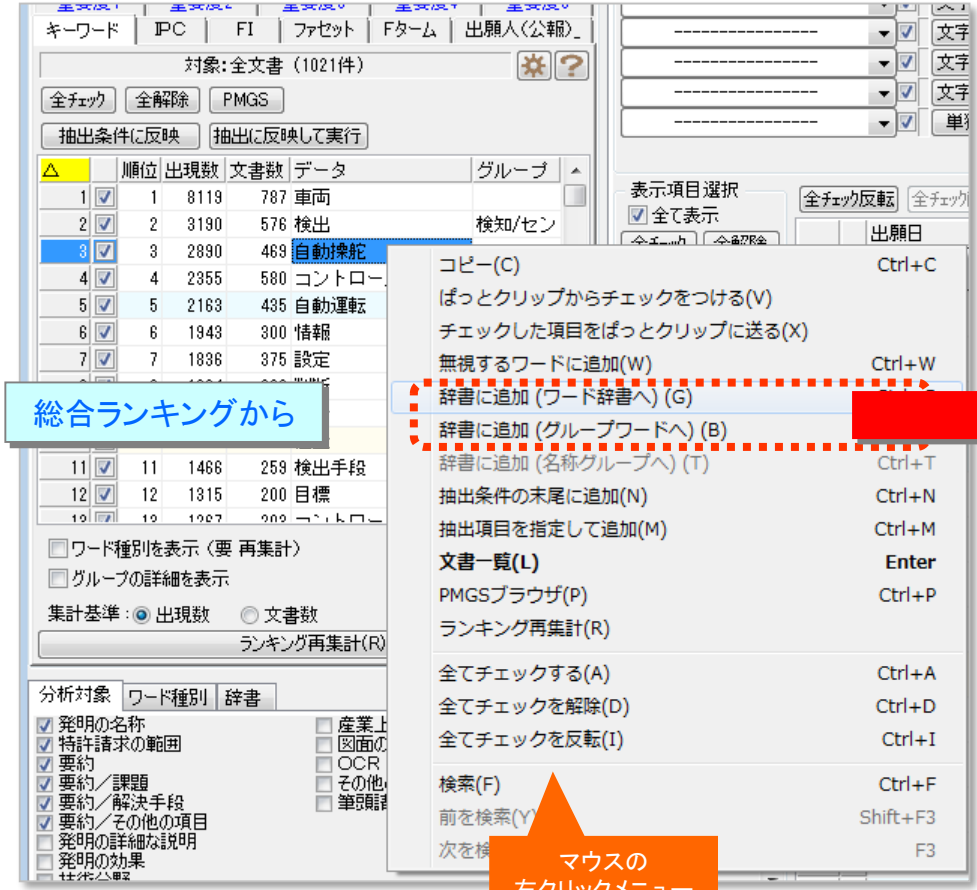
右クリックで“ワード辞書　簡単登録”起動！

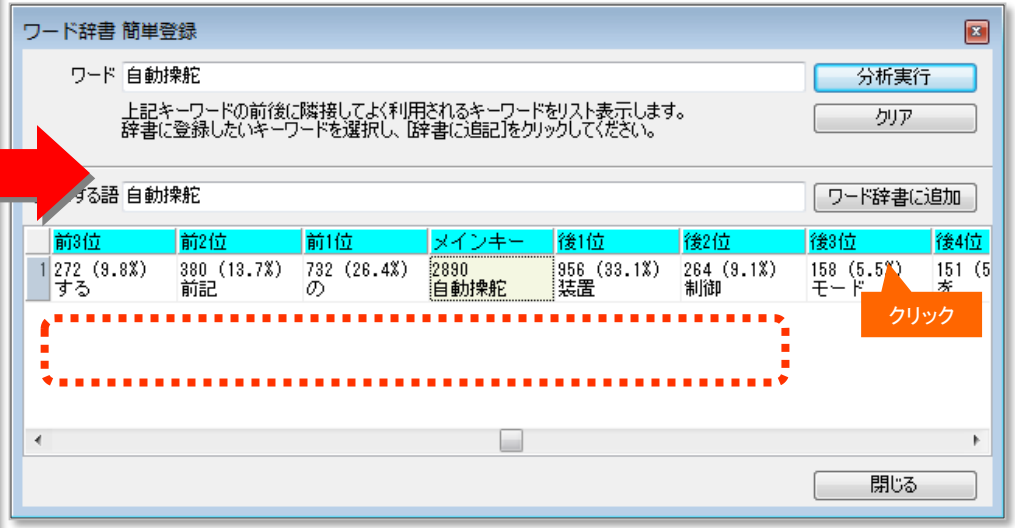
辞書機能：簡単登録ツール

総合ランキングのキーワードタブ、ランキング分析、関連分析において、ワードのセルを選択し、右クリックメニューから「辞書に追加」をクリックすると、「カンタン登録」ウィンドウを起動することができます。

「ワード辞書　簡単登録」では、ワードの前後によく利用されるキーワードをリスト表示しているので、ワード+ワードによる複合語をこの画面から辞書登録することができます。

気になるワードを用いた複合語を手軽に検索し、
辞書登録することができる！



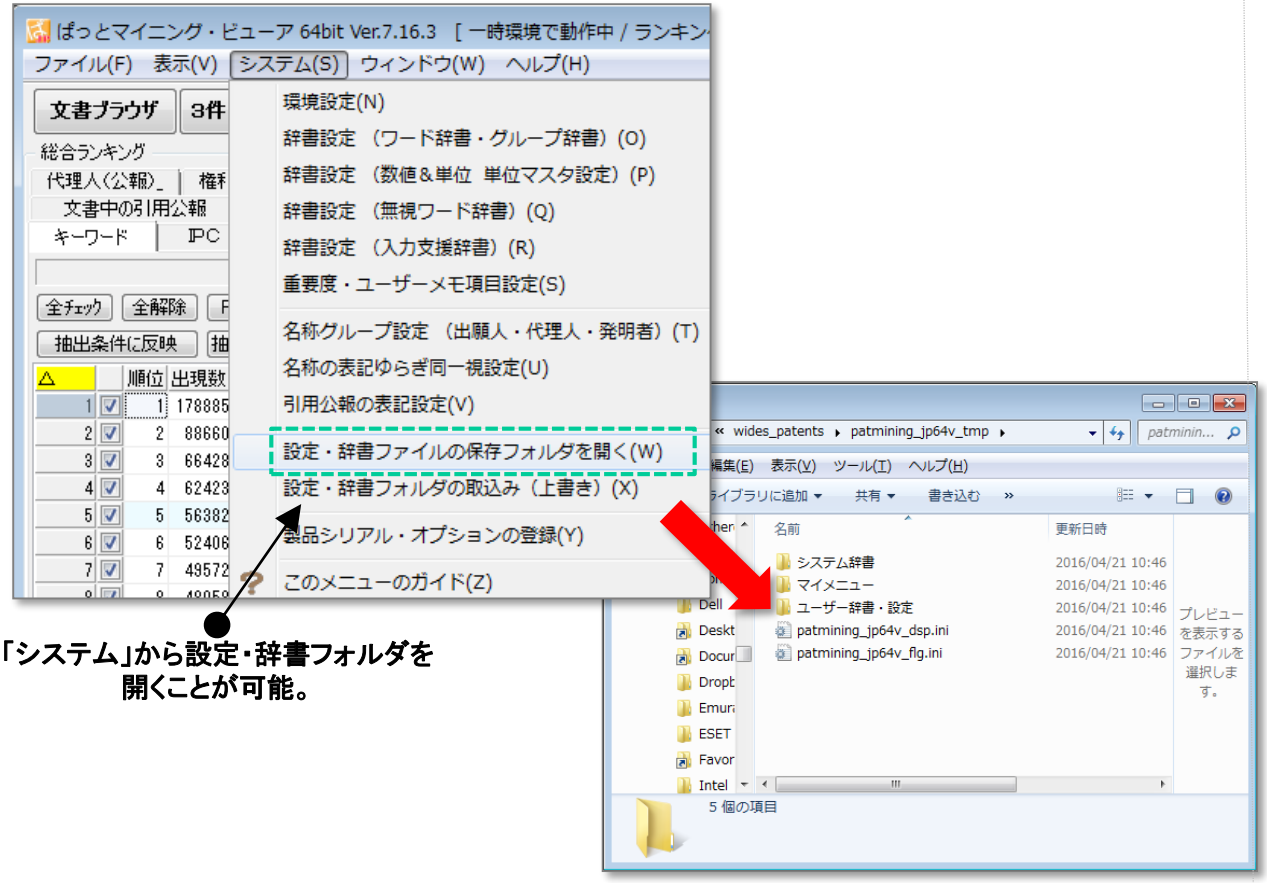


【設定・辞書フォルダ】

☑　設定・辞書フォルダの確認・取込みの使い方

設定・辞書フォルダの確認・取込み（上書き）（1）

設定・辞書フォルダの確認



「システム」から設定・辞書フォルダを開くことが可能。

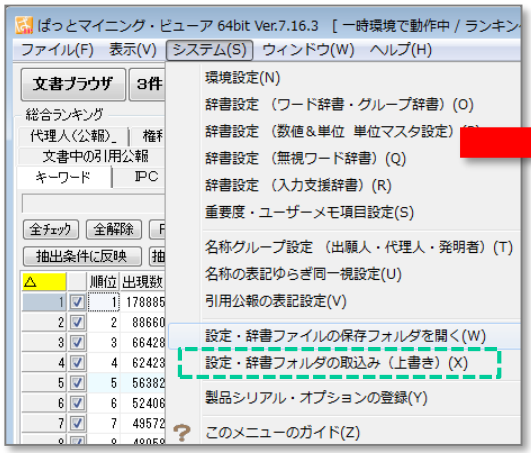
ここでの注意ポイント！

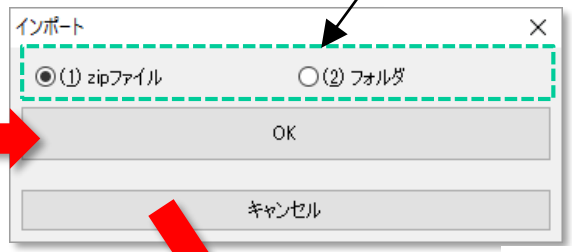
■ 設定・辞書フォルダを開く

「システム」から設定・辞書フォルダの使用中のフォルダの確認が可能。

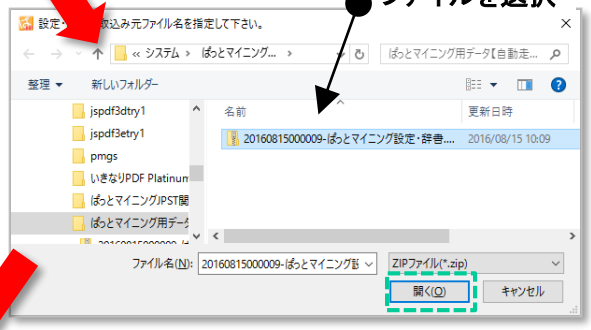
設定・辞書フォルダの書出し・取込み（上書き）（2）

設定・辞書フォルダの取込み

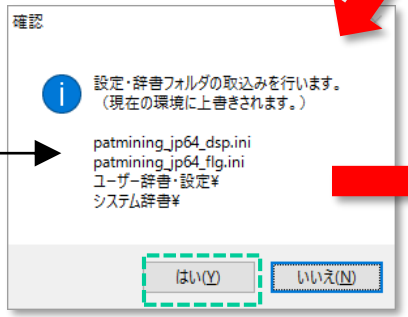




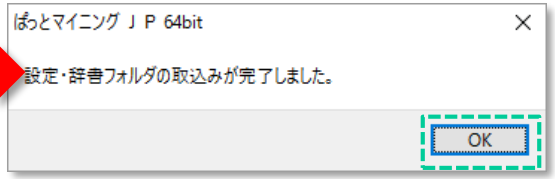
取込み時の保存形式でzipファイルを選択すると、zipファイルの解凍も自動的に行います。



ファイルを選択



設定・辞書フォルダの取込みを行なうと、設定が上書きされます。



ここでの注意ポイント！

■ 設定・辞書フォルダの取込み（上書き）

設定・辞書フォルダの書出しを行ない設定を保存したファイルから、設定を取り込むことができます。

設定・辞書フォルダの取込みを行なうと、設定が上書きされます。

設定・辞書フォルダの取込みより、取込みを実行するファイルの保存形式を選択し、取込みを行ないます。

取込み時の保存形式は（1）zipファイルか（2）フォルダかを選択できます。いずれかを選択し、「OK」を選択します。インポート時の保存形式でzipファイルを選択すると、自動解凍して読み込みます。

取込むファイルまたはフォルダを選択し、「開く」を選択すると、確認の画面が表示されます。設定を上書きしても良い場合、「はい」を選択すると取込みが実行されます。

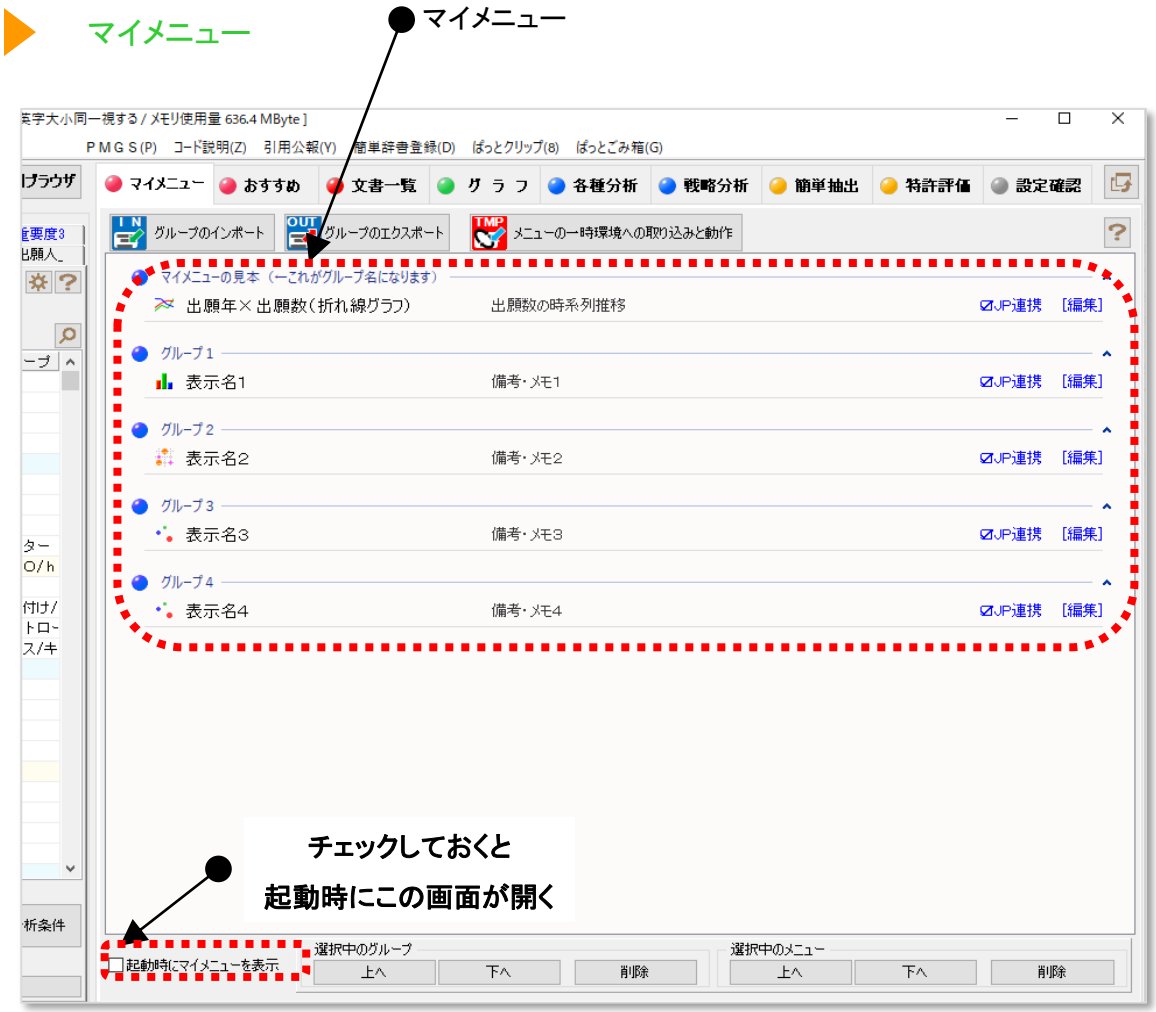
※ 一時環境として取り込まれたデータはすべて、設定・辞書フォルダの取込みを行ないますと消えてしまいます。ご注意ください。

【マイメニュー】

☑ マイメニューの使い方

マイメニューの使い方（1）

マイメニュー



ここでの注意ポイント！

■ マイメニューの活用

登録されている「マイメニュー」の項目をクリックすると、下記のようなことができます。

・同じ条件での分析の再現

・別のデータで、同様の条件でのグラフ作成

・プレゼンへの活用

・業務担当ごとに、よく使う機能のメニューのグループ化

・・・など、多彩に応用できます。

■ マイメニューの整理

各機能はグループ化し、順番を入れ替えることができます。

例えば、「～分野の分析フロー」や「～調査の手順」など、分野／目的ごとにグループ化し、順番を整理しておくことで、同じ作業を同じ手順で繰り返すことができるようになります。

マイメニューの使い方（2）

マイメニューの編集

クリックすると
マイメニュー登録ウィンドウが開く

表示順を入れ替えたり、
グループやメニューを削除できる

※　一時環境として取り込まれたデータはすべて、「ぱっとマイニング・ビューア」を終了すると消えてしまいます。ご注意ください。一時環境としては、エクスポートの時点での辞書の編集結果がご利用いただけます。

ここでの注意ポイント！

■ マイメニューの編集

「マイメニュー」のグループ名やメニューを編集したり、表示順を入れ替えたり、所属するグループを変更したりすることができます。
「編集」をクリックすると「マイメニュー登録ウィンドウ」が開き、メニューのグループ名、表示名、備考・メモを編集することができます。

■ 下部のボタンの活用

「マイメニュー」の下部の各ボタンをクリックすると、グループやメニューの表示順を入れ替えたり、削除することができます。
上記の各作業は、右クリックメニューからも行なうことができます。

■ マイメニューのインポート

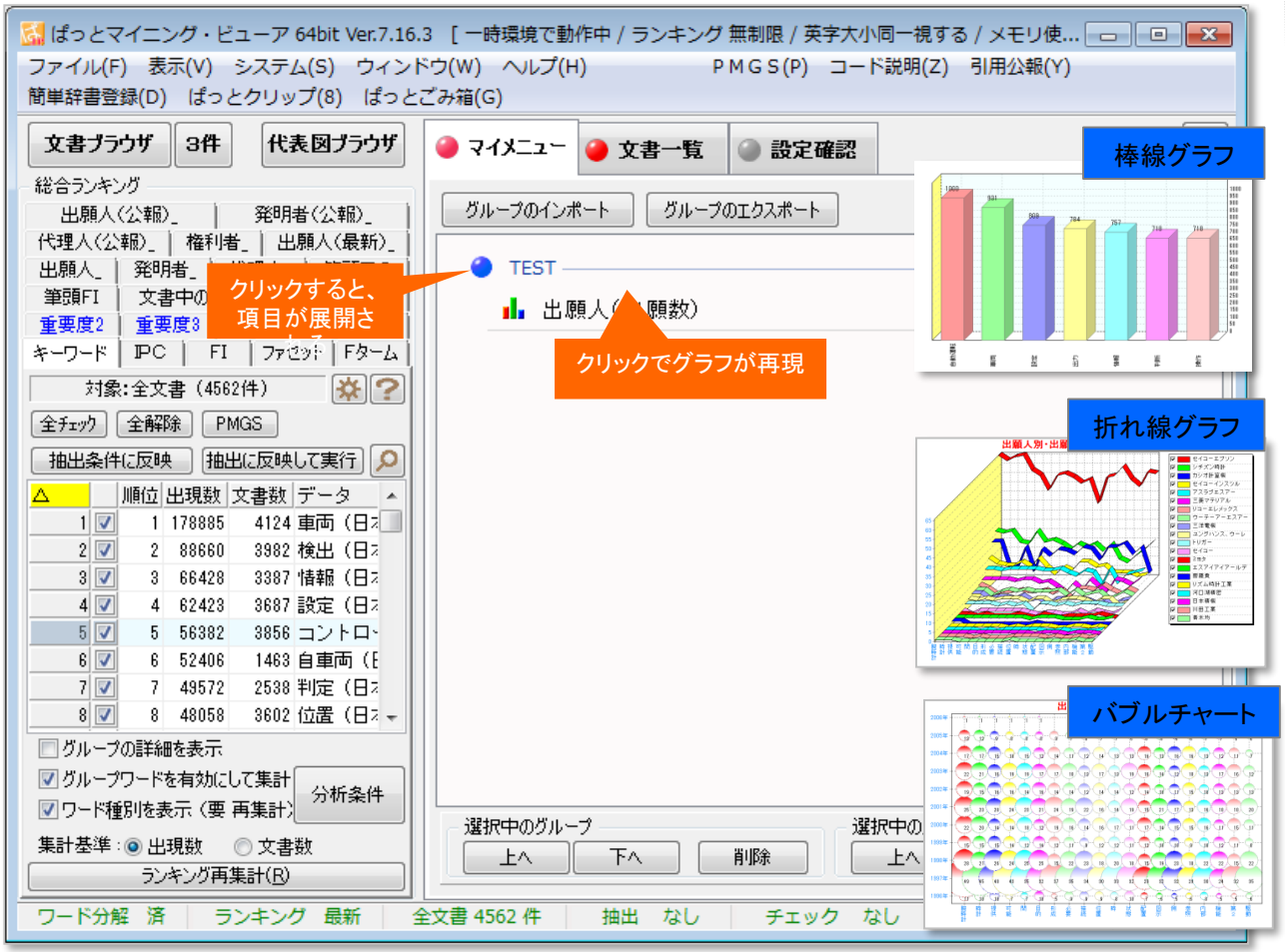
保存されたファイルを、マイメニュー画面上にドラッグ＆ドロップすると、マイメニュー画面にインポートすることができます。グループのインポートボタンからもインポートが可能です。
インポートするファイル形式の選択時には、（1）zipファイルか（2）フォルダかを選択します。zipファイルは圧縮保存されていますが、選択するだけで自動解凍し、そのまま読み込むことができます。

【グラフ作成機能 】

☑ グラフブラウザの紹介

グラフ作成機能1

グラフ作成：軸の選択　マウス操作だけですぐにグラフが再現できる



ここでの注意ポイント！

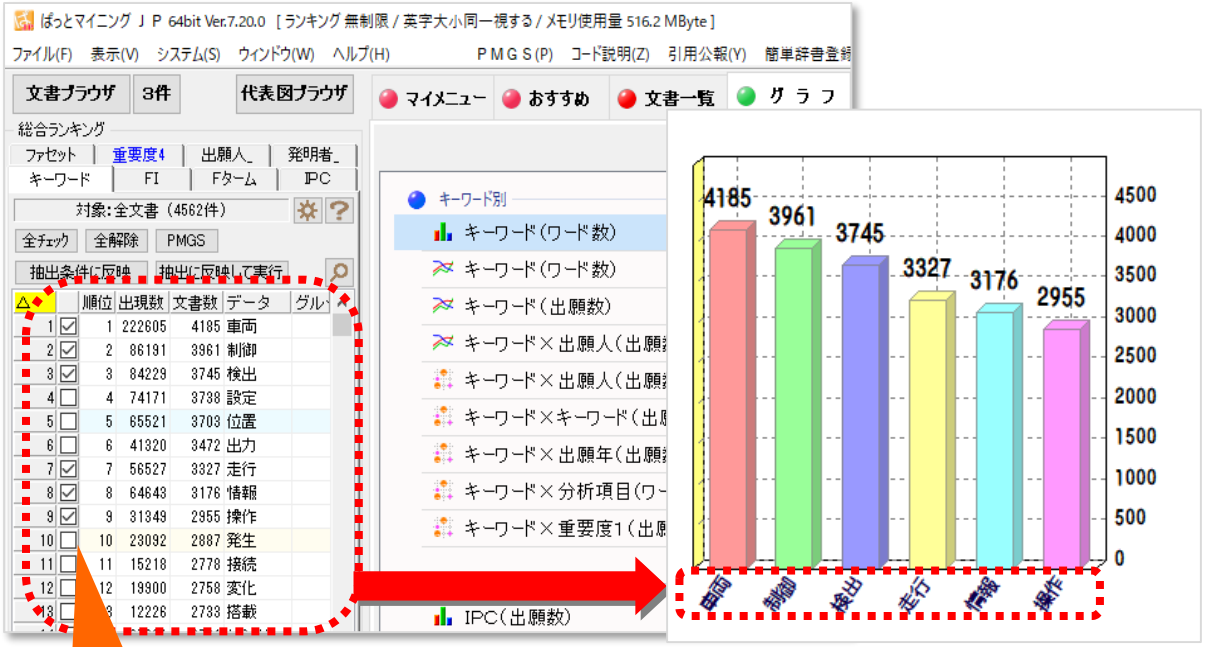
■ グラフの種類

- 棒グラフ･･･棒の長さが量を表します。項目ごとの量を比較する際に便利です。
- 折れ線グラフ･･･量の変化を知るとともに、量の中間値がわかるなどの利点があります。
- バブルチャート･･･縦軸、横軸、円の大きさで、3つの項目の関連性を表すことができます。

※ ワード分解機能を使用していない場合は、キーワードを軸としたグラフの作成ができません。

グラフ作成機能2

グラフ作成：総合ランキングとの連動



総合ランキングでチェックを入れた項目が軸となる

総合ランキングのチェックとグラフの軸が連動する

ここでの注意ポイント！

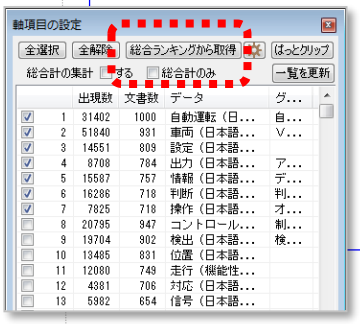
■ 総合ランキングとの連動

『総合ランキング』で、チェックをつけた項目が、グラフの軸となります。
チェックを活用することで、希望のキーワードや出願人等を軸としたグラフが描けます。

※ 『総合ランキング』の表示数（集計順位の上限）は、環境設定で変更することができます。

※ グラフの軸にしたいワードや出願人名などが見つけにくいときは、検索機能をご利用ください。マウスの右クリックメニューからご利用いただけます。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されます。

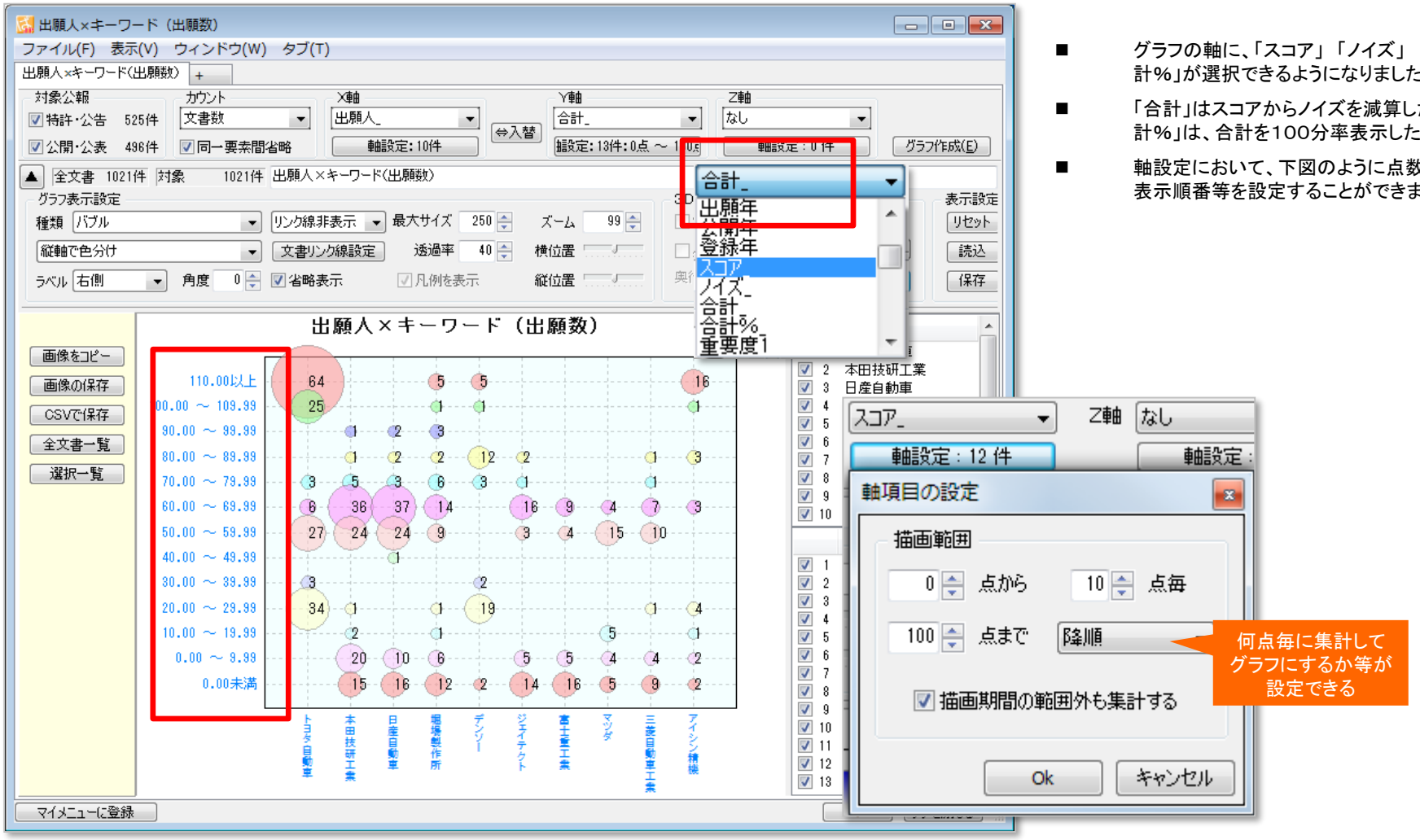


グラフ作成機能3

グラフの軸:「スコア」「ノイズ」「合計」「合計%」

描画する点数範囲も設定できる

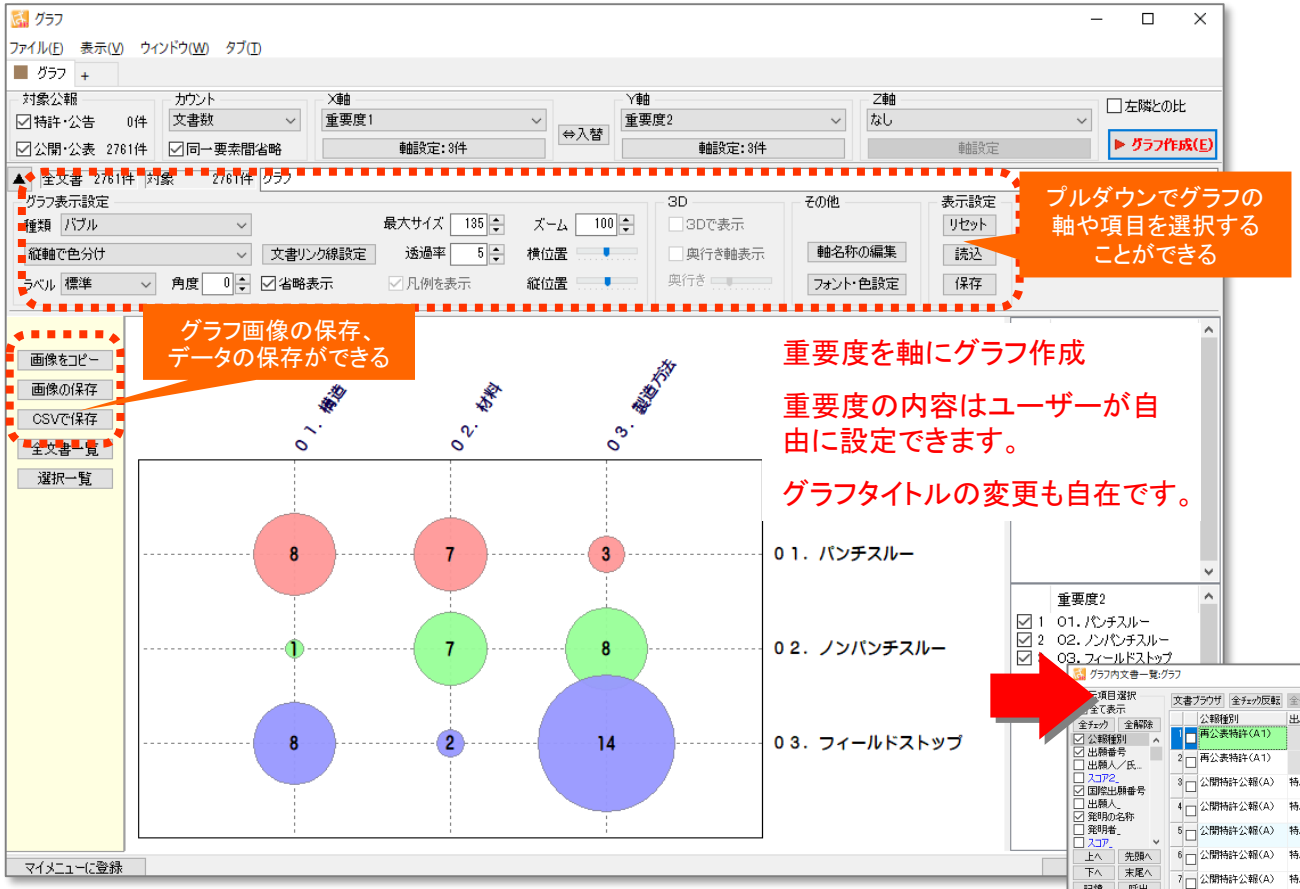
- グラフの軸に、「スコア」「ノイズ」「合計」「合計%」が選択できるようになりました。
- 「合計」はスコアからノイズを減算したもの。「合計%」は、合計を100分率表示したものです。
- 軸設定において、下図のように点数範囲や軸の表示順番等を設定することができます。

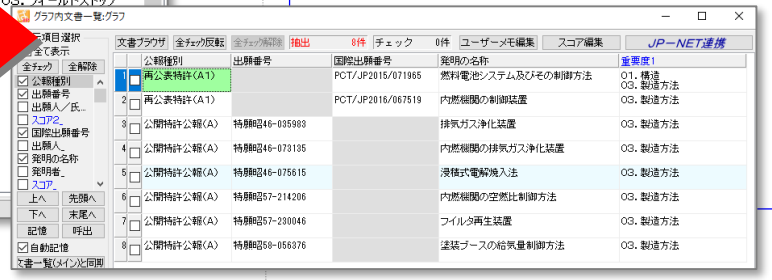


グラフ作成機能4

※「ぱっとマイニング・ビューア」では、
一時的な再現のみが可能

グラフ作成：グラフブラウザでの軸選択





グラフをクリックすると・・・
「グラフ内文書一覧」が表示される

ここでの注意ポイント！

■ グラフブラウザでの軸選択

グラフの種類、集計対象、横軸項目、縦軸項目を、プルダウンで選択することができます。
〔縦横入替〕ボタンをクリックすると、グラフの縦軸項目と横軸項目をワンクリックで入れ替えることができます。

■ グラフ画像の保存

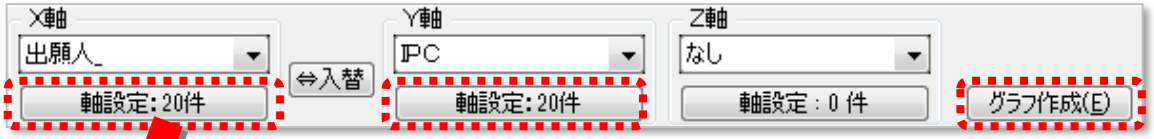
〔画像の保存〕ボタンをクリックすると、グラフ画像を画像ファイルとして保存することができます。.bmp形式での保存となります。
〔グラフ画像をコピー〕ボタンをクリックすると、グラフ画像をクリップボードにコピーします。そのままエクセルに貼り付けるなど、ご活用いただけます。

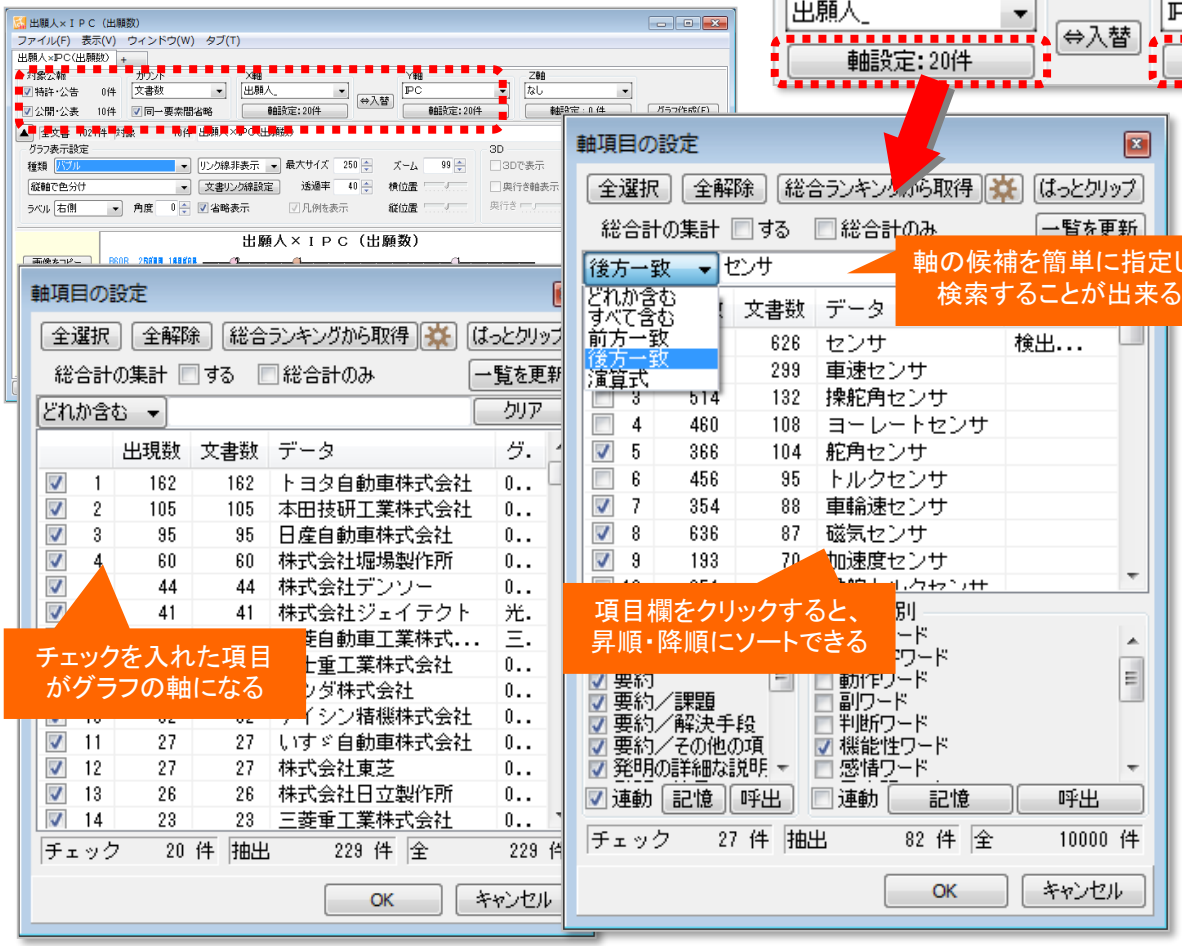
※ 〔CSV形式で保存〕ボタンをクリックすると、グラフ作成のもととなる数値データを、CSV形式で保存することができます。

グラフ作成機能5

グラフ作成：軸項目の詳細変更

グラフの軸設定がその場で変更できる





ここでの注意ポイント！

■ 軸設定ウィンドウ

〔選択〕ボタンをクリックすると、『軸設定』ウィンドウが立ち上がり、チェックボックスで軸項目の詳細を設定することができます。

■ 〔デフォルト〕ボタン

『軸設定』ウィンドウの〔デフォルト〕ボタンをクリックすると、総合ランキングでの選択状態に戻すことができます。

■ 総合計を集計する

選択したワード等の総合計を軸に加えます。

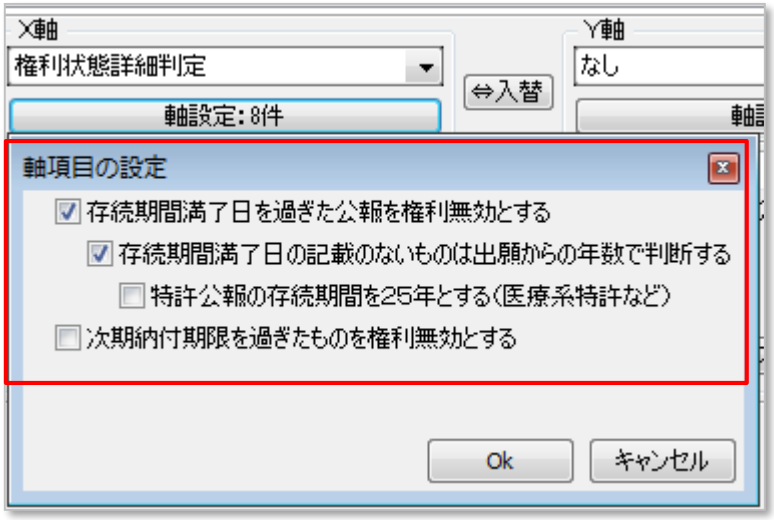
■ 抽出条件の入力枠

入力した文字を持つ候補を絞り込んですばやく設定出来ます。

グラフ作成機能6

グラフの権利状態判定の「軸項目の設定」

存続期間完了日から権利消滅を判定！！



グラフの軸項目に、『権利状態詳細判定』か『権利状態簡易判定』を選択した場合、「軸設定」をクリックすると、左のような「軸項目の設定」画面が表示されます。

■　存続期間満了日を過ぎた公報を権利無効とする
・・・グラフ作成時に、経過情報の「存続期間満了日」を過ぎている場合、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

■　存続期間満了日の記載のないものは出願からの年数で判断する
・・・「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から20年を経過している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

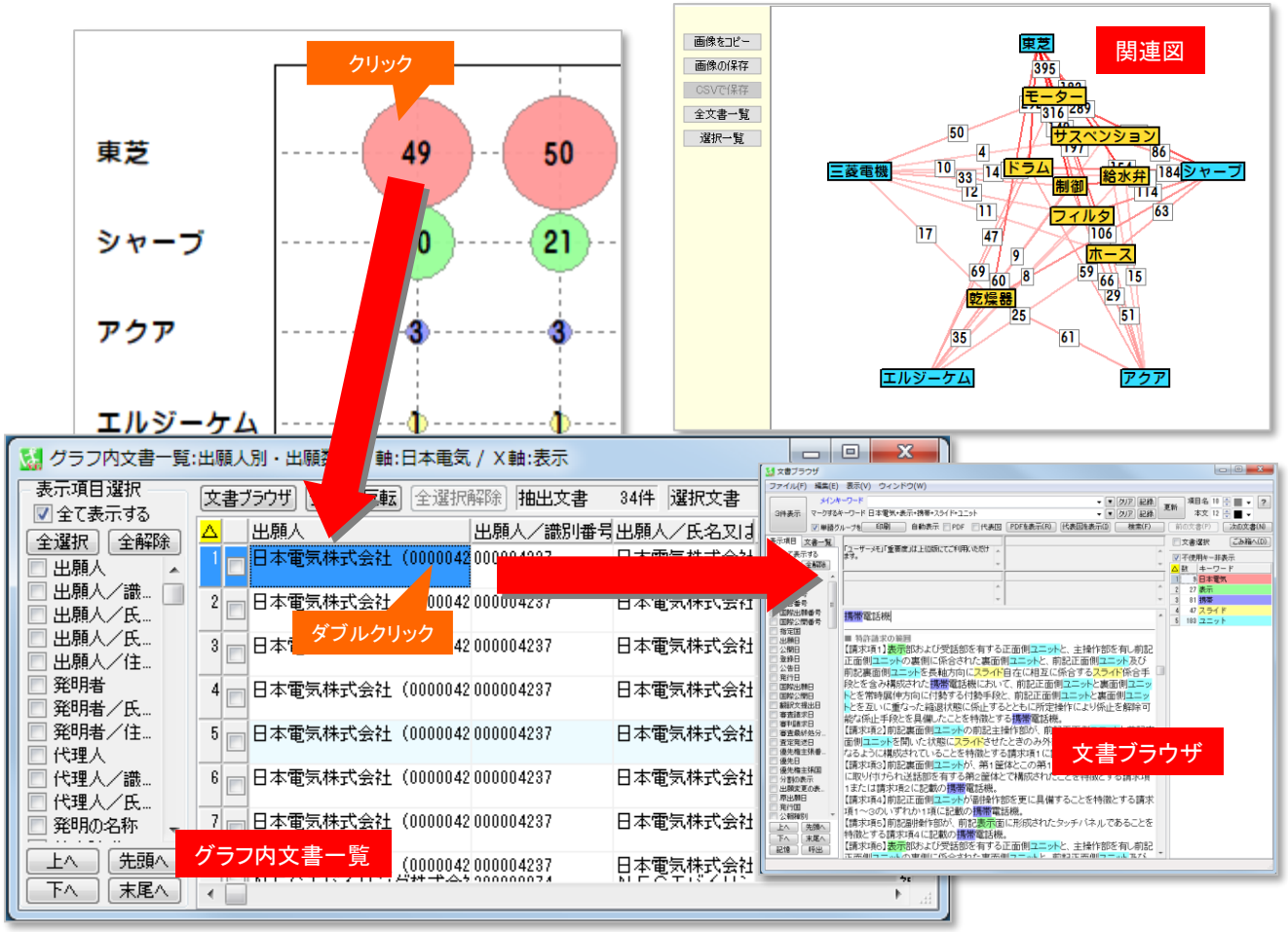
■　特許公報の存続期間を25年とする（医療系特許など）
・・・「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から25年を経過している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

■　次期納付期限を過ぎたものを権利無効とする
・・・グラフ作成時に、経過情報の「次期納付期限」を過ぎている場合、年金不納と判定し、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。
※　経過情報が最新でない場合は、データ取得後に年金が支払われ、権利が抹消されていない場合があるため、注意が必要です。

※　JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。ぱっとマイニングで読み込み可能な形式は、「テキスト形式」と「CSV形式」です。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

グラフ作成機能7

グラフをクリックすると一覧が表示される



ここでの注意ポイント！

■ グラフ内文書一覧を表示

作成したグラフの、X軸とY軸の交点をクリックすると、そこに含まれる文書の一覧が表示されます。

■ 文書ブラウザを表示

グラフ内文書一覧は、横一行がひとつの文書となっています。
気になる文書のセルのどれかをダブルクリックすると、文書ブラウザが立ち上がり、文書の内容を読むことができます。

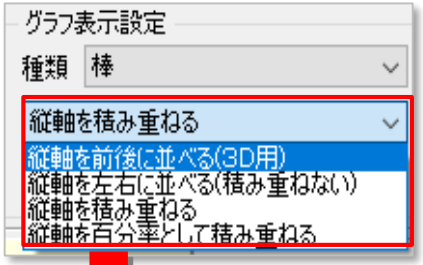
■ 関連図の範囲選択

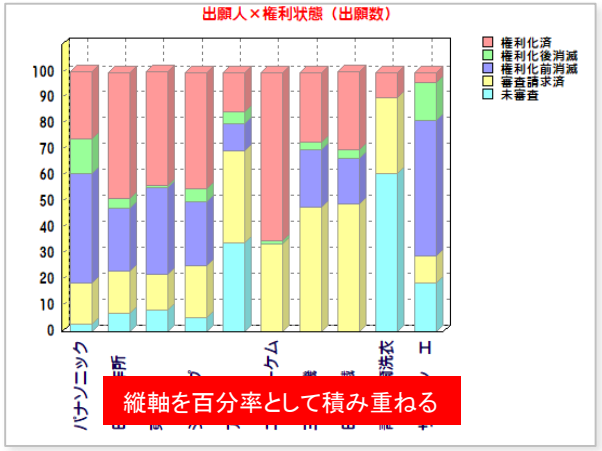
関連図では、マウスでドラッグして範囲を選択し、『選択一覧』ボタンをクリックすると、範囲に含まれるラベルの文書がすべて一覧表示されます。

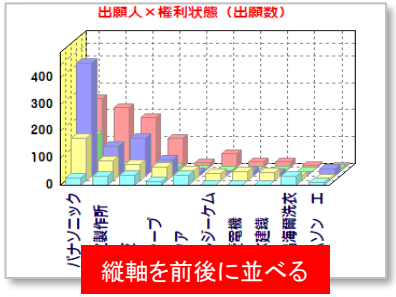
グラフ作成機能8

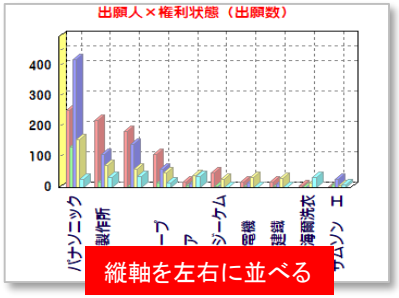
表現方法の変更

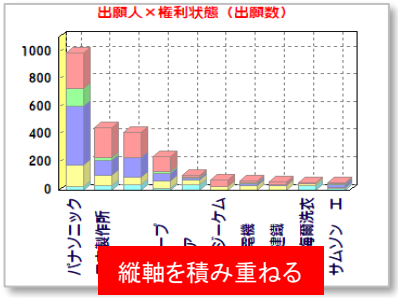
棒グラフで割合を表示











ここでの注意ポイント！

■ グラフ表示設定の変更

グラフの種類で、『棒グラフ』『バブル』『バブル3D』『複数_棒』『複数_バブル』を選択すると、縦軸の並べ方やバブルの色分けなどを選択する、プルダウンが表示されます。

■ 百分率の活用

「縦軸を百分率として積み重ねる」を選択すると、横軸に対する縦軸項目が、文書数ではなく比率（%）で表現されます。
左図のように、出願人別の権利状態など、割合を対比させたい場合に効果的です。

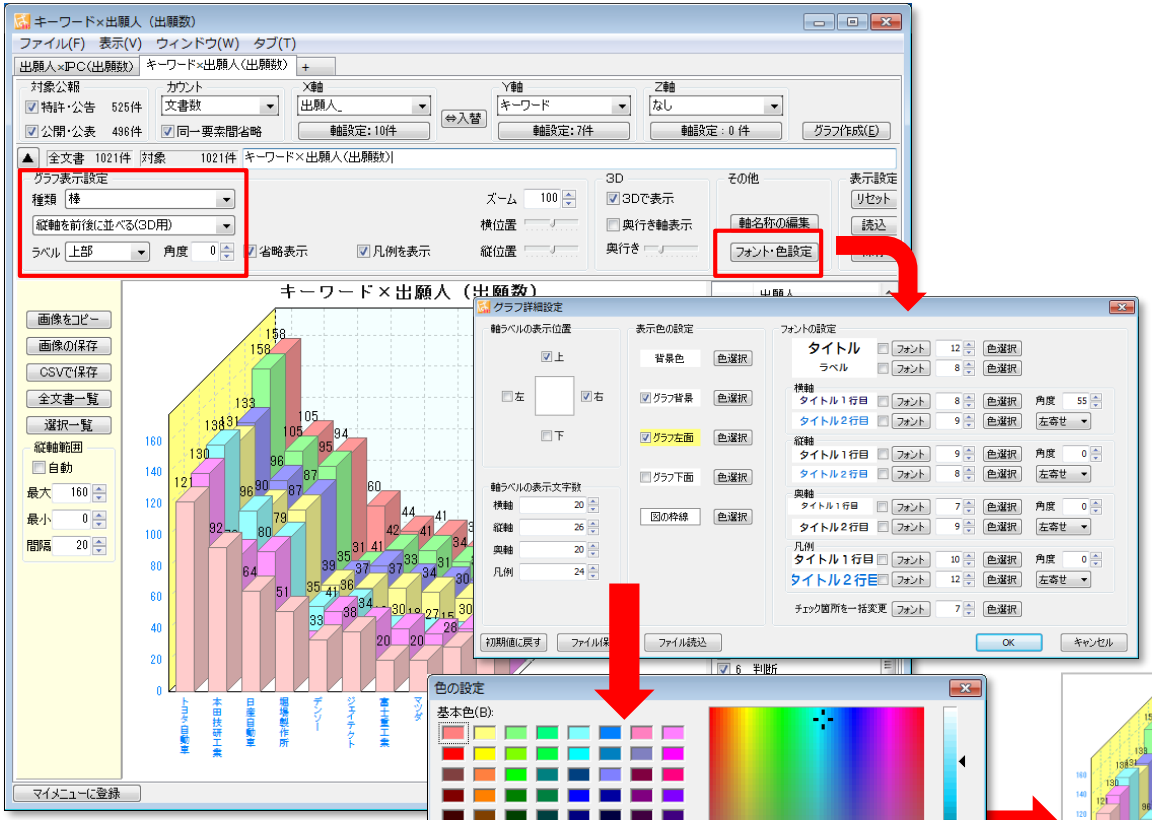
■ 3D設定

3Dの「3Dで表示」をチェックすると、3D表示に、チェックを外すと、平面表示になります。「奥行き軸表示」のチェックをいれると奥行きの軸が表示されます。奥行きのスライダーを動かすと奥行き幅を設定できます。

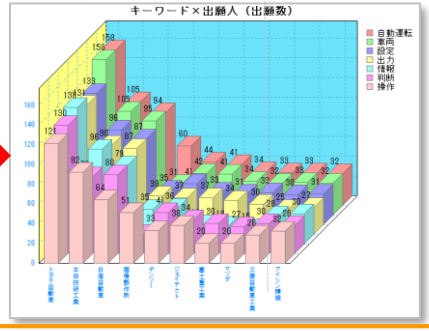
グラフ作成機能9

グラフ作成：背景色の変更

グラフの背景色が変更できる！！



グラフ内ラベルの書体・文字サイズ、表示角度、表示／非表示が選択できる



ここでの注意ポイント！

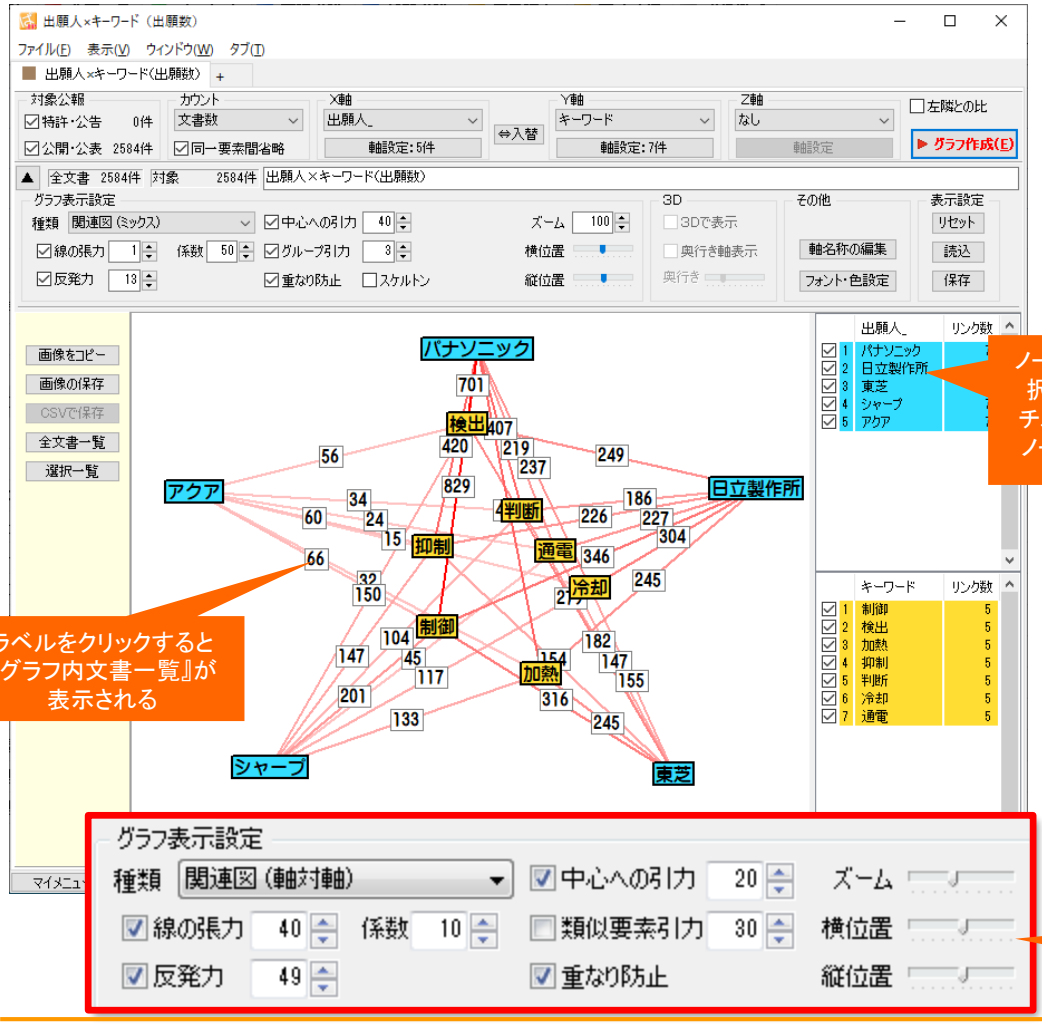
■ フォント・背景色の選択

〔フォント・色選択〕ボタンをクリックすると、グラフ表示設定ウィンドウが立ち上がります。色を選択して「OK」をクリックすると、背景色が適用されます。
チェックを外すと、色の適用が外されます。

「フォントの設定」・・・フォント、スタイル、文字サイズ、文字飾りが設定できます。ラベルと、縦軸と横軸の項目名は、表示角度が設定できます。
「ラベルを表示」のチェックをはずすと、グラフ内ラベルが非表示になります。
「凡例を表示」のチェックをはずすと、凡例が非表示となります。
「初期値に戻す」・・・表示色の設定、フォントの設定を初期状態に戻します。
「ファイル保存」「ファイル読込」・・・ファイルにグラフ詳細設定の設定を保存することや、読込を行なうことができます。

グラフ作成機能10

グラフ作成：関連図



ここでの注意ポイント！

■ 関連図

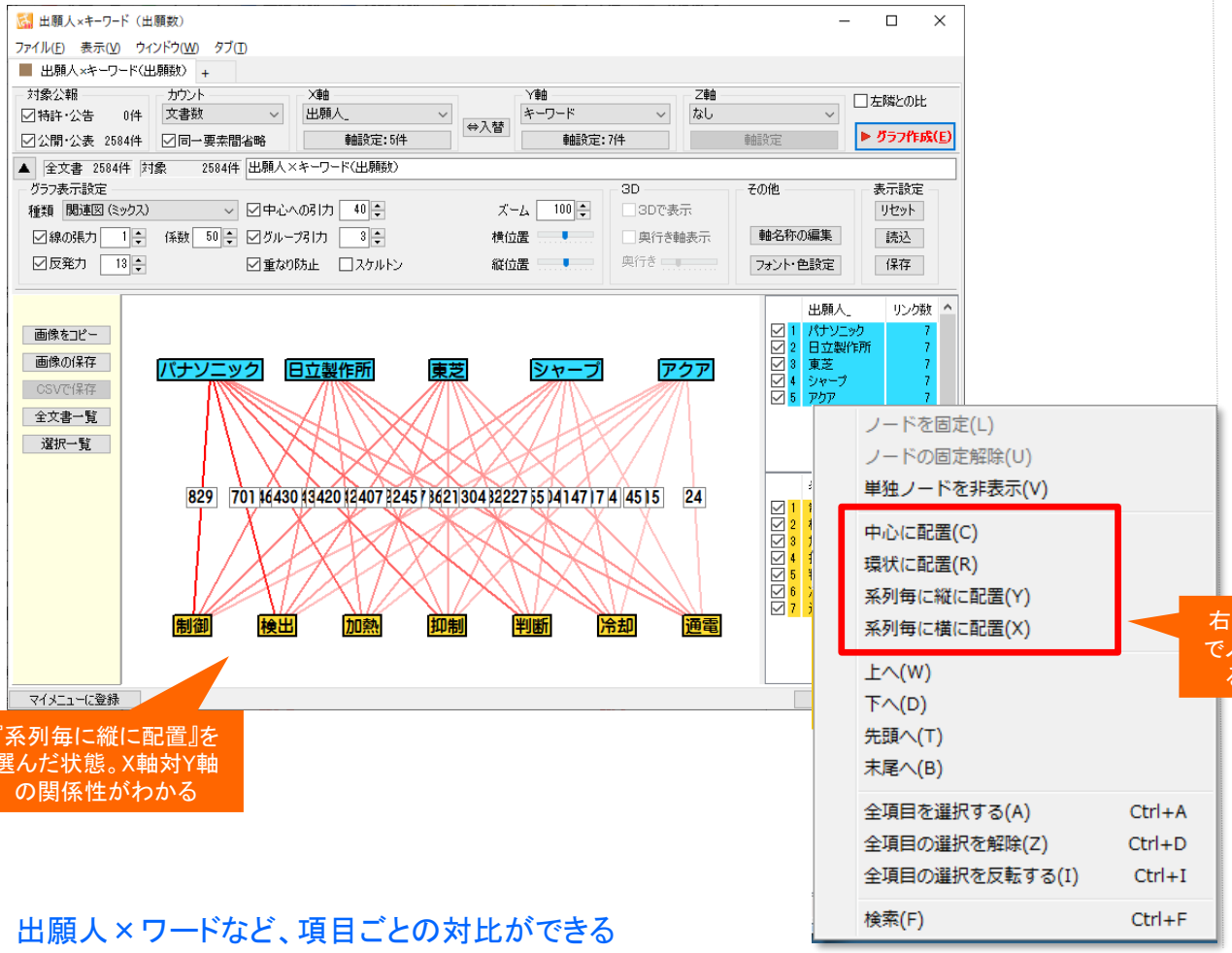
「中心への引力」・・・各ノードを画面の中心部に引き寄せる強さです。

「類似要素引力」・・・類似するコードなどを近くに集めることができます。
「線の張力」・・・関連線でつながれたノード同士を近づけようとする力です。
「係数」・・・件数×係数を「線の張力」に合算します。件数の多い、つまり関連度合いの強いノードを近くに寄せることができます。
「重なり防止」・・・チェックを入れておくと、ノードが重なりあって表示されることを防止します。
「反発力」・・・ノード間の反発力です。数値が大きいほど、ノード同士が離れようとします。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能11

グラフ作成：関連図(コンビ)



『系列毎に縦に配置』を選んだ状態。X軸対Y軸の関係性がわかる

右クリックメニューでノードを整列させることができる

出願人×ワードなど、項目ごとの対比ができる

ここでの注意ポイント！

■ 関連図(コンビ)

関連図(コンビ)は、X軸に選んだ項目と、Y軸に選んだ項目を対比して、要素間のつながりをビジュアル化することができます。

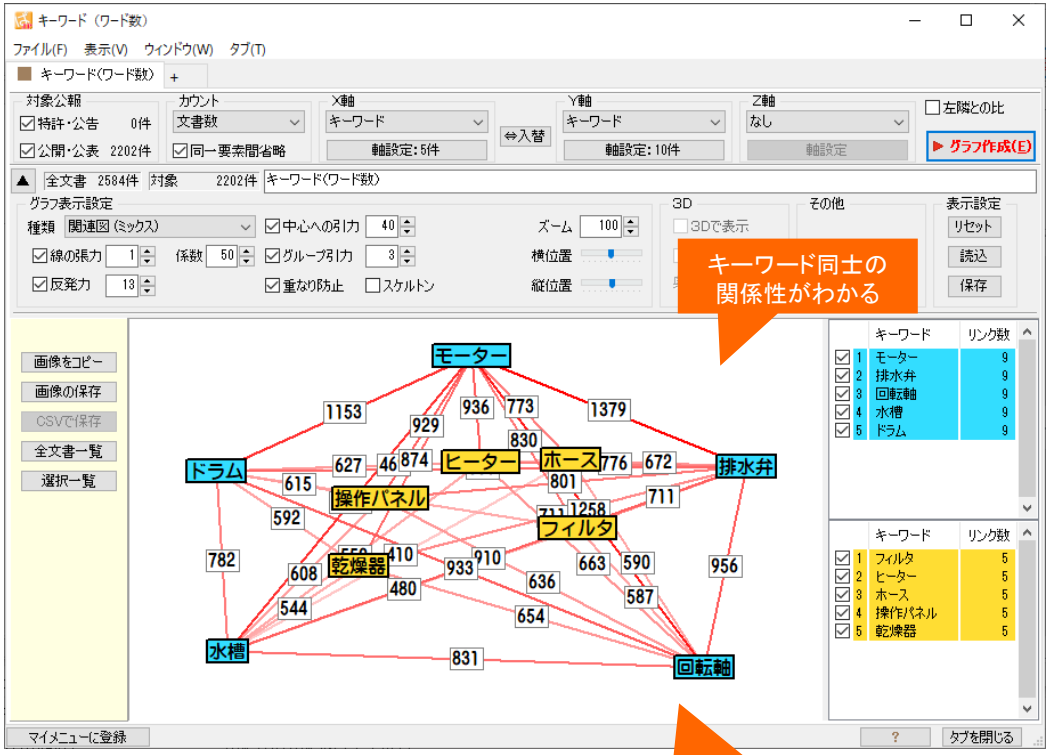
Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能12

グラフ作成：関連図(ミックス)



キーワード同士の関係性がわかる

関連図（ミックス）は、X軸とY軸で同じ項目を選んだ場合省略されます

キーワード×キーワードなど、同一項目内でのつながりをビジュアル化

ここでの注意ポイント！

■ 関連図（ミックス）

関連図（ミックス）は、X軸とY軸に同じ項目の異なる要素を選択することを前提にしています。
たとえばX軸とY軸で、それぞれ異なるキーワードを選択し、X軸のキーワード群と、Y軸のキーワード群の関連性を浮き彫りにすることができます。

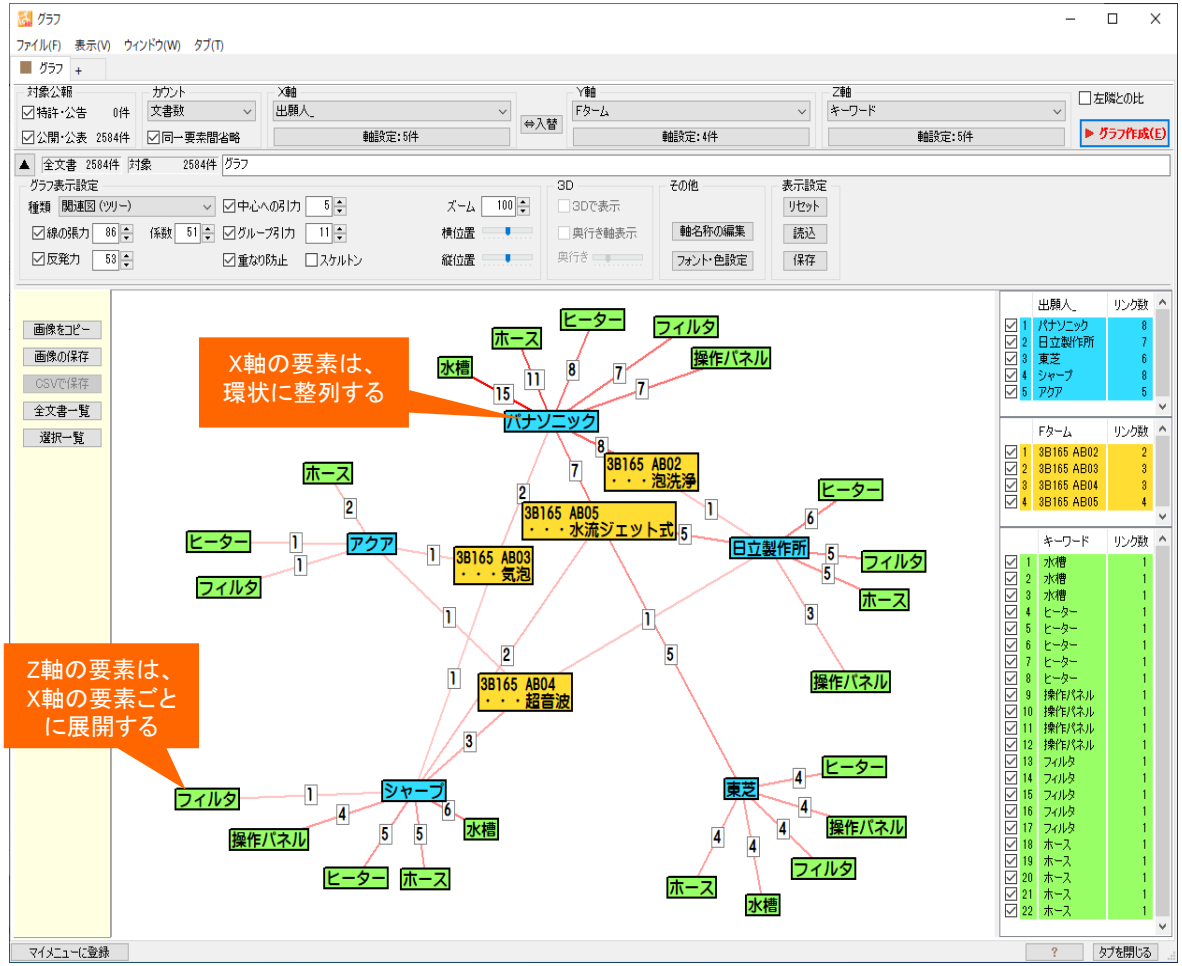
X軸とY軸に同じ要素（たとえば同じ単語）を選択した場合は、要素の重複を防ぐため、X軸の要素だけを残して整合性を図ります。
Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能13

グラフ作成：関連図(ツリー)



ここでの注意ポイント！

■ 関連図(ツリー)

関連図(ツリー)は、X軸に選んだ要素を環状に整列させ、その内側にY軸の要素を、外側にZ軸の要素を展開します。

Z軸の要素は、X軸の要素ごとに展開します。

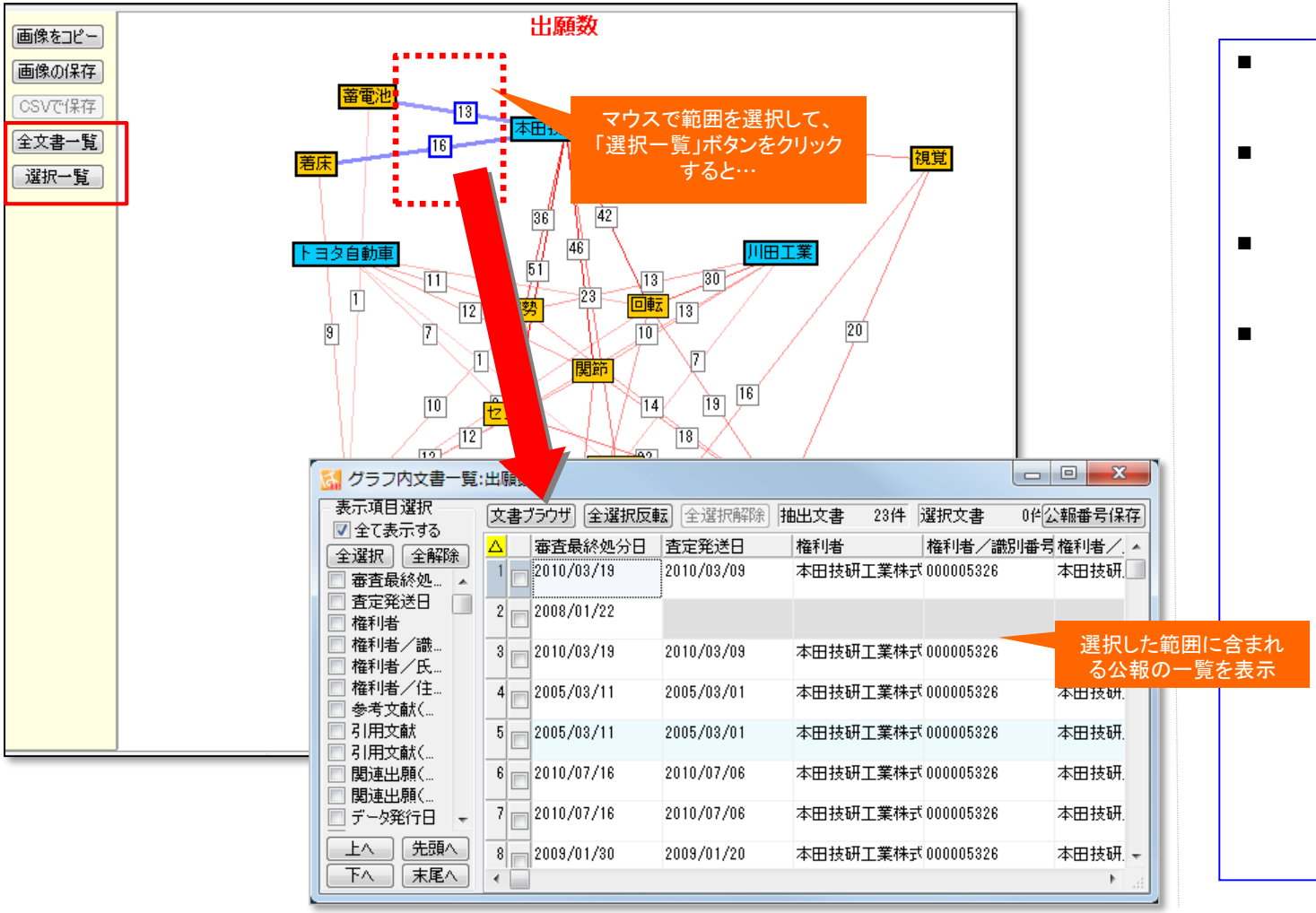
たとえば出願人をX軸とし、Y軸に技術分野を示す分類コード、Z軸に課題に関するキーワードを選択すると、当該分野における企業ごとの開発・出願傾向を簡単にビジュアル化することができます。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

内側と外側の要素が、X軸の特徴を浮き彫りにする！

グラフ作成機能14

選択範囲に含まれる文書だけを抽出できる――関連図



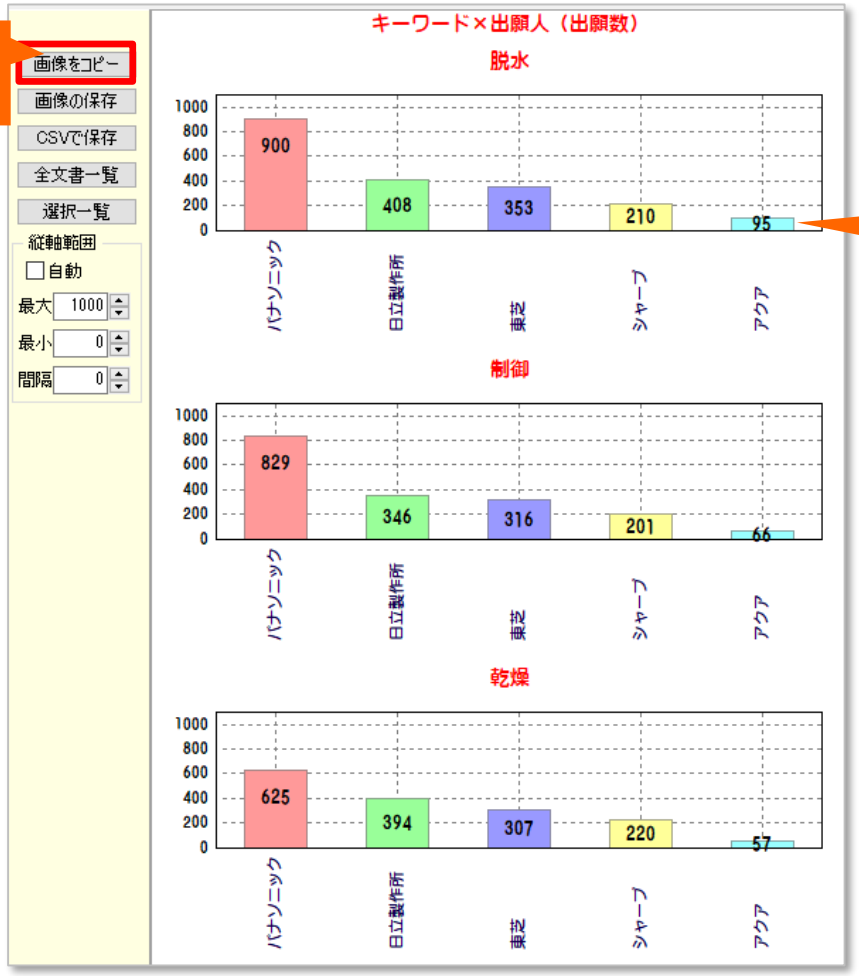
範囲選択した文書が一覧表示できるようになりました！

- 「関連図」で気になる範囲をマウスで選択すると、その範囲に含まれるラベルに対応した公報が一覧表示できます。
- グラフ画面左の「全文書一覧」ボタンをクリックすると、グラフ内に含まれるすべての公報の一覧が表示されます。
- 「選択一覧」ボタンをクリックすると、選択した範囲に含まれる公報の一覧が表示されます。
- 右クリックメニューにも、「選択した文書一覧」を追加しました。

グラフ作成機能15

グラフ作成：複数グラフ

それぞれのグラフの画像やデータをまとめて保存できる



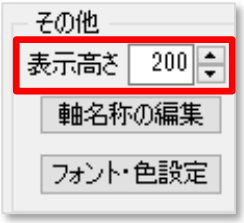
「表示高さ」を調節すると見比べやすくなる

ここでの注意ポイント！

■ 複数グラフ

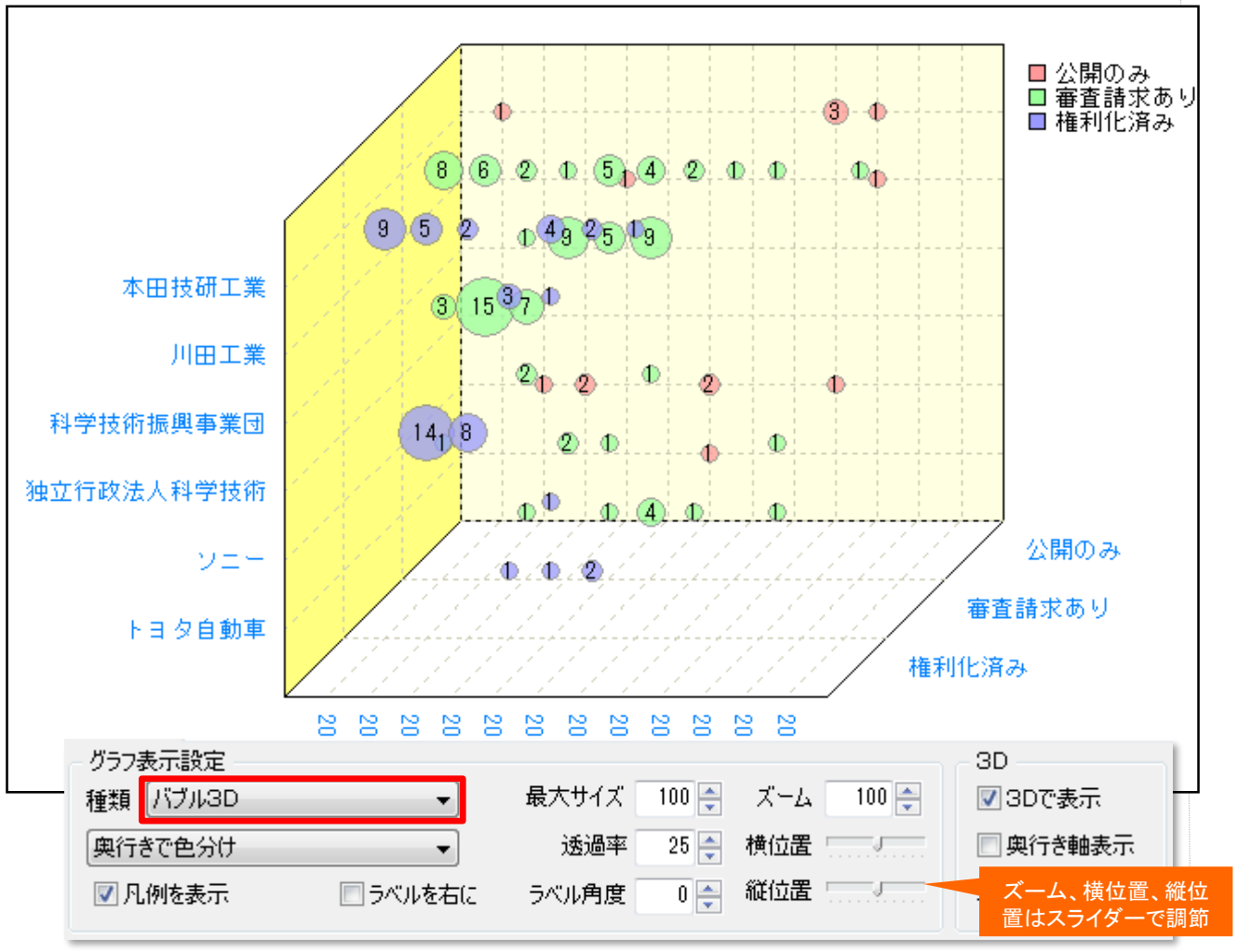
グラフの種類で 、
「複数_棒」
「複数_折線」
「複数_バブル」
「複数_データ表」
が選択できます。

複数のグラフを縦に並べ、比較しやすく表示します。



グラフ作成機能16

グラフ作成：3Dバブル



ここでの注意ポイント！

■ 3Dバブル

左の図の、「キーワード」×「項目」×「コード」×「文書数」のように、タテ×ヨコ×奥行×数量の4つの軸でグラフが作成できます。
戦略分析で「3Dバブル」が選択できるのは、
「競合出願時系列分析」、
「項目／キーワード分析」 です。
グラフブラウザからは、いつでも「3Dバブル」が選択できます。

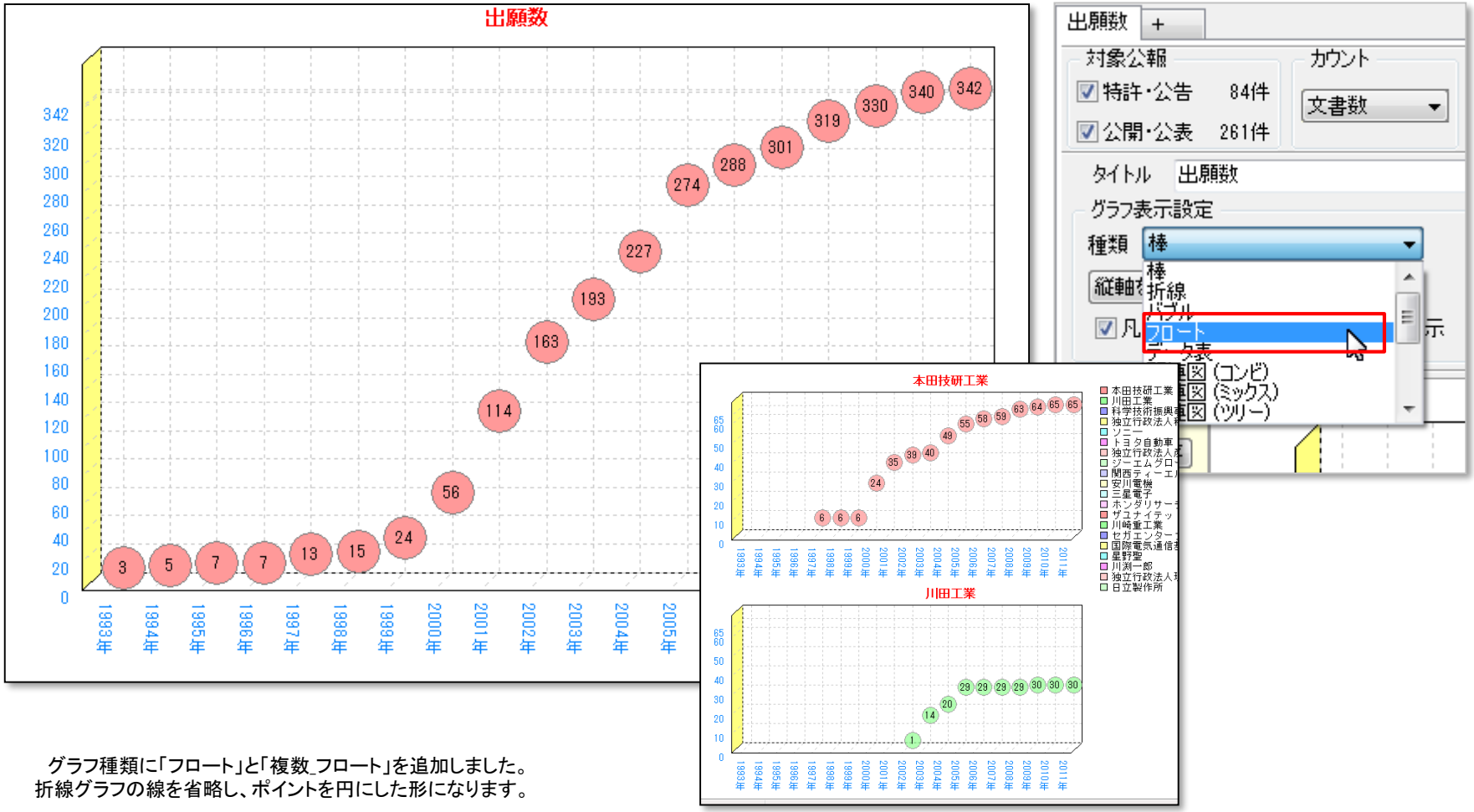
Shiftキーを押しながらマウス操作をすると、「回転」「仰角」のスライダと同じ操作が行えます。

Ctrlキーを押しながらマウス操作をすると、、「ズーム」「奥行き」のスライダと同じ操作が行えます。

グラフ作成機能17

グラフ作成：フロート

作成したグラフを消さないまま、新しいグラフを作成。
「条件の異なる複数のグラフ」を比較する！

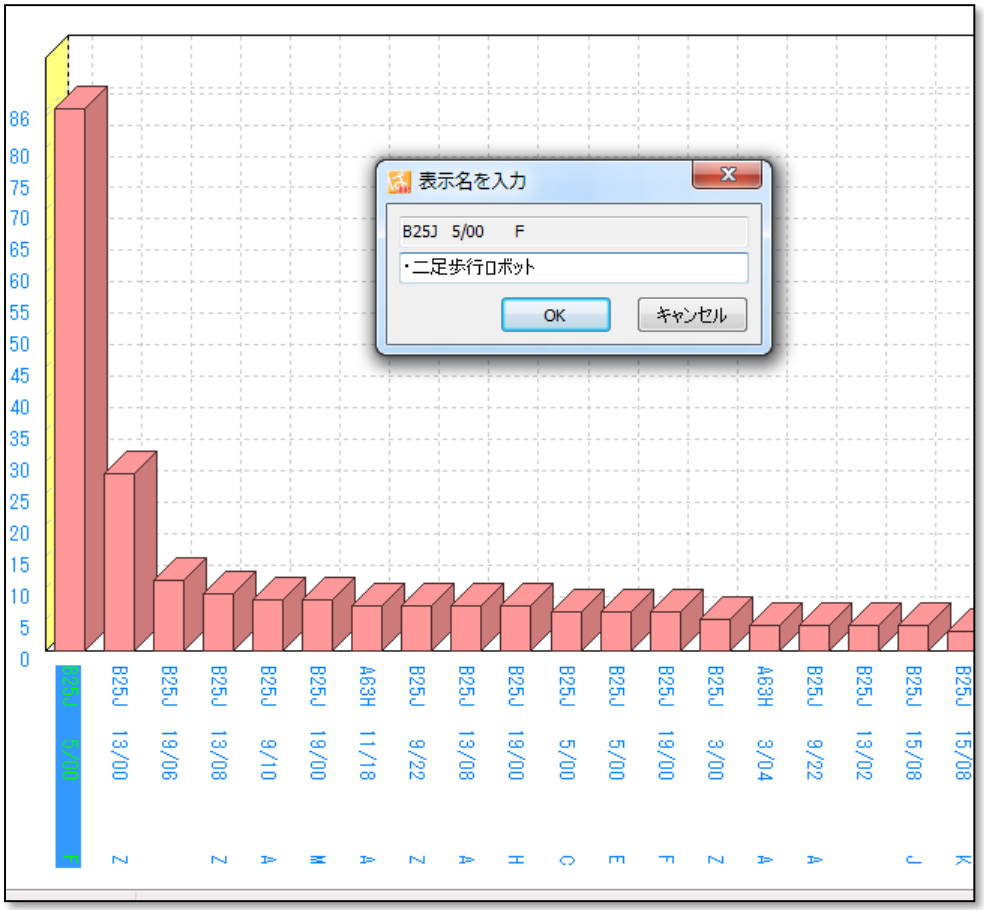


グラフ種類に「フロート」と「複数_フロート」を追加しました。
折線グラフの線を省略し、ポイントを円にした形になります。

グラフ作成機能18

軸項目の名称編集

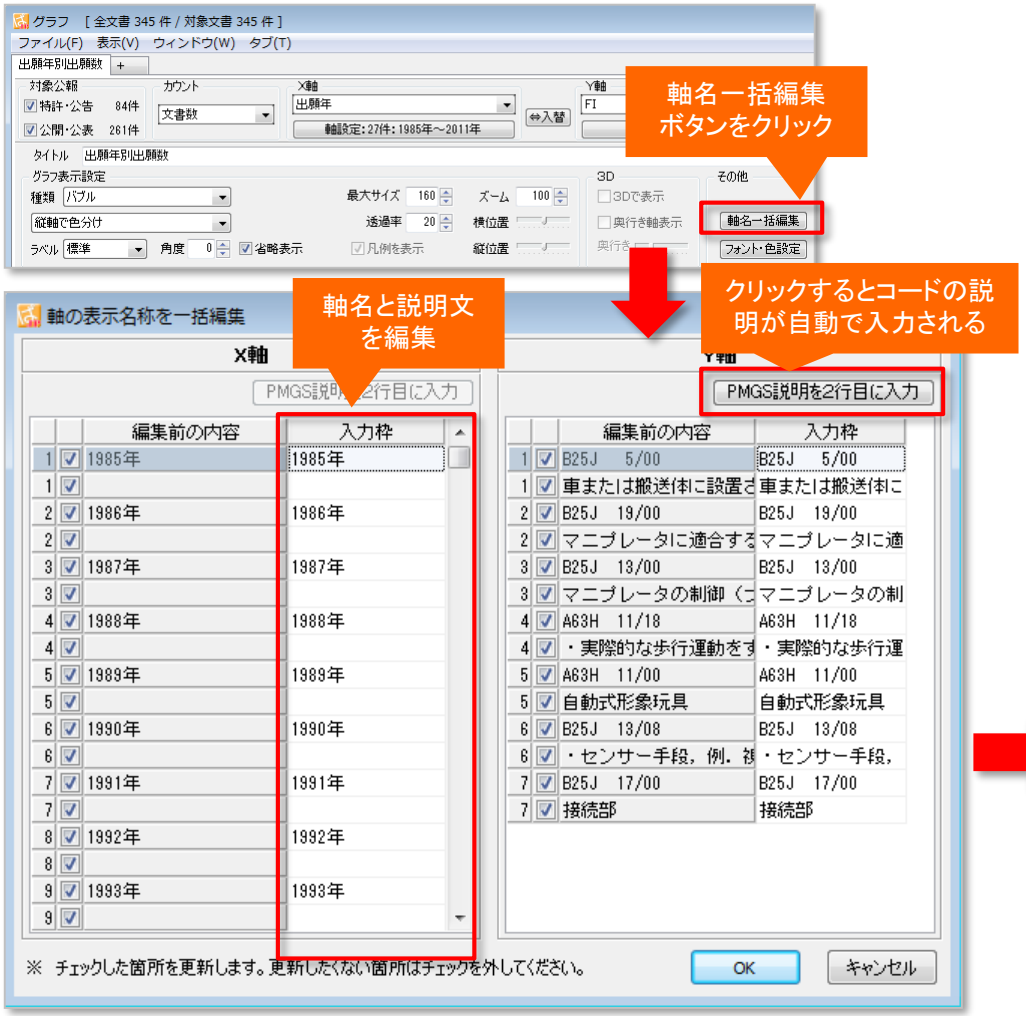
グラフの軸項目を好きな表記に変更できる！



グラフの軸項目の編集機能が追加されました。
項目名上で右クリックして、「名称編集」をクリックします。

グラフ作成機能19

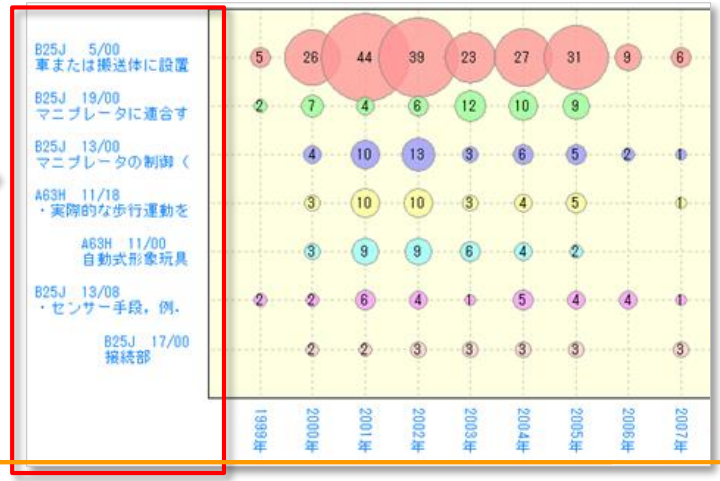
グラフの軸名を一括編集できる！！



グラフの軸に説明を記載可能

- グラフブラウザの「軸名一括編集」ボタンをクリックすると、「軸の表示名を一括編集」ウィンドウが表示され、軸名を編集することができます。
- また、2行目に説明を追記することができます。
- 分類コード（FI、Fターム、ファセット、IPC、CPC）を軸にしたグラフの場合は、「PMGS説明を2行目に入力」ボタンをクリックすると、コードの説明が入力されます。
- キーワードを軸にしたグラフの場合は、グループワード辞書で　設定したグループワードが、入力されます。
- 出願人・代理人・発明者のいずれかの項目を軸にしたグラフの場合は、名称グループ辞書で設定したメンバーが、入力されます。
- 関連図でもご利用いただけます。

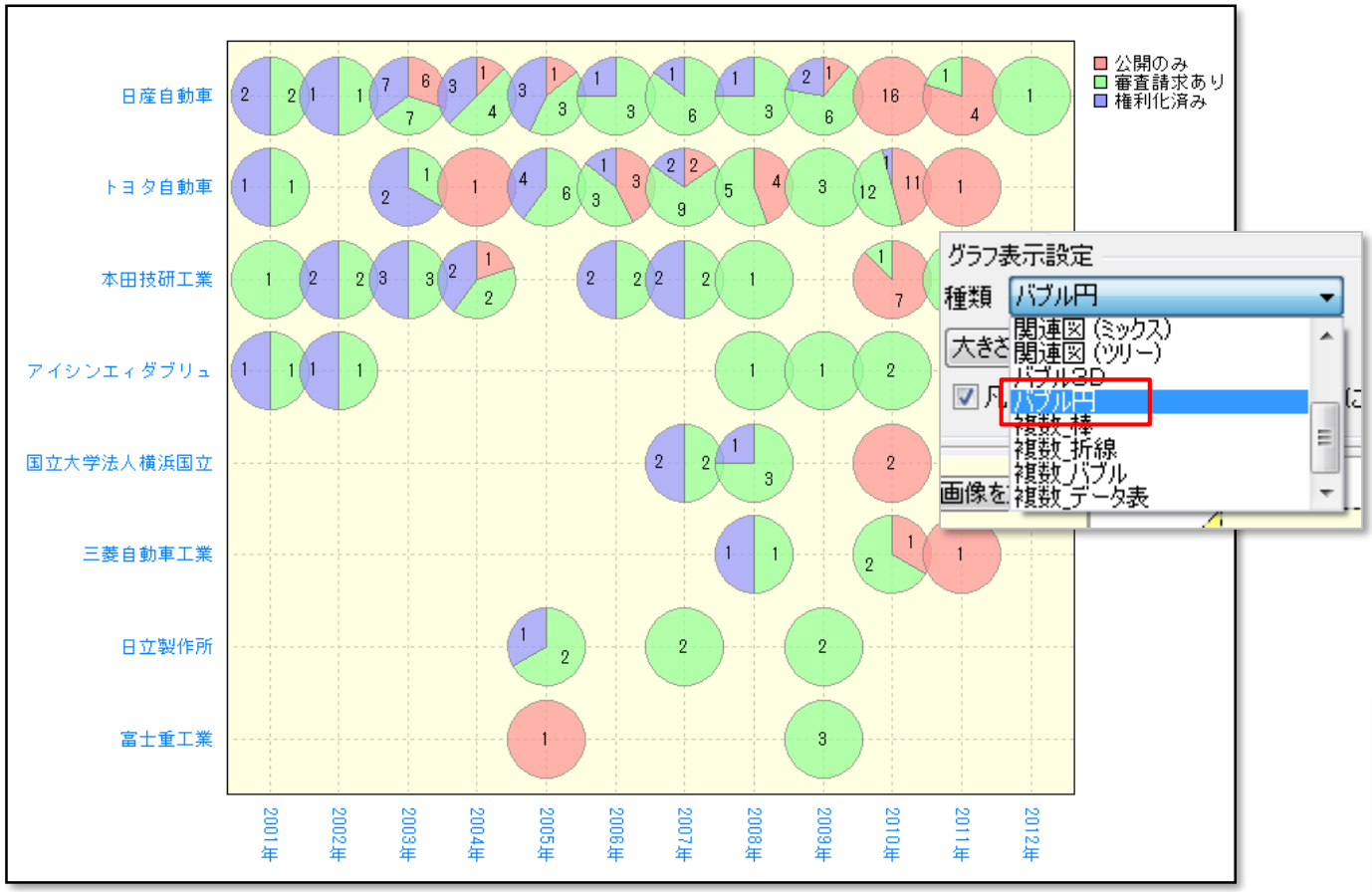
※　「軸名の字数」は、最大99文字まで設定できます。

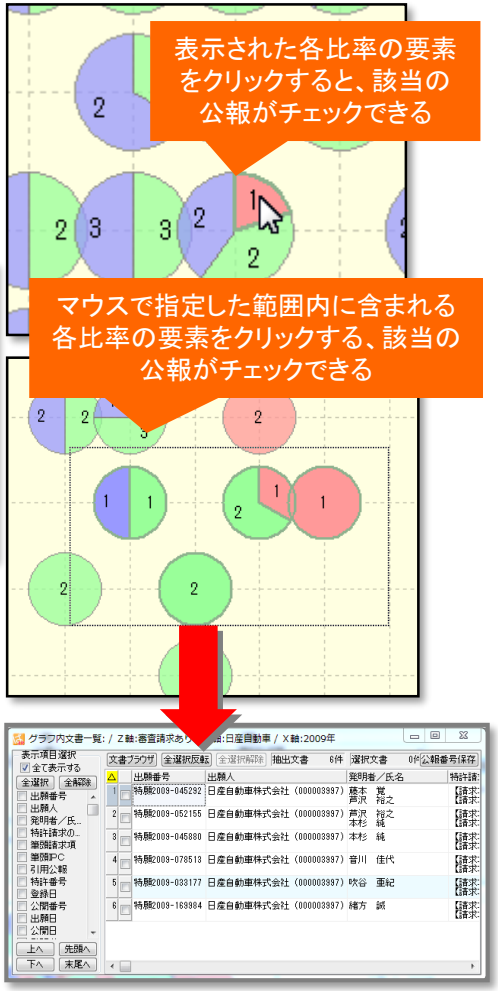


グラフ作成機能20

グラフ作成：バブル円

バブルチャート内に割合グラフが作成可能。

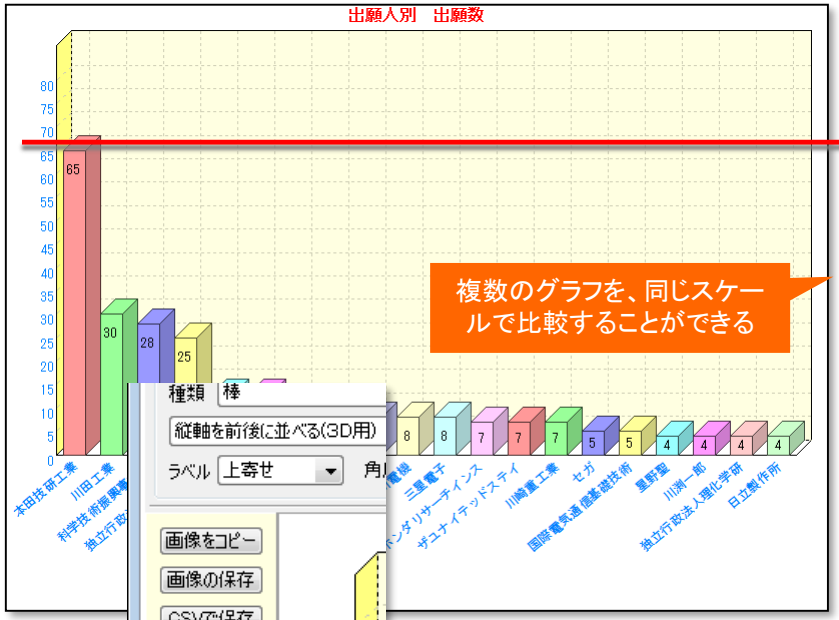




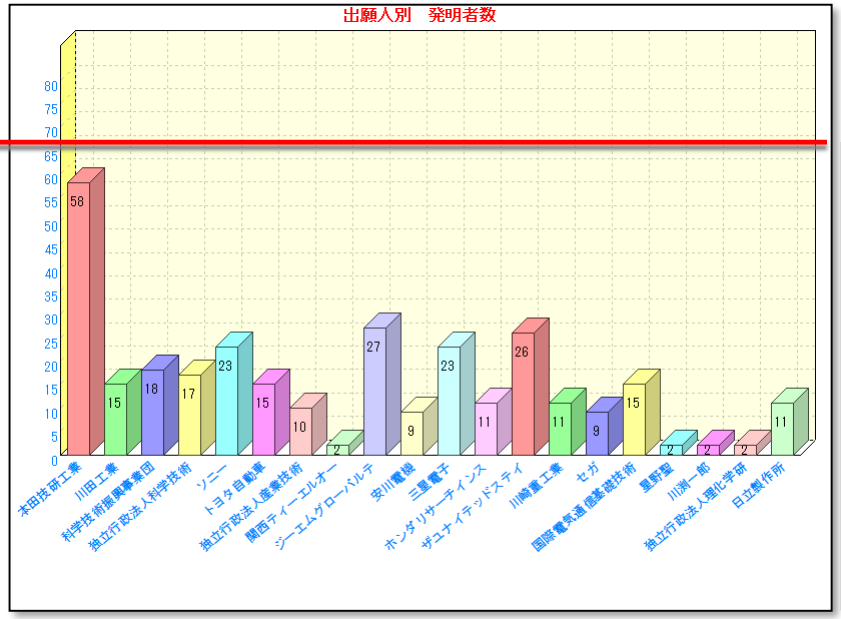
グラフ種類に「バブル円」を設け、バブルチャート内の各バブルに、Z軸で設定した項目データに基づく 円比率グラフを表示します。
バブルの大きさは「大きさを一定」「大きさを可変」の2種が選択できます。

グラフ作成機能21

グラフのスケールを任意に調整できる！！



複数のグラフを比較するときに、スケールを揃えることができる！



範囲の設定は以下のグラフの 縦軸 で使用可能です。

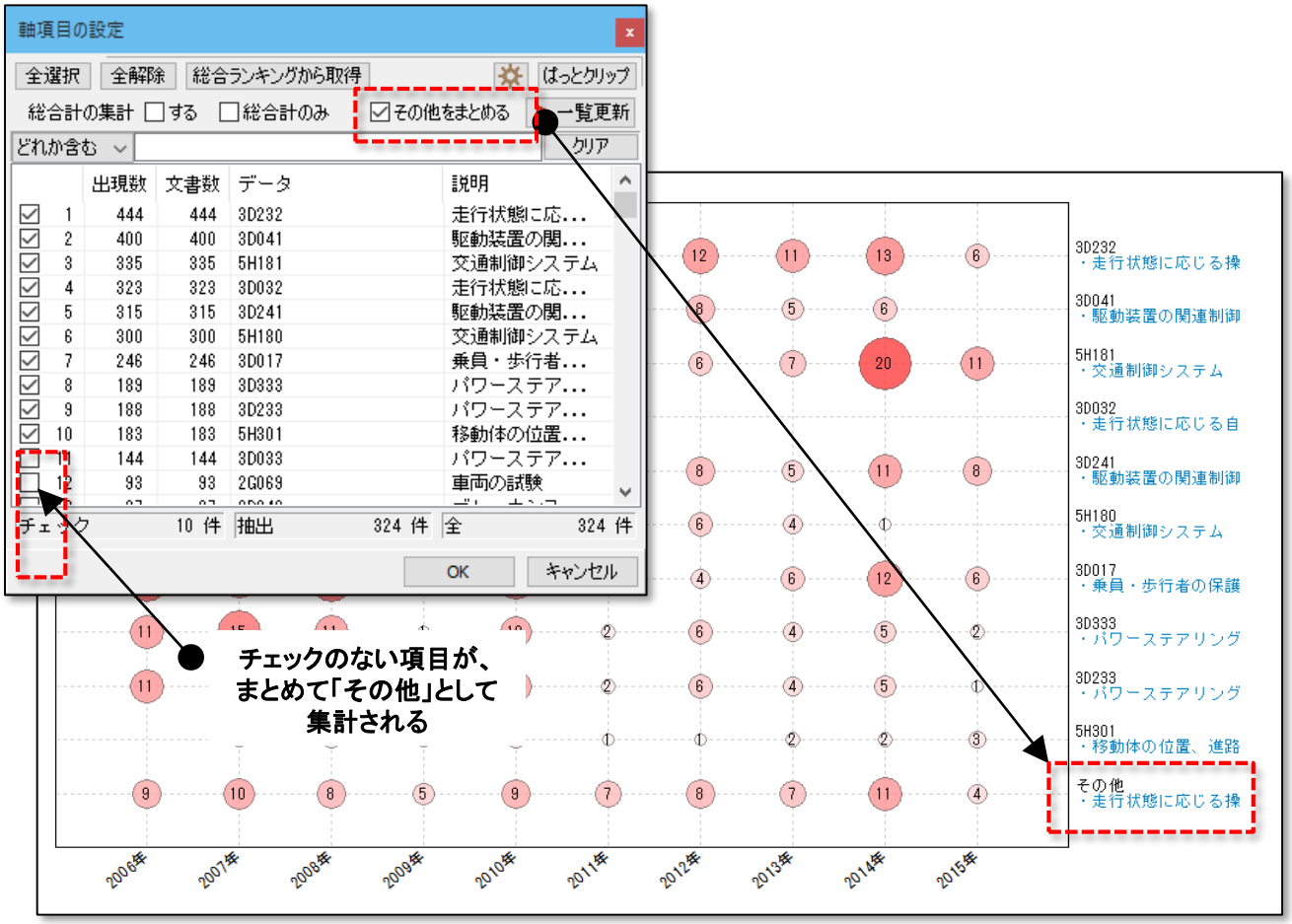
- 「棒グラフ」
- 「折れ線グラフ」
- 「フロート」
- 「複数_棒」
- 「複数_折線」
- 「複数_フロート」

- 数値軸をもつグラフでは、縦軸に表示する範囲を手動で設定できるようになりました。
- 複数のグラフを作成した時、同じスケールでグラフを比較することができます。
- デフォルトでは、「自動」にチェックが入っています。最大、最小の値を変更すると、「自動」のチェックがはずれ、 任意のスケールに変更することができます。
- グラフごと(タブごと)にスケールを変更することができます。グラフを閉じる(タブを閉じる)と、設定は消え、 新しいグラフを作成する際には、「自動」にチェックが入ります。

グラフ作成機能22

その他をまとめる機能

チェックを付けていない項目を「その他」として合算

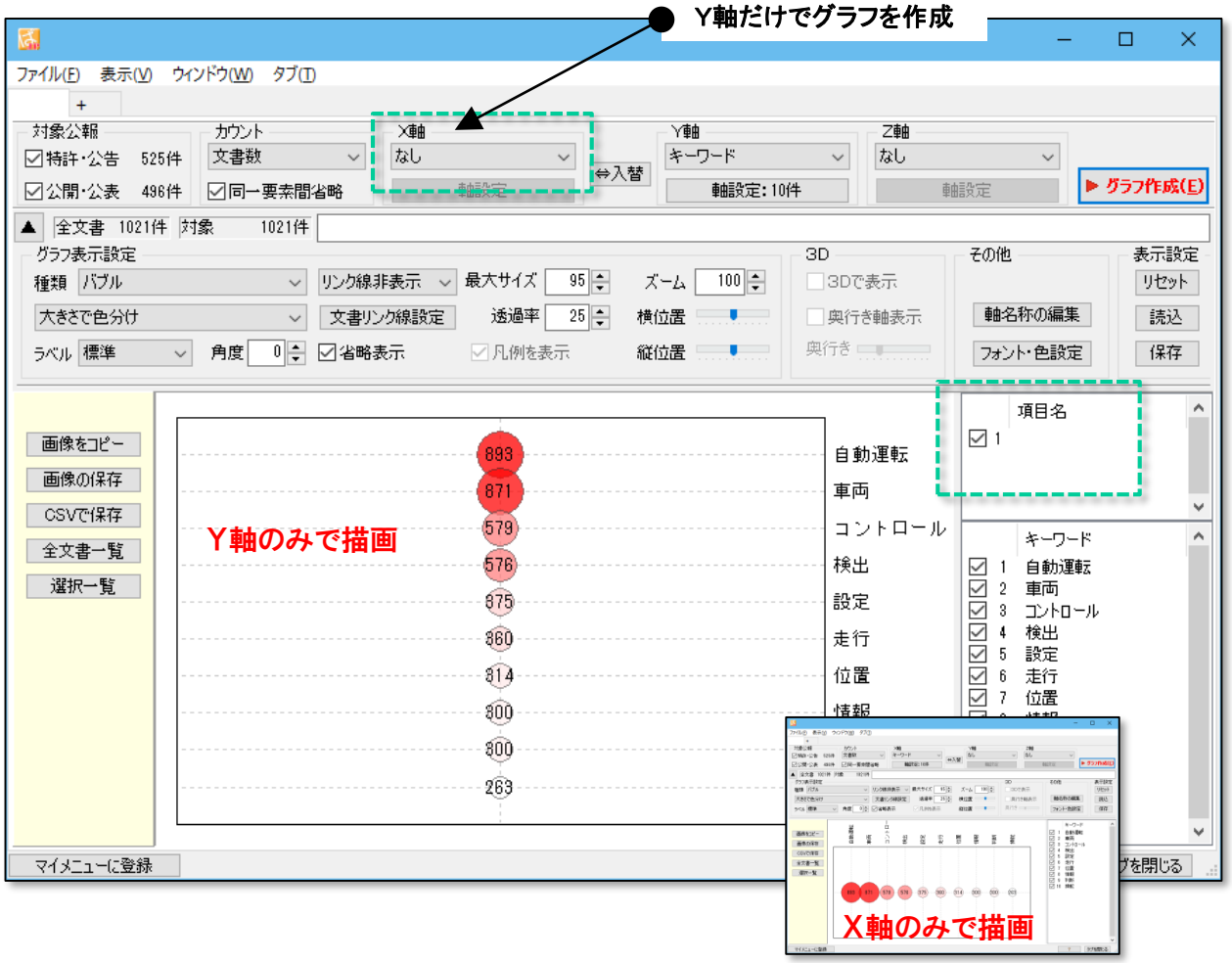


- グラフ作成時に、軸項目としてチェックを付けなかった項目を、まとめて「その他」としてグラフに描画する機能が搭載されました。
- 『軸設定』をクリックし、「その他をまとめる」にチェックを入れると、チェックのない項目だけをまとめて、「その他」として描画することができます。
- 注目する項目と、その他の項目とを比較するグラフが作成できます。

グラフ作成機能23

Y軸のみでグラフ作成

X軸を「なし」にして、
Y軸だけでグラフを作成



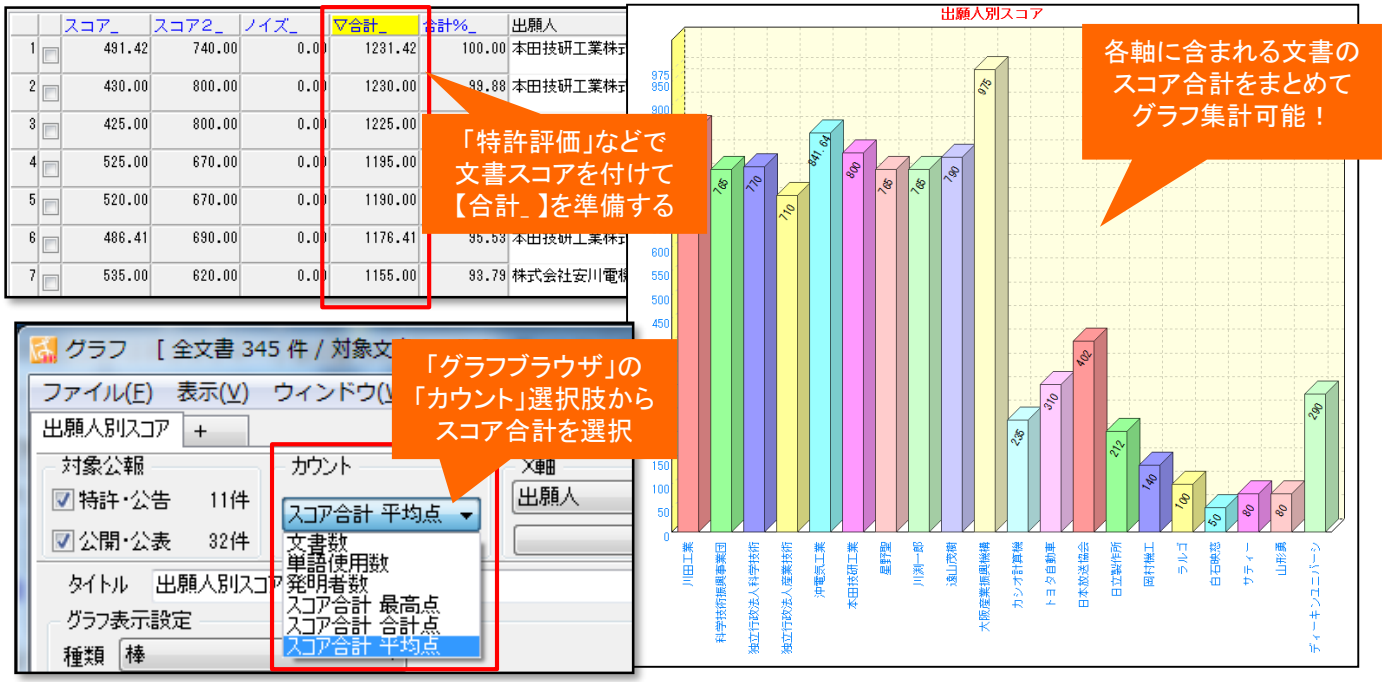
縦軸だけのグラフを作成

- グラフブラウザにおいて、X軸（横軸）を「なし」に設定し、Y軸（縦軸）のみでグラフを作成することがます。
- X軸とZ軸、Y軸とZ軸での作図も可能です。
- X軸を「なし」にした場合でも、グラフ右横の軸リストにはX軸のリストのためのスペースとチェックボックスが表示されます。

グラフ作成機能24

【グラフブラウザ】スコアのカウント

文書のスコアをグラフに反映して傾向を把握！



■ 集計方法について

スコア合計カウントの集計方法は 以下の3種類から選択できます。

- スコア合計 最高点
  該当する文書の中での最高点
- スコア合計 合計点
  該当する文書すべての合算
- スコア合計 平均点
  該当する文書すべての平均点

【スコア合計の集計について】

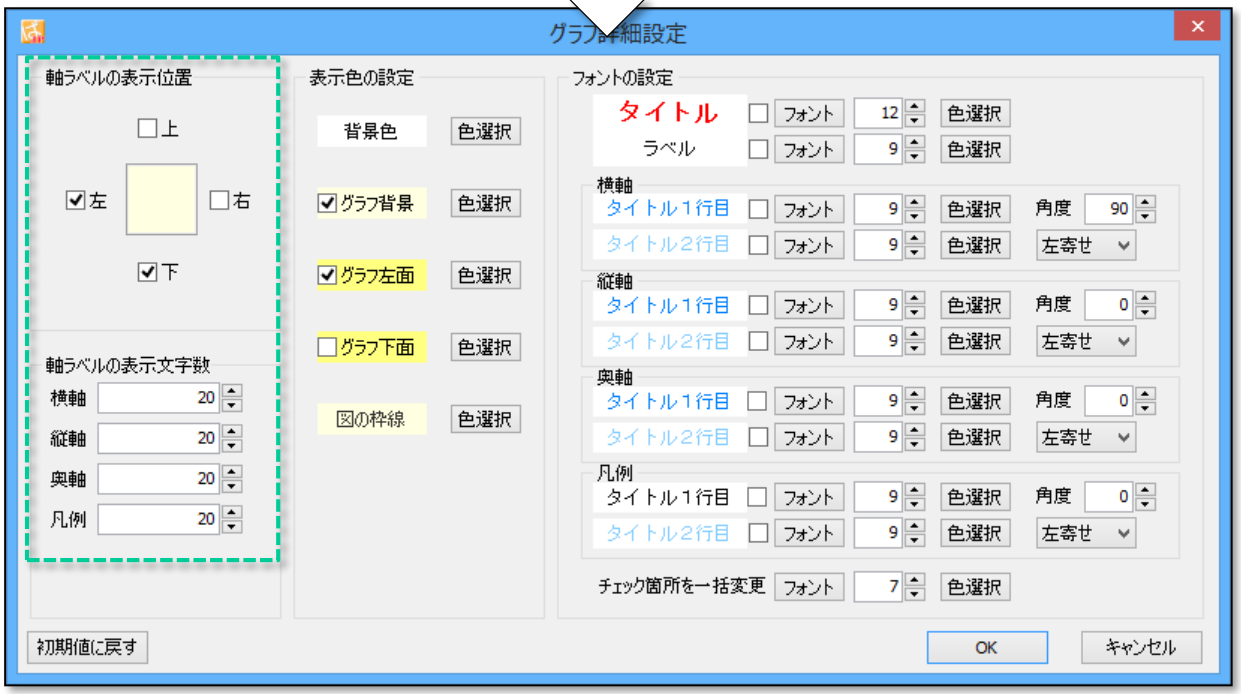
各文書には「スコア」に関する項目は【スコア_】+【スコア2_】−【ノイズ_】=【合計_】の式で合計が自動計算されています。

（※「特許評価1」で【スコア_】【ノイズ_】を、「特許評価2」で【スコア_】【ノイズ_】【スコア2_】を付与できます）

グラフブラウザのスコア合計は、この【合計_】を対象として集計を行います。

【グラフブラウザ】軸名の表示位置設定

「フォント・色指定」クリックすると
グラフ詳細設定ウィンドウが開く



ここでの注意ポイント！

■ グラフの軸名の表示位置を上下左右に指示できるようになりました。

「グラフブラウザ」において、グラフの軸名の表示位置を設定することができるようになりました。
「フォント・色指定」をクリックして、グラフ詳細設定ウィンドウを開き、上下左右のいずれかにチェックを入れ、軸ラベルの表示位置を指定します。

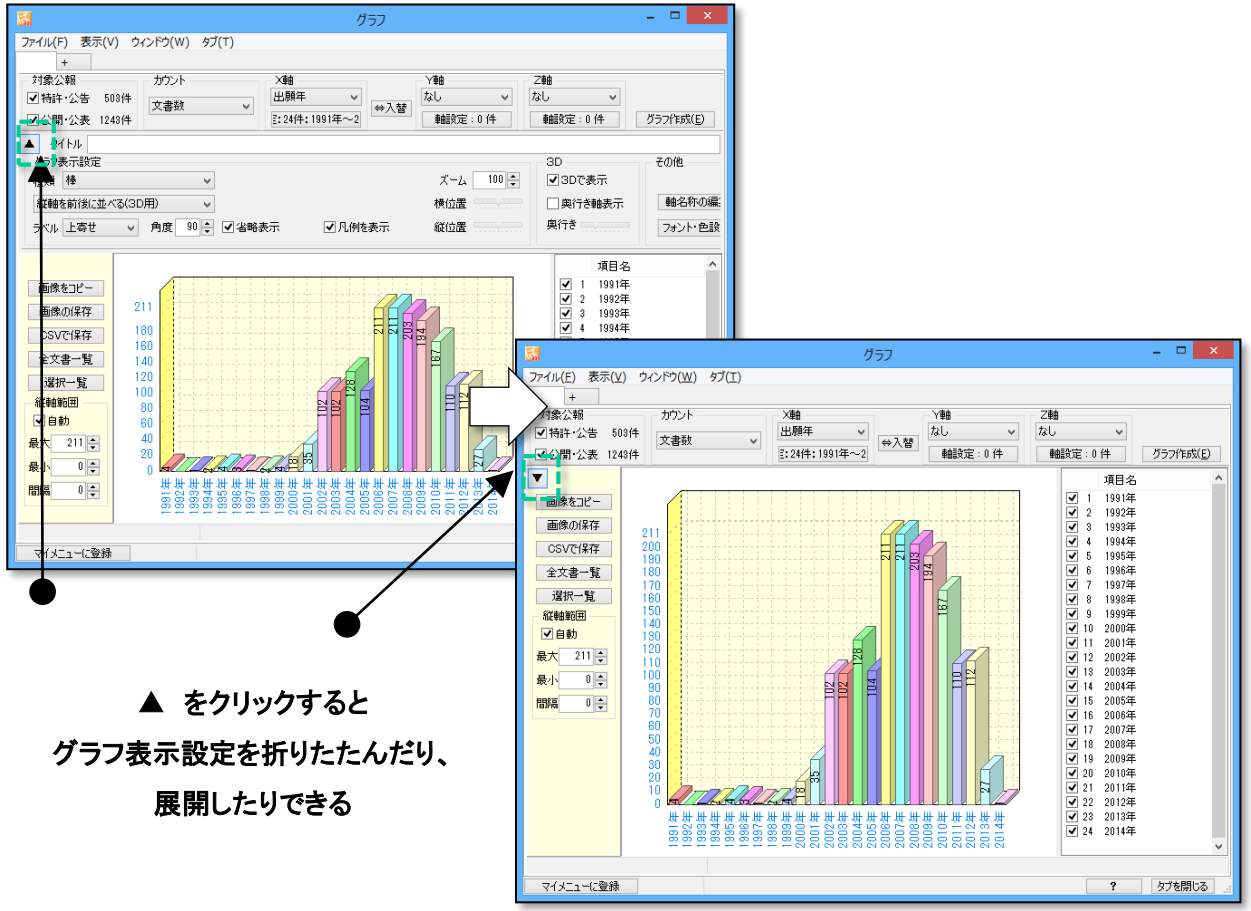
フォントの指定などをより細やかに指定できるようになりました。
縦軸、横軸、奥軸、凡例で、軸名（軸ラベル）の表示文字数を、それぞれ個別に指定できるようになりました。
ワード分解設定」画面に「初期値に戻す」ボタンを追加しました。「適用」ボタンで変更が確定となります。

※ 一時環境での使用の場合、「ぱっとマイニングJP」で登録された時点での情報が反映されます。

グラフ作成機能26

【グラフブラウザ】描画スペースの拡張

▲マークのクリックで、表示設定パネルの開閉



▲ をクリックすると

グラフ表示設定を折りたたんだり、

展開したりできる

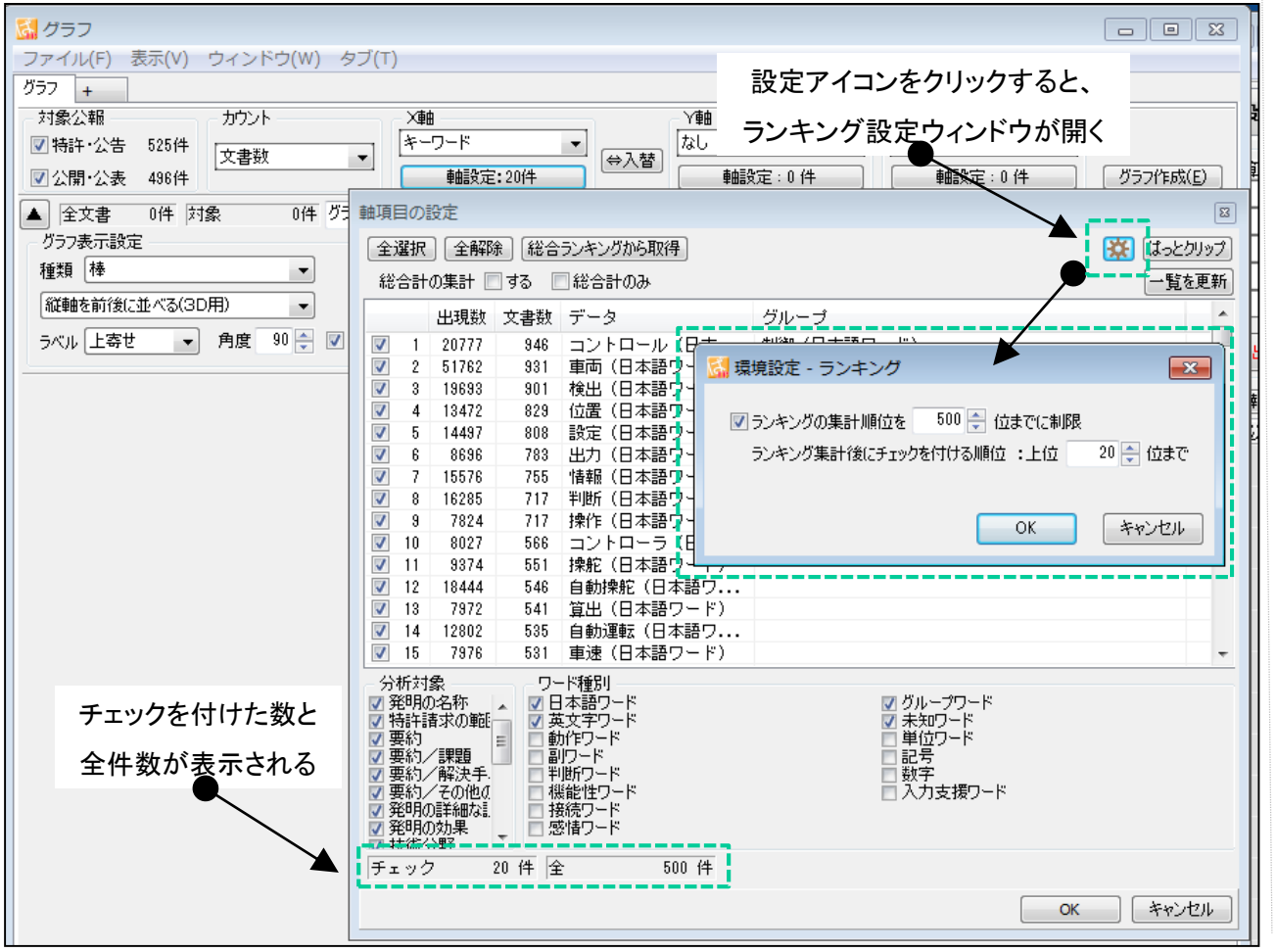
■ グラフ表示設定パネルの折りたたみ

■ 「グラフブラウザ」のグラフ表示設定パネルを折りたたんだり、展開したりできるようになりました。

■ グラフ表示設定パネルの「▲」マークをクリックすると、グラフ表示設定パネルが開閉します。

グラフ作成機能27

【グラフブラウザ】チェック数と全件数の表示

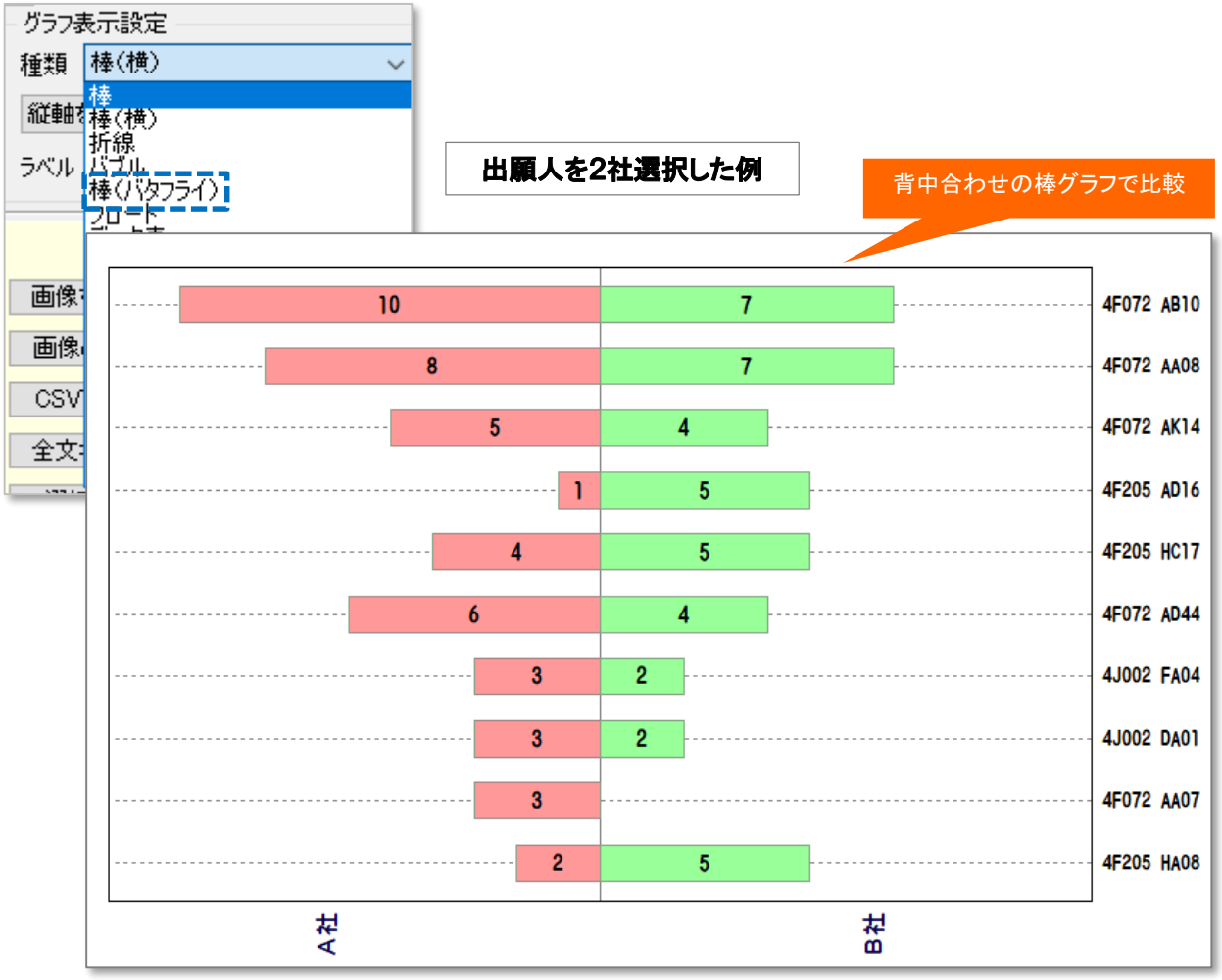


ここでの注意ポイント！

- グラフの軸設定画面に、チェック数と全件数の表示を追加しました。
- 軸設定画面に、ランキング順位の上限や自動チェック数の設定アイコンを追加しました。
- 「軸設定」ボタンをクリックして開く「軸項目の設定」ウィンドウ内に、設定アイコンを配置しました。
- 設定アイコンをクリックすると、「環境設定・ランキング」ウィンドウが開き、ランキングの集計順位の制限やランキング集計後に自動的にチェックをつける順位を変更することができます。
- 「軸項目の設定」ウィンドウ内に、現在、チェックを付けている数の表示と、全件数を表示するようにしました。

グラフ作成機能28

グラフ作成：棒（バタフライ）

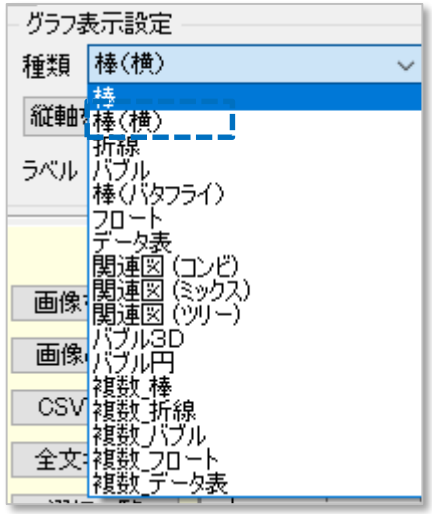


ここでの注意ポイント！

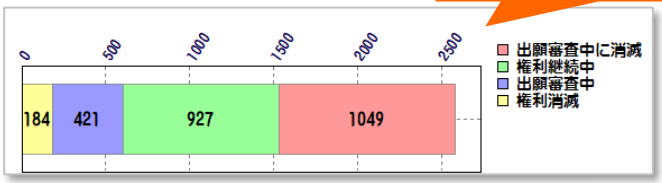
- 横向きの棒グラフを背中合わせに表示することにより、数量対比が見やすく表示できます。
- X軸に出願人等を選択するパターンが一般的ですが、工夫次第で色々な比較に利用できます。
- デフォルトの選択（上位20位まで）で作成するとグラフが煩雑になるので、「軸設定」で比較する対象を絞り込んでからグラフを作成します。

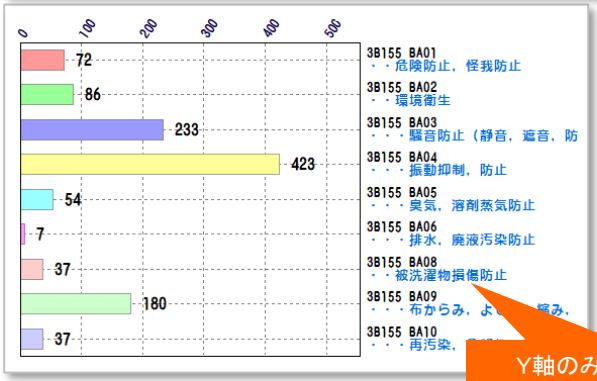
グラフ作成機能28

グラフ作成：棒（横）

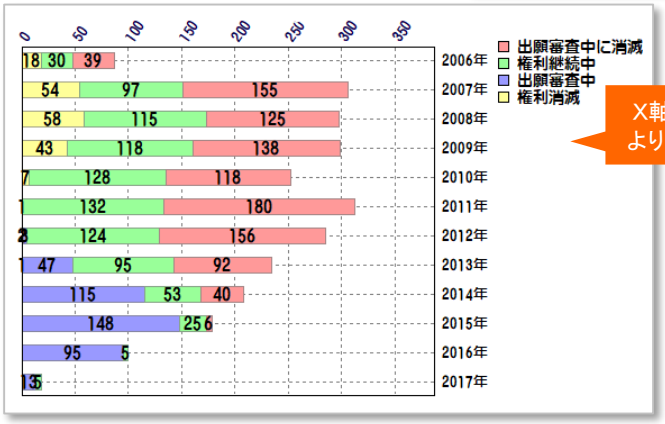


X軸のみを入力することで
全体総数とその内容が確認できる





Y軸のみを入力することで
横向きの棒グラフが作成可能に



X軸とY軸を入力することで
より詳しいグラフを作成可能

ここでの注意ポイント！

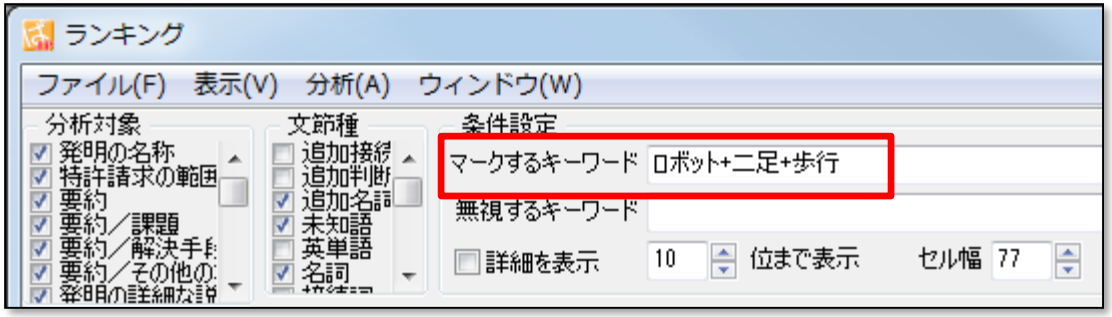
- 棒グラフを横向きに描画します。出願人名や分類コードなど、文字数が多くなりがちな項目を縦軸に選択すると、見やすいグラフが作成できます。
- 横軸の棒グラフを作成する場合は、Y軸だけを使用し、グラフの種類は「棒グラフ（横）」を選択します。
- X軸やZ軸を利用したグラフも作成できます。

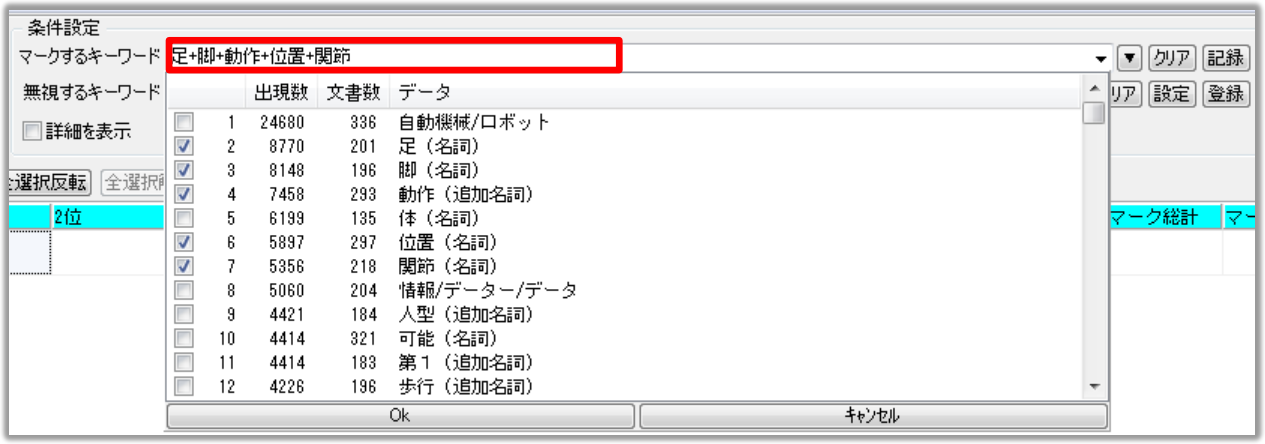
【分析機能 】

☑ 7つの分析機能の紹介

各種分析機能

分析機能のキーワード入力ルール





ここでの注意ポイント！

■ 入力ルール

「マークするワード」「無視するワード」の入力欄には、リストボックスからの選択、または手入力ができます。
手入力の場合、キーワードは全て全角で入力します。半角文字は全角に変換されます。

■ 複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。

■ 「＆」「(カッコ)」の演算子は使用できません。

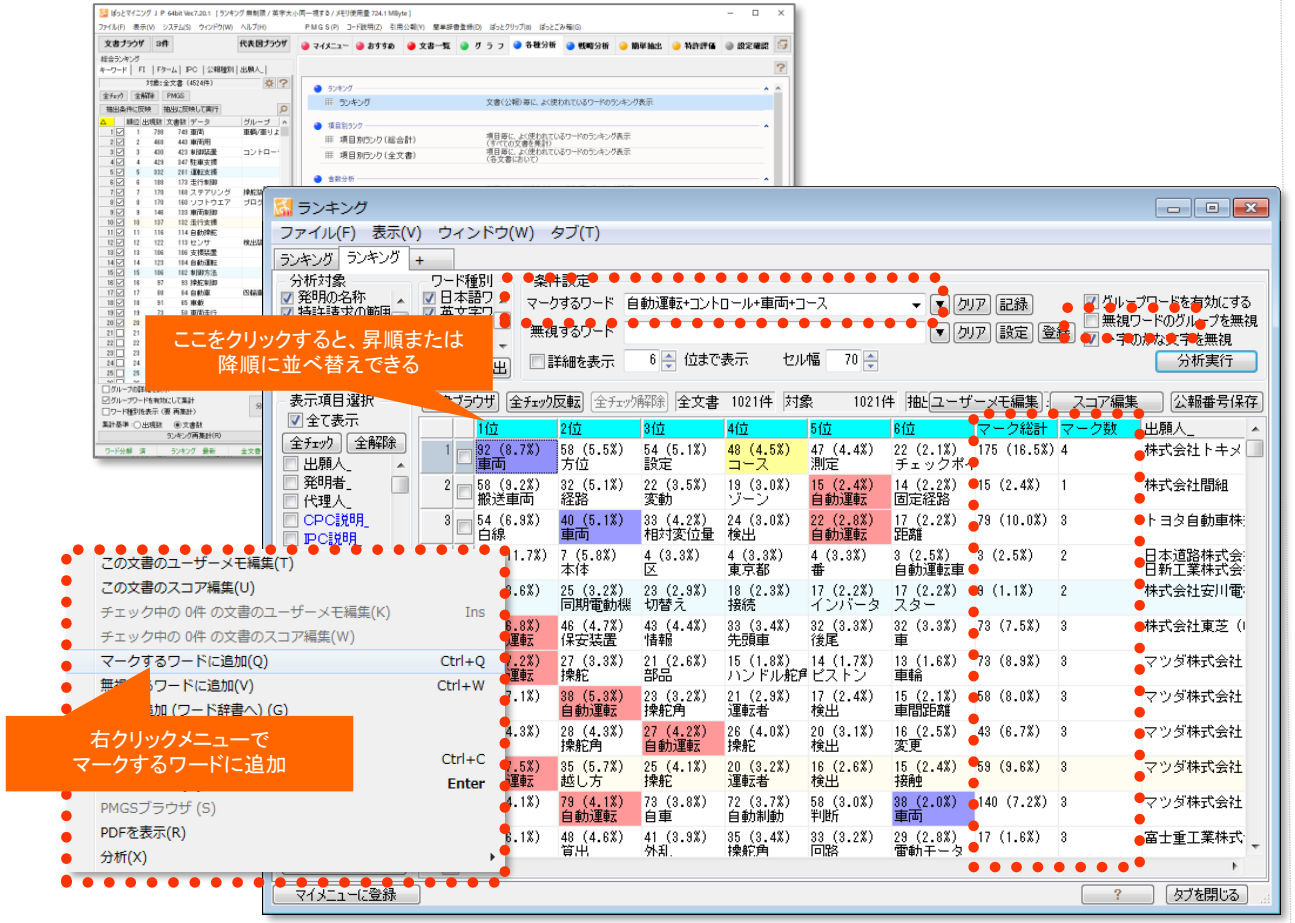
■ 全角スペースは、そのまま変換されずにキーワード対象となります。半角スペースは全角スペースに変換されます。ただし、「＋」の前後に入れられたスペースは、分析実行時に自動的に削除されます。

■ 「＋」「＆」「(カッコ)」や、半角スペースを含むキーワード、半角文字をキーワード対象にしたい場合は、ダブルクォート(” “)で囲んでください。

■ 英単語の大文字と小文字は同一視したい場合は、[システム]→「環境設定]→「文字列処理タブ」の「英字の大文字と小文字を同一視する」にチェックを入れて下さい。

ランキング分析機能 全文書

ランキング ：各行ごとのワードランキング



ここでの注意ポイント！

■ 分析実行 をクリック

一公報（横一行）ごとに、よく出現するワードをランキング表示します。
『分析実行』をクリックすると結果が表示されます。

■ 右クリックメニューで、マークするワードに追加

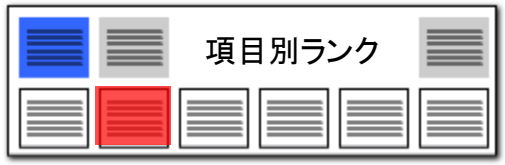
マークするワードに追加したいセルの上で右クリックし、右クリックメニューの中から、『マークするワードに追加(Q)』をクリックすると、選択したワードのセルがすべて同じマーカー色で塗りつぶされます。

■ マーク数とマーク総数で並び替え

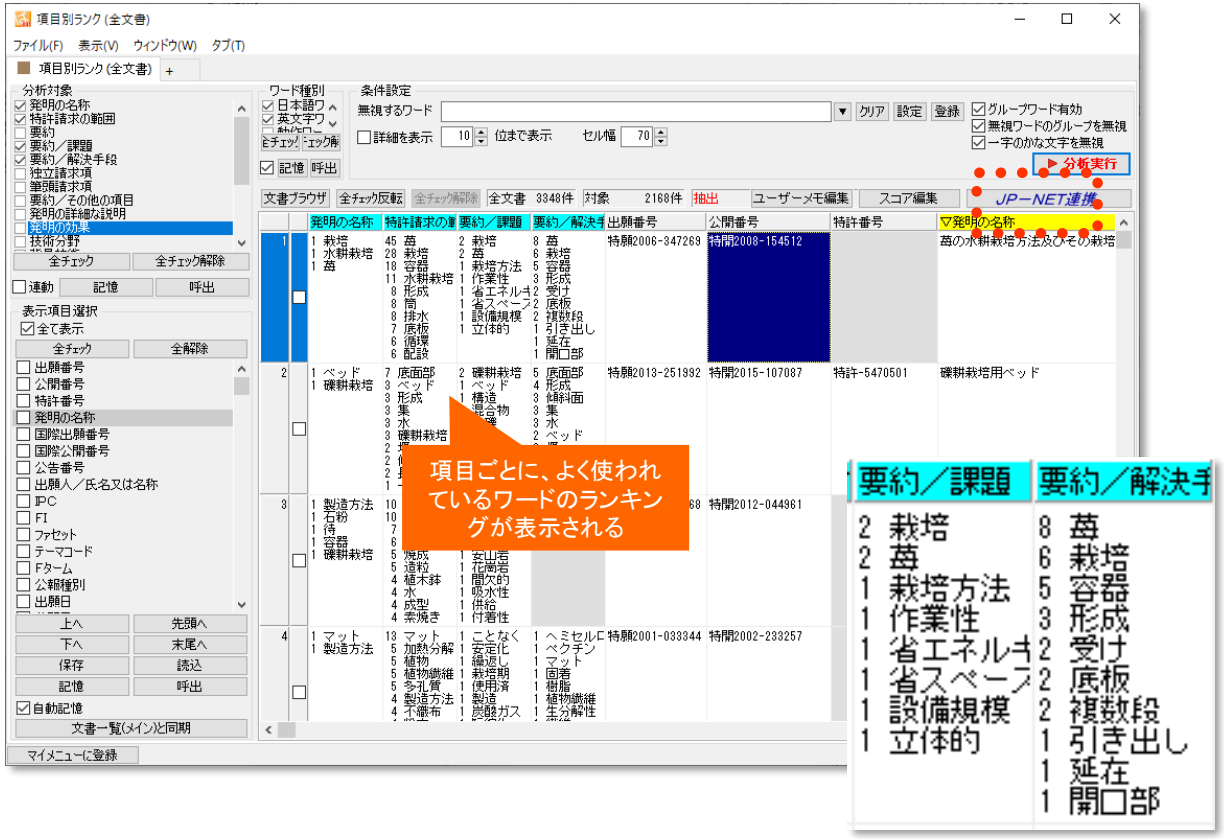
マーク数 ： 分析対象中に出現している、マークするワードの数。同じワードが何回出現していても1とカウントします。
マーク総数 ： マークするワードが分析対象中に出現している出現数の総数。

マーク数またはマーク総数の多い順に並び替えることで、類似した内容の行を上位に集めることが出来ます。

項目別ランク機能 全文書



全文書 :『公報ごと＆項目ごと』のキーワードランキング



【請求項】【要約】・・・によく出るキーワードは！？

ここでの注意ポイント！

■ 分析実行 をクリック

一公報（横一行）ごとに、よく出現するワードを、【請求の範囲】や【要約】など特許項目ごとにランキング表示します。
『分析実行』をクリックすると結果が表示されます。

■ 『詳細を表示』のチェック

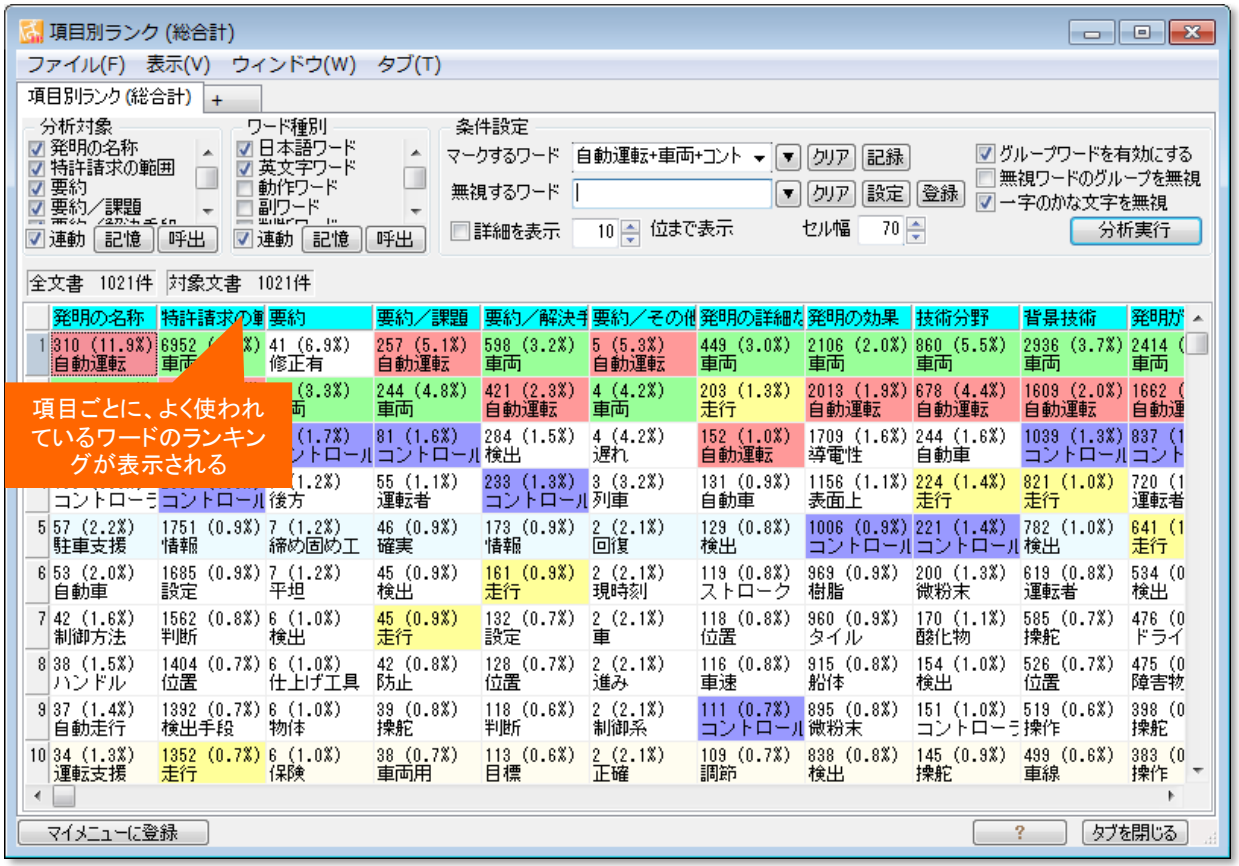
『詳細を表示』にチェックを入れると、各ワードのグループワードが表示されます。

■ 文書ブラウザで公報を確認

セルをダブルクリックすると、文書ブラウザが立ち上がり、該当公報の内容を確認することができます。

項目別ランク機能 総合計

総合計 :読み込んだ公報全体でのワードランキング



項目ごとに、よく使われているワードのランキングが表示される

読み込んだ公報全体でのランキング

ここでの注意ポイント！

- 分析実行 をクリック

  読み込んだ公報全体を対象に、よく出現するワードを、【請求の範囲】や【要約】など特許項目ごとにランキング表示します。
  『分析実行』をクリックすると結果が表示されます。

- 『詳細を表示』のチェック

  『詳細を表示』にチェックを入れると、各ワードのグループワードが表示されます。

- 文書ブラウザで公報を確認

  セルをダブルクリックすると、文書ブラウザが立ち上がり、該当公報の内容を確認することができます。

- 右クリックメニューで、マークするワードに追加

  マークするワードに追加したいセルの上で右クリックし、右クリックメニューの中から、『マークするワードに追加』をクリックすると、選択したキーワードのセルがすべて同じマーカー色で塗りつぶされます。

含数分析機能 全文書

含数分析 :各項目ごとのワード出現回数

各公報ごとの項目別ワード出現回数

ここでの注意ポイント！

■ ワード入力 → 分析実行をクリック

ワードの欄に入力された単語が、一公報（横一行）ごとに、請求項や実施例などの各項目ごとに、何回出現しているかを分析します。

■ 合計と総合計

合計 ： 各ワードが、分析対象中に出現している回数を表示します。
総合計 ： 複数のワードを入力したとき、各ワードの出現回数を合計した数字を表示します。
合計を降順に並び替えると、複数のワードを入力している場合、全ワードが使用されている行を上位に表示します。

■ ワード一致と文字一致

ワード一致 ： ワード分解した単語数で出現回数をカウントします。
文字一致 ： 文字コードによる一致回数をカウントします。

■ JP-NET連携

含数分析で、ソートした公報をJP-NET/New CSSで閲覧する事で、公知例調査他の際に効率よく公報を探す事ができます。

含数分析機能 総合計

含数分析 :各項目ごとのワード出現回数

セルをクリックすると、文書ブラウザが表示され、そのセルに該当する文書を査読することができます。

読み込んだ公報全体での、項目別ワード出現回数

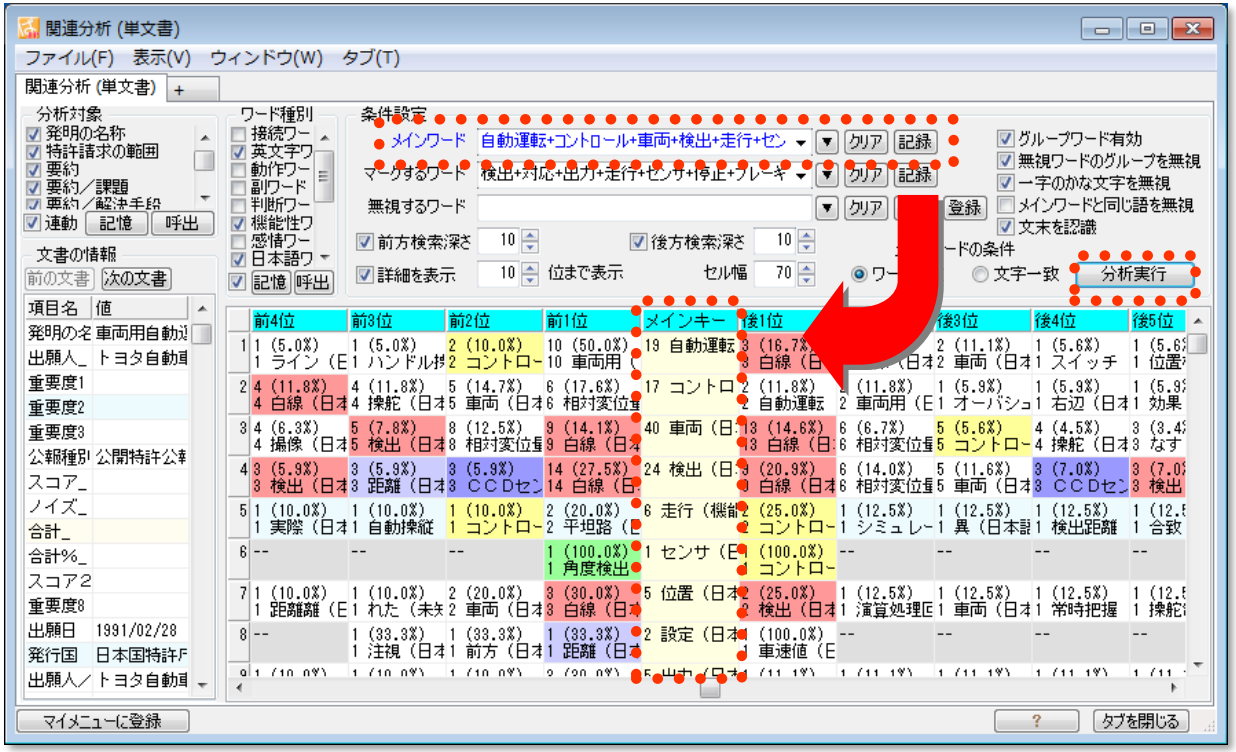
ここでの注意ポイント！

■ ワード入力 → 分析実行をクリック

読み込んだ公報全体を対象に、ワードの欄に入力された単語が、請求項や実施例などの各項目ごとに、何回出現しているかを分析します。

関連分析機能 単文書

関連分析 :単語と単語の関連を探る！



単文書 ： ひとつの画面にひとつの公報を表示

ここでの注意ポイント！

■ メインワードを入力 → 分析実行をクリック

メインワード欄に注目したい単語を入力し、『分析実行』をクリックします。
分析結果画面では、メインワードがタテに配置され、各メインワードの前後によく出てくるワードが、出現回数順にランキング表示されます。
ひとつの分析画面に、ひとつの公報の分析結果が表示されます。

■ 『文末を認識』にチェックを入れる

『検索深さ』は、メインワードの前後の何単語までを検索するか、検索範囲を指定するものです。
『文末を認識』にチェックを入れておくと、句点「。」までの範囲内で検索します。

■ 右クリックメニューで、マークするワードに追加

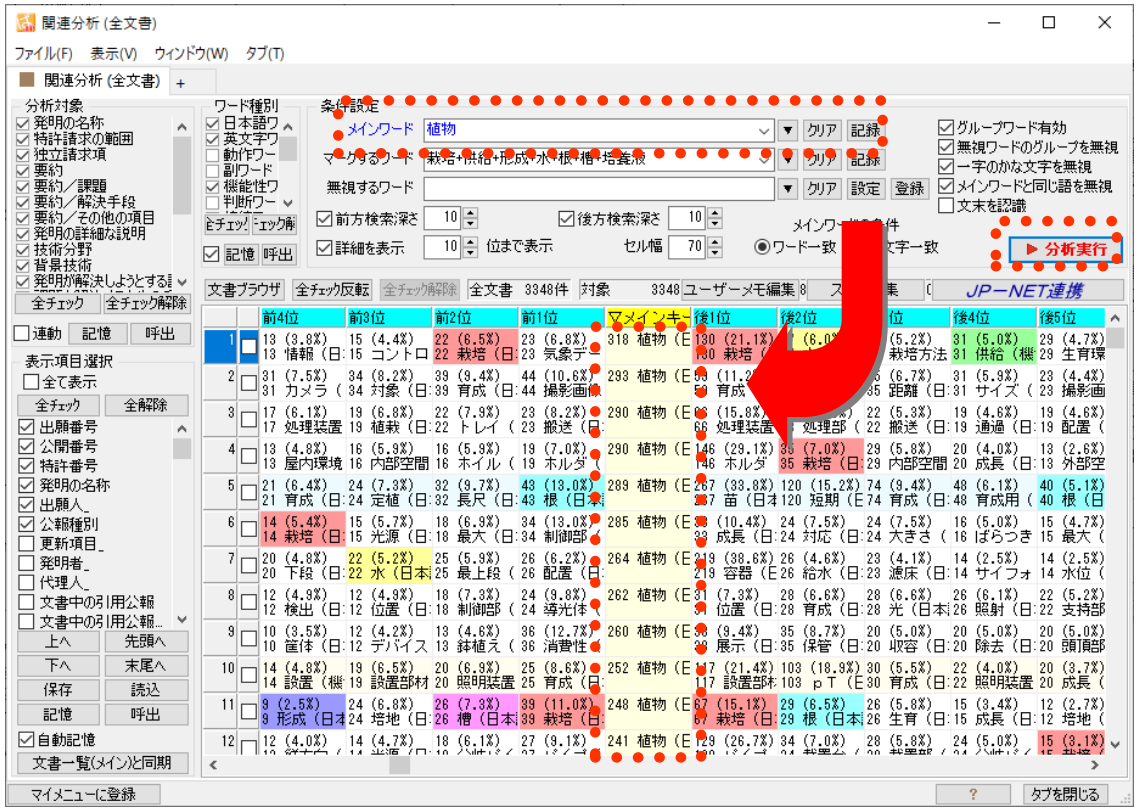
マークするワードに追加したいセルの上で右クリックし、右クリックメニューの中から、『マークするワードに追加(Q)』をクリックすると、選択したワードのセルがすべて同じマーカー色で塗りつぶされます。

■ ワード一致と文字一致

ワード一致 ： ワード分解した単語単位で検索します。
文字一致 ： 単語の区切りによらず、文字列を検索します。

関連分析機能 全文書

関連分析 :単語と単語の関連を探る！



全文書 ： 横一行にひとつの公報を表示

ここでの注意ポイント！

■ メインワードを入力 → 分析実行をクリック

メインワード欄に注目したい単語を入力し、『分析実行』をクリックします。
分析結果画面では、メインワードがタテに配置され、各メインワードの前後によく出てくるワードが、出現回数順にランキング表示されます。
一公報（横一行）ごとに、分析結果が表示されます。

■ 『文末を認識』にチェックを入れる

『検索深さ』は、メインワードの前後の何単語までを検索するか、検索範囲を指定するものです。
『文末を認識』にチェックを入れておくと、句点「。」までの範囲内で検索します。

■ 右クリックメニューで、マークするワードに追加

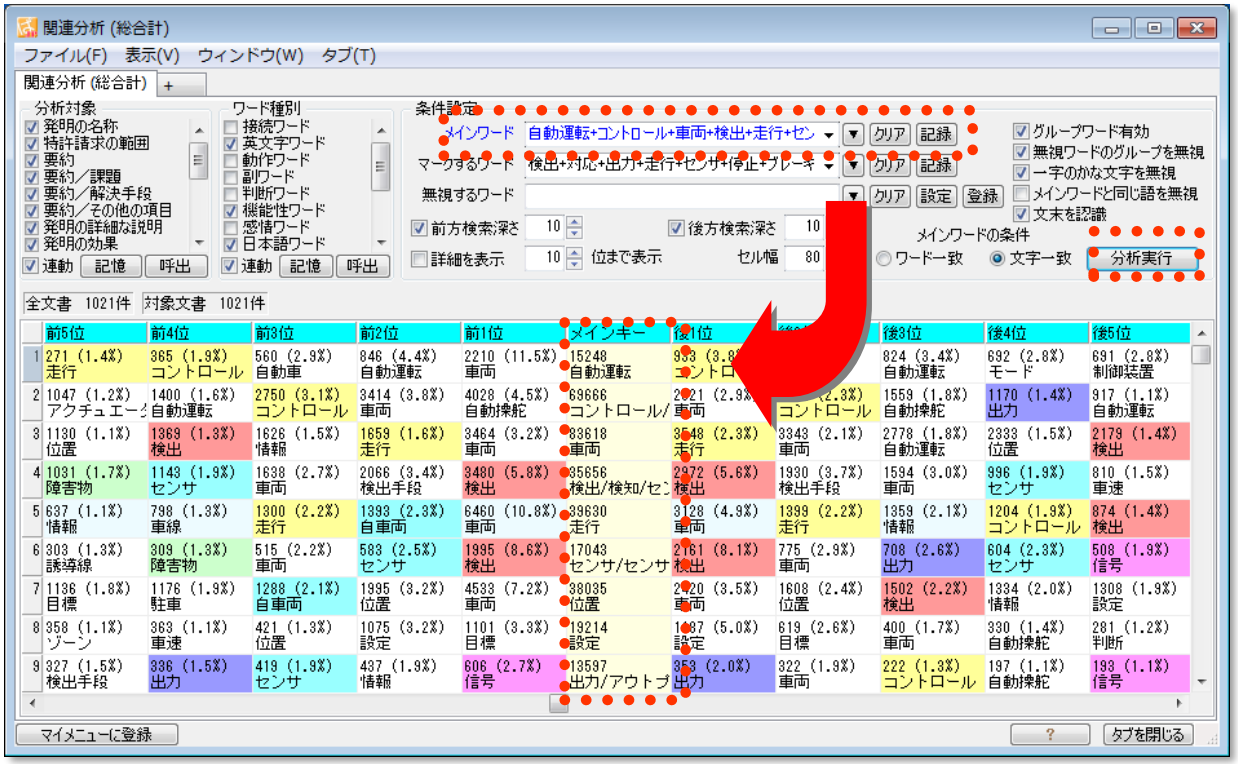
マークするワードに追加したいセルの上で右クリックし、右クリックメニューの中から、『マークするワードに追加(Q)』をクリックすると、選択したワードのセルがすべて同じマーカー色で塗りつぶされます。

■ ワード一致と文字一致

ワード一致 ： ワード分解した単語単位で検索します。
文字一致 ： 単語の区切りによらず、文字列を検索します。

関連分析機能 総合計

関連分析 :単語と単語の関連を探る！



読み込んだ公報全体でのランキング

ここでの注意ポイント！

■ メインワードを入力 → 分析実行をクリック

メインワード欄に注目したい単語を入力し、『分析実行』をクリックします。
分析結果画面では、メインワードがタテに配置され、各メインワードの前後によく出てくるワードが、出現回数順にランキング表示されます。
ひとつの分析画面に、読み込んだ全公報を対象とした合計が表示されます。

■ 『文末を認識』にチェックを入れる

『検索深さ』は、メインワードの前後の何単語までを検索するか、検索範囲を指定するものです。
『文末を認識』にチェックを入れておくと、句点「。」までの範囲内で検索します。

■ 右クリックメニューで、マークするワードに追加

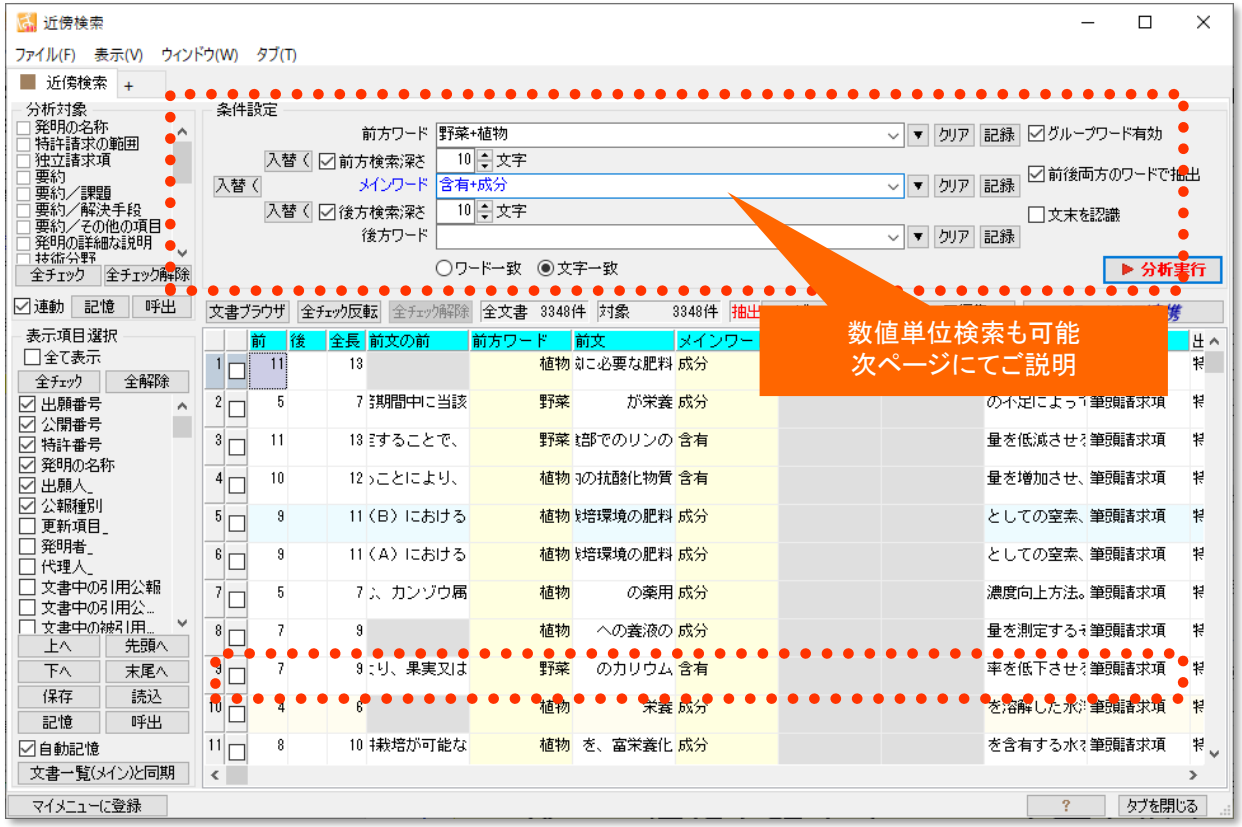
マークするワードに追加したいセルの上で右クリックし、右クリックメニューの中から、『マークするワードに追加(Q)』をクリックすると、選択したワードのセルがすべて同じマーカー色で塗りつぶされます。

■ ワード一致と文字一致

ワード一致 ： ワード分解した単語単位で検索します。
文字一致 ： 単語の区切りによらず、文字列を検索します。

近傍検索機能

近傍検索 :3つのワードでセンテンスを検索する



ここでの注意ポイント！

■ 3つのワードの並び順を指定

たとえば「光で発電する腕時計」という文章を検索する場合、「光」「発電」「腕時計」という3つの単語を、条件設定欄に入力して『分析実行』をクリックします。
検索結果欄に、「光」「発電」「腕時計」の順にワードを使用している文章が表示されます。

■ ワードの順番を入れ替える

『入替』ボタンをクリックして、ワードの並び順を入れ替えて検索を行なうと、「効率を向上させる業務改善」というような、別の表現をしている文章を見つけることも出来ます。

■ 複数のワード入力で検索範囲を広げる

各ワード欄には、複数のワードを入力することも出来ます。ワードとワードの間にはスペースを挟んでください。

■ 『文末を認識』にチェックを入れる

検索深さ :メインワードの前後の何文字までを検索するか、検索範囲を指定するものです。
文末を認識 :句点「。」までの範囲内で3つのワードの組み合わせを検索します。

■ ワード一致と文字一致

ワード一致 ： ワード分解した単語単位で検索します。
文字一致 ： 単語の区切りによらず、文字列を検索します。

近傍検索機能

近傍検索 :数値単位検索の方法

近傍検索 での、数値単位検索の方法について補足。

ここでの注意ポイント！

■ 数値単位検索

近傍検索の条件設定の入力欄に、数値単位検索で使用されている条件を入力し、数値単位での近傍検索ができるようになりました。

■ 入力規則

検索条件入力欄に、数値と単位を入力する場合は、以下の入力規則となります。

例：10トン を検索する場合

- 「と等しい」 0010トン
  - ※ 数値の前に「00」を付けてください。
- 「を含む」 10トン
- 「以上」 10トン-＊
- 「以下」 ＊-10トン
- 「から」 10トン-30トン
  - ※ 10～30トンを検索する場合

■ 注意事項

※ 両方の数値に単位を付けてください。

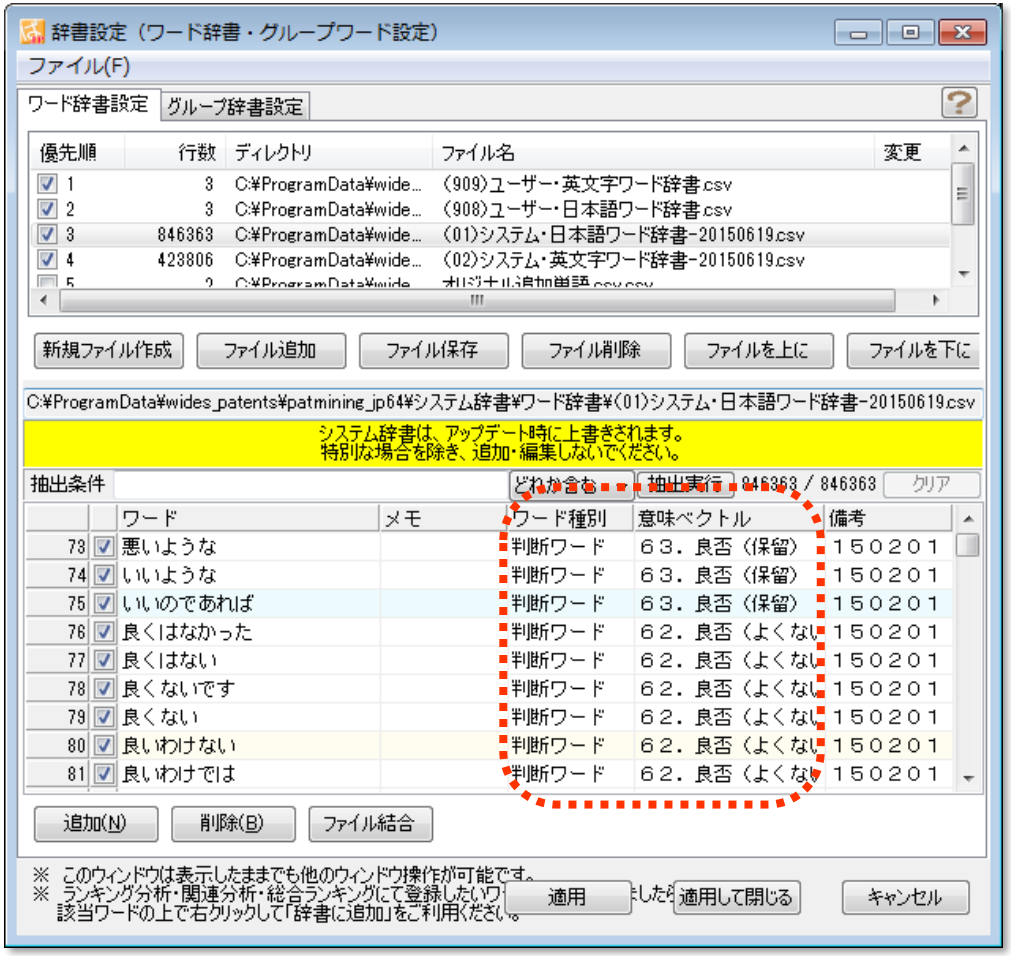
※ ハイフンの左側に小さい方の値を入れてください。

※ 単位の設定は、[システム]⇒[辞書設定（数値＆単位 単位マスタ設定）]で設定することができます。

意味ベクトル分析機能（1）

文脈の方向性をつかむ！

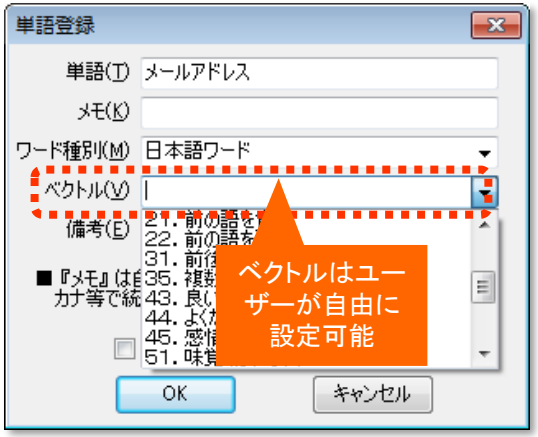
意味ベクトル分析：ワードの持つ方向性によって、センテンスを検索



ここでの注意ポイント！

■ 意味ベクトルとは・・・

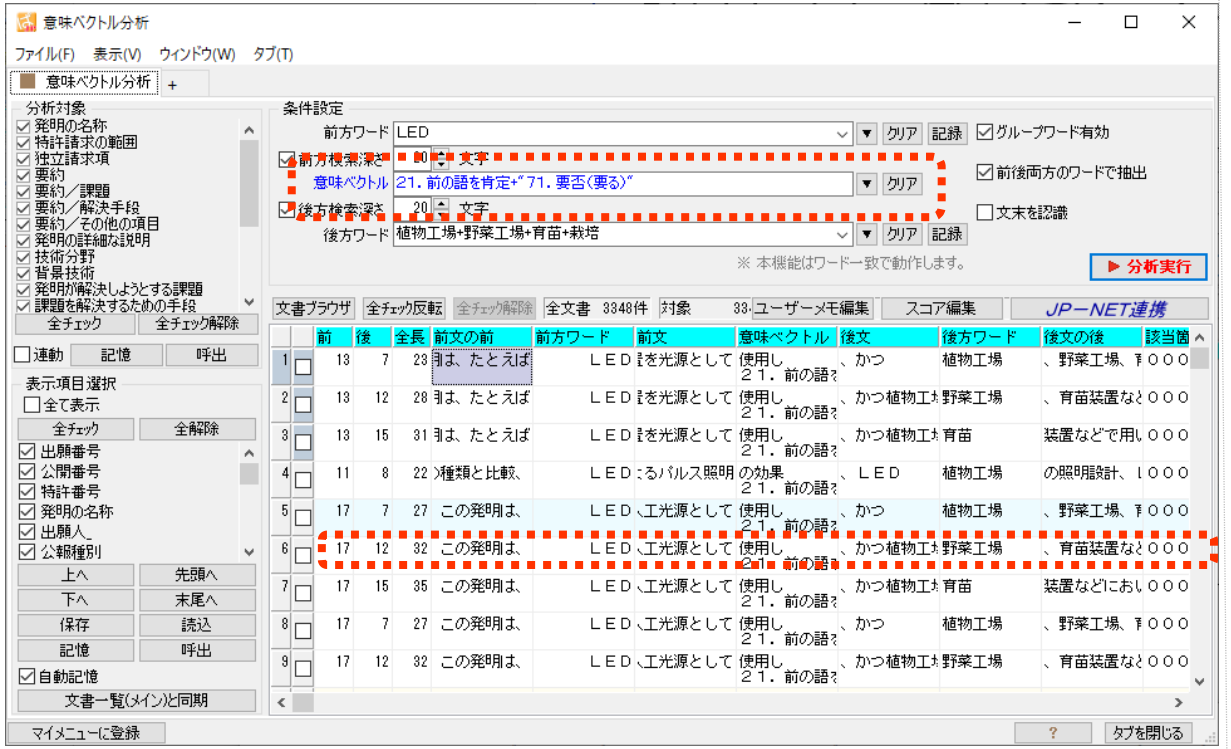
単語や文節の方向性、たとえば協調や肯定、否定、課題を表すもの、解決方法を表すものなど・・・を導入することにより、文意を的確につかんだ検索が実現できるようになりました。
意味ベクトルは、辞書設定画面で追加・変更・削除することができます。



意味ベクトル分析機能（2）

意味のつながりを特定した表現を持つセンテンスを探す！！

意味ベクトル分析：ワードの持つ方向性によって、センテンスを検索



ここでの注意ポイント！

■ 意味ベクトル分析

辞書に登録した意味ベクトルを用い、【近傍検索】と同じように、意味のつながりを特定した表現を持つセンテンス(文章)を、抽出することが来ます。

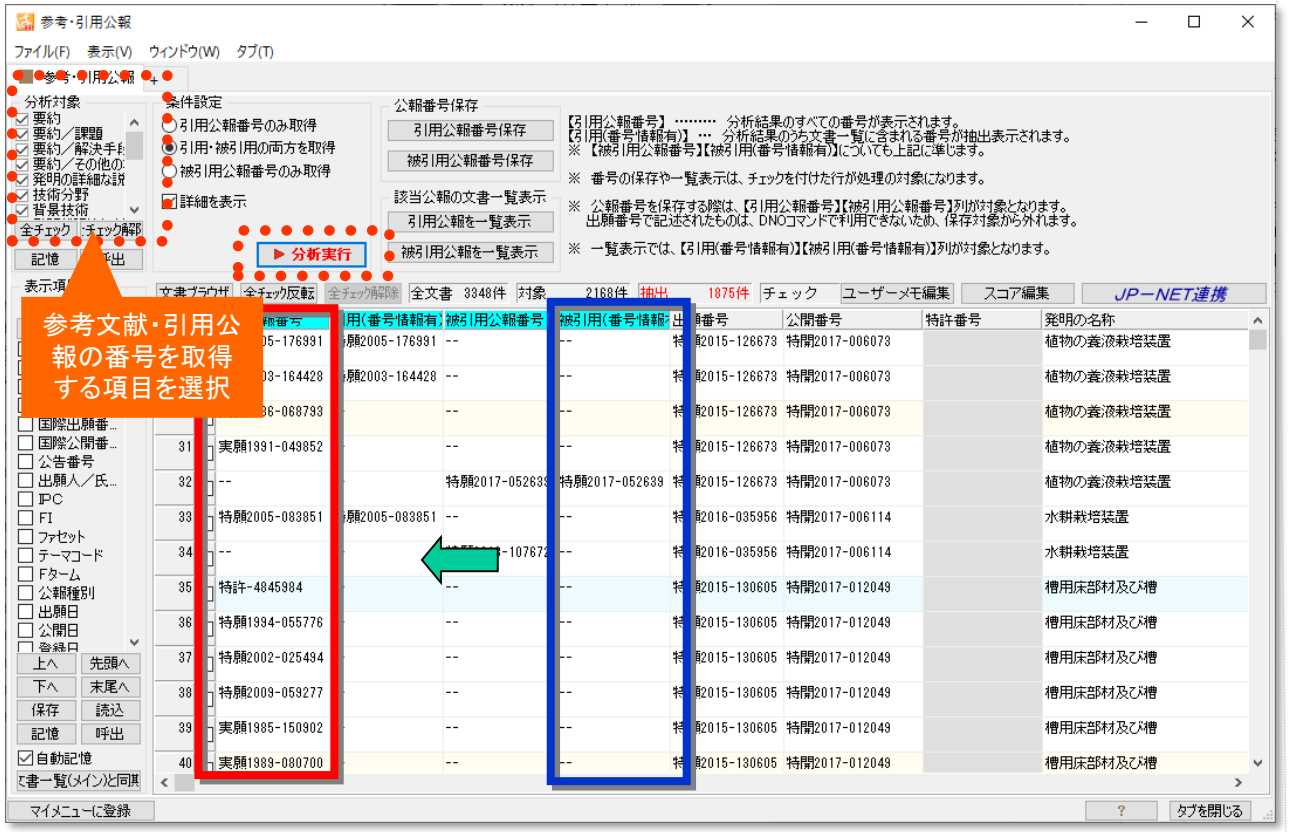
■ 3つのワードの並び順を指定

たとえば「液晶セルを“使わず”に、表示する」という文章を検索する場合、

1. 『前置を否定』の意味ベクトルを選択し、
2. 前方ワードに「液晶セル」
3. 後方ワードに「表示」に関するワードを入力して、
4. 『分析実行』をクリックします。

参考･引用公報機能

文中で引用されている公報番号を抽出！



ここでの注意ポイント！

■ 分析実行をクリック → 分析結果表示

「参考･引用公報分析」では、文書中に記述された”引用公報”の番号を探し出し、表示します。また、読み込まれている文書中から引用されている場合”被引用”として引用元の公報番号を表示します。

「分析対象（引用）」で引用公報番号を抽出する項目を選択します。

ここで見つかった公報番号が「引用公報番号」として表示されます。

また、読み込み済みの文書中に、該当する引用公報が含まれている場合には、その公報の「被引用公報番号」として、引用元の公報番号が表示されます。

条件設定を確認した後、『分析実行』ボタンをクリックすると、参考･引用分析が終わります。

引用公報番号の欄に表示されている公報番号（赤枠で囲んだ番号）を引用している書面（青枠で囲んだ番号）が表示されます。

■ 被引用公報番号は･･･。

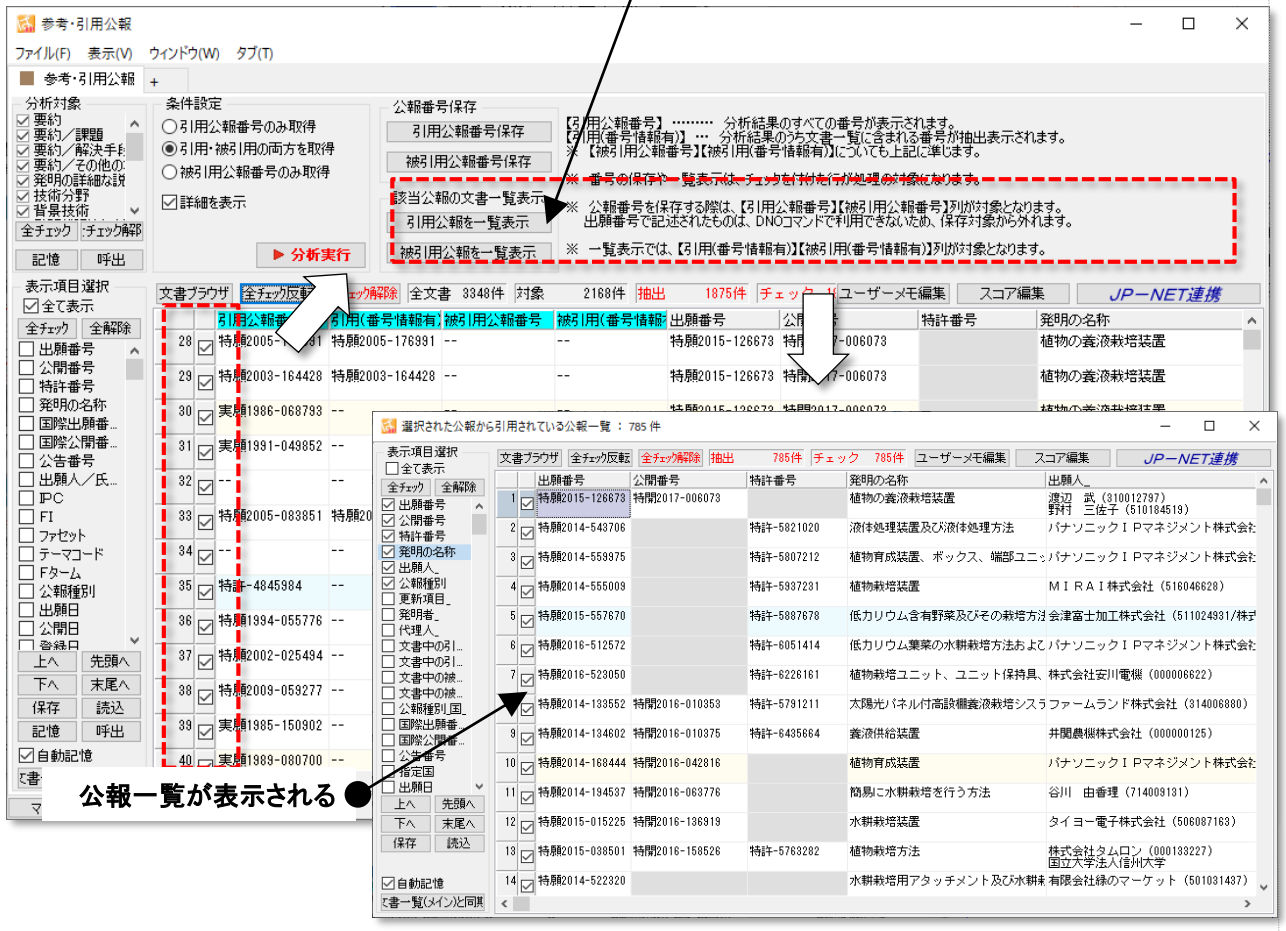
「分析対象（被引用）」で被引用公報番号を抽出する項目を選択します。

被引用公報番号を含んだデータを利用される場合には、上記の引用公報番号から取得した被引用公報番号の情報と併せて、ここで指定された項目からも、被引用公報番号を取得できます。

参考･引用公報機能

引用している公報の一覧を表示

「引用公報を一覧表示」「被引用公報を一覧表示」

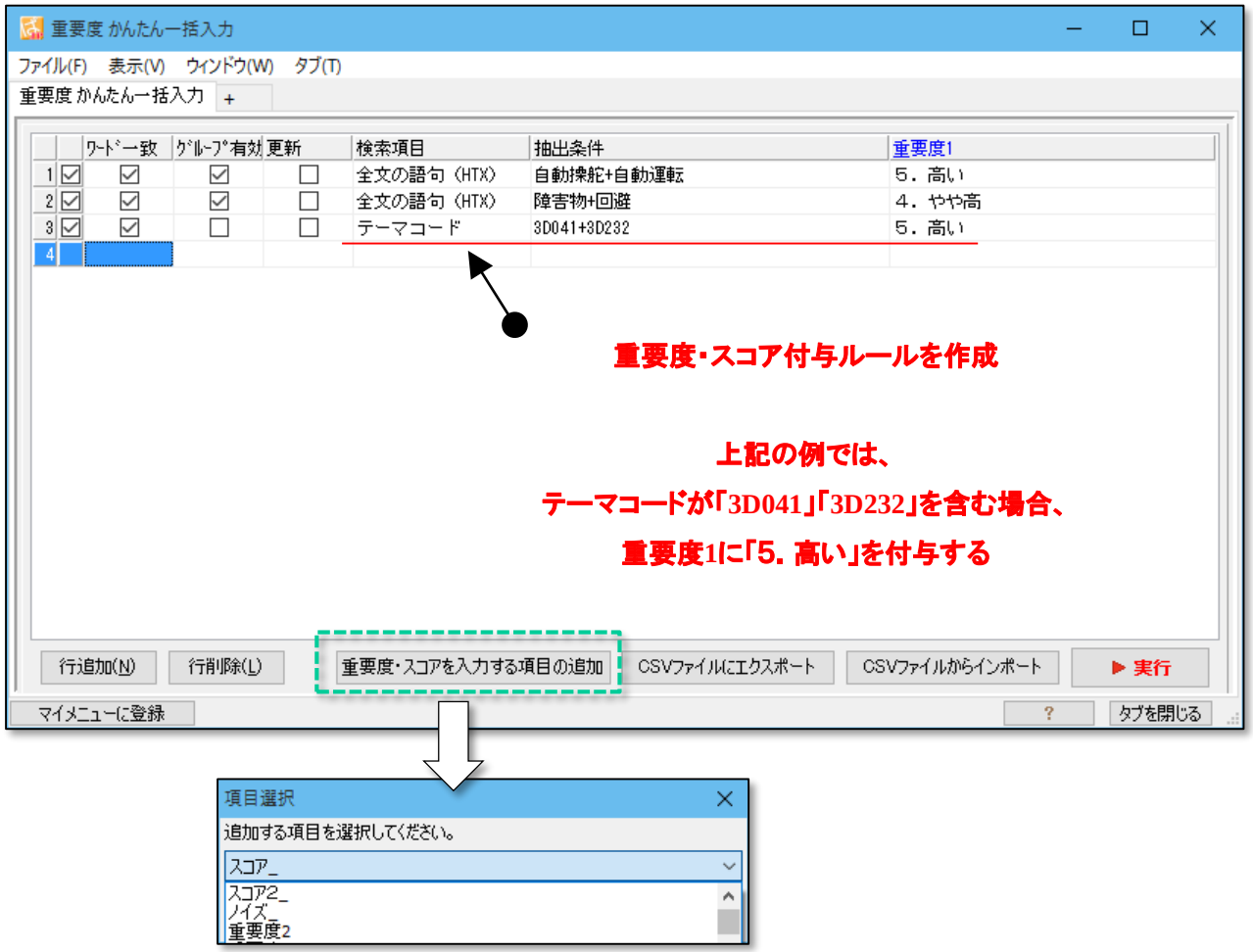


分析目的に合わせて辞書を選択

- 『分析実行』をクリックし、注目する公報にチェックを入れた後、「引用公報を一覧表示」または「被引用公報を一覧表示」をクリックすると、公報一覧が表示されます。
- 選択された公報を引用している公報だけを対象にした分析やグラフ作成が容易に行なえます。
- 公報番号保存、該当公報の文書一覧表示の各ボタンは、『分析実行』ボタンをクリックした後に有効となります。

重要度かんたん一括入力

抽出条件に合うものに重要度・スコアを付与するルールを作成し、まとめて適用



- 検索項目と抽出条件、重要度、スコアを登録し、「実行」をクリックすると、まとめて適用します。
- 「重要度・スコアを入力する項目の追加」をクリックすると、スコアや重要度の項目を追加することができます。
  - ワードー致 ： チェックを入れるとワードー致、はずすと文字一致で抽出します。
  - グループ有効 ： チェックを入れるとグループワードが有効になります。
  - 更新 ： チェックを入れると、既存の重要度やスコアが上書きされます。（上位の行で付与された重要度やスコアが、下位の行によって上書きされます。）
- 重要度・スコア付与ルールをCSVファイルで出力したり、取り込んだりすることができるので、エクセルで編集した後に、インポートして適用することができます。

【戦略分析機能 】

☑ ワンクリックで特徴点を抽出

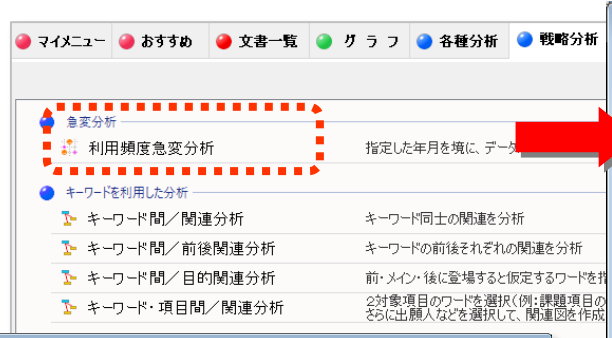
戦略分析（1）

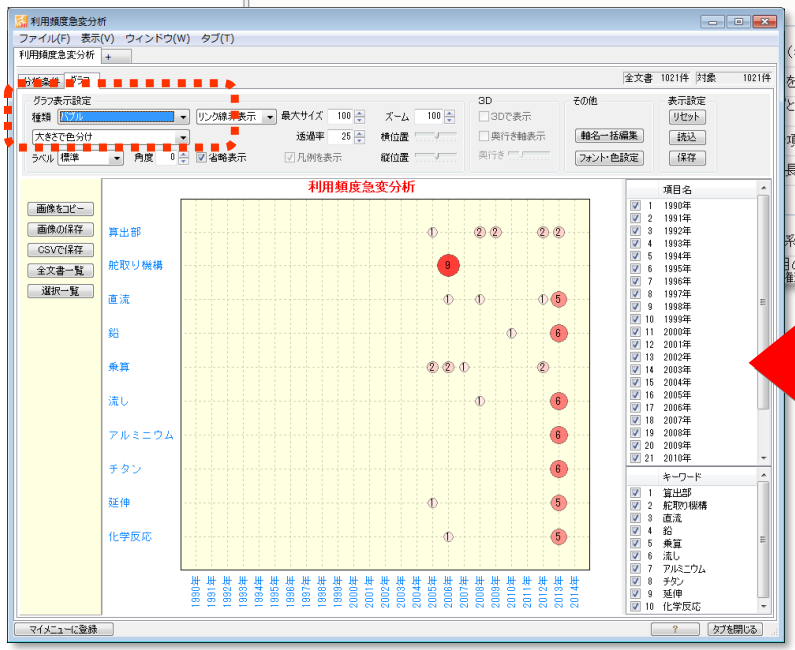
急に利用頻度が高まったキーワードをピックアップ！

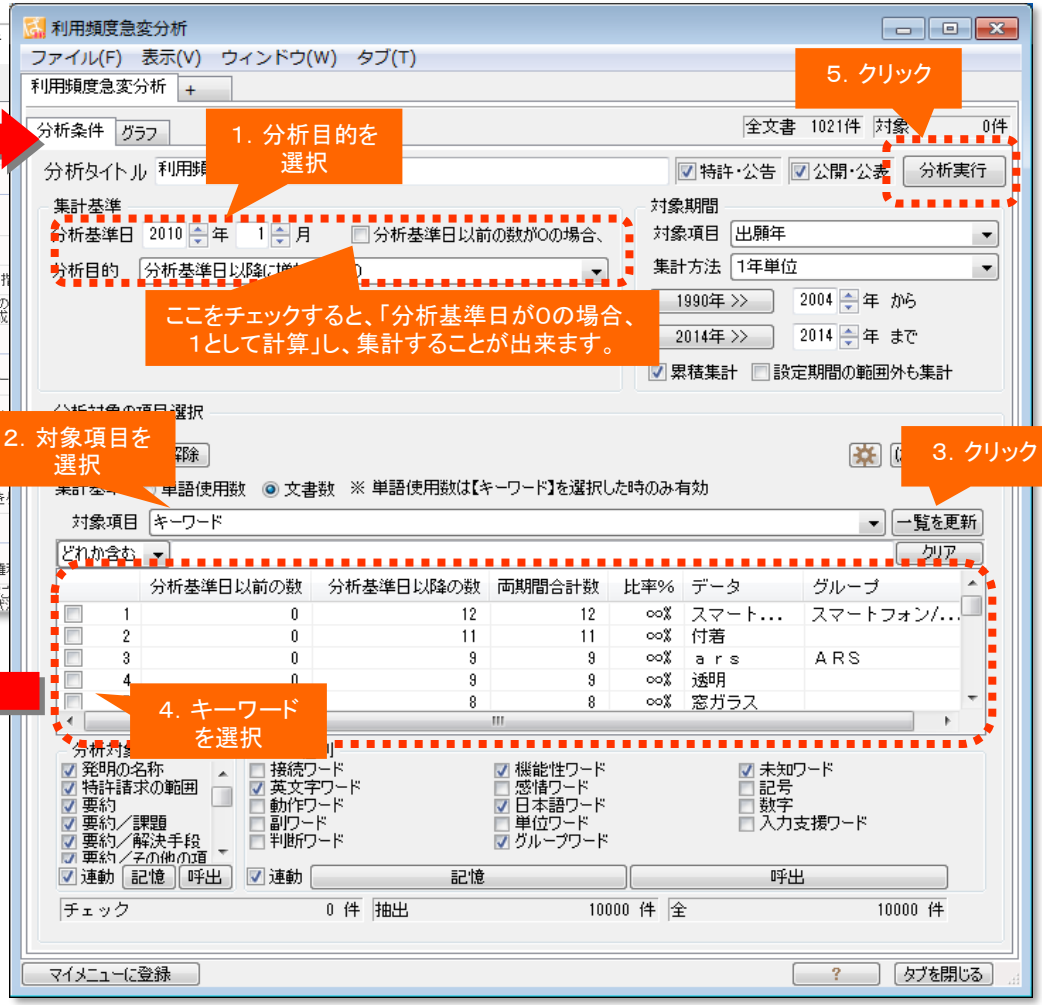
分析基準日以降に急に出現してきたキーワード
を一覧表示してグラフ作成

利用頻度急変分析

プルダウンでグラフ
の種類を変更可能



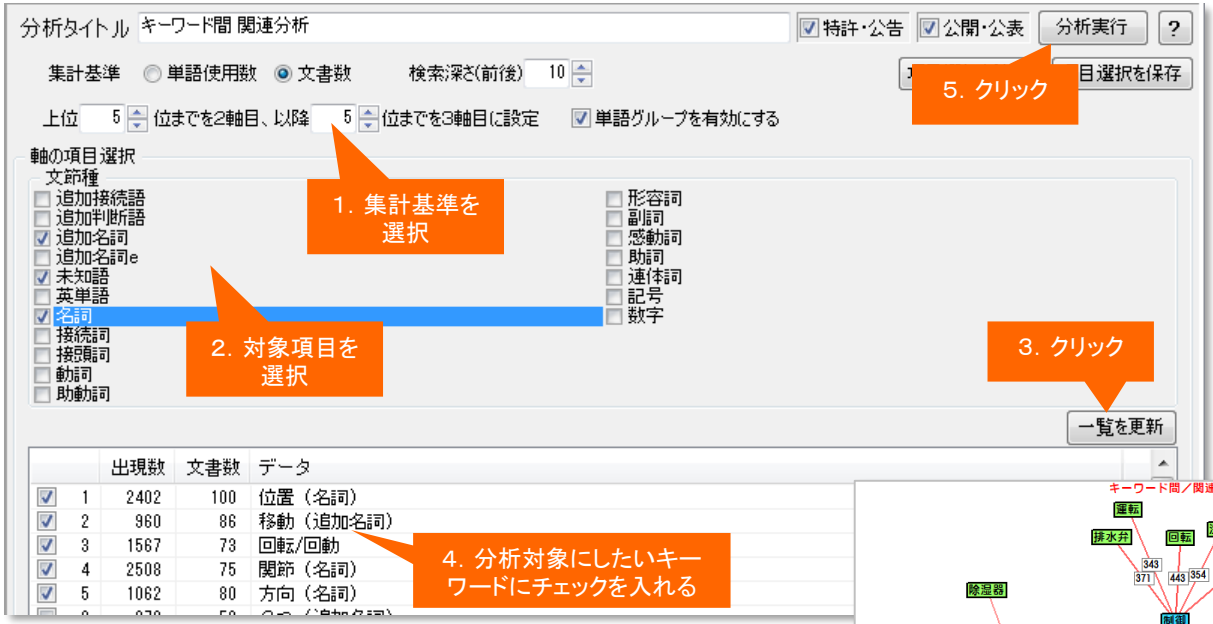




戦略分析（2）

キーワード間 関連分析

メインワードと同時に出現するワードの関連がひと目で分かる！



1. 集計基準を選択します。
『検索深さ』・・・メインワードの前後何単語までを抽出範囲にするかを設定することができます。
『上位5位まで』・・・各メインワードごとに、メインワードと一緒に出現する頻度の高いキーワードの内、上位何位までを2軸目にするかを設定することができます。
『以降5位まで』・・・各メインワードごとに、メインワードと一緒に出現する頻度の高いキーワードの内、2軸目に該当するキーワード以外で、何位までを3軸目にするかを設定することができます。
2. ワード種別を選択します。
3. ［一覧を更新］をクリックします。
4. 分析対象としたいキーワードを選択し、チェックを入れます。
5. ［分析実行］をクリックします。

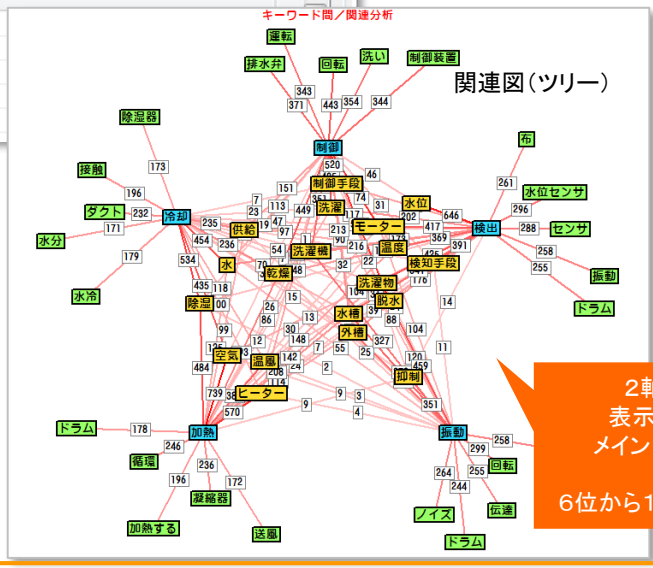
位置 ・・・メインキーワード（1軸目）は青色で表示され、環状に配置されます。

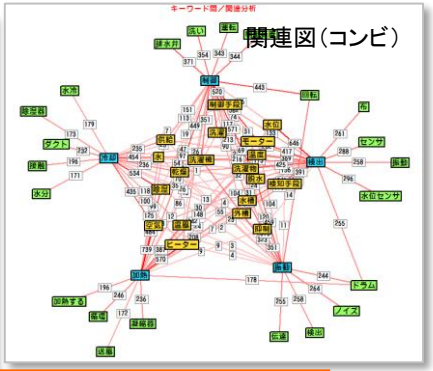
姿勢 ・・・上位キーワード（2軸目）は黄色く表示され、メインキーワードの内側に配置されます。

配置 ・・・下位キーワード（3軸目）は緑色で表示され、メインキーワードごとに展開されます。

デフォルトではグラフの種類が「関連図（ツリー）」で表示されます。

「関連図（コンビ）」を選択すると、下位キーワード（3軸目）は、メインキーワードごとに展開されず、複数のメインキーワードの関連を含めた図になります。



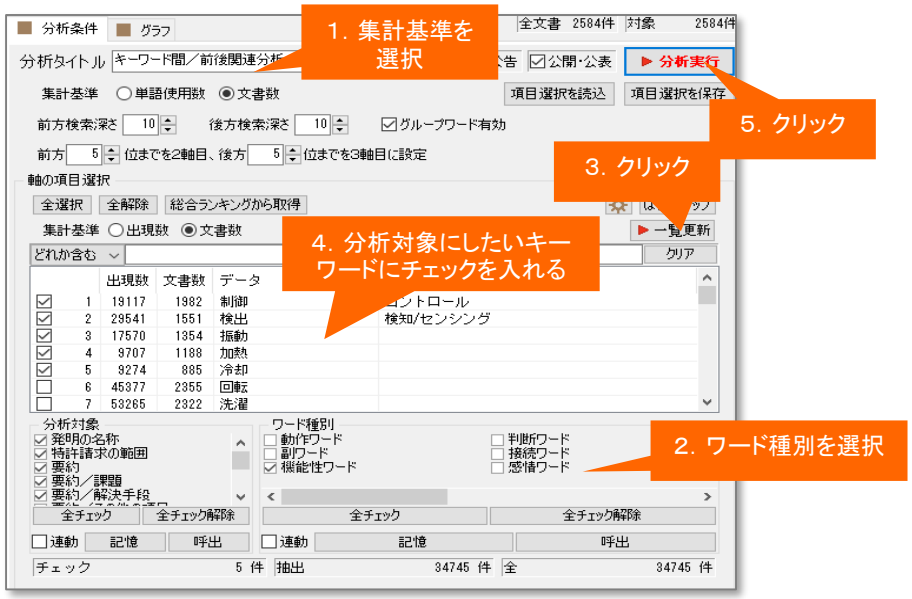


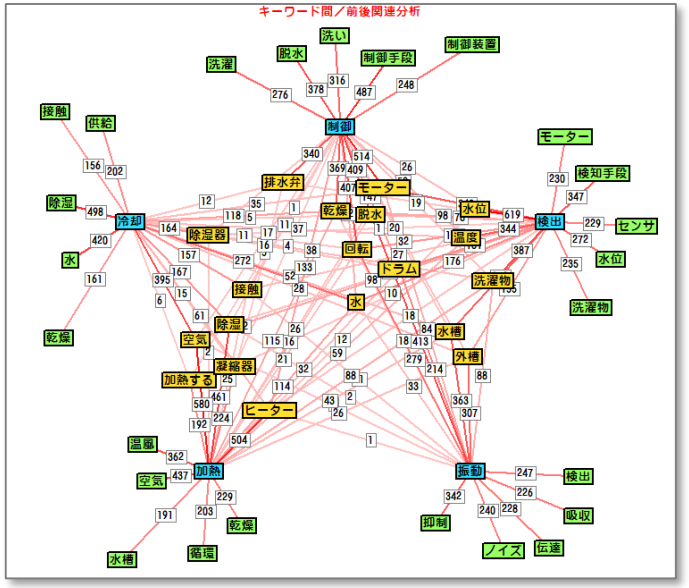
※ 内側のワードは複数のメインワードに該当した場合、1つのノードで表示されます。

戦略分析（3）

キーワード間 前後関連分析

メインワードの前後によく出てくるワードの関連図が簡単に作成できる！





1. 集計基準を選択します。
2. 前方キー、メインキー、後方キーそれぞれのワード種別を選択します。
3. [一覧を更新]をクリックします。
4. 分析対象としたいキーワードを選択し、チェックを入れます。
5. [分析実行]をクリックします。

位置 ・・・メインワード（1軸目）は青色で表示され、環状に配置されます。

姿勢 ・・・前方ワード（2軸目）は黄色く表示され、メインワードの内側に配置されます。

配置 ・・・後方ワード（3軸目）は緑色で表示され、メインワードごとに展開されます。

『検索深さ』・・・メインキーワードの前後何単語までを抽出範囲にするかを設定することができます。

検索深さを「0」にすると、メインキーワードの前後に隣接している単語を抽出します。
「10」にすると、メインキーワードの前後それぞれ11単語までを分析対象とします。

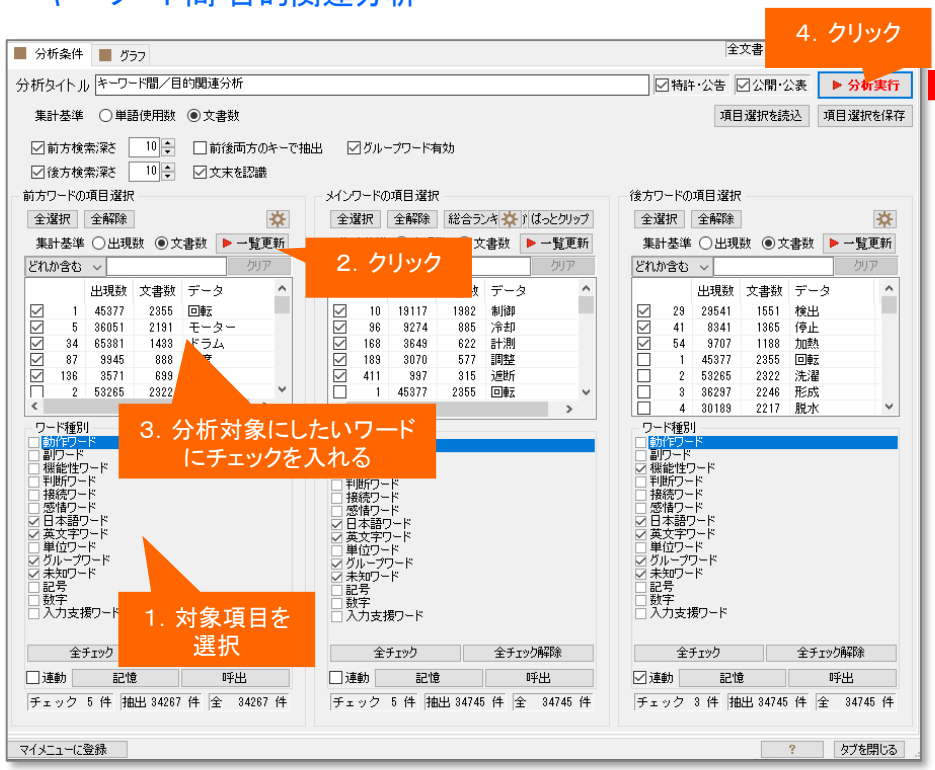
『前方5位まで』・・・各メインキーワードごとに、メインキーワードの前に出現する頻度の高いキーワードの内、上位何位までを2軸目にするかを設定することができます。

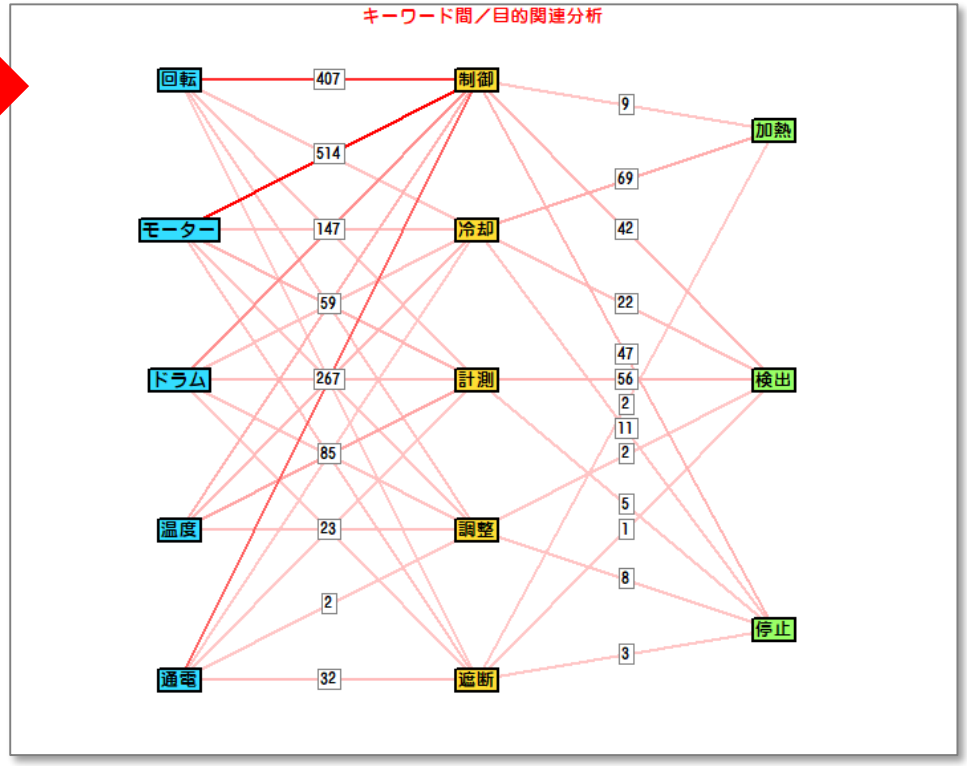
『後方5位まで』・・・各メインキーワードごとに、メインキーワードの後方に出現する頻度の高いキーワードの何位までを3軸目にするかを設定することができます。

デフォルトではグラフの種類が「関連図（ツリー）」で表示されます。
「関連図（コンビ）」を選択すると、後方ワード（3軸目）は、メインワードごとに展開されず、複数のメインワードの関連を含めた図になります。

戦略分析(4)

キーワード間 目的関連分析





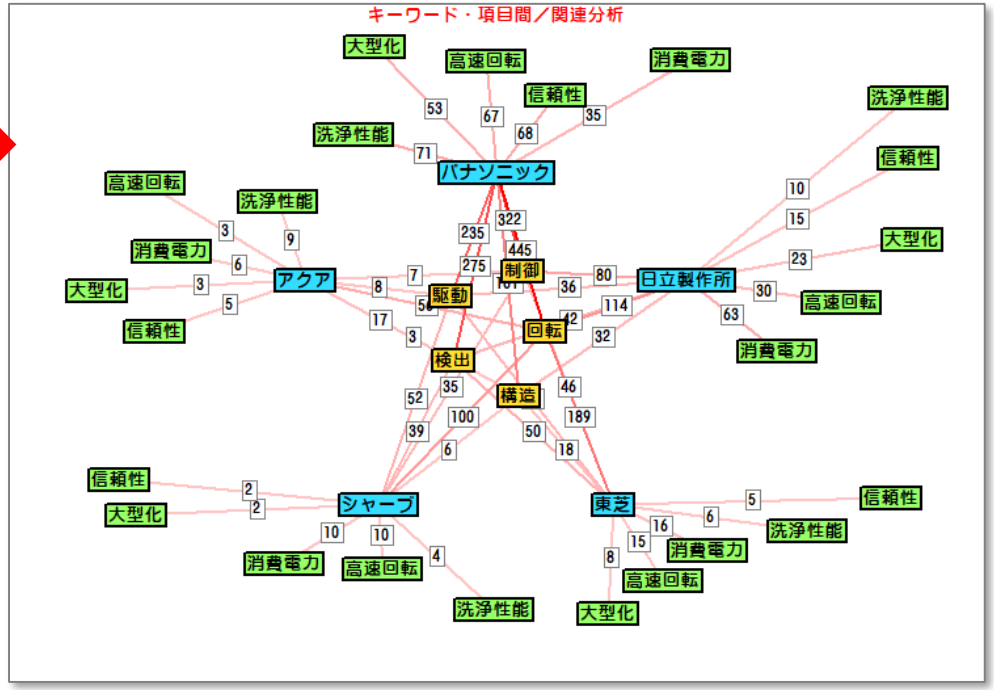
1. 集計基準を選択します。
2. 前方キー、メインキー、後方キーそれぞれのワード種別を選択します。
3. それぞれの［一覧を更新］をクリックします。
4. 分析対象としたいキーワードを選択し、チェックを入れます。
5. 検索深さを設定します。
6. ［分析実行］をクリックします。

たとえば、「○○を、××して、△△する」というような表現が、当該分野にどれくらい出てくるのかを、簡単にビジュアル化することができます。

ラベルをクリックすると『グラフ内文書一覧』が表示されます。

戦略分析（5）

キーワード・項目間　関連分析



1. 集計基準を選択します。
2. 分析対象の項目を選択します。
3. 前方キー、後方キーそれぞれの分析対象・ワード種別を選択します。
4. それぞれの［一覧を更新］をクリックします。
5. 分析対象としたいキーワード等を選択し、チェックを入れます。
6. ［分析実行］をクリックします。

たとえば出願人を分析対象とし、前方キーに技術分野、後方キーに課題に関するキーワードを選択すると、当該分野における企業ごとの開発・出願傾向を読み取ることができます。

戦略分析（6）

時系列項目分析

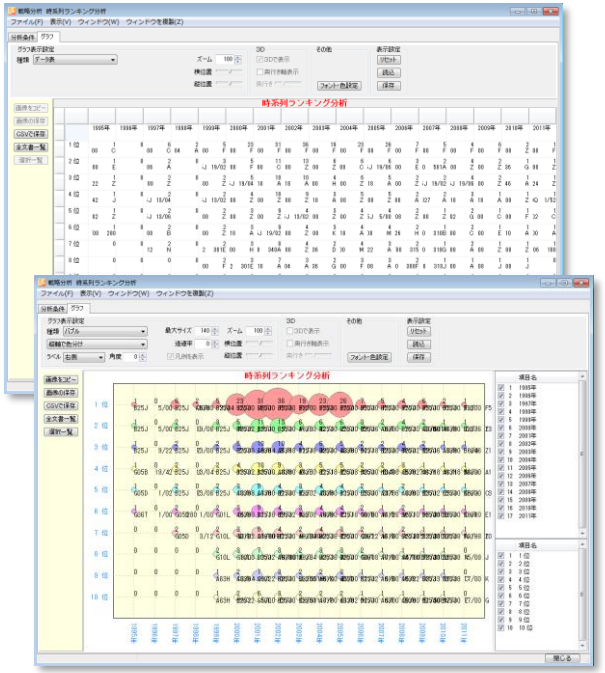
分析対象の項目と、キーワードを選択すると、出願時期（または公開時期、登録時期）を軸にグラフを作成します。どの出願者がどの時期にどのキーワードを使っているかを、簡単にビジュアル化することができます。

1. 対象項目を選択します。（対象項目となるのは、「出願年」「公開年」「登録年」です。）
2. 集計方法（横軸の単位）を選択します。
   ※ 「10年単位」「5年単位」「3年単位」「2年単位」「1年単位」
   …年単位で変化を見ます。
   ※ 「6ヶ月単位」「3ヶ月単位」「2ヶ月単位」 「1ヶ月単位」
   …月単位で集計します。
   ※ 「月別1ヶ月単位」
   …データが複数年にまたがっていても、月別に合算して集計します。
3. 描画期間を設定します。
4. 分析対象項目を選択します。
5. 分析対象項目の〔 一覧を更新〕をクリックします。
6. 分析対象としたい項目にチェックを入れます。
7. 対象キーワードの対象項目を選択します。
8. 〔一覧を更新〕をクリックします。
9. 重要そうなキーワードにチェックを入れます。
10. 〔分析実行〕をクリックします。

戦略分析（7）

時系列ランキング分析

年月を軸にした、2軸の時系列ランキングを一覧表示できます。



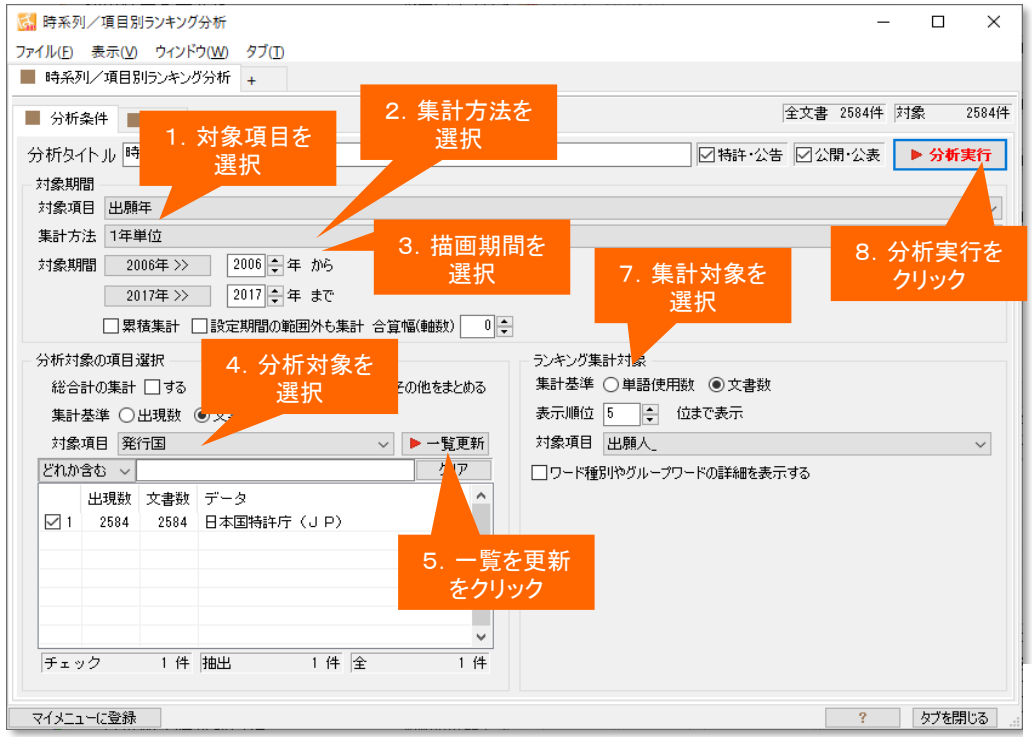
1. 対象項目を選択します。（対象項目となるのは、「出願年」「公開年」「登録年」です。）
2. 集計方法を選択します。
   ※「10年単位」「5年単位」「3年単位」「2年単位」「1年単位」…年単位で変化を見ます。
   ※「6ヶ月単位」「3ヶ月単位」「2ヶ月単位」「1ヶ月単位」…月単位で集計します。
   ※「月別1ヶ月単位」…データが複数年にまたがっていても、月別に合算して集計します。
3. 描画期間を設定します。
4. ランキング集計対象を選択します。
5. 分析対象項目を選択します。
6. 〔分析実行〕をクリックします。

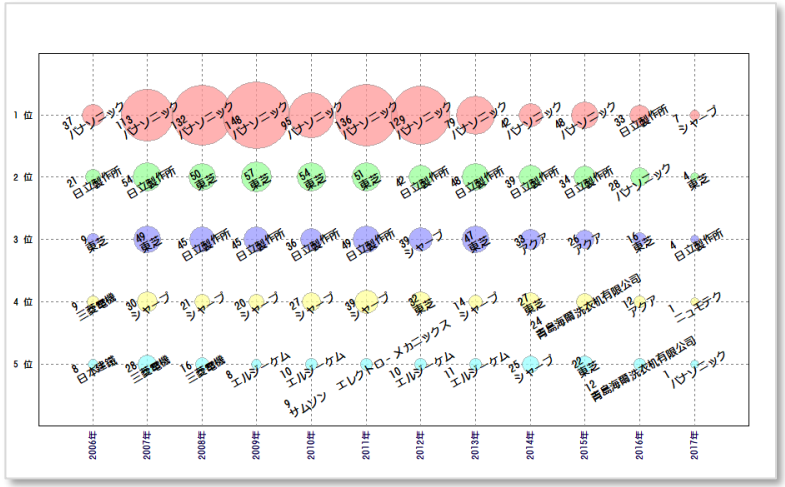
※ 分析対象が多い場合は、分析に時間がかかる場合があります。

戦略分析（8）

時系列項目別ランキング分析

年月を軸にした、3軸の時系列ランキングを項目別に一覧表示できます。



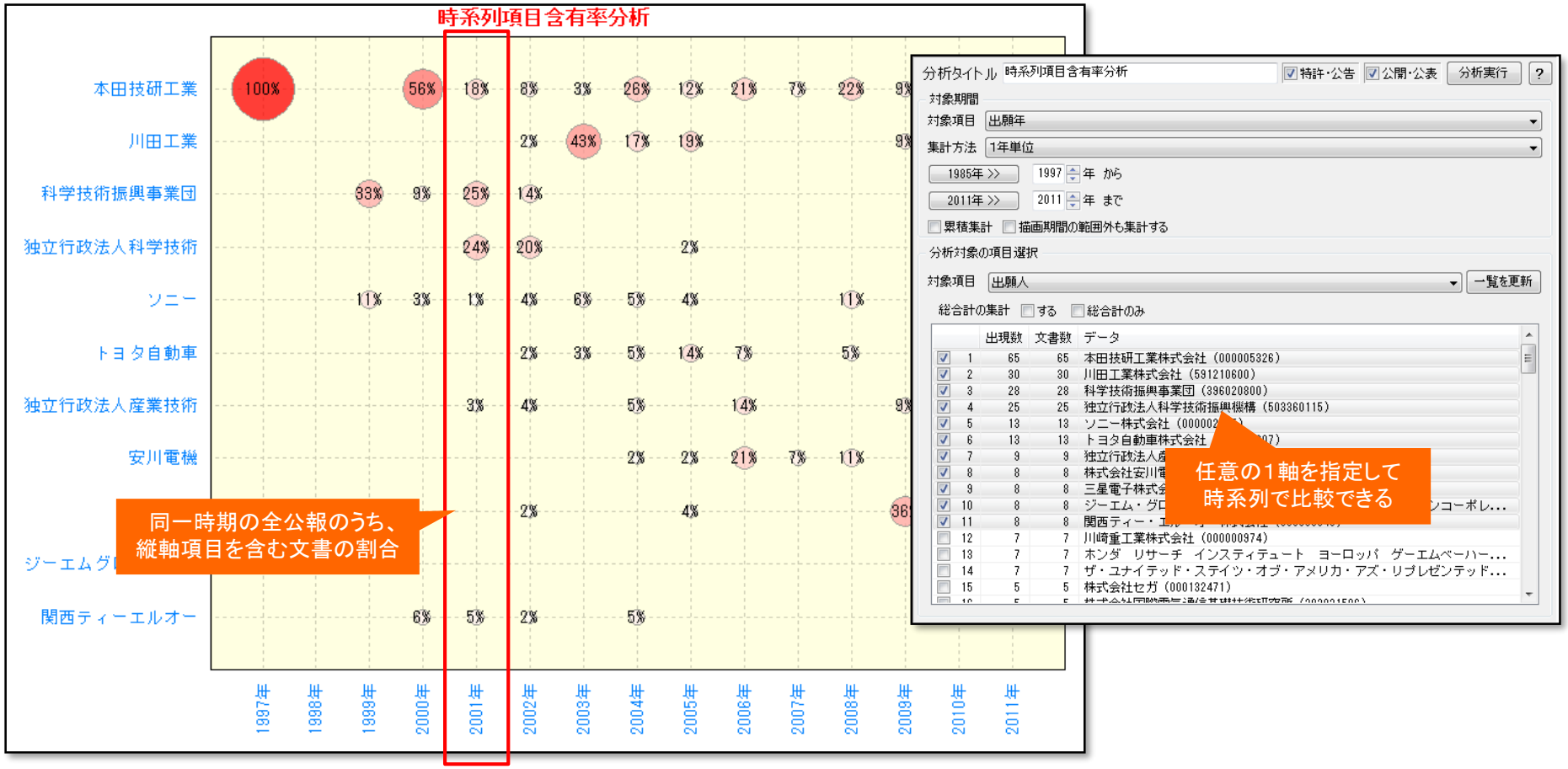


1. 対象項目を選択します。（対象項目となるのは、「出願年」「公開年」「登録年」です。）
2. 集計方法を選択します。
   ※　「10年単位」「5年単位」「3年単位」「2年単位」「1年単位」…年単位で変化を見ます。
   ※　「6ヶ月単位」「3ヶ月単位」「2ヶ月単位」「1ヶ月単位」…月単位で集計します。
   ※　「月別1ヶ月単位」…データが複数年にまたがっていても、月別に合算して集計します。
3. 描画期間を設定します。
4. 分析対象項目を選択します。
   ※　「総合計を集計する」にチェックを入れると、個別の分析対象とは別に、分析対象となる文書の合計ランキングが表示されます。
5. 分析対象項目の〔一覧を更新〕をクリックします。
6. 分析対象としたい項目にチェックを入れます。
7. ランキング集計対象項目を選択します。
8. 〔分析実行〕をクリックします。

※　分析対象が多い場合は、分析に時間がかかる場合があります。

戦略分析（9）

時系列項目含有率分析

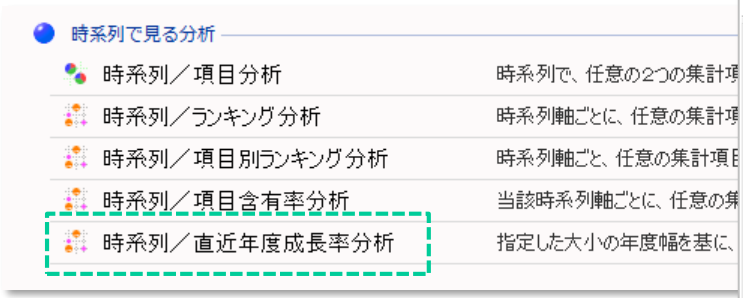


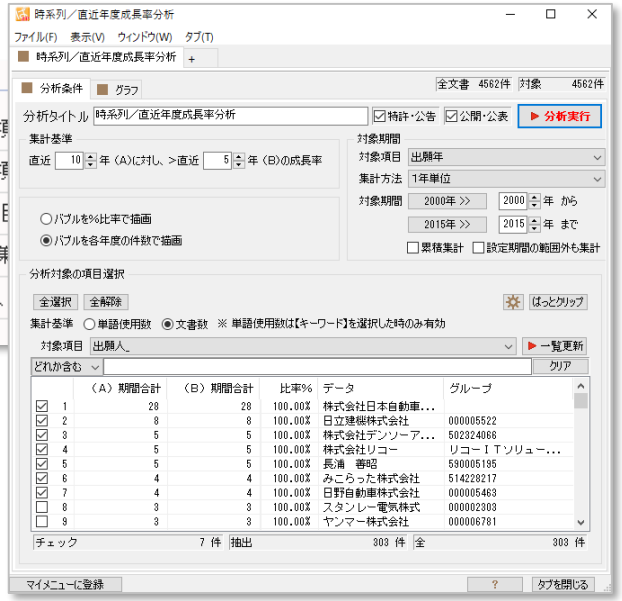
時系列＋任意の１軸
例：ある出願年に含まれる全公報のうち、ある出願人の公報の占める数を割合で表示できます。

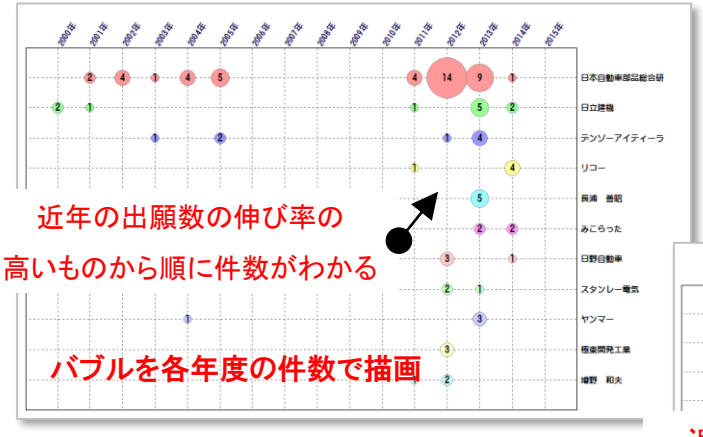
※ 分析対象が多い場合は、分析に時間がかかる場合があります。

戦略分析（10）

時系列　直近年度成長率分析



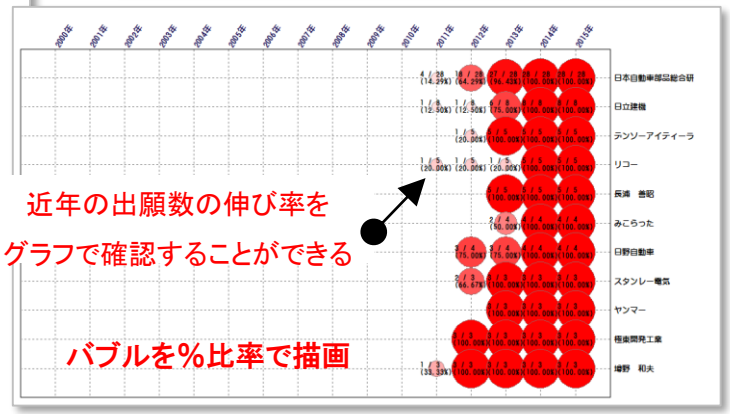




近年の出願数の伸び率の
高いものから順に件数がわかる

バブルを各年度の件数で描画

例えば、対象期間が2014年までになっておりますと、
直近1年は2014年、直近9年は2014年を含む
過去9年となります。



近年の出願数の伸び率を
グラフで確認することができる

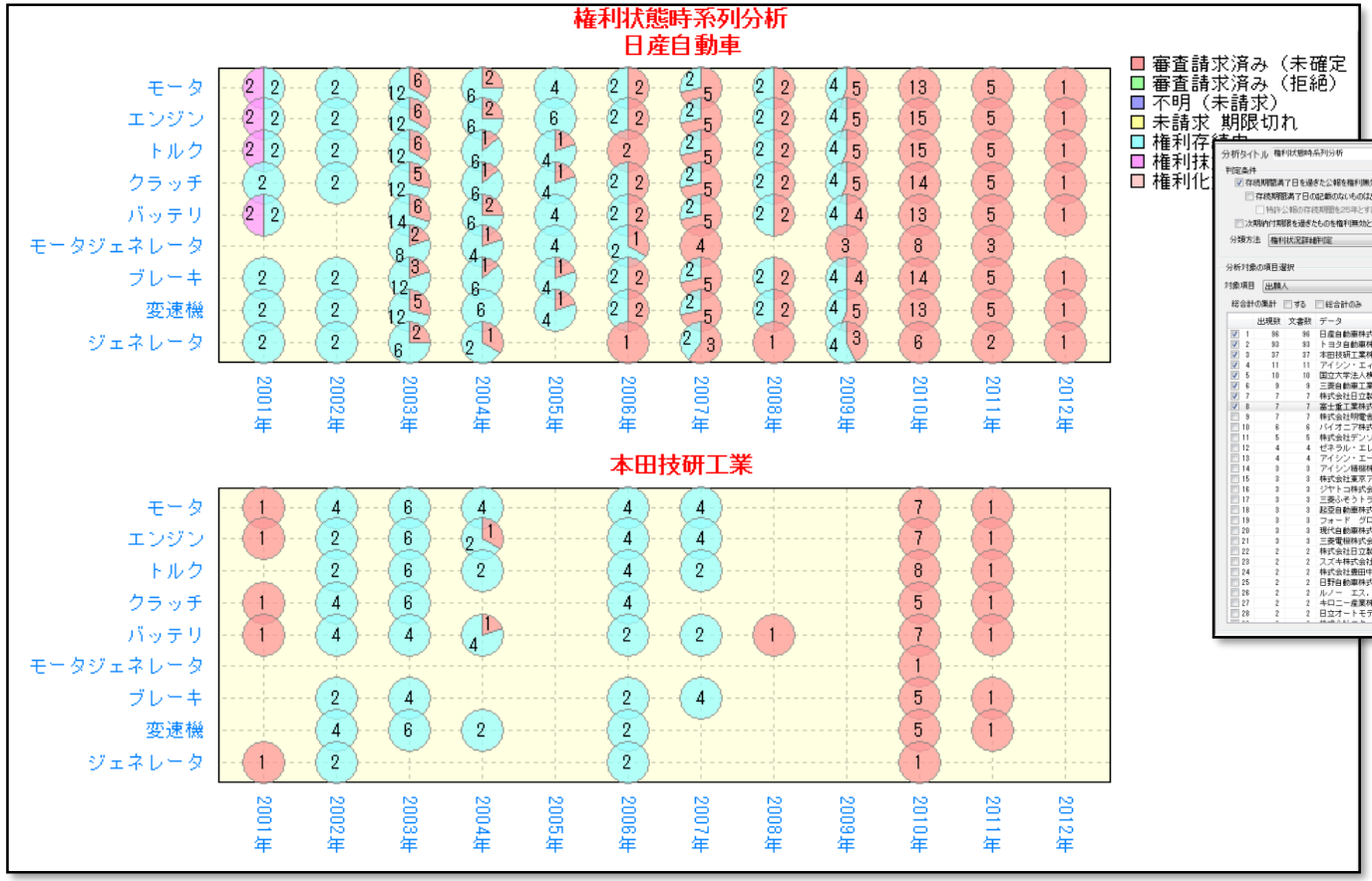
バブルを%比率で描画

1. 対象項目への出願数が、近年に至ってどれくらい伸びているかを比率で表示する機能です。
2. たとえば、直近10年（A）の出願数合計と、直近3年（B）の出願数合計を比較し、B／Aを%で表示します。「比率%」が大きいほど、近年の出願数が伸びている（成長率が高い）と考えることができます。
3. 時系列／直近年度成長率分析は以下の手順で利用できます。
   - 対象項目を、「出願年」「公開年」「登録年」などから選択し、「一覧を更新」をクリックします。
   - 「直近＊＊年（A）に対し、＞直近＊＊年（B）の成長率」の＊＊の年数を設定します。
   - 「一覧を更新」をクリックすると、成長率（比率%）の高いデータから順に一覧表示されます。
   - 一覧の中から、気になる項目にチェックを入れ、「分析実行」をクリックすると、成長率のグラフが表示されます。
4. グラフのラベルには、その時点でのB／A、比率%が表示されます。
5. 当該分野に、近年になって参入してきている出願人や、近年に新しく広がった利用用途、近年に導入された技術などを分析／抽出することができます。

戦略分析（11）

権利状態時系列分析

経過情報をフルに活用して、出願人別や分野別に、権利状態の推移を比較する！



任意の2軸と権利状態が時系列で比較できる

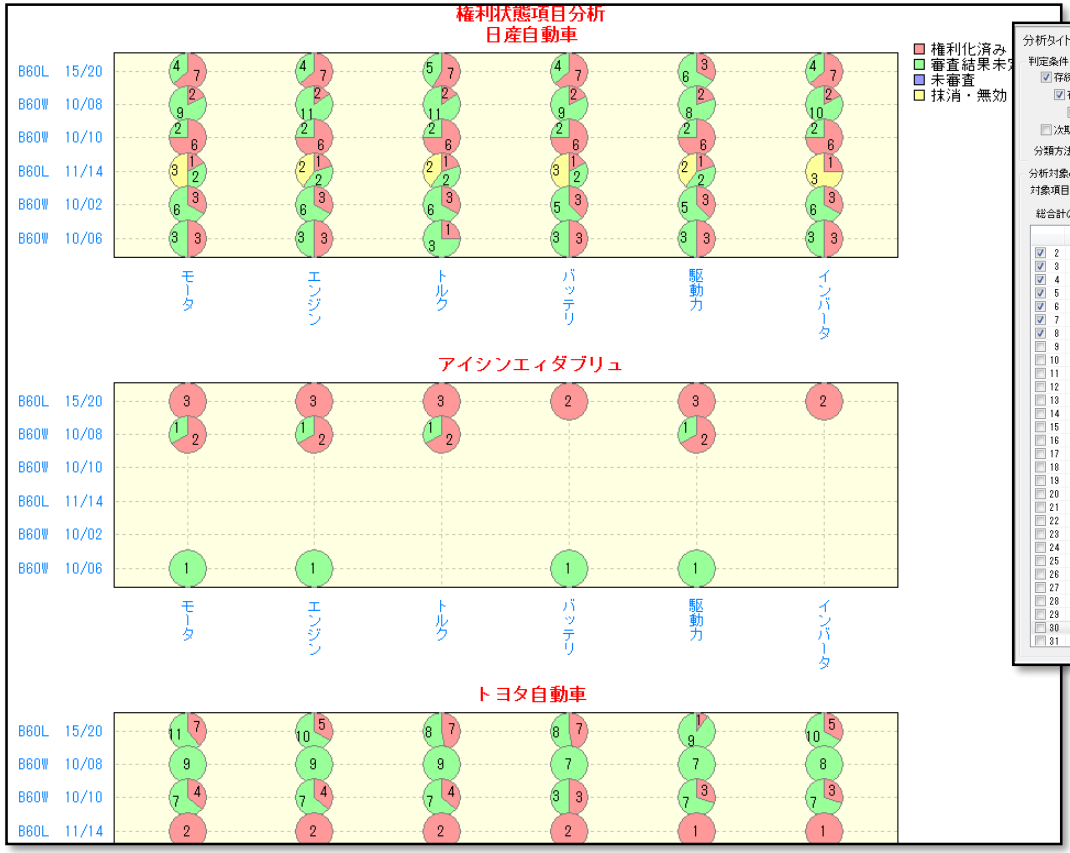
※　JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

任意の2軸＋時系列＋権利状態
例：あるキーワードが利用されている公報について、企業毎・時系列に、権利状態を確認することができます。

戦略分析（12）

権利状態項目分析

任意の項目を選択して、様々な切り口から権利状態を比較！



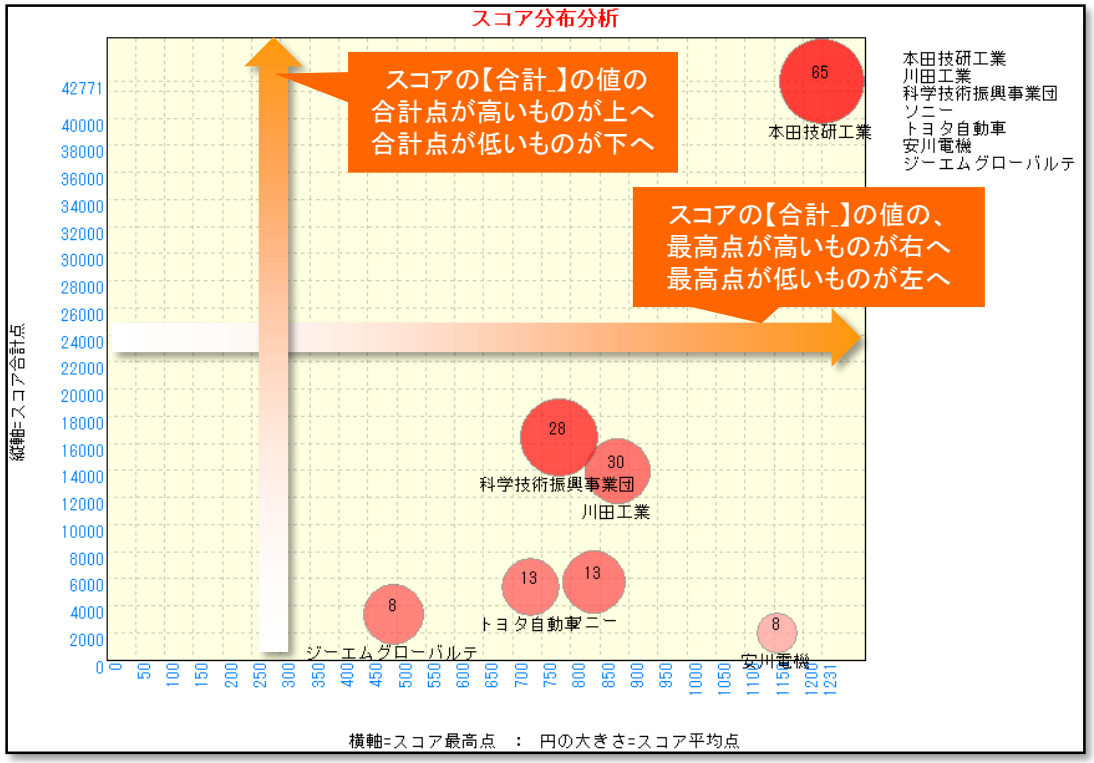
※　JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

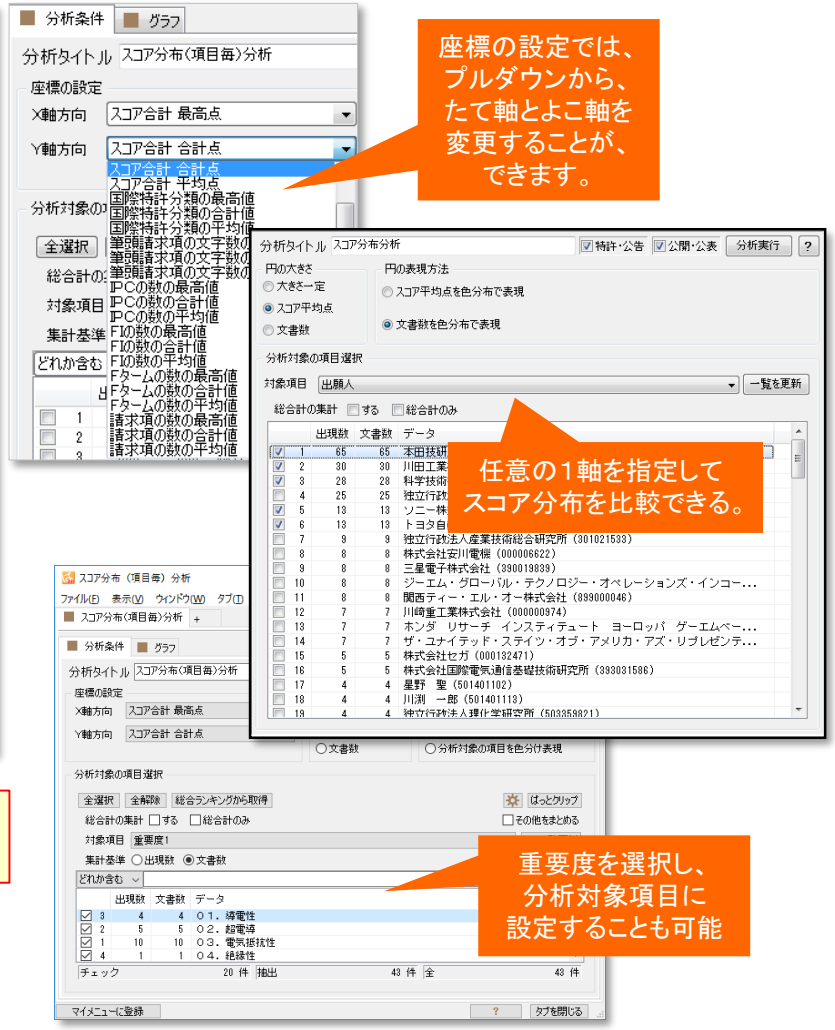
任意の3軸＋権利状態
例：あるIPCコードが利用されており、かつ、あるキーワードが利用されている公報について、企業毎に、権利状態を確認する。権利状態を、バブルグラフに、さらに円比率グラフにて表示できます。

戦略分析（13）

スコア分布（項目毎）分析

文書スコアの傾向が一目瞭然！





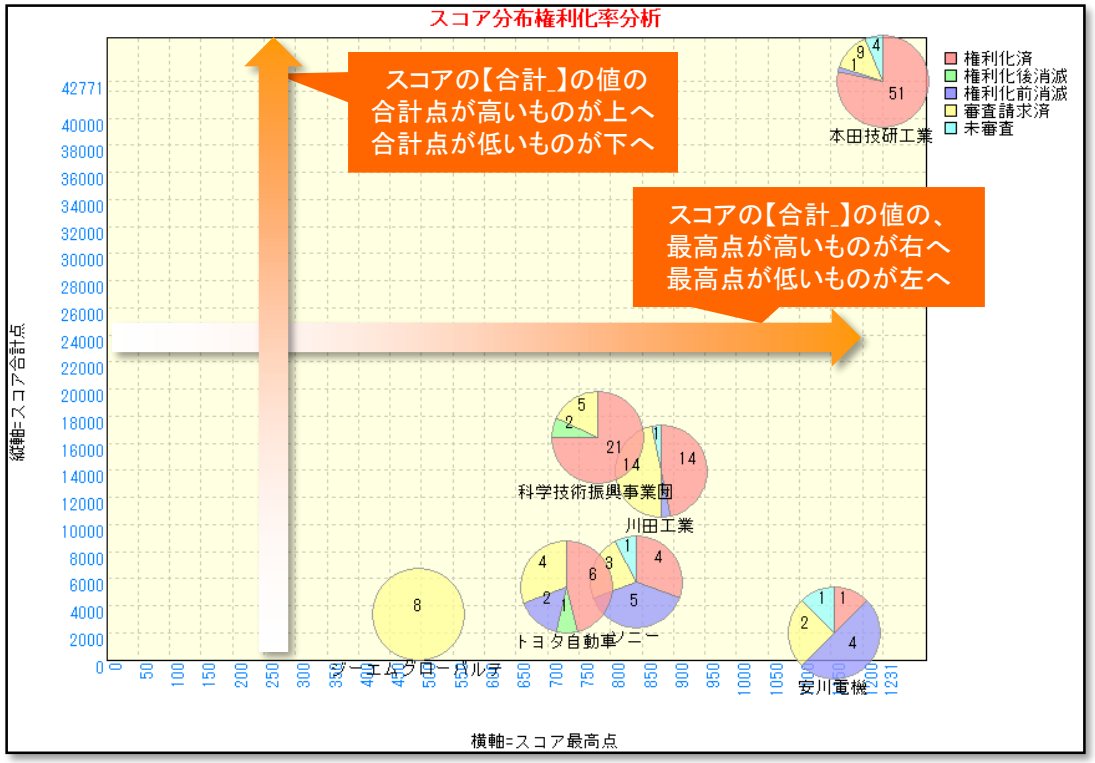
この分析のグラフ表現は分布図となっており、スコア値に基づいて縦横の位置が変化するため、
似たスコアのものが複数ある場合には円が重なって描画されます。

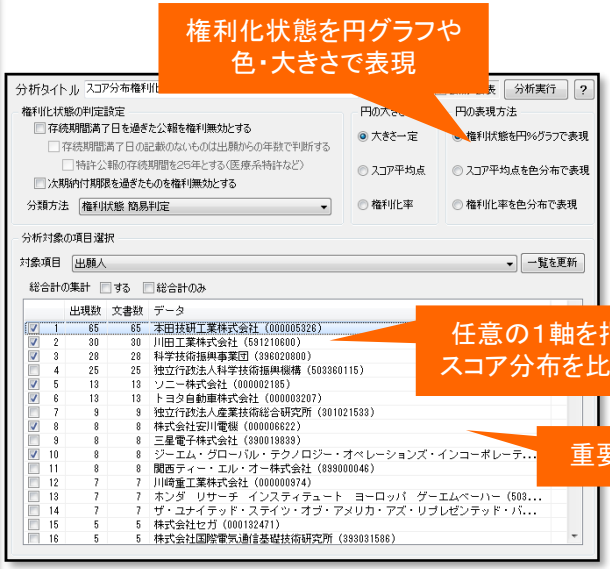
任意の1軸
例：出願人ごとの全公報トータルでのスコア合計の分布を表示できます。

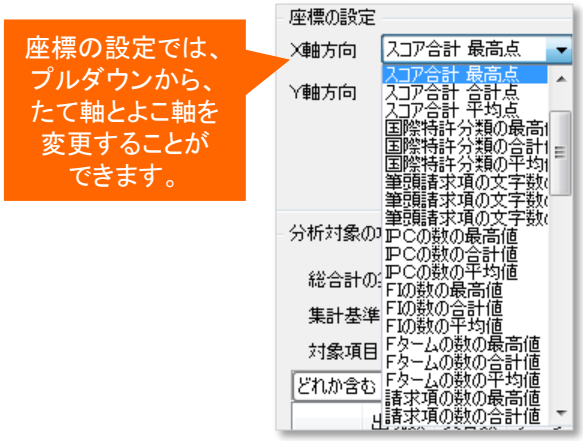
戦略分析（14）

スコア分布（項目毎）／権利化率分析

文書スコアの傾向に加えて、権利化の状況も把握できる！





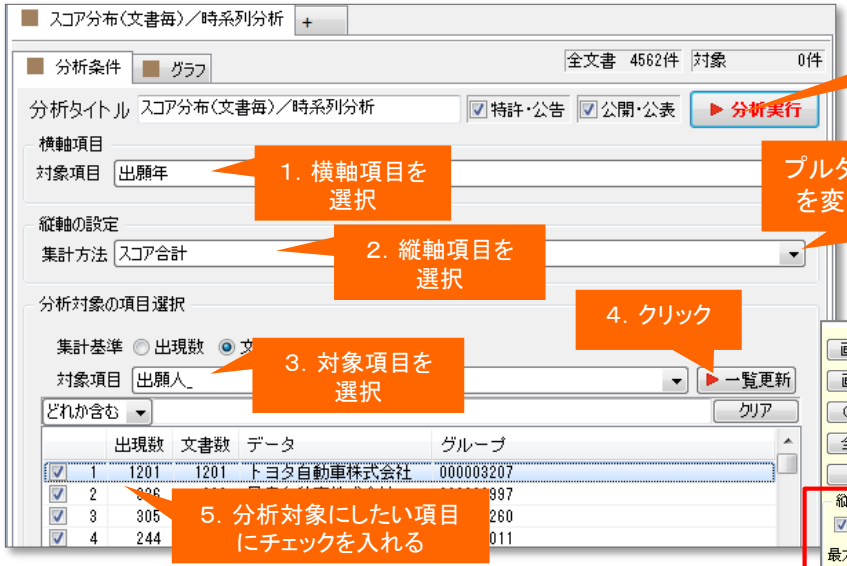


この分析のグラフ表現は分布図となっており、スコア値に基づいて縦横の位置が変化するため、
似たスコアのものが複数ある場合には円が重なって描画されます。

任意の1軸＋権利化状態
例：出願人ごとの全公報トータルでのスコア合計の分布と共に、権利化状態を円グラフで表示できます。

戦略分析（15）

スコア分布（文書毎）／時系列分析



1. 横軸項目（出願年・公開年・登録年）を選択します。
2. 対象項目（キーワード・出願人・分類コードなど）を選択します。
3. ［一覧を更新］をクリックします。
4. 分析対象としたい項目を選択し、チェックを入れます。
5. ［分析実行］をクリックします。

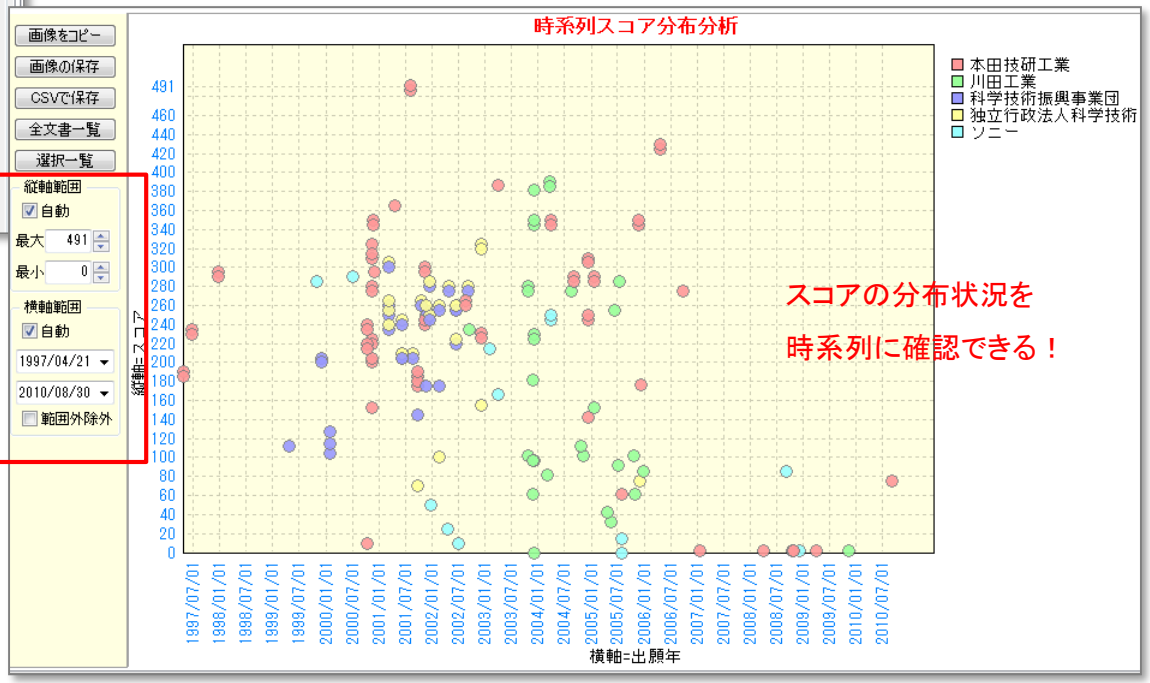
※ 「縦軸範囲」「横軸範囲」を手動で選択することができます。

※ 範囲を縮小した際にバブルが枠からはみ出す場合は、「範囲外除外」にチェックを入れると、はみ出したバブルを非表示にします。

※ 年月日に基づいてバブルが描画されるため、横軸の項目名の垂線上にバブルが位置するとは限りません。

スコアの分布状況を時系列で確認

- スコアの【合計】に基づいた、時系列のスコア分布図が作成できます。
- どれぐらいのスコアを持つ公報が、いつ頃に分布しているかがすぐに分かります。
- ひとつのバブルがひとつの公報を意味します。
- 重要度を分析対象項目に設定することもできます。

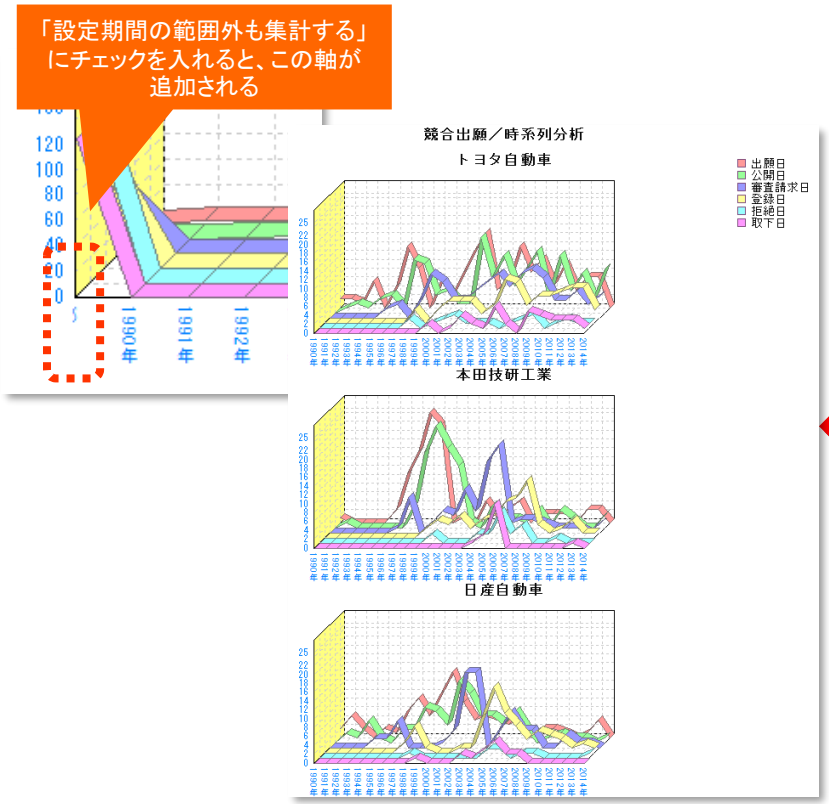


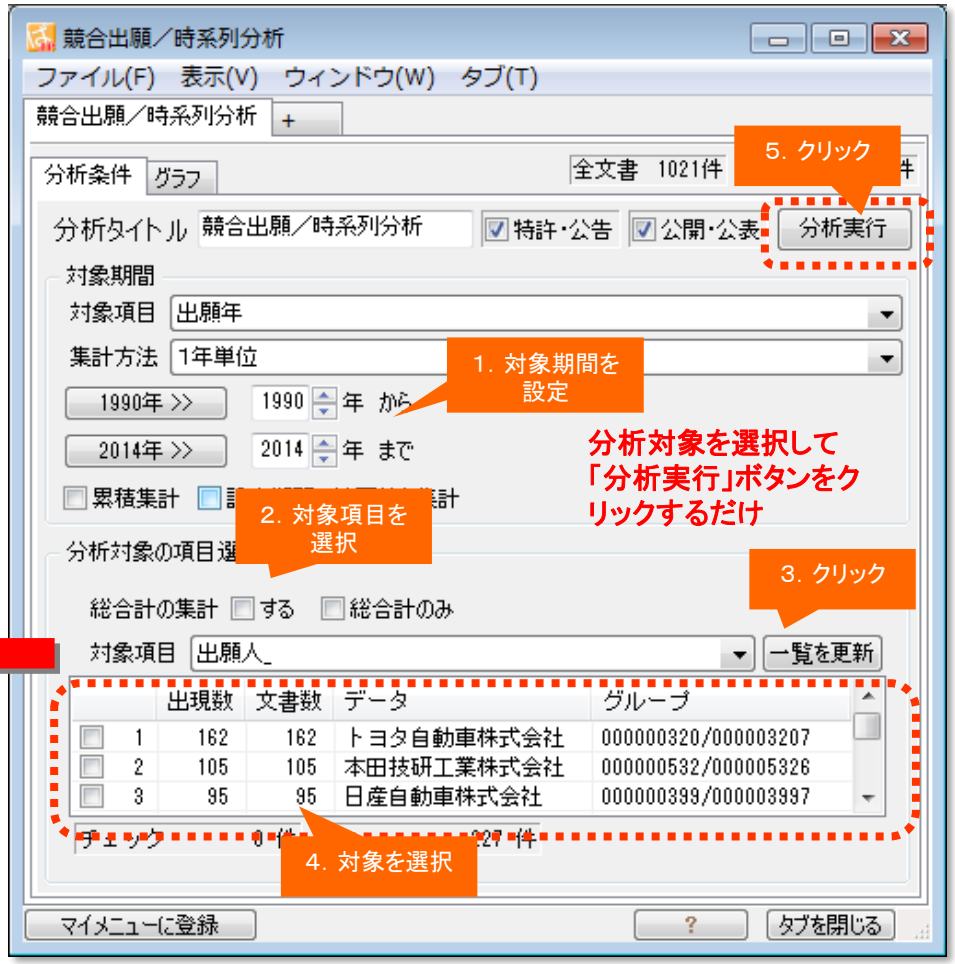
戦略分析（16）

競合出願時系列分析

知財戦略、経営戦略に直結したワンクリック分析！

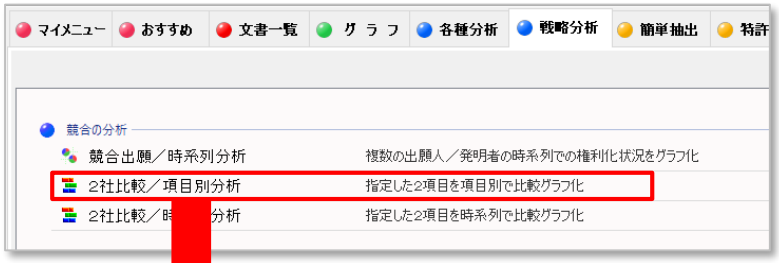
- ワンクリックで、競合他社の傾向をクローズアップすることができる分析機能です。

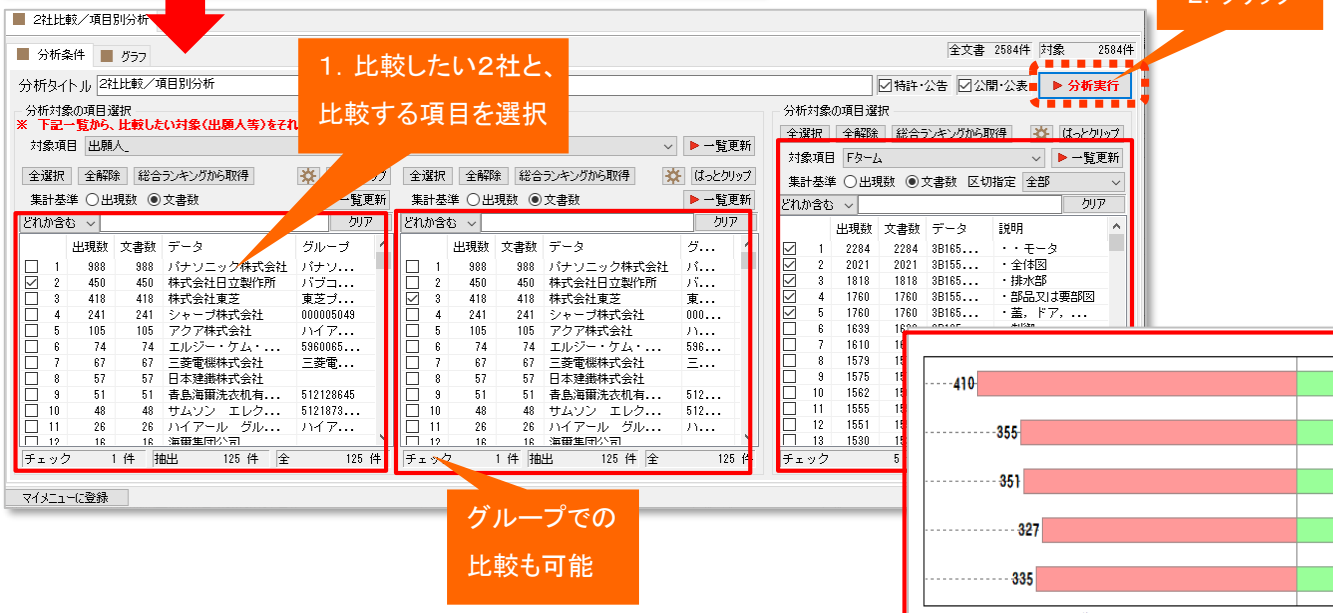


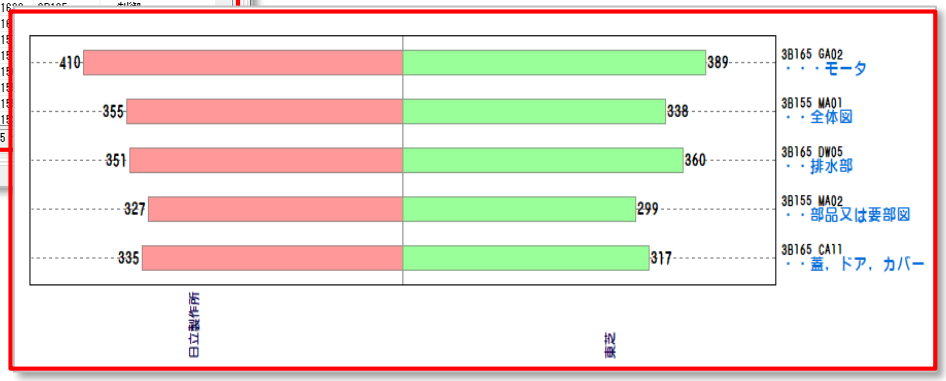


戦略分析（17）

2社比較項目別分析







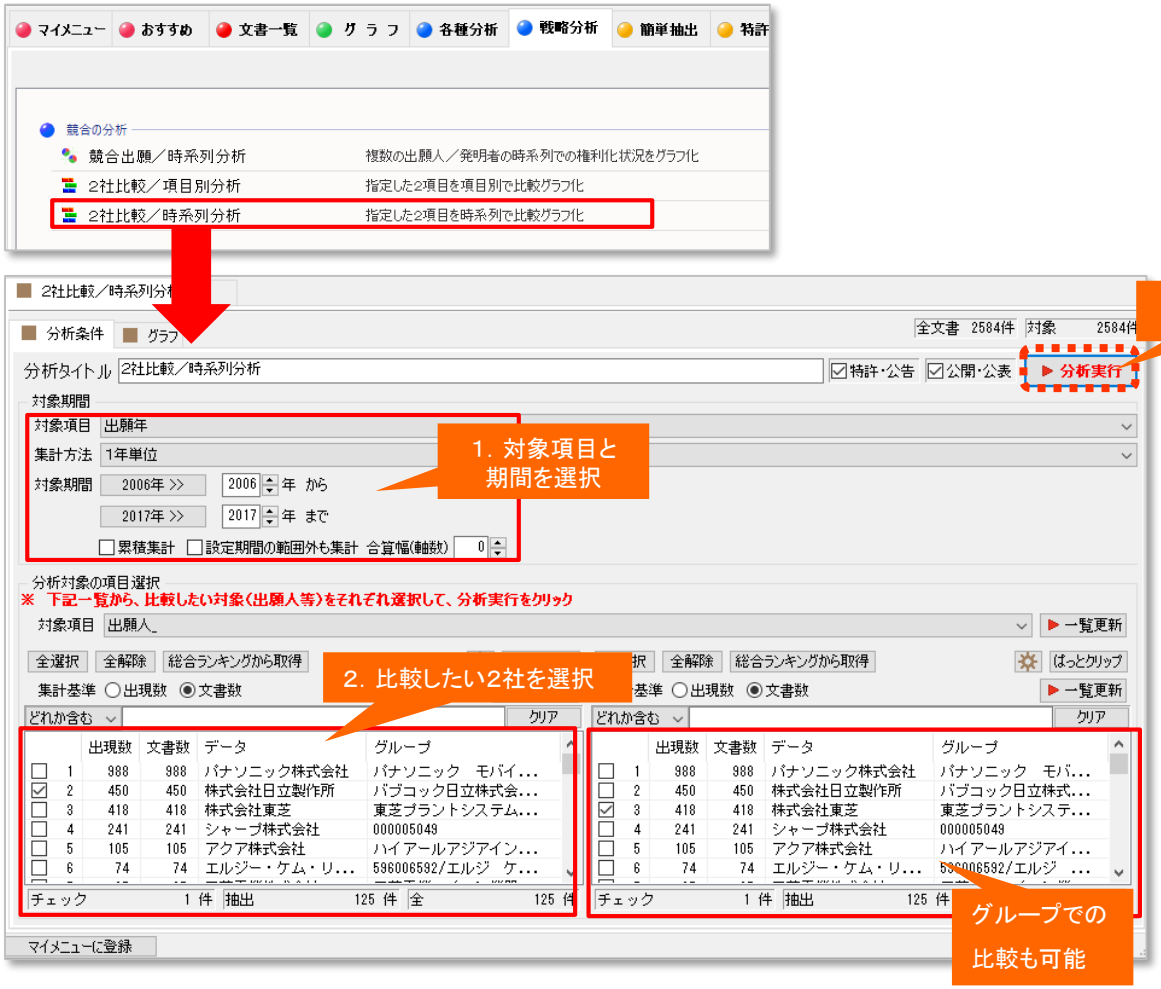
1. 2社を選択して、バタフライグラフで比較表示する分析です。出願人以外にも、発明者や権利人、代理人、重要度、など、比較対象を選択することができます。

2. 「2社比較／項目別分析」では、FタームやFI、IPC、テーマコード、ステータス情報など様々な項目を、選択可能です。

3. グループでの比較も可能。

戦略分析（18）

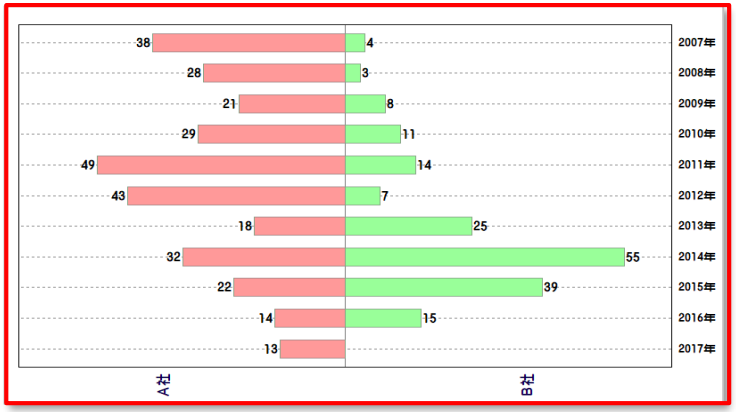
2社比較時系列分析



1. 2社を選択して、バタフライグラフで比較表示する分析です。出願人以外にも、発明者や権利人、代理人、重要度、など、比較対象を選択することができます。

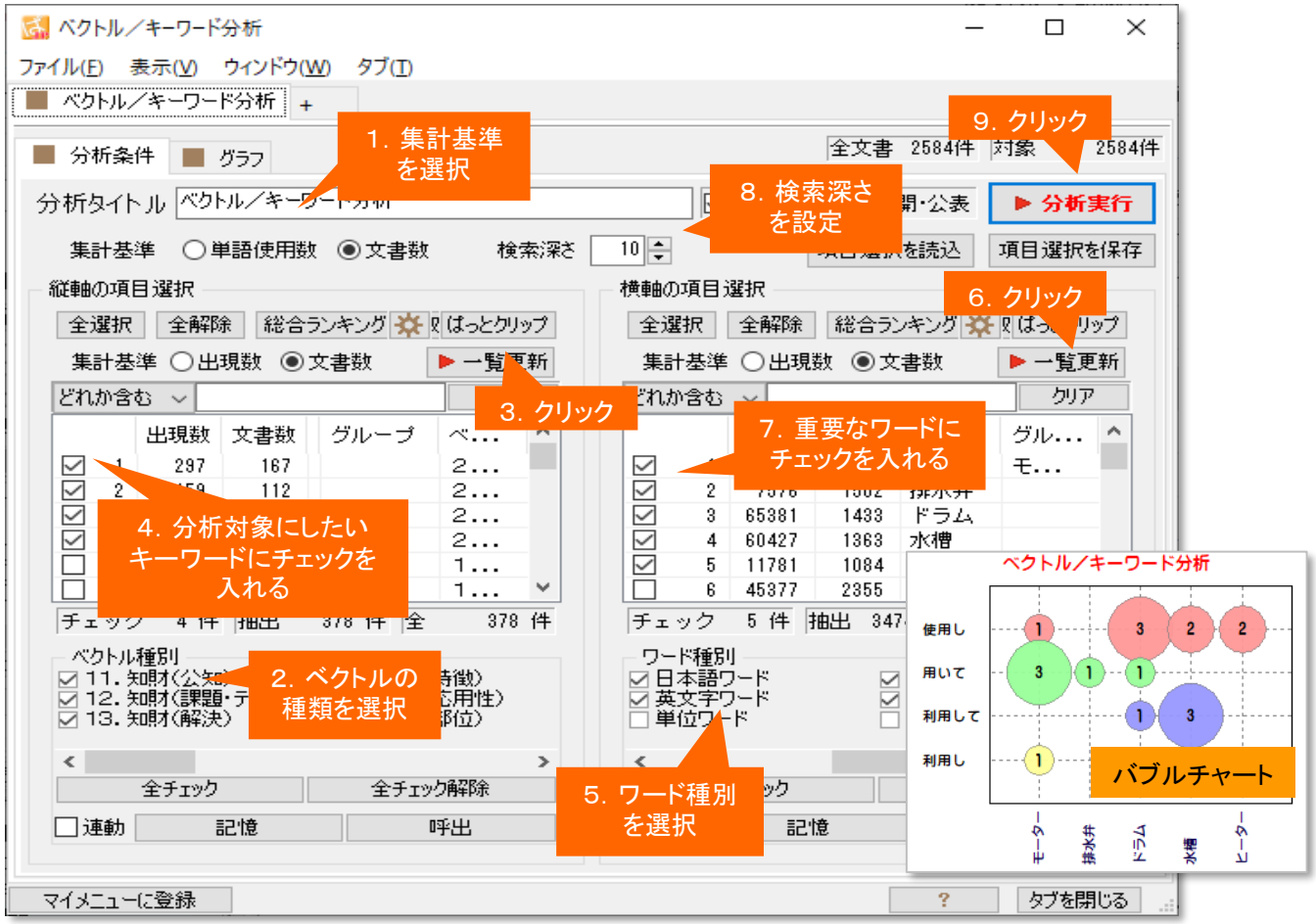
2. 「2社比較／時系列分析」では、出願年、公開年、登録年、審査請求日など各年月を、選択可能です。描画期間を設定します。

3. グループでの比較も可能



戦略分析（19）

ベクトル／キーワード分析



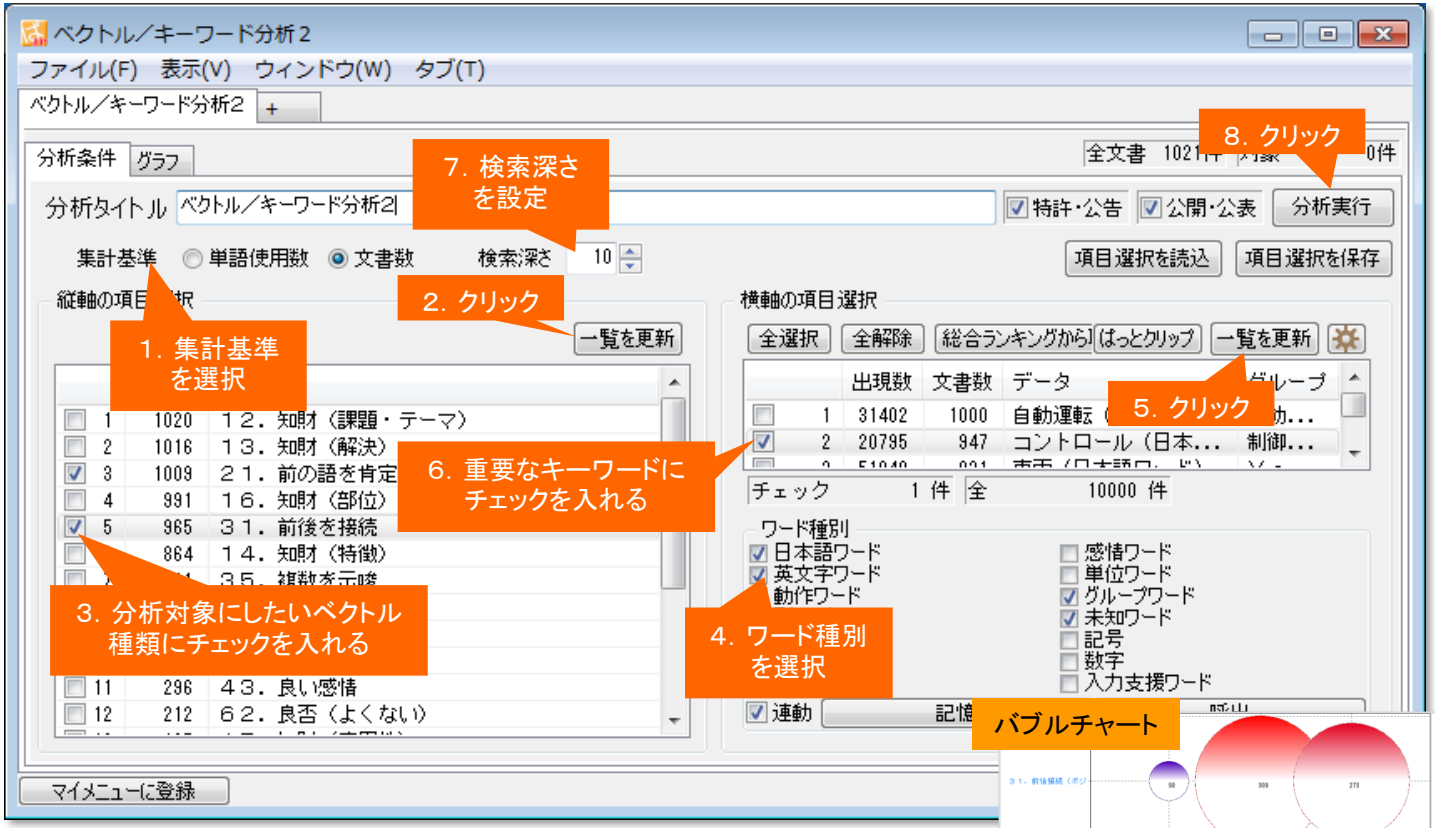
1. 集計基準を選択します。
2. ベクトルの種類を選択します。
3. ［一覧を更新］をクリックします。
   選択されたベクトル種類に属する、よく利用されているワードが、一覧に表示されます。
4. 分析対象としたいワードを選択し、チェックを入れます。
5. ワード種別を選択します。
6. ［一覧を更新］をクリックします。
   選択されたワード種別に属する、よく利用されているワードが、一覧に表示されます。
7. 重要なワードを選択し、チェックを入れます。
8. 検索深さを設定します。
9. ［分析実行］をクリックします。

モーターを利用すると主張している公報数、利用しないと記載している公報数、など、
当該分野の傾向を読み取ることができます。

戦略分析（20）

方向性の異なる複数のベクトルを指定し、キーワードの使用状況を確認できます。

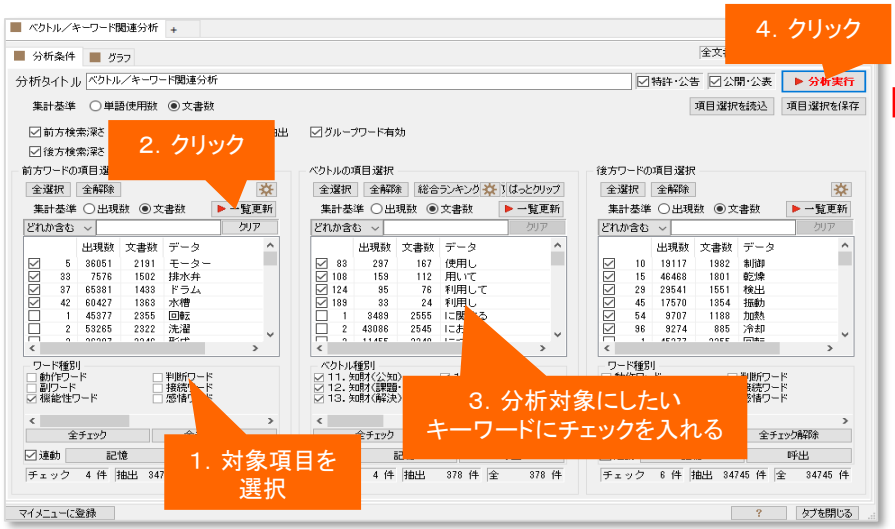
ベクトル／キーワード分析2

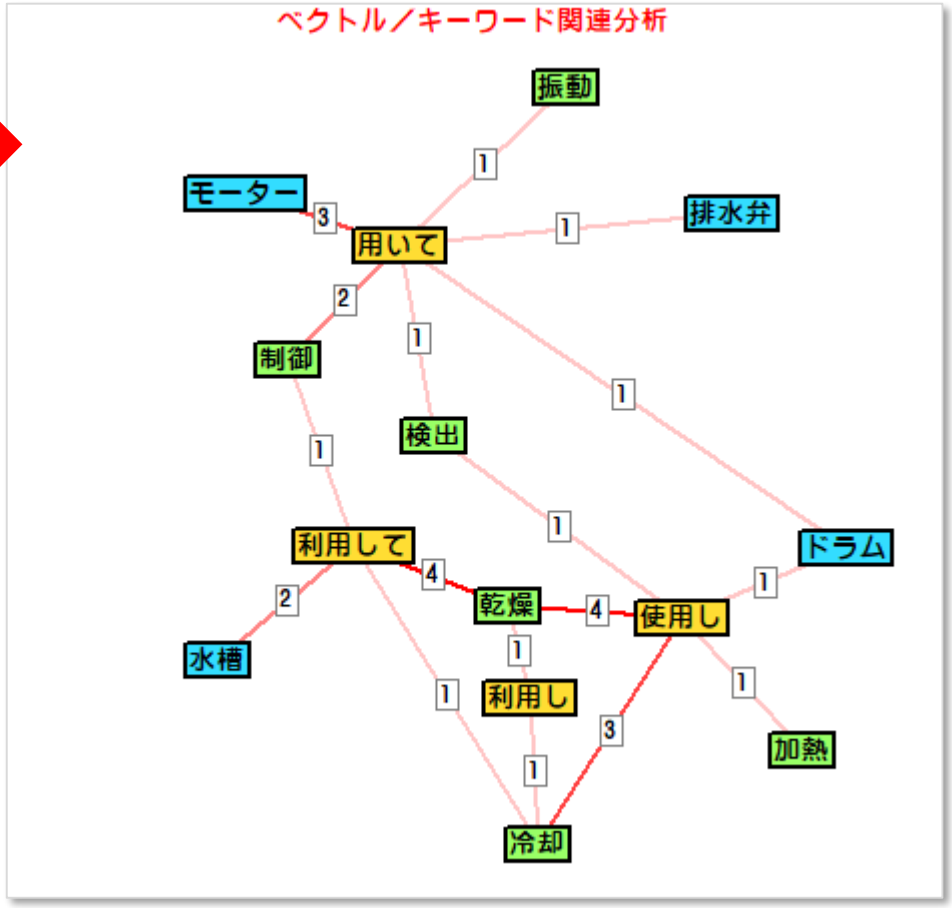


1. 集計基準を選択します。
2. 縦軸の［一覧を更新］をクリックします。用いられているベクトル種類が一覧表示されます。
3. 分析対象としたいベクトル種類を選択し、チェックを入れます。
4. ワード種別を選択します。
5. ［一覧を更新］をクリックします。選択されたワード種別に属する、よく利用されているワードが、一覧に表示されます。
6. 重要なワードを選択し、チェックを入れます。
7. 検索深さを設定します。
8. ［分析実行］をクリックします。

戦略分析（21）

ベクトル／キーワード関連分析





1. 集計基準を選択します。
2. 前方キー、メインキー、後方キーそれぞれのワード種別・ベクトルを選択します。
3. それぞれの［一覧を更新］をクリックします。
4. 分析対象としたいキーワードを選択し、チェックを入れます。
5. 検索深さを設定します。
6. ［分析実行］をクリックします。

「〇〇を、用いて（前置支持：ポジティブ）、△△する」と、「〇〇を、用いずに（前置支持：ネガティブ）、△△する」というような表現が、どれくらい出てくるのかを、簡単にビジュアル化することができます。

戦略分析（22）

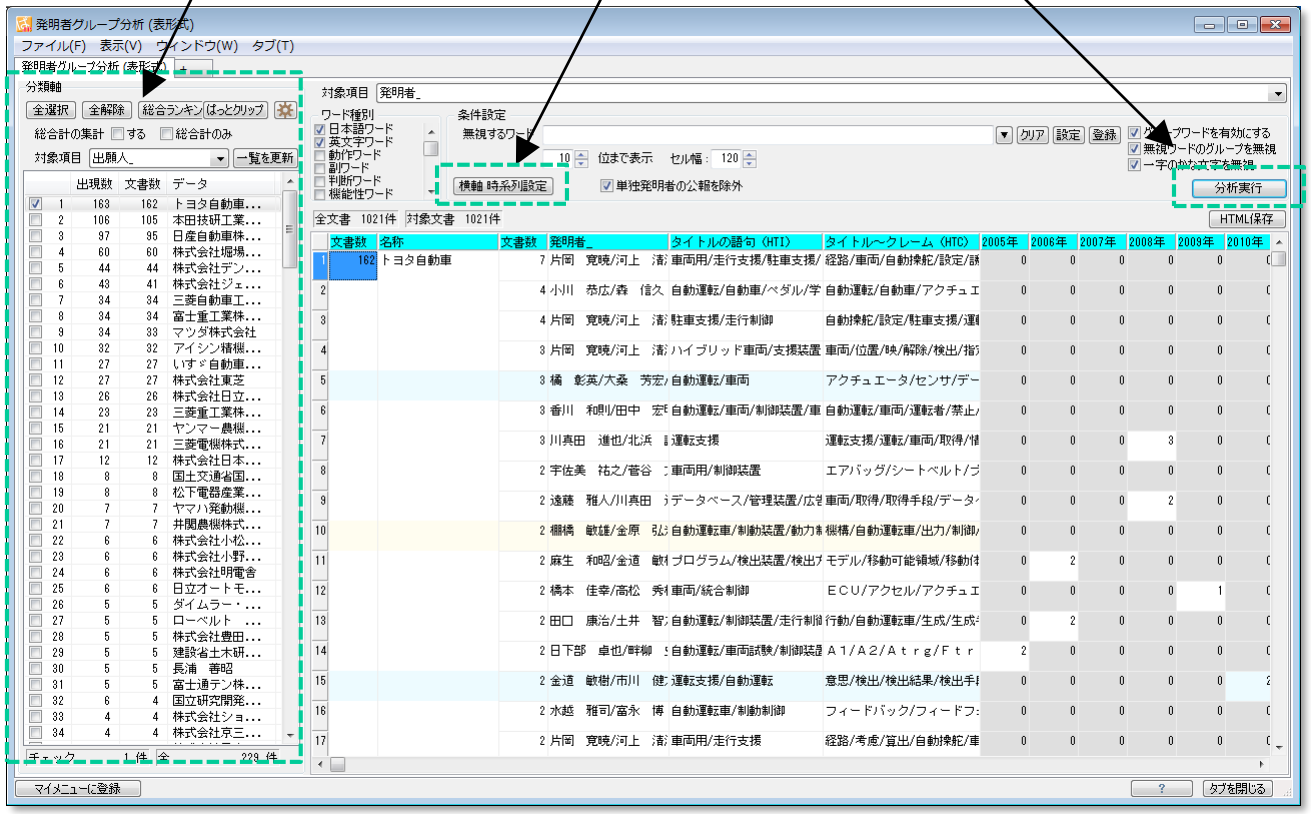
発明者グループ分析（表計算）

グループごとの「タイトルの語句」「タイトル～クレーム」のワードランキングを同時に表示！

① 分析したい出願人にチェックを入れる

② 時系列を設定する

③ 「分析実行」をクリック



■ 発明者グループ分析は、以下の手順で行います。

① 分析したい出願人にチェックを入れます。

② 「横軸 時系列設定」ボタンをクリックして、
- 対象項目（「出願年」「公開年」「登録年」「出願日」「公開日」など）
- 集計方法（「1年単位」「6ヶ月単位」「3ヶ月単位」など） を選択します。

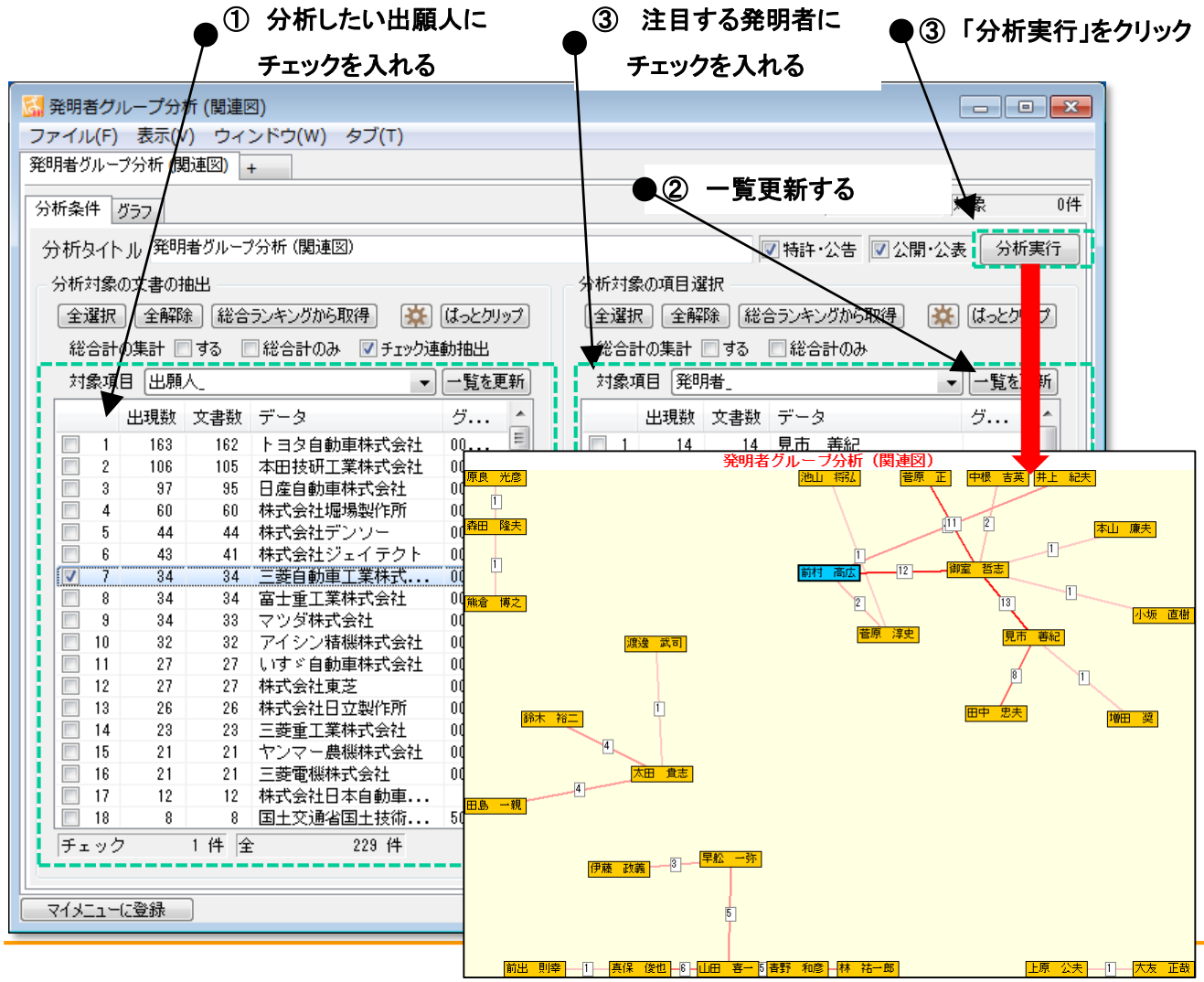
③ 「分析実行」をクリックすると分析結果が表示されます。

■ 分析結果をHTML形式で保存することができます。保存したHTMLファイルを、Excelにドラッグ&ドロップすると、手軽にExcelで表示ができ、編集が行えます。

戦略分析（23）

発明者グループ分析（関連図）

発明者のグループを関連図で表示！



■ 発明者グループ分析（関連図）は、以下の手順で行います。

① 分析したい出願人にチェックを入れます。

② 右側の発明者欄の一覧更新を押します。

③ 注目する発明者にチェックを入れます。
※ 発明者にチェックを入れなくても分析が行えます。

④ 「分析実行」をクリックすると関連図が作成されます。

■ 「チェック連動抽出」にチェックを入れると、選択した出願人の発明者が自動的に抽出されて、右画面に表示されます。

■ グラフ画面で「スケルトン」にチェックを入れると、発明者ごとに、最大のリンク数の関連線だけが表示されます。

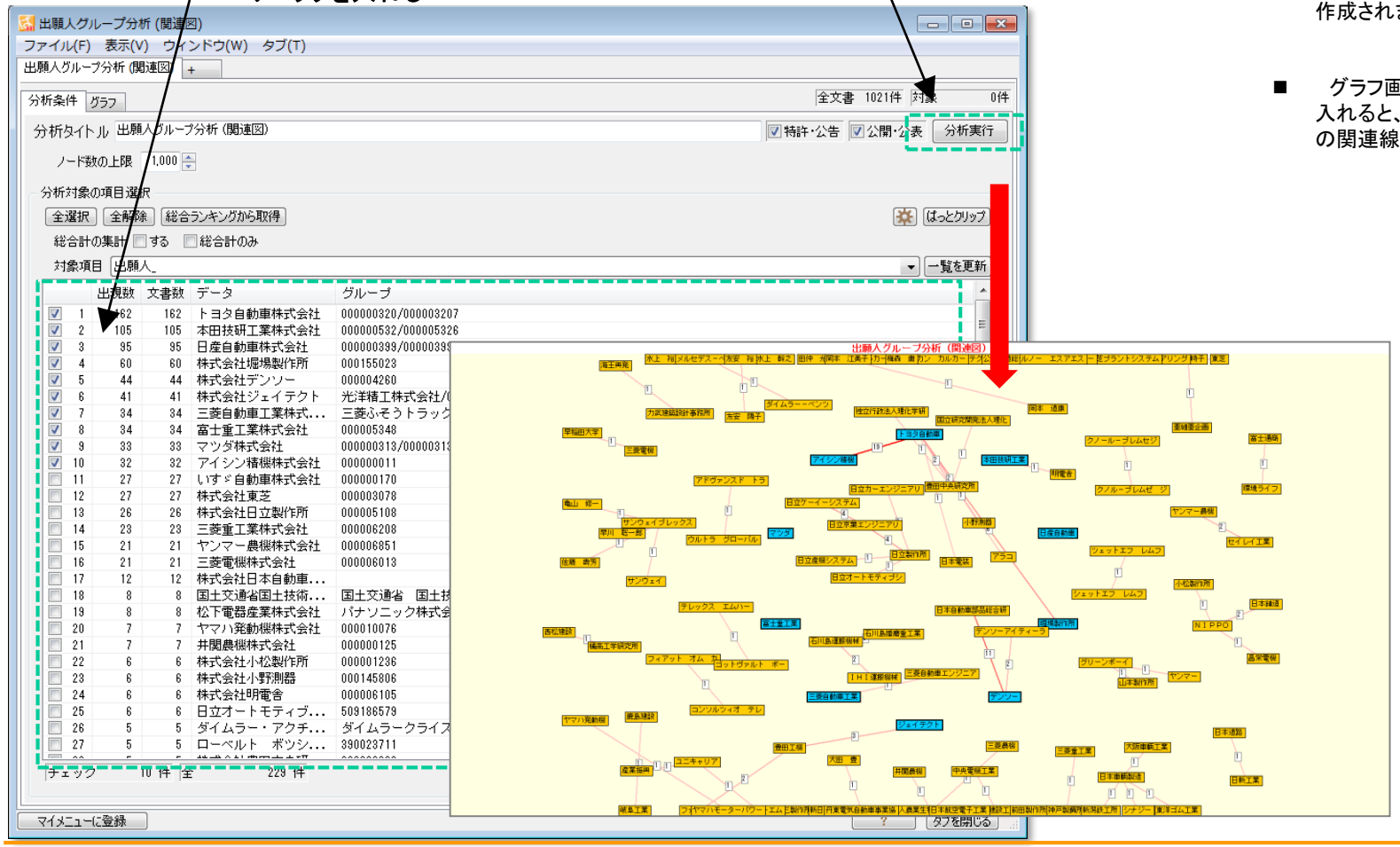
戦略分析（24）

出願人グループ分析（関連図）

共同出願状況を関連図で表示！

① 分析したい出願人にチェックを入れる

② 「分析実行」をクリック



■ 出願人グループ分析（関連図）は、以下の手順で行います。

① 分析したい出願人にチェックを入れます。

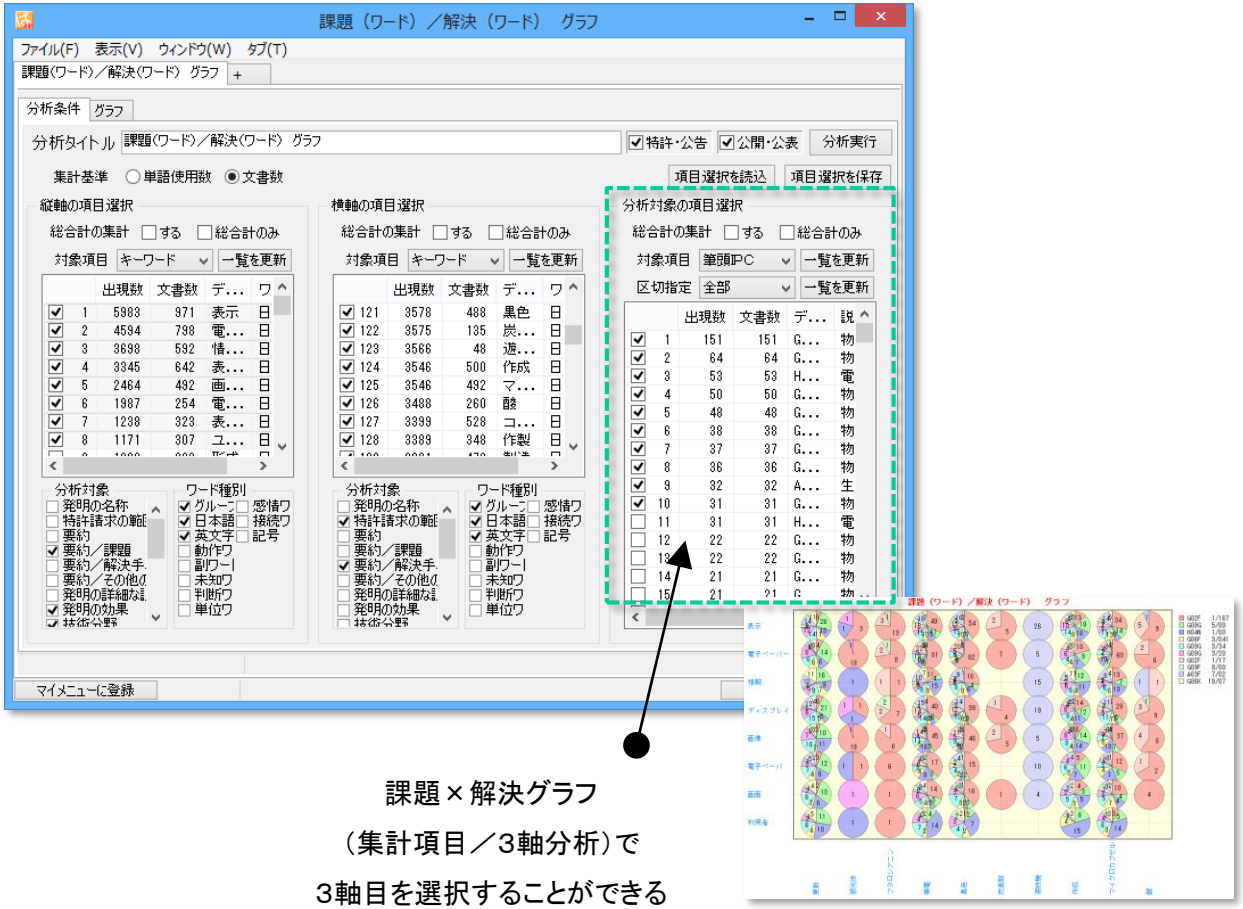
② 「分析実行」をクリックすると関連図が作成されます。

■ グラフ画面で「スケルトン」にチェックを入れると、出願人ごとに、最大のリンク数の関連線だけが表示されます。

戦略分析（25）

集計項目3軸グラフ

課題×解決グラフ

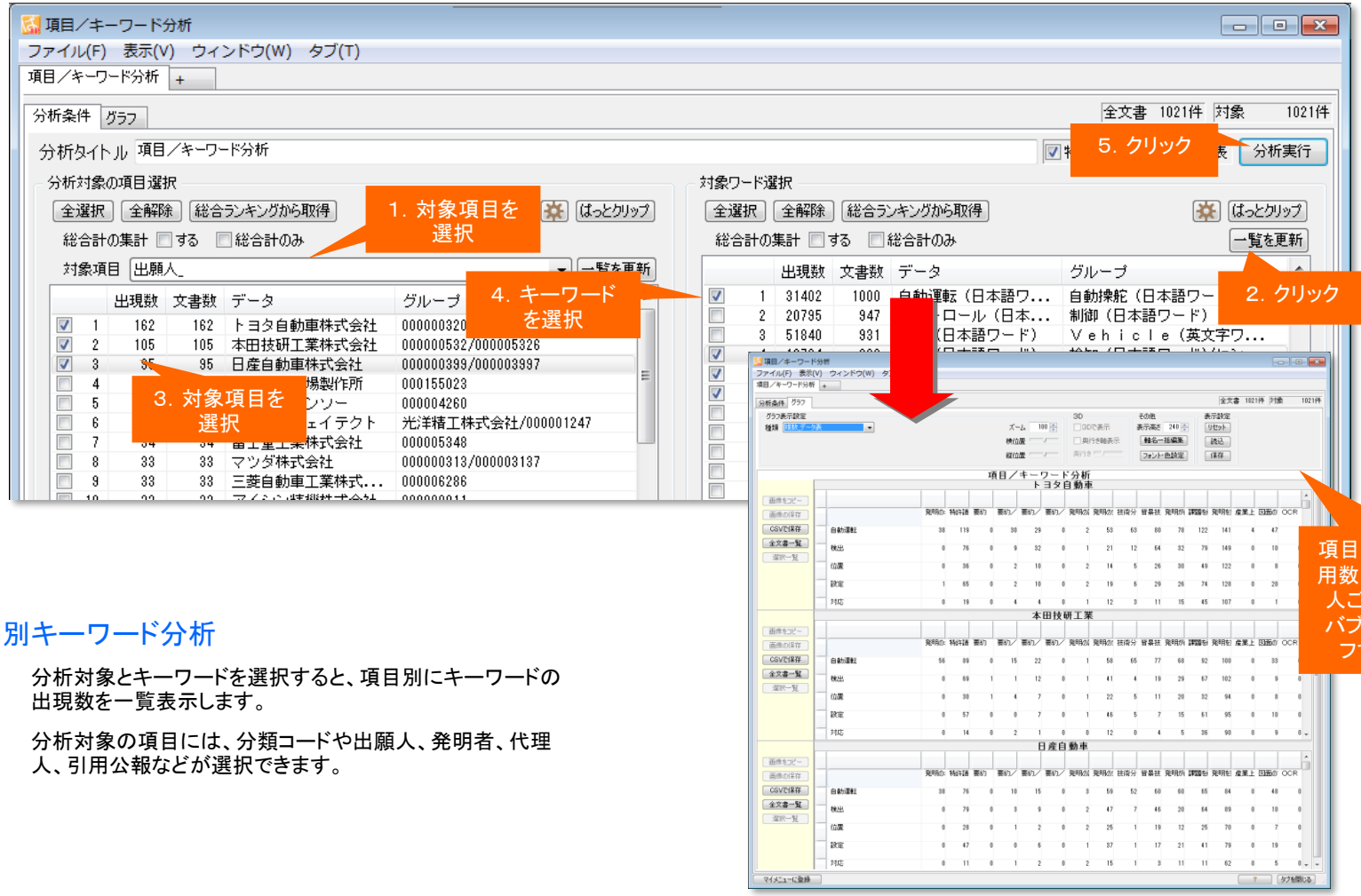


課題×解決グラフ
（集計項目／3軸分析）で
3軸目を選択することができる

1. 課題×解決グラフ（集計項目／3軸分析）において、3軸目を選択することができるようになりました。
2. 課題によく使われるワード群」 ×「解決によく使われるワード群」に、さらに、「Fターム」や「出願人」を3軸目に追加したグラフの描画が可能です。
3. 分類コードや出願人を3軸目に選択すると、分野ごと、出願人ごとの「課題×解決」の傾向を1枚のグラフで見ることができます。

戦略分析（26）

分類コード別にキーワードの出現数をチェック！！　出願人ごとのキーワード使用傾向も一目瞭然！

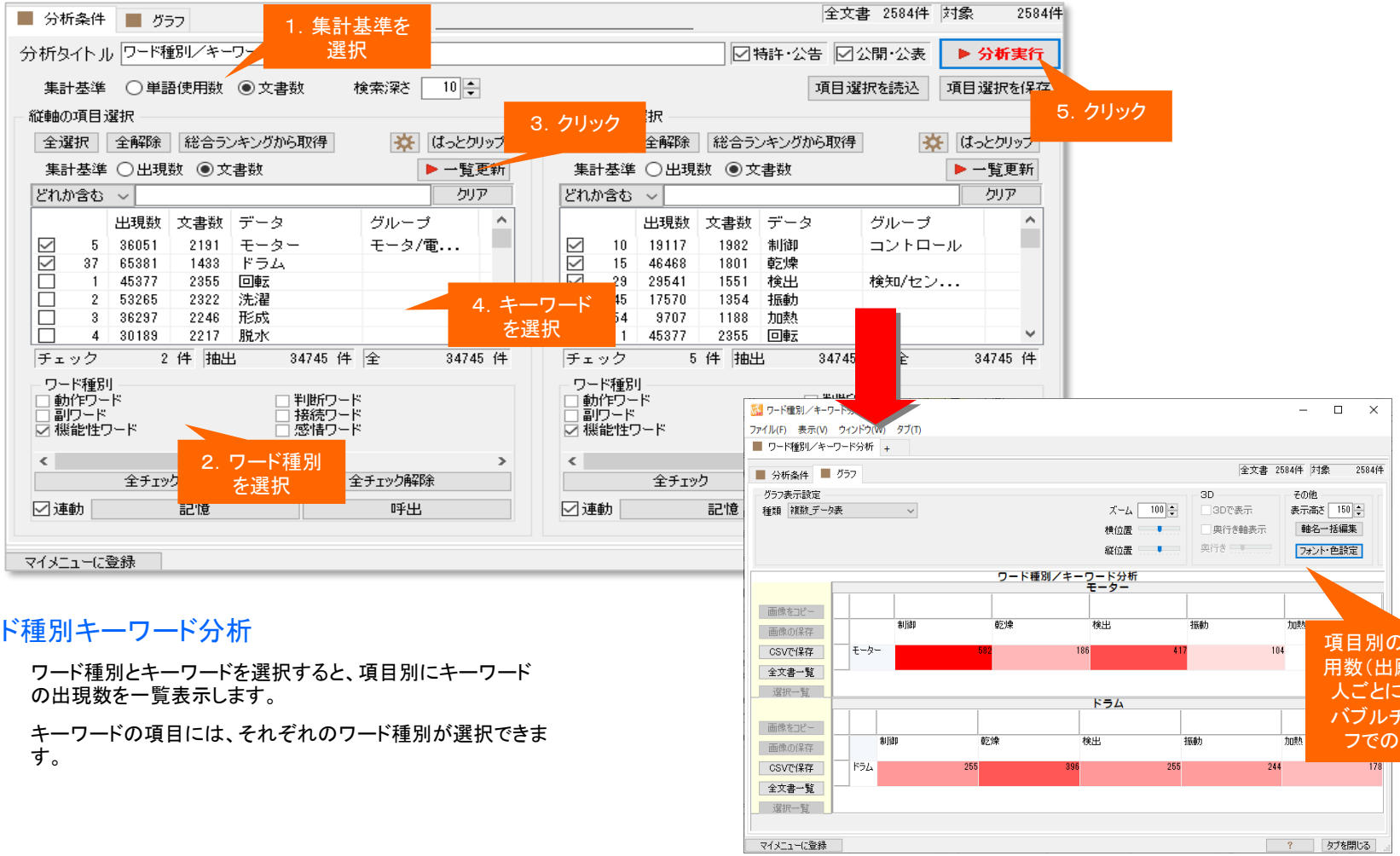


項目別キーワード分析

- 分析対象とキーワードを選択すると、項目別にキーワードの出現数を一覧表示します。
- 分析対象の項目には、分類コードや出願人、発明者、代理人、引用公報などが選択できます。

戦略分析（27）

分類コード別にキーワードの出現数をチェック！！　出願人ごとのキーワード使用傾向も一目瞭然！

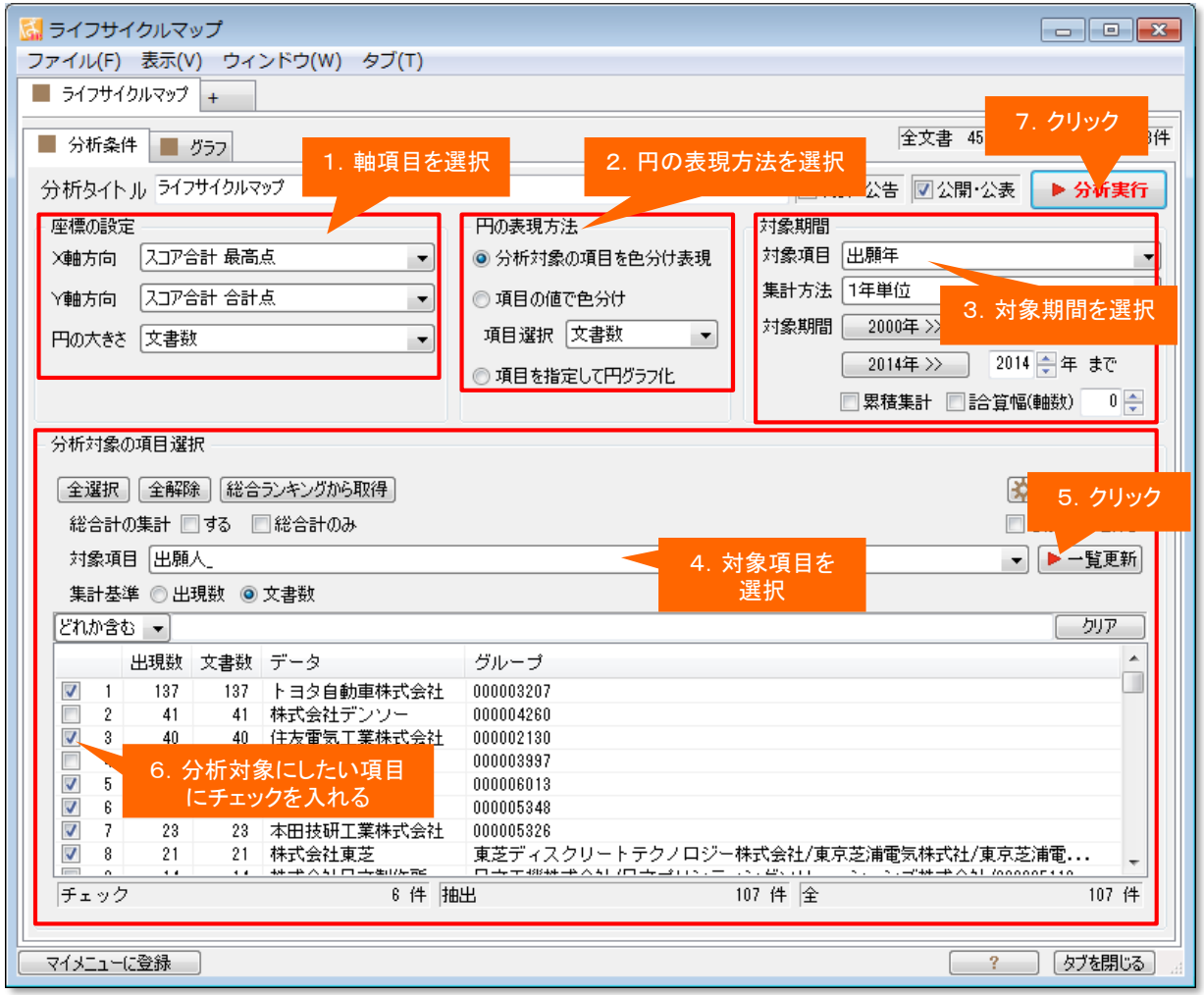


ワード種別キーワード分析

- ワード種別とキーワードを選択すると、項目別にキーワードの出現数を一覧表示します。
- キーワードの項目には、それぞれのワード種別が選択できます。

戦略分析（28）

ライフサイクルマップ1



スコアの分布状況を時系列に確認

- それぞれの時系列をバブルにまとめ、スコア推移などの軌跡を描画することができます。
- 時系列で描かれるライフサイクルを視覚化することで、特許から導くことのできる成熟期・最盛期・衰退期・技術衰退といったパターン展開を把握できます

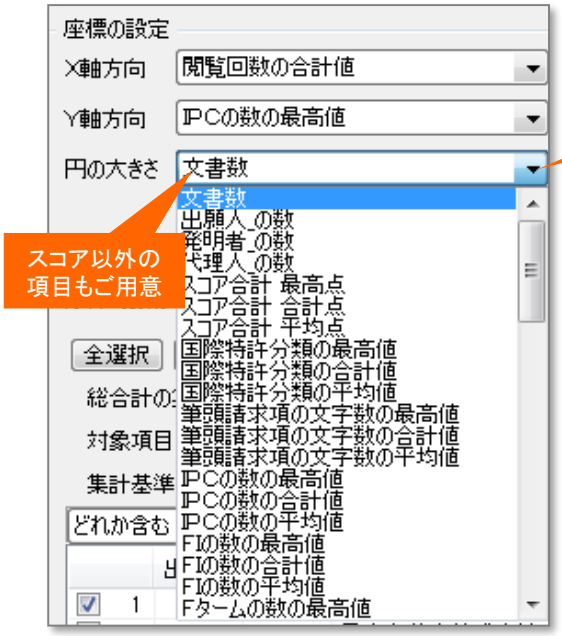
1. 軸項目（スコアなどの項目）を選択します。
2. 円の表現方法を選択します。
「分析対象の項目を色分け表現」 分析対象毎にバブルを色分けして比較できます。
「項目の値で色分け」 公報数に応じてバブルの色の濃さを変更し、表示します。
「項目を指定して円グラフ化」　一つのバブルの中で出願人別などの円グラフを描画できます。
3. 対象期間（時系列の基準となる期間）を選択
4. 対象項目（キーワード・出願人・分類コードなど）を選択します。
5. ［一覧更新］をクリックします。
6. 分析対象としたい項目を選択し、チェックを入れます。
7. ［分析実行］をクリックします。

戦略分析（29）

ライフサイクルマップ2

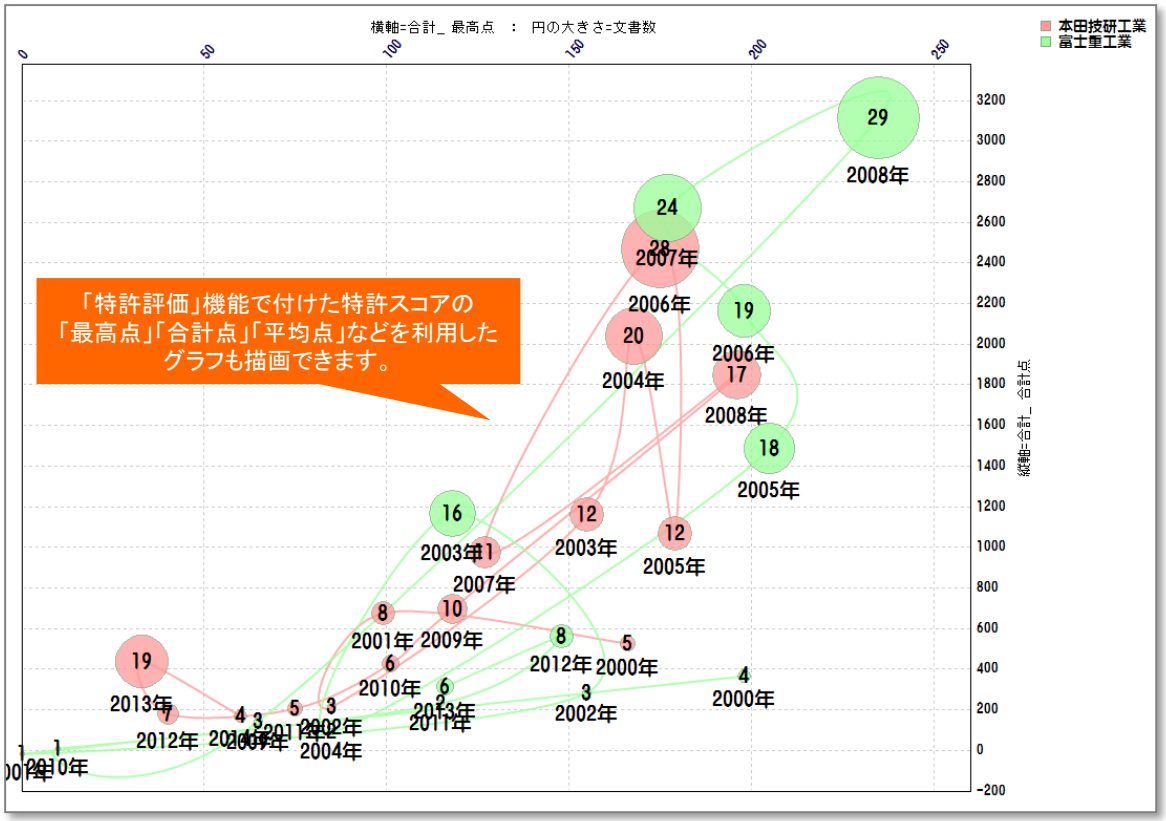
年度ごとの状況・トレンドが確認できる！

【スコア分布分析】の緻密な分析のほかに、あらゆる項目の時系列の軌跡を描き、細かく分析できます。



クリックすると
プルダウンメニューが
表示されます

スコア以外の
項目もご用意



いつ頃、何を理由にその分析対象のスコアが上昇したのか、発明者のよく閲覧されている公報の特徴はどのようなものなのかといった分析を視覚化することが可能！

戦略分析（30）

マルチ階層化分析（1）

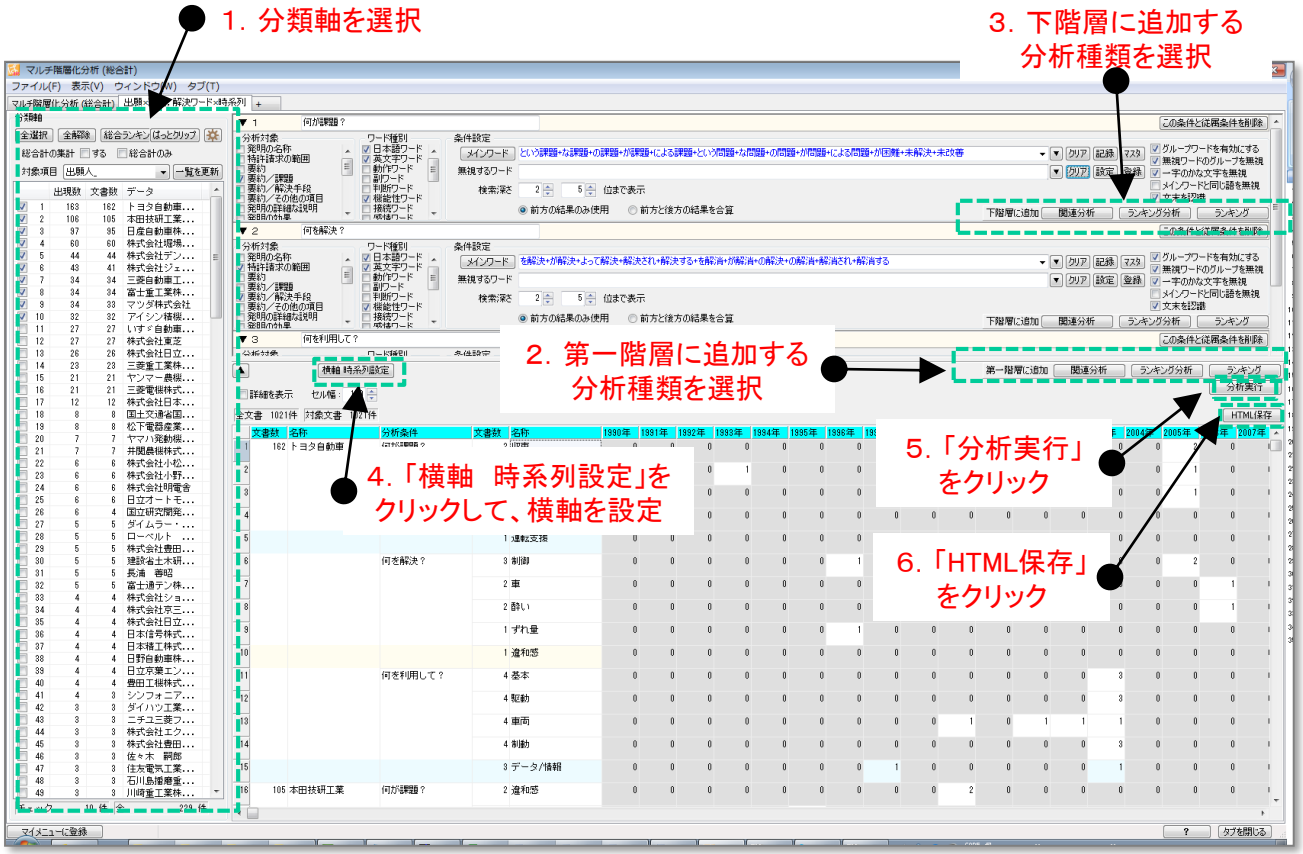
分類軸　第一階層　ワード　横軸　時系列

	文書数	名称	分析条件	文書数	名称	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年
1	162	トヨタ自動車	何が課題？	2	収束	0	0	0	0	0
2				2	制御	0	0	0	1	0
3				2	追従	0	0	0	0	0
4				1	運転	0	0	0	0	0
5				1	運転支援	0	0	0	0	0
6			何を解決？	3	制御	0	0	0	0	0
7				2	車	0	0	0	0	0
8				2	酔い	0	0	0	0	0
9				1	ずれ量	0	0	0	0	0
10				1	違和感	0	0	0	0	0
11			何を利用して？	4	基本	0	0	0	0	0
12				4	駆動	0	0	0	0	0
13				4	車両	0	0	0	0	0
14				4	制動	0	0	0	0	0
15				3	データ/情報	0	0	0	0	0
16	105	本田技研工業	何が課題？	2	違和感	0	0	0	0	0

1. 出願人ごと、Fタームごとなど、任意の軸を選択し、「関連分析」「ランキング分析」「ランキング」の分析を行い、結果を階層化表示することができます。
2. 左図の例では、課題によく使われるキーワード、解決方法によく使われるキーワードを、出願人ごとにランキング表示しています。
3. 「分析対象項目」「分析対象」「ワード種別」 を任意に選択することができます。
4. 階層を追加、削除することができます。
5. 分析結果を、html形式で保存し、Excelやウェブブラウザで表示することができます。
6. ランキング機能と関連分析機能と近傍検索機能が複合的に動作して結果を表示します。

戦略分析（31）

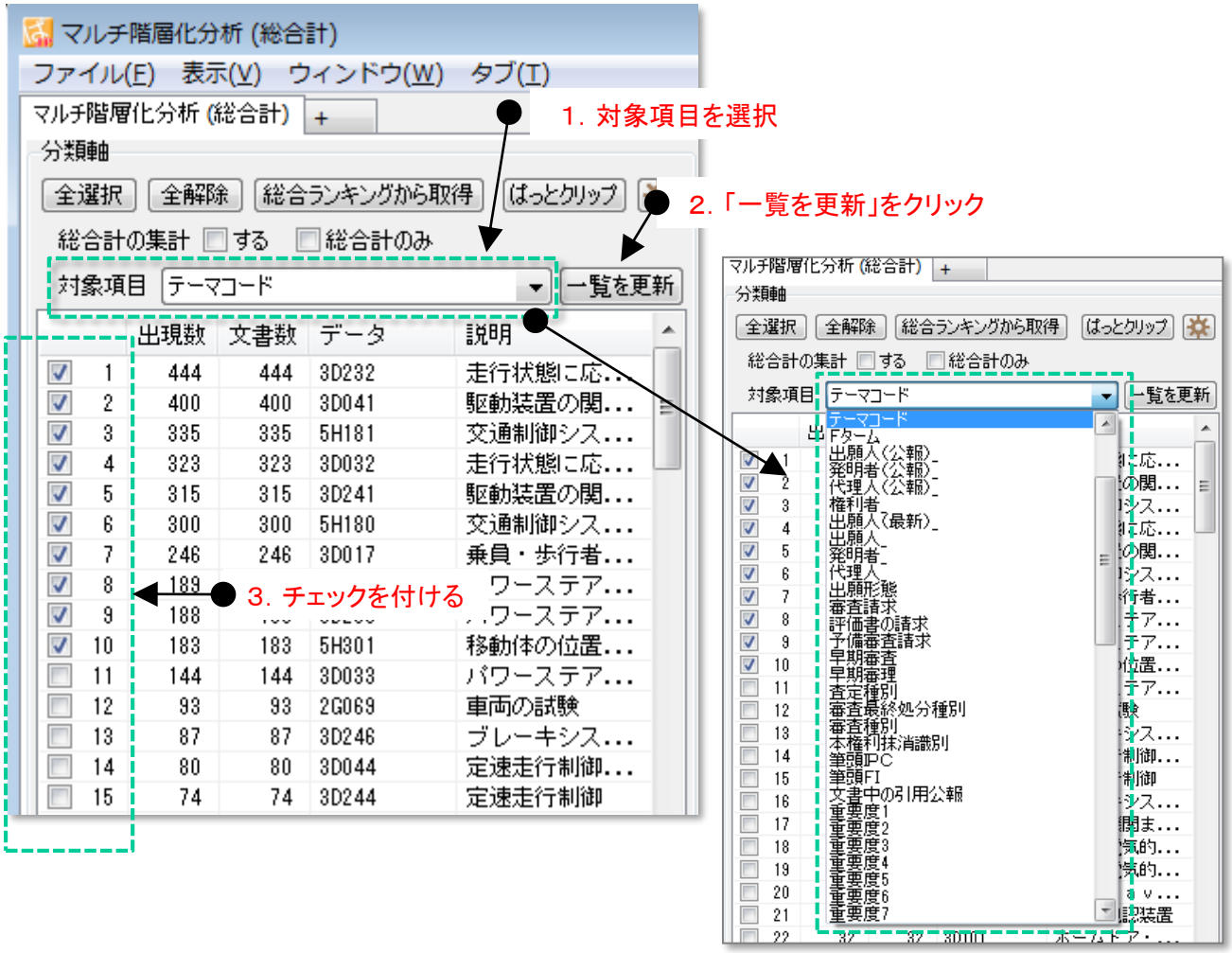
マルチ階層化分析（2）



1. 左袖の分類軸の対象項目を選択します。
2. 第一階層に追加する分析種類を選択します。
3. 下階層に追加する分析種類を選択します。
4. 「横軸　時系列設定」をクリックして、横軸を設定します。
5. 「分析実行」をクリックすると、分析が始まり、結果が表示されます。
6. 必要に応じて、分析結果をHTML形式で保存します。

戦略分析（32）

マルチ階層化分析（3）



1. 対象項目をプルダウンで選択します。

2. 「一欄を更新」をクリックします。 Fターム、IPC、FIを選択した場合は、区切り指定を設定する（メイングループまで、サブグループまで、等）ことができます。

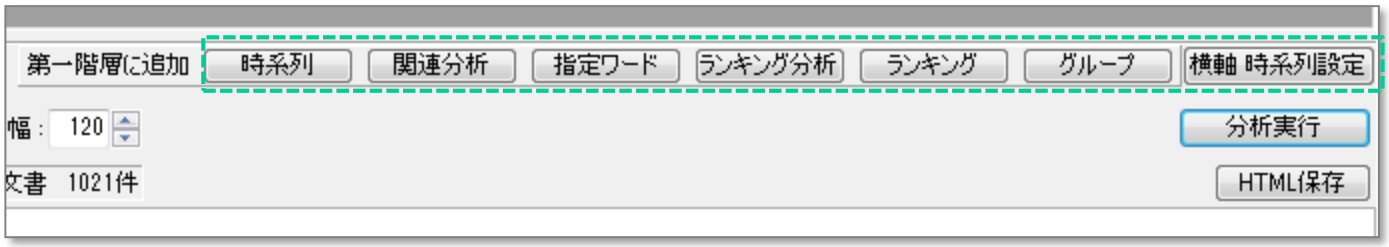
3. 分析対象としたいデータにチェックを付けます。
   ・（Shiftボタンや Ctriボタンを利用すると、複数のデータを選択することができます。）
   ・（「全選択」ボタンをクリックすると、全データにチェックをつけることができます。）
   ・（「総合ランキングから取得」をクリックすると、総合ランキングでの選択状態をそのまま移すことができます。）

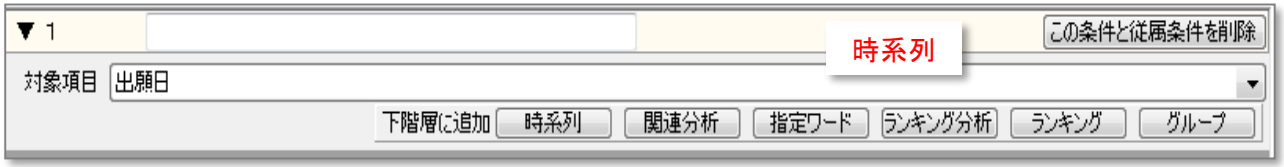
4. 「使用しない」を選択することができます。

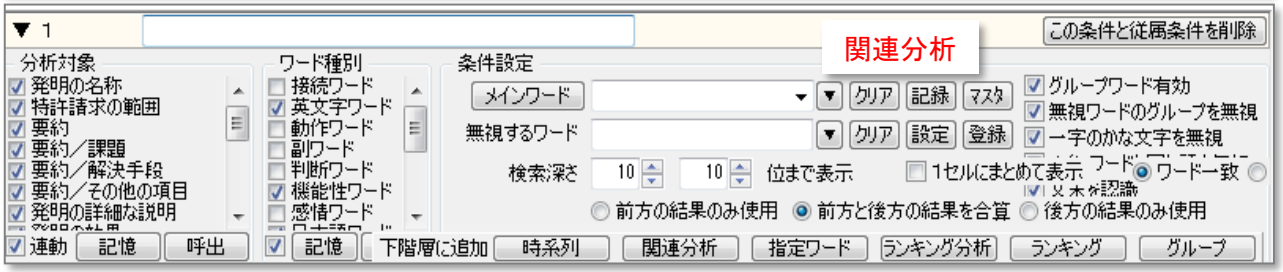
戦略分析（33）

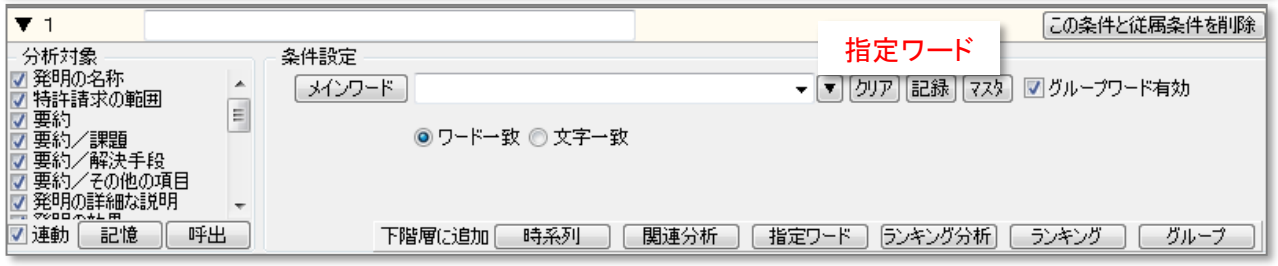
マルチ階層化分析（4）

第一階層に追加する分析種類を選択









1. 第一階層に追加することができる分析種類は、6種類あります。

① 時系列
・・・指定した項目の年毎に集計して、時系列で配置します。

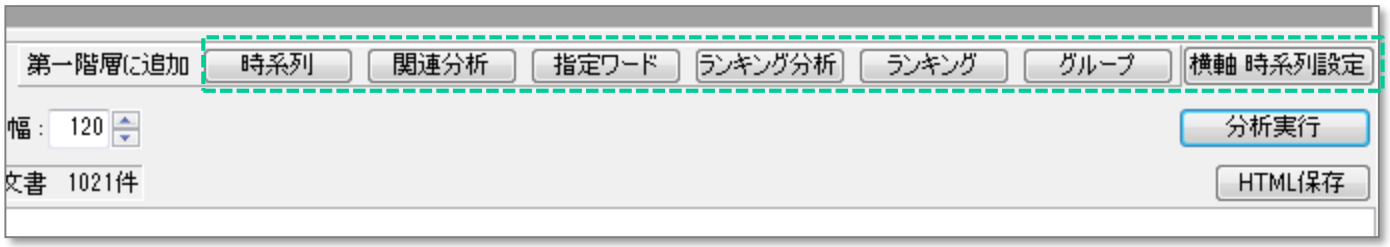
② 関連分析
・・・メインワードの前後によく出てくるワードをランキング表示します。
分析対象、ワード種別、検索深さ（ワードとワードの距離）を設定することができます。

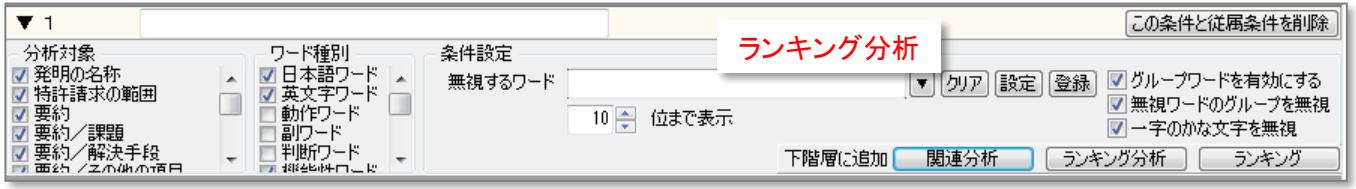
③ 指定ワード
・・・注目したいワードを指定して集計が可能です。メインワードに入力したワードをワード毎に集計します。
文字一致・ワード一致を選択することができます。

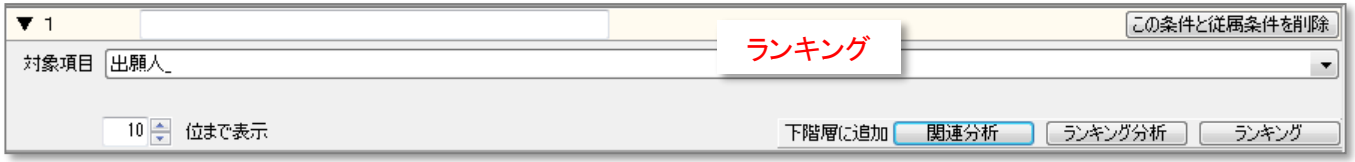
戦略分析（34）

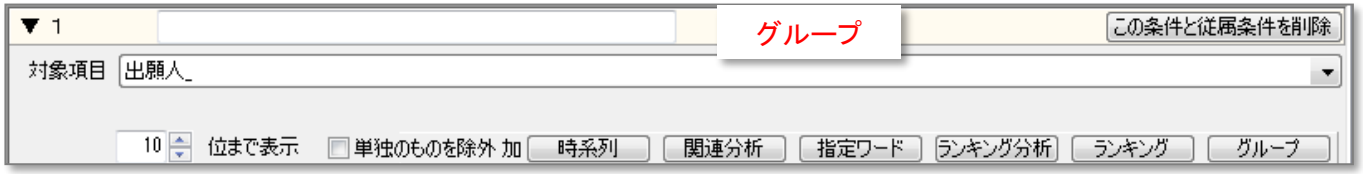
マルチ階層化分析（5）

第一階層に追加する分析種類を選択









④　ランキング分析
・・・ワードのランキングを表示します。
　分析対象、ワード種別を設定することができます。

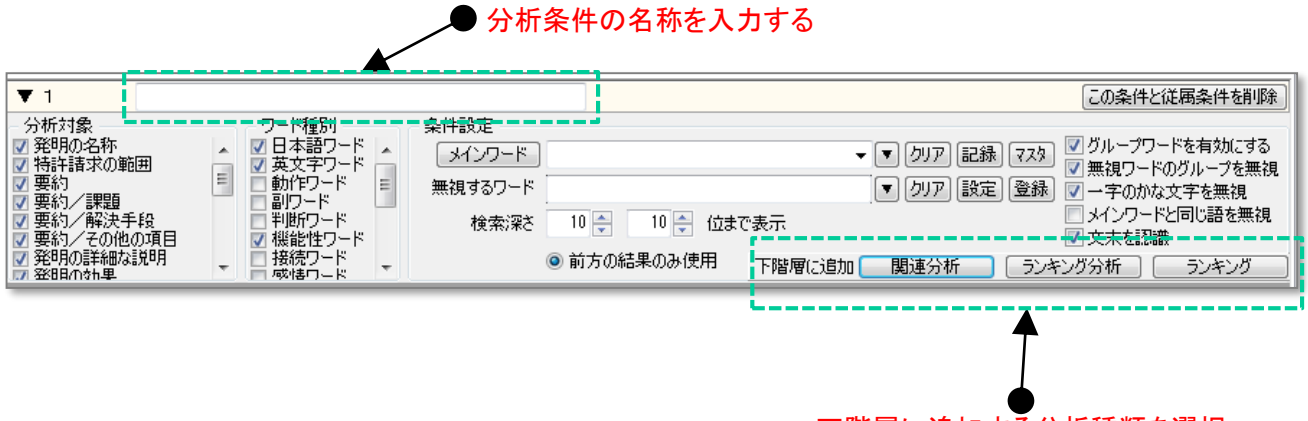
⑤　ランキング
・・・ワード以外の項目のランキングを表示します。

⑥　グループ
・・・同一の対象項目に含まれる複数のワードを一つのグループとしたランキングを表示します。
　たとえば、出願人を指定すると共同出願人を、発明者を指定すると共同発明者を、一つのグループとしてまとめ、ランキングを表示します。

2.　第一階層に、いくつでも分析を設定することができます。
「この条件と従属条件を削除」をクリックすると、その階層以下の分析を削除することができます。

戦略分析（35）

マルチ階層化分析（6）

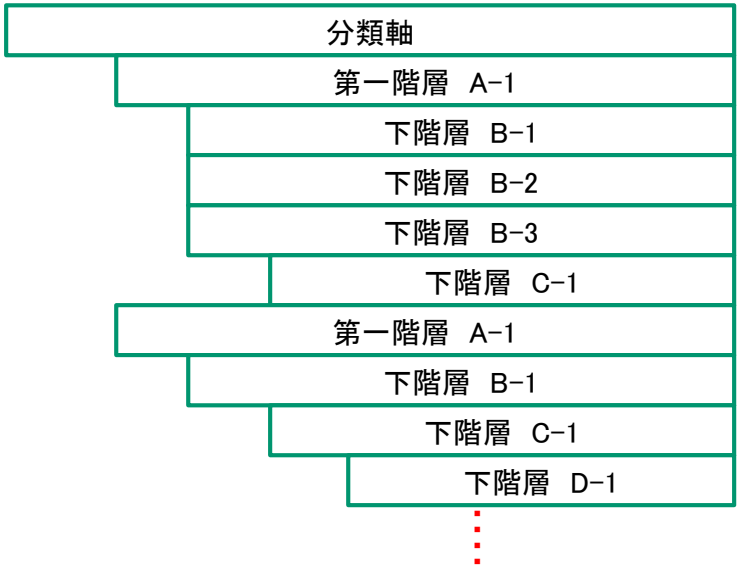


1. 下階層に追加する分析種類を選択します。
   第一階層と同様に、以下の3種類の分析が選択できます。

   1. 関連分析
      ・・・メインワードの前後によく出てくるキーワードのランキング。

   2. ランキング分析
      ・・・ワードのランキング。

   3. ランキング
      ・・・ワード以外のランキング。

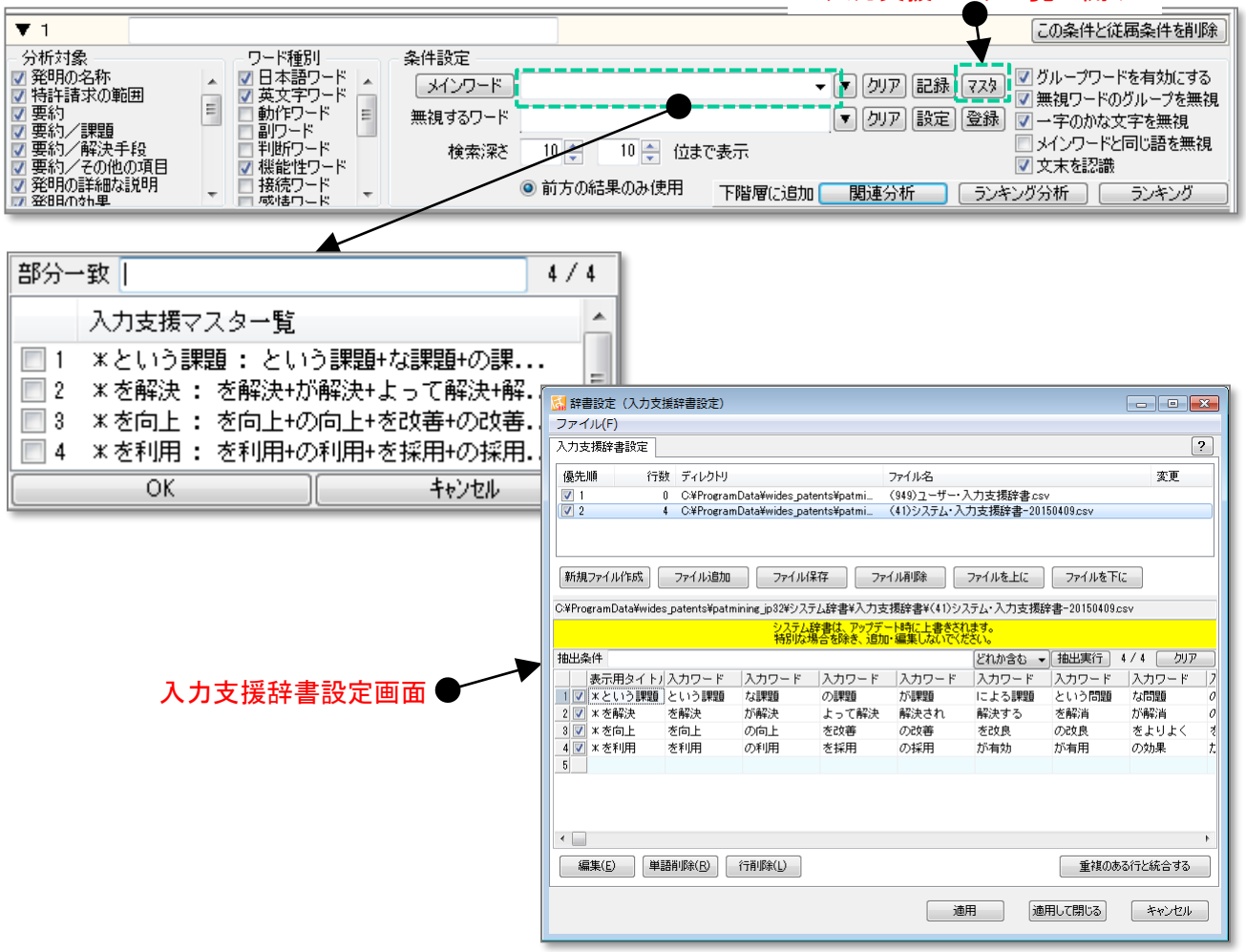


階層はいくつでも追加することができる

戦略分析（36）

マルチ階層化分析（7）

クリックすると、
入力支援マスター一覧が開く



入力支援辞書設定画面

1. 関連分析を追加し、「マスタ」ボタンをクリックすると、入力支援マスター一覧が開きます。
   あらかじめ登録しておいたメインワードを選択し、メインワード欄に入力することができます。

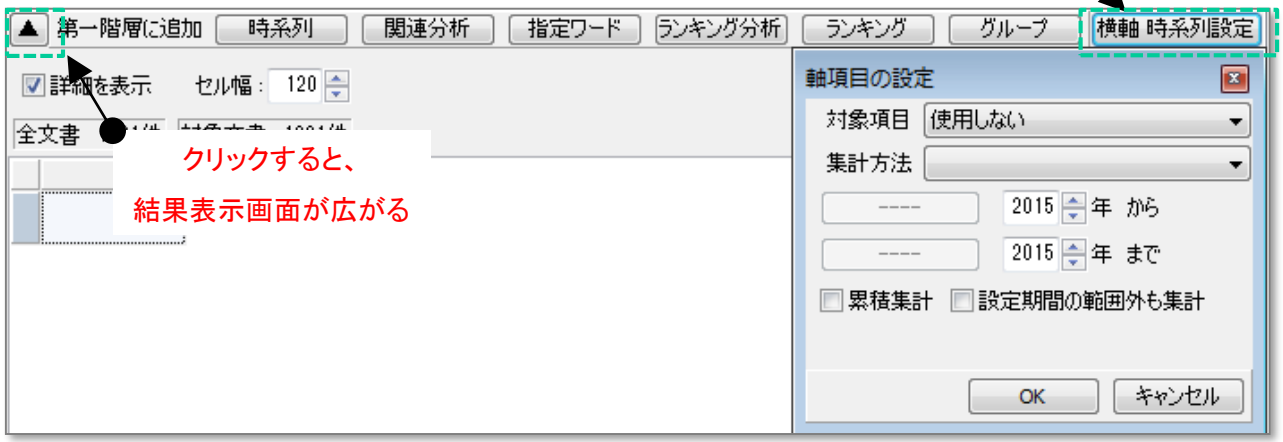
2. 入力支援マスター一覧の中から、入力したいワードにチェックを入れます。
   複数のワードにチェックを入れることができます。

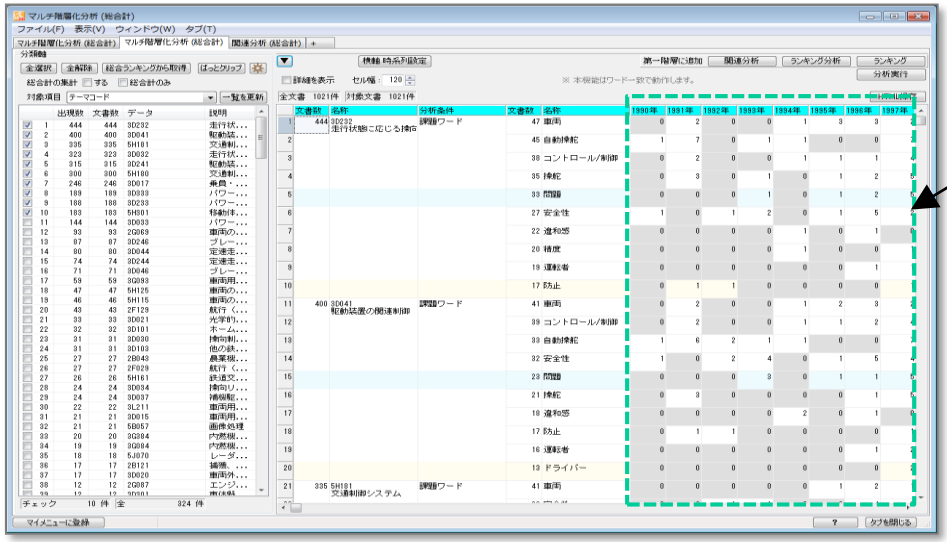
3. 入力支援マスター一覧は、辞書設定で編集、保存ができます。
   ［システム］＞［辞書設定（入力支援辞書）］を開き、編集します。

戦略分析（37）

マルチ階層化分析（8）

クリックすると、設定画面が表示される





時系列（出願年別出願数）表示

1. 「横軸　時系列設定」ボタンをクリックすると、時系列表示の設定が行えます。

2. 対象項目は、出願年、公開年、登録年、出願日、公開日、登録日などが選択できます。

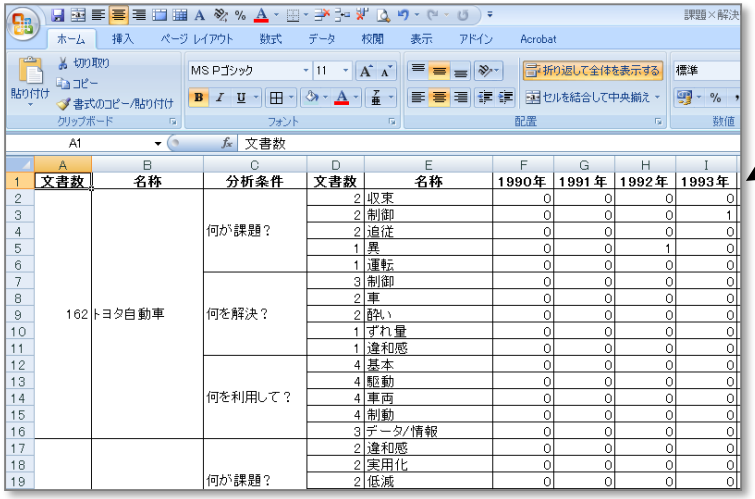
3. 集計方法は、10年単位 、5年単位、3年単位、2年単位、1年単位、6ヶ月単位、3ヶ月単位、2ヶ月単位、1ヶ月単位、月別1ヶ月単位から選択できます。

4. ▲ をクリックすると、条件入力欄が閉じ、結果表示のスペースが広がります。

戦略分析（38）

マルチ階層化分析（9）

分析結果をHTML形式で保存できる



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	文書数	名称	分析条件	文書数	名称	1990年	1991年	1992年	1993年
2				2	収束	0	0	0	0
3				2	制御	0	0	0	1
4			何が課題？	2	追従	0	0	0	0
5				1	異	0	0	1	0
6				1	運転	0	0	0	0
7				3	制御	0	0	0	0
8				2	車	0	0	0	0
9	162	トヨタ自動車	何を解決？	2	酔い	0	0	0	0
10				1	ずれ量	0	0	0	0
11				1	違和感	0	0	0	0
12				4	基本	0	0	0	0
13				4	駆動	0	0	0	0
14			何を利用して？	4	車両	0	0	0	0
15				4	制動	0	0	0	0
16				3	データ/情報	0	0	0	0
17				2	違和感	0	0	0	0
18				2	実用化	0	0	0	0
19			何が課題？	2	低減	0	0	0	0

エクセルでの表示例

1. 「HTML保存」ボタンをクリックし、ファイル名と保存場所を指定して保存します。

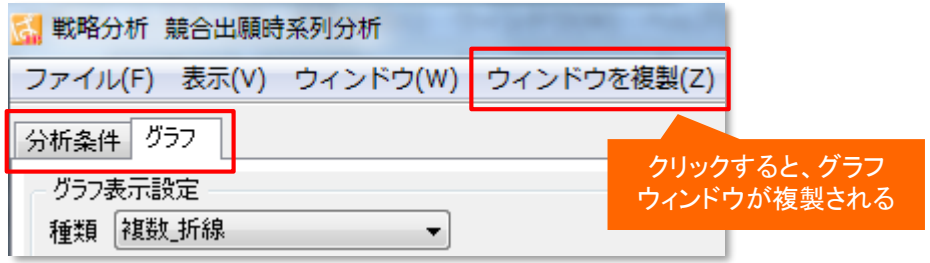
2. 保存したHTMLファイルを、Excelにドラッグ&ドロップすると、手軽にExcelで表示ができ、編集が行えます。

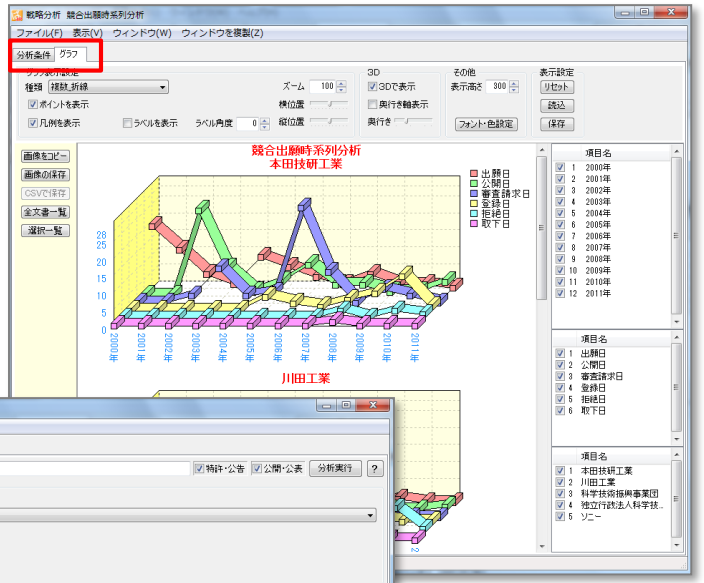
3. ウェブブラウザで表示ができるため、Excelなどの表計算ソフトがインストールされていない環境でも、閲覧が可能です。

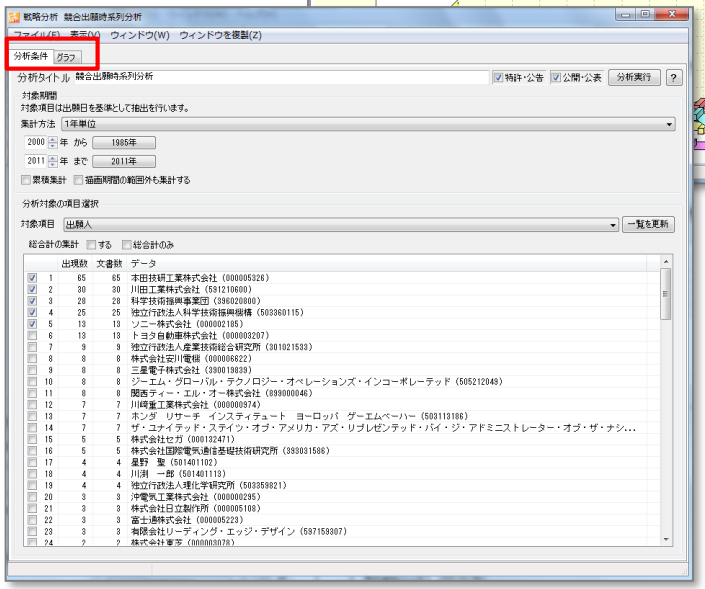
戦略分析（39）

戦略分析の複数起動・コピー機能搭載！！

複数のグラフウィンドウを同時に起動可能！　プレゼンや会議に！！



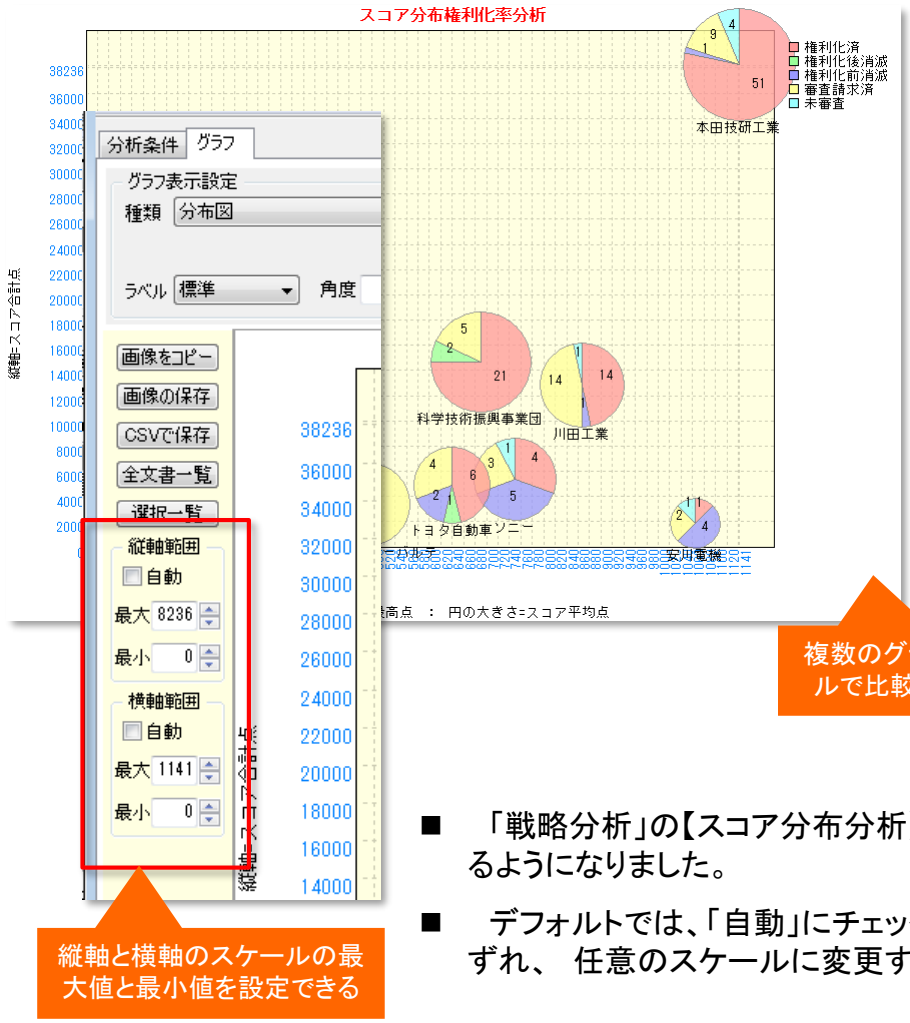




- 「グラフ」と「分析」条件がセットになったウインドウを、複数表示可能として実現しました。
- 分析実行ボタンをクリックする毎に、新しいグラフウィンドウが表示されます。
- グラフウィンドウ内に「グラフ」と「分析条件」のタブを設け、「分析条件」タブ内で条件変更できます。
- 「ウィンドウを複製」メニューにて、表示中のグラフウィンドウを条件内容を含めて複製することができます。
- 条件を少しずつ変更したグラフを描画して、検討する場合などに利用いただけます。

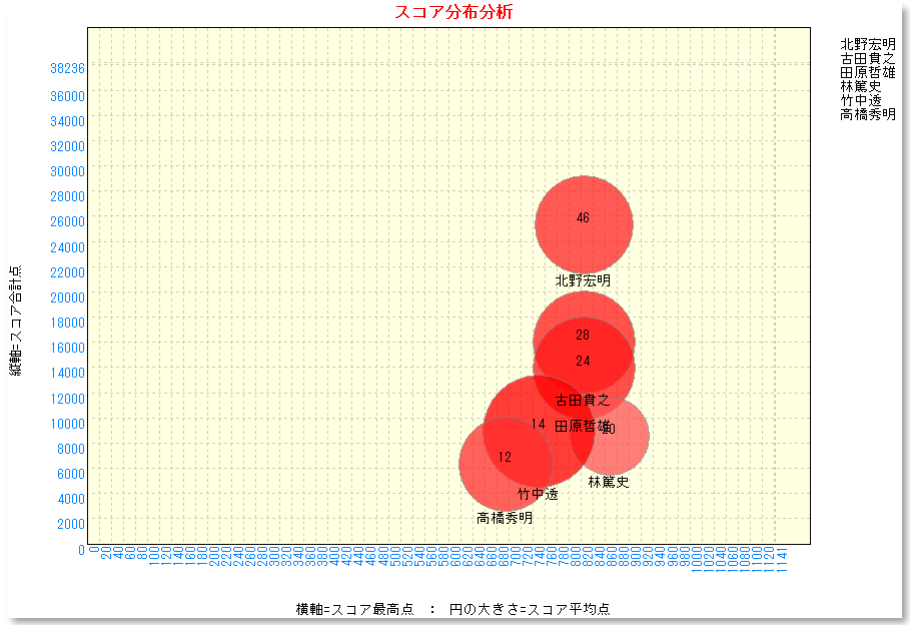
戦略分析（40）

【戦略分析】縦軸、横軸のスケールが調整可能に！！



縦軸と横軸のスケールの最大値と最小値を設定できる

スケールを合わせて精度の高い比較分析を！



複数のグラフを、同じスケールで比較することができる

- 「戦略分析」の【スコア分布分析】【スコア分布権利化率分析】では、縦軸範囲、横軸範囲を手動設定できるようになりました。
- デフォルトでは、「自動」にチェックが入っています。最大、最小の値を変更すると、「自動」のチェックがはずれ、 任意のスケールに変更することができます。

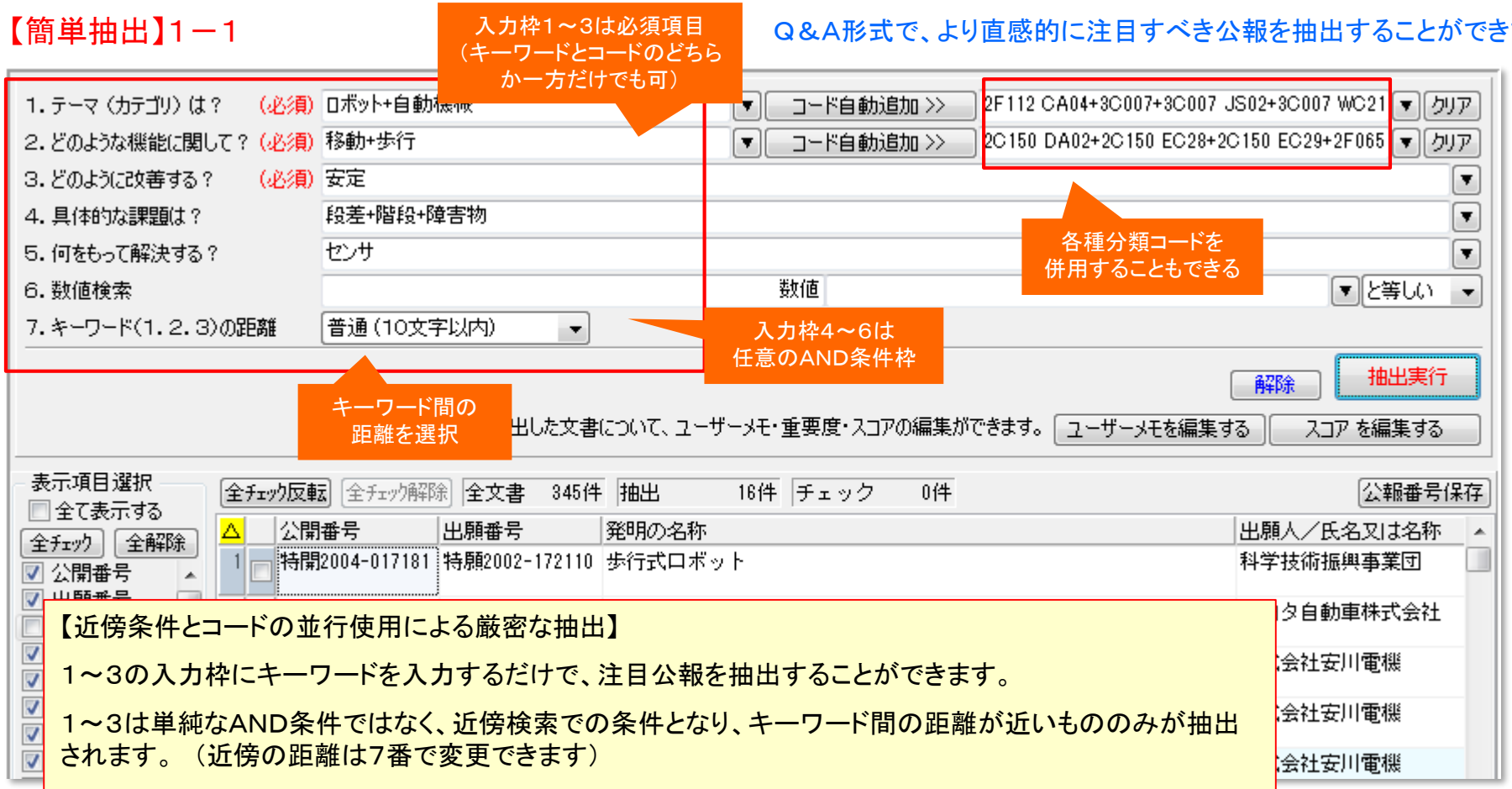
【簡単抽出】

☑ 数値&単位と近傍検索

簡単抽出1（標準）

【簡単抽出】1－1

Q＆A形式で、より直感的に注目すべき公報を抽出することができます。



【近傍条件とコードの並行使用による厳密な抽出】

1～3の入力枠にキーワードを入力するだけで、注目公報を抽出することができます。

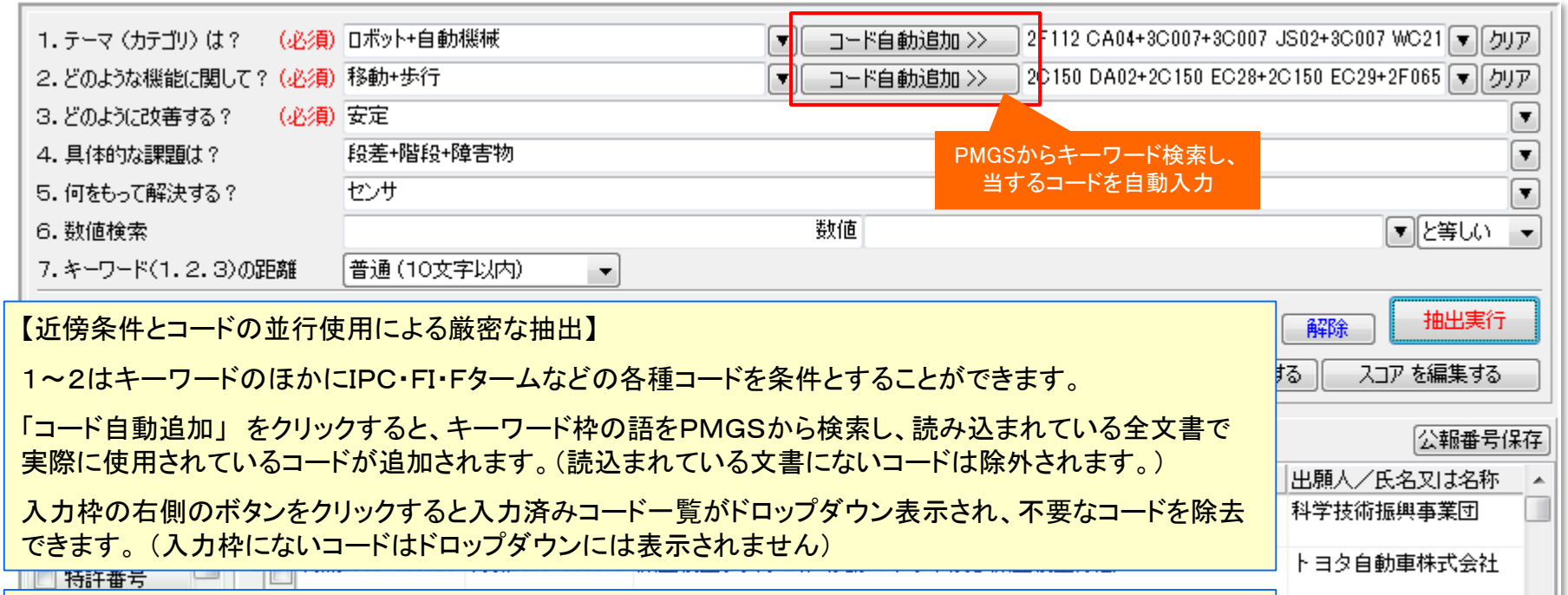
1～3は単純なAND条件ではなく、近傍検索での条件となり、キーワード間の距離が近いもののみが抽出されます。（近傍の距離は7番で変更できます）

1～2にコードを入力した場合、キーワード＆コードのAND条件による抽出も並行して行われます。

簡単抽出1（標準）

【簡単抽出】1－2

分類コードを自動で探し出してくれる！！



【近傍条件とコードの並行使用による厳密な抽出】

1～2はキーワードのほかにIPC・FI・Fタームなどの各種コードを条件とすることができます。

「コード自動追加」 をクリックすると、キーワード枠の語をPMGSから検索し、読み込まれている全文書で実際に使用されているコードが追加されます。（読込まれている文書にないコードは除外されます。）

入力枠の右側のボタンをクリックすると入力済みコード一覧がドロップダウン表示され、不要なコードを除去できます。（入力枠にないコードはドロップダウンには表示されません）

【検索対象となる項目】

1・2・3・6 ： すべての文章項目 （HTX相当）

4 ： 課題に関する項目：【要約／課題】【発明が解決しようとする課題】【背景技術】

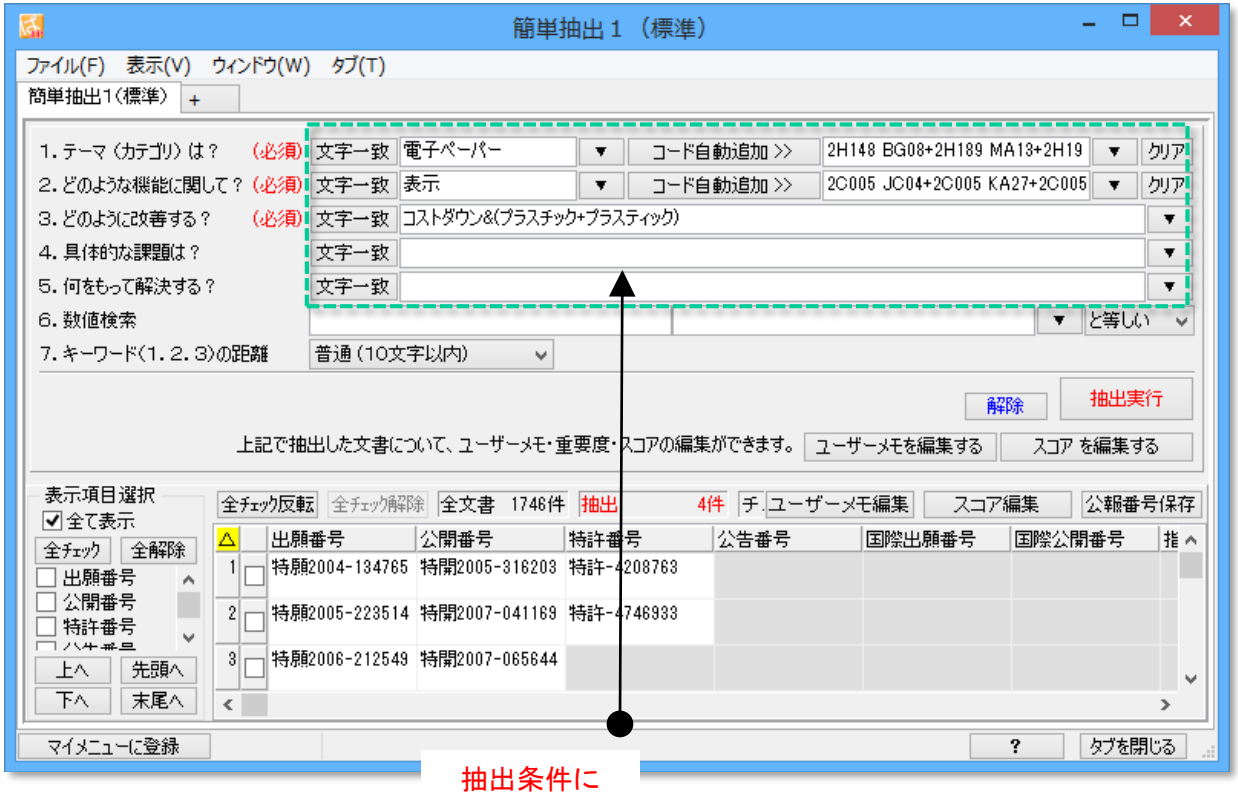
5 ： 解決手段に関する項目：【要約／解決手段】【課題を解決するための手段】【特許請求の範囲】

※ 「簡単抽出」で抽出を行っても、他の機能へは抽出の影響を与えません。

※ 文書一覧の画面にて文書抽出を行っている場合、抽出状態からさらに「簡単抽出」の条件で抽出が行われます。

簡単抽出1（標準）

抽出条件式



抽出条件に
＆（）が使える

ここでの注意ポイント！

■ 抽出条件式
「簡単抽出」の抽出条件式に、「＋」「＆」「（　）」が使用できるようになりました。

■ 入力ルール
「＋」「＆」「（　）」は半角で入力します。
複数のキーワードを入力する場合は、「スマホ+スマートフォン」というように、「＋」 で区切って入力します。
Aであり、かつBである　という条件を入力する場合は、「画面&サイズ」というように、「＆」でつなぎます。

簡単抽出2（キーワード&数値単位）

【簡単抽出】簡単抽出2－1

キーワードと数値単位の組み合わせ近傍検索が実現！

【キーワードと数値単位の近傍条件による抽出】

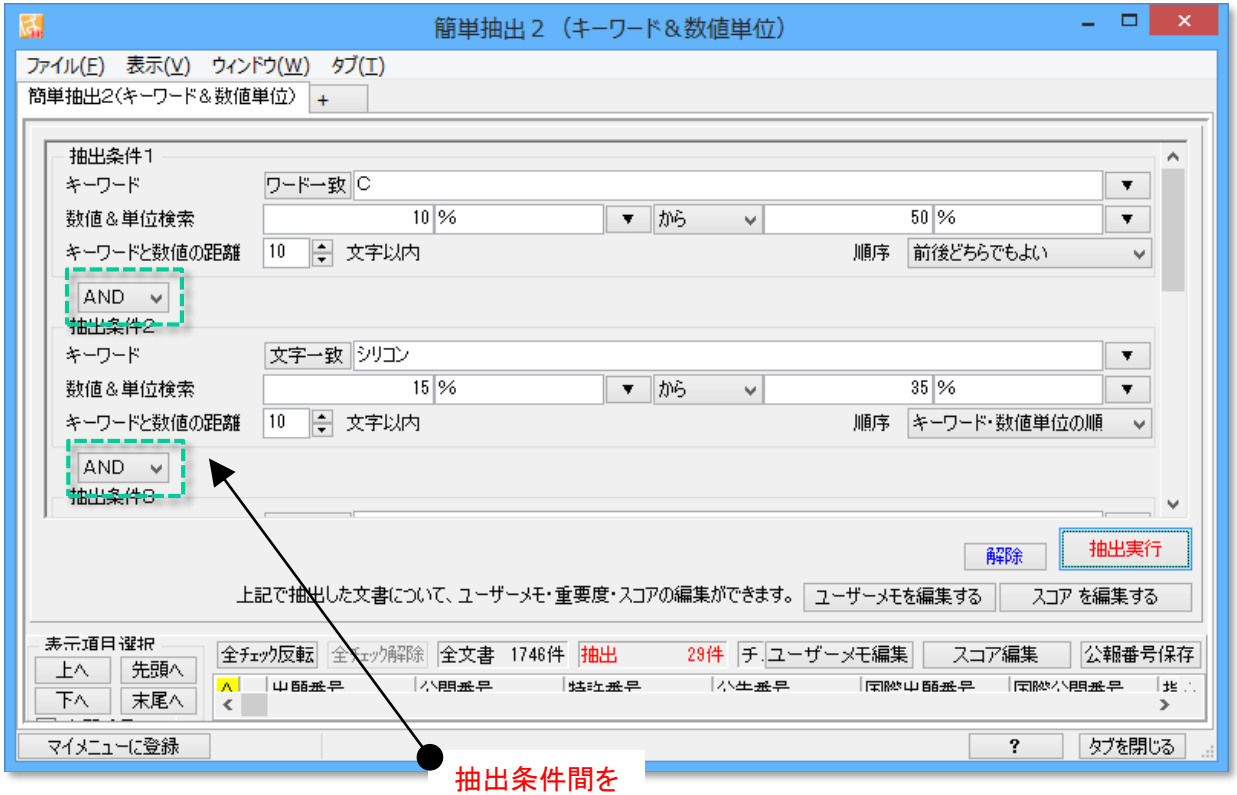
探したいキーワードの前後に数値単位が記述されているものを抽出することができます。

文書中の離れた場所にあるキーワードに偶然一致してしまうことがなく、目的の文章を素早く見つけられます。

OR条件で複数の条件を記述することができます。

簡単抽出2（キーワード&数値単位）

「AND」と「OR」の使い分け



抽出条件間を
「AND」「OR」
切り替えられる

ここでの注意ポイント！

■ AND条件での検索が可能に

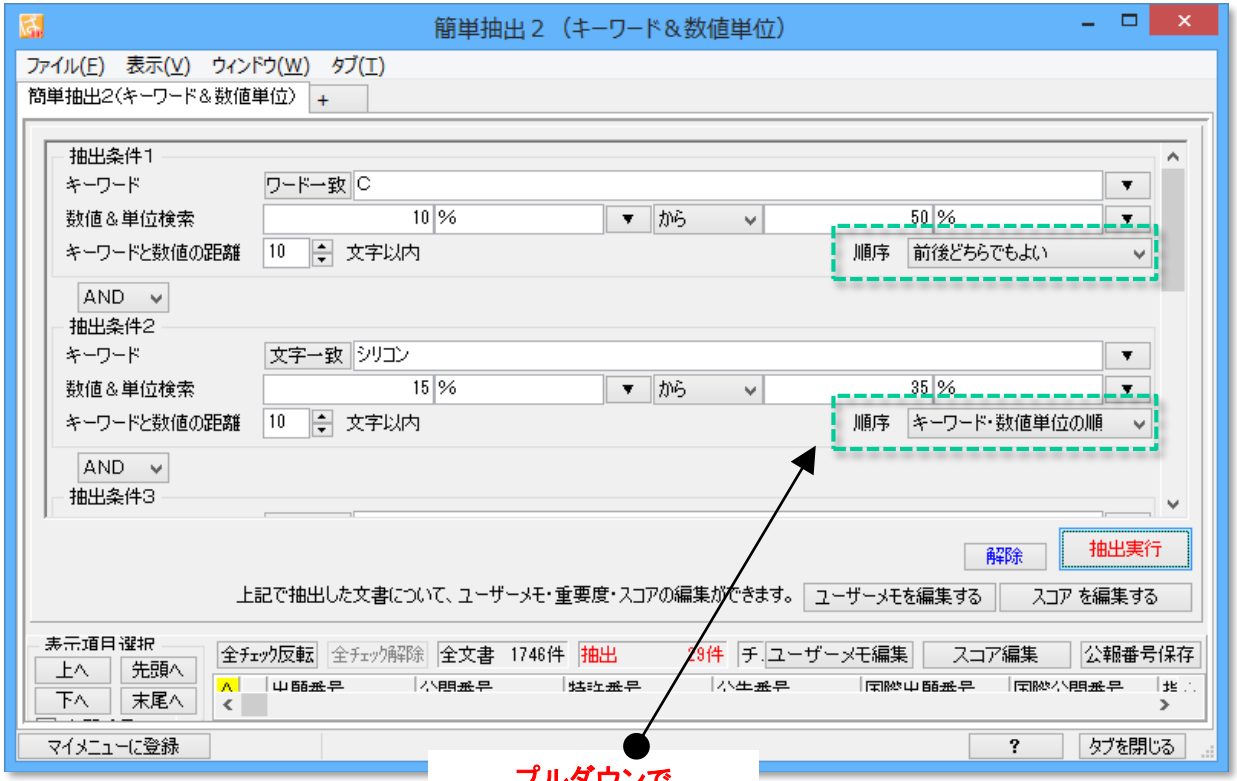
「簡単抽出2」では、抽出条件が1から6まで設定できます。
抽出条件間は、旧バージョンでは「OR」条件での接続でしたが、バージョン7では「AND」条件を設定できるようになりました。

■ 組成の検索方法

「ワード一致」による抽出が可能になったことと合わせて、
「炭素15%、ニッケル25%、酸素6%」
という組成を記載した文書を、簡単に抽出することができるようになりました。
組成を抽出する際には、探したい組成の表記がワード辞書に登録されているかどうかを、最初に確認しましょう。
「C：15%」と「CO：15%」を区別したい場合は、「ワード一致」を選択します。

簡単抽出2（キーワード&数値単位）

キーワードと数値単位の表記順を指定



プルダウンで
キーワードと数値単位の
表記順が切り替えられる

ここでの注意ポイント！

■ 表記順の指定方法

キーワードと数値単位の表記順を指定することができるようになりました。

■ 次の3種類のパターンから選択できます。

キーワード･数値単位の順 ･･･ 炭素：15%
数値単位･キーワードの順 ･･･ 15%の炭素
前後どちらでも良い ･･･ 上記のどちらの記述でもヒットします。

■ 注意点

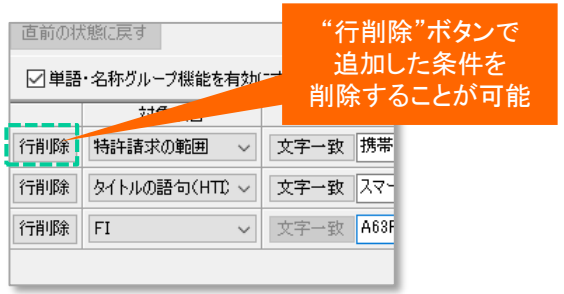
分野や出願人によって、キーワードと数値単位の記述に傾向があるようです。
目的の分野の傾向を見極めて、キーワードと数値単位の表記順を指定するようにすると、抽出の精度を上げることができます。

【特許評価】

☑ 自動得点付与機能の紹介

特許評価（1）

特許評価1　任意の項目で自在に点数を加算・減算



任意の項目に対して、
自由に条件と得点を設定し、
有効な公報を抽出することができる。

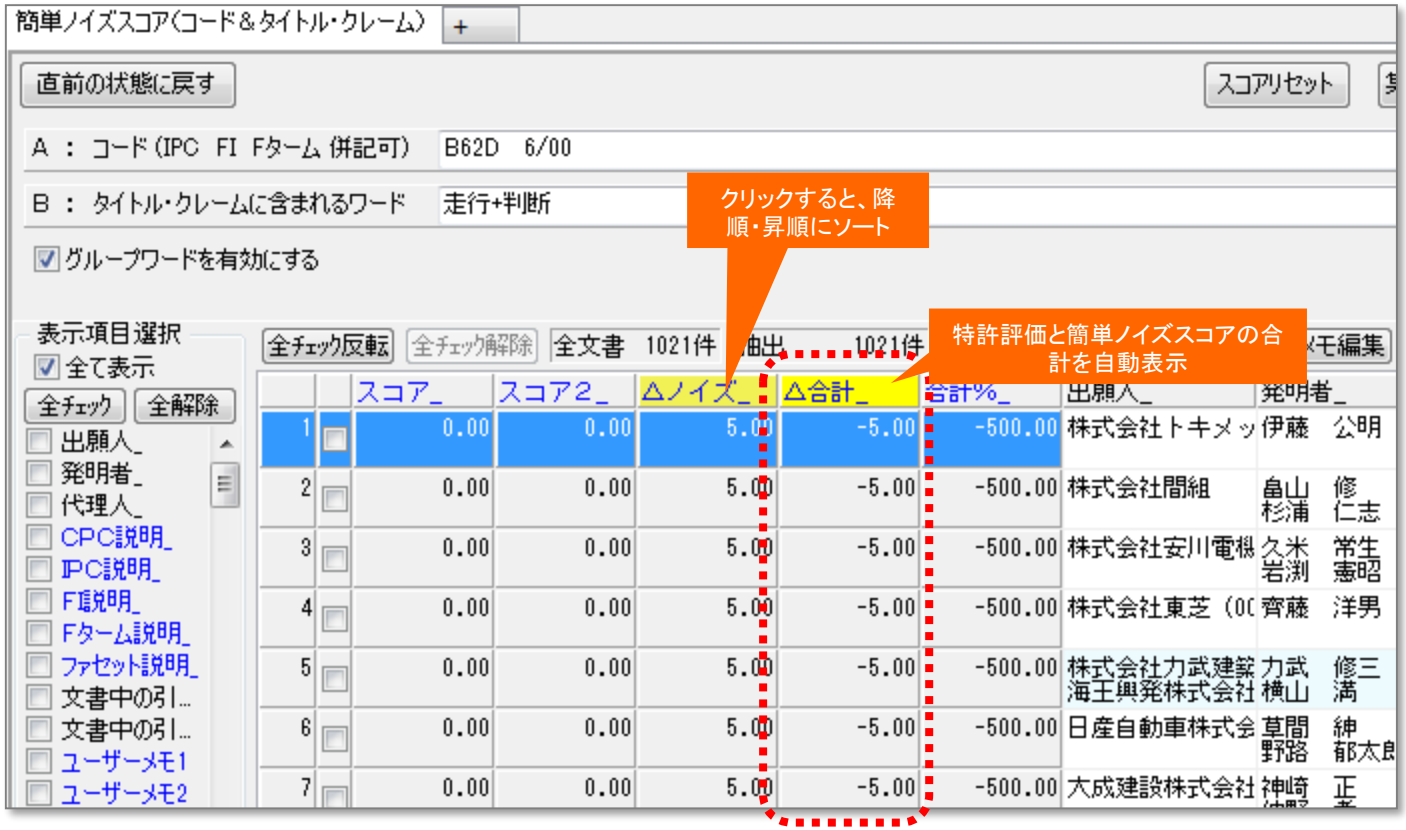
- 分類コードや出願人など、スコアの対象となる条件を設定します。
- プルダウンでリストボックスを表示し、選択したい対象にチェックを入れて、[OK] をクリックします。
- 点数を設定します。上下をクリックして点数を変更することができます。キーボードから直接に数字を入力することもできます。

  スコアに加算
  スコアに減算
  ノイズに加算
  ノイズに減算

  の4つの集計方法から一つを選択します。
- [集計実行]をクリックすると、条件に当てはまる公報に点数が加算または減算され、点数の高い順に公報が整列するので、上位の公報から優先して査読することで業務の効率アップが図れます。
- [条件を保存(S)] をクリックすると、入力した条件を保存することができます。保存先は任意に設定できます。[条件を読込(O)]をクリックすると、保存しておいた条件を読み込むことができます。
- 複数のキーワード等を入力する際には、「＋」か「＆」で連結してください。「＋」「＆」「(カッコ)」の演算子に対応しています。

特許評価（2）

スコアとノイズの「合計」表示

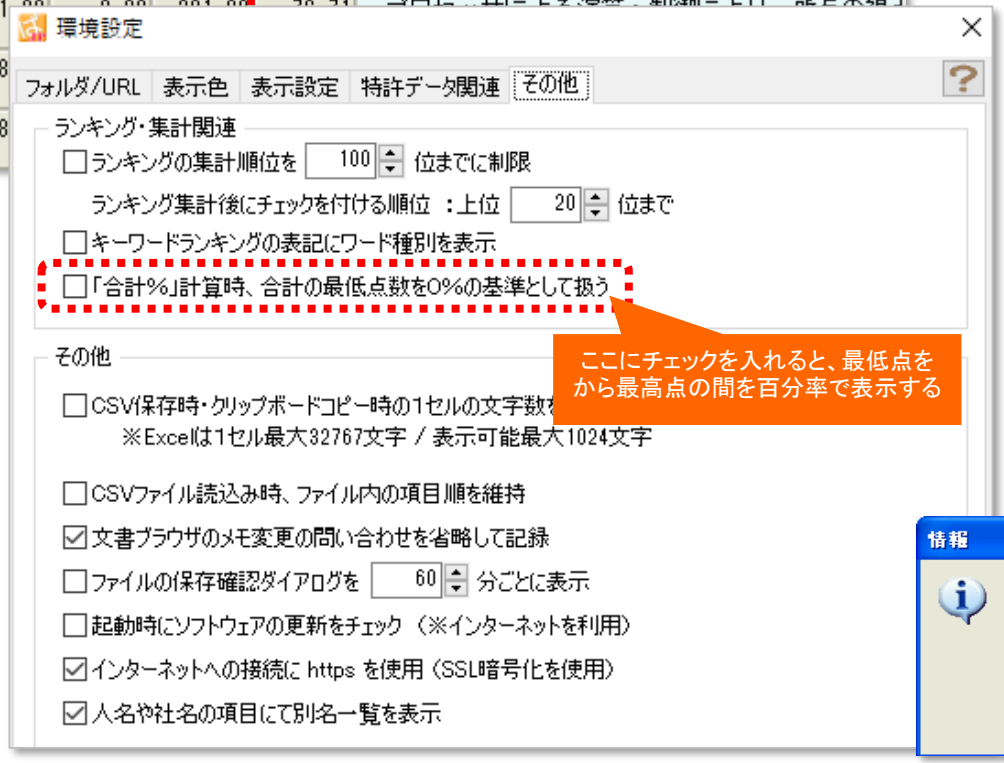


- 特許評価と簡単ノイズスコアの合計を自動集計して表示します。
- ［特許評価］－（マイナス）[簡単ノイズスコア」＝ 合計となります。
- 「合計」と書かれたセルをクリックすると、降順・昇順に並べ直すことができます。
- 合計点数の高い順に表示することで、重要な公報から効率よく査読することができます。

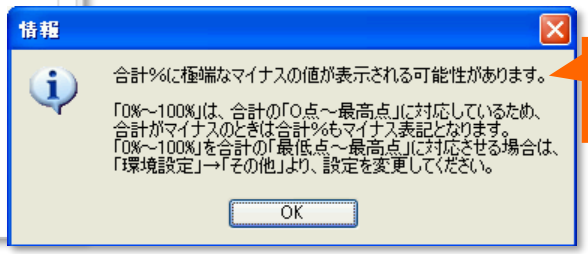
スコアが高く、ノイズ率の低い
公報から査読することができます！

特許評価（3）

		スコア_	ノイズ_	合計_	▽合計%	筆頭請求項
1		272.02	10.00	262.02	100.00	携帯型ゲーム機であって、　他の携帯型ゲーム機
2		215.00	10.00	205.00	78.23	可搬型電話機と通信可能な通信手段と、前記可搬型
3		201.66	0.00	201.66	76.96	プロセッサによる演算・制御により、所与の視点に
4		201.66	0.00	201.66	76.96	プロセッサによる演算・制御により所与のゲームを
5		201				
6		198				
7		198				



ここにチェックを入れると、最低点から最高点の間を百分率で表示する



マイナスの%数値が大きくなりそうな場合は、注意書きが表示される

スコアとノイズの合計を　%　で表示！！

2種類の計算方法が選択できます！

スコアの合計得点を%で表示します。

合計得点のプラス側の最高点を100%として計算します。

0点を0%とする計算方法と、

最低点を0%とする計算方法を、選択できます。

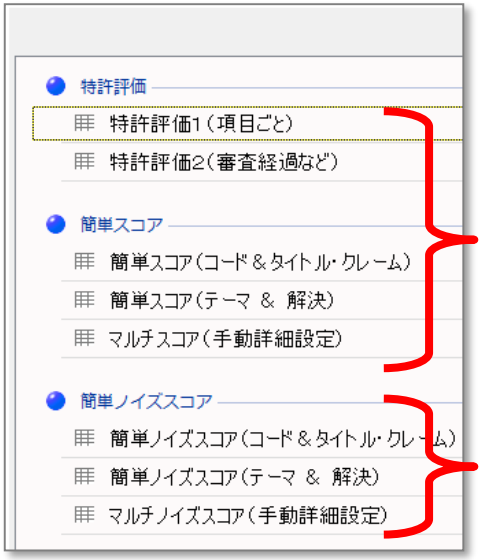
計算方法の切り替えは、

［システム］ → ［環境設定］の「その他」のタブで、「合計%」計算時、合計の最低点数を0%の基準として扱う　に、チェックを入れるか入れないかで行えます。

0点を0%とする計算方法の場合、マイナスの%数値が非常に大きくなる場合があります。

特許評価（4）

特許評価で有用公報を自動抽出



入力先を「スコア」「スコア2」「ノイズ」から選択

スコアの高い公報＝重要性の高い公報順に自動整列！

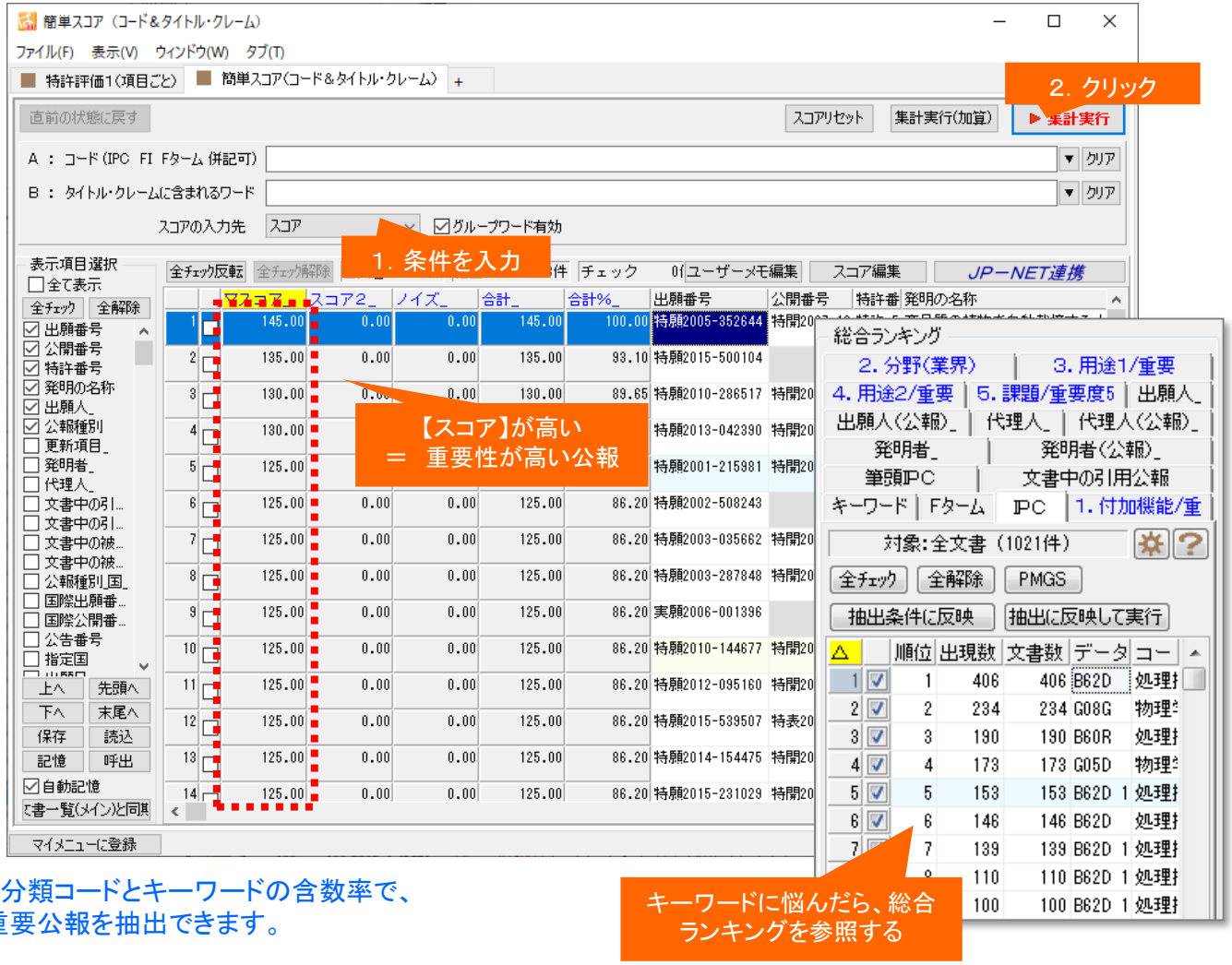
上位の公報から査読するだけ！

「特許評価」と「簡単ノイズスコア」の得点を見て、重要性の高い公報から査読すれば、業務の効率アップが図れる！

複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。
シンプルスコア以外では、「＆」「（カッコ）」の演算子は使用できません。

特許評価（5）

簡単スコア① コード ＆ タイトル・クレーム



分類コードとキーワードの含数率で、
重要公報を抽出できます。

1. A:に今回注目するコードを入力します。

2. B:に、タイトル（発明の名称）、クレーム（請求項）に含まれていれば重要だと思われる キーワードを入力します。
キーワードや分類コードの選択は、総合ランキングを参照するとよいでしょう。

3. [集計実行]をクリックすると、条件に当てはまる公報の【スコア】という項目に点数が加算され、点数の高い順に公報が整列するので、上位の公報から優先して査読することで業務の効率アップが図れます。

■点数加算の諸元■

A:のコード と B:のキーワード の両方を含む公報について、

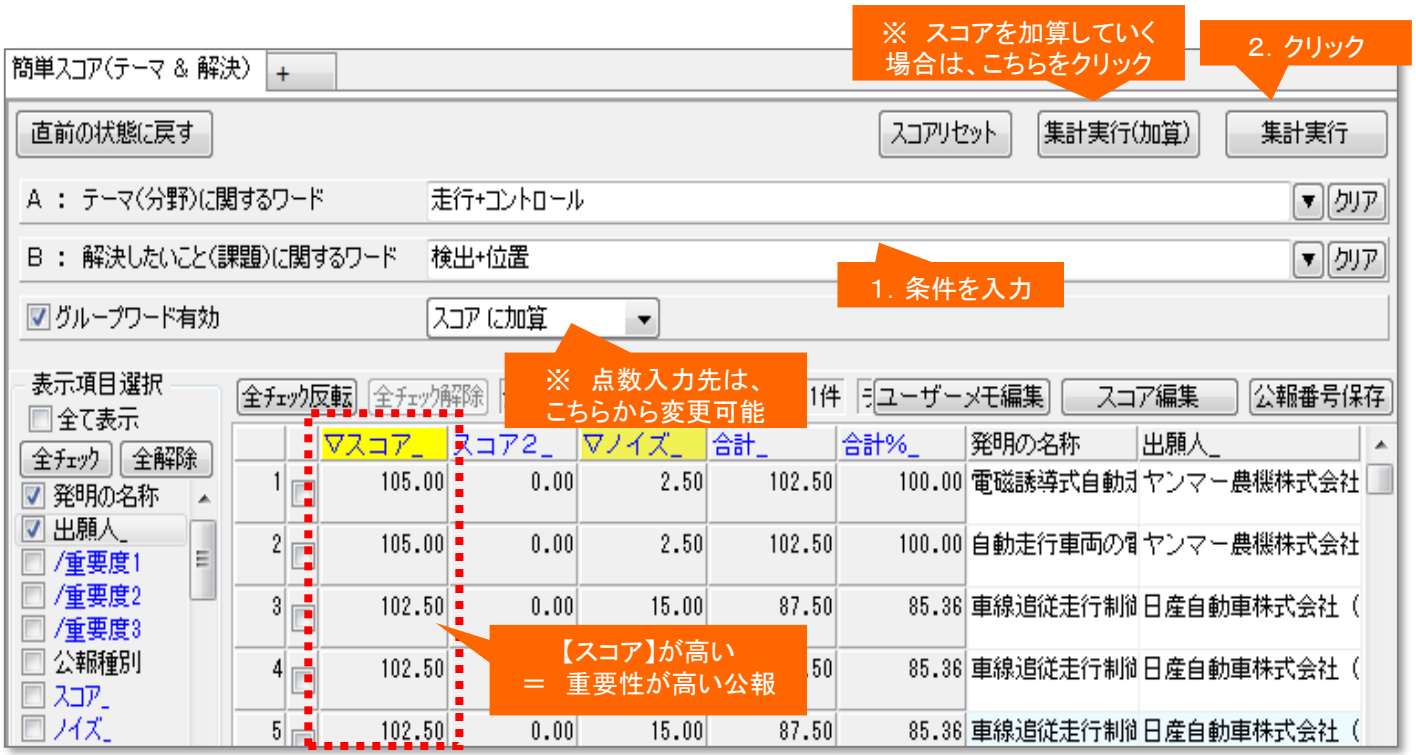
（キーワードが含まれていた数）／（タイトル、クレームの総語数）

＝ ”キーワード含数率” を点数として付加しています。

複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。
「＆」「(カッコ)」の演算子は使用できません。

特許評価（6）

簡単スコア② テーマ ＆ 解決



キーワードの含数率と、キーワード同士の関連度合いによって、重要公報を抽出できます。

複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。
「＆」「(カッコ)」の演算子は使用できません。

1. A:に(テーマ)に関するキーワードを入力します。
2. B:に(解決)に関わるキーワードを入力します。
3. [集計実行]をクリックすると、A:B:ともに条件を満たす公報の【スコア】という項目に点数が点数が加算され、点数の高い順に公報が整列するので、上位の公報から優先して査読することで業務の効率アップが図れます。

■点数加算の諸元■

A:に入力したキーワードが、(発明の名称)に含まれた場合点数を加算。

A:に入力したキーワードが、(技術分野)(背景技術)に含まれた場合、点数を加算。

B:に入力したキーワードが、(特許請求の範囲)(要約:解決手段)(課題を解決するための手段)に含まれた場合、点数を加算。

※ いずれの点数も、当該項目の総語数に対するヒットキーワード数 ＝ ”キーワード含数率” を基にしています。

B:に入力したキーワードの後ろ20ワード以内に、(解決)もしくは(前置を肯定)をほのめかすベクトル・ワードがあった場合、点数を加算。

特許評価（7）

簡単ノイズスコア① コード ＆ タイトル・クレーム

1. A：に今回注目するコードを入力します。

2. B：に、タイトル（発明の名称）、クレーム（請求項）に含まれていれば重要だと思われる キーワードを入力します。

3. [集計実行]をクリックすると、コードとキーワードを含んでいない公報の【ノイズ】という項目に点数が加算され、点数の高い順に公報が整列します。

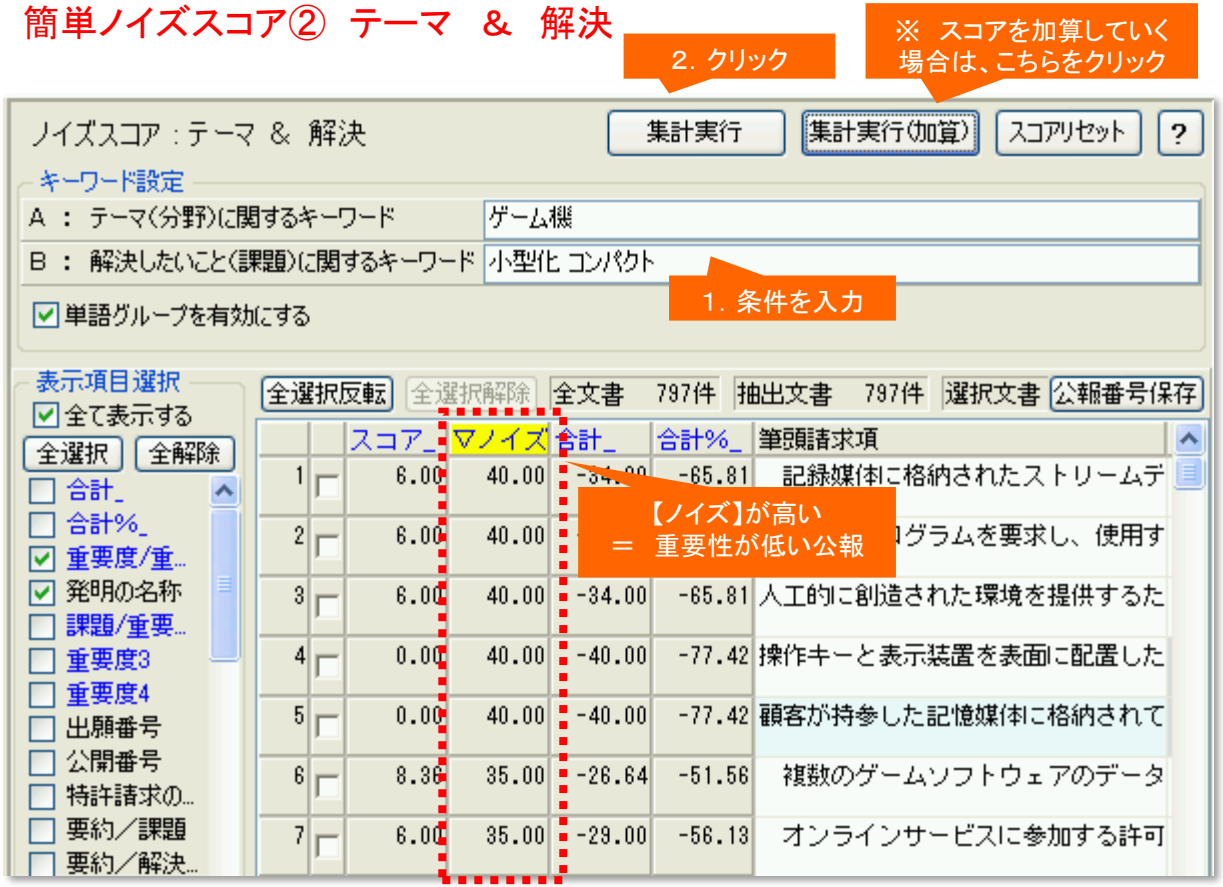
※ 【ノイズ】の点数が高く、【スコア】の点数が低いものほど、ノイズ公報であると判断することができますので、効率よくノイズ公報が除去できます。

複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。
「＆」「（カッコ）」の演算子は使用できません。

分類コードとキーワードの含数率で、
ノイズ公報を抽出できます。

特許評価（8）

簡単ノイズスコア② テーマ ＆ 解決



キーワードの含数率と、キーワード同士の関連度合いによって、ノイズ公報を抽出できます。

1. A：に（テーマ）に関するキーワードを入力します。

2. B：に（解決）に関わるキーワードを入力します。

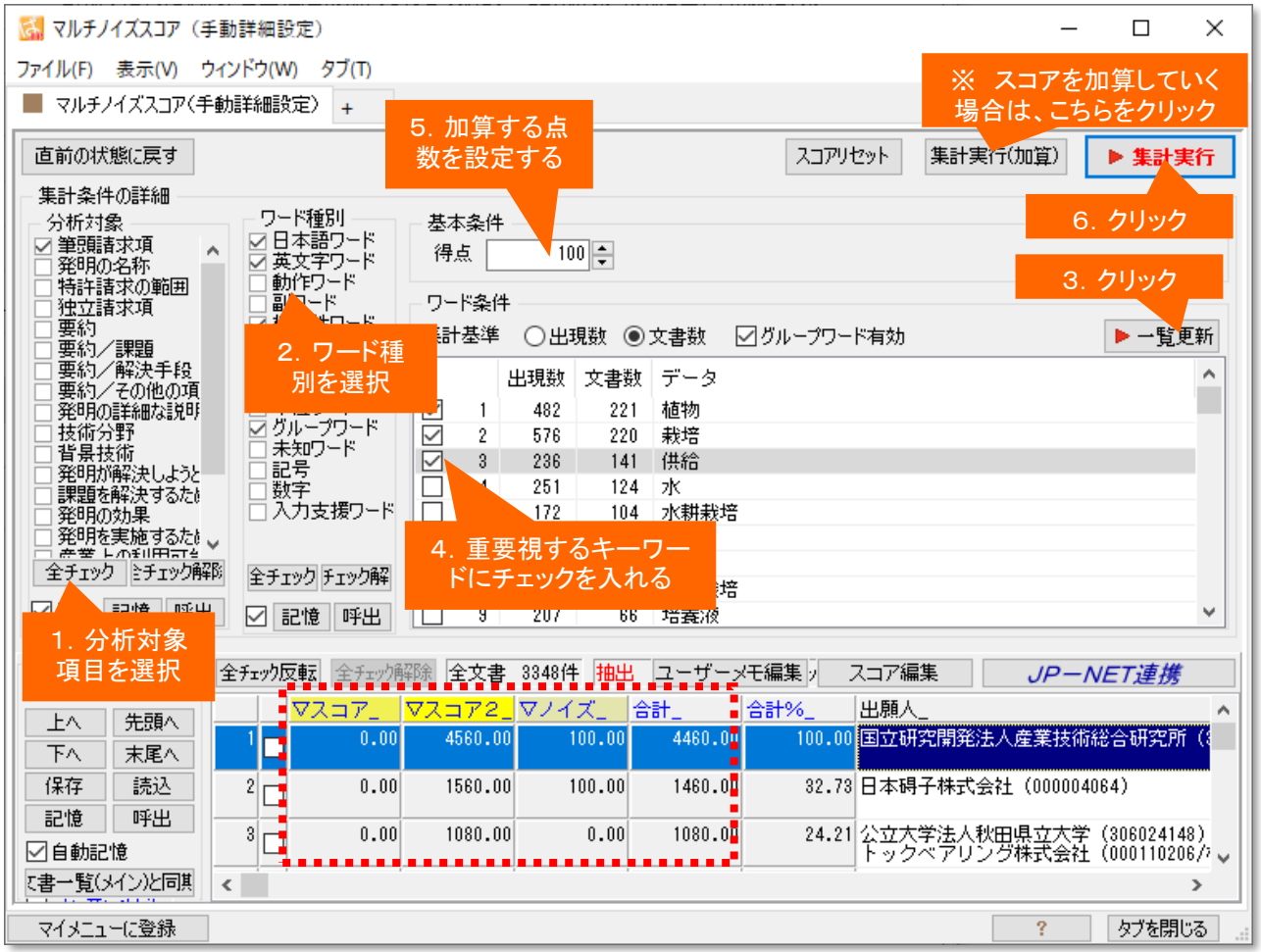
3. [集計実行]をクリックすると、A：B：ともに”条件を満たさない公報”の【ノイズ】という項目に点数が加算され、点数の高い順に公報が整列します。

※ 【ノイズ】の点数が高く、【スコア】の点数が低いものほど、ノイズ公報であると判断することができますので、効率よくノイズ公報が除去できます。

複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。
「＆」「（カッコ）」の演算子は使用できません。

特許評価（9）

マルチスコア・マルチノイズスコア（手動詳細設定）



1. 分析対象項目を選択します。
2. ワード種別を選択します。
3. ［一覧を更新］をクリックします。

   選択された対象項目内で、選択されたワード種別に属する、よく利用されているキーワードが、一覧に表示されます。
4. 一覧の中から、重要そうなキーワードにチェックを付けます。
5. 加算したい点数を入力します。
6. ［集計実行］をクリックします。

※ マルチスコアと、マルチノイズスコアは、同じ手順で動作します。

項目とワード種別、加算する得点を自在に設定することができます。

特許評価（10）

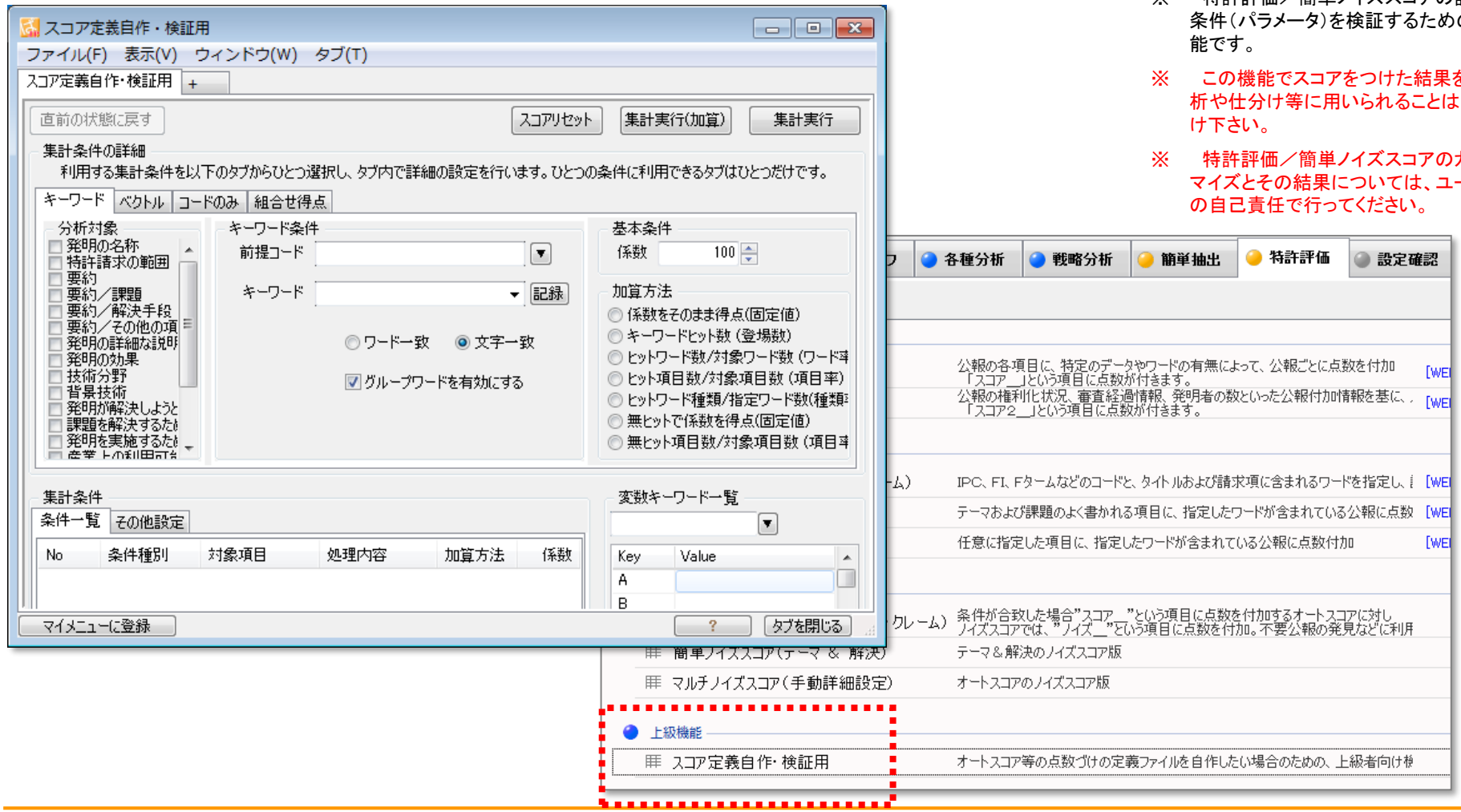
スコア定義　検証用

特許評価／簡単ノイズスコアのパラメータチェック専用：分析には使わないでください

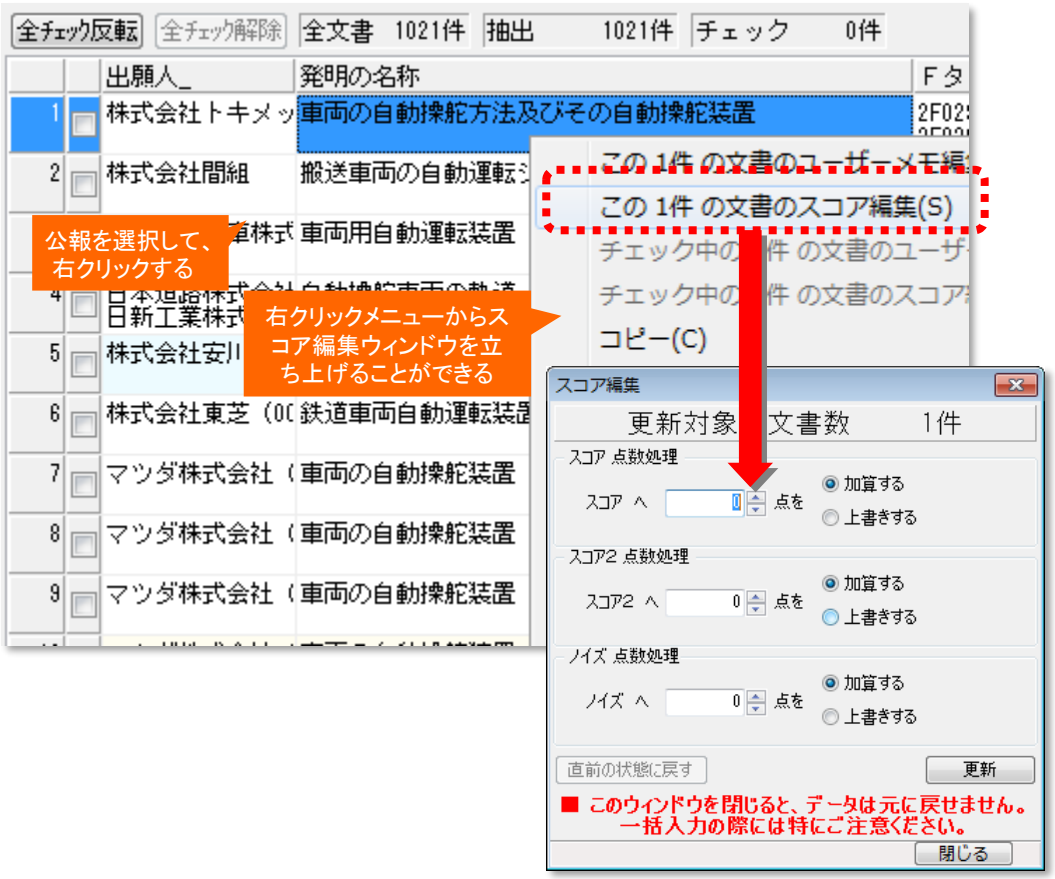
※　特許評価／簡単ノイズスコアの設定条件（パラメータ）を検証するための機能です。

※　この機能でスコアをつけた結果を、分析や仕分け等に用いられることはお避け下さい。

※　特許評価／簡単ノイズスコアのカスタマイズとその結果については、ユーザの自己責任で行ってください。



特許評価（11）



右クリックメニューでスコア編集が可能

- 公報を選択し、右クリックメニューからスコア編集をクリックすると、スコア編集ウィンドウを立ち上げることができます。
- スコア、またはノイズに、任意の点数を加算または上書きすることができます。
- 「文書一覧」だけでなく、「特許評価」や各種分析画面など、文書が選択できる画面でスコア編集ウィンドウを立ち上げることができます。

選択した公報ごとにスコアを加算することができます！

特許評価（12）

【特許評価2】

特許評価分析が精度を上げて、単独タブになりました！

■ 経過情報の各種項目に対応

従来、オートスコアの一機能としていた「特許評価分析」を独立させ、経過情報の各種項目に対応しました。

得点を入れたい（注目したい）設定項目に、チェックを付けるとともに、加点したい点数、減点したい点数を設定してください。「集計実行」もしくは「集計実行（加算）」ボタンを押すことで、文書一覧の「スコア2」という項目に点数が入ります。

プルダウンから、「スコア」「ノイズ」の項目にも得点を集計できます。

【ご注意事項】

注目したい項目に、チェックおよび点数設定をおこなっても、実際にその項目、データがない場合、点数は入りません。詳細に分析したい場合には、JP－NETであれば、CSV形式でデータを取得してください。テキストデータと結合することで、より詳細な公報の状態で分析できます。

※　JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。ぱっとマイニングで読み込み可能な形式は、「テキスト形式」と「CSV形式」です。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

【PMGS機能 】

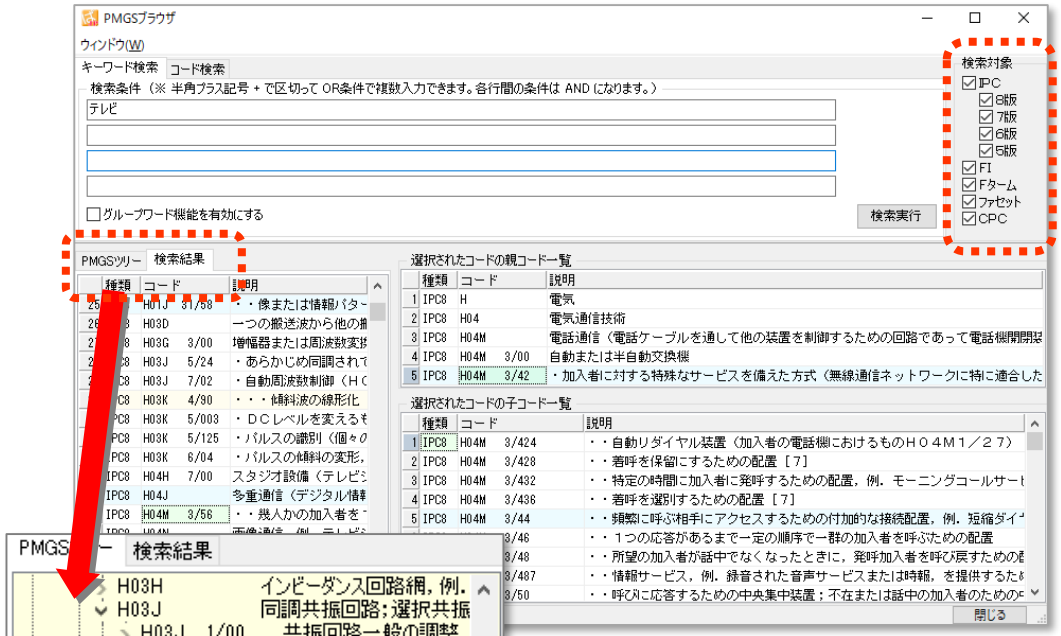
☑ 内蔵パテントマップガイダンスの紹介

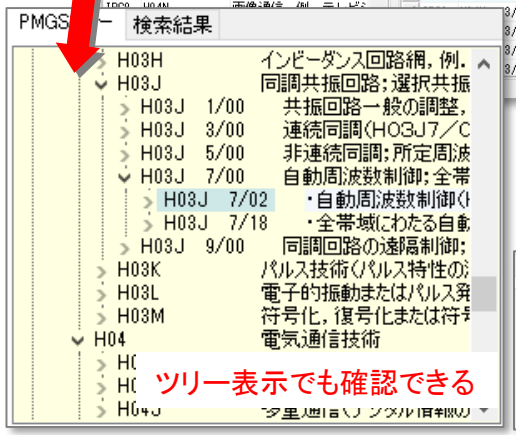
PMGS機能（1）

複数の分類コードを串刺しで検索！！

PMGS

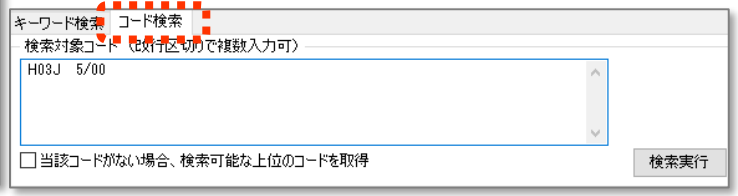
内蔵されたパテントマップ・ガイダンス





ツリー表示でも確認できる

該当コードだけでなく、上層コード、下層コードも表示



ここでの注意ポイント！

■ 検索条件を入力 → 検索実行をクリック

『PMGS』ボタンをクリックすると、PMGSブラウザが起動します。
検索条件を入力し、〔検索実行〕ボタンをクリックすると、分類コードの意味が表示されます。
左画面には検索結果が一覧表示され、右画面上には該当分類コードとその上位コード、左下画面内には、下位コードが表示されます。

コードをダブルクリックするか、『PMGSツリー』タブをクリックすると、左画面にコードがツリー表示されます。

■ キーワード検索

キーワードを入力してコードを検索します。
複数のキーワードを入力する場合は、半角プラス「+」で区切ります。

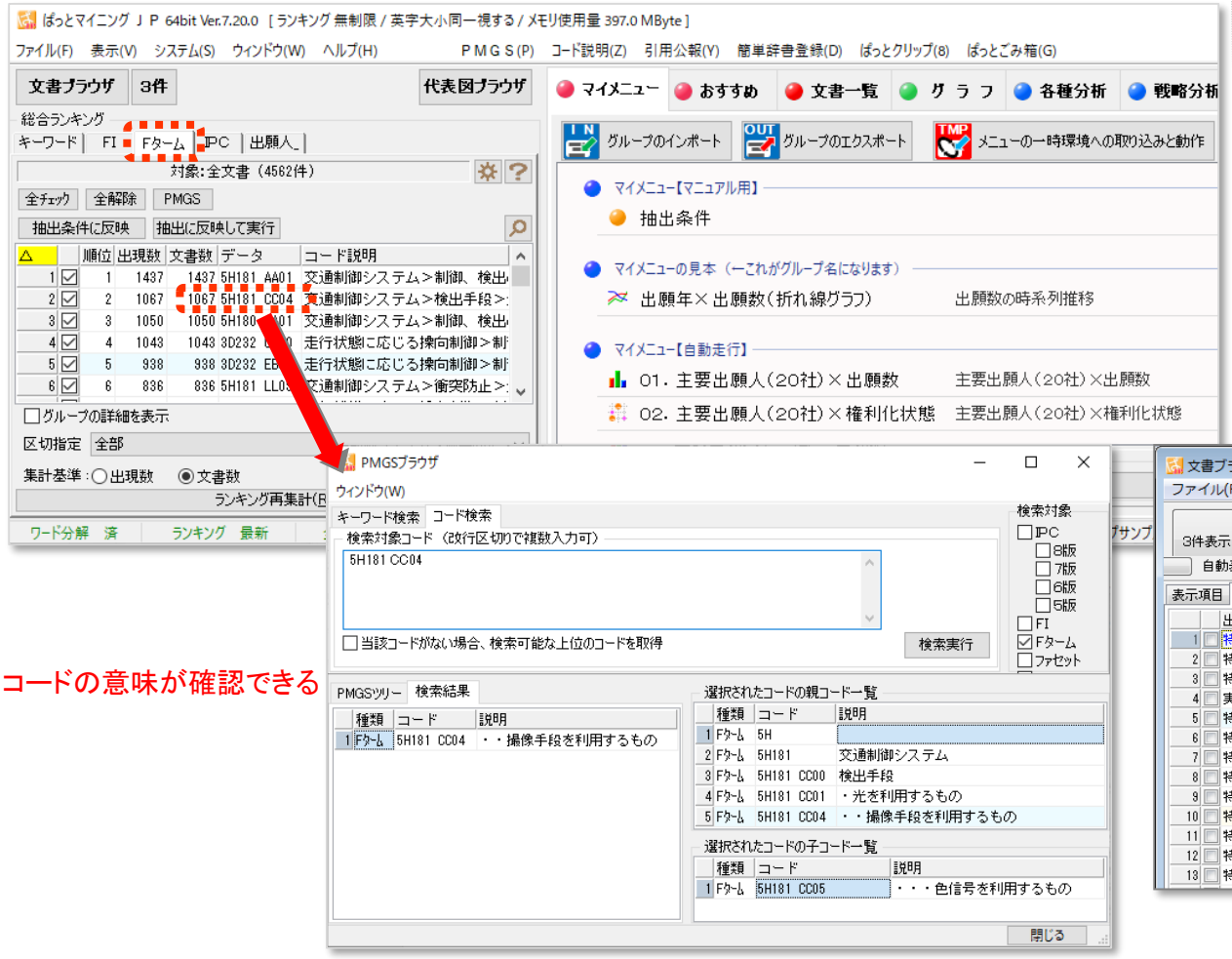
■ コード検索

分類コードを入力して検索します。
複数のコードを入力する場合は、改行で区切ります。

PMGS機能（2）

分類コードの意味をその場で確認できる！！

ダブルクリックでPMGSブラウザが起動



コードの意味が確認できる

クリックするとPMGSブラウザが起動し、コードの意味が確認できる

ここでの注意ポイント！

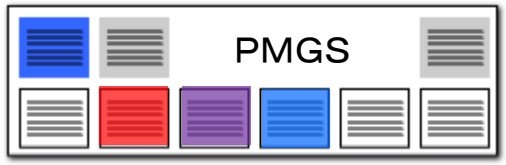
■ 総合ランキングから

総合ランキングの、各分類コードをダブルクリックすると、PMGSブラウザが起動し、当該コードを表示します。
検索条件を入力し、〔検索実行〕ボタンをクリックすると、分類コードの意味が表示されます。

■ 文書ブラウザから

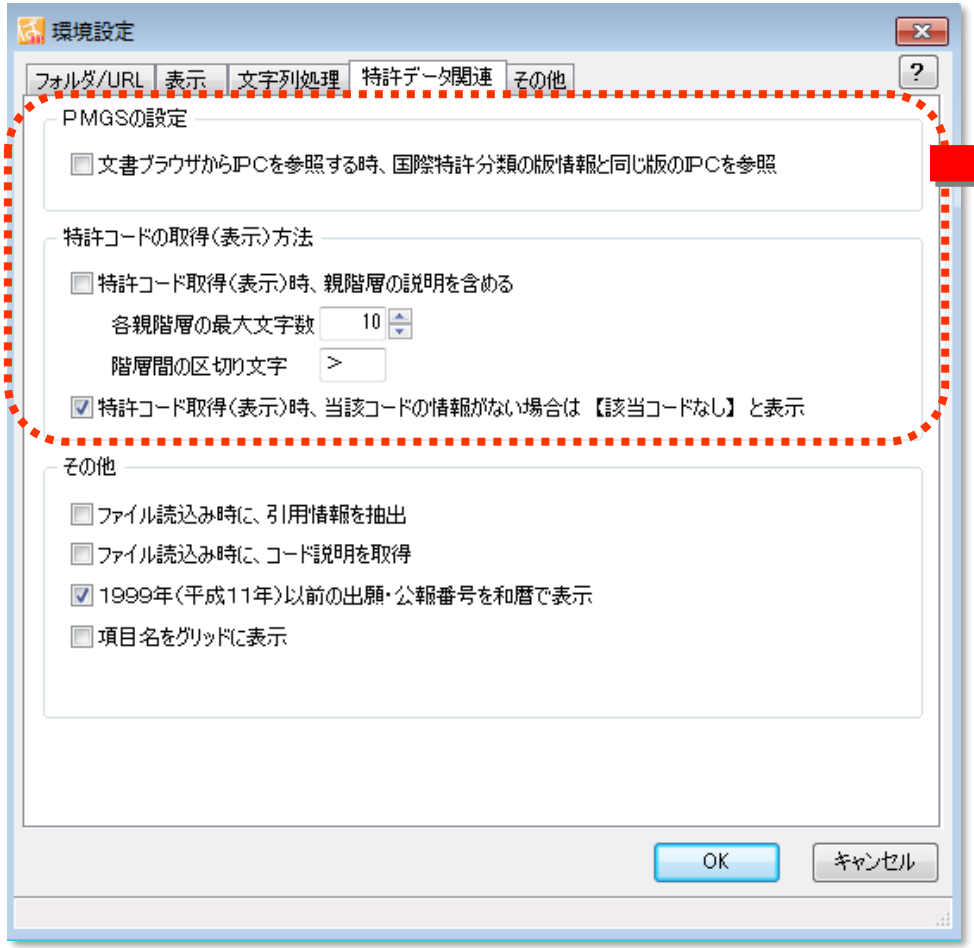
『文書ブラウザ』内の分類コードをクリックすると、、PMGSブラウザが起動し、当該コードを表示します。

PMGS機能（3）



該当コードがない場合の動作を設定

PMGS機能の設定



ここでの注意ポイント！

■ 総合ランキングから

PMGSの設定は『環境設定』で行います。
IPCの検索対象を、たとえば8版だけに限定するか、それともすべての版を対象にするか、設定することができます。

『特許コード取得（表示）時、親階層の説明を含める』・・・チェックを入れると、特許分類コードの説明表示に、親階層の説明を含めることができます。
説明表示をシンプルにしたい場合はチェックを外します。
各親階層の最大文字数、階層間の区切り文字を指定することができます。

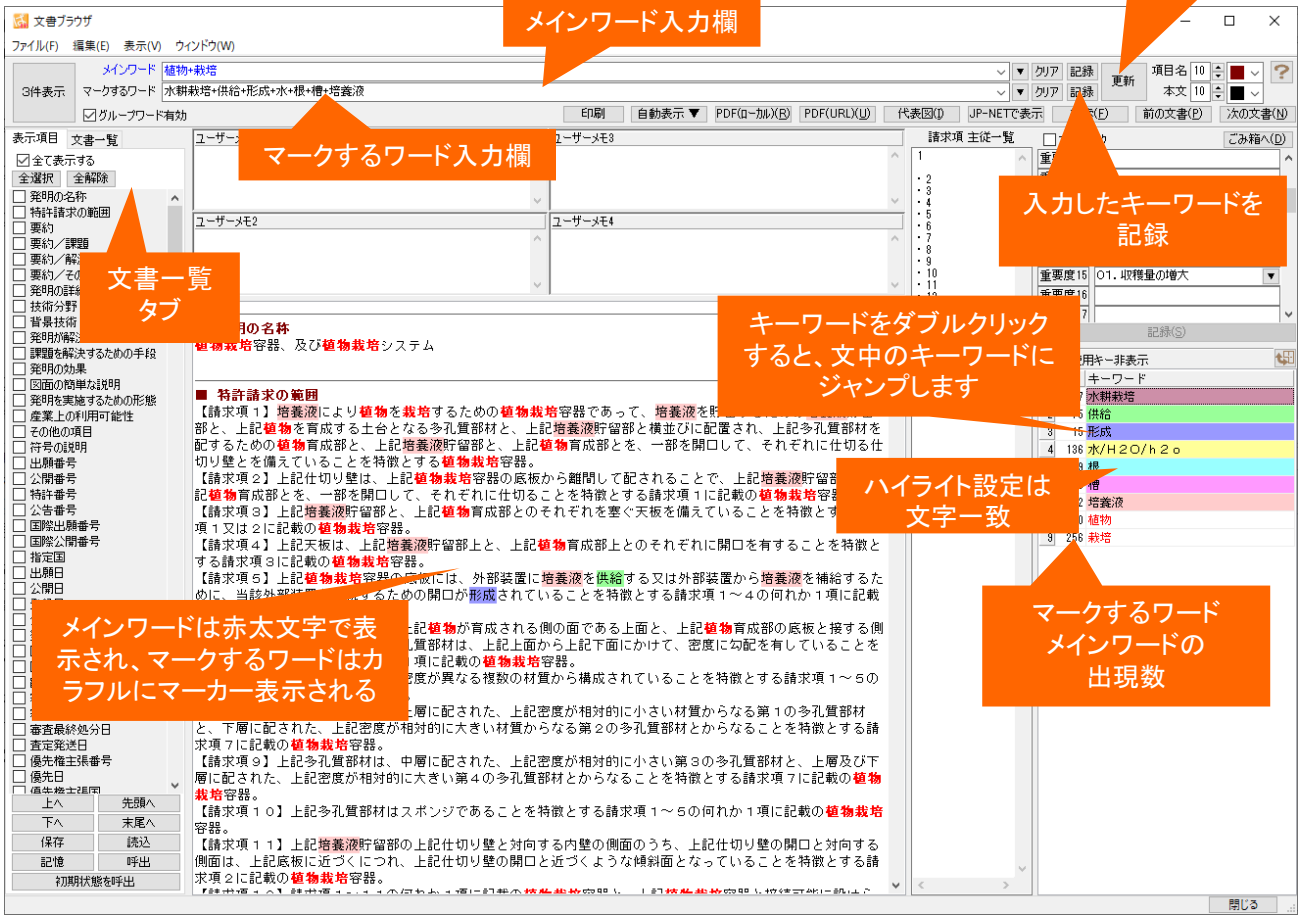
『特許コード取得（表示）時、当該コードがない場合は【当該コードなし】と表示』・・・当該コードの説明がない場合に、空白表示にするか、【当該コード無し】と表示するかを選択することができます。

【 最強の文書ブラウザを攻略！ 】

☑ 文書ブラウザの便利機能を活用しよう！

文書ブラウザの便利機能攻略！1

キーワードの設定ですばやく査読



ここでの注意ポイント！

- **メインワード**

  特に注目したいキーワードを入力しておきます。文書内で太い赤字で表示されます。複数のキーワードを入れるときは間にスペースを挟みます。

- **マークするワード**

  注目したいキーワードを入力しておくと、文書内でカラフルにマーキングされます。複数のキーワードを入力するときは間に　＋　を挟みます。

- **記録・更新**

  『記録』ボタンを押すと、入力したキーワードが記録されます。新しいキーワードを入力したときは、『記録』ボタンをクリックして記録しておき、『更新』ボタンをクリックして表示を反映させます。

- **文書削除**

  『編集（S）』をクリックし、『削除（D）』をクリックすると、そのとき開いていた文書が削除されます。

- **グループワード有効機能**

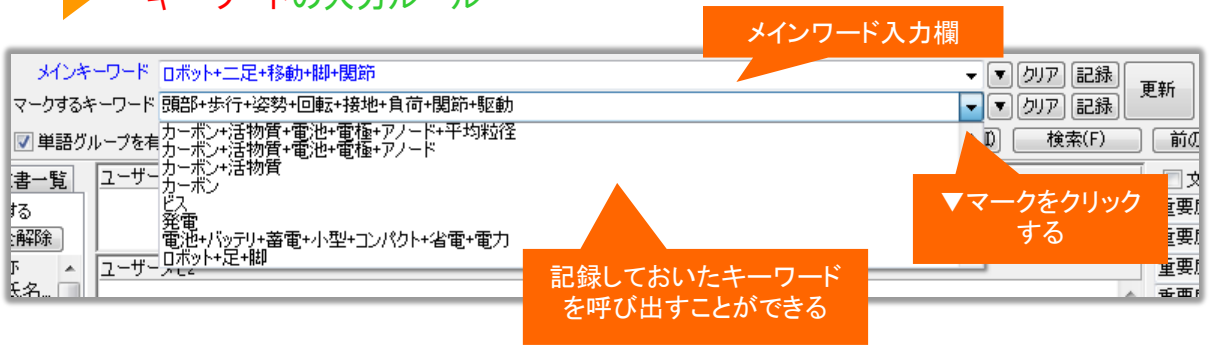
  『グループワード有効』にチェックを入れておくと、キーワードのグループワードもマーキングされます。

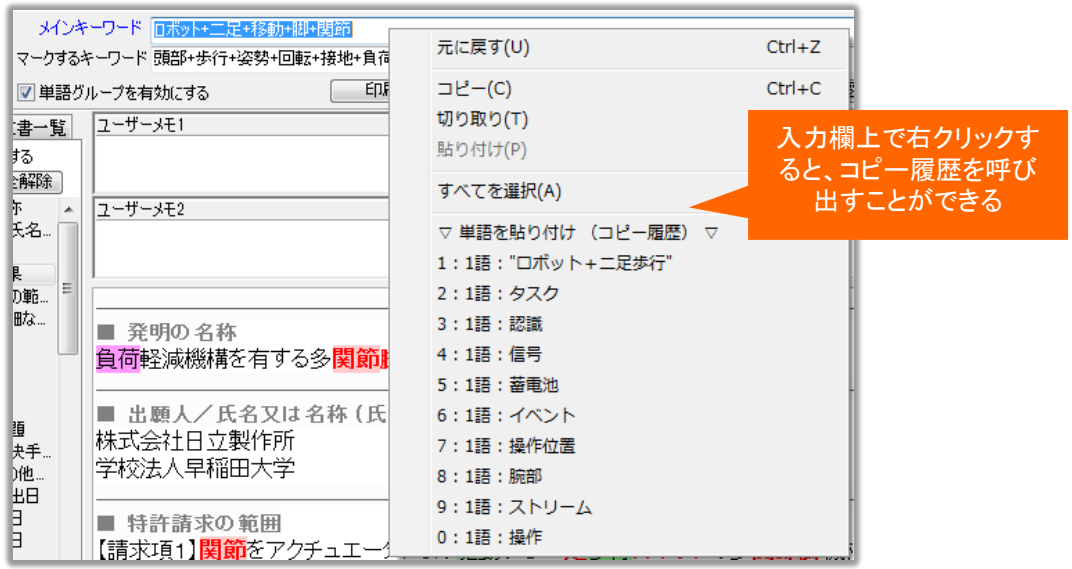
- **キーワードの出現数表示**

  メインワードとマークするワードの文書内での出現回数が表示されます。『不使用キー非表示』にチェックを入れておくと、出現回数1回以上のキーワードだけが出現回数表示されるので、キーワードが出現しているかいないのかが判断しやすくなります。

文書ブラウザの便利機能攻略！2

キーワードの入力ルール





ここでの注意ポイント！

■ 入力ルール

メインワード、マークするワードはどちらも複数のキーワードを入力することができます。
複数のキーワードを入力する際には、「＋」で連結してください。

「＆」「（カッコ）」の演算子は使用できません。

入力する文字は全角が基本です。半角文字の入力も可能です。入力できる文字数の制限はしていません。
全角スペースは、そのまま変換されずに入力されます。半角スペースは全角スペースに変換されます。
ただし、「＋」」の前後に入れられたスペースは、抽出実行時に自動的に削除されます。
「＋」「＆」「（カッコ）」や、半角スペースを含むキーワード、半角文字をキーワード対象にしたい場合は、ダブルクォート（” “）で囲んでください。

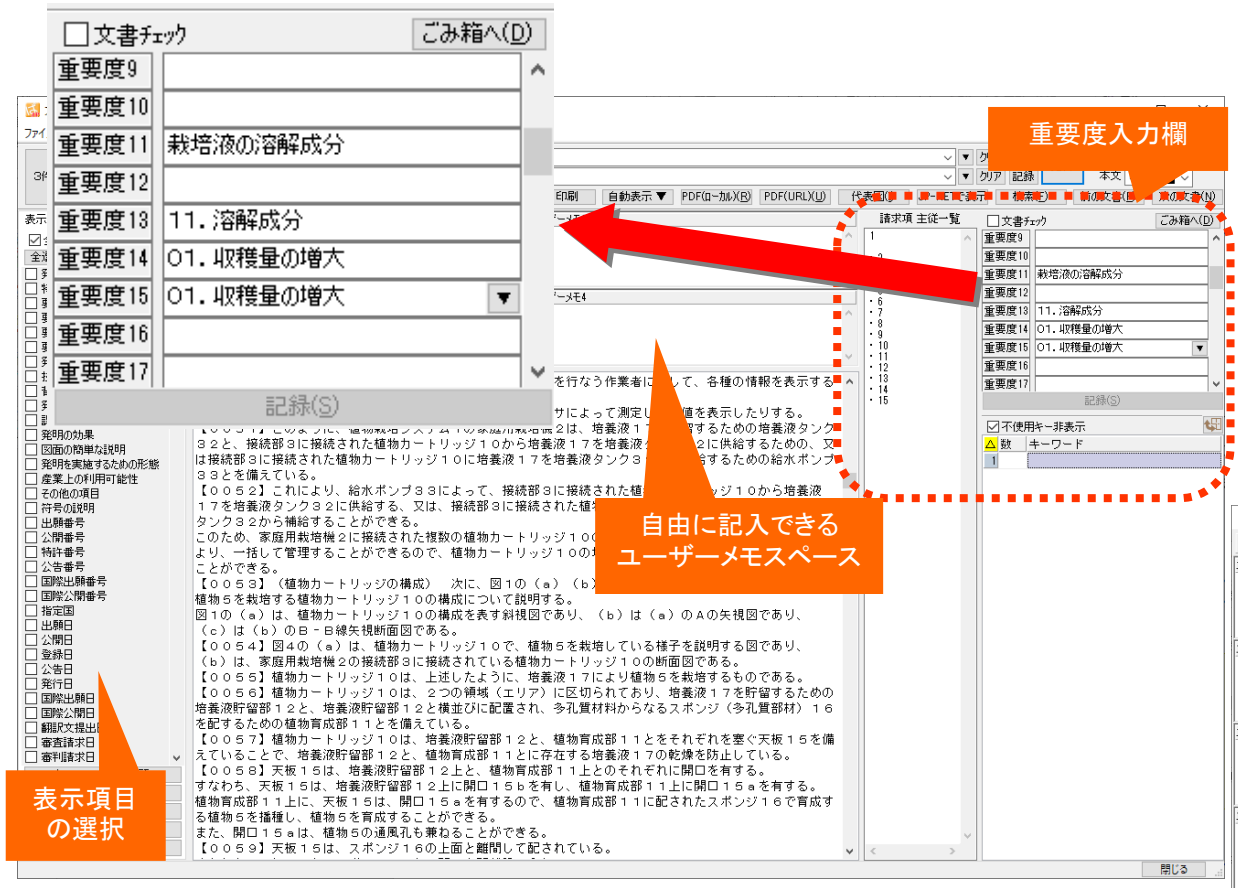
英単語の大文字と小文字を同一視したい場合は、[システム]→「環境設定]→「文字列処理タブ」の「英字の大文字と小文字を同一視する」にチェックを入れて下さい。

※ キーワードの検索は文字一致で行なうため、ワード一致で行った分析結果とはヒット件数が異なる場合があります。

文書ブラウザの便利機能攻略！3

重要度の複数選択が可能！！

重要度フラグとメモ欄を有効に活用！



ここでの注意ポイント！

■ 4つのメモ欄を装備

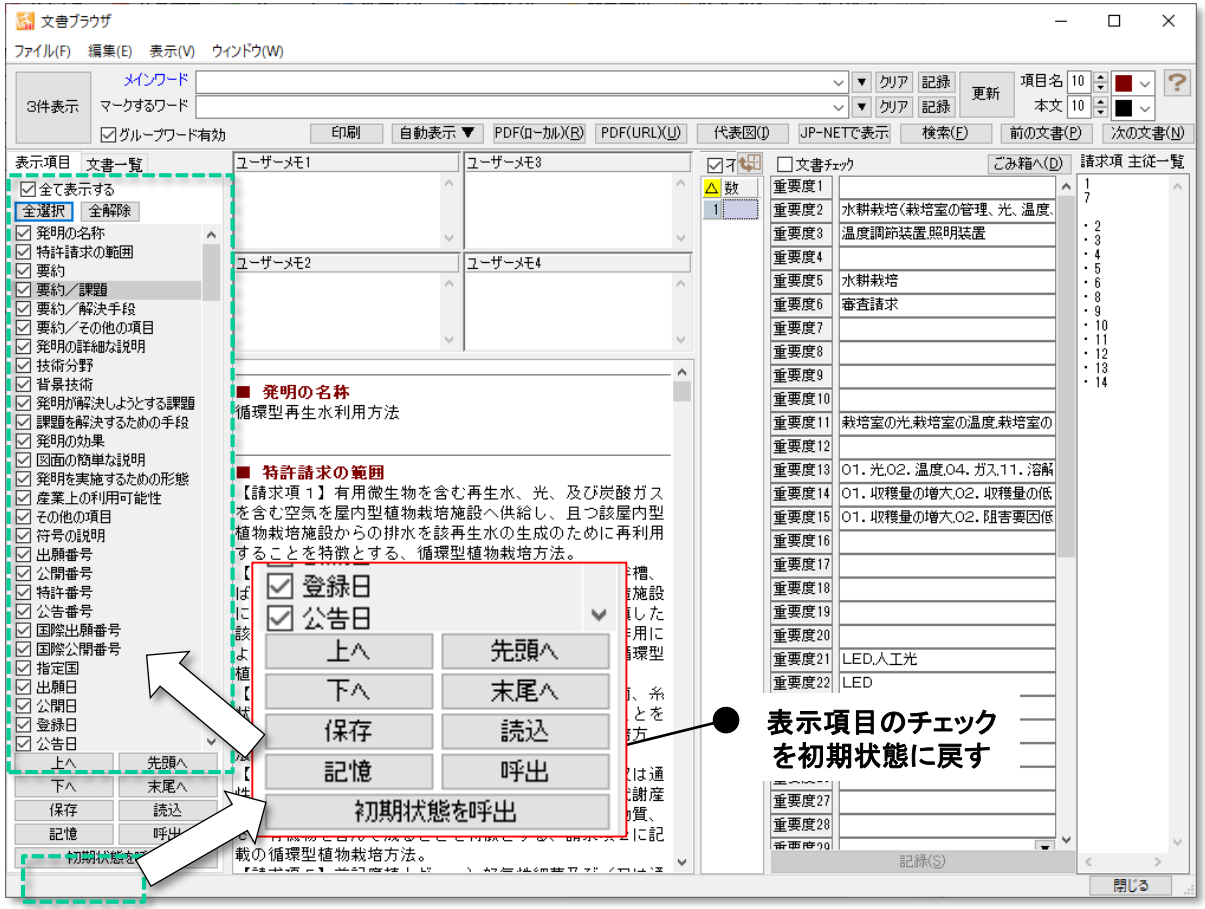
ユーザーメモスペースには自由にメモを記入することができます。記入した内容は『メインウィンドウ』の文書一覧に反映されます。半角文字は使用できません。

■ 重要度

50の重要度が設定でき、仕分け記号やしおりなどに活用できます。プルダウンの内容は[重要度・ユーザーメモ項目設定]で任意に設定することができます。プルダウンを使わずに直接テキストを入力することもできます。重要度には半角文字も使用できます。

文書ブラウザの便利機能攻略！4

初期状態を呼出

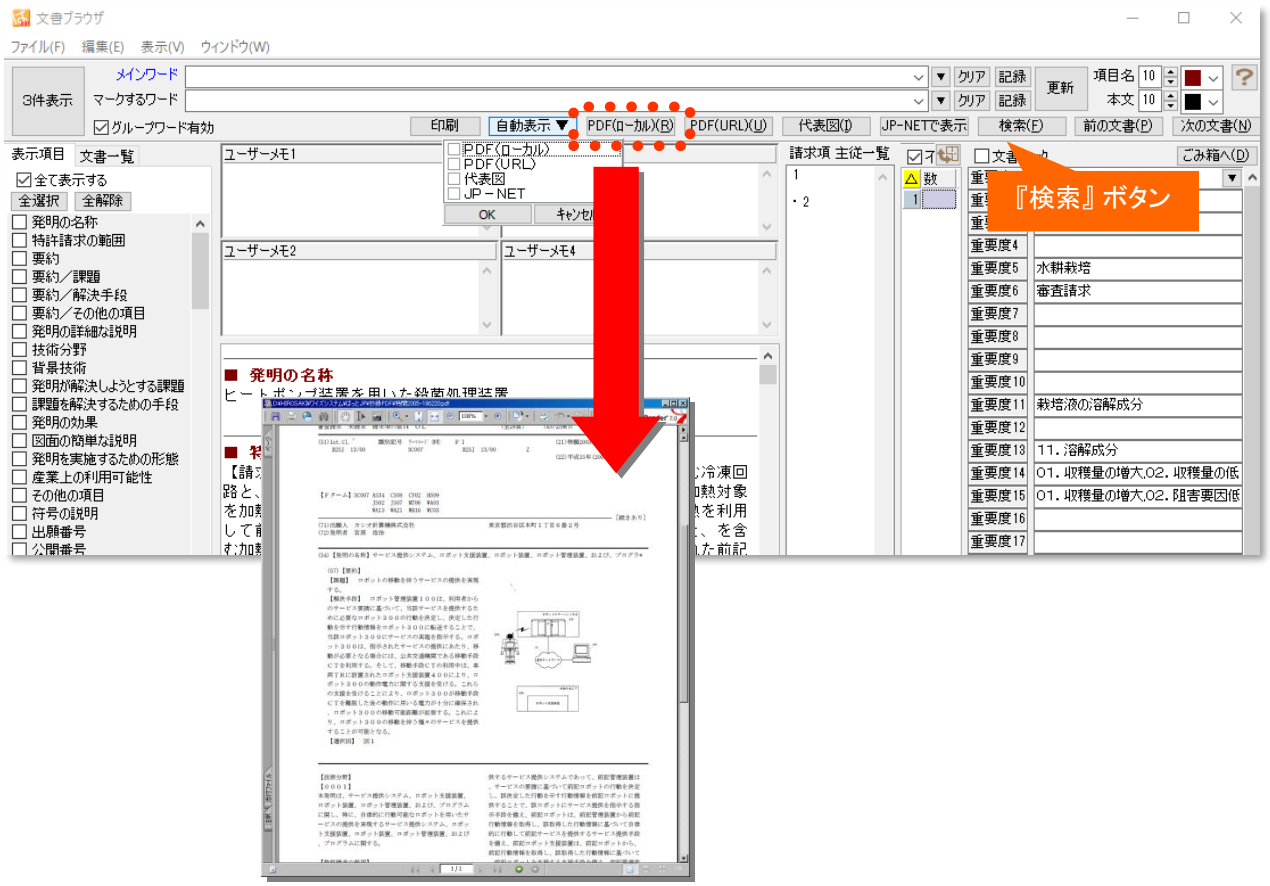


表示項目のチェックをリセットする機能

- 「初期状態を呼出」ボタンをクリックすると、表示項目のチェック状態を初期状態に戻すことができます。
- 表示項目の順番は変更されません。
- 複数の辞書ファイルを利用する時には、辞書の優先順位を指定することができます。〔ファイルを上に〕〔ファイルを下に〕ボタンによって、辞書ファイルの優先順位を変更することができます。
- 単文表示では、全項目にチェックが入ります。3件表示では【出願番号】【公報番号】【出願人】【要約】など、にチェックが入ります。

文書ブラウザの便利機能攻略！5

PDFファイルとの連動（1）



ここでの注意ポイント！

■ 検索

『検索』ボタンをクリックすると『検索ウィンドウ』が開きます。検索したい語句を入力すると、書面内の検索ができます。

■ PDFファイルの表示

『PDF（ローカル）』ボタンをクリックすると、『文書ブラウザ』で表示している書面のPDFファイルを見ることができます。

■ 自動表示

『自動表示』をクリックすると、文書を開くたびに、チェックを付けた機能を自動で実行し、表示するか選択できます。
『PDF（ローカル）』にチェックをつけておくと、文書を開くたびに、その文書に対応したPDFを自動表示します。

■ PDFファイルの設定

PDFファイルを表示するためには、『メインウィンドウ』の［システム(S)］→［環境設定(X)］→［フォルダ/URL］タブ で、PDFファイルを格納しているフォルダの場所を設定しておきます。
また、元データにPDFファイル名を入力しておく必要があります。

※ JPネットからのPDFリンクは、次のページを参照下さい。

文書ブラウザの便利機能攻略！6

PDFファイルとの連動（2）

ここでの注意ポイント！

■ 検索

『検索』ボタンをクリックすると『検索ウィンドウ』が開きます。検索したい語句を入力すると、書面内の検索ができます。

■ PDFファイルの表示

『PDF（URL）』ボタンをクリックすると、『文書ブラウザ』で表示している書面のPDFファイルを見ることができます。

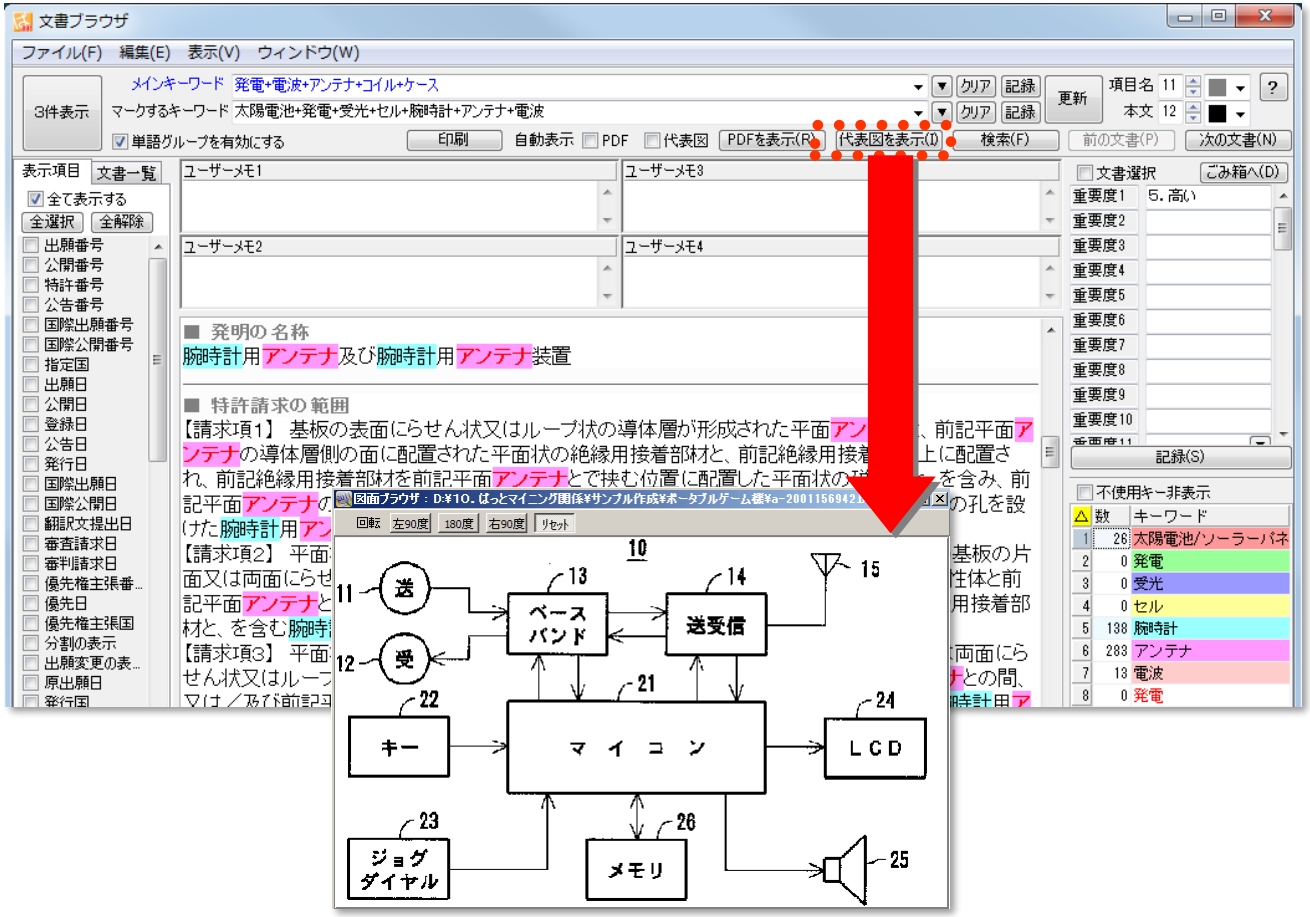
■ JP-NETで表示　＞＞詳細はこちら

『JP-NETで表示』ボタンをクリックすると、『文書ブラウザ』で表示している書面をJP-NETで表示することができます。

NewCSSをご利用のお客様には、「NewCSSで表示」と表示されます。

文書ブラウザの便利機能攻略！7

代表図との連動



ここでの注意ポイント！

■ **代表図の表示**

『代表図を表示』ボタンをクリックすると、『文書ブラウザ』で表示している書面の代表図を見ることができます。

■ **代表図自動表示**

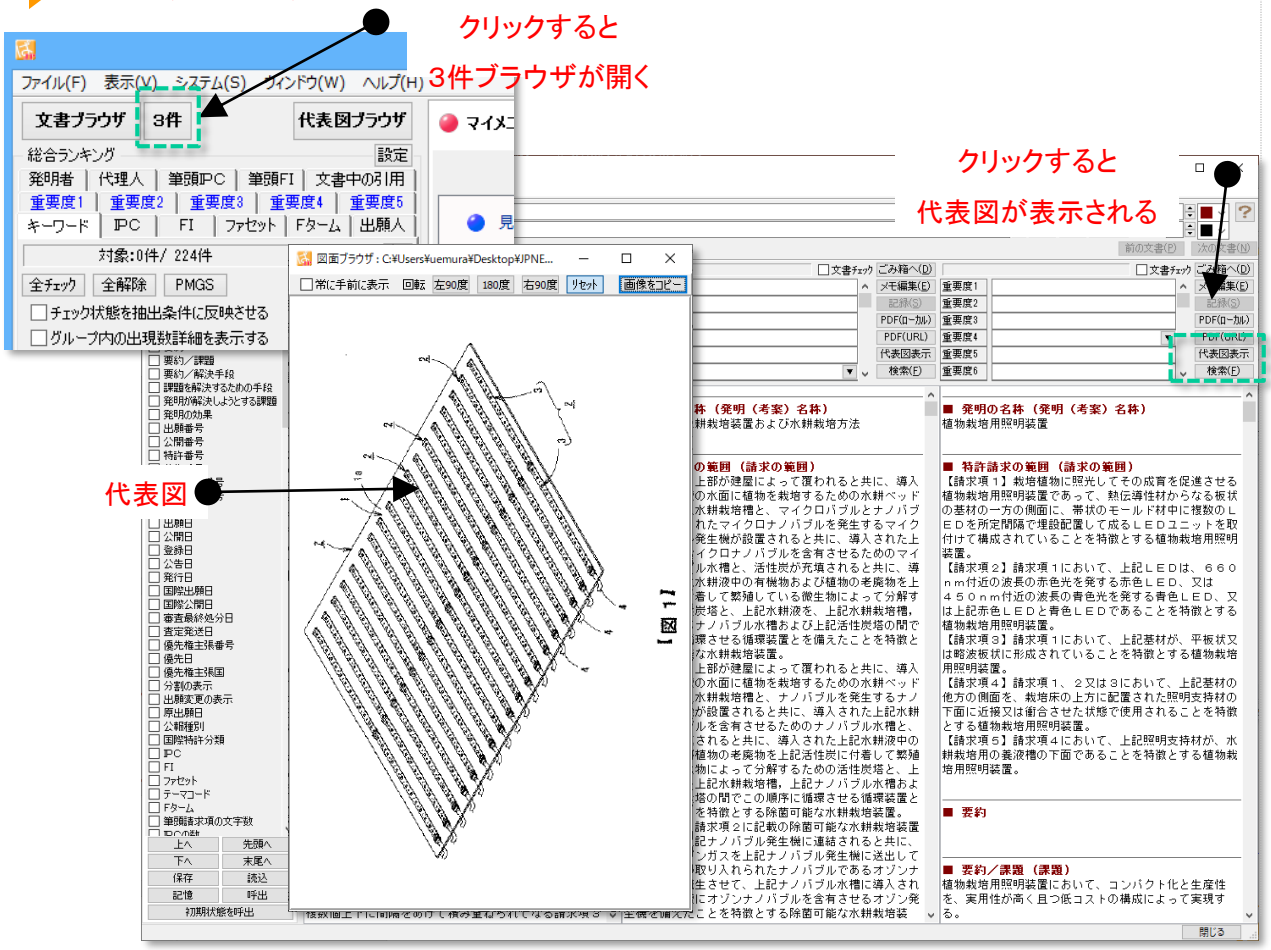
『代表図自動表示』にチェックをつけておくと、文書を開くたびに、その文書に対応した代表図を自動表示します。

■ **代表図ファイルの設定**

代表図を表示するためには、『メインウィンドウ』の［システム(S)］→［環境設定(X)］→［フォルダ/URL］タブ で、代表図ファイルを格納しているフォルダの場所を設定しておきます。

文書ブラウザの便利機能攻略！8

3件表示と代表図の連動



ここでの注意ポイント！

■ 代表図の表示

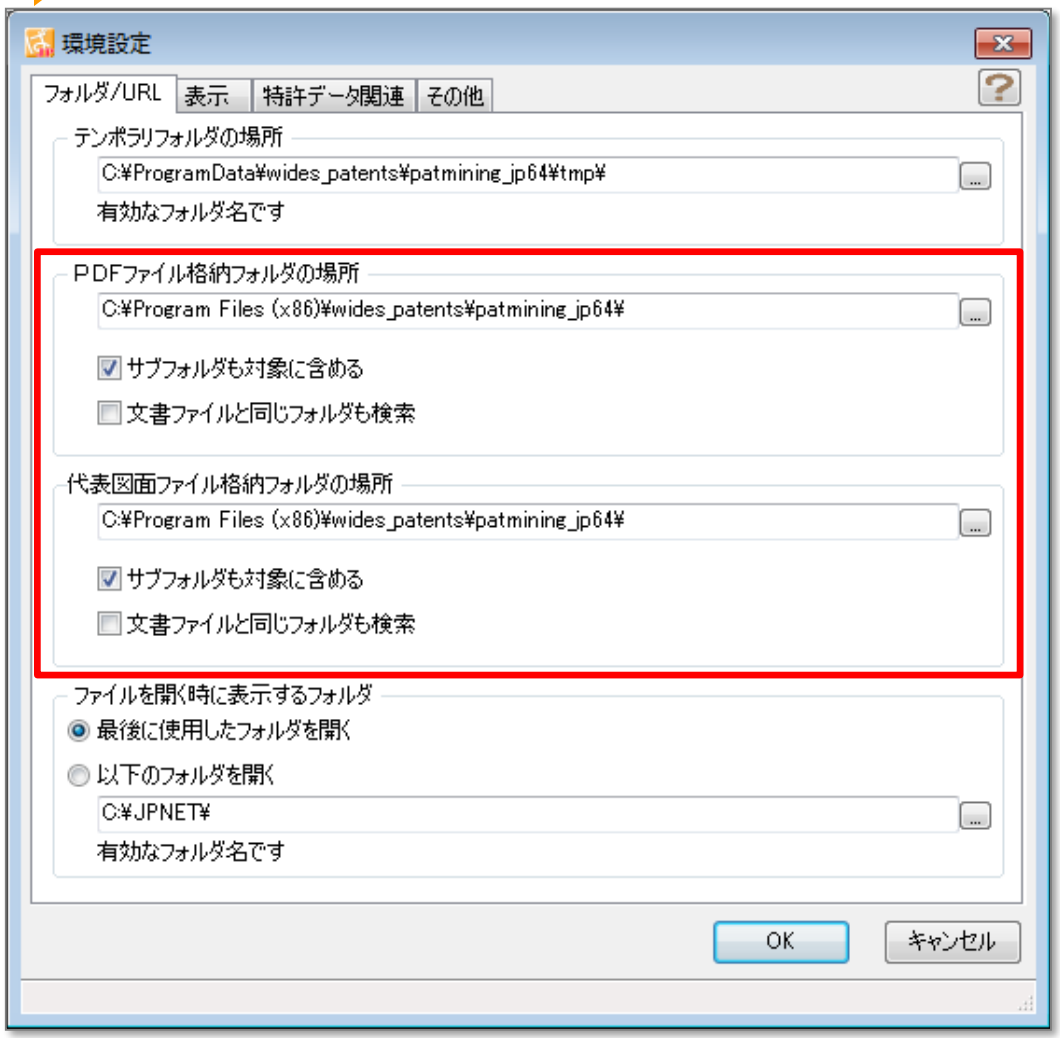
公報を3件ずつ表示できる「3件ブラウザ」で、代表図を表示する機能を搭載しました。「3件ブラウザ」の「代表図」にチェックを入れると、3件ブラウザに代表図が表示されます。

■ 代表図ファイルの設定

代表図を表示するためには、『メインウィンドウ』の［システム(S)］→［環境設定(X)］→［フォルダ/URL］タブ で、代表図ファイルを格納しているフォルダの場所を設定しておきます。

文書ブラウザの便利機能攻略！9

PDF/代表図ファイルの設定



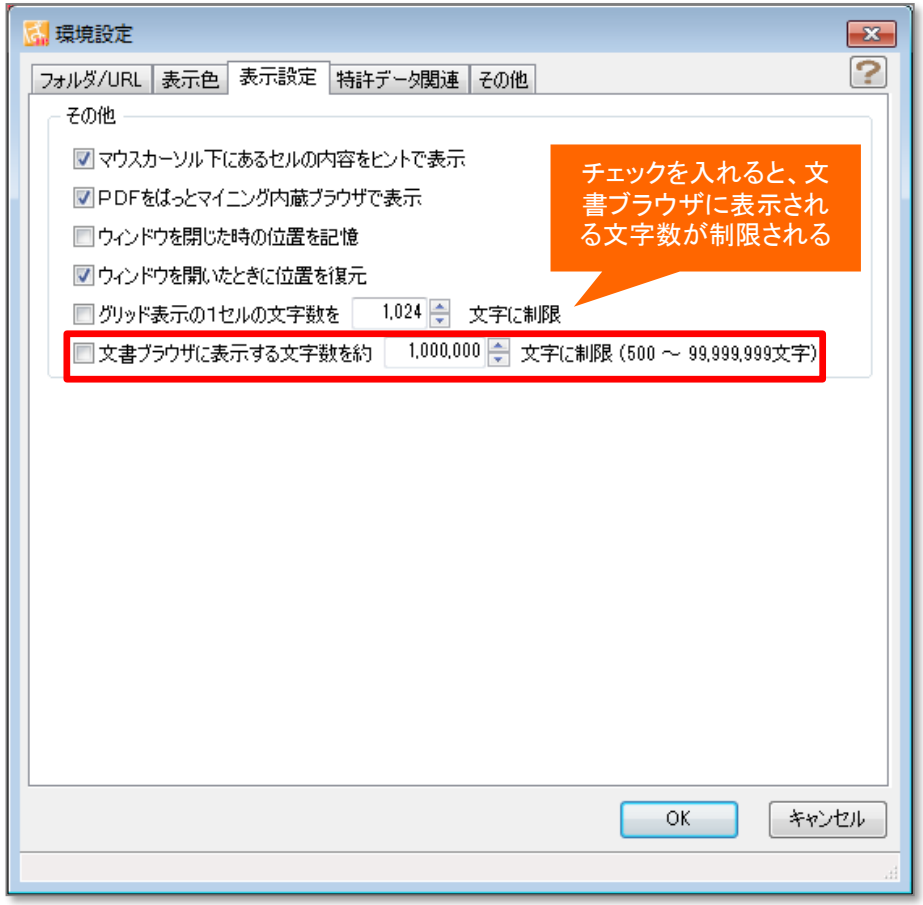
ここでの注意ポイント！

■ PDF/代表図ファイルの設定

PDFファイルや代表図を表示するためには、『メインウィンドウ』の［システム(S)］→［環境設定(X)］→［フォルダ/URL］タブ で、PDFファイルや代表図ファイルを格納しているフォルダの場所を設定しておきます。

文書ブラウザの便利機能攻略！10

表示文字数の制限



ここでの注意ポイント！

■ 表示文字数の制限

[環境設定]→[表示タブ]をクリックし、「文書ブラウザに表示する文字数を〇〇〇〇に制限する」にチェックを入れると、文書ブラウザに表示する文字数を制限することができます。

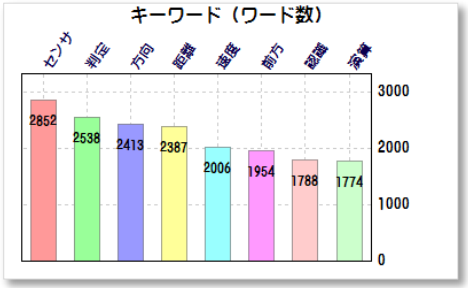
ゲノム塩基配列表記など、非常に文字数の多い書面を全文表示しようとして、メモリ容量をオーバーすることを防ぐ効果があります。

入力できる値は、500～99999999です。

文書ブラウザの便利機能攻略！11

表示色の設定

	数	キーワード
1	63	検出/検知/センシング
2	0	設定
3	58	走行
4	4	自動運転
5	1	間隔
6	0	確保
7	0	調整
8	0	アクチュエータ/アクチュ.
9	0	直交周波数分割多重方式/.



ここでの注意ポイント！

■ 表示色の設定

[環境設定]→[表示色タブ]をクリックし、文書ブラウザのマークするワードの色を変更することができます。

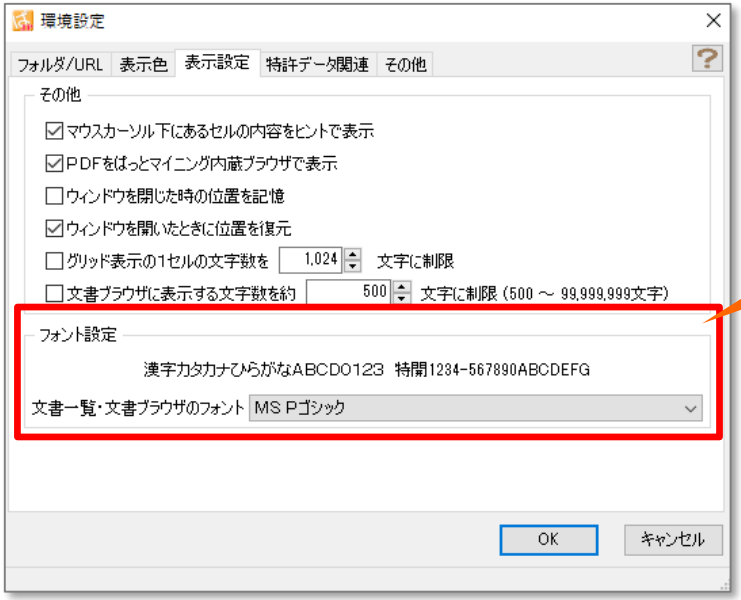
また、グラフの色設定にも適用されます。
色設定をもとに戻したい場合は「初期値に戻す」ボタンで色設定がリセットされます。
色設定完了後、右下に表示されている「OK」ボタンを押すと設定が適用されます。

■ その他の表示色の設定

その他のぱっとマイニング内の表示色も変更することができます。
「空白セル」…セルの空白箇所の表示色
「要注目セル」…特定の分析での注目セルの表示色
「選択セル」…選択部分のセルの表示色
「5行毎セル」…セルの行カウントが5行の表示色
「10行毎セル」…セルの行カウントが10行の表示色
「枠線の色」…セルの枠線の表示色

文書ブラウザの便利機能攻略！12

フォントの設定



フォント設定で、
文書を読みやすくカスタマイズ

ここでの注意ポイント！

■ フォントの設定

[環境設定]→[表示設定タブ]をクリックし、文書ブラウザのフォントを変更することができます。

また、文書一覧のフォントにも適用されます。
フォント設定完了後、右下に表示されている「OK」ボタンを押すと設定が適用されます。

【 おわりに／資料 】

☑ 著作権、動作環境についてなど。

著作権について

【ぱっとマイニング】は著作権法によって保護されています。

■ 「ぱっとマイニング」（以下、本システムと言います。）は、ワイズ特許サービス株式会社（以下、弊社と言います。）の著作物であり、国際法及び日本国著作権法で保護されています。また各機能において特許を出願済みの仕様が含まれておりますのでご注意ください。

■ 本システムを無断で再配布、貸与、複製、偽造、逆アセンブルによる解析、等を行なうことはできません。万が一、上記をはじめとする知的財産権侵害を発見した場合には、弊社は速やかに顧問弁護士・顧問弁理士とともに法的な解決と相応の賠償を求めるものです。

動作環境

【ぱっとマイニング・ビューア】の動作条件は以下の通りです。

★ 64Bit版（推奨）

対応OS ： Windows 11,10 64bit版

メモリ ： 8GB以上（全文公報10万件程度迄の分析が可能）

： 16GB以上（全文公報20万件程度の分析が可能）

★ 32Bit版

対応OS ： Windows 10 32bit版

メモリ ： 4GB（全文公報3～4万件迄の分析が可能）

CPU ： Intel Core i5以上（第3世代以降を推奨）

ディスク領域 ： インストールに300MB以上必要

（実際の利用には、読み込むファイルの大きさに応じた作業領域が必要になります）

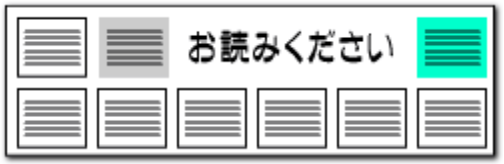
画面解像度 ： 1280×800ドット以上

※ メモリをできるだけ多く搭載し、システムの作業領域をSSDなどに設定すると、より高速に動作が可能です。

※ マッキントッシュ（アップル社）、改造PC、NEC98シリーズなどでは動作いたしません。

※ 特許・実用新案の公報に対応しています。意匠・商標には対応していません。

ショートカットキー一覧



知って得するショートカット ―――― キーボード使いの決めワザ

メインウィンドウ、文書ブラウザ、分析ウィンドウで有効なキーボードショートカット一覧

Ctrl + F	検索
F2	次の分析ウィンドウを表示
F2 + Shift	前の分析ウィンドウを表示
F4	メインウィンドウを表示
F5	分析実行
F6	文書ブラウザを呼び出す
F6 + Shift	代表図ブラウザを呼び出す
F11	全画面表示
Shift + F4	メインウィンドウを最背面に表示
Ctrl + Tab	次のタブを表示
Shift + Ctrl + Tab	前のタブを表示

メインウィンドウ、分析ウィンドウのグリッド部で有効なキーボードショートカット一覧

Ctrl + C	セルの内容をクリップボードにコピー
Ctrl + Q	マークするワードに追加
Ctrl + W	セルの内容を無視するワードに追加
Ctrl + A	全項目を選択する
Ctrl + D	全項目の選択を解除
Ctrl + I	全項目の選択を反転する
F5	分析実行
Ins	ユーザーメモ編集画面を呼出す
Space	行を選択／選択解除
Delete	選択行を削除

ダウンロード項目一覧

データベースJP－NETでは、以下のような項目がダウンロードできます。

ダウンロード形式には「テキストデータ」と「CSV」の2種類があり、ダウンロードできる項目が異なります。

テキストデータ・CSV形式　共通項目

公報種別	発行日
出願番号	国際特許分類
出願日	IPC
国際出願番号	FI
国際出願日	ファセット
公開番号	テーマコード
公開日	Fターム
国際公開番号	出願人／識別番号
国際公開日	出願人／氏名又は名称
特許番号	出願人／住所又は居所
登録日	発明者／氏名
公告番号	発明者／住所又は居所
公告日	代理人／識別番号
優先権主張番号	代理人／氏名又は名称
優先日	発明の名称
優先権主張国	特許請求の範囲
指定国	要約／課題
分割の表示	要約／解決手段

テキストデータ　特有項目

- 課題を解決するための手段
- 技術分野
- 背景技術
- 発明の詳細な説明
- 発明の効果
- 発明が解決しようとする課題
- 発明を実施するための最良の形態
- 産業上の利用可能性
- 図面の簡単な説明
- OCR
- その他の項目
- 請求項の数
- 全頁数

CSV形式　特有項目

代表図	FI（審）	参考文献（被）
データ発行日	テーマコード（審）	引用文献数
出願人識別番号（審）	Fターム（審）	引用文献
出願人（審）	出願中間記録	引用文献数（被）
出願人住所（審）	審判中間記録	引用文献（被）
請求項数・出願（審）	登録中間記録	ファミリー文献数
請求項数・登録（審）	優先権証明書の有無	ファミリー文献
査定種別	早期審査の有無	PDFリンクURL
査定発送日	早期審理の有無	
最終処分種別	査定不服審判の有無	
最終処分日	無効審判請求数	
審査種別	出訴の有無	
権利者識別番号（審）	閲覧回数	
権利者（審）	情報提供回数	
権利者住所（審）	庁面接回数	
本権利抹消識別	関連出願（親）	
存続期間満了日	関連出願（子）	
次期納付期限	参考文献	

※　JP－NETのデータのCSV形式のダウンロード項目に「公報番号」「独立請求項」「技術分野」「背景技術」「課題」「解決手段」「発明の効果」「実施例」の項目が追加されました。

使用許諾書

製品名	：	ぱっとマイニング
バージョン	：	7. 23
ライセンス数	：	1

【重要！】 かならずお読みください

本使用許諾契約書（以下、本契約という）は、ワイズ特許サービス株式会社（以下、弊社という）の上記製品を（以下、本製品という）をお客様にご利用いただく際の前提条件を記したものです。本製品の媒体を開封することで、お客様は本契約に同意いただいたものとします。本製品のご利用にあたり、販売元　日本パテントデータサービス株式会社の「ぱっとマイニングJP利用約定書」（以下、約定書という）に同意のうえ、約定書に定める手続きに従って申込みを行うものとします。

第1条 （使用の許諾）

弊社は、お客様が本契約を承諾し遵守されることを条件として、本製品のソフトウエア（以下、本ソフトウエア）について日本国内で使用する権利（以下、ライセンスという）をお客様に許諾いたします。また、本製品に付属する取扱い説明書(マニュアル）等については、お客様が本契約を承諾し遵守されることを条件として、お客様に譲渡いたします。なお弊社は、本製品（本ソフトウエアおよびマニュアル等）に関する著作権その他の知的所有権をお客様に譲渡するものではありません。

第2条 （使用条件）

弊社は、本製品1ライセンスにつきコンピュータ1台に限り本ソフトウェアのインストールおよび使用を許諾いたします。また、コンピュータ1台で複数ユーザーが使用する事を許諾しますが、複数のコンピュータに本ソフトウェアをインストールおよび使用することは許諾しません。複数のコンピュータによる同時使用を行なう場合には、別途複数ライセンスを必要とします。

第3条 （禁止事項）

お客様が、以下の各号の行為を行なうことは禁止いたします。
1. ライセンス数以上の使用。
2. ソフトウェアの改変・リバースエンジニアリング（逆アセンブル）等の解析。
3. 本ソフトウエアの複製、偽造。他ソフトウエアへの組込み。
4. 本製品またはその複製物の譲渡・貸与・再使用許諾等。

第4条 （有効期間）

1. 本契約の効力は、お客様が本製品を受領した日に発生するものとします。
2. お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、または弊社の著作権その他の知的所有権を侵害した場合には、弊社は本契約を解除し、お客様のライセンスの許諾、使用する権利を終了させることが出来ます。
3. 本契約が終了した場合には、本製品をお客様のご負担で速やかに破棄するものとします。

第5条 （保証と責任）

1. 弊社は、本製品に関する一切の保証責任または瑕疵担保責任も負いません。本製品を使用した効果や結果についてはお客様の責任において処理されるものとします。また本ソフトウエアの欠陥によって発生する直接的もしくは間接的な効果や結果について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知されていた場合であっても、弊社は何らの責任を負いません。
2. 弊社は予告の有無に関わりなく本ソフトウェアの機能の修正・改定を行い、お客様に無償提供する場合がありますが、当該ソフトウエアに関しても、本契約がそのまま通用されるものとします。
3. 弊社は、ユーザー登録をしたお客様に限り、本製品に関する弊社所定のサービス、サポートを行なうものとします。また、ユーザー登録をしたお客様は、本製品を利用・運用することで情報加工サービスなどの業務を第三者から受託することができるものとします。

第6条 （その他）

1. 本契約は日本国法に準拠するものとします。
2. 本使用許諾契約書の条件については、法規の訂正、または弊社の事情によって弊社が変更する事があり、お客様はそれに同意するものとします。変更については、弊社から通知・表示します。
3. 本契約にかかわる紛争については、弊社の所在地の管轄裁判所で解決するものとします。

本契約について不明な点がございましたら、弊社まで書面・電子メールにてお問合せくださいますようお願いいたします。

ワイズ特許サービス株式会社　info@wides.com

権利状態判定の詳細

権利状態判定の詳細　1ー詳細判定

権利状態の定方法と読み込むデータの種別の関係は以下のとおりです

「権利状態詳細判定」について				
この判定が利用されている分析機能（画面）			① グラフブラウザ 「権利状態詳細判定」 ② 戦略分析 「権利状態時系列分析」の詳細判定 ③ 戦略分析 「権利状態項目分析」の詳細判定	
No	表示名	状態内容	読み込むデータの種別	
			経過情報を含むCSV	JP-NET全文テキストデータ
1	権利存続中	特許査定され、権利が存続しているもの。	○	ー
2	権利化済・状態不明	特許査定されているが、【本権利抹消識別】の項目の情報がないもの。	○	○ （「公報種別」で判定）
3	権利化後消滅	特許査定されているが、存続期間満了日を過ぎたり、年金不納により抹消となったもの。 ※　ステータス情報のみでも判定可能	○	△ （「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ）
4	権利化前消滅	未審査請求による取下など、審査請求を行わずに権利が消滅したもの。 ※　ステータス情報のみでも判定可能	○	△ （「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ）
5	審査請求済（拒絶確定）	審査請求後に取下、放棄などにより、権利化されないことが確定したもの。	○	ー
6	審査請求済（拒絶）	審査請求後に拒絶査定となったもの。（ただし不服審判で覆る可能性がある。）	○	ー
7	審査請求済（未確定）	審査請求後に査定が出ていないもの。	○	○ （「審査請求」「早期審査」で判定）
8	未審査	審査請求されていず、消滅していないもの。 ※　ステータス情報のみでは消滅以外のものが未審査となる	○	○ （「審査請求」「早期審査」で判定）

※権利状態簡易判定の詳細は次ページをご参照ください。

権利状態判定の詳細

権利状態判定の詳細　2ー簡易判定

権利状態の定方法と読み込むデータの種別の関係は以下のとおりです

「権利状態簡易判定」について	
この判定が利用されている分析機能（画面）	① グラフブラウザ 「権利状態簡易判定」 ② 戦略分析 「権利状態時系列分析」の簡易判定 ③ 戦略分析 「権利状態項目分析」の簡易判定

No	表示名	状態内容	読み込むデータの種別	
			経過情報を含むCSV	JP-NET全文テキストデータ
1	権利化済	特許査定されたもの。	○	○ （「公報種別」で判定）
2	権利化後消滅	特許査定されているが、存続期間満了日を過ぎたり、年金不納により抹消となったもの。 ※　ステータス情報のみでも判定可能	○	△ （「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ）
3	権利化前消滅	未審査請求による取下など、審査請求を行わずに権利が消滅したもの。 審査請求後に取下、放棄などにより、権利化されないことが確定したもの。 ※　ステータス情報のみでも判定可能	○	△ （「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ）
4	審査請求済	審査請求されているが、上記「3.権利化前消滅」に該当しないもの。 （審査請求があり、【審査最終処分】が記載されていないもの。）	○	○ （「審査請求」「早期審査」で判定）
5	未審査	審査請求されていず、消滅していないもの。 ※　ステータス情報のみでは消滅以外のものが未審査となる	○	○ （「審査請求」「早期審査」で判定）

※権利状態詳細判定の詳細は前ページをご参照ください。

特許評価　判定条件

【特許評価2】―判定条件一覧－1

項目	該当条件

		【査定種別】	【審査最終処分種別】	【本権利抹消識別】	【出願中間記録】	その他の条件
A01	取下・放棄		″取下″を含むもの		″出願取下″を含むもの	
A02	審査請求	″登録″を含むもの ″拒絶″を含むもの	″登録″を含むもの ″拒絶″を含むもの	何か記述があるもの （※　審査請求がないものは この項目は空欄であるため）	″出願審査請求″を含むもの ″早期審査″を含むもの	【公報種別】が登録系のもの 【審査請求】があるもの 【早期審査】があるもの
A03	早期審査請求				″早期審査″を含むもの	【早期審査】があるもの
A04	拒絶理由通知	″拒絶″を含むもの	″拒絶″を含むもの		″拒絶理由通知″を含むもの	
A05	意見申立書		″拒絶″を含むもの		“意見”を含むもの	

		【査定種別】	【審査最終処分種別】	【本権利抹消識別】	【出願中間記録】	その他の条件
B01	特許査定・登録査定	″登録″を含むもの	″登録″を含むもの	登録された形跡のあるもの （年金不納や期間満了 等）		【公報種別】が登録系のもの
B02	登録料不納			″登録料不納″を含むもの		
B03	存続期間満了			″存続期間満了″を含むもの		
B04	年金不納			″年金不納″を含むもの		
B05	放棄			″放棄″を含むもの		【登録中間記録】に″権利放棄″を含むもの
B06	抹消			登録後に抹消された形跡のあるもの		【登録中間記録】に″本権抹消登録申請書″を含むもの
B07	異議申立書			″異議″を含むもの		【登録中間記録】に″異議″を含むもの

特許評価　判定条件

【特許評価2】―判定条件一覧－2

項目	該当条件

		【査定種別】	【審査最終処分種別】	【本権利抹消識別】	【出願中間記録】	その他の条件
C01	優先権主張の表記あり					【優先権主張番号】があるもの
C02	存続期間満了の残り年数 ×					【存続期間満了日】と本日の差で残り年数を算出 ※ただし権利が消滅しているものは除外する
C03	請求項の件数 ×					【請求項数・登録（審）】 【請求項数・出願（審）】 【請求項の数】 【請求項】の件数
C04	引用文献の件数 ×					【引用文献数】
C05	被引用文献の件数 ×					【被引用文献数】
C06	分割出願の親					【関連出願（子）】に"分割"を含むもの
C07	分割出願の子					【関連出願（親）】に"分割"を含むもの
C08	国内広報かつ国際表記あり					【出願番号】があり、以下の条件のどれかを含むもの ・【国際出願番号】【国際公開番号】のいずれかを含む ・公報種別が公表・再公表系のもの
C09	国外出願					【国際出願番号】【国際公開番号】のいずれかを含むもの 公報種別が公表・再公表系のもの 海外DBの公報
C10	代理人の数 ×					【代理人】の件数
C11	発明者の数 ×					【発明者】の件数
C12	共同出願人の数 ×					【出願人】の件数